System x3300 M4
Type 7382
インストールとサービスのガイド

System x3300 M4
Type 7382

インストールとサービスのガイド

お願い

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、 837 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』に記載されている一般情報、 841 ページの『特記事項』、「*保証情報*」、および IBM *Documentation* CD に収録されている「*Safety Information*」および「*Environmental Notices and User Guide*」の各資料をお読みください。

本装置は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2 に適合しています。

本製品およびオプションに電源コード・セットが付属する場合は、それぞれ専用のものになっていますので他の電気機器には使用しないでください。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： IBM System x3650 M4 HD
Type 5460
Installation and Service Guide

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

第4版第1刷 2013.11

© Copyright IBM Corporation 2013.

目次

安全について vii
安全について ix

第 1 章 IBM System x3300 M4 Type 7382 サーバー 1
IBM Documentation CD 4
ハードウェアおよびソフトウェアの要件 4
Documentation Browser の使用 4
関連資料. 5
本書で使用する注記 6
サーバーの機能および仕様. 7
サーバーが提供する機能 10
信頼性、可用性、および保守容易性 15
IBM Systems Director 17
Update*Xpress* System Pack Installer 18
サーバーのコントロール、LED、および電源 . . . 18
前面図 18
オペレーター情報パネル 20
背面図 22
パワー・サプライ LED 24
システム・パルス LED 27
サーバーのパワー・サプライ 27
サーバーの電源をオンにする 28
サーバーの電源をオフにする 28

第 2 章 オプション装置の取り付け . . . 31
サーバーへのオプションのハードウェア・デバイスの取り付け 32
IBM ビジネス・パートナー用の手順 32
IBM への DSA データの送信方法. 32
サーバー・コンポーネント 33
システム・ボードの内部コネクター 34
システム・ボードの外部コネクター 35
システム・ボードのスイッチとジャンパー . . . 35
システム・ボードの LED. 38
ハード・ディスク・バックプレーン・コネクター 39
取り付けのガイドライン 40
システムの信頼性に関するガイドライン 42
電源オンされているサーバー内部での作業 . . . 43
静電気に弱い装置の取り扱い 43
左サイド・カバーの取り外し 44
ベゼルの取り外し 45
エアー・バッフルの取り外し 46
ファン・アセンブリーの取り外し 47
背面ファンの取り外し. 48
シンプル・スワップ・ファンの取り付け. 50
メモリー・モジュールの取り付け 52
ドライブの取り付け 59
2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け 62
3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け 64
3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り付け 66
光学式 CD/DVD ドライブの取り付け. 67
オプションのテープ・ドライブの取り付け . . . 69
PCI-X ライザー・カード・アセンブリーの取り付け 70
アダプターの取り付け. 72
オプションの ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールの取り付け 80
RAID アダプターのリモート・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールのサーバーへの取り付け. . 81
マイクロプロセッサー 2 拡張ボードの取り付け . . 83
マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り付け. . 87
熱伝導グリース 90
固定パワー・サプライの取り付け 92
電源パドル・カードの取り付け. 94
ホット・スワップ・パワー・サプライの取り付け. . 96
USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り付け 100
取り付けの完了. 101
ファン・アセンブリーの取り付け. 102
背面ファンの取り付け 103
エアー・バッフルの取り付け 104
左サイド・カバーの交換. 105
ケーブルの接続. 106
サーバー構成の更新 107

第 3 章 構成情報と説明 109
ファームウェアの更新 109
UEFI と互換性のあるデバイスの構成 111
サーバーの構成. 111
ServerGuide Setup and Installation CD の使用 113
ServerGuide の機能 113
セットアップおよび構成の概要 114
標準的なオペレーティング・システムのインストール 114
ServerGuide を使用しないオペレーティング・システムのインストール. 115
Setup ユーティリティーの使用 115
Setup ユーティリティーの開始 115
Setup ユーティリティーのメニュー選択項目 116
パスワード 123
Boot Manager プログラムの使用 124
バックアップ・サーバー・ファームウェアの開始 125
Update*Xpress* System Pack Installer 125
統合管理モジュール II の使用. 125
組み込みハイパーバイザーの使用. 127
リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用 128
IMM 用の IP アドレスの取得. 129

© Copyright IBM Corp. 2013

Web インターフェースへのログオン. . . . 130
リモート・プレゼンス機能の使用可能化 . . 130
Intel Gigabit Ethernet ユーティリティー・プログラムの使用可能化 131
Gigabit Ethernet コントローラーの構成 131
Features on Demand Ethernet ソフトウェアの使用可能化 132
Features on Demand RAID ソフトウェアの使用可能化. 132
RAID アレイの構成 132
LSI Configuration ユーティリティー・プログラムの開始 133
Human Interface Infrastructure (HII) 構成アプリケーションの開始 134
ハード・ディスク RAID (ServeRAID-C105 のみ) の作成 134
IBM Advanced Settings ユーティリティー・プログラム. 136
IBM Systems Director. 136
汎用固有 ID (UUID) の更新 137
DMI/SMBIOS データの更新 140

第 4 章 Troubleshooting 145
ここから開始します 145
問題の診断 145
文書化されていない問題. 148
Service Bulletin 148
チェックアウト手順 149
チェックアウト手順について 149
チェックアウト手順の実行 150
診断ツール 151
パワー・サプライ LED 153
イベント・ログ. 156
セットアップ・ユーティリティーを使用してイベント・ログを表示する 157
サーバーを再始動することなく、イベント・ログを表示する. 157
エラー・ログの消去 160
POST 160
IBM Dynamic System Analysis 161
DSA のエディション 162
DSA Preboot 診断プログラムの実行 163
診断テキスト・メッセージ 164
テスト・ログの結果表示. 164
コール・ホーム (自動化サービス要求) 164
Service Advisor 165
IBM Electronic Service Agent 165
エラー・メッセージ 165
現象別トラブルシューティング 165
CD/DVD ドライブの問題 166
ハイパーバイザーの問題. 167
一般的な問題 167
ハード・ディスクの問題. 168
再現性の低い問題 170
キーボード、マウス、またはポインティング・デバイスの問題 171
メモリー問題 172
マイクロプロセッサー問題 174
モニターおよびビデオの問題 174
オプション装置の問題 177
電源問題 178
シリアル装置の問題 183
ServerGuide の問題 184
ソフトウェアの問題 185
USB ポートの問題 186
ビデオの問題 186
電源の問題の解決 186
イーサネット・コントローラーの問題の解決 . . . 188
未解決問題の解決 189
問題判別のヒント 190
サーバー・ファームウェアのリカバリー 191
自動ブート・リカバリー (ABR) 193
Nx 回ブート失敗 194

第 5 章 Parts listing, IBM System x3300 M4 Type 7382 195
交換可能なサーバー・コンポーネント 195
構成部品 200
電源コード 201

第 6 章 コンポーネントの取り外しと交換 205
取り付けのガイドライン. 205
システムの信頼性に関するガイドライン . . . 207
電源オンされているサーバー内部での作業. . . 208
静電気に弱い装置の取り扱い 208
装置またはコンポーネントの返却. 209
内部ケーブルのルーティングおよびコネクター 209
電源ケーブル接続 210
オペレーター情報パネル・ケーブル接続 . . 211
光学式 DVD およびテープ・ドライブ・ケーブル接続 211
ハード・ディスク・ケーブル接続. 212
ファン電源ケーブル接続. 225
サーバー・コンポーネントの取り外しと交換 . . . 225
構成部品の取り外しと交換 225
ベゼルの取り外し 226
ベゼルの交換 227
左サイド・カバーの取り外し 228
左サイド・カバーの交換. 229
安定させるための脚の交換 230
エアー・バッフルの取り外し 231
エアー・バッフルの交換. 232
RAID アダプター・リモート・バッテリー・ホルダーの取り外し 233
RAID アダプター・リモート・バッテリー・ホルダーの交換. 235
Tier 1 CRU の取り外しと交換. 236
ドライブの取り付け 236
SAS/SATA HDD オプションの交換 256
アダプターの取り外し 259
アダプターの交換 262

RAID アダプターのリモート・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールのサーバーからの取り外し 269
サーバー内での RAID アダプターのリモート・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの交換 270
オプションの ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールの取り外し 273
オプションの ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールの交換. 274
PCI-X ライザー・カード・アセンブリーの取り外し. 275
PCI-X ライザー・カード・アセンブリーの交換 276
システム・バッテリーの取り外し. 278
システム・バッテリーの交換 281
前面 USB コネクターとオペレーター情報パネル・アセンブリーの取り外し 284
前面 USB コネクターとオペレーター情報パネル・アセンブリーの交換 286
2.5 型ディスク・バックプレーンの取り外し 288
2.5 型ディスク・バックプレーンの交換. . . 290
3.5 型ディスク・バックプレーンの取り外し 294
3.5 型ディスク・バックプレーンの交換. . . 296
固定パワー・サプライの取り外し. 299
固定パワー・サプライの交換 301
ホット・スワップ・パワー・サプライの取り外し 304
ホット・スワップ・パワー・サプライの交換 306
メモリー・モジュールの取り外し. 310
メモリー・モジュールの交換 311
USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し. 317
USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの交換 318
ファン・アセンブリーの取り外し. 320
ファン・アセンブリーの交換 321
Tier 2 の CRU の取り外しと交換 323
電源パドル・カードの取り外し 323
電源パドル・カードの交換 324
マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し 326
マイクロプロセッサーとヒートシンクの交換 328
マイクロプロセッサー 2 拡張ボードの取り外し 334
マイクロプロセッサー 2 拡張ボードの交換 336
システム・ボードの取り外し 339
システム・ボードの交換. 342

付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ 345

付録 B. UEFI/POST 診断コード. . . . 687

付録 C. DSA 診断テスト結果. 713
DSA Broadcom ネットワーク・テスト結果 . . . 713
DSA Brocade テスト結果 719
DSA チェックポイント・パネル・テスト結果 . . 725
DSA CPU ストレス・テスト結果. 726
DSA Emulex アダプター・テスト結果 729
DSA EXA ポート ping テスト結果 732
DSA ハード・ディスク・テスト結果 734
DSA Intel ネットワーク・テスト結果 735
DSA LSI ハード・ディスク・テスト結果 739
DSA Mellanox アダプター・テスト結果 741
DSA メモリー分離テスト結果. 742
DSA メモリー・ストレス・テスト結果. 812
DSA Nvidia GPU テスト結果 814
DSA 光学式ドライブ・テスト結果 819
DSA システム管理テスト結果. 822
DSA テープ・ドライブ・テスト結果 831

付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手 837
依頼する前に 837
資料の使用 838
ヘルプおよび情報を WWW から入手する. . . . 838
IBM への DSA データの送信方法 839
個別設定したサポート Web ページの作成. . . . 839
ソフトウェアのサービスとサポート 839
ハードウェアのサービスとサポート 840

特記事項. 841
商標 842
重要事項 842
サーバーの廃棄・譲渡時のハード・ディスク上のデータ消去に関するご注意. 843
粒子汚染 844
通信規制の注記. 845
電波障害自主規制特記事項 845
Federal Communications Commission (FCC) statement 845
Industry Canada Class A emission compliance statement 846
Avis de conformité à la réglementation d'Industrie Canada. 846
Australia and New Zealand Class A statement . . 846
European Union EMC Directive conformance statement 846
Germany Class A statement 847
VCCI クラス A 情報技術装置. 848
電子情報技術産業協会 (JEITA) 表示. 848
Korea Communications Commission (KCC) statement 848
Russia Electromagnetic Interference (EMI) Class A statement 848
People's Republic of China Class A electronic emission statement 849
Taiwan Class A compliance statement. 849

索引 851

安全について

Before installing this product, read the Safety Information.

قبل تركيب هذا المنتج، يجب قراءة الملاحظات الآمنية

Antes de instalar este produto, leia as Informações de Segurança.

在安装本产品之前，请仔细阅读 Safety Information
(安全信息)。

安裝本產品之前，請先閱讀「安全資訊」。

Prije instalacije ovog produkta obavezno pročitajte Sigurnosne Upute.

Před instalací tohoto produktu si přečtěte příručku bezpečnostních instrukcí.

Læs sikkerhedsforskrifterne, før du installerer dette produkt.

Lees voordat u dit product installeert eerst de veiligheidsvoorschriften.

Ennen kuin asennat tämän tuotteen, lue turvaohjeet kohdasta Safety Information.

Avant d'installer ce produit, lisez les consignes de sécurité.

Vor der Installation dieses Produkts die Sicherheitshinweise lesen.

Πριν εγκαταστήσετε το προϊόν αυτό, διαβάστε τις πληροφορίες ασφάλειας
(safety information).

לפני שתתקינו מוצר זה, קראו את הוראות הבטיחות.

A termék telepítése előtt olvassa el a Biztonsági előírásokat!

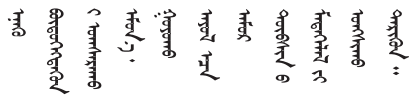
Prima di installare questo prodotto, leggere le Informazioni sulla Sicurezza.

製品の設置の前に、安全情報をお読みください。

본 제품을 설치하기 전에 안전 정보를 읽으십시오.

© Copyright IBM Corp. 2013

Пред да се инсталира овој продукт, прочитајте информацијата за безбедност.



Les sikkerhetsinformasjonen (Safety Information) før du installerer dette produktet.

Przed zainstalowaniem tego produktu, należy zapoznać się
z książką "Informacje dotyczące bezpieczeństwa" (Safety Information).

Antes de instalar este produto, leia as Informações sobre Segurança.

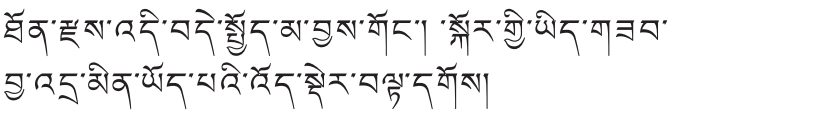
Перед установкой продукта прочтите инструкции по
технике безопасности.

Pred inštaláciou tohto zariadenia si pečítaje Bezpečnostné predpisy.

Pred namestitvijo tega proizvoda preberite Varnostne informacije.

Antes de instalar este producto, lea la información de seguridad.

Läs säkerhetsinformationen innan du installerar den här produkten.



Bu ürünü kurmadan önce güvenlik bilgilerini okuyun.

Youq mwngz yungh canjbinj neix gaxgonq, itdingh aeu doeg aen
canjbinj soengq cungj vahgangj ancien siusik.

安全について

以下では、本書に記載されている「注意」および「危険」に関する情報を説明します。

重要:

本書のすべての「注意」と「危険」の注意書きには番号が付いています。この番号は、*Safety Information* 資料で、英語の Caution と Danger と対応する翻訳文の「注意」と「危険」を相互参照するのに使用します。

例えば、「Caution」の注意書きが「Statement 1」となっている場合、「*Safety Information*」資料を見れば、その注意書きに対応した「安全 1」の翻訳文が見つかります。

この資料で述べられている手順を実施する前に「注意」と「危険」の注意書きをすべてお読みください。もし、システムあるいはオプションに追加の安全情報がある場合はその装置の取り付けを開始する前にお読みください。

安全 1

危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- **雷雨の間はケーブルの接続や取り外し、または本製品の設置、保守、再構成を行わないでください。**
- **すべての電源コードは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。**
- **ご使用の製品に接続するすべての装置も正しく配線されたコンセントに接続してください。**
- **信号ケーブルの接続または取り外しは可能なかぎり片手で行ってください。**
- **火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。**
- **取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、装置のカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている電源コード、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離してください。**
- **ご使用の製品または接続された装置の取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、次の表の説明に従ってケーブルの接続および取り外しを行ってください。**

ケーブルの接続手順:	**ケーブルの切り離し手順:**
1. すべての電源をオフにします。	1. すべての電源をオフにします。
2. 最初に、すべてのケーブルを装置に接続します。	2. 最初に、電源コードをコンセントから取り外します。
3. 信号ケーブルをコネクターに接続します。	3. 信号ケーブルをコネクターから取り外します。
4. 電源コードを電源コンセントに接続します。	4. すべてのケーブルを装置から取り外します。
5. 装置の電源をオンにします。	

安全 2

注意:
リチウム・バッテリーを交換する場合は、IBM® 部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。 バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

次のことはしないでください。

- **水に投げ込む、あるいは浸す**
- **100℃ (華氏 212 度) 以上に過熱**
- **修理または分解**

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

安全 3

注意:
レーザー製品 (CD-ROM、DVD ドライブ、光ファイバー装置、または送信機など) が取り付けられている場合には、以下のことに注意してください。

- **カバーを外さないこと。 カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。 この装置の内部には保守が可能な部品はありません。**
- **本書に記述されていないコントロールや調整を使用したり、本書に記述されていない手順を実行すると、有害な光線を浴びることがあります。**

危険

一部のレーザー製品には、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードが組み込まれています。次のことに注意してください。

カバーを開くとレーザー光線の照射があります。光線を見つめたり、光学装置を用いて直接見たり、光線を直接浴びることは避けてください。

クラス 1 レーザー製品
Laser Klasse 1
Laser Klass 1
Luokan 1 Laserlaite
Appareil A Laser de Classe 1

安全 4

≥ 18 kg

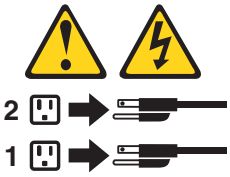
≥ 32 kg

≥ 55 kg

注意:
装置を持ち上げる場合には、安全に持ち上げる方法に従ってください。

安全 5

注意:
装置の電源制御ボタンおよび電源機構の電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くには給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 6

注意:
もし電源コードを装置側でストレイン・リリーフ・ブラケットで固定した場合は、電源コードの給電部側はいつでも容易にアクセスできるようにしておく必要があります。

安全 8

注意:
パワー・サプライのカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。

このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。 これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

安全 12

注意:
このラベルが貼られている近くには高温になる部品が存在します。

安全 26

注意:
ラック・マウント装置の上には何も置かないでください。

安全 27

注意:
近くに動く部品が存在します。

ラック安全情報、安全 2

危険

- **必ず、ラック・キャビネットにレベル・パッドを下ろします。**
- **必ず、ラック・キャビネットにスタビライザー・ブラケットを取り付けます。**
- **サーバーおよびオプション装置は、必ずラック・キャビネットの最下部から取り付けてください。**
- **必ず、最も重い装置をラック・キャビネットの最下部に取り付けます。**

第 1 章 IBM System x3300 M4 Type 7382 サーバー

本「インストールおよびサービスのガイド」には、ご使用の System x3300 M4 Type 7382 サーバーをセットアップするための情報および手順、いくつかのオプション装置の取り付け手順、サーバーの配線および構成、装置の取り外しおよび交換、ならびに診断およびトラブルシューティング情報を記載しています。

31 ページの『第 2 章 オプション装置の取り付け』で説明するオプションのハードウェア・デバイスの取り付け、ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新、取り付けの完了に関する手順に加えて、IBM ビジネス・パートナーは 32 ページの『IBM ビジネス・パートナー用の手順』の手順も完了する必要があります。

IBM System x3300 M4 Type 7382 は、必要なものを完備した、エントリー・レベルの、タワー型に最適化された、デュアル・プロセッサーの 4U[1] タワー (オプションのラックがマウント済み) のサーバー・システムです。 プラットフォームは Intel Romley-En です。 Intel Sandy-bridge EN プロセッサー、デュアル・プロセッサー・プラットフォーム、およびシステム・メモリーに DDR3 Unbuffered/Register/Load Reduced-DIMM w/ ECC 800/1066/1333/1600MHz がサポートされています。 プラットフォームに使用されているコア・チップ (コア・ロジック) は Intel Patsburg-A です。

プレーナーの寸法は 12x10.5 インチで、8 層の PCB ボードに 1 つの LGA-1356 (socket-B2) CPU ソケットおよびオンボード VRD12 が実装されており、基本プロセッサーをサポートします。 2 次プロセッサーは、オプションの YungAn CPU ライザー・カードによりサポートされます。これには、1 つの LGA-1356 (socket-B2) CPU ソケットおよび VRD12 が実装されており、デュアル・プロセッサー・モードをサポートします。 また、プレーナーには、オンボード SATA ホスト・コントローラー、オンボード Intel I350 10/100/1000 Mb/s イーサネット・コントローラー、オンボード・グラフィックス・コントローラー、その他のシステム I/O 機能、およびオンボード iBMC、システム管理用 Renesas SH7757 (IPMI 2.0) w/ RTMM H8S-2117A など、他のシステム・デバイスも実装されています。

このサーバーは、コスト、構成、パフォーマンスおよび可用性において拡張が容易です。 システム信頼性、可用性、保守性 (RAS) およびシステム管理プロセッサーの点で改善されており、メモリーの RAS フィーチャーには、オンライン・スペア・メモリー、メモリー・ミラーリング、および Chipkill サポートなどが含まれます。FoD フィーチャーには、2 ポートから 4 ポートへのオンボード・イーサネット・アップグレード、Patsburg A から K へのアップグレード・キーおよび SW/HW RAID5 アップグレード・キーなどがあります。

ご使用のサーバーには限定保証が付いています。 保証の条件およびサービスと支援の利用については、サーバーに付属の「*IBM 保証情報*」を参照してください。

1. ラックは縦に 4.45 cm (1.75 インチ) ごとに区切られています。各区切りは「U」と表されます。1 U の装置の高さは 4.45 cm (1.75 インチ) です。

© Copyright IBM Corp. 2013

サーバーには、パフォーマンスと信頼性の向上に役立つ IBM X-Architecture 次世代テクノロジーが搭載されています。詳しくは、 10 ページの『サーバーが提供する機能』および 15 ページの『信頼性、可用性、および保守容易性』を参照してください。

ご使用のサーバーおよびその他の IBM サーバー製品に関する最新の情報は、http://www-06.ibm.com/systems/jp/x/ から入手できます。 http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/overview では、目的の IBM 製品を特定して、個別設定したサポート・ページを作成することができます。この個別設定したページから、最新の技術文書に関する E メール通知を毎週購読したり、情報やダウンロードを検索したり、さまざまな管理サービスにアクセスしたりすることができます。

IBM クライアント・リファレンス・プログラムに参加すると、ご使用になっているテクノロジー、ベスト・プラクティス、および革新的ソリューションに関する情報を共用できるほか、業界ネットワークを構築し、お客様の業務の認知度を上げることができます。 IBM クライアント・リファレンス・プログラムについて詳しくは、http://www.ibm.com/ibm/clientreference/を参照してください。

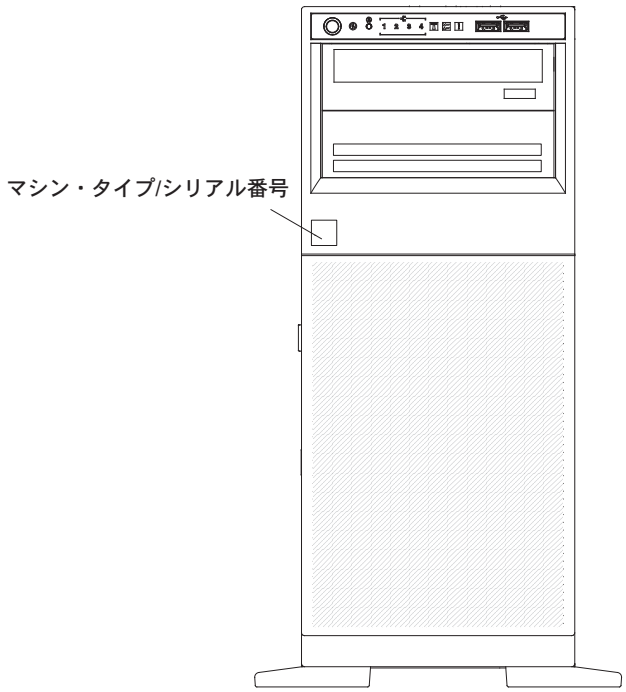
ファームウェアと資料の更新情報が使用可能な場合は、IBM Web サイトからダウンロードできます。 サーバーには、その付属資料の中で説明されていない機能が装備されている場合があります。また、資料は、これらの機能に関する情報を収録するためにときどき更新されることがあり、サーバーの資料に収録されていない追加情報を記述するために、技術上の更新が行われることもあります。更新を確認するには、http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/overview にアクセスしてください。

サーバーに関するデータを次の表に記録してください。

製品名	IBM System x3300 M4
マシン・タイプ	Type 7382
モデル番号	_____
シリアル番号	_____

モデル番号とシリアル番号は、次の図に示すように、サーバー前面の ID ラベルに記載してあります。

注: 本書の図は、お客様がご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。



さらに、サーバーのカバーにあるシステム・サービス・ラベルには、サービス情報にモバイル・アクセスするための QR コードもあります。モバイル・デバイスの QR コード・リーダーとスキャナーを使用して QR コードをスキャンし、IBM Service Information Web サイトにすぐにアクセスすることができます。IBM Service Information Web サイトでは、追加情報として部品の取り付けや交換用のビデオ、およびサーバー・サポートのためのエラー・コードが提供されます。

次の図は QR コードを示しています (http://ibm.co/126Z3sS)。

図 1. QR コード

IBM *ServerGuide Setup and Installation* CD をダウンロードして、ハードウェアの構成、デバイス・ドライバーのインストール、およびオペレーティング・システムのインストールに役立てることができます。

サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/usを参照してください。

ラックへの取り付けと取り外しに関する完全な手順については、IBM *System x Documentation* CD にある資料「*ラック搭載手順*」を参照してください。

IBM Documentation CD

IBM *System x Documentation* CD には、このサーバーの資料が PDF 形式で収められており、また情報を速やかに検索するために役立つ IBM Documentation Browser も含まれています。

ハードウェアおよびソフトウェアの要件

IBM *System x Documentation* CD を利用するには、少なくとも次のハードウェアおよびソフトウェアが必要です。

- Microsoft Windows XP、Windows 2000、または Red Hat Linux
- 100 MHz のマイクロプロセッサー
- 32 MB の RAM
- Adobe Acrobat Reader 3.0 (またはこれ以降)、または Linux オペレーティング・システムに付属の xpdf

Documentation Browser の使用

Documentation Browser は、本 CD の内容のブラウズ、資料の簡単な記述の読み取り、および Adobe Acrobat Reader または xpdf による資料の表示などを行う場合に使用します。 Documentation Browser は、サーバーで使用している地域設定を自動的に検出し、その地域の言語を使用して資料を表示します (その言語が利用可能な場合)。 その地域の言語による資料がない場合は、英語版が表示されます。

Documentation Browser を開始するには、以下のいずれかの方法を実行します。

- 自動始動が使用可能な場合は、CD を CD または DVD ドライブに挿入します。 Documentation Browser が自動的に始動します。
- 自動始動が使用不可になっている場合、またはすべてのユーザーに対して使用可能になっていない場合は、次の手順のいずれかに従います。
  - Windows オペレーティング・システムを使用している場合は CD を CD または DVD ドライブに挿入して、**「スタート」->「ファイル名を指定して実行」**をクリックします。 「**名前**」フィールドに次のように入力します。

    ```
    e:¥win32.bat
    ```

    ここで、*e* は CD または DVD ドライブのドライブ名です。「**OK**」をクリックします。
  - Red Hat Linux を使用している場合は、CD を CD または DVD ドライブに挿入し、/mnt/cdrom ディレクトリーから次のコマンドを実行します。

    ```
    sh runlinux.sh
    ```

「**Product**」メニューからサーバーを選択します。 「**Available Topics**」リストに、該当のサーバーに関するすべての文書が表示されます。 文書によっては、フォルダーになっているものもあります。 正符号 (+) は、追加の文書を持っている各フォルダーまたは文書を示します。 追加の文書を表示するには、正符号をクリックします。

文書を選択すると、その文書の説明が「**Topic Description**」の下に表示されます。 複数の文書を選択するには、Ctrl キーを押したままそれらの文書を選択します。選

択した文書を Acrobat Reader または xpdf で表示するには、「**View Book**」をクリックします。 複数の文書を選択した場合は、選択したすべての文書が Acrobat Reader または xpdf で表示されます。

すべての文書を検索するには、ワードまたはワード・ストリングを「**Search**」フィールドに入力し、「**Search**」をクリックします。 ワードまたはワード・ストリングが出現する資料が、出現回数の多い順にリストされます。 その資料をクリックして表示し、資料内で Crtl+F を押して Acrobat の検索機能を使用するか、Alt+F を押して xpdf の検索機能を使用します。

Documentation Browser の使用法について詳しくは、「**Help**」をクリックしてください。

関連資料

本「*インストールとサービスのガイド*」には、サーバーのセットアップと配線の方法、サポートされるオプション装置の取り付け方法、およびサーバーの構成方法、さらに問題解決の手助けとなるユーザーのための情報およびサービス技術員のための情報など、サーバーに関する一般情報が記載されています。 サーバーには、以下の資料も付属しています。

- *IBM 保証情報*

  この資料は、印刷形式でサーバーに付属します。 この資料には、保証条件と、IBM Web サイト上の「IBM 保証の内容と制限」へのポインターが記載されています。
- *重要事項*

  この資料は、印刷形式でサーバーに付属します。 ご使用の IBM 製品の安全、環境、および電波障害自主規制特記事項が記載されています。
- *Environmental Notices and User Guide*

  この資料は、IBM *Documentation* CD に PDF 形式で収められています。 この資料には、翻訳された環境上の注意が記載されています。
- *System x Documentation*

  CD。この資料には、翻訳された環境上の注意が記載されています。
- *IBM 機械コードのご使用条件*

  この資料は、IBM *Documentation* CD 上に PDF 形式で収められています。 ご使用の製品用の翻訳された「*IBM 機械コードのご使用条件*」が記載されています。
- *Licenses and Attributions Document*

  この資料は、IBM *Documentation* CD 上に PDF 形式で収められています。 オープン・ソースの注意が記載されています。
- *Safety Information*

  この資料は、IBM *System x Documentation* CD に PDF 形式で収められています。 この資料には、注意と危険の注記の翻訳が記載されています。 この文書に

記載された注意と危険の注記にはそれぞれ番号が割り当てられており、これを使用して、「*Safety Information*」の中にご使用の言語で書かれた対応する注記を見付けることができます。

- *Safety Labels*

  この資料は、IBM *System x Documentation* CD に PDF 形式で収められています。 この資料には、製品の安全ラベルの中国語 (簡体字)、モンゴル語、チベット語、ウィグル語、およびチワン語の翻訳バージョンが提供されています。

サーバー・モデルによっては、追加の資料が IBM *System x Documentation* CD に入っている場合があります。

System x および BladeCenter の Tools Center は、ファームウェア、デバイス・ドライバー、およびオペレーティング・システムの更新、管理、および展開用のツールに関する情報を記載しているオンライン・インフォメーション・センターです。 System x および BladeCenter の Tools Center は、http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/toolsctr/v1r0/index.jsp にあります。

サーバーは、サーバー付属の資料では説明されていないフィーチャーを備えていることがあります。 資料は、このようなフィーチャーに関する情報を組み込むために随時更新される可能性があり、また、サーバーの資料に含まれていない追加情報を提供するための技術更新情報を利用できる場合があります。 このような更新は IBM Web サイトで入手できます。 更新を確認するには、http://www.ibm.com/supportportal/ にアクセスしてください。

本書で使用する注記

本書の注意および危険に関する注記は、IBM *System x Documentation* CD に収められている複数言語による「*Safety Information*」資料にも記載されています。 安全に関する各注記には番号が付いています。この番号を使用して、「*Safety Information*」資料の中で、対応する自国語の注記を見つけることができます。

本書では、次の注記が使用されます。

- **注:** この注記には、重要なヒント、ガイダンス、助言が書かれています。
- **重要:** この注記には、不都合な、または問題のある状態を避けるために役立つ情報または助言が書かれています。また、これらの注記は、プログラム、デバイス、またはデータに損傷を及ぼすおそれのあることを示します。 「重要」の注記は、損傷を起こすおそれのある指示や状態の記述の直前に書かれています。
- **注意:** この注記は、ユーザーに対して危険が生じる可能性がある状態を示します。 「注意」の注記は、危険となりうる手順または状態の記述の直前に書かれています。
- **危険:** これらの注記は、ユーザーに対して致命的あるいはきわめて危険となりうる状態を示します。 「危険」の注記は、致命的あるいはきわめて危険となりうる手順または状態の記述の直前に書かれています。

サーバーの機能および仕様

次の表は、ご使用のサーバーの機能および仕様を要約したものです。 ご使用のモデルによっては、一部の機能が使用できなかったり、一部の仕様が適用されない場合があります。

表 1. サーバーの機能および仕様

マイクロプロセッサー (モデルにより異なる):

- 最大 2 個の Intel Xeon™ EN E5-2400 シリーズ・マルチコア・マイクロプロセッサー (統合メモリー・コントローラー (IMC) および Quick Path Interconnect (QPI) アーキテクチャーを搭載) をサポートします。
- 最大 20 MB のラスト・レベル・キャッシュ (LLC)
- 1 つの最大 8 GT (ギガ転送)/秒の QuickPath Interconnect (QPI) リンク速度
- システム・ボードのマイクロプロセッサーごとに 3 つのメモリー・チャネル DDR3 (チャネルあたり 2 つの DIMM をサポート)

注:

- マイクロプロセッサーのタイプと速度を判別するには、Setup ユーティリティー・プログラムを使用します。
- サポートされるマイクロプロセッサーのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us を参照してください。

ファン:

- サーバーには、マイクロプロセッサー 1 個の構成につき 2 つの速度制御機能付きファンが標準で取り付けられています。
- マイクロプロセッサー 2 個の構成では、最大 4 つのファン (冗長ファン 1 つを含む) をサポートします。

メモリー:

- スロット: 6 個の DIMM コネクター (マイクロプロセッサー 2 拡張ボードが取り付けられている場合は、12 個の DIMM コネクター)
- 最小: 2 GB
- 最大: 最大 384 GB (マイクロプロセッサー 2 拡張ボードが取り付けられている場合)
  - 96 GB (Unbuffered DIMM (UDIMM) 使用時)
  - 192 GB (registered DIMMS (RDIMM) 使用時)
  - 384 GB (Load Reduction DIMM 使用時)
- タイプ:
  - 1066、1333 または 1600 MHz
  - Single-rank、Dual-rank、または Quad-rank DDR3
  - UDIMM/RDIMM/Load Reduced DIMM (LR-DIMM)、最大 32 GB
- サポート:
  - UDIMM: 2 GB、4 GB、または 8 GB
  - RDIMM: 2 GB、4 GB、8 GB、16 GB
  - LRDIMM: 8 GB、16 GB、または 32 GB (32 GB は 2013 年の上半期に入手可能になります)

ドライブ:

- ディスケット: 外部 USB ハード・ディスク
- サポートされるハード・ディスク (HDD):
  - デフォルトで 4 つの 3.5 型ホット・スワップ/シンプル・スワップ SATA HDD (FoD キーを使用して 8 つの 3.5 型ホット・スワップ/シンプル・スワップ SATA HDD にアップグレード可能)
  - デフォルトで 8 つの 2.5 型ホット・スワップ SAS/SATA HDD (オプションのハードウェア・アップグレード・キットを使用して 16 個の 2.5 型ホット・スワップ SAS/SATA HDD にアップグレード可能)

注:

- LSI C105 ServeRAID は SATA HDD モデルのみサポートします。
- LSI C105 は VMware をサポートしていません。
- システム・ボードでは、並列 IDE/ATA インターフェースはサポートされません。フロッピー・ディスク・インターフェース・コネクターおよび組み込みフロッピー・ディスク・ドライブは、いずれもサポートされていません。

オプションの SATA 光学式ドライブ:

- 2 つの Patsburg SATA ポート:
  - DVD-ROM
  - Multi-Burner (Rambo)

表 1. サーバーの機能および仕様 (続き)

RAID コントローラー:

- ServeRAID C105 は最大 8 つの SATA ポートをサポートします
  - RAID レベル 0、1 および 10 のサポート
  - 3.5 型 SATA 3TB HDD のサポート
  - HDD シンプル・スワップおよびホット・スワップのサポート
  - デフォルトで 4 つの SATA HDD (FoD キーを使用して 8 つの SATA HDD にアップグレード可能) のサポート

注:

- 2.5" システムでは、SAS RAID コントローラーから SAS ハード・ディスク・バックプレーンに接続する 2 つの内部 SAS ケーブル。 バックプレーンの 1 つのタイプは 8 つの 2.5" ホット・スワップ HDD のサポートに使用されます。また、このシステムでは 2 タイプのバックプレーンを使用して 16 個の 2.5 型ホット・スワップ HDD をサポートします。
- 3.5" システムにおいて、必要なバックプレーンで 8 つの 3.5" ホット・スワップ HDD をサポートするには、2 つの内部 SAS ケーブルが必要です。

PCI および PCI-X 拡張スロット:

- システム・ボード上に 6 個の PCI-e 拡張スロット
  - スロット 1: PCI Express 3.0 x8 (x8 配線); フルハイト、ハーフサイズ (2 番目のプロセッサーが必要)
  - スロット 2: PCI Express 3.0 x8 (x8 配線); フルハイト、フルサイズ
  - スロット 3: PCI Express 3.0 x8 (x4 配線); フルハイト、ハーフサイズ
  - スロット 4: PCI Express 3.0 x16 (x8 配線); フルハイト、フルサイズ
  - スロット 5: Gen2 PCI Express x4 (x1 配線); フルハイト、ハーフサイズ
  - スロット 6: Gen2 PCI Express x8 (x4 配線); フルハイト、ハーフサイズ。 PCI-e (IBM System x3500 M4 Type 7383 のもの) から PCI-X へのコンバーター・キットを使用することで、PCI-X 機能を持ちます。
- 1 つの PCI-X スロット (オプション): 64 ビット/133MHz

環境:

IBM System X3300 計算ノードは、ASHRAE クラス A3 仕様に準拠します。

- 電源オン:
  - 温度: 950 m までは 5°C から 40°C。 950 m を超える場合、最高気温は 175 m あたり 1°C 低下します。
  - 湿度 (結露なし): -12°C の露点および 8% から 85% の相対湿度
  - 最大露点: 24°C
  - 最大高度: 3,050 m (ただし、5°C から 28°C)
  - 最大温度変化率: テープ・ドライブの場合、5°C/時。HDD の場合、20°C/時
- 電源オフ:
  - 温度: 5°C から 45°C
  - 相対湿度: 8% から 85%
  - 最大露点: 27°C
- 保管時 (非動作時)
  - 温度: 1°C から 60°C
  - 高度: 3050 m
  - 相対湿度: 5% から 80%
  - 最大露点: 29°C
- 出荷時 (非動作時)
  - 温度: -40°C から 60°C
  - 高度: 10,700 m
  - 相対湿度: 5% から 100%
  - 最大露点: 29°C
- 粒子汚染:

  重要: 浮遊微小粒子や反応性ガスは、単独で、あるいは湿気や気温など他の環境要因と組み合わされることで、サーバーにリスクをもたらす可能性があります。 微粒子およびガスの制限については、 844 ページの『粒子汚染』を参照してください。

発熱量 (消費電力):

- 最小構成: 115 ワット
- 最大構成: 850 ワット

内蔵機能:

- 統合管理モジュール II (IMM2)。これは、サービス・プロセッサー制御およびモニタリング機能、ビデオ・コントローラー、リモート・キーボード、ビデオ、マウス、およびリモート・ハード・ディスク機能を提供します。
- オンボード Intel Powerville Gigabit Ethernet コントローラー (Wake on LAN サポート付き)。 このコントローラーは、オプションの Feature on Demand (FoD) 機能がアクティブ化されている場合、最大 4 つのポートを提供します。
- 「RAID レベル 0、1、および 10 をサポートする Intel PCH SAS/SATA RAID コントローラー」と SW RAID コントローラー ServeRAID C105 を結合します。
- Light Path 診断
- 8 個の USB 2.0 ポート:
  - シャーシ前面に 2 個
  - シャーシ背面に 2 個
  - 2 つの内部 USB ポート: 1 つは組み込みハイパーバイザーを持つオプションの USB フラッシュ・デバイス用、1 つはオプションの USB テープ・ドライブ用
- 1 個のシリアル・コネクター
- 1 個の D-Sub VGA コネクター

表 1. サーバーの機能および仕様 (続き)

パワー・サプライ: • 1 個の 460 ワット固定パワー・サプライ – AEM 機能はサポートしていません – グラフィック・カードはサポートしていません – マイクロプロセッサーが 2 つ取り付けられている場合、HDD は最大で 4 個、PCI カードは最大で 3 個まで可能です • 最大 2 個のホット・スワップ・パワー・サプライ (冗長サプライ用) – 550 ワット AC **注:** 1. グラフィック・カードはサポートしていません 2. 550 ワット AC でマイクロプロセッサーが 2 つ取り付けられている場合、PCI カードは最大で 3 個まで可能です。 – 750 ワット AC **ビデオ・コントローラー (IMM2 に内蔵):** • Matrox G200eR2 – SVGA 互換ビデオ・コントローラー – DDR2 250 MHz SDRAM ビデオ・メモリー・コントローラー – 1 つのアナログ・ビデオ・ポート (背面) – このシステムではビデオ・メモリー 16MB は拡張不可 – Avocent デジタル・ビデオ圧縮 **注:** 最大ビデオ解像度は、75 Hz で 1600 x 1200 です。	**電源入力:** • 正弦波入力 (50 から 60 Hz) 必須 • 自動的に選択される入力電圧 • 低電圧入力: – 最低: 100 V AC – 最高: 127 V ac • 高電圧入力: – 最低: 200 V AC – 最高: 240 V AC • 入力電力 (kVA) (近似値): – 最小: 0.12 kVA – 最大: 0.9 kVA	**音響放出ノイズ:** • 非冗長電源システム - アイドル時: 5.5 ベル、作動中: 5.8 ベル • 冗長電源システム - アイドル時: 6.0 ベル、作動中: 6.3 ベル **シャーシ** • 縦型の 4U ラック・マウント機構 • 物理寸法: 425 mm (高さ) x 176 mm (幅) x 635 mm (奥行) • 質量: 最大構成で約 29.7 kg、または最小構成で約 20 kg (42 lb)

注:

- High IOPS MLC Mono アダプターには IBM System x3300 M4 のラック・タワー変換キットが必要です。High IOPS MLC Mono アダプターはラック・マウント・システムでのみサポートされています。
- サーバー内のパワー・サプライは、電力定格 (ワット数) が同一でなければなりません。
- レガシー 5V PCI アダプターはサポートされません。
- NVIDIA Quadro 600 グラフィックス・アダプターがサポートされている場合、可能な最大メモリーは 128 GB 以下です。
- グラフィック・カード (SPP リスト内の VGA カード) は、フルハイト・ブラケットの PCI スロット 4 にのみ取り付けることができます。 リンクが x8 なので、VGA カードのパフォーマンスが限られる場合があります。

- 電力消費量および発熱量は、取り付けられているオプション機構の数とタイプ、および、使用中のオプションの省電力機能によって異なります。
- 音響レベルは、管理された音響環境のもとで、ISO 7779 の規定の手順に従って測定されたもので、ISO 9296 に従って報告されています。特定の場所における実際の音圧レベルは、室内反響およびその他の近隣の騒音源によって、ここに示した平均値を超える場合があります。 放出ノイズ・レベルは、無作為にサンプルとして抽出されたシステムでの公称 (上限) 音響パワー・レベルを示しています。
- システムに PCI-e アダプターが 3 つ以上取り付けられている場合は、以下の表に記載しているファン構成に関する指示に従う必要があります。

表 2. ファン構成に関する指示

ファン	条件
2 と背面ファン	すべてのシステムの標準
3	1. 2 番目のマイクロプロセッサーが取り付けられている場合、2 番目のマイクロプロセッサー・キット (P/N: 00D2581 から 00D2589) にファンが含まれています。あるいは、 2. システムに PCI-e アダプターが 3 つ以上取り付けられている場合、ファン (P/N: 00D2593) を別個に取り付ける必要があります。
1	オプションの予備ファン (P/N: 00D2593)。 **重要:** 16 GB 1.5V / 32 GB 1.35V DIMM が取り付けられている場合、ファンをもう 1 つ取り付ける必要があります。

サーバーが提供する機能

このサーバーでは、次の機能およびテクノロジーが使用されています。

- **IBM System Director Active Energy Manager**

  IBM Systems Director Active Energy Manager™ (AEM) は、IBM システム内にビルドされたエネルギー・コンポーネントを測定、モニター、および管理し、クロスプラットフォーム管理ソリューションを利用できるようにします。 このソリューションは、お客様が使用可能なエネルギー・リソースを有効利用できるようにエネルギー使用量をモニターする上で役立ちます。 このアプリケーション・ソフトウェアにより、お客様は、さまざまなアプリケーションを含むご使用の環境で稼働する IBM Systems の実際のエネルギー使用量および対応する熱負荷の傾向を分析することができます。 IBM Systems Director および Active Energy Manager の必要なレベルなどの詳細については、*IBM Systems Director* DVD に収録されている IBM Systems Director 資料を参照するか、http://www-03.ibm.com/systems/software/director/aem/index.html を参照してください。

- **IBM Dynamic System Analysis (DSA) Preboot**

  このサーバーは、サーバー上の内蔵 USB メモリーに IBM Dynamic System Analysis (DSA) Preboot 診断プログラムが格納されています。 DSA Preboot は、サーバーの問題の診断に役立つシステム情報を収集および分析し、サーバーの主要コンポーネントの診断テストの豊富なセットを提供します。 DSA Preboot は、サーバーに関する以下の情報を収集します。

– ドライブ・ヘルス情報
– ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサーのイベント・ログ
– ハードウェア・インベントリー情報 (PCI および USB 情報を含む)
– Light Path 診断の状況
– マイクロプロセッサー、I/O ハブ、および UEFI エラー・ログ
– ネットワーク・インターフェースおよび設定
– RAID コントローラー構成
– サービス・プロセッサー (統合管理モジュール II) の状況および構成
– システム構成
– 重要プロダクト・データ、ファームウェア、および UEFI 構成

DSA Preboot は、以下のシステム・コンポーネント (取り付け済みの場合) の診断も提供します。
– Intel ネットワーク・アダプター
– IMM i^2C バス
– Light Path 診断パネル
– メモリー・モジュール
– マイクロプロセッサー
– 光ディスク装置 (CD または DVD)
– SAS または SATA ドライブ

Dynamic System Analysis (DSA) 診断プログラムの両方のエディション (DSA Preboot および Portable) について詳しくは、 162 ページの『DSA のエディション』を参照してください。

- **IBM 次世代テクノロジー**

  IBM 次世代テクノロジー・システムは、実績のある、革新的な IBM 設計を結合して、ユーザーの x86 プロセッサー・ベースのサーバーを、強力で、拡張が容易な、信頼性が高いものにしています。詳しくは、http://www.ibm.com/servers/eserver/xseries/xarchitecture/enterprise/index.html を参照してください。

- **IBM *ServerGuide Setup and Installation* CD**

  Web からダウンロードできる *ServerGuide Setup and Installation* CD には、ユーザーがサーバーをセットアップし、Windows オペレーティング・システムをインストールするのに役立つプログラムが提供されています。 ServerGuide プログラムは、取り付け済みのオプションのハードウェア・デバイスを検出し、適切な構成プログラムとデバイス・ドライバーを提供します。 *ServerGuide Setup and Installation* CD についての詳細は、 113 ページの『ServerGuide Setup and Installation CD の使用』を参照してください。

- **IBM Systems Director CD**

  IBM Systems Director は、よりスマートなコンピューティングを実現するためのプラットフォーム管理バックボーンです。 IBM Smarter Systems ポートフォリオのコンポーネントの要である IBM Systems Director により、Tivoli およびサード・パーティーの管理プラットフォームとの統合を実現でき、統合されたサービ

ス管理のビルディング・ブロックを提供します。詳しくは、*IBM Systems Director* CD の IBM Systems Director 資料および 17 ページの『IBM Systems Director』を参照してください。

- **統合管理モジュール II (IMM2)**

  統合管理モジュール II (IMM2) では、サービス・プロセッサー機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能とブルー・スクリーン・キャプチャー機能が 1 つのチップに組み合わせられています。 IMM2 は、高度なサービス・プロセッサーの制御、モニター、およびアラート機能を提供します。 環境条件がしきい値を超えたり、システム・コンポーネントに障害が起きたりすると、IMM2 は、問題の診断に役立つよう LED を点灯して、IMM イベント・ログにエラーを記録し、ユーザーに問題のアラートを出します。 オプションで、IMM2 はリモート・サーバー管理機能のための仮想プレゼンス機能も提供します。 IMM2 は、以下の業界標準インターフェースを通してリモート・サーバー管理を行います。

  – Intelligent Platform Management Interface (IPMI) バージョン 2.0
  – Simple Network Management Protocol (SNMP) バージョン 3.0
  – Common Information Model (CIM)
  – Web ブラウザー

  追加情報については、 125 ページの『統合管理モジュール II の使用』および http://www.ibm.com/supportportal を参照してください。

- **内蔵ネットワーク・サポート**

  このサーバーには、10 Mbps、100 Mbps、または 1000 Mbps のネットワークへの接続をサポートする Intel Powerville ギガビット・イーサネット・コントローラーが搭載されています。 詳しくは、 131 ページの『Gigabit Ethernet コントローラーの構成』を参照してください。

- **内蔵 Trusted Platform Module (TPM)**

  この内蔵セキュリティー・チップは、暗号機能を実行し、セキュアな秘密鍵と公開鍵を保管します。 これは Trusted Computing Group (TCG) 仕様に対するハードウェア・サポートを提供します。 TCG 仕様をサポートするためのソフトウェアをダウンロードすることができます (ソフトウェアが利用可能な場合)。 TPM インプリメンテーションの詳細については、http://www.ibm.com/servers/eserver/xseries/scalable_family.html を参照してください。 Setup ユーティリティーの「**System Security**」メニュー選択で TPM サポートを使用可能にすることができます (115 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照)。

- **大規模データ・ストレージ容量およびホット・スワップ機能**

  このサーバーは、最大 16 個の 2.5 型ホット・スワップ HDD または 8 個の 3.5 型シンプル・スワップまたはホット・スワップ HDD をサポートすることができます。

  ホット・スワップ機能を使用すると、サーバーの電源をオフにせずに、ハード・ディスクの追加、取り外し、または置き換えを行うことができます。

- **大容量のシステム・メモリー**

サーバー・システムは、プロセッサーごとに 6 つの DIMM スロット、合計で 12 個の DIMM スロットを実装します。 最大で 384 GB までのメモリー (12 DIMM x 32 GB RDIMM/LRDIMM = 384 GB) をサポートします。

このサーバーのメモリー・コントローラーは、最大 12 個の業界標準 PC3-10600R-999 1333 MHz、PC3-12800 1600 MHz、および PC3-8500 1066 MHz (single-rank または dual-rank)、DDR3 (第 3 世代 double data rate)、registered または unbuffered SDRAM (synchronous DRAM) デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) に対するエラー修正コード (ECC) をサポートします。

- **IBM Service Information Web サイトへのモバイル・アクセス**

  サーバーには、サーバーのカバーにあるシステム・サービス・ラベルに QR コードが記載されています。モバイル・デバイスの QR コード・リーダーとスキャナーを使用してこのコードをスキャンすると、IBM Service Information Web サイトにすぐにアクセスすることができます。IBM Service Information Web サイトでは、追加情報として部品の取り付けや交換用のビデオ、およびサーバー・サポートのためのエラー・コードが提供されます。QR コードについては、 1 ページの『第 1 章 IBM System x3300 M4 Type 7382 サーバー』 のページにある QR コード情報を参照してください。

- **マルチコア・プロセッサー**

  サーバー・モデルに応じて、サーバーでは、最大 2 個の Intel Xeon™ EN E5-2400 シリーズのマイクロプロセッサーがサポートされます。 このサーバーには、1 個のマイクロプロセッサーのみが取り付けられています。

- **PCI Express アダプター機能**

  システム・ボードには、6 つの PCI Express スロットがあります。 スロット 1 は、マイクロプロセッサー 2 が取り付けられている場合のみ機能します。 スロット 6 は、PCIe から PCI-X へのコンバーター・キットを使用することで、PCI-X 機能を持ちます。 詳しくは、 72 ページの『アダプターの取り付け』を参照してください。

- **冗長接続**

  Intel Gigabit Ethernet コントローラーは、 適切なアプリケーションをインストールすることで、冗長イーサネット接続に (デュアル・ポート) フェイルオーバー機能を提供します。 プライマリー・イーサネット接続に問題が発生し、オプションのイーサネット・アダプターがサーバーに取り付けられている場合、このプライマリー接続に関連するすべてのイーサネット・トラフィックは、自動的に オプションのイーサネット接続に切り替えられます。 該当するデバイス・ドライバーがインストールされている場合、この切り替えによるデータ損失は発生せず、ユーザー介入も不要です。

  Gigatbit Ethernet コントローラーのポート 3 および 4 を使用可能にするには、機能アップグレード・キー (IBM 部品番号 90Y4349) が必要です。 製品機能のアクティベーションの詳細については、/http://www.ibm.com/systems/x/fod/を参照してください。

- **冷却およびオプションの電源機能**

サーバーは最大構成で、最大 4 つの速度制御機能付きシンプル・スワップ・ファンをサポートします。

サーバーには、1 個の固定 460 ワット、あるいは 2 個のホット・スワップ 550 ワットまたは 750 ワットのパワー・サプライが取り付けられています。 サーバーは、最大 2 個の 550 ワット、または 2 個の 750 ワットのホット・スワップ・パワー・サプライをサポートします。

ホット・スワップ・モデルの冗長性をサポートするためには、2 つのパワー・サプライをサーバーに取り付ける必要があります。 2 つのパワー・サプライにより、パワー・サプライの 1 つに障害が起きても、操作を続行できます。

- **ServeRAID サポート**

  ServeRAID アダプターは、構成を形成するためのハードウェア RAID (新磁気ディスク制御機構) サポートを提供します。 標準 RAID アダプターは、RAID レベル 0、1、および 10 を提供します。 オプションの RAID アダプターもオーダーできます。

- **Service Advisor**

  サーバーには、Service Advisor 機能が備わっています。この機能は、システムが障害を検出した場合はデータを収集し、そのデータを問題判別のために IBM サービスに送信します。 さらに、この機能には問題発生時、自動的に IBM サービスを呼び出すコール・ホーム機能も含まれています。 Service Advisor 機能は統合管理モジュール II (IMM2) に組み込まれています。 Service Advisor 機能は、使用する前にセットアップして構成する必要があります。 Service Advisor 機能のセットアップと構成方法について詳しくは、「*Integrated Management Module User's Guide*」(http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=migr-5086346) を参照してください。

- **システム管理機能**

  サーバーには統合管理モジュール II (IMM2) が備わっています。 サーバーに付属のシステム管理ソフトウェアと一緒に IMM を使用すると、サーバーの機能をローカルでもリモート側でも管理することができます。 IMM は、システム・モニタリング、イベント記録、およびネットワーク・アラート機能も提供します。 サーバー背面にあるシステム管理コネクターは IMM 専用です。 専用のシステム管理コネクターは、管理ネットワーク・トラフィックを実動ネットワークから物理的に分離することによってセキュリティーを強化します。 Setup ユーティリティーを使用して、専用のシステム管理ネットワークまたは共用ネットワークを使用するようにサーバーを構成できます。

表 3. ネットワーク構成とイーサネット・ポート

ネットワーク構成	**イーサネット・ポート 1**	**イーサネット・ポート 2**	**イーサネット・ポート 3 (オプションとして FOD 経由)**	**イーサネット・ポート 4 (オプションとして FOD 経由)**
専用ネットワーク・インターフェース・ポート (デフォルト)	実動イーサネット	IMM2 専用	実動イーサネット	実動イーサネット

表 3. ネットワーク構成とイーサネット・ポート (続き)

ネットワーク構成	イーサネット・ポート 1	イーサネット・ポート 2	イーサネット・ポート 3 (オプションとして FOD 経由)	イーサネット・ポート 4 (オプションとして FOD 経由)
共有ネットワーク・インターフェース・ポート	実動イーサネットと IMM2 によって共有	実動イーサネット	実動イーサネット	実動イーサネット

- **UEFI 準拠サーバー・ファームウェア**

  UEFI ファームウェアには、Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) バージョン 2.1 準拠、Active Energy Management (AEM) テクノロジー、RAS (信頼性、可用性、保守容易性) 拡張機能、基本入出力システム (BIOS) 互換性サポートなどの機能が備わっています。 UEFI は、BIOS に代わるものであり、オペレーティング・システム、プラットフォーム・ファームウェア、外部装置間の標準インターフェースを定義します。 サーバーは、UEFI 準拠オペレーティング・システム、BIOS ベースのオペレーティング・システム、および BIOS ベースのアダプターのほか、UEFI 準拠アダプターをブートすることができます。 UEFI 準拠ファームウェアについて詳しくは、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=MIGR-5083207 にアクセスしてください。

  注: このサーバーは DOS (ディスク・オペレーティング・システム) をサポートしません。

- **VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー**

  VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー・ソフトウェア付きのオプションの USB フラッシュ・デバイスを購入することができます。 ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが 1 つのホスト・システム上で同時に稼働できるようにする仮想化ソフトウェアです。 詳しくは、127 ページの『組み込みハイパーバイザーの使用』を参照してください。

信頼性、可用性、および保守容易性

サーバーの設計上で最も重要な 3 つの要素は、信頼性 (reliability)、可用性 (availability)、および保守容易性 (serviceability) (RAS) です。 RAS 機能によって、サーバーに保管されているデータの保全性を保ち、サーバーが必要なときに使用できるようにし、問題を容易に診断して修理することができます。

ご使用のサーバーには、次の RAS 機能があります。

- 部品に対して 3 年間、作業に対して 3 年間の限定保証 (マシン・タイプ 7382)
- 24 時間サポート・センター
- 自動エラー再試行およびリカバリー
- マスク不可割り込み (NMI) 時の自動再始動
- 電源障害後の自動再始動
- 統合管理モジュール II (IMM2) の制御下での基本入出力システム・スイッチングのバックアップ
- ファン、電源、温度、電圧、およびパワー・サプライの冗長性のための組み込みモニター

- ほとんどのコネクターに装備されているケーブルの有無の検出機能
- Chipkill メモリー保護
- ServeRAID およびイーサネット・アダプターの診断サポート
- エラー・コードおよびメッセージ
- エラー修正コード (ECC) L3 キャッシュおよびシステム・メモリー
- 速度感知機能付きのシンプル・スワップ冷却ファン
- ホット・スワップ・ハード・ディスク・ドライブ
- 情報および Light Path 診断 LED パネル
- 統合管理モジュール II (IMM2)
- メモリー DIMM、マイクロプロセッサー、ハード・ディスク、パワー・サプライ、およびファンの Light Path 診断 LED
- メモリー・ミラーリング・チャネル・サポート (メモリー・ミラーリング・チャネルは相互に排他的です)
- メモリー・エラー修正コードおよびパリティー・テスト
- メモリー・サイズの縮小 (非ミラーリング・メモリー)。 ミラーリングされていない訂正不能エラーをメモリー・コントローラーが検出した後にサーバーを再始動し、メモリー・コントローラーが操作上の回復をできない場合、IMM は訂正不能エラーをログに記録して POST に通知します。 POST は、訂正不能エラーがあるメモリーを論理的にマップから外し、サーバーは残りの取り付け済みメモリーを使用して再始動します。
- メニュー方式のセットアップ、システム構成、および RAID 構成プログラム
- マイクロプロセッサーの組み込みセルフテスト (BIST)、内部エラー・シグナル・モニター、内部サーマル・トリップ・シグナル・モニター、構成検査、および Light Path 診断によるマイクロプロセッサーと電圧調節モジュールの障害識別
- SCSI バスおよび PCI-E バスのパリティー・チェック
- 電源管理: 拡張構成と電力インターフェース (ACPI) 準拠
- POST (パワーオン・セルフテスト)
- メモリー、マイクロプロセッサー、SAS/SATA ハード・ディスクまたはソリッド・ステート・ドライブ、ファン、パワー・サプライ、および VRM の 障害予知機能 (PFA) アラート
- フェイルオーバー・サポート付き冗長イーサネット機能
- リダンダント・ホット・スワップ・パワー・サプライ
- 冗長ネットワーク・インターフェース・カード (NIC) サポート
- オプションの拡張オペレーター情報パネルのシステム・エラー LED を一時的にオフにするためのリマインド・ボタン
- リモートのシステム問題判別のサポート
- ROM ベースの診断
- ROM チェックサム
- メモリー、システム・ボード上の VPD、パワー・サプライ、およびハード・ディスクまたはソリッド・ステート・ドライブのバックプレーン、マイクロプロセッサーとメモリー拡張トレイ、およびイーサネット・カードに関する Serial Presence Detection (SPD)
- Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) による過度の訂正可能エラーまたは複数 bit エラーの DIMM 分離
- システム管理機能およびモニター用のスタンバイ電圧
- リモート初期プログラム・ロード (RIPL) または動的ホスト構成プロトコル/ブート・プロトコル (DHCP/BOOTP) を使用した LAN からの始動 (ブート)
- 構成メニューからのシステム自動構成

- システム・エラー・ログ (POST および IMM)
- Inter-Integrated Circuit (I2C) プロトコル・バスを通じたシステム管理モニター
- 訂正不能エラー (UE) の検出
- ローカルでの、または LAN 経由による、アップグレード可能 POST、Unified Extensible Firmware Interface (UEFI)、診断、IMM ファームウェア、および読み取り専用メモリー (ROM) 常駐コード
- マイクロプロセッサー、システム・ボード、パワー・サプライ、および SAS/SATA (ホット・スワップ・ハード・ディスク) バックプレーンに関する重要プロダクト・データ (VPD)
- Wake on LAN 機能

IBM Systems Director

IBM Systems Director は、物理システムと仮想システムを管理する方法を簡素化するプラットフォーム管理の基盤となり、IBM および IBM 以外の x86 プラットフォームで複数のオペレーティング・システムと仮想化テクノロジーをサポートします。

IBM Systems Director は、管理対象システムの表示、これらのシステム間の関連性の判別、システムの状況の識別、技術リソースとビジネス・ニーズとの関連付けを行うために、1 つのユーザー・インターフェースを使用した一貫性のあるビューを提供します。 IBM Systems Director に組み込まれた一連の共通タスクには、基本管理に必要な主要機能が多数あり、ビジネスにすぐに役立つ価値をもたらします。 共通タスクには以下のものがあります。

- 検出
- インベントリー
- 構成
- システム・ヘルス
- モニター
- 更新
- イベント通知
- 管理対象システムの自動化

IBM Systems Director の Web インターフェースとコマンド・ライン・インターフェースは、以下の一般的なタスクと機能の実行に重点を置いた一貫性のあるインターフェースです。

- ネットワーク上のシステムを詳しいインベントリーと他のネットワーク・リソースとの関連を用いて検出、ナビゲート、および視覚化します。
- システムで発生した問題とその問題の発生元を分離する方法をユーザーに通知します。
- システムの更新が必要なときにユーザーに通知し、定期的に更新を配布してインストールします。
- システムのリアルタイム・データを分析し、新たに発生した問題を管理者に通知する重要なしきい値を設定します。
- 単一システムの設定を構成し、この設定を複数のシステムに適用できる構成プランを作成します。

- インストール済みのプラグインを更新して、新しい機能や特性を基本機能に追加します。
- 仮想リソースのライフ・サイクルを管理します。

IBM Systems Director について詳しくは、 IBM Systems Director Information Center (http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/director/v6r1x/index.jsp?topic=/director_6.1/fqm0_main.html) および Systems Management Web ページ (http://www.ibm.com/systems/management) を参照してください。このサイトには、IBM Systems Management と IBM Systems Director の概要が掲載されています。

Update*Xpress* System Pack Installer

Update*Xpress* System Pack Installer は、ご使用のサーバーでサポートされ、インストールされているデバイス・ドライバーおよびファームウェアを検出し、使用可能なアップデートをインストールします。

Update*Xpress* システム・パック・インストーラーの追加情報およびダウンロードについては、ToolsCenter for System x and BladeCenter (http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-XPRESS#uxspinstall) にアクセスし、「**UpdateXpress System Pack Installer**」をクリックします。

サーバーのコントロール、LED、および電源

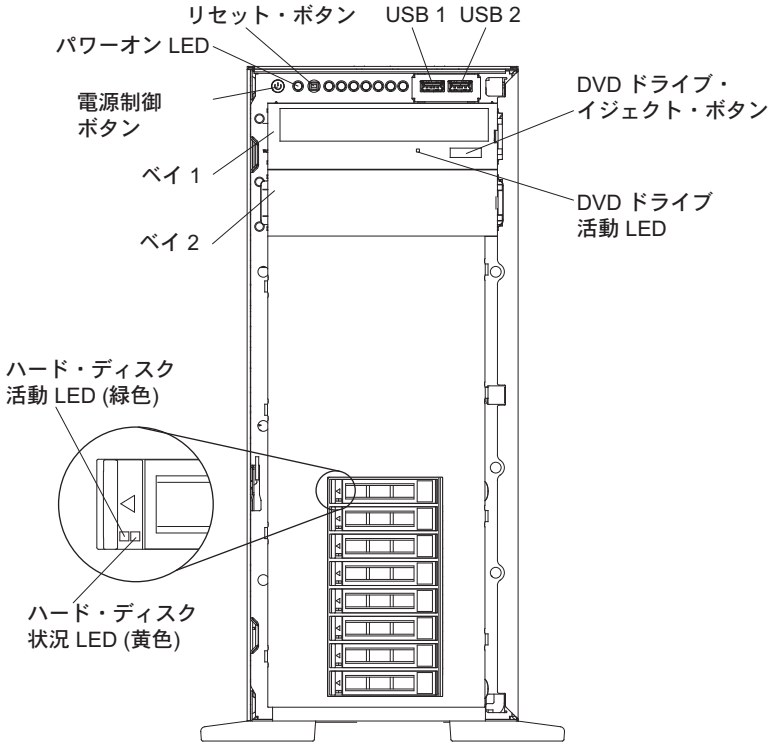
このセクションでは、サーバーの前面と背面にあるコントロール、発光ダイオード (LED)、およびサーバーのオン/オフの方法について説明します。

システム・ボード上のその他の LED の位置については、 38 ページの『システム・ボードの LED』を参照してください。

前面図

次の図は、サーバーの前面にあるコントロール、LED、およびコネクターを示したものです。

注: 前面ベゼルは図示されていないため、ドライブ・ベイが見えています。



- **電源制御ボタン:** このボタンを押すと、サーバーの電源を手動でオンまたはオフにすることができます。
- **パワーオン LED:** この LED が点灯していて点滅していない場合、サーバーの電源がオンになっていることを示します。 パワーオン LED の状態は以下のとおりです。
  - **オフ:** 電源が入っていないか、パワー・サプライまたは LED 自体に障害があります。
  - **高速で点滅 (1 秒間に 4 回):** サーバーはオフであり、オンにする準備ができていません。 電源制御ボタンは使用不可です。 この状態は約 5 秒から 10 秒継続します。
  - **低速で点滅 (1 秒間に 1 回):** サーバーはオフであり、オンにする準備ができています。 電源制御ボタンを押して、サーバーをオンにすることができます。
  - **点灯:** サーバーの電源はオンになっています。
- **ハード・ディスク状況 LED:** これらの LED はホット・スワップ SAS または SATA ハード・ディスク上で使用されます。 それぞれのホット・スワップ・ハード・ディスクには活動 LED があり、この LED が点滅しているときは、ドライブが使用中であることを示します。
- **ハード・ディスク状況 LED:** この LED はホット・スワップ SAS または SATA ハード・ディスク上で使用されます。 この LED が点灯したままになっているときは、ドライブに障害が発生したことを示します。 オプションの IBM ServeRAID コントローラーがサーバーに取り付けられている場合、この LED がゆっくりと (1 秒に 1 回) 点滅しているときは、ドライブが再構成されているこ

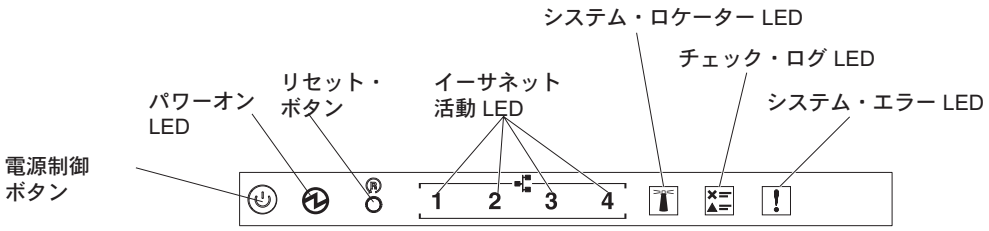
とを示します。 LED が素早く (1 秒に 3 回) 点滅するときは、コントローラーがドライブを識別していることを示します。

- **DVD ドライブ・イジェクト・ボタン:** このボタンは、DVD または CD を DVD ドライブから取り出すために使用します。
- **DVD ドライブ活動 LED:** この LED が点灯しているときは、DVD ドライブが使用中であることを示します。
- **オペレーター情報パネル:** このパネルには、コントロールと、サーバーの状況を示す LED が装備されています。オペレーター情報パネルのコントロールと LED については、『オペレーター情報パネル』を参照してください。
- **リセット・ボタン:** サーバーをリセットし、パワーオン・セルフテスト (POST) を実行するときに、このボタンを押します。 このボタンを押すには、ペンまたはまっすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先を使用するとよいかもしれません。 リセット・ボタンは、Light Path 診断パネルの右下隅にあります。
- **USB コネクター:** USB マウス、キーボード、またはその他のデバイスなど、USB デバイスは、これらのコネクターのいずれかに接続します。

オペレーター情報パネル

このセクションでは、オペレーター情報パネル上のコントロールおよび LED を示しています。

次の図は、サーバーに標準で付属しているオペレーター情報パネル上のコントロールと LED を示しています。



- **電源制御ボタン:** このボタンを押すと、サーバーの電源を手動でオンまたはオフにすることができます。
- **パワーオン LED:** この LED が点灯していて点滅していない場合、サーバーの電源がオンになっていることを示します。 パワーオン LED の状態は以下のとおりです。
  - **オフ:** 電源が入っていないか、パワー・サプライまたは LED 自体に障害があります。
  - **高速で点滅 (1 秒間に 4 回):** サーバーはオフであり、オンにする準備ができていません。 電源制御ボタンは使用不可です。 この状態は約 5 秒から 10 秒継続します。
  - **低速で点滅 (1 秒間に 1 回):** サーバーはオフであり、オンにする準備ができています。 電源制御ボタンを押して、サーバーをオンにすることができます。
  - **点灯:** サーバーの電源はオンになっています。

- **イーサネット活動 LED:** これらの LED のいずれかが点滅または明滅している場合は、サーバーがその LED に対応するイーサネット・ポートに接続されたイーサネット LAN との間で信号を送受信していることを示します。
- **システム・ロケーター LED:** この青色の LED は、複数のサーバーの中から該当のサーバーを視覚的に見つけるために使用します。IBM Systems Director を使用して、この LED をリモート側で点灯させることができます。 この LED は IMM によって制御されます。 システム・ロケーター LED をオンにすると、LED が点滅し、オフにするまで点滅が続きます。
- **チェック・ログ LED:** この黄色の LED が点灯している場合、システム・エラーが発生したことを示しています。 追加情報がないか、エラー・ログを確認してください。 イベント・ログについての詳細は、 156 ページの『イベント・ログ』を参照してください。
- **システム・エラー LED:** この黄色の LED が点灯している場合、システム・エラーが発生したことを示しています。 この LED は IMM によって制御されます。
- **リセット・ボタン:** サーバーをリセットし、パワーオン・セルフテスト (POST) を実行するときに、このボタンを押します。 このボタンを押すには、ペンまたはまっすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先を使用するとよいかもしれません。

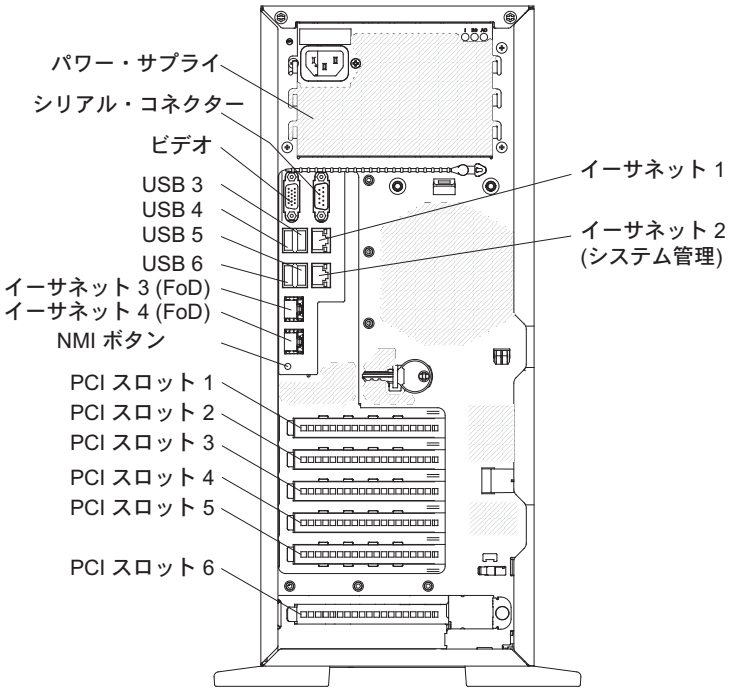
  注: サーバーに取り付けられているオペレーター情報パネルのタイプに応じて、リセット・ボタンはオペレーター情報パネル上かライト・パス診断パネル上にあります。

次の表では、オペレーター情報パネル上の LED および検出された問題を修正するための推奨アクションについて説明します。

LED	説明	処置
システム・ロケーター (青色)	複数のサーバーの中から該当のサーバーを視覚的に見付けるときに、この LED を使用します。 IBM Systems Director または IMM を使用して、この LED をリモートで点灯させることができます。	
チェック・ログ (黄色)	エラーが発生しており、特定の手順を実行しなければ切り分けることができません。	1. IMM システム・イベント・ログおよびシステム・エラー・ログで、このエラーに関する情報を確認してください。 2. 必要に応じてログを保存した後、そのログをクリアします。
システム・エラー (黄色)	エラーが発生しました。	1. Light Path 診断 LED を確認し、指示に従います。 2. IMM システム・イベント・ログおよびシステム・エラー・ログで、このエラーに関する情報を確認してください。 3. 必要に応じてログを保存した後、そのログをクリアします。

背面図

次の図は、サーバー背面にあるコネクターを示しています。



- **NMI ボタン:** このボタンを押すと、マイクロプロセッサーに対するマスク不能割り込みを強制的に発生させます。 これにより、サーバーをブルー・スクリーンにして、メモリー・ダンプを取ることができます (このボタンを使用するのは、IBM サービス・サポートに指示された場合のみにしてください)。 このボタンを押すには、ペンまたはまっすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先を使用するとよいかもしれません。
- **PCI-e スロット 1:** このスロットには、ハーフサイズ、フルハイトの PCI Express アダプターまたは PCI-X 変換コネクター・カードを差し込みます。 これらのライザー・カードでサポートされるアダプターについては、72 ページの『アダプターの取り付け』を参照してください。

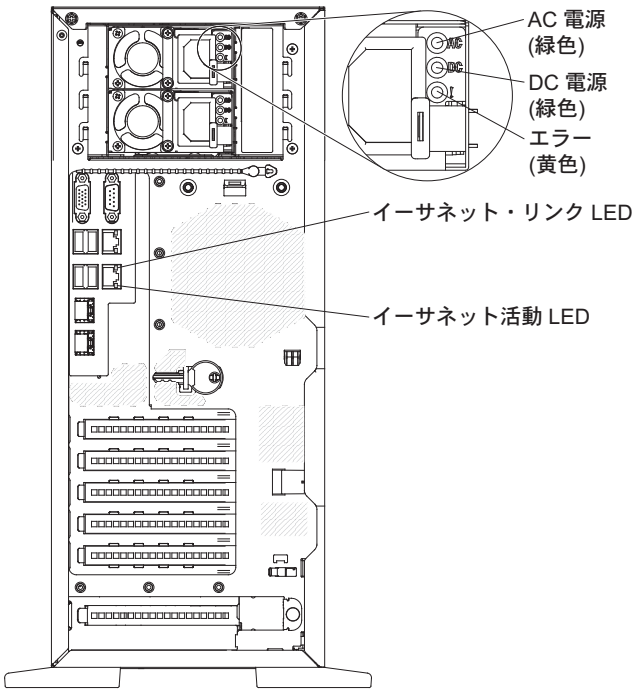
  注: これは、マイクロプロセッサー 2 が取り付けられている場合のみ機能します。
- **PCI-e スロット 2:** このスロットに、フルサイズ、フルハイトの PCI Express アダプターを差し込みます。 このライザー・カードがサポートするアダプターについては、72 ページの『アダプターの取り付け』を参照してください。
- **PCI-e スロット 3:** このスロットにハーフサイズ、フルハイトの PCI Express アダプターを差し込みます。 このライザー・カードがサポートするアダプターについては、72 ページの『アダプターの取り付け』を参照してください。
- **PCI-e スロット 4:** このスロットに、フルサイズ、フルハイトの PCI Express アダプターを差し込みます。 このライザー・カードがサポートするアダプターについては、72 ページの『アダプターの取り付け』を参照してください。

- **PCI-e スロット 5:** このスロットにハーフサイズ、フルハイトの PCI Express アダプターを差し込みます。 このライザー・カードがサポートするアダプターについては、 72 ページの『アダプターの取り付け』を参照してください。
- **PCI-e スロット 6:** このスロットにハーフサイズ、フルハイトの PCI Express アダプターを差し込みます。 このライザー・カードがサポートするアダプターについては、 72 ページの『アダプターの取り付け』を参照してください。

  注: これは、IBM System x3500 M4 Type 7383 の PCI-e から PCI-X へのコンバーター・キットを使用することで、PCI-X 機能を持ちます。
- **電源コネクター:** このコネクターには、電源コードを接続します。
- **ビデオ・コネクター:** モニターをこのコネクターに接続します。

  注: 最大ビデオ解像度は、75 Hz で 1600 x 1200 です。
- **シリアル・コネクター:** 9 ピンのシリアル装置をこのコネクターに接続します。シリアル・ポートは、統合管理モジュール II (IMM2) と共用されます。 IMM2 は、Serial over LAN (SOL) を使用して、共用シリアル・ポートを制御してシリアル・トラフィックのリダイレクトを行うことができます。
- **USB コネクター:** USB マウスやキーボードなどの USB デバイスは、これらのコネクターのいずれかに接続します。
- **イーサネット・コネクター:** これらのコネクターはどちらも、サーバーをネットワークに接続するのに使用します。

次の図は、サーバー背面にある LED を示しています。



- **AC 電源 LED:** 各パワー・サプライには、AC 電源 LED があります。 AC 電源 LED が点灯している場合は、十分な電力が電源コードを介してパワー・サプライに供給されていることを示します。 通常の動作時には、AC と DC の両方の電源 LED が点灯します。 この他の LED の組み合わせについては、 18 ページの『サーバーのコントロール、LED、および電源』を参照してください。

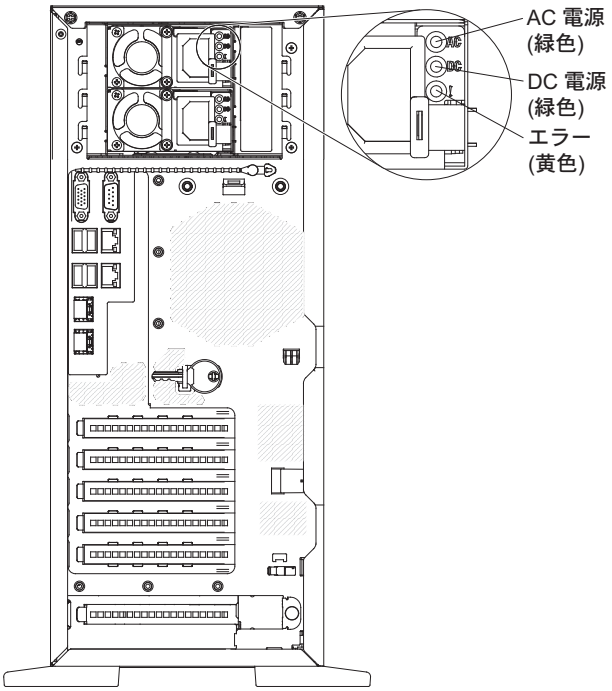
- **DC 電源 LED:** 各パワー・サプライには DC 電源 LED があります。 DC 電源が点灯している場合は、パワー・サプライが十分な DC 電源をシステムに供給していることを示します。 通常の動作時には、AC と DC の両方の電源 LED が点灯します。 この他の LED の組み合わせについては、 18 ページの『サーバーのコントロール、LED、および電源』を参照してください。
- **パワー・サプライ・エラー LED:** パワー・サプライ・エラー LED が点灯している場合、パワー・サプライに障害が発生したことを示しています。

  注: 冗長パワー・サプライ・システムでは、パワー・サプライ 1 はデフォルトの 1 次パワー・サプライです。パワー・サプライ 1 に障害が起きた場合は、ただちに交換する必要があります。
- **USB コネクター:** これらのコネクターのいずれかに USB 装置を接続します。
- **イーサネット活動 LED:** これらの LED が点灯している場合、サーバーが、イーサネット・ポートに接続されたイーサネット LAN との間で信号の送信または受信を行っていることを示します。
- **イーサネット・リンク LED:** この LED が点灯しているときは、イーサネット・ポートの 10BASE-T、100BASE-TX、または 1000BASE-TX のインターフェース上にアクティブなリンク接続があることを示します。
- **イーサネット・コネクター:** これらのコネクターはどちらも、サーバーをネットワークに接続するのに使用します。 イーサネット 1 コネクターを使用する場合、単一のネットワーク・ケーブルを使用してネットワークを IMM と共用できます。

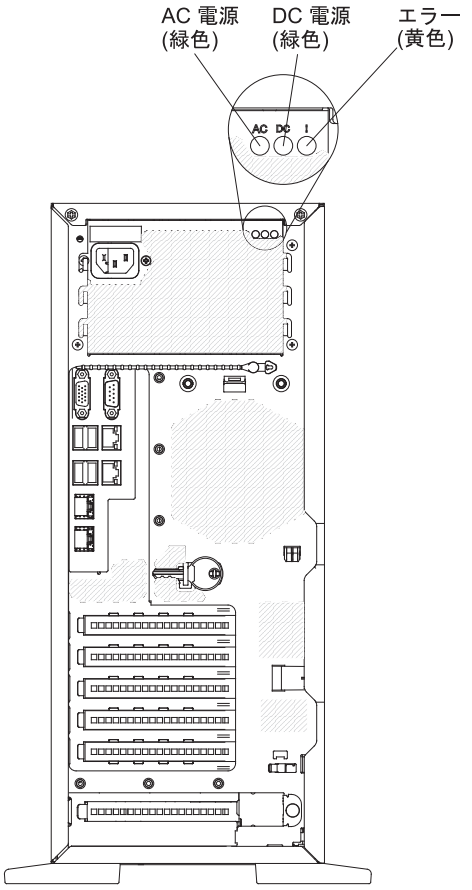
パワー・サプライ LED

このセクションでは、サーバー上のパワー・サプライ LED を示しています。

次の図は、サーバー背面にあるパワー・サプライ LED (冗長パワー・サプライ) の位置を示しています。



次の図は、サーバー背面にあるパワー・サプライ LED (固定パワー・サプライ) の位置を示しています。



パワー・サプライの DC LED が点灯するために必要な最小構成は、以下のとおりです。
- パワー・サプライ
- 電源コード

注: パワー・サプライ上の DC LED が点灯するには、サーバーの電源を入れる必要があります。

サーバーを始動するために必要な最小構成は、以下のとおりです。
- マイクロプロセッサー・ソケット 1 内に 1 個のマイクロプロセッサー
- システム・ボード上に 1 個の 2 GB DIMM (マイクロプロセッサーあたり)
- パワー・サプライ 1 つ
- 電源コード
- 2 つの冷却ファン (ファン 2 および背面ファン)

次の表では、パワー・サプライの LED とオペレーター情報パネル上のパワーオン LED の各種の組み合わせが示す問題と、検出された問題を修正するための推奨処置について説明します。

パワー・サプライ LED			説明	処置	注
AC	DC	Error (!)			
オン	オン	オフ	正常に作動		
オフ	オフ	オフ	サーバーに AC 電源が接続されていない、または AC 給電部に問題がある。	1. サーバーへの AC 電源をチェックします。 2. 電源コードが正常に機能している電源に接続されていることを確認します。 3. サーバーを再始動します。 エラーが修正されない場合は、パワー・サプライ LED を確認します。 4. パワー・サプライを交換します。	AC 電源を接続していないときは、これが正常な状態です。
オフ	オフ	オン	障害のあるパワー・サプライ	パワー・サプライを交換します。	
オフ	オン	オフ	障害のあるパワー・サプライ	パワー・サプライを交換します。	
オフ	オン	オン	障害のあるパワー・サプライ	パワー・サプライを交換します。	
オン	オフ	オフ	パワー・サプライが完全に差し込まれていない、システム・ボードに障害がある、またはパワー・サプライに障害がある	1. パワー・サプライを取り付け直します。 2. IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。 ユーティリティーの詳しい説明とダウンロードについては、http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html にアクセスしてください。 3. ホット・スワップ・パワー・サプライ・システムの場合、178 ページの『電源問題』および 186 ページの『電源の問題の解決』にリストされているアクションに従います。	パワー・サプライが完全に差し込まれていないことを示す典型的な例です。
オン	オフ	オン	障害のあるパワー・サプライ	パワー・サプライを交換します。	
オン	オン	オン	障害のあるパワー・サプライ	パワー・サプライを交換します。	

システム・パルス LED

このセクションには、システム・パルス LED に関する情報が記載されています。

次の LED はシステム・ボード上にあり、システムの電源オンおよび電源オフのシーケンス、およびブート進行をモニターすることができます (LED の位置は 38 ページの『システム・ボードの LED』を参照)。

LED	説明	処置
RTMM ハートビート	パワーオンおよびパワーオフの順序付け。	1. LED が 1Hz で点滅する場合は正しく機能しているため、処置は不要です。 2. LED が点滅していない場合、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
IMM2 ハートビート	IMM2 ハートビート・ブート・プロセス。	IMM2 ハートビート順序付けプロセスのさまざまなステージを以下のステップで説明します。 1. この LED が高速 (約 4Hz) で点滅している場合、IMM2 コードがロード・プロセス中であることを示します。 2. この LED が一時的にオフになると、IMM2 コードのロードが完了したことを示します。 3. この LED が一時的にオフになった後に低速 (約 1HZ) で点滅を開始すると、IMM2 が完全に作動可能であることを示します。この時点で、電源制御ボタンを押してサーバーをパワーオンできます。 4. サーバーを給電部に接続してから 30 秒以内にこの LED が点滅を開始しない場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

サーバーのパワー・サプライ

サーバーを AC 給電部に接続しても、電源をオンにしていない場合、オペレーティング・システムは実行されず、サービス・プロセッサー (統合管理モジュール II) 以外のすべてのコア・ロジックはシャットダウンされています。

ただし、サーバーはサービス・プロセッサーへの要求 (例えば、サーバーをオンにするリモート要求) には応答できます。パワーオン LED が点滅して、サーバーは AC 電源に接続されてはいるが、電源がオンになっていないことを示します。

サーバーの電源をオンにする

サーバーの電源をオンにするには、この情報を使用します。

サーバーが AC 電源に接続されると約 5 秒後に、1 つ以上のファンが回転を開始してサーバーが電源に接続されている間の冷却を行い、パワーオン・ボタン LED が高速で点滅します。 サーバーが AC 電源に接続されてから約 1 分から 3 分後に、電源制御ボタンがアクティブになり (パワーオン LED がゆっくりと点滅)、1 つ以上のファンが回転を開始してサーバーが電源に接続されている間の冷却を行います。 電源制御ボタンを押すことにより、サーバーの電源をオンにできます。

また、サーバーの電源は、次のいずれの方法でオンにすることもできます。

- サーバーの電源が入れられたときに電源障害が発生した場合は、電源が復元したときに、サーバーは自動的に再始動します。
- 使用しているオペレーティング・システムが Wake on LAN 機能をサポートしている場合は、Wake on LAN 機能がサーバーをオンにできます。

注:

1. 4 GB 以上の (物理または論理) メモリーを取り付けると、一部のメモリーは、さまざまなシステム・リソース用に予約され、オペレーティング・システムでは使用不可になります。 システム・リソース用に予約されるメモリーの量は、オペレーティング・システム、サーバー構成、構成済みの PCI オプションなどによって異なります。
2. イーサネット 1 コネクターは、Wake on LAN 機能をサポートします。
3. 外部グラフィック・アダプターが取り付けられたサーバーの電源をオンにすると、約 3 分後に IBM ロゴが画面上に表示されます。これは、システムのロード中は正常な動作です。
4. 左サイド・カバーが閉じていることを確認します。

サーバーの電源をオフにする

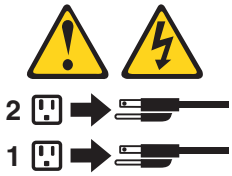
サーバーの電源をオフにするには、この情報を使用します。

サーバーをオフにしたが、AC 電源に接続したままにしておくと、サーバーは、サービス・プロセッサーからの要求 (例えば、サーバーをオンにするリモート要求) に応答できます。サーバーが AC 電源に接続されたままになっていると、1 つ以上のファンが回転を続行することがあります。 サーバーからすべての電源を除去するには、電気コンセントから電源コードを抜く必要があります。

オペレーティング・システムによっては、サーバーの電源をオフにする前に正常シャットダウンが必要な場合があります。 オペレーティング・システムのシャットダウンについての詳細は、オペレーティング・システム関係の資料をお読みください。

安全 5

注意:
装置の電源制御ボタンおよびパワー・サプライの電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。 装置内の電流を完全にカットするには、給電部からすべての電源コードを取り外してください。



次のいずれかの方法で、サーバーの電源をオフにすることができます。

- ご使用のオペレーティング・システムがサーバーの電源をオフにする機能をサポートしている場合は、オペレーティング・システムからオフにできます。 オペレーティング・システムの正常なシャットダウンの後、サーバーは自動的に電源がオフになります。
- ご使用のオペレーティング・システムがこの機能をサポートしている場合、電源制御ボタンを押してオペレーティング・システムの正常シャットダウンを開始し、サーバーをオフにすることができます。
- オペレーティング・システムの機能が停止した場合は、電源制御ボタンを 4 秒間を超えて押し続けるとサーバーの電源をオフにできます。
- Wake on LAN 機能によってサーバーの電源をオフにすることができますが、以下の制約があります。

  注: PCI アダプターを取り付ける場合、PCI Express アセンブリーおよび PCI-X アセンブリーを取り外す前に、電源コードを給電部から切り離す必要があります。 そうでないと、システム・ボード・ロジックによってアクティブな電源管理イベント信号が使用不可になり、Wake on LAN 機能が作動しない可能性があります。 ただし、ローカルでサーバーの電源がオンになった後は、システム・ボード・ロジックによってアクティブな電源管理イベント信号が使用可能になります。
- 統合管理モジュール II (IMM2) は、クリティカルなシステム障害に対する自動応答として、サーバーをオフにすることができます。
- 左サイド・カバーが開くと、サーバーの電源がオフになります。

第 2 章 オプション装置の取り付け

この章では、オプションのハードウェア・デバイスをサーバーに取り付ける手順を詳しく説明しています。

この章で説明するオプションのハードウェア・デバイスの取り付け、ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新、取り付けの完了に関する手順に加えて、IBM ビジネス・パートナーは 32 ページの『IBM ビジネス・パートナー用の手順』の手順も完了する必要があります。

重要: 取り付けるデバイスが正しく作動し、問題が発生しないことを確認するために、以下の予防措置に従ってください。

1. サーバーおよびインストール済みのファームウェア・レベルが、取り付けるデバイスをサポートしていることを確認します。 必要に応じて、UEFI および IMM ファームウェア、システム・ボードに格納されているその他のファームウェアを更新します。 サーバー内でファームウェアが格納される場所については、 109 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 サーバーでサポートされるオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/usにアクセスしてください。
2. オプションのハードウェア装置を取り付ける前に、サーバーが正しく作動していることを確認してください。 サーバーを始動し、オペレーティング・システムがインストール済みのときはオペレーティング・システムが開始することを確認してください。あるいは、オペレーティング・システムがインストールされていない場合は、オペレーティング・システムはインストールされていないがサーバーは正常に作動していることを示すエラー・コード 19990305 が表示されることを確認してください。 サーバーが正常に作動しない場合、診断の実行方法については、 163 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照してください。
3. この章の取り付け手順に従い、正しいツールを使用してください。 誤って取り付けられたデバイスは、ソケットやコネクターのピンの損傷、配線の緩み、あるいはコンポーネントの緩みによって、システム障害の原因となる可能性があります。
4. ベスト・プラクティスを使用して、サーバーおよびオプションのデバイスに現行ファームウェアおよびデバイス・ドライバー更新を適用します。 「*IBM System x Firmware Update Best Practices*」資料をダウンロードするには、www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=MIGR-5082923&brandind=5000008にアクセスしてください。追加のヒントは、以下のサイトから入手可能です。
   - IBM サポート: http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/overview
   - System x 構成ツール: http://www-03.ibm.com/systems/x/hardware/configtools.html

© Copyright IBM Corp. 2013

サーバーへのオプションのハードウェア・デバイスの取り付け

以下のセクションでは、サーバーにオプションのハードウェア・デバイスを取り付ける手順を詳しく説明します。

IBM ビジネス・パートナー用の手順

Dynamic System Analysis (DSA) ストレス・テストを実行することによる、新たに取り付けられた装置の検証に関する IBM ビジネス・パートナー用の手順。

この章で説明するオプションのハードウェア・デバイスの取り付け、ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新、取り付けの完了に関する手順に加えて、IBM ビジネス・パートナーは以下の手順も完了する必要があります。

1. サーバーが正常に始動し、新規に取り付けたデバイスを認識すること、およびエラー LED が点灯していないことを確認した後、Dynamic System Analysis (DSA) ストレス・テストを実行します。 DSA の使用については、161 ページの『IBM Dynamic System Analysis』 を参照してください。
2. サーバーを複数回シャットダウンおよび再始動し、サーバーが正しく構成され、新規に取り付けたデバイスが正しく機能していることを確認します。
3. DSA ログをファイルに保存し、IBM に送信します。 データおよびログの転送については、『IBM への DSA データの送信方法』を参照してください。
4. サーバーを出荷する場合は、損傷を受けていないオリジナルの配送用資材で再梱包し、IBM の配送手順に従ってください。

IBM ビジネス・パートナー用のサポート情報は、http://www.ibm.com/partnerworldで入手できます。

IBM への DSA データの送信方法

DSA データを IBM に送信するのに、標準アップロード、システム・シリアル番号を用いた標準アップロード、セキュア・アップロード、およびシステム・シリアル番号を用いたセキュア・アップロードを使用することができます。

診断データを IBM に送信する前に、http://www.ibm.com/de/support/ecurep/terms.htmlの利用条件をお読みください。

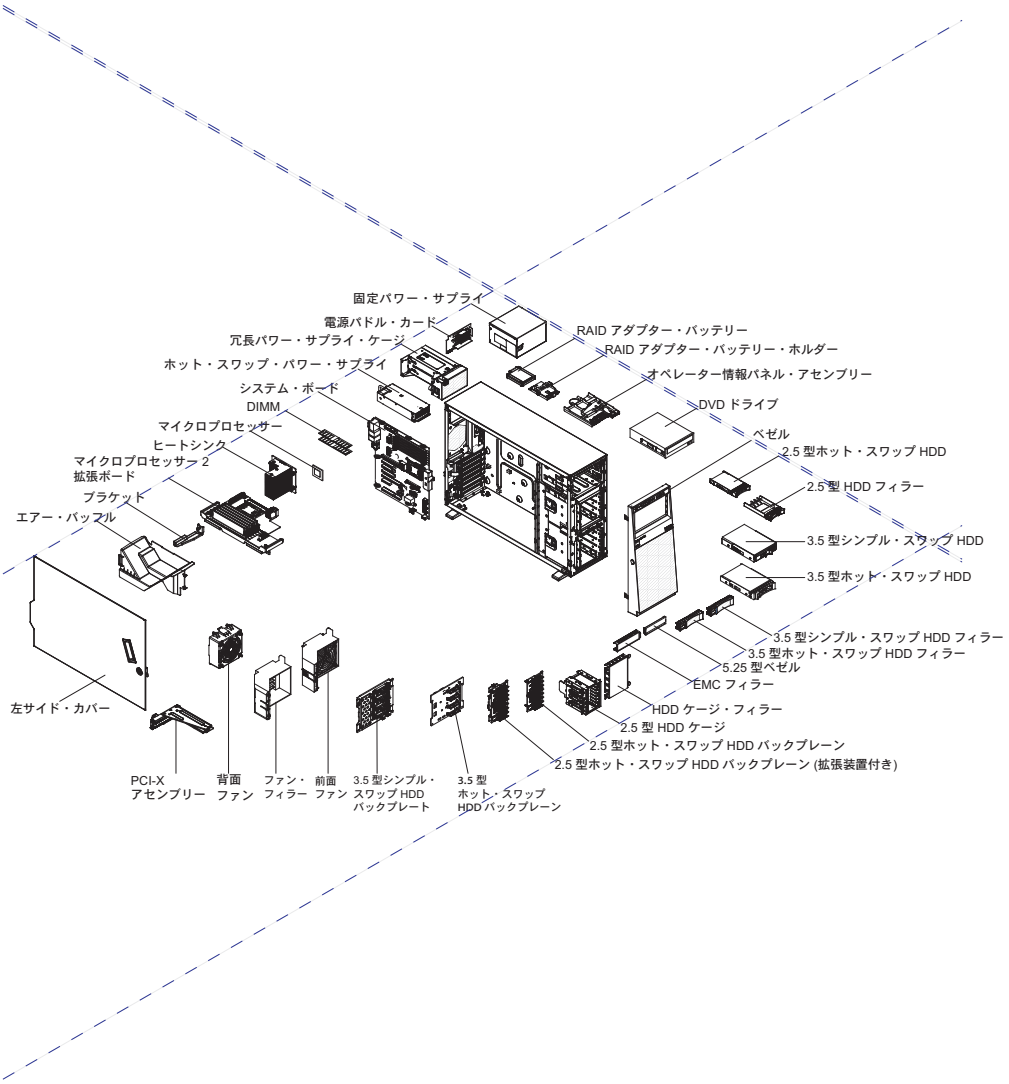
以下のいずれかの方法を使用して、診断データを IBM に送信することができます。

- **標準アップロード:**http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html
- **システムのシリアル番号を使用した標準アップロード:**http://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw
- **セキュア・アップロード:**http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html#secure
- **システムのシリアル番号を使用したセキュア・アップロード:**
  http://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw

サーバー・コンポーネント

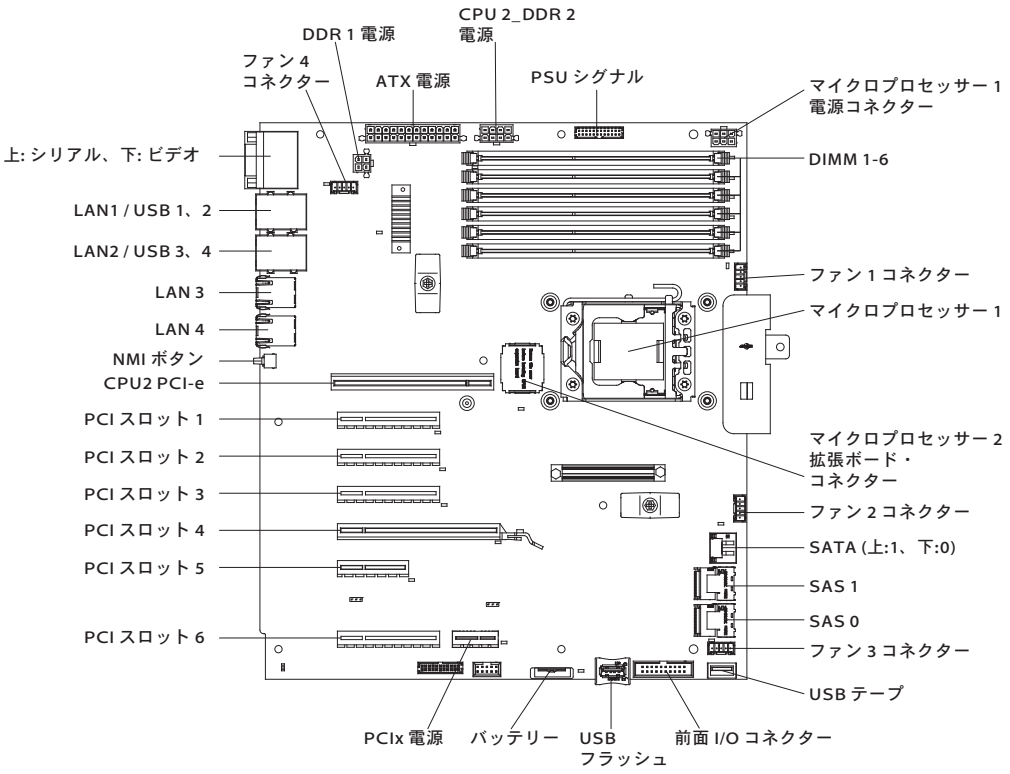
次の図は、このサーバーの主なコンポーネントを示しています。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

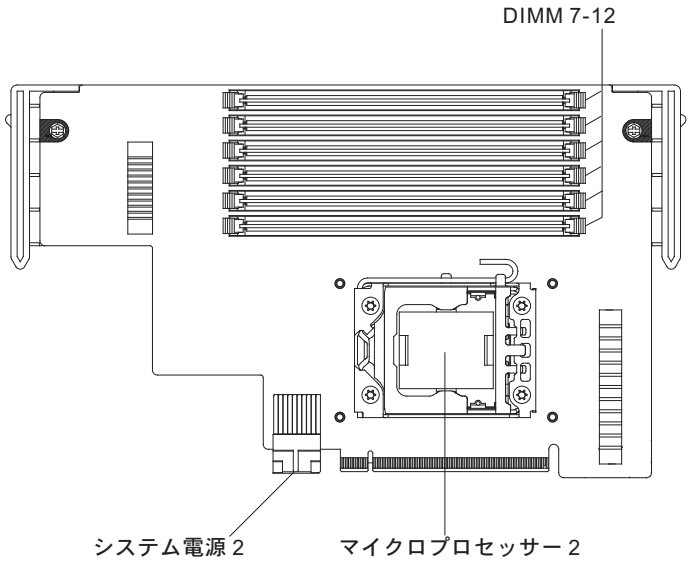


システム・ボードの内部コネクター

次の図で、システム・ボード上の内部コネクターを示します。

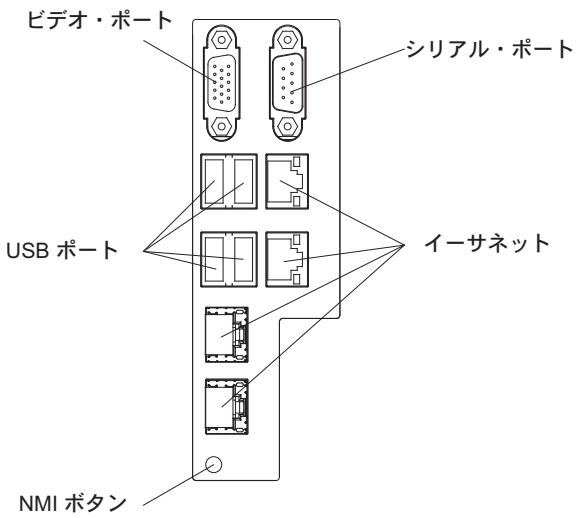


次の図は、マイクロプロセッサー 2 拡張ボード上の内部コネクターを示しています。



システム・ボードの外部コネクター

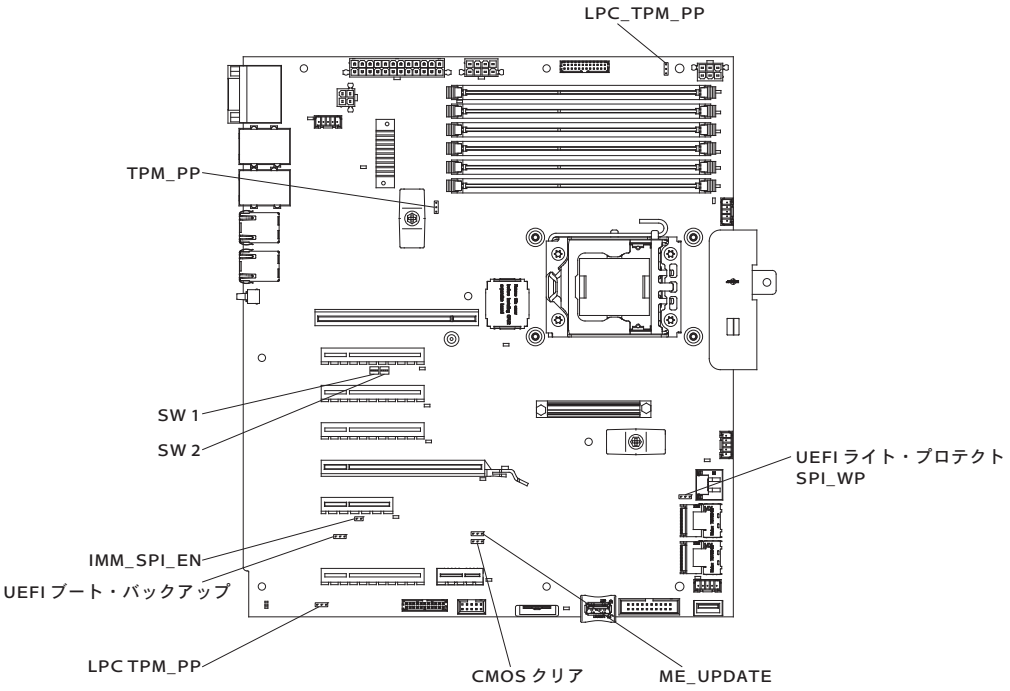
次の図は、システム・ボード上の外部入出力コネクターを示しています。



システム・ボードのスイッチとジャンパー

このセクションでは、システム・ボード上のスイッチおよびジャンパーについて説明します。

次の図は、ジャンパーの位置を示しています。



注: スイッチ・ブロックの上に透明な保護ステッカーが張られている場合、スイッチにアクセスするためにステッカーを取り除いて廃棄する必要があります。

以下の表は、システム・ボード上のジャンパーについて説明しています。

表 4. システム・ボード・ジャンパー

ジャンパー番号	ジャンパー名	ジャンパー設定
ME_UPDATE	PCH ME ファームウェア更新	• ピン 1 および 2: 通常モード (デフォルト) • ピン 2 および 3: 強制アップデート・モード
CMOS クリア	CMOS クリア・ジャンパー	• ピン 1 および 2: 通常モード (デフォルト) • ピン 2 および 3: CMOS クリア
SPI-WP	UEFI フラッシュ・ライト・プロテクト	• ピン 1 および 2: GPIO がライト・プロテクトを制御します (デフォルト) • ピン 2 および 3: 強制ライト・プロテクト
UEFI Boot_Backup	UEFI ブート - ブロック選択	• ピン 1 および 2: ブート通常 (デフォルト) • ピン 2 および 3: ブート・バックアップ
LPC_TPM_PP	ホスト TPM 物理プレゼンス	• ピン 1 および 2: 物理プレゼンス・オフ (デフォルト) • ピン 2 および 3: 物理プレゼンス・オン **注:** TPM 物理プレゼンスが表明されます。 (ON) TPM 物理プレゼンスは表明されません (デフォルトはオフ)。 注: TPM 構成を変更するには、サーバー上で物理プレゼンスを手動で設定する必要があります。 デフォルトで TPM は使用可能ですが、物理プレゼンスは表明されていません。 TPM の所有権を活動化、非活動化、クリア、または変更するには、物理プレゼンスを表明する必要があります。
TPM_PP	iMM TPM 物理プレゼンス	• 物理プレゼンス・オフ (デフォルト) • 物理プレゼンス・オン **注:** TPM 構成を変更するには、サーバー上で物理プレゼンスを手動で設定する必要があります。 デフォルトで TPM は使用可能ですが、物理プレゼンスは表明されていません。 TPM の所有権を活動化、非活動化、クリア、または変更するには、物理プレゼンスを表明する必要があります。

表 4. システム・ボード・ジャンパー (続き)

ジャンパー番号	ジャンパー名	ジャンパー設定
SW1-1	ホスト TPM 物理プレゼンス	• 物理プレゼンス・オフ (デフォルト) • 物理プレゼンス・オン **注:** TPM 構成を変更するには、サーバー上で物理プレゼンスを手動で設定する必要があります。 デフォルトで TPM は使用可能ですが、物理プレゼンスは表明されていません。 TPM の所有権を活動化、非活動化、クリア、または変更するには、物理プレゼンスを表明する必要があります。
SW1-2	PASSWORD_OVERRIDE_N	オンの場合、始動パスワード・オーバーライド (デフォルトはオフ)
SW1-3	IMM_FORCE_UPDATE_N	デフォルトはオフ
SW1-4	FORCE_IMM_RESET_N	デフォルトはオフ
SW2-1	FORCE_RTMM_RESET_N	デフォルトはオフ
SW2-2	RTMM FLASH	デフォルトはオフ
SW2-3	POWER_PERMISSION_N	強制電源許可 (F/W 作動可能な場合はデフォルトでオフ)
IMM_SPI_EN	IMM_SPI_HALF_ROM_EN_N	ブート・ハーフのオーバーライドを許可します (デフォルト: ジャンパーはオープン)

注:

1. ジャンパーがない場合、サーバーはピン 1 と 2 に設定されているものとして対応します。
2. サーバーの電源をオンにする前に UEFI ブート・リカバリー・ジャンパーの位置をピン 1 と 2 からピン 2 と 3 に変更すると、どちらのフラッシュ ROM ページがロードされるかを通知するアラートが出されます。 サーバーの電源をオンにした後は、ジャンパーのピン位置を変更しないでください。 これは予測不能な問題の原因になることがあります。
3. TPM 構成を変更するには、サーバー上で物理プレゼンスを手動で設定する必要があります。 デフォルトで TPM は使用可能ですが、物理プレゼンスは表明されていません。 TPM の所有権を活動化、非活動化、クリア、または変更するには、物理プレゼンスを表明する必要があります。

重要:

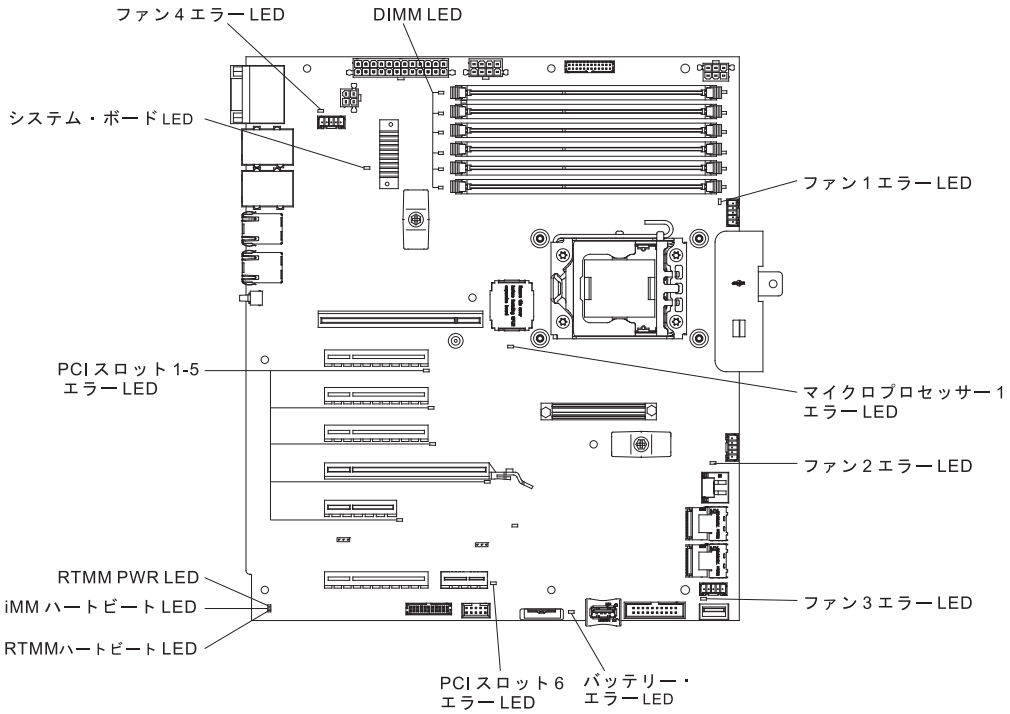
1. スイッチの設定を変更したりジャンパーを動かしたりする場合は、その前にサーバーの電源をオフにして、電源コードと外部ケーブルをすべて外してください。 vii ページの『安全について』ならびに 40 ページの『取り付けのガイドライン』、 43 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』、および 28 ページの『サーバーの電源をオフにする』に記載されている情報を確認します。
2. システム・ボード上のスイッチ・ブロックまたはジャンパー・ブロックのうち、本書の図に示されていないものは予約済みです。

システム・ボードの LED

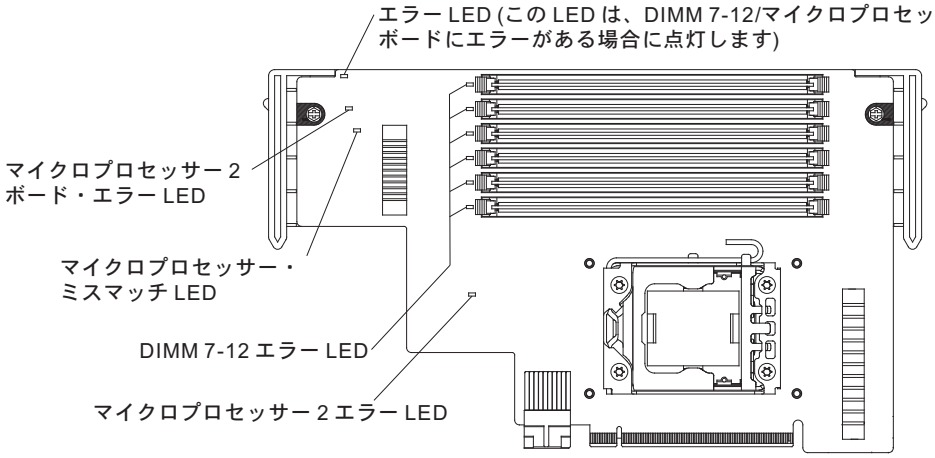
このセクションには、システム・ボード LED に関する情報が記載されています。

問題を切り分けるために、システム・ボード・トレイから AC 電源を取り外した後にエラー LED を点灯させることができます。 システム・ボード・トレイから AC 電源を取り外した後、最大 90 秒間は電力が残り、これらの LED を点灯させるために使用可能です。エラー LED を確認するには、システム・ボード上の Light Path ボタンを押したままにして、エラー LED を点灯します。 システム・ボード・トレイの稼働中に点灯したエラー LED が、このボタンを押している間、再度点灯します。 次の図は、システム・ボード上の LED およびコントロールを示しています。

次の図は、システム・ボード上の発光ダイオード (LED) を示しています。



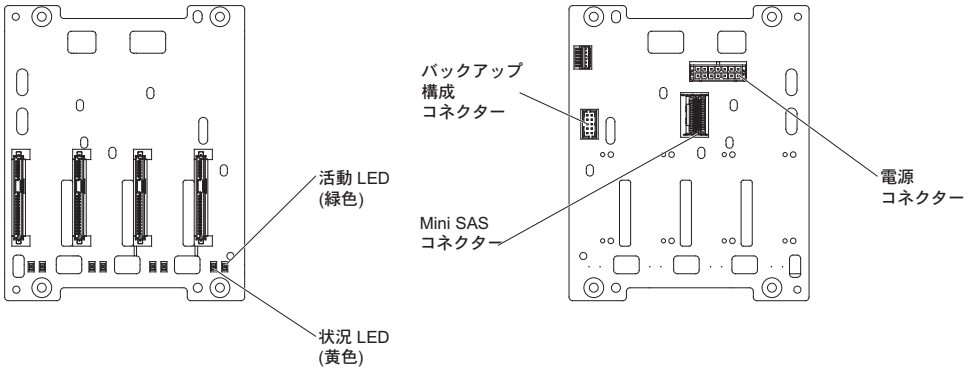
以下の図は、マイクロプロセッサー 2 拡張ボード上の発光ダイオード (LED) を示しています。



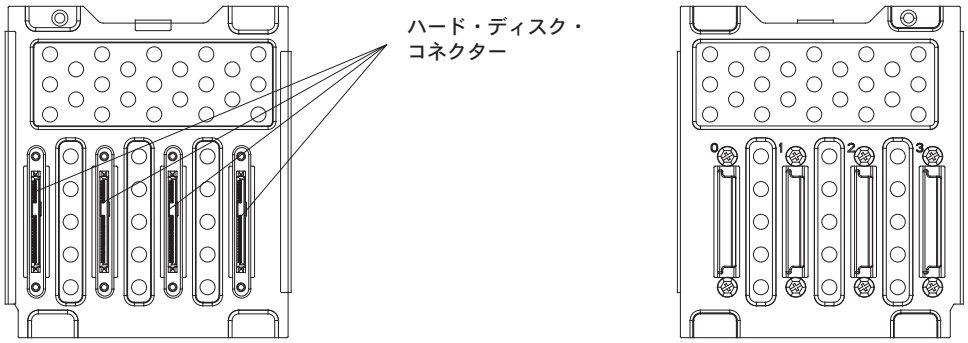
ハード・ディスク・バックプレーン・コネクター

次の図は、2.5 型および 3.5 型ハード・ディスク・バックプレーンおよびバックプレーン・アセンブリー上のコネクターを示しています。

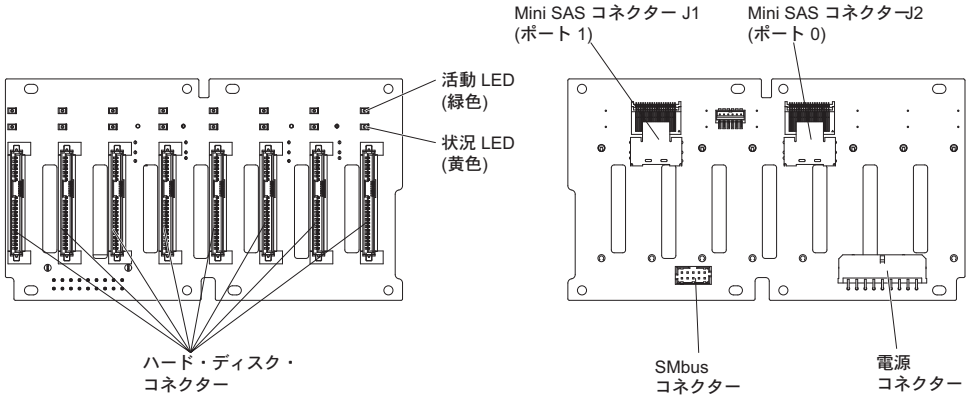
1. ホット・スワップ 3.5 型ハード・ディスク・バックプレーン上のコネクター:



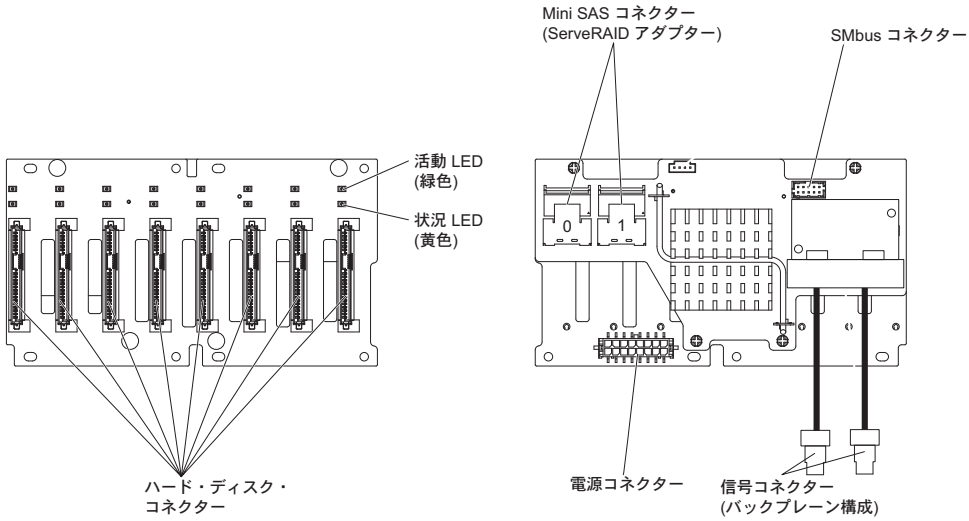
2. シンプル・スワップ 3.5 型ハード・ディスク・バックプレーン上のコネクター:



3. 2.5 型ハード・ディスク・バックプレーン上のコネクター:



4. 2.5 型ハード・ディスク・バックプレーン (拡張装置付き) 上のコネクター:



取り付けのガイドライン

System x3300 M4 Type 7382 を取り付けるには、この取り付けのガイドラインを使用します。

重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、システムは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。 こうした潜在的な問題が起きないよう、ホット・スワップ装置の取り外しや取り付けを行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップまたはその他の接地システムを使用してください。

オプション装置を取り付ける前に、以下の情報をお読みください。

- vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 43 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』のガイドラインをお読みください。 この情報は、安全に作業するのに役立ちます。
- 取り付けるデバイスがサポートされていることを確認します。サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/usを参照してください。

- 新規のサーバーを取り付ける場合は、この機会を利用して最新のファームウェア更新をダウンロードし、適用してください。 このステップを行うことにより、既知の問題が対処され、サーバーが最高レベルのパフォーマンスで機能できるようになります。 サーバーのファームウェア更新をダウンロードするには、http://www.ibm.com/support/fixcentralに進みます。

  重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

  ファームウェアの更新、管理、およびデプロイ用のツールに関する追加情報については、ToolsCenter for System x and BladeCenter (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-CENTER) を参照してください。
- オプションのハードウェアを取り付ける場合は、取り付ける前にサーバーが正常に作動していることを確認してください。 サーバーを始動し、オペレーティング・システムがインストール済みのときはオペレーティング・システムが開始することを確認してください。あるいは、オペレーティング・システムがインストールされていない場合は、オペレーティング・システムはインストールされていないがサーバーは正常に作動していることを示すエラー・コード 19990305 が表示されることを確認してください。 サーバーが正常に作動しない場合、診断の実行方法については、 163 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照してください。
- 作業を行う区域の整理整とんを心掛けてください。 取り外したカバーやその他の部品は、安全な場所に置いてください。
- カバーを取り外した状態でサーバーを始動する必要が生じた場合は、サーバーの近くに誰もいないこと、および工具などがサーバー内部に残っていないことを確認してください。
- 自分 1 人では重すぎると思われる物体を持ち上げようとしないでください。 重い物体を持ち上げる必要がある場合は、以下の予防措置に従ってください。
  - 足元が安全で、滑るおそれがないことを確認します。
  - 足の間でオブジェクトの重量が同量になるよう分散します。
  - ゆっくりとした持ち上げる力を使用します。 重い物体を持ち上げるときは、決して身体を急に動かしたり、ひねったりしないでください。
  - 背筋を痛めないよう、脚の筋肉を使用して立ち上がるか、押し上げるようにして持ち上げます。
- サーバー、モニター、およびその他の装置用に、適切に接地されたコンセントの数量が十分にあることを確認してください。
- ディスク・ドライブを変更する場合は重要なデータはすべてバックアップします。
- 小型のマイナス・ドライバー、小型のプラス・ドライバー、および T8 トルクス・ドライバーを用意します。
- システム・ボードおよび内部コンポーネントのエラー LED を表示するには、サーバーを電源に接続しておく必要があります。
- ホット・スワップ・パワー・サプライ、ホット・スワップ・ファン、またはホット・プラグ USB デバイスを取り付けたり、交換するのに、サーバーの電源をオ

フにする必要はありません。 ただし、アダプター・ケーブルの取り外しや取り付けが必要なステップを実行する場合は、前もってサーバーの電源をオフにする必要があります。また、ライザー・カードの取り外しや取り付けが必要なステップを実行する場合は、前もってサーバーから給電部を切り離しておく必要があります。

- コンポーネント上の青色は、コンポーネントをサーバーから取り外したり、取り付けたり、あるいはラッチの開閉などを行う際につかむことができるタッチ・ポイントを示します。
- コンポーネントに付けられたオレンジ色またはコンポーネント上かその近くに付けられたオレンジ色のラベルは、そのコンポーネントをホット・スワップできることを示しています。つまり、サーバーとオペレーティング・システムがホット・スワップ機能をサポートしている場合は、サーバーの稼働中でも、そのコンポーネントの取り外しや取り付けを行うことができます。 (オレンジ色の表示がホット・スワップ・コンポーネントのタッチ・ポイントを示す場合もあります。) 各ホット・スワップ・コンポーネントの取り外しまたは取り付け前に実行する必要のある追加手順については、そのコンポーネントの取り外しまたは取り付けの説明を参照してください。
- サーバーに対する作業が終了したら、安全用のシールド、ガード、ラベル、および接地ワイヤーをすべて再取り付けします。
- サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/usを参照してください。

システムの信頼性に関するガイドライン

適切なシステム冷却を確保するための、システムの信頼性に関するガイドライン。

システムの適切な冷却と信頼性を確保するために、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- すべてのドライブ・ベイには、ドライブまたはフィラー・パネル、およびその中に電磁適合性 (EMC) シールドが取り付けられていること。
- サーバーに冗長電源が備わっている場合は、各パワー・サプライ・ベイにパワー・サプライが取り付けられていること。
- サーバー冷却システムが正しく機能するように、サーバーの回りに十分なスペースを確保してあること。 約 50 mm の空きスペースをサーバーの前面および背面の周囲に確保してください。 ファンの前に物を置かないでください。 適切な冷却と空気の流れを確保するために、サーバーのカバーを元通りに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。 サーバーのカバーを取り外して長時間 (30 分以上) サーバーを操作すると、サーバーのコンポーネントが損傷を受けることがあります。
- オプション・アダプターに付属の配線用手順に従っていること。
- 障害のあるファンを 48 時間以内に交換している。
- ホット・スワップ・ドライブは、取り外してから 2 分以内に元どおりに取り付けた。
- エアー・バッフルを取り付けないままサーバーを動作させないでください。エアー・バッフルを取り付けずにサーバーを動作させると、マイクロプロセッサーがオーバーヒートする原因となる場合があります。

注: エアー・バッフルは、マイクロプロセッサー 2 拡張ボード・オプションに付属しています。

- マイクロプロセッサーのソケット 2 にソケット・カバーまたはマイクロプロセッサーとヒートシンクが常にある。
- マイクロプロセッサー 2 拡張ボード・オプションを取り付けている場合は、エアー・バッフルおよびファン 2 を取り付けていること。

電源オンされているサーバー内部での作業

電源オンされているサーバー内部での作業のガイドライン

重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、サーバーは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。 こうした潜在的な問題を回避するために、電源がオンになっているサーバー内で作業するときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

このサーバーは、ホット・プラグ、ホット・アド、およびホット・スワップの部品をサポートし、サーバーの電源をオンにして、サーバー・カバーを取り外した状態で安全に作動するように設計されています。 電源が入っているサーバー内部の作業を行うときは、次のガイドラインに従ってください。

- 腕の部分がゆったりした衣服を着用しないでください。 サーバー内部の作業をする前に、長袖シャツのボタンを留めてください。サーバー内部の作業中はカフス・ボタンを着けないでください。
- ネクタイやスカーフがサーバー内部に垂れ下がらないようにしてください。
- ブレスレットや、ネックレス、指輪、腕時計などの宝石類は外してください。
- サーバーの上に身体を乗り出したときに、ペンや鉛筆などの落下する可能性があるものをシャツのポケットから取り出してください。
- 用紙クリップ、ヘア・ピン、ねじなどの金属製のものがサーバーの中へ落ちないようにしてください。

静電気に弱い装置の取り扱い

静電気に弱い装置を取り扱うには、この情報を使用します。

重要: 静電気によってサーバーやその他の電子部品が損傷するおそれがあります。静電気による損傷を防止するために、静電気の影響を受けやすい部品を取り付ける準備ができるまでは、静電気防止パッケージに入れておいてください。

静電気の放電による損傷のおそれを減らすために、次の注意事項を守ってください。

- 動きを制限する。 動くと、周囲に静電気が蓄積されることがあります。
- 静電防止対策の採用が推奨されます。 例えば、静電気放電用のリスト・ストラップがあればそれを着用してください。 電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。
- 部品は、縁または枠を持って慎重に取り扱ってください。
- はんだ付けの部分やピン、露出した回路には触れないでください。

- 部品は他人が手で触れたり、損傷したりする可能性のある場所に放置しないでください。
- 部品を帯電防止パッケージに入れたまま、サーバーの外側の塗装されていない金属面に 2 秒以上接触させてください。 これにより、パッケージとご自分の身体から静電気が排出されます。
- 部品をそのパッケージから取り出して、それを下に置かずに直接サーバーに取り付けてください。 部品を下に置く必要がある場合は、帯電防止防止パッケージに部品を入れてください。部品は、サーバーのカバーや金属面の上に置かないでください。
- 寒い天候のときは、部品の取り扱いには特に気を付けてください。暖房で室内の湿度が下がり、静電気が増えるためです。

左サイド・カバーの取り外し

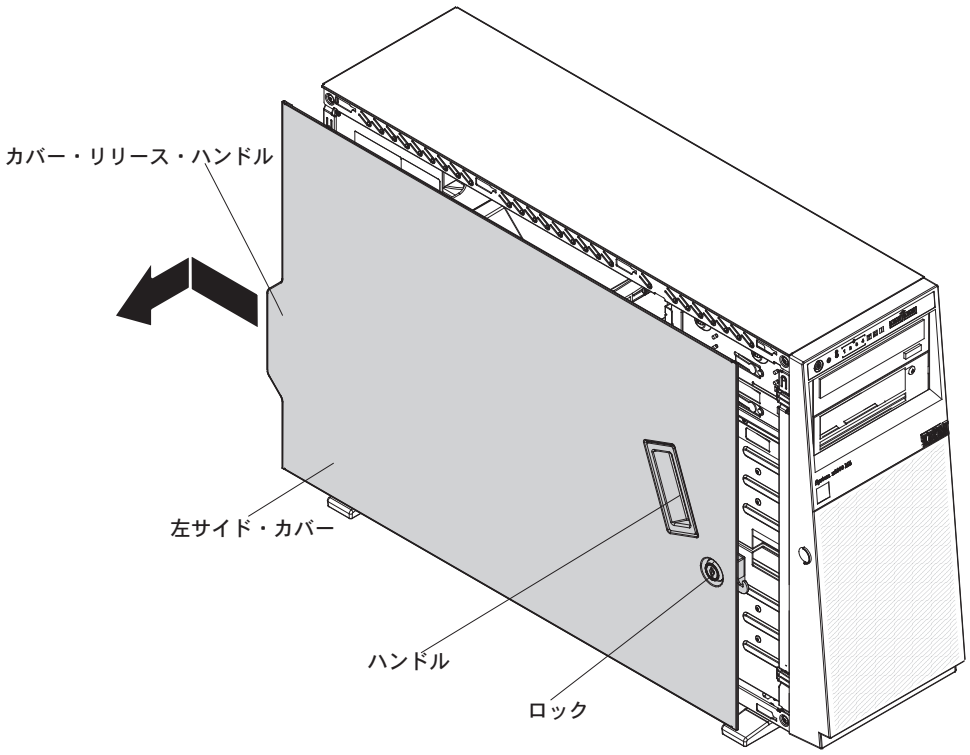
左サイド・カバーを取り外すには、この情報を使用します。

重要: オプションのハードウェアを取り付ける場合は、取り付ける前にサーバーが正常に作動していることを確認してください。 サーバーを始動し、オペレーティング・システムがインストール済みのときはオペレーティング・システムが開始することを確認してください。あるいは、オペレーティング・システムがインストールされていない場合は、オペレーティング・システムはインストールされていないがサーバーは正常に作動していることを示すエラー・コード 19990305 が表示されることを確認してください。サーバーが正常に機能しない場合は、診断情報について 145 ページの『第 4 章 Troubleshooting』 を参照してください。

重要: 左サイド・カバーが取り外されると、サーバーの電源が自動的にオフになります。

左サイド・カバーを取り外すには、次のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. サーバーの側面を下にして、左サイド・カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
4. サーバーに付属するかぎを使って左サイド・カバーのロックを解除します。
5. 左サイド・カバーの背面の端を後方に引き出して、サーバーから左サイド・カバーを取り外します。



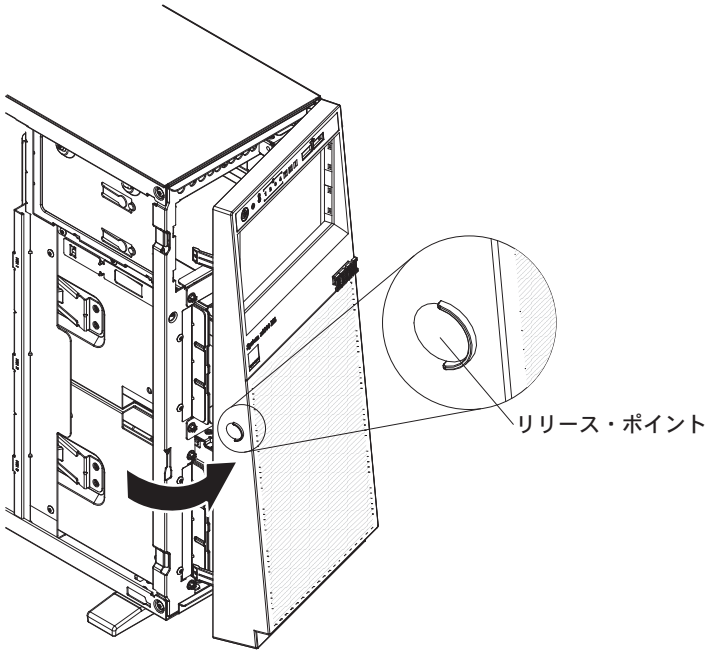
ベゼルの取り外し

ベゼルを取り外すには、この情報を使用します。

ベゼルを取り外すには、次のステップを行います。

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. サーバーに付属するかぎを使って左サイド・カバーのロックを解除します。

   注: ベゼルを開く、あるいは取り外すには、左サイド・カバーのロックを解除する必要があります。 左サイド・カバーをロックすると、カバーとベゼルの両方がロックされます。
4. ベゼルの左の端にあるリリース・ポイントからベゼルを開き、サーバーからベゼルを取り外します。



エアー・バッフルの取り外し

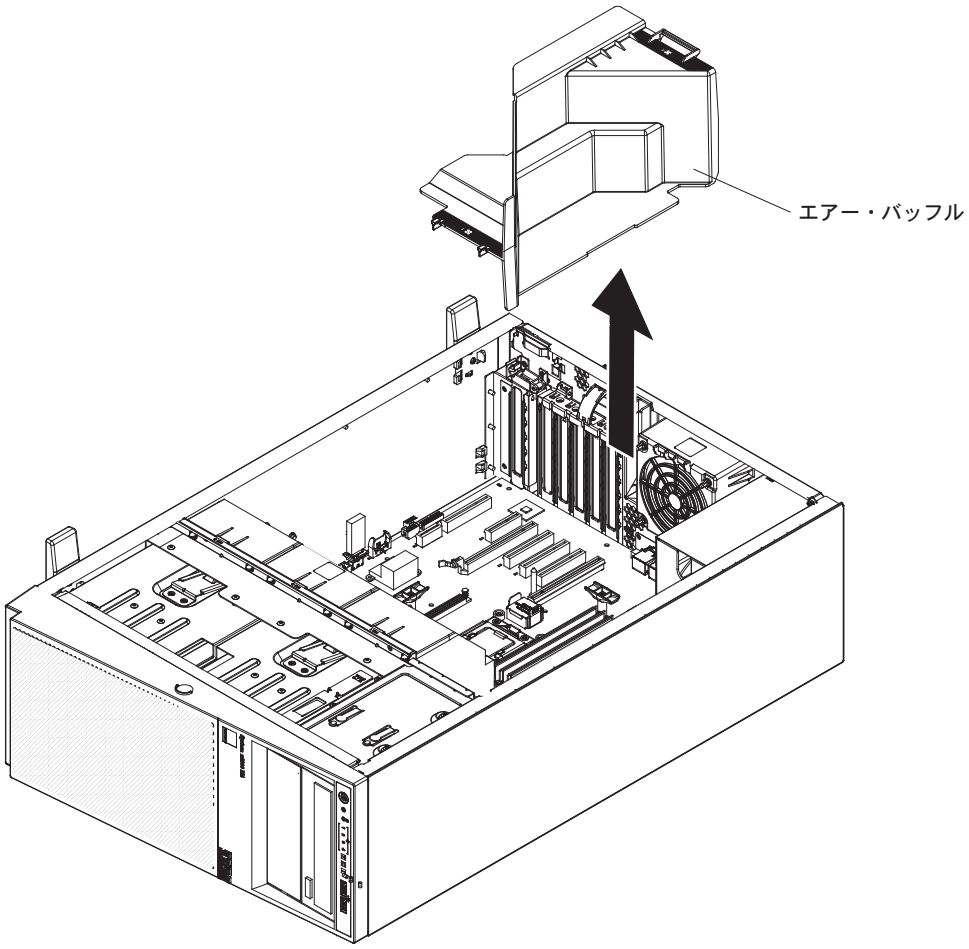
以下の情報を使用して、エアー・バッフルを取り外します。

エアー・バッフルを取り外すには、次のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. エアー・バッフルを持ち上げてサーバーから外し、横に置きます。

   重要: 冷却と通気を確保するため、サーバーの電源を入れる前にエアー・バッフルを元の位置に戻してください。エアー・バッフルを取り外したままサーバーを作動させると、サーバーのコンポーネントが損傷する可能性があります。



ファン・アセンブリーの取り外し

サーバーからファン・アセンブリーを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

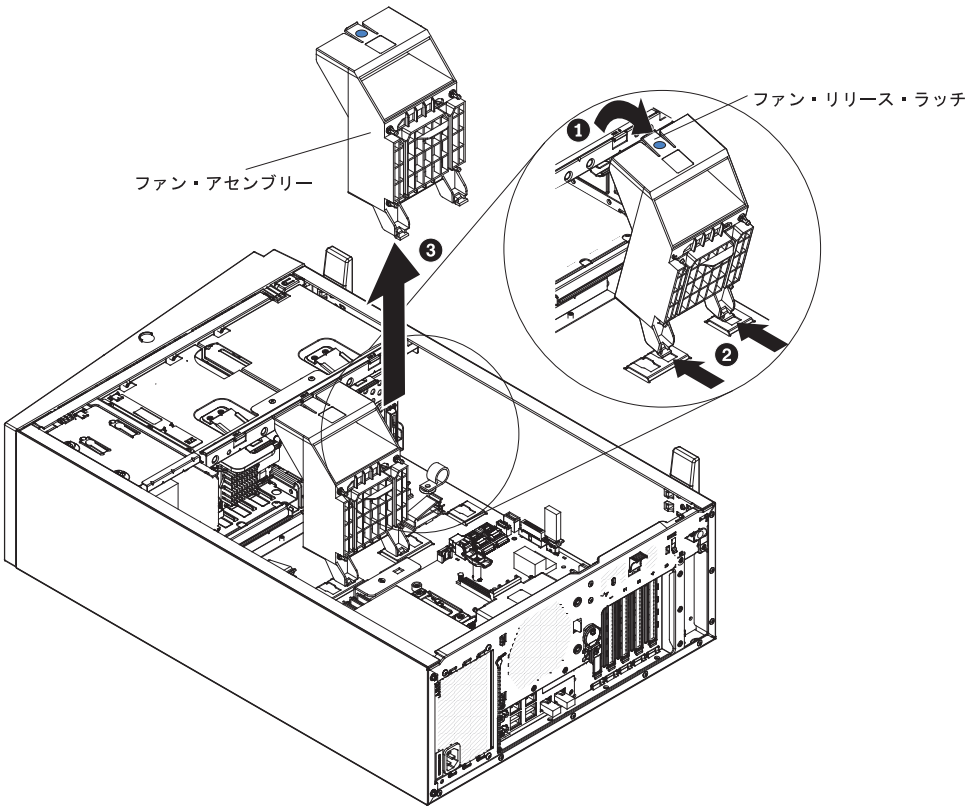
ファン・アセンブリーを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。

5. エアー・バッフルを取り外します (46 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
6. ファン電源ケーブルをシステム・ボードから抜きます。 (225 ページの『ファン電源ケーブル接続』を参照) 209 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』
7. ファン・リリース・ラッチを押して、ファン・アセンブリーを少し後方へ移します。 (以下の図のステップ 1 および 2 を参照)
8. ファンを持ち上げて、サーバーから取り外します (次の図のステップ 3 を参照)。



背面ファンの取り外し

背面ファンをサーバーから取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

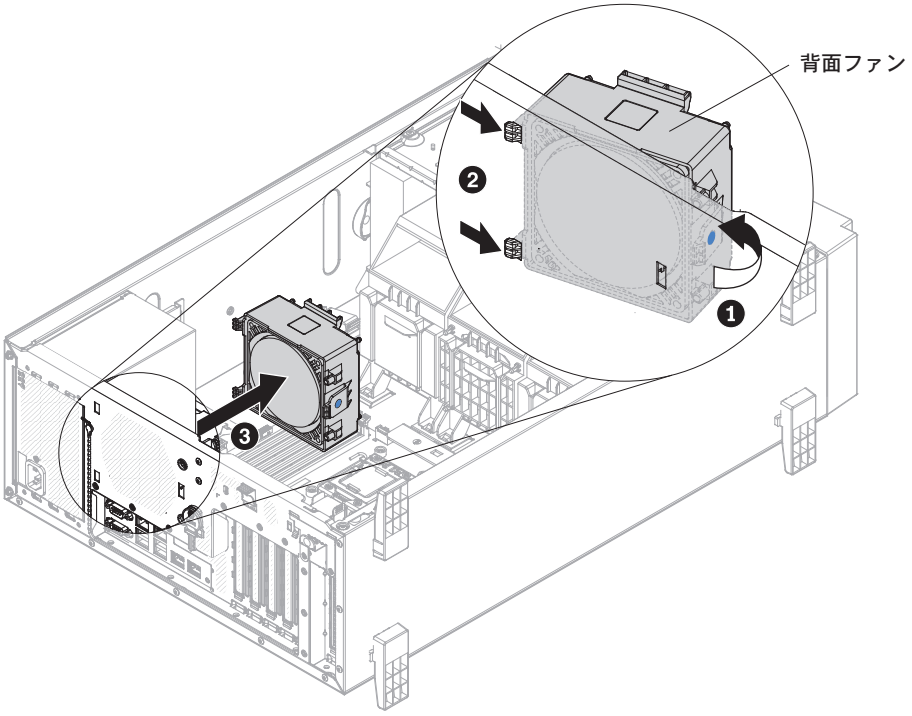
背面ファンを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。

3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. エアー・バッフルを取り外します (46 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
6. 背面ファンの電源ケーブルをシステム・ボードから取り外します。 (225 ページの『ファン電源ケーブル接続』を参照)
7. 背面ファンの青いリリース・ラッチを押して、背面ファンを回転させて 2 つのタブをサーバー・シャーシの穴から外します。 (以下の図のステップ 1 および 2 を参照)
8. ファンをサーバー・シャーシから取り外します (次の図のステップ 3 を参照)。



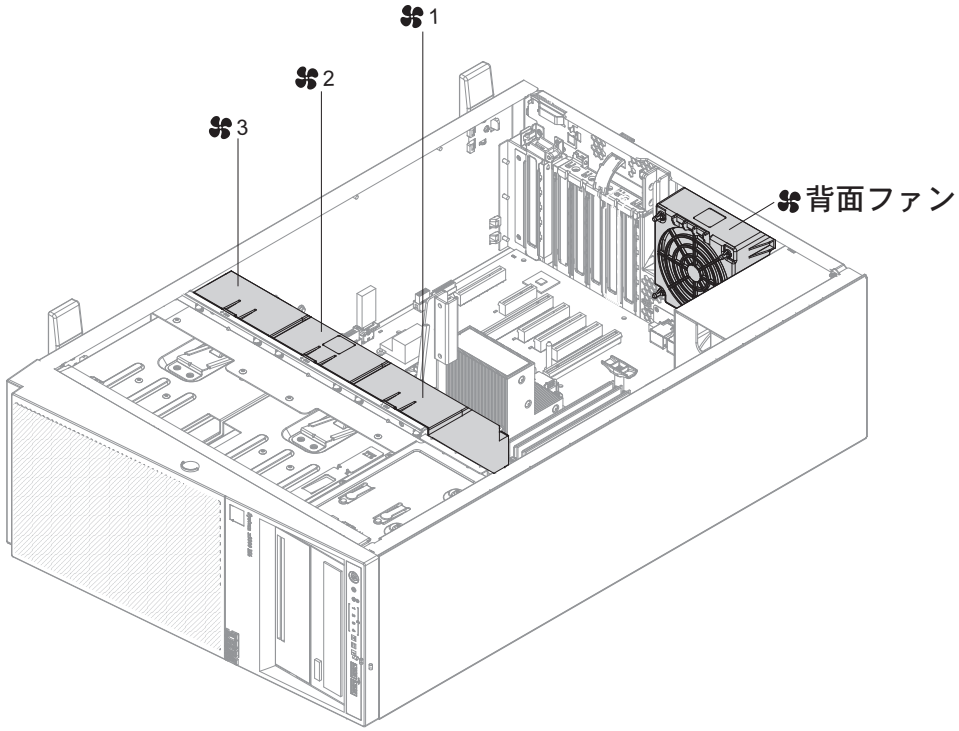
シンプル・スワップ・ファンの取り付け

シンプル・スワップ・ファンをサーバー内に取り付けるには、この情報を使用します。

サーバーには、ファン・アセンブリー内に 1 つの 92mm x 92mm x 38mm のシンプル・スワップ・ファン (ファン 2) が付属しています。 サーバーにシンプル・スワップ・ファンを取り付ける場合は、次の手順を使用できます。

注:

1. 2 つ目のマイクロプロセッサーを取り付ける場合は、ファン 3 も取り付ける必要があります。ファン・フィラーは、ファン 3 を取り付ける場合にのみ取り外してください。それ以外の場合は、適切な冷却を確保するために、ファン・フィラーが取り付けられている必要があります。



2. 予備冷却用に、1 つの追加ファンを注文することができます。
3. システムに PCI-e アダプターが 3 つ以上取り付けられている場合は、以下の表に記載しているファン構成に関する指示に従う必要があります。

表 5. ファン構成に関する指示

ファン	条件
2 と背面ファン	すべてのシステムの標準

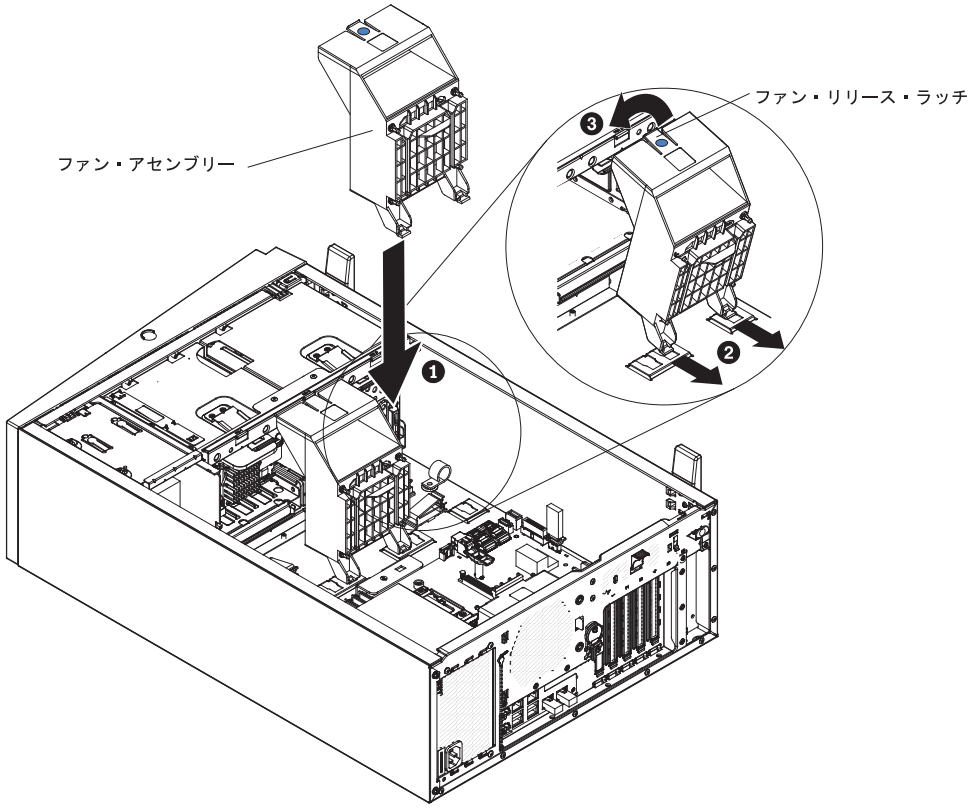
表 5. ファン構成に関する指示 (続き)

ファン	条件
3	1. 2 番目のマイクロプロセッサーが取り付けられている場合、2 番目のマイクロプロセッサー・キット (P/N: 00D2581 から 00D2589) にファンが含まれています。あるいは、 2. システムに PCI-e アダプターが 3 つ以上取り付けられている場合、ファン (P/N: 00D2593) も装着する必要があります。あるいは、 3. システムに IBM 1.2TB/785GB/365GB High IOPS MLC Mono アダプターが取り付けられている場合、ファン (P/N: 00D2593) も装着する必要があります。
1	オプションの予備ファン (P/N: 00D2593) **重要:** ファン 3 を取り付け、16 GB 1.5V / 32 GB 1.35V DIMM も取り付ける場合、ファン 1 も取り付ける必要があります。

シンプル・スワップ・ファンを取り付けるには、次のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』のページから始まる『安全について』および 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. 必要に応じて、エアー・バッフルを取り外します (46 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
6. シンプル・スワップ・ファンが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからファンを取り出します。
7. ファンをサーバーの中に直接スライドさせます。 (次の図のステップ 1 を参照)。
8. ファンのリリース・ラッチの位置を合わせ、ファンが定位置にしっかり固定されていることを確認します。 (次の図のステップ 2 および 3 を参照)。



9. ファンの電源ケーブルをシステム・ボードに接続します。 (209 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照)。

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。 そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

メモリー・モジュールの取り付け

メモリー・モジュールをサーバー内に取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

ここには、サーバーがサポートするデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) のタイプの説明と、DIMM を取り付けるときに考慮すべき事項が記載されています (DIMM コネクターの位置については、 34 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。

- 取り付ける DIMM をサーバーがサポートしていることを確認するには、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/usを参照してください。
- このサーバーは、業界標準の double-data-rate 3 (DDR3)、1066 MHz PC3-8500、1333 MHz PC3-10600、または 1600 MHz PC3-12800 (指定されたモデルの single-rank、dual-rank、または quad-rank)、エラー修正コード (ECC) 付き Registered または Unbuffered SDRAM (synchronous DRAM) デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) のみをサポートします。
  - DDR3 DIMM の仕様は、DIMM のラベルに次の形式で記載されています。

ggggg eRxff-PC3v-wwwwwm-aa-bb-ccd

それぞれの意味は次のとおりです。

- *ggggg* は DIMM の合計容量です (例えば 1GB、2GB、または 4GB)。
- *e*R はランク数

  1R = single-rank

  2R = dual-rank

  4R = quad-rank
- x *ff* はデバイス編成またはビット幅です (x4、x8、x16 など)

  4 = x4 編成 (SDRAM 当たり 4 DQ ライン)

  8 = x8 編成

  16 = x16 編成
- *wwwww* は、DIMM 帯域幅 (Mbps 単位) です。

  8500 = 8.53 GBps (DDR3-1066 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)

  10600 = 10.66 GBps (DDR3-1333 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)

  12800 = 12.80 GBps (DDR3-1600 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)

  14900 = 14.93 GBps (DDR3-1866 SDRAM、8 バイトの基本データ・バス)

  17000 = 17.06 GBps (DDR3-2133 SDRAM、8 バイトの基本データ・バス)
- *m* は、DIMM のタイプです。

  E = ECC 付きの unbuffered DIMM (UDIMM) (x72 ビット・モジュール・データ・バス)

  R = Registered DIMM (RDIMM)

  U = ECC なし Unbuffered DIMM (x64 ビットの基本データ・バス)
- *aa* は、DDR3 SDRAM CAS 待ち時間 (最大動作周波数のクロック単位) です。
- *bb* は、JEDEC SPD 改訂エンコードおよび追加レベルです。
- *cc* は、DIMM 設計の参照設計ファイルです。
- *d* は、DIMM 参照設計の改訂番号です。

注: DIMM のタイプを判別するには、DIMM のラベルをご覧ください。ラベルの情報は、xxxxx nRxxx PC3-xxxxx-xx-xx-xxx の形式になっています。 6 番目の数値の位置にある数表示は、DIMM が single-rank (n=1) または dual-rank (n=2) であることを示しています。

- registered DIMM および unbuffered DIMM を同一のサーバーに取り付けないでください。
- このサーバーは、1.35 ボルト (低電圧) および 1.5 ボルトの DIMM をサポートします。 1.35 ボルトと 1.5 ボルトの DIMM を同一サーバーに取り付けないでください。
- このサーバーは、システム・ボード上で最大 12 個の DIMM (single-rank、dual-rank、または quad-rank) をサポートします。 サーバー内で single-rank、dual-rank、または quad-rank の DIMM を混用する場合は、最初に

quad-rank DIMM を取り付ける必要があります。 1 つの quad-rank DIMM を取り付ける場合は、 DIMM スロット 1 に取り付ける必要があります。

- サーバーで使用可能な DIMM オプションは、2 GB、4 GB、8 GB、16 GB、および 32 GB (使用可能な場合) です。

  注: 16 GB 1.5 ボルト/ 32 GB 1.35 ボルトを取り付ける場合、ファン構成に関する指示を記載した次の表を参照してください。

表 6. ファン構成に関する指示

ファン	条件
2 と背面ファン	すべてのシステムの標準
3	1. 2 番目のマイクロプロセッサーが取り付けられている場合、2 番目のマイクロプロセッサー・キット (P/N: 00D2581 から 00D2589) にファンが含まれています。または 2. システムに PCI-e アダプターが 3 つ以上取り付けられている場合、ファン (P/N: 00D2593) を別個使用できます。
1	オプションの予備ファン (P/N: 00D2593) **重要:** ファン 3 を取り付け、16 GB 1.5V / 32 GB 1.35V DIMM も取り付ける場合、ファン 1 も取り付ける必要があります。

- サーバー・システム・ボードは、最小 2 GB、最大 96 GB のシステム・メモリーをサポートします。

  注: システム構成に応じて使用可能なメモリー量が減ります。 ある一定量のメモリーを、システム・リソース用に確保しておく必要があります。 取り付け済みメモリーの合計量と構成済みメモリーの量を表示するには、Setup ユーティリティーを実行してください。 詳細は、 111 ページの『サーバーの構成』を参照してください。

- サーバー・システム・ボードはマイクロプロセッサーごとに 3 つのメモリー・チャネルを提供し、各メモリー・チャネルは最大 2 つの DIMM をサポートします。 次の表に、各メモリー・チャネルの DIMM コネクターをリストします。

表 7. 各メモリー・チャネル上の DIMM コネクター

マイクロプロセッサー	チャネル 0	チャネル 1	チャネル 2
マイクロプロセッサー 1	DIMM コネクター 1 および 2	DIMM コネクター 3 および 4	DIMM コネクター 5 および 6
マイクロプロセッサー 2	DIMM コネクター 7 および 8	DIMM コネクター 9 および 10	DIMM コネクター 11 および 12

- 次の表に、各マイクロプロセッサーに関連付けられている DIMM コネクターを示します。

表 8. 各マイクロプロセッサーに関連付けられた DIMM コネクター

マイクロプロセッサー	**マイクロプロセッサーに関連付けられた DIMM コネクター**
マイクロプロセッサー 1	1 から 6
マイクロプロセッサー 2	7 から 12

- サーバーの最大動作速度は、サーバーに取り付けられた最も速度の遅い DIMM によって決まります。
- マイクロプロセッサーごとに最小 1 つの DIMM を取り付ける必要があります。例えば、サーバーに 2 つのマイクロプロセッサーが取り付けられている場合は最小 2 つの DIMM を取り付ける必要があります。 つまり、マイクロプロセッサー 1 に 1 つ、マイクロプロセッサー 2 に 1 つを取り付けます。
- このサーバーは最小 2 つの DIMM がスロット 1 に取り付けられて出荷されます。追加の DIMM を取り付ける場合は、システム・パフォーマンスを最適化するために、次の表の情報に示される順序で取り付けてください。
- このサーバーは、独立モード、スペア・チャネル・モード、およびミラーリング・モードをサポートします。
- **独立モード**: 独立モードを使用する場合、以下の表に示すように DIMM を取り付けてください。
  - 次の表に、サーバーに 1 個または 2 個のマイクロプロセッサーが取り付けられている場合の非ミラーリング・モードでの DIMM 取り付け順序をリストします。

表 9. DIMM 装着順序 (独立モード)

取り付け済みマイクロプロセッサーの数	**DIMM コネクター取り付け順序**
1	1, 3, 5, 2, 4, 6
2	1, 7, 3, 9, 5, 11, 2, 8, 4, 10, 6, 12

- **スペア・チャネル・モード**: メモリー・ミラーリング機能を使用する際、以下の情報を考慮してください。
  - スペア・チャネル・モードでは、1 つのランクが同じチャネル上の他のランクのスペアになります。 スペア・ランクは予備として確保され、システム・メモリーとしては使用できません。 スペア・ランクのメモリー容量は、同じチャネル上のその他のすべてのランク (スペアリング・ソース・ランク) と同一か、それらより大きくなければなりません。 スペアリング後は、スペアリング・ソース・ランクは失われます。
  - DIMM は、3 つをセットにして取り付ける必要があります。 各セットの DIMM は、同じサイズとタイプのものでなければなりません。
  - 次の表に、サーバーに 1 個または 2 個のマイクロプロセッサーが取り付けられている場合のランク・スペアリング・モードでの DIMM 取り付け順序をリストします。

表 10. DIMM 装着順序 (ランク・スペアリング・モード)

取り付け済みマイクロプロセッサーの数	DIMM コネクター取り付け順序
1	1, 3, 5 2, 4, 6
2	1, 3, 5 7, 9, 11 2, 4, 6 8, 10, 12

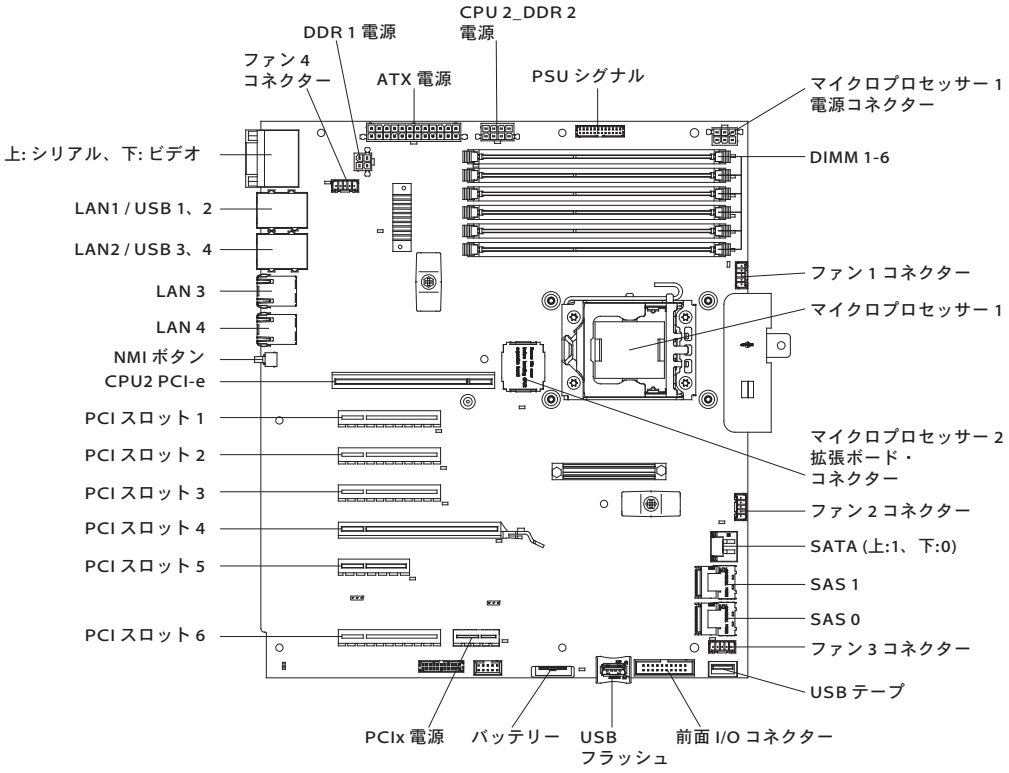
- **メモリー・ミラーリング・モード**: メモリー・ミラーリング機能を使用する際、以下の情報を考慮してください。
  - メモリー・ミラーリング・モードは、2 ペアの DIMM 上に同時にデータを複製して保管します。 障害が発生すると、メモリー・コントローラーはプライマリー・ペアのメモリー DIMM からバックアップ・ペアの DIMM に切り替えます。 このミラーリングにより、メモリーの冗長性が得られますが、合計メモリー容量は 3 分の 1 に減ります。 チャネル 1 の DIMM コネクター 3、4、9、および 10 は、メモリー・ミラーリング・モードで使用されません。 Setup ユーティリティーを使ってメモリー・ミラーリングを使用可能にするには、「**System Settings**」→「**Memory**」の順に選択します。詳しくは、 115 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照してください。
  - DIMM は必ずペアで取り付けなければなりません。 各ペアの DIMM は、同じサイズとタイプのものでなければなりません。
  - メモリー・ミラーリングが使用可能になっている場合、使用可能メモリーの最大量は、取り付けられているメモリーの 3 分の 1 に減ります。 例えば、96 GB のメモリーを取り付けた場合、メモリー・ミラーリングを使用する際に使用できるのは 32 GB のアドレス可能メモリーのみです。
  - 次の表に、サーバーに 1 個または 2 個のマイクロプロセッサーが取り付けられている場合のメモリー・ミラーリング・モードでの DIMM 取り付け順序をリストします。

表 11. DIMM 装着順序 (メモリー・ミラーリング・モード)

取り付け済みマイクロプロセッサーの数	DIMM コネクター取り付け順序
1	3, 5 4, 6
2	3, 5 9, 11 4, 6 10, 12

- DIMM を取り付けまたは取り外すと、サーバー構成情報が変更されます。 サーバーを再始動すると、システムにより、メモリー構成が変更されたことを示すメッセージが表示されます。

次の図は、システム・ボード上の DIMM コネクターの位置を示しています。



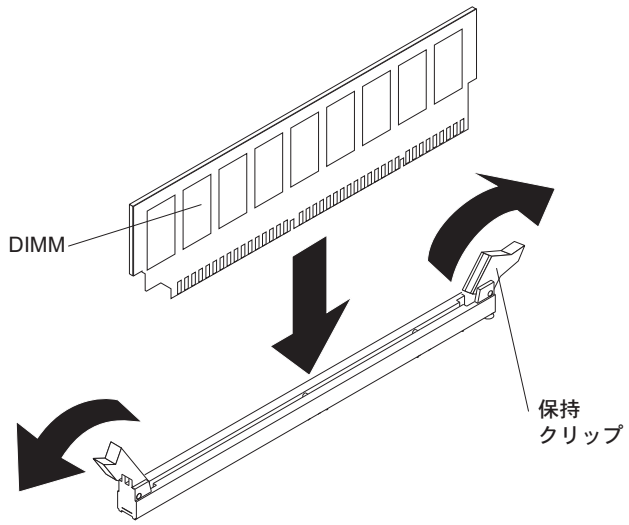
DIMM を取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. DIMM コネクターのそれぞれの端にある保持クリップを開きます。

   重要: 保持クリップを破損したり、DIMM コネクターを損傷しないように、クリップは丁寧に開閉してください。



6. DIMM が入っている静電防止パッケージを、サーバーの外側の塗装されていない金属面に接触させます。 その上で、DIMM をパッケージから取り出します。
7. DIMM のキーがコネクターの位置に正しく合うように、DIMM の方向を合わせます。
8. DIMM の端を DIMM コネクターの端にあるスロットに合わせて、DIMM をコネクターに差し込みます (DIMM コネクターの位置については、 34 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。
9. DIMM の両端に同時に圧力を加えて、DIMM をコネクターにまっすぐ押し下げ、しっかり押し込みます。 DIMM がコネクター内に完全に収まると、保持クリップがロック位置にきちんとはまります。

   注: DIMM と保持クリップとの間にすき間がある場合、DIMM は正しく差し込まれていません。保持クリップを開いて DIMM を取り出し、再度、差し込んでください。

タスクの結果

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

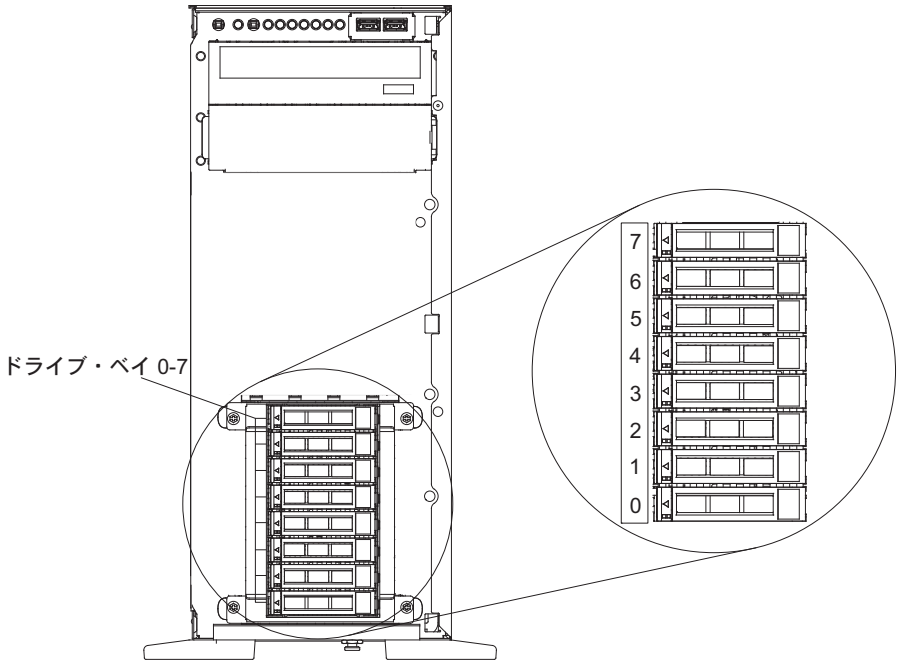
ドライブの取り付け

次の図は、サーバーとドライブ・ベイの位置を示しています。 ご使用のモデルによって、ハードウェアが少し異なる場合があります。

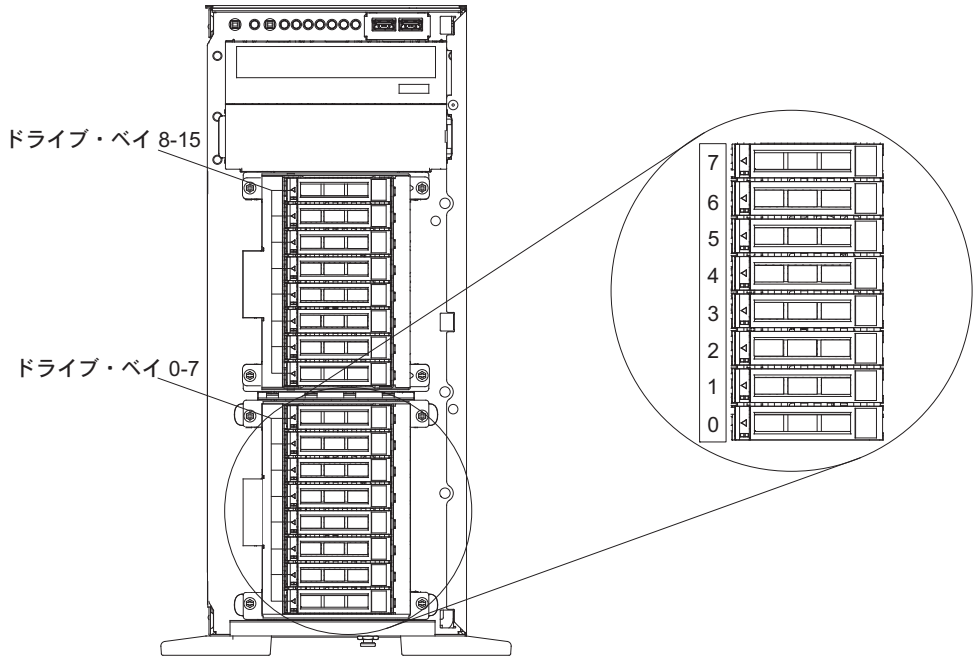
注: ServeRAID アダプターを使用してサーバーが RAID オペレーション用に構成されている場合は、ドライブの取り付け後にディスク・アレイの再構成が必要な場合があります。 RAID オペレーションの追加情報および ServeRAID アダプターの使用についての詳細な説明は、ServeRAID アダプターの資料を参照してください。

次の図には、2.5 型および 3.5 型ハード・ディスクのサーバー・モデルにおけるドライブ・ベイの位置を示しています。

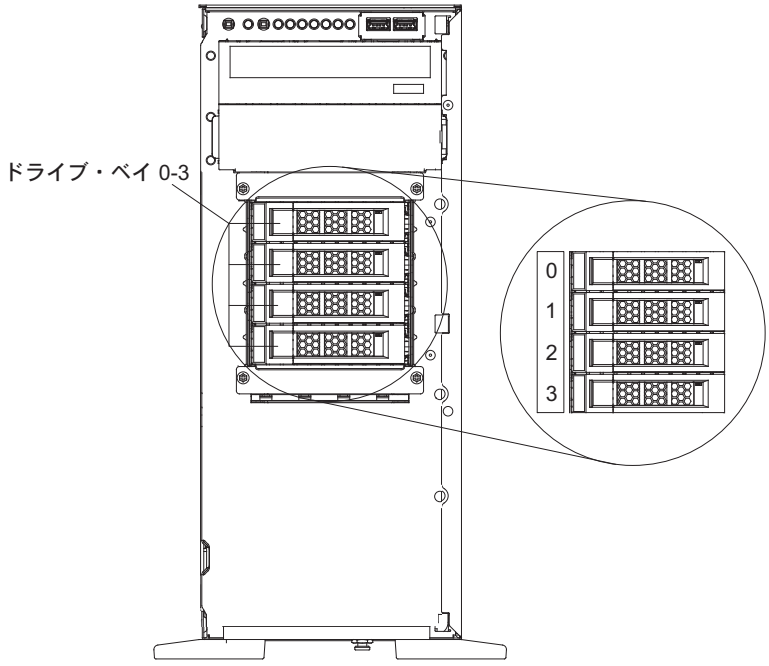
- 8 個の 2.5 型ハード・ディスクを搭載したサーバー



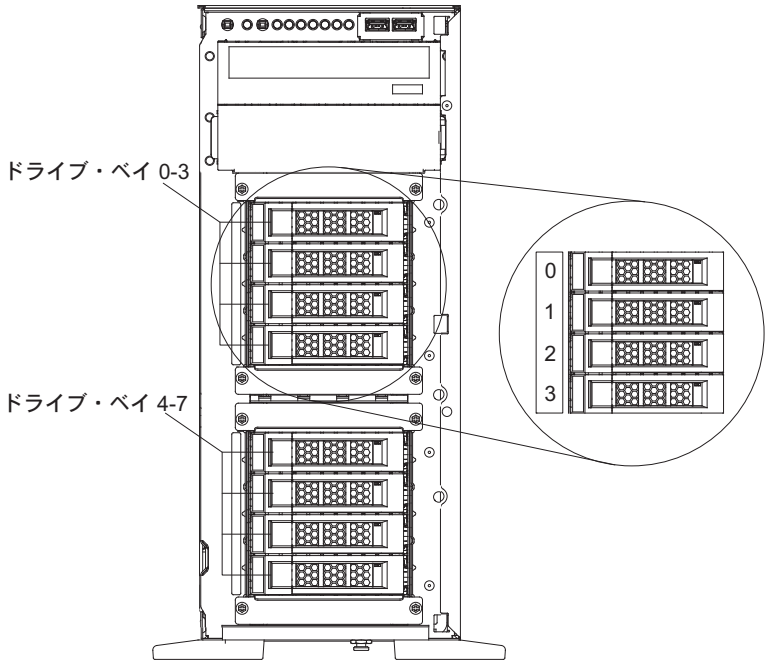
- 16 個の 2.5 型ハード・ディスクを搭載したサーバー



- 4 個の 3.5 型ハード・ディスクを搭載したサーバー



- 8 個の 3.5 型ハード・ディスクを搭載したサーバー



以下に、サーバーがサポートするドライブのタイプの説明と、ドライブを取り付けるときに考慮すべき事項を示します。取り付けるドライブをサーバーがサポートしていることを確認するには、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/usを参照してください。

- この章の説明のほかに、ドライブに付属の資料に記載されている説明に従ってください。
- ドライブに付属する資料で示されているすべてのケーブルおよびその他の装置があるか確認します。
- ドライブを取り付けるベイを選択します。
- このサーバーは、オプションで 1 台の UltraSlim SATA CD-RW/DVD-ROM 光学式ドライブをサポートします。
- サーバーは、最大 8 台の 2.5 型ホット・スワップ SAS/SATA ドライブ、4 台の 3.5 型ホット・スワップ SAS/SATA ドライブ、または 4 台の 3.5 型シンプル・スワップ SATA ドライブをサポートできます。
- ホット・スワップ SAS と SATA のハード・ディスクは、同じサーバーで混用できます。ただし、これらのドライブを同じアレイで混用することはできません。
- サーバーの電磁気干渉 (EMI) 保全性および冷却は、すべてのベイおよび PCI Express スロットをカバーするか、占拠することによって保護されます。 ドライブを取り付けるときは、後で装置を取り外す場合に備えて、ベイから外した EMC シールドとフィラー・パネルを保管しておきます。

2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクをサーバー内に取り付けるには、この情報を使用します。

以下の注意書きでは、このサーバーがサポートしているハード・ディスクのタイプ、およびハード・ディスクを取り付けるときに考慮する必要があるその他の情報を記載しています。

- モデルにより、このサーバーは最大 8 台または 16 台の 2.5 型 SAS/SATA ホット・スワップ・ハード・ディスクをホット・スワップ・ベイに取り付けることができます。

  注: 17 個以上の 2.5 型ハード・ディスクに対応するために ServeRAID アダプター M1015 を使用する場合、RAID 対応ドライブの最大数は 16 です。 その他のドライブはすべて、JBOD (このドライブは、RAID 構成を使用しないオペレーティング・システムに提供されます) のままです。
- サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/usを参照してください。
- ドライブとドライブ・ベイを検査して、損傷が発生した兆候がないか確認します。
- ドライブがドライブ・ベイに正しく取り付けられていることを確認します。
- ハード・ディスクの取り付けについては、ServeRAID アダプターの資料を参照してください。
- サーバー内のホット・スワップ・ドライブはすべて同一スループット速度でなければならず、異なる定格速度のドライブを使用している場合は、すべてのドライブが最低の速度で作動することがあります。
- ホット・スワップ・ドライブをホット・スワップ・ドライブ・ベイに取り付けるために、サーバーの電源をオフにする必要はありません。 ただし、ケーブルを取り付けたり取り外したりする手順を実行する場合、サーバーは必ず電源をオフにします。

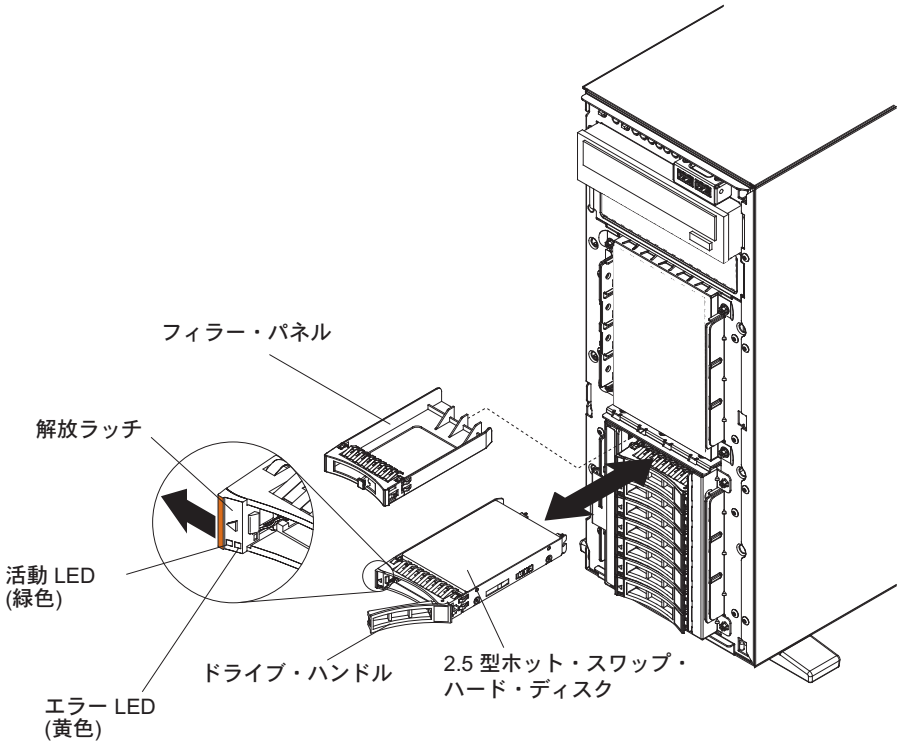
2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り付けるには、次の手順を実行してください。

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

   重要: サーバーの電源がオンになっている場合にサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電されると、サーバーが停止することがあり、それによってデータが失われる可能性があります。 こうした潜在的な問題を回避するために、電源がオンになっているサーバー内で作業するときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除します。

   注: ベゼルを開く、あるいは取り外すには、左サイド・カバーのロックを解除する必要があります。 左サイド・カバーをロックすると、カバーとベゼルの両方がロックされます。
3. ベゼルを開きます (226 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。

4. フィラー・パネルが取り付けられている場合は取り外します。
5. ディスク・ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからディスク・ドライブを取り出します。
6. トレイ・ハンドルが開いていることを確認してから、ハード・ディスクをホット・スワップ・ベイに取り付けます。
7. ドライブがホット・スワップ・ベイに固定され、リリース・ラッチが定位置に収まるまで、ドライブ・ハンドルを下に回転させます。



注:

a. ハード・ディスクを取り付けたら、ディスク・ドライブの状況 LED をチェックして、ハード・ディスクが正常に動作していることを確認します。

   黄色のハード・ディスク状況 LED が連続して点灯している場合は、そのドライブに障害があり、交換する必要があります。 緑色のハード・ディスク活動 LED が点滅している場合、そのドライブはアクセス中です。

b. オプションの ServeRAID アダプターを使用してサーバーが RAID オペレーション用に構成されている場合は、ハード・ディスクの取り付け後にディスク・アレイの再構成が必要な場合があります。 RAID 操作に関する追加情報および ServeRAID マネージャーの使用に関する詳しい説明については、IBM ServeRAID *Support* CD に収録されている ServeRAID の資料を参照してください。

8. ベゼルを閉じます。
9. 左サイド・カバーをロックします。

3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクをサーバー内に取り付けるには、この情報を使用します。

3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り付ける前に、次の情報をお読みください。

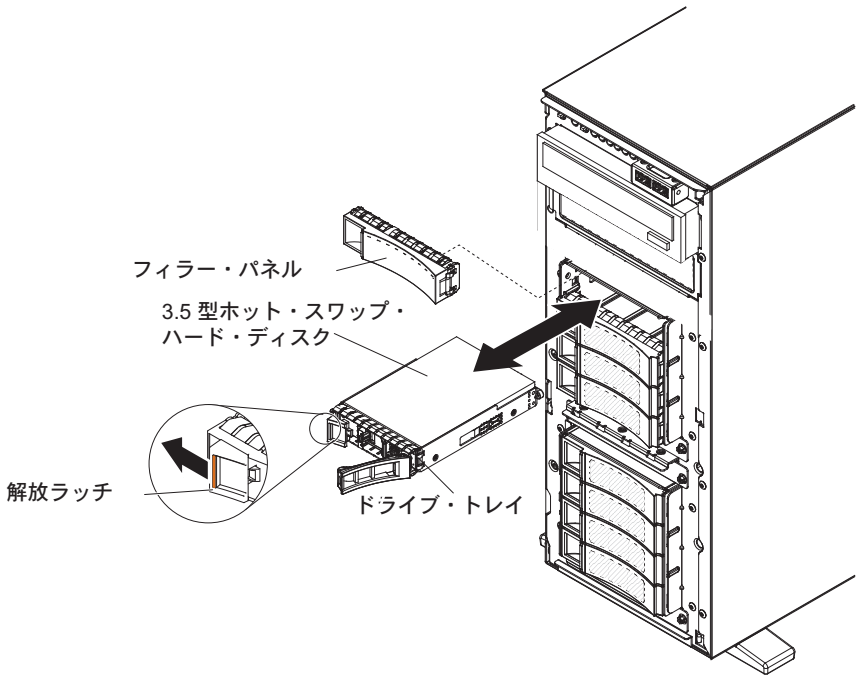
- ドライブ・トレイに損傷がないか検査します。
- システムの冷却を正常に保つため、各ドライブ・ベイにドライブまたはフィラー・パネルを取り付けない状態で、10 分間より長くサーバーを稼働させないでください。
- ホット・スワップ・ドライブをホット・スワップ・ドライブ・ベイに取り付けるのに、サーバーの電源をオフにする必要はありません。

3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り付けるには、次のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

   重要: サーバーの電源がオンになっている場合にサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電されると、サーバーが停止することがあり、それによってデータが失われる可能性があります。 こうした潜在的な問題を回避するために、電源がオンになっているサーバー内で作業するときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除します。

   注: ベゼルを開く、あるいは取り外すには、左サイド・カバーのロックを解除する必要があります。 左サイド・カバーをロックすると、カバーとベゼルの両方がロックされます。
3. ベゼルを開きます (226 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
4. フィラー・パネルが取り付けられている場合は取り外します。
5. ディスク・ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからディスク・ドライブを取り出します。
6. トレイ・ハンドルが開いていることを確認してから、ハード・ディスクをホット・スワップ・ベイに取り付けます。
7. ドライブ・アセンブリーをベイ内のガイド・レールに位置合わせし、ドライブが所定の位置にパチンとなるまでドライブ・アセンブリーをドライブ・ベイに慎重にスライドさせます。



8. ドライブ・トレイ・ハンドルを閉じた位置まで回転させます。
9. ハード・ディスク状況インディケーターをチェックして、ハード・ディスクが正しく稼働していることを確認します。

   故障したハード・ディスクを交換した後、ディスクが回転すると緑色の活動 LED が点滅します。 およそ 1 分後に黄色の LED が消灯します。 新しいドライブが再構築を開始すると、黄色の LED はゆっくり点滅し、緑色の活動 LED は再構築プロセス中は点灯しています。 黄色の LED が点灯し続ける場合、詳しくは 145 ページの『第 4 章 Troubleshooting』を参照してください。

   注: ハード・ディスクを取り付けた後、ディスク・アレイを再構成する必要がある場合があります。 RAID アダプターについて詳しくは、IBM Web サイト (http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/overview) の RAID 資料を参照してください。
10. ベゼルを閉じます。
11. 左サイド・カバーをロックします。

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクをサーバー内に取り付けるには、この情報を使用します。

3.5 型シンプル・スワップ ハード・ディスクを取り付ける前に、次の情報をお読みください。

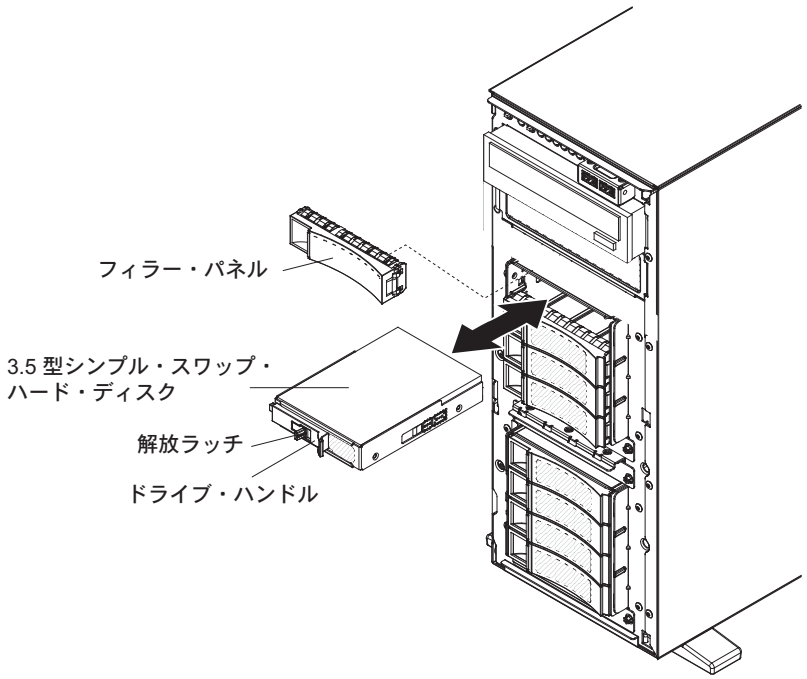
- ドライブ・トレイに損傷がないか検査します。
- システムの冷却を正常に保つため、各ドライブ・ベイにドライブまたはフィラー・パネルを取り付けない状態で、10 分間より長くサーバーを稼働させないでください。
- シンプル・スワップ・ドライブをシンプル・スワップ・ドライブ・ベイに取り付けるには、サーバーの電源をオフにする必要があります。

3.5 型シンプル・スワップ ハード・ディスクを取り付けるには、次のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

   重要: サーバーの電源がオンになっている場合にサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電されると、サーバーが停止することがあり、それによってデータが失われる可能性があります。 こうした潜在的な問題を回避するために、電源がオンになっているサーバー内で作業するときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. 左サイド・カバーのロックを解除します。

   注: ベゼルを開く、あるいは取り外すには、左サイド・カバーのロックを解除する必要があります。 左サイド・カバーをロックすると、カバーとベゼルの両方がロックされます。
4. ベゼルを開きます (226 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
5. フィラー・パネルが取り付けられている場合は取り外します。
6. ディスク・ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからディスク・ドライブを取り出します。
7. 黒色のドライブ・ハンドルをつかみ、青色のリリース・ラッチを右側にスライドさせ、ドライブ・アセンブリーの位置をベイのガイド・レールと合わせます。



8. ドライブがベイの中で止まるまで、慎重にベイの中に押し込みます。

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

光学式 CD/DVD ドライブの取り付け

光学式 CD/DVD ドライブをサーバー内に取り付けるには、この情報を使用します。

オプションの CD/DVD ドライブを取り付けるには、以下の手順を実行してください。

1. ドライブを取り付ける場合は、以下のことを確認してください。
   - 新しいドライブに付属の資料で指定されているすべてのケーブル、およびその他の装置があることを確認します。
   - 新しいドライブに付属の説明を調べて、ドライブにスイッチまたはジャンパーの設定が必要かどうかを確認します。
   - 古いドライブの側面に付いていた青色の光学式ドライブ・レールを取り外して、新しいドライブの取り付けに使用できるように用意します。

   注: レーザーを含むドライブを取り付ける場合は、以下の安全上の予防措置を守ってください。

   安全 3

注意:
レーザー製品 (CD-ROM、DVD ドライブ、光ファイバー装置、または送信機など) を取り付ける場合には、以下のことに注意してください。

- **カバーを外さないこと。 カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。 この装置の内部には保守が可能な部品はありません。**
- **本書に記述されていないコントロールや調整を使用したり、本書に記述されていない手順を実行すると、有害な光線を浴びることがあります。**

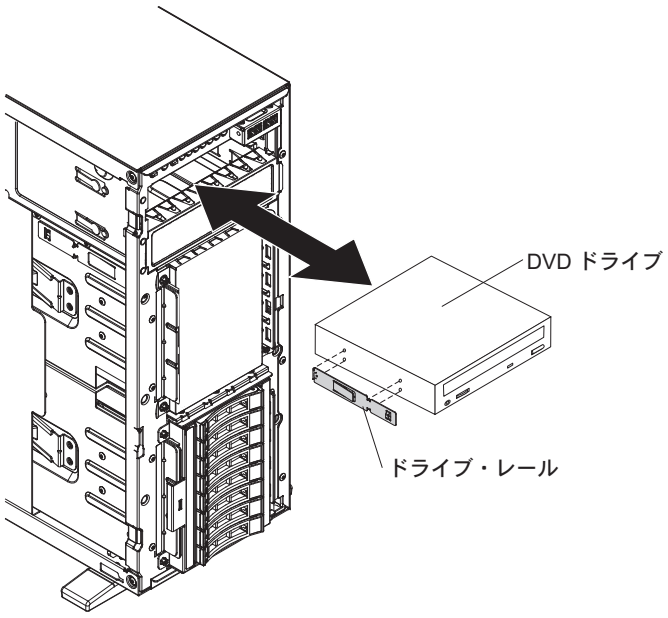
危険

一部のレーザー製品には、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードが組み込まれています。 次のことに注意してください。

カバーを開くとレーザー光線の照射があります。 光線を見つめたり、光学装置を用いて直接見たり、光線を直接浴びることは避けてください。

クラス 1 レーザー製品
Laser Klasse 1
Laser Klass 1
Luokan 1 Laserlaite
Appareil A Laser de Classe 1

2. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
3. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
4. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. ベゼルを開きます (226 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
6. DVD ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージから DVD ドライブを取り出します。
7. DVD ドライブにドライブ・レールを取り付けます。
8. ドライブ・レールを DVD ドライブの位置に合わせてから、DVD ドライブをドライブ・ベイに滑り込ませてレールを定位置に収めます。



9. 電源ケーブルと信号ケーブルをドライブおよびシステム・ボード上のコネクターに接続します (209 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照)。

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

オプションのテープ・ドライブの取り付け

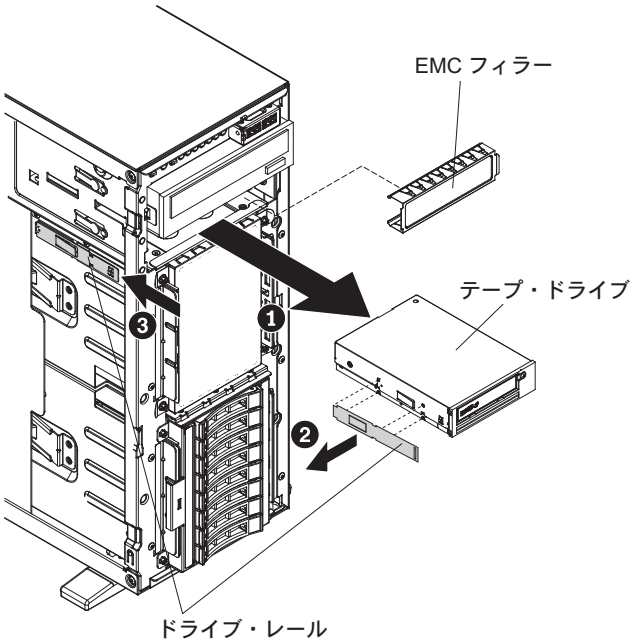
オプションのテープ・ドライブをサーバー内に取り付けるには、この情報を使用します。

オプションのフルハイトのテープ・ドライブを取り付けるには、次のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. ベゼルを開きます (226 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
5. EMC シールドがドライブ・ベイに取り付けられている場合は取り外します。
6. DVD ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージから DVD ドライブを取り出します。
7. ドライブの中央に最も近い穴を利用して、テープ・ドライブにドライブ・レールを取り付けます。
8. ジャンパーまたはスイッチがある場合は、ドライブに付属の説明に従って設定します。

注: 新しいドライブを前面から入れて取り付けてから、ケーブルを接続する方が作業しやすい場合があります。

9. テープ・ドライブのレールをドライブ・ベイのガイドの位置に合わせてから、テープ・ドライブをドライブ・ベイの中に滑り込ませてレールを定位置に収めます。



10. 電源ケーブルと信号ケーブルをドライブおよびシステム・ボード上のコネクターに接続します (209 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照)。

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

PCI-X ライザー・カード・アセンブリーの取り付け

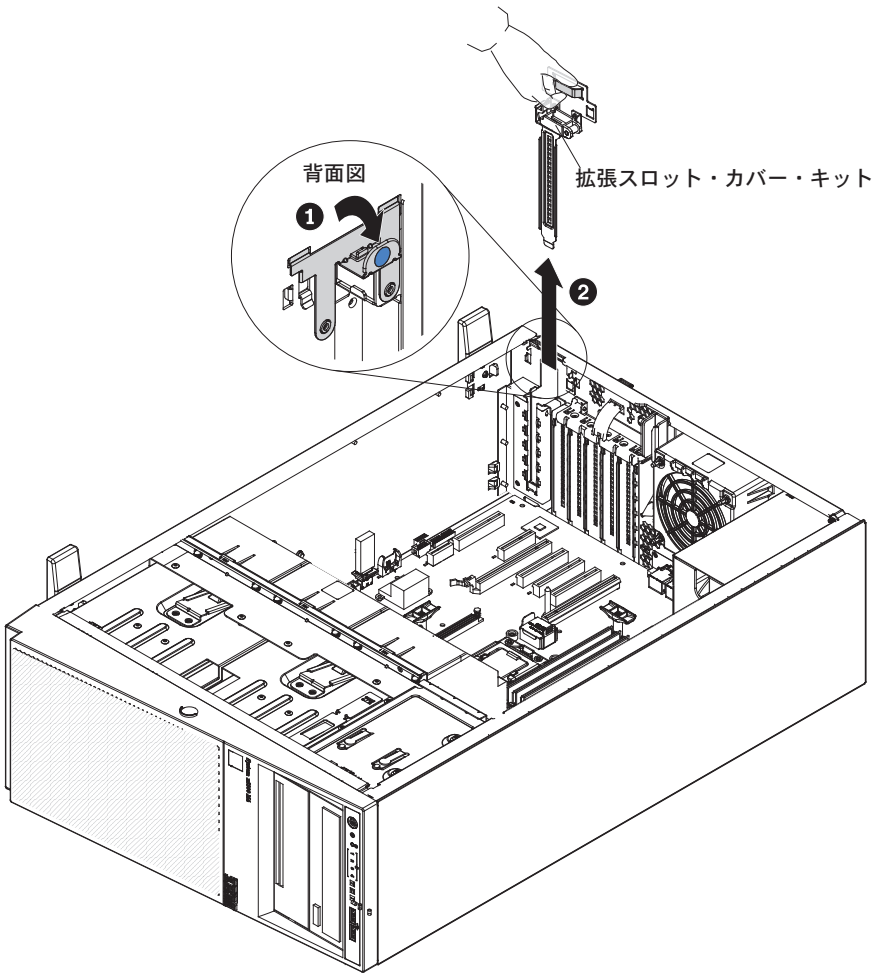
PCI-X ライザー・カード・アセンブリーをサーバー内に取り付けるには、この情報を使用します。

PCI-X ライザー・カード・アセンブリーを取り付けるには、次のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

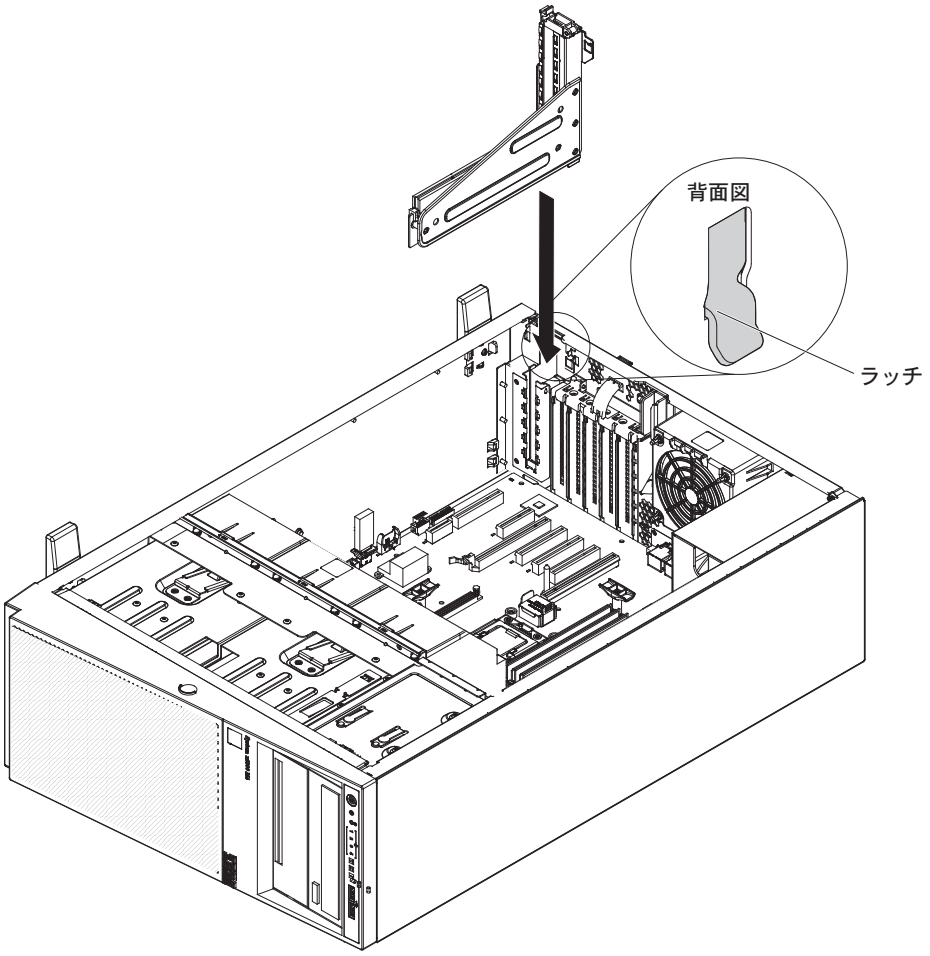
   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。

5. アダプターが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからアダプターを取り出します。
6. PCI スロット 1 を見つけます (ここに、PCI-X ライザー・カード・アセンブリーを取り付けます)。
7. 拡張スロット・カバー・キットのラッチを、サーバーの背面側から押します (次の図のステップ 1 を参照)。
8. PCI スロット 1 にある拡張スロット・カバー・キットを取り外し、将来の使用に備えて保管します。 (次の図のステップ 2 を参照)。



9. PCI-X ライザー・カード・アセンブリーをしっかりと PCI スロット 1 に押し込みます。

   重要: 挿入が不完全な場合、システム・ボードまたはアダプターを損傷する可能性があります。
10. PCI-X ライザー・カード・アセンブリーの背面にあるラッチがサーバー・シャーシ背面に固定されていることを確認します。



他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

アダプターの取り付け

アダプターをサーバー内に取り付けるには、この情報を使用します。

ここには、サーバーがサポートするアダプターのタイプの説明と、アダプターを取り付けるときに考慮すべき事項が記載されています。

- 取り付けるアダプターをサーバーがサポートしていることを確認するには、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/usを参照してください。
- アダプターに付属の説明書を読んで、その指示に従ってください。また、本章の指示にも従ってください。
- LCD モニターの最大デジタル・ビデオ・アダプター解像度を 1280 x 1024 (75 Hz) より上に設定しないでください。 これが、このサーバーに取り付けるすべてのアドオン・ビデオ・アダプターに対してサポートされる最高の解像度です。
- アダプター上のコンポーネントおよび端が金色のコネクターには触れないようにしてください。

- すべてのアドオン・ビデオ・アダプター上の高品位のビデオ・アウト・コネクターまたはステレオ・コネクターは、サポートされません。
- サーバーは、循環割り込み技術を使用して PCI アダプターを構成するため、PCI 割り込みの共用をサポートしない PCI アダプターを取り付けることができます。
- このサーバーでは、システム・ボード上で 2 つの PCI ライザー・スロットを提供します。 ライザー・カードは、最大 3 つの PCI Express Gen2 アダプター・スロットを備えています。 次の表に、ライザー・カード上およびシステム・ボード上の PCI-e スロット、各スロットが接続されるマイクロプロセッサー、および各スロットに取り付け可能なサポート対象のアダプターをリストしています。

表 12. PCI ライザー・スロットのサポートされる構成

PCI-X ライザー・カード・アセンブリー	**PCI-e スロット番号**	**スロットが接続されるマイクロプロセッサー**	**構成 1**	**構成 2**
1	1	マイクロプロセッサー 1	PCI-e Gen2 x16 (x16 メカニカル) フルハイト、ハーフサイズ・アダプター	PCI-e Gen2 x8 (x16 メカニカル) フルハイト、ハーフサイズ・アダプター
1	2	マイクロプロセッサー 1	N/A	PCI-e Gen2 x8 (x16 メカニカル) ロー・プロファイル・アダプター
2	3	マイクロプロセッサー 1	PCI-e Gen2 x4 ロー・プロファイル、内蔵 RAID アダプター	PCI-e Gen2 x4 ロー・プロファイル、内蔵 RAID アダプター
注: PCI-X ライザー・カード・アセンブリー 2 上の PCI-e スロット 3 は、オプションの内蔵 RAID アダプター用に予約されています。 どの内蔵 RAID アダプターも、PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 には取り付けないでください。				

注: 16 GB 1.5 ボルト/ 32 GB 1.35 ボルトを取り付ける場合、ファン構成に関する指示を記載した次の表を参照してください。

表 13. ファン構成に関する指示

ファン	**条件**
2 と背面ファン	すべてのシステムの標準
3	1. 2 番目のマイクロプロセッサーが取り付けられている場合、2 番目のマイクロプロセッサー・キット (P/N: 00D2581 から 00D2589) にファンが含まれています。あるいは、 2. システムに PCI-e アダプターが 3 つ以上取り付けられている場合、ファン (P/N: 00D2593) を別個使用できます。

表 13. ファン構成に関する指示 (続き)

ファン	条件
1	オプションの予備ファン (P/N: 00D2593) **重要:** ファン 3 を取り付け、16 GB 1.5V / 32 GB 1.35V DIMM も取り付ける場合、ファン 1 も取り付ける必要があります。

- 次の表は、ネットワーク・アダプターに関するオプション部品番号および CRU 部品番号をリストしています。

表 14. ネットワーク・アダプター

ネットワーク・アダプター		
説明	**オプション部品番号**	**CRU 部品番号**
QLogic 4Gb PCIe FC シングル・ポート HBA	39R6525	39R6526
QLogic 4Gb PCIe FC デュアル・ポート HBA	39R6527	39R6528
NetXtreme II 1000 Express イーサネット・アダプター	39Y6066	39Y6070
Intel PRO/1000 PF サーバー・アダプター	42C1750	42C1752
NetXtreme II 1000 Express デュアル・ポート・イーサネット・アダプター	42C1780	49Y7947
QLogic 10Gb CNA	42C1800	42C1802
Brocade 10Gb デュアル・ポート CNA	42C1820	42C1822
Emulex 4 Gbps FC シングル・ポート PCIe HBA	42C2069	43W7510
Emulex 4Gbps FC デュアル・ポート PCIe HBA	42C2071	43W7512
Emulex 8Gb FC シングル・ポート HBA	42D0485	42D0491
Emulex 8Gb FC デュアル・ポート HBA	42D0494	42D0500
QLogic 8Gb FC シングル・ポート HBA	42D0501	42D0507
QLogic 8Gb FC デュアル・ポート HBA	42D0510	42D0516
IBM 6Gb SAS HBA コントローラー	46M0907	68Y7354
Brocade 8Gb FC シングル・ポート HBA	46M6049	46M6061
Brocade 8Gb FC デュアル・ポート HBA	46M6050	46M6062
NetXtreme II 1000 Express クアッド・ポート・イーサネット・アダプター	49Y4220	49Y7949
Intel イーサネット・デュアル・ポート・サーバー・アダプター I340-T2	49Y4230	49Y4232
Intel イーサネット・クアッド・ポート・サーバー・アダプター I340-T4	49Y4240	49Y4242
Broadcom NetXtreme II デュアル・ポート 10GBaseT アダプター	49Y7910	49Y7912
Intel X520-DA2 デュアル・ポート 10GbE SFP アダプター	49Y7960	49Y7962
Brocade 4Gb FC シングル・ポート HBA	59Y1987	59Y1992
Brocade 4Gb FC デュアル・ポート HBA	59Y1993	59Y1998
Broadcom NetXtreme I クアッド・ポート GbE アダプター	90Y9352	90Y9355
Broadcom NetXtreme I デュアル・ポート GbE アダプター	90Y9370	90Y9373
Emulex 10 GbE 仮想ファブリック・アダプター III	95Y3762	9573766

表 14. ネットワーク・アダプター (続き)

ネットワーク・アダプター		
説明	**オプション部品番号**	**CRU 部品番号**
Emulex 10 GbE 仮想ファブリック・アダプター III lite	95Y3768	95Y3766

- サーバーには、ユーザーのサーバー・モデルに応じて、基本的な RAID レベル 0 および 1 機能を提供するオンボード RAID コントローラーが装備されています。サーバーは、追加の RAID サポート用に購入可能な、以下のオプションの RAID アダプターをサポートします。 構成情報については、アダプターに付属の資料、または ServeRAID の資料 (http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/overview) を参照してください。

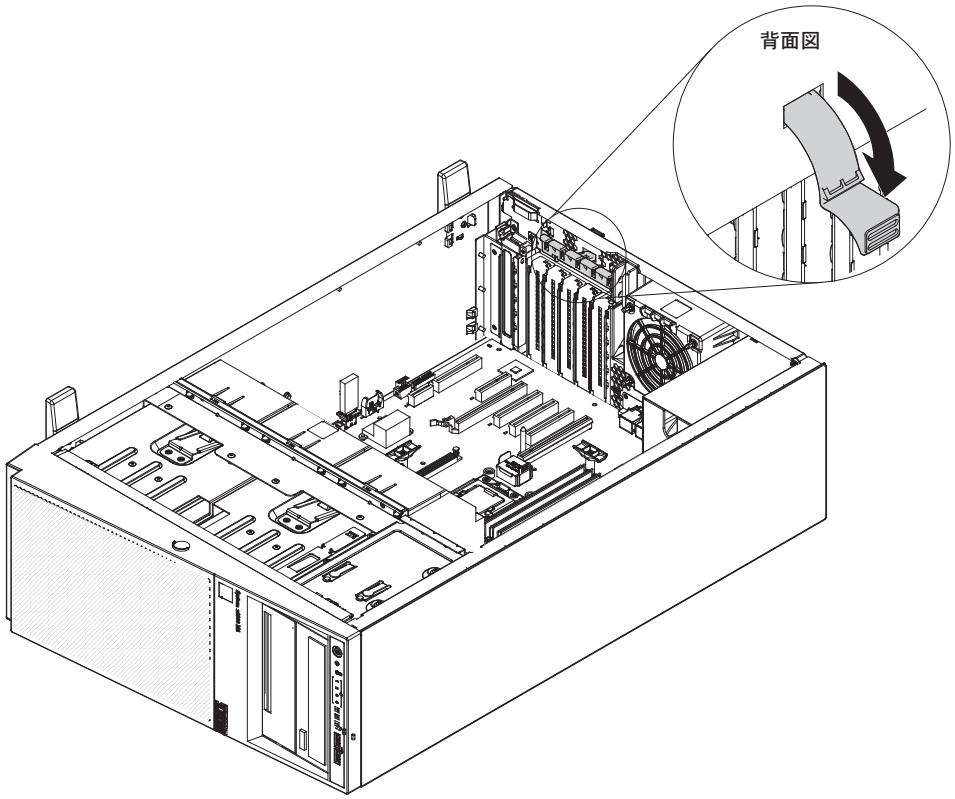
  重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

重要: サーバーの電源が入っているときに、サーバー内のコンポーネントへ静電気が放出されると、サーバーが停止して、結果的にデータが失われるおそれがあります。こうした問題が起きないよう、電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップまたはその他の接地システムを使用してください。

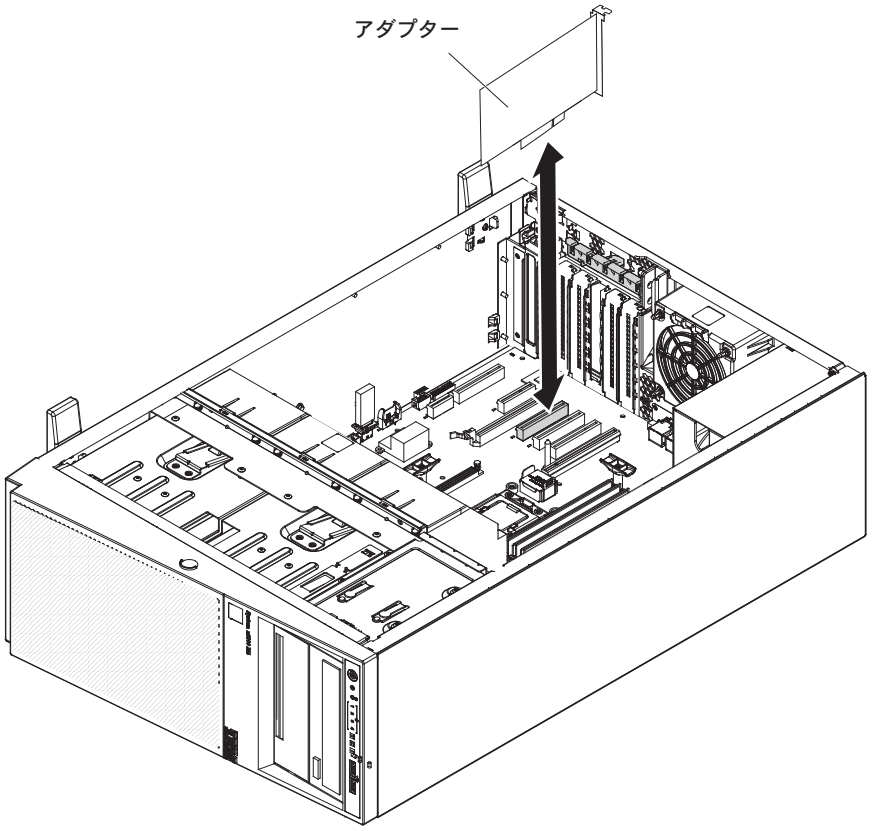
アダプターを取り付けるには、次のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. ケーブル接続方法およびジャンパーまたはスイッチ設定に関する情報については、アダプターに付属の資料を参照します。 (アダプターを取り付ける前にケーブルを配線した方が簡単な場合があります。)
6. アダプターが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからアダプターを取り出します。
7. アダプターを取り付ける PCI スロットを決定します。
8. サーバーの背面側から、アダプター保持ブラケットのラッチを開いた位置まで押し下げます。

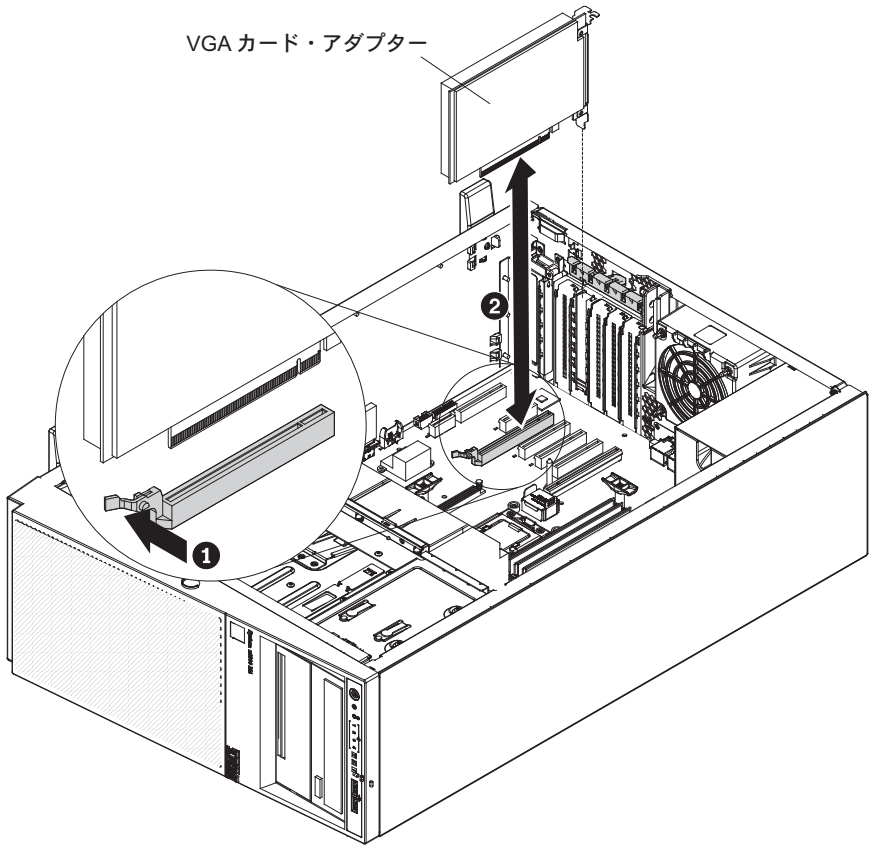


9. PCI スロット・フィラーが取り付けられている場合は取り外します。 フィラーは、将来の使用に備えて安全な場所に保管します。
10. アダプターを拡張スロットにしっかりと挿入します。


アダプター

重要:

- 挿入が不完全な場合、システム・ボードまたはアダプターを損傷する可能性があります。
- アダプターを PCI スロット 4 に取り付けている場合、もしくは PCI スロット 4 から取り外している場合、次の図のステップ 1 としてまずリリース・ラッチを押す必要があります。



11. アダプター保持ブラケットを閉じます。
12. アダプターに必要な構成タスクをすべて実行します。

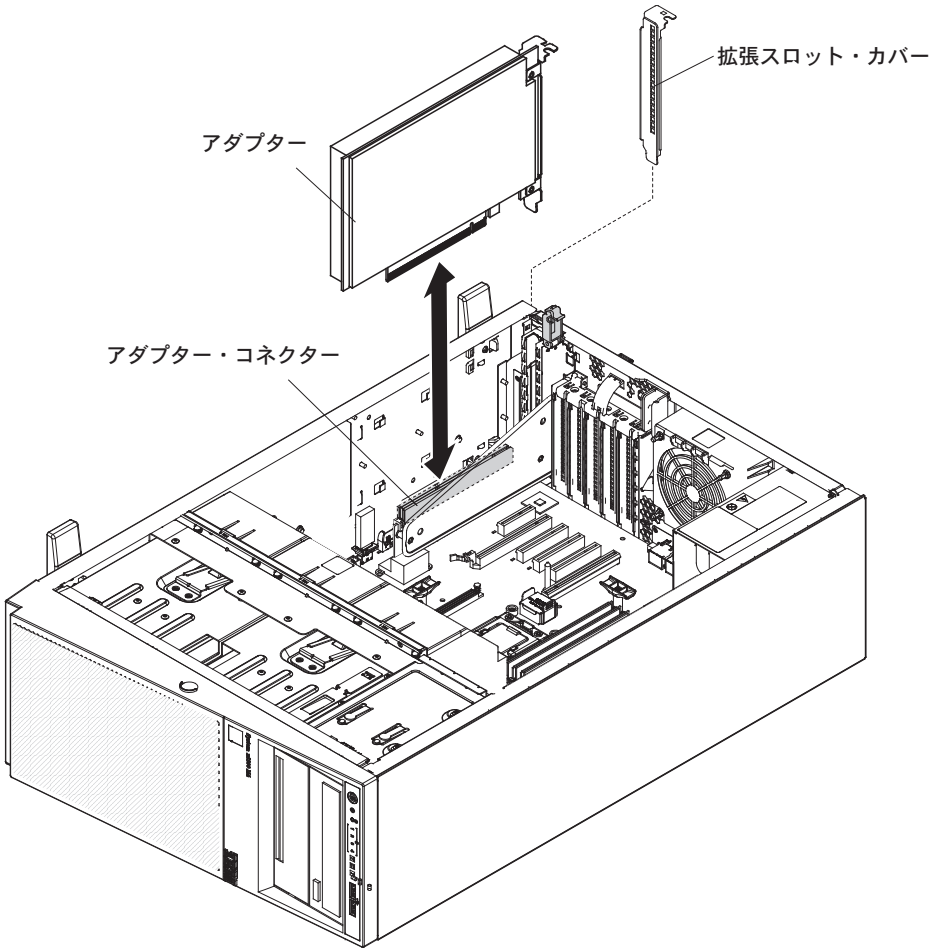
PCI-X ライザー・カード・アセンブリーにアダプターを取り付けるには、次のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。

5. ケーブル接続方法およびジャンパーまたはスイッチ設定に関する情報については、アダプターに付属の資料を参照します。 (アダプターを取り付ける前にケーブルを配線した方が簡単な場合があります。)
6. アダプターが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからアダプターを取り出します。
7. PCI スロット 1 を見つけます (ここに、アダプターを取り付けます)。
8. PCI-X ブラケット上のアダプター保持ブラケットを、開いた位置まで回転させます。

   注: PCI-X ブラケットに拡張スロット・カバーが取り付けられている場合は、取り外して将来の使用に備えて保管します。



9. PCI スロット・フィラーが取り付けられている場合は取り外します。 フィラーは、将来の使用に備えて安全な場所に保管します。
10. アダプターを拡張スロットにしっかりと挿入します。

    重要: 挿入が不完全な場合、システム・ボードまたはアダプターを損傷する可能性があります。
11. アダプターに必要な構成タスクをすべて実行します。

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

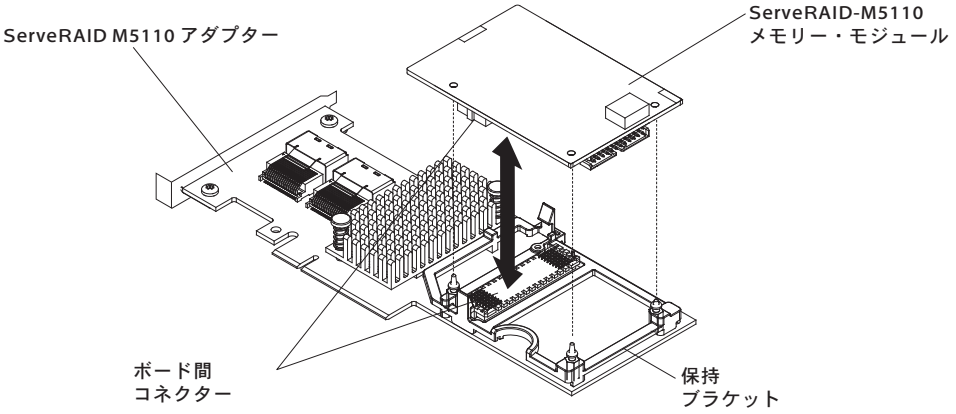
オプションの ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールの取り付け

オプションの ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールをサーバー内に取り付けるには、この情報を使用します。

オプションの ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールを取り付けるには、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。
3. すべての外部ケーブルおよび電源コードを抜きます。
4. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
6. メモリー・モジュールを取り付ける ServeRAID アダプターを見つけます。 必要に応じて ServeRAID アダプターを取り外します。
7. アダプターが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからアダプターを取り出します。
8. メモリー・モジュールを ServeRAID アダプターのコネクターと位置合わせし、しっかり固定されるまでコネクターに押し込みます。



9. ServeRAID アダプターを再取り付けします (72 ページの『アダプターの取り付け』を参照)。
10. 左サイド・カバーを取り付け、ロックします (105 ページの『左サイド・カバーの交換』を参照)。
11. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

RAID アダプターのリモート・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールのサーバーへの取り付け

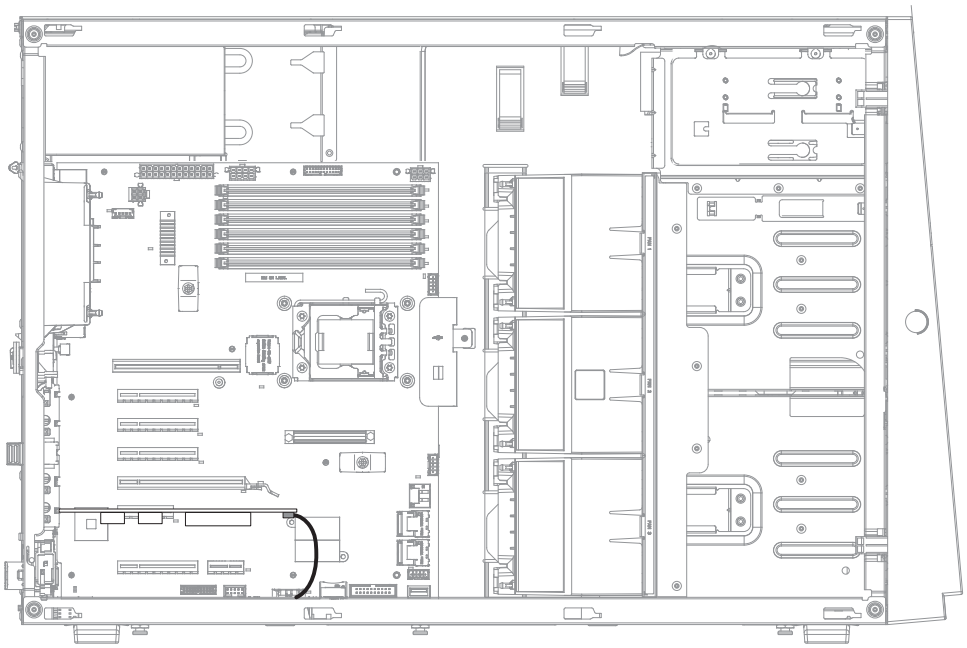
RAID アダプターのリモート・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールをサーバー内に取り付けるには、この情報を使用します。

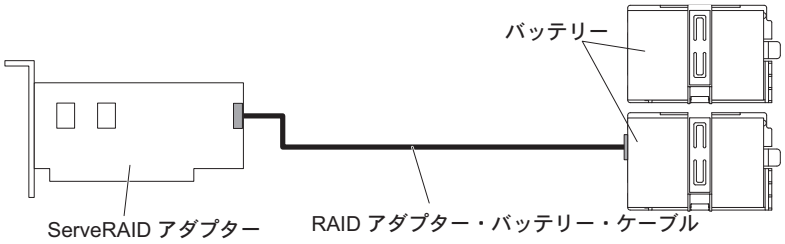
バッテリーが付属している RAID アダプターを取り付ける場合、バッテリーがオーバーヒートするのを防ぐために、バッテリーをサーバー内の別の場所に取り付ける必要がある場合があります。

RAID アダプター・リモート・バッテリーをサーバーに取り付けるには、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

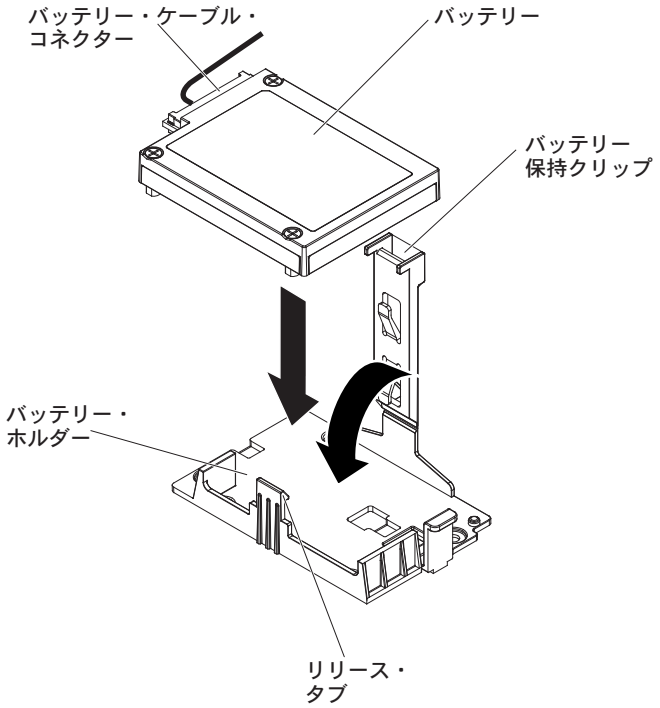
   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. ケーブル接続方法およびジャンパーまたはスイッチ設定に関する情報については、アダプターに付属の資料を参照します。 (アダプターを取り付ける前にケーブルを配線した方が簡単な場合があります。)
6. ServeRAID アダプターをシステム・ボードに取り付けます (72 ページの『アダプターの取り付け』を参照)。
7. バッテリー・ケーブルの一方の端を RAID アダプターのバッテリー・コネクターに接続します。
8. 次の図に示されているように、リモート・バッテリー・ケーブルを配線します。





重要: ケーブルが挟まっていないこと、コネクターを覆っていないこと、システム・ボードのコンポーネントの障害になっていないことを確認してください。

9. 次のように、バッテリーを取り付けます。
   a. バッテリー・ケーブル・コネクターをバッテリー・ホルダー上のスロットに位置合わせします。 バッテリー・ホルダー内にバッテリーを取り付け、バッテリーがバッテリー・ホルダーにしっかりと固定されていることを確認します。



注: リモート・バッテリーの位置は、取り付けるリモート・バッテリーのタイプによって異なります。

b. バッテリー・ケーブルのもう一方の端を、バッテリーのバッテリー・ケーブル・コネクターに接続します。

c. 保持クリップがカチッと音がして所定の位置に収まり、バッテリーが所定の位置にしっかりと保持されるまで、保持クリップを押し下げます。

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

マイクロプロセッサー 2 拡張ボードの取り付け

マイクロプロセッサー 2 拡張ボードをサーバー内に取り付けるには、この情報を使用します。

マイクロプロセッサー 2 拡張ボードを取り付けるには、次のステップを実行してください。

注: 16 GB 1.5 ボルト/ 32 GB 1.35 ボルトを取り付ける場合、ファン構成に関する指示を記載した次の表を参照してください。

表 15. ファン構成に関する指示

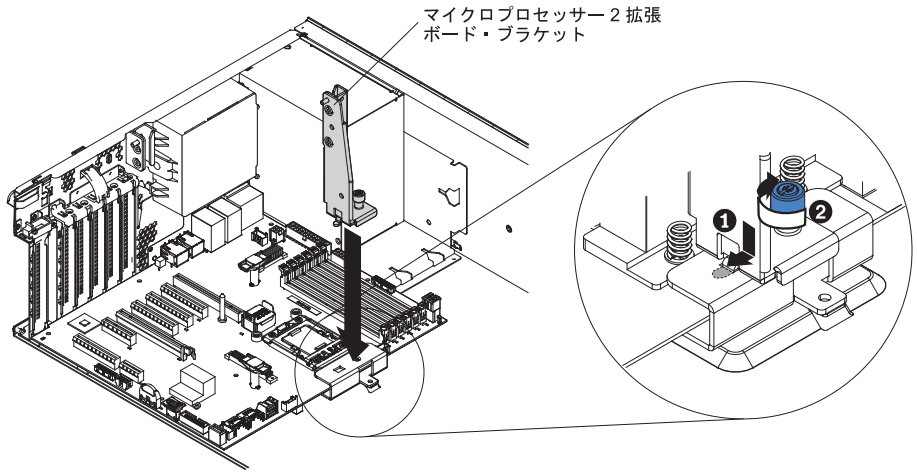
ファン	条件
2 と背面ファン	すべてのシステムの標準

表 15. ファン構成に関する指示 (続き)

ファン	条件
3	1. 2 番目のマイクロプロセッサーが取り付けられている場合、2 番目のマイクロプロセッサー・キット (P/N: 00D2581 から 00D2589) にファンが含まれています。または 2. システムに PCI-e アダプターが 3 つ以上取り付けられている場合、ファン (P/N: 00D2593) を別個使用できます。
1	オプションの予備ファン (P/N: 00D2593) **重要:** ファン 3 を取り付け、16 GB 1.5V / 32 GB 1.35V DIMM も取り付ける場合、ファン 1 も取り付ける必要があります。

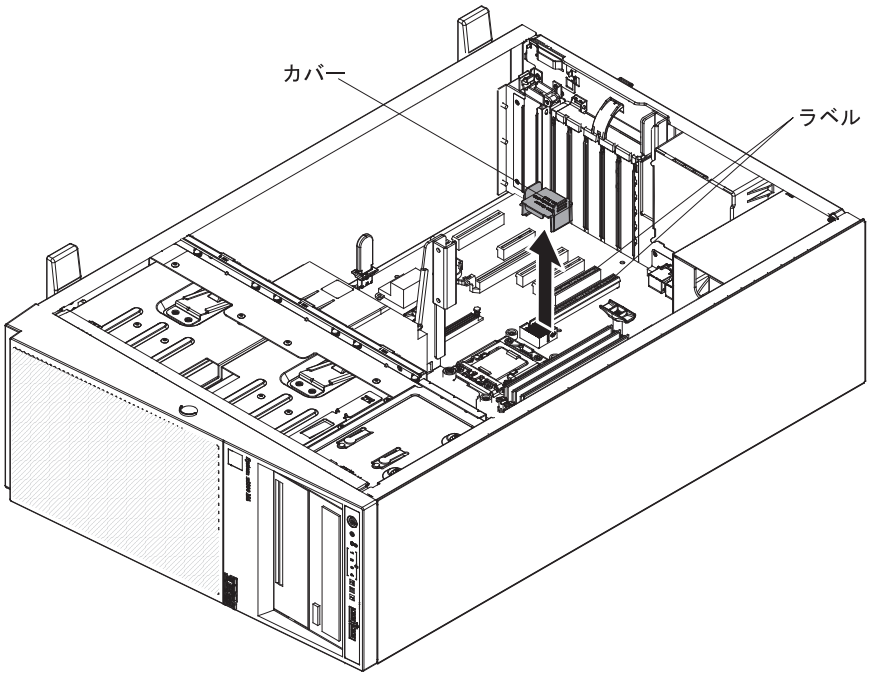
1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. エアー・バッフルを取り外します (46 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
6. ファン・アセンブリーを取り外します (47 ページの『ファン・アセンブリーの取り外し』を参照)。
7. マイクロプロセッサー 2 拡張ボードが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからマイクロプロセッサー 2 拡張ボードを取り出します。
8. マイクロプロセッサー 2 拡張ボードのサイド・ブラケットを取り付けます。
   a. サイド・ブラケットをシャーシの穴と位置合わせし、サイド・ブラケットをシステム・ボードに取り付けます。

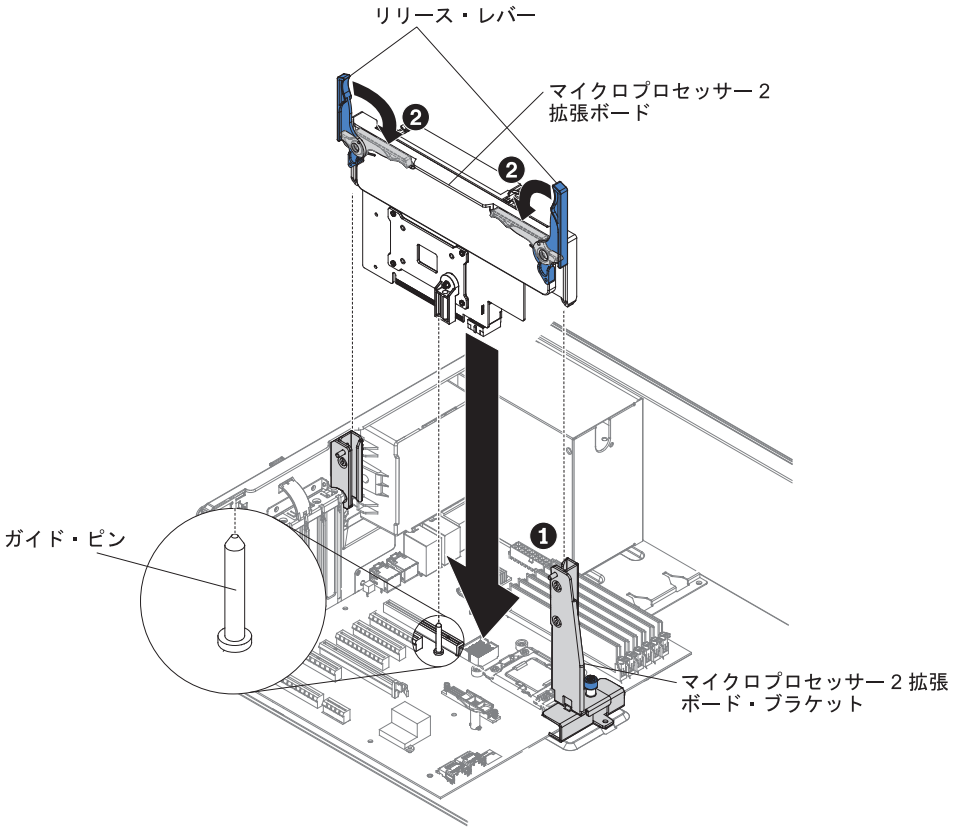


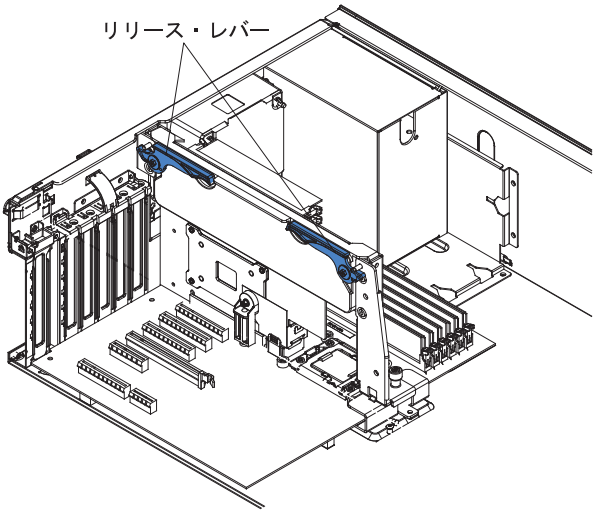
   b. サイド・ブラケットのつまみねじを締めます。

9. システム・ボード上の、マイクロプロセッサー 2 拡張ボード・コネクターのカバーと、CPU スロットおよび PCI スロット 1 のラベルを取り外します。



10. マイクロプロセッサー 2 拡張ボードのリリース・レバーが開いた位置にあることを確認します。
11. マイクロプロセッサー 2 拡張ボードの穴をシステム・ボード上のガイド・ピンと位置合わせします。 マイクロプロセッサー 2 拡張ボードをシステム・ボードに取り付けます。





12. マイクロプロセッサー 2 拡張ボードをシステム・ボードに垂直にしっかりと押し込みます。

注:

- サーバーの電源がオンになっている場合にサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電されると、サーバーが停止することがあり、それによってデータが失われる可能性があります。 こうした潜在的な問題を回避するために、電源がオンになっているサーバー内で作業するときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

- マイクロプロセッサー 2 拡張ボードの下にサーバー・ケーブルが引っ掛かっていないことを確認してください。

13. リリース・レバーを閉じた位置まで回転させ、マイクロプロセッサー 2 拡張ボードを所定の位置に固定します。

    注: マイクロプロセッサー 2 拡張ボードのコネクターを押し、確実にコネクターをシステム・ボードにしっかりと装着します。

14. マイクロプロセッサー 2 電源ケーブル (P4) を、システム・ボード上のそのコネクターに接続します (210 ページの『電源ケーブル接続』を参照)。

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り付け

マイクロプロセッサーおよびヒートシンクをサーバー内に取り付けるには、この情報を使用します。

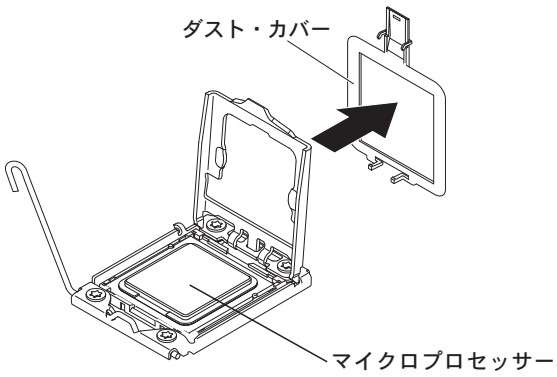
重要: 静電気の影響を受けやすい部品を取り扱うときには、静電気による損傷を避けるための予防措置をとってください。 このようなデバイスの取り扱い方法の詳細は、 43 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』を参照してください。

注:

- サーバーに Intel Pentium 1400 シリーズのマイクロプロセッサーが 1 個搭載されている場合、2 つ目のマイクロプロセッサー・ソケットは使用されません。 このサーバーでは、Intel Pentium マイクロプロセッサーを 1 個のみサポートします。サーバーに Intel Xeon マイクロプロセッサーを 2 個取り付ける場合は、まず、サーバーに搭載されている Intel Pentium マイクロプロセッサーを取り外す必要があります。
- ソケットのピンは壊れやすいので特に注意してください。 ピンが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になります。
- マイクロプロセッサーをサーバーから取り外す際は、新しいマイクロプロセッサーに付属のマイクロプロセッサー取り付けツールを使用してください。 マイクロプロセッサー・ツールを使用しないと、ソケットのピンが損傷するおそれがあります。 ピンが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になります。

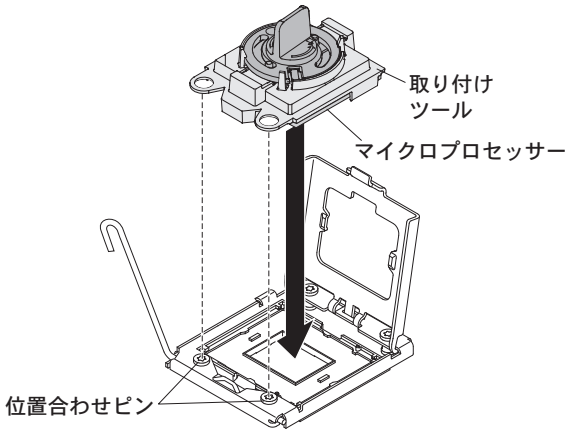
追加のマイクロプロセッサーおよびヒートシンクを取り付けるには、次のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』 と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. マイクロプロセッサー・ソケットからソケット・カバーを取り外します (取り付けられている場合)。

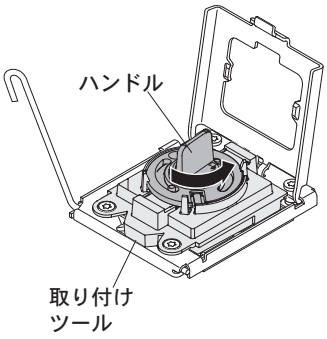


3. マイクロプロセッサーが取り付けツールに事前に取り付けられている場合、カバーの両サイドを解放して、取り付けツールからカバーを取り外します。その後、ステップ 5 に進んで続行します。
4. 以下のようにして、マイクロプロセッサーを取り付けます。
   a. マイクロプロセッサー取り付けツールの穴とマイクロプロセッサー・ブラケット上のねじを位置合わせし、マイクロプロセッサー取り付けツールをマイクロプロセッサー上に下ろします **1** 。次に、ハンドルを右回りに回転させ **2** ツールをマイクロプロセッサーに取り付けます。

      注: マイクロプロセッサーがソケットに収まる方向は 1 つしかありません。



   b. マイクロプロセッサー・ツールのハンドルを左回りに回転させ、マイクロプロセッサーをソケットに挿入します。



重要:

- マイクロプロセッサーをソケットに押し込まないでください。
- マイクロプロセッサー・ソケットの露出したピンに触らないでください。 ソケットのピンは壊れやすいです。 ピンが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になります。
- マイクロプロセッサー保持器具を閉じる前に、ソケットの中でマイクロプロセッサーの向きと位置が正しいことを確認してください。
- ヒートシンク下部またはマイクロプロセッサー上部の熱伝導材に触れないでください。 熱伝導材に触れると、熱伝導材が汚れ、均等な分散が損なわれます。 マイクロプロセッサーまたはヒートシンクの熱伝導材が汚れた場合は、熱伝導グリースを交換する必要があります。

c. マイクロプロセッサー取り付けツールをマイクロプロセッサー・ソケットから取り外し、マイクロプロセッサー・ブラケット・フレームを閉じます。

d. マイクロプロセッサー・リリース・レバーを慎重に閉じた位置にして、マイクロプロセッサーをソケット内に固定します。

5. 以下のようにして、マイクロプロセッサーに付属のヒートシンクを取り付けます。

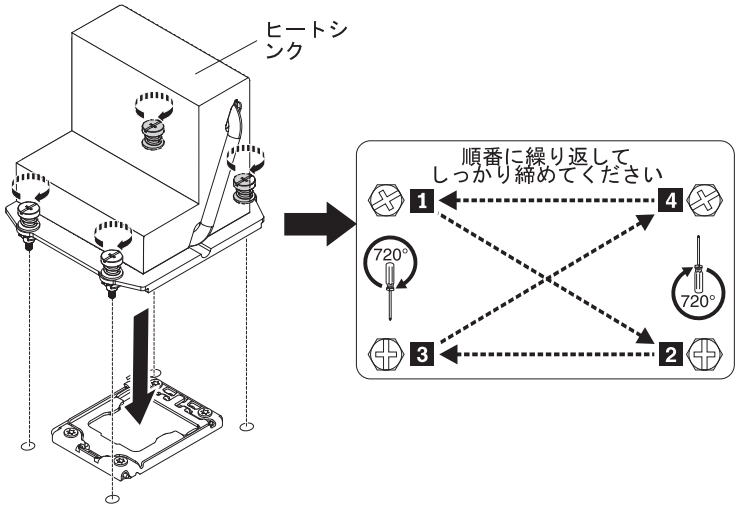
重要:

- プラスチック・カバーを取り外した後で、ヒートシンクを下に置かないでください。
- ヒートシンクの下部にある熱伝導材に触れないでください。熱伝導材に触れると、熱伝導材が汚染されます。 マイクロプロセッサーまたはヒートシンクの熱伝導材が汚染された場合は、サービス技術員に連絡してください。

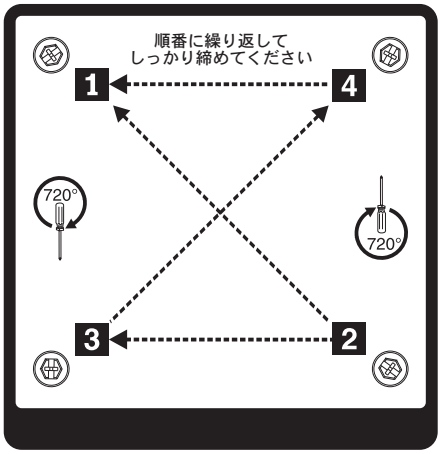
a. ヒートシンクの底に付いているプラスチック保護カバーを取り外します。

重要: プラスチック・カバーを取り外した後で、ヒートシンク下部の熱伝導グリースに触れないでください。 熱伝導グリースに触れると、熱伝導グリースが汚染されます。 詳しくは、90 ページの『熱伝導グリース』を参照してください。

b. ヒートシンクのねじをシステム・ボードのねじ穴と位置合わせし、熱伝導グリースの面を下にしてヒートシンクをマイクロプロセッサーの上に置きます。



c. 拘束ねじをしっかり押し込んで、ドライバーでこれらのねじを締めます。次の図は、ねじを締める順序を示しています。この図はヒートシンクの上部にも示されています。 「1」のラベルが付いたねじから始め、次に「2」、「3」、最後に「4」を締めます。 可能な場合は、各ねじを一度に 2 回転ずつ締めます。 ねじがきつく締まるまで繰り返します。 過度の力を加えて、ねじを締めすぎないでください。トルク・レンチを使用している場合は、8.5 ニュートン・メートル (Nm) から 13 Nm でねじを締めてください。



6. 2 つ目のマイクロプロセッサーを取り付けた場合は、2 つのファンをシステム・ボードのファン・コネクター 3 にそれぞれ取り付けます。(102 ページの『ファン・アセンブリーの取り付け』を参照)。
7. 取り外したメモリー・モジュールを再び取り付けます (52 ページの『メモリー・モジュールの取り付け』 を参照)。
8. エアー・バッフルを再び取り付けます (232 ページの『エアー・バッフルの交換』を参照)。
9. アダプターまたはシステム・ボードから取り外したケーブルをすべて再接続します。

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

熱伝導グリース

マイクロプロセッサー上から取り外したヒートシンクを再使用したり、グリース内にごみを発見したときは必ず、熱伝導グリースを交換する必要があります。以下の情報を使用して、マイクロプロセッサーおよびヒートシンク上の損傷した、あるいは汚染された熱伝導グリースを交換します。

このタスクについて

ヒートシンクを取り外したマイクロプロセッサーと同じマイクロプロセッサーにそのヒートシンクを取り付ける場合は、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- ヒートシンクとマイクロプロセッサー上の熱伝導グリースが汚れていないこと。
- ヒートシンクとマイクロプロセッサー上の既存の熱伝導グリースに熱伝導グリースを追加しないこと。

注:

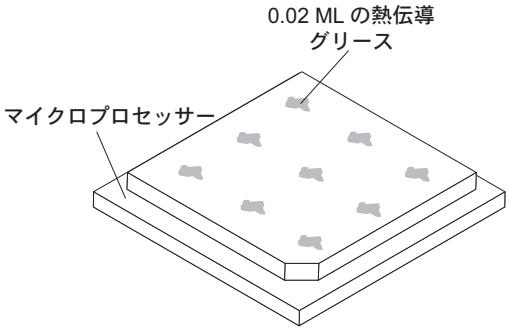
- vii ページの『安全について』で始まる『安全について』をお読みください。
- 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
- 43 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』をお読みください。

マイクロプロセッサーとヒートシンク上の損傷または汚染した熱伝導グリースを交換するには、以下のステップを実行します。

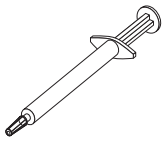
手順

1. ヒートシンクを清潔な作業面に置きます。
2. パッケージのクリーニング・パッドを取り出して、完全に広げます。
3. クリーニング・パッドで、ヒートシンクの底に付いた熱伝導グリースをふき取ります。

   注: 熱伝導グリースが完全に除去されたことを確認してください。
4. クリーニング・パッドのきれいな部分を使って、マイクロプロセッサーから熱伝導グリースを拭き取ります。熱伝導グリースがすべて除去された後で、クリーニング・パッドを廃棄してください。



5. 熱伝導グリースの注射器を使用して、マイクロプロセッサーの上部に、等間隔の 9 カ所に点状に 0.02 mL ずつグリースを配置します。最も外側のドットをマイクロプロセッサーの端から約 5 mm 内に置く必要があります。これは、グリースを均等に配置するためです。



   注: グリースを適切に塗ると、注射器には約半分のグリースが残ります。
6. ヒートシンクをマイクロプロセッサーに取り付けます (87 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り付け』を参照)。

固定パワー・サプライの取り付け

固定パワー・サプライを取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

以下の注意書きでは、このサーバーがサポートしているパワー・サプライのタイプ、およびパワー・サプライを取り付けるときに考慮する必要があるその他の情報を記載しています。

- 取り付けるパワー・サプライをサーバーがサポートしていることを確認するには、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/usを参照してください。
- 異なるワット数のパワー・サプライと交換する前に、IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。 ユーティリティーの詳しい説明とダウンロードについては、http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html にアクセスしてください。
- 入力電圧は 100 - 127 V AC または 200 - 240 V AC の自動感知です。

安全 8

注意:
パワー・サプライのカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。

このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。 これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。 これらの部品に問題があると思われる場合は、サービス技術員に連絡してください。

固定パワー・サプライを取り付けるには、次のステップを実行してください。

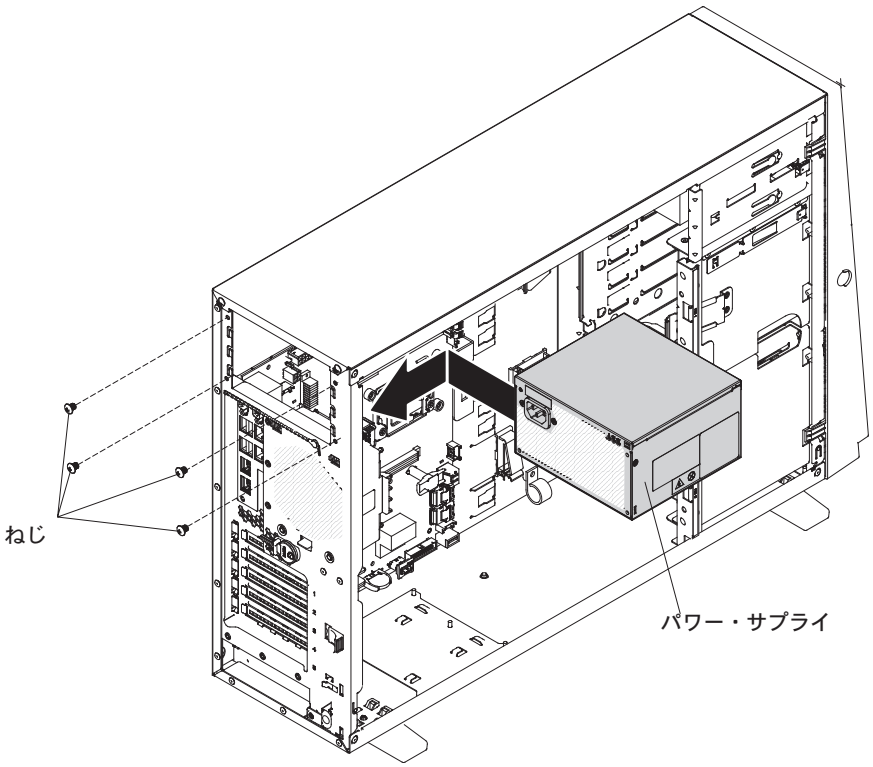
注: パワー・サプライの取り外しあるいは取り付けを行う前に、ファン・アセンブリーを取り付ける必要があります。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

重要: サーバーの電源がオンになっている場合にサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電されると、サーバーが停止することがあり、それによってデータが失われる可能性があります。 こうした潜在的な問題を回避するために、電源がオンになっているサーバー内で作業するときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. エアー・バッフルを取り外します (46 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
5. サーバーの塗装されていない金属面に、固定パワー・サプライが入っている帯電防止パッケージを触れさせてから、パワー・サプライをパッケージから取り出し、静電気防止板の上に置きます。
6. 以下の図に示すように、固定パワー・サプライをサーバー内の定位置に正しく置き、4 つのねじをサーバーの背面側から締めます。



7. 電源コードをハンドルおよびケーブル・タイ (ある場合) に通して配線し、誤って抜けないようにします。
8. 新規パワー・サプライ用の電源コードの一方の端をパワー・サプライ後部のコネクターに接続した後、電源コードの他方の端を適切に接地された電源コンセントに接続します。

注: サーバーの電源がオフになっている場合は、サーバーの電源コードを電源コンセントに接続した後、約 3 分間待たないと電源制御ボタンがアクティブになりません。

9. パワー・サプライの AC 電源 LED と DC 電源 LED が点灯して、AC パワー・サプライが正しく作動していることを示していることを確認してください。 これら 2 つの緑色の LED は、電源コード・コネクターの右にあります。
10. パワー・サプライを異なるワット数のパワー・サプライと交換する場合は、新しいパワー・サプライに付属の電力情報ラベルを、サーバー上の既存の電力情報ラベルの上に貼ってください。
11. 他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

電源パドル・カードの取り付け

電源パドル・カードを取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

電源パドル・カードにより、予備電源のサポートが使用可能になります。 電源パドル・カード・アセンブリーを取り付けるには、次のステップを実行してください。

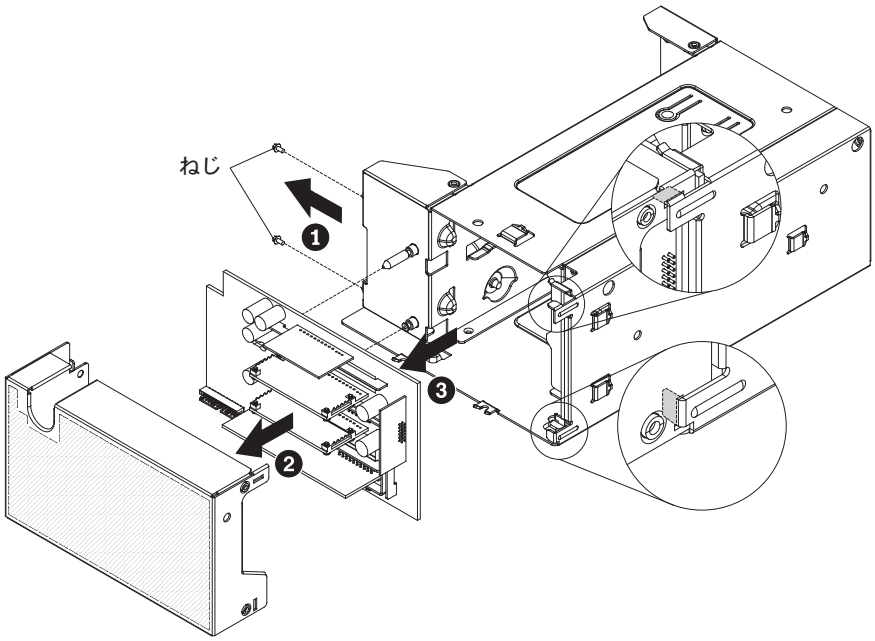
手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. エアー・バッフルを取り外します (46 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
6. ファン・アセンブリーを取り外します (47 ページの『ファン・アセンブリーの取り外し』を参照)。
7. 電源パドル・カードが既に取り付けられている場合は、それを取り外します。 (323 ページの『電源パドル・カードの取り外し』を参照)
8. 電源パドル・カードを予備パワー・サプライ・ケージのガイド・ピンに合わせてから、以下の図のステップ 1 に示されているように電源パドル・カードを予備パワー・サプライ・ケージに軽く取り付けます。
9. 以下の図のステップ 2 に示されているように、予備パワー・サプライ・ケージ・カバーを元の位置に戻します。

   重要: 図内のズームイン・エリアに示されているように、ケージ・カバーが予備パワー・サプライ・ケージのタブに固定されていることを確認します。

10. 以下の図のステップ 3 に示されているように、2 つのねじを締めます。



11. 電源パドル・カードに付属のホット・スワップ・パワー・サプライを取り付けます。 (96 ページの『ホット・スワップ・パワー・サプライの取り付け』を参照)。
12. 電源ケーブルをシステム・ボードのコネクターに再接続し、シャーシのケーブル・クリップで電源ケーブルを固定します。
13. RAID バッテリーから ServeRAID アダプターへ、電源ケーブルを再接続します (取り外していた場合)。
14. ファン・アセンブリーを再取り付けします (102 ページの『ファン・アセンブリーの取り付け』を参照)。
15. エアー・バッフルを再び取り付けます (232 ページの『エアー・バッフルの交換』を参照)。

タスクの結果

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。 そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

ホット・スワップ・パワー・サプライの取り付け

以下の情報を使用して、ホット・スワップ・パワー・サプライを取り付けます。

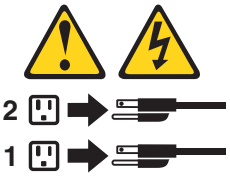
このタスクについて

以下の注意書きでは、このサーバーがサポートしているパワー・サプライのタイプ、およびパワー・サプライを取り付けるときに考慮する必要があるその他の情報を記載しています。

- 取り付けるパワー・サプライをサーバーがサポートしていることを確認するには、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/usを参照してください。
- 追加のパワー・サプライの取り付け、あるいは異なるワット数のパワー・サプライとの交換をする前には、IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。ユーティリティーの詳しい説明とダウンロードについては、http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html にアクセスしてください。
- サーバーには、パワー・サプライ・ベイ 1 に接続する 1 個のホット・スワップ 12 V 出力パワー・サプライが付属しています。入力電圧は、100 - 127 V AC または 200 - 240 V AC の自動検知です。
- サーバーが適切に作動することを確実にするために、サーバー内のパワー・サプライは、電力定格 (ワット数) が同一でなければなりません。
- パワー・サプライ 1 がデフォルトであり、1 次パワー・サプライです。 パワー・サプライ 1 に障害が発生した場合は、即時に同じワット数のパワー・サプライと交換する必要があります。
- 冗長性を得るためにオプションのパワー・サプライを注文できます。
- これらのパワー・サプライは、並列操作向けの設計になっています。 パワー・サプライに障害が発生した場合、リダンダント・パワー・サプライがシステムに電力を供給し続けます。 このサーバーは、最大 2 個のパワー・サプライをサポートします。

安全 5

注意:
装置の電源制御ボタンおよび電源機構の電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くには給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 8

注意:
パワー・サプライのカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。

このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。 これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合は、サービス技術員に連絡してください。

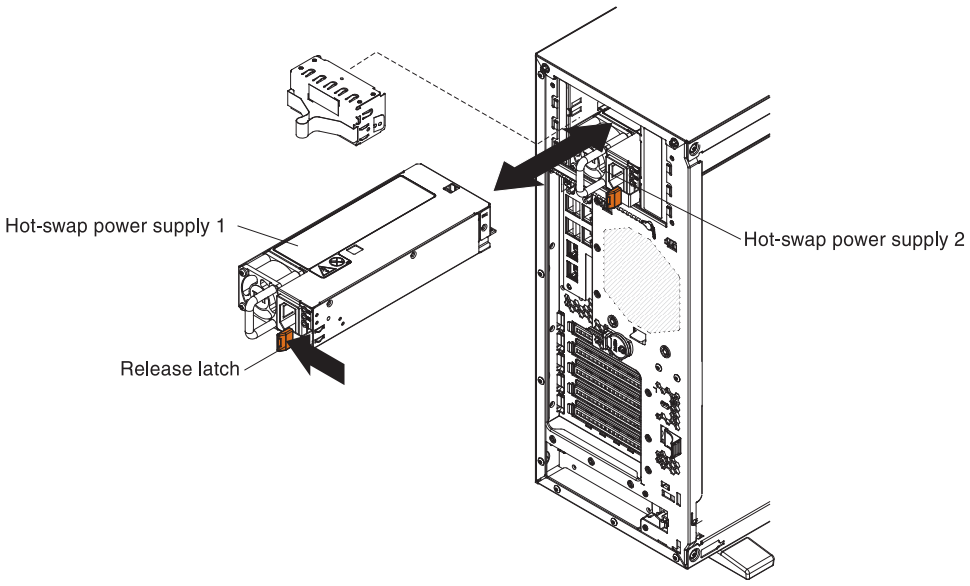
ホット・スワップ・パワー・サプライを取り付けるには、次のステップを実行します。

注: パワー・サプライの取り外しあるいは取り付けを行う前に、ファン・アセンブリーを取り付ける必要があります。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

   重要: サーバーの電源がオンになっている場合にサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電されると、サーバーが停止することがあり、それによってデータが失われる可能性があります。 こうした潜在的な問題を回避するために、電源がオンになっているサーバー内で作業するときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。
2. サーバーの塗装されていない金属面に、ホット・スワップ・パワー・サプライが入っている帯電防止パッケージを触れさせてから、パワー・サプライをパッケージから取り出し、静電気防止板の上に置きます。
3. パワー・サプライ・ベイにパワー・サプライ・フィラー・パネルが取り付けられている場合は、それを取り外します。

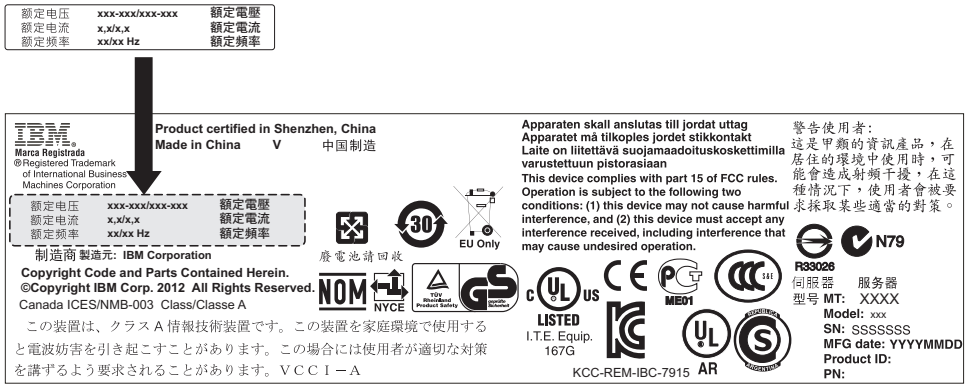


4. パワー・サプライを取り付け、カチッと音がして所定の位置に収まるまで押し込みます。

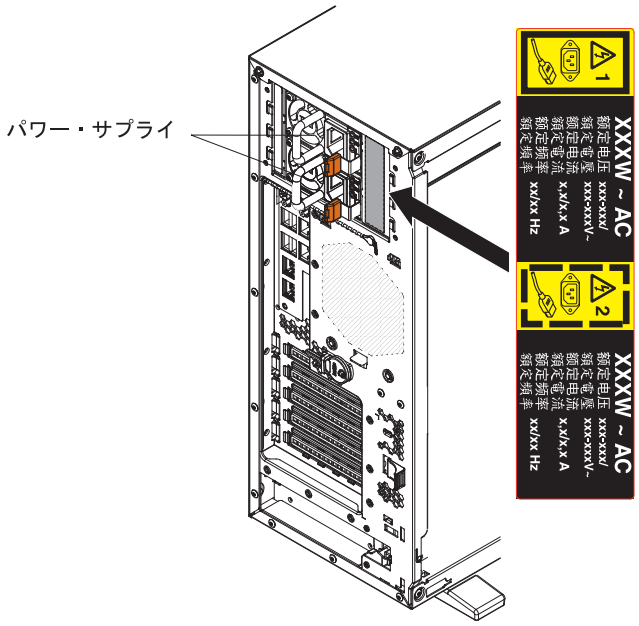
   注:

   - サーバーにホット・スワップ・パワー・サプライが 1 台しか取り付けられていない場合は、空のパワー・サプライ・ベイにパワー・サプライ・フィラーを取り付ける必要があります。
   - サーバー内で異なるワット数のパワー・サプライを混用しないでください。
5. 電源コードをハンドルおよびケーブル・タイ (ある場合) に通して配線し、誤って抜けないようにします。
6. 新規パワー・サプライ用の電源コードの一方の端をパワー・サプライ後部のコネクターに接続した後、電源コードの他方の端を適切に接地された電源コンセントに接続します。

   注: サーバーの電源がオフになっている場合は、サーバーの電源コードを電源コンセントに接続した後、約 3 分間待たないと電源制御ボタンがアクティブになりません。
7. パワー・サプライの AC 電源 LED と DC 電源 LED が点灯して、AC パワー・サプライが正しく作動していることを示していることを確認してください。これら 2 つの緑色の LED は、電源コード・コネクターの右にあります。
8. パワー・サプライを異なるワット数のパワー・サプライと交換する場合は、新しいパワー・サプライに付属の電力情報ラベルを、サーバー上の既存の電力情報ラベルの上に貼ってください。 サーバーが適切に作動することを確実にするために、サーバー内のパワー・サプライは、電力定格 (ワット数) が同一でなければなりません。



9. サーバーにパワー・サプライを追加する場合、このオプションに付属の冗長電源情報ラベルをパワー・サプライの近くのサーバー・カバーに貼り付けてください。



USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り付け

以下の情報を使用して、USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを取り付けます。

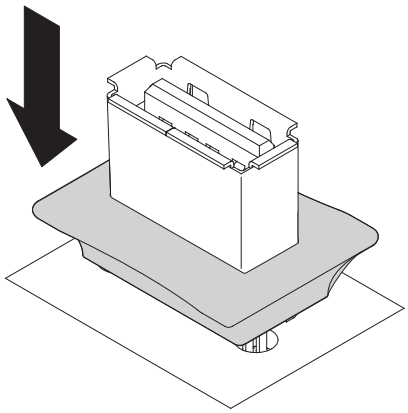
このタスクについて

ハイパーバイザー・フラッシュ装置を取り付けるには、以下のステップを実行します。

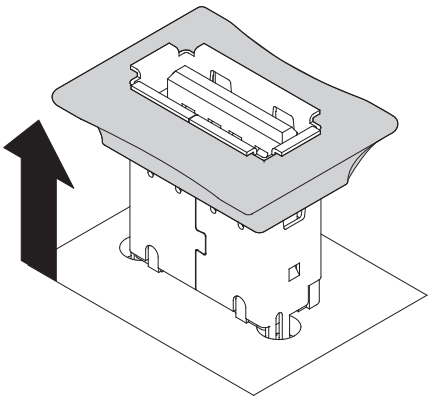
手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. エアー・バッフルを取り外します (46 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
6. 保持ラッチをシステム・ボード側に押し下げて解除します。



7. フラッシュ装置をシステム・ボードの USB コネクターと位置合わせして、しっかり固定されるまで USB コネクターに押し込みます。
8. 保持ラッチをシステム・ボード側から引き離してロックされた位置に戻します。



タスクの結果

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。 そうでない場合は、『取り付けの完了』に進みます。

取り付けの完了

以下の情報を使用して、取り付けを完了します。

このタスクについて

取り付けを完了するには、以下のステップを実行してください。

手順

1. ファン・アセンブリーを取り外した場合は、再取り付けします (102 ページの『ファン・アセンブリーの取り付け』を参照)。
2. エアー・バッフルを取り外した場合は、再取り付けします (232 ページの『エアー・バッフルの交換』を参照)。
3. 左サイド・カバーを取り外した場合は、再取り付けします (105 ページの『左サイド・カバーの交換』を参照)。
4. ケーブルおよび電源コードを再接続します (106 ページの『ケーブルの接続』を参照)。
5. サーバー構成を更新します (107 ページの『サーバー構成の更新』を参照)。
6. 必要に応じて、サーバーをラック・キャビネットに取り付けます (別個に注文したラック・パッケージに含まれている「*Tower to Rack Installation Instructions*」を参照)。
7. 必要に応じて、サーバーを元のラックの中にスライドさせます。
8. サーバーを始動します。 サーバーが正常に始動し、新規に取り付けたデバイスを認識すること、およびエラー LED が点灯していないことを確認します。
9. 32 ページの『IBM ビジネス・パートナー用の手順』の追加手順を実行します。

ファン・アセンブリーの取り付け

ファン・アセンブリーを取り付けるには、この情報を使用します。

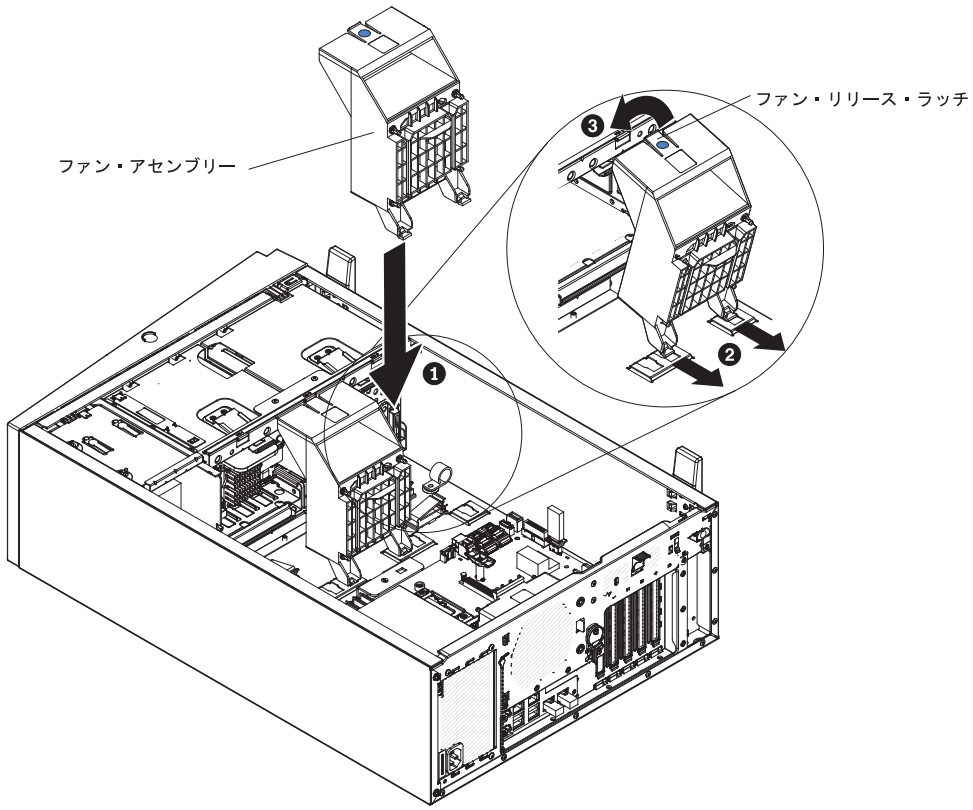
このタスクについて

ファン・アセンブリーを取り付けるには、次の手順を実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. 必要に応じて、エアー・バッフルを取り外します (46 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
6. ファンが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからファンを取り出します。
7. ファンをサーバーの中に直接スライドさせます。 (次の図のステップ 1 を参照)。
8. ファンのリリース・ラッチの位置を合わせ、ファンが定位置にしっかり固定されていることを確認します。 (次の図のステップ 2 および 3 を参照)。



9. ファンの電源ケーブルをシステム・ボードに接続します。 (209 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照)。

背面ファンの取り付け

背面ファンを取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

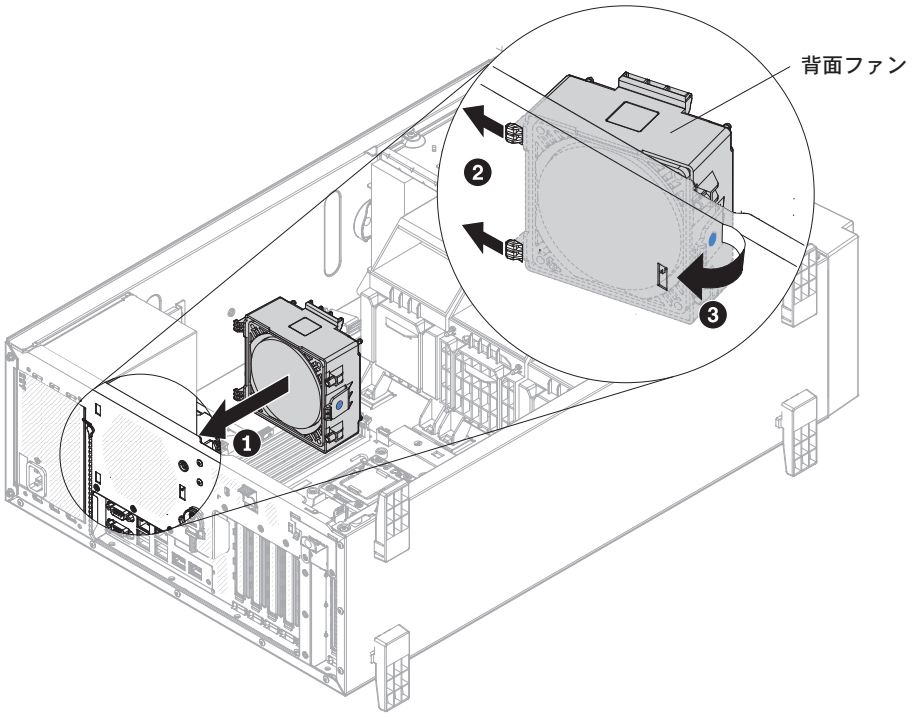
背面ファンを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. エアー・バッフルを取り外します (46 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。

6. ファンが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからファンを取り出します。
7. サーバー・シャーシの背面ファンの位置を見つけます (以下の図のステップ 1 を参照)。
8. 背面ファンの 2 つのタブをサーバー・シャーシの穴に差し込み、背面ファンを回転させてサーバー・シャーシに固定します。(以下の図のステップ 1 を参照)。



9. 背面ファンの電源ケーブルをシステム・ボードに接続します。 (209 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照)。

エアー・バッフルの取り付け

以下の情報を使用して、エアー・バッフルを取り付けます。

このタスクについて

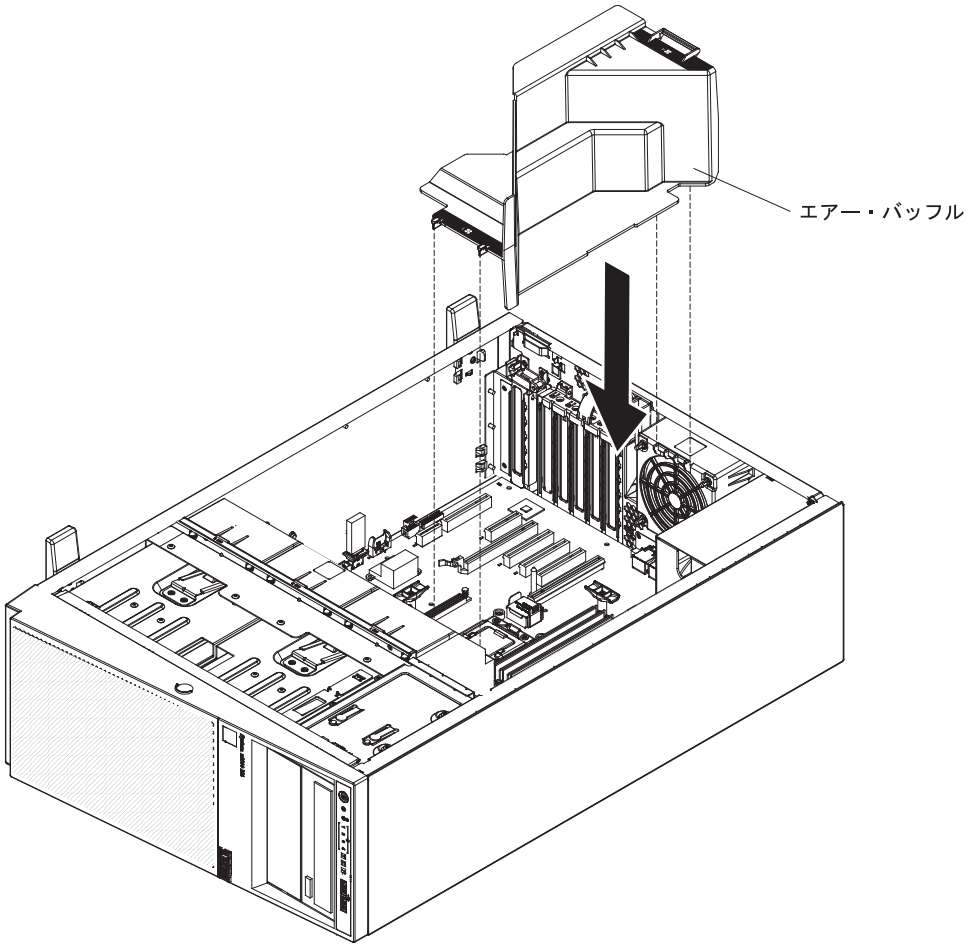
注: 2 個目のマイクロプロセッサーを取り付ける場合は、そのマイクロプロセッサー・アップグレード・キットに付属のファン 2 とエアー・バッフルも取り付ける必要があります。

このエアー・バッフルを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。

3. 左サイド・カバーを取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. エアー・バッフルを上からサーバー内に押し入れて、位置決めピンを位置決め穴に入れてから、エアー・バッフルを静かに押し下げてピンチ・タブを定位置に収めます。



左サイド・カバーの交換

左サイド・カバーを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

サーバー・カバーを取り付けるには、次のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。

3. 左サイド・カバーの端がシャーシ上の所定の位置に滑り込むまで、左サイド・カバーをサーバーの上でスライドさせます。

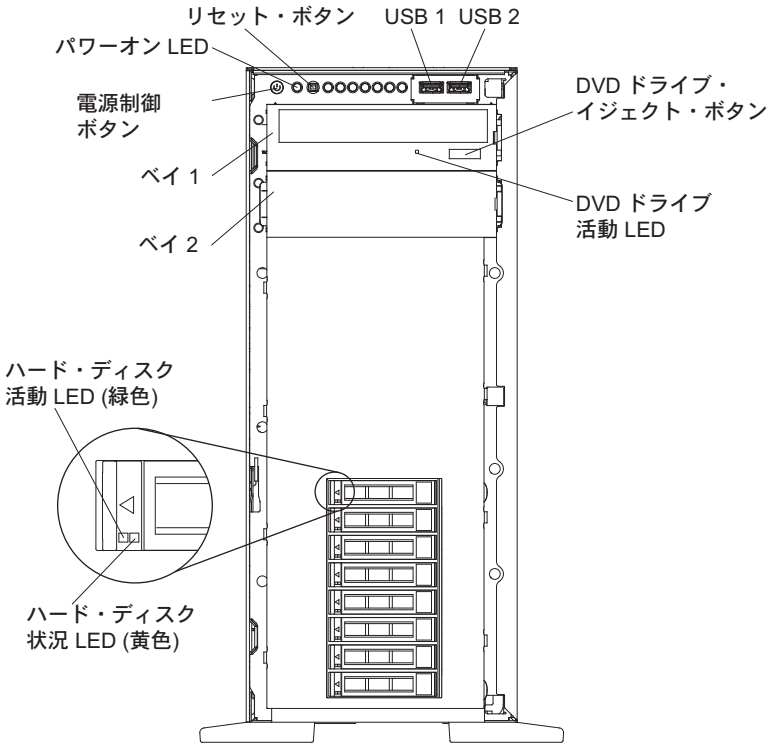
   重要: 左サイド・カバーを前方にスライドさせる前に、カバーのすべてのタブがシャーシとしっかりかみ合っていることを確認します。 すべてのタブがシャーシと正しくかみ合っていない場合、後でカバーを取り外すのが難しくなります。
4. サーバーに付属するかぎを使って左サイド・カバーをロックします。

ケーブルの接続

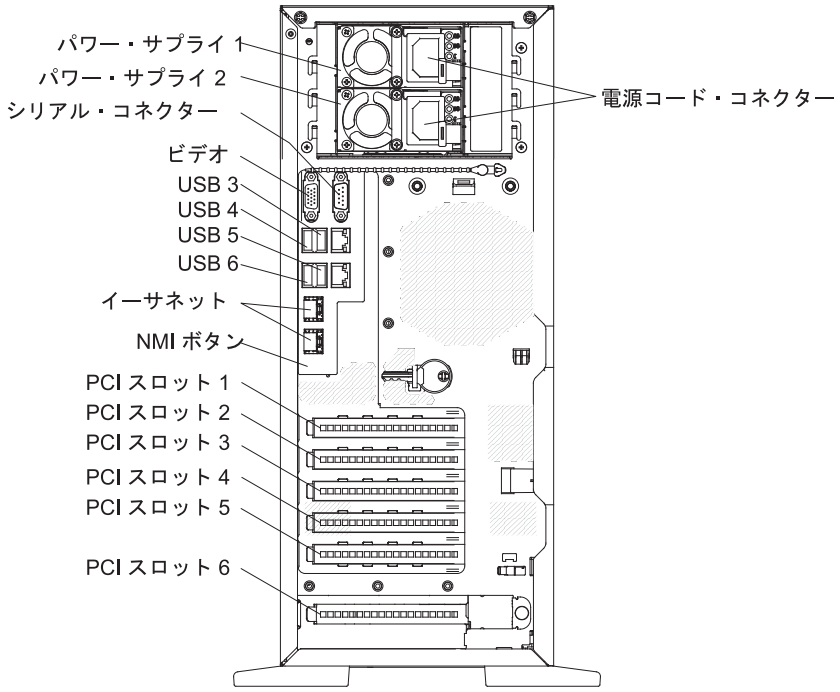
ケーブルを接続するには、この情報を使用します。

このタスクについて

次の図は、サーバー前面の入出力コネクターの位置を示しています。



次の図は、サーバー背面の入出力コネクターの位置を示しています。



ケーブルの接続または取り外し時は、事前にサーバーの電源をオフにする必要があります。

その他の配線の手順については、外部装置に付属の説明書を参照してください。 先にケーブルを配線してから、装置をサーバーに接続した方が楽な場合があります。

サーバー構成の更新

以下の情報を使用して、サーバー構成を更新します。

装置を追加または取り外した後で初めてサーバーを始動すると、構成が変更されたことを伝えるメッセージが表示される場合があります。 お客様の新規構成設定値を保管できるように、Setup ユーティリティーが自動的に開始します。

一部のオプション装置の場合、インストールが必要なデバイス・ドライバーがあります。 デバイス・ドライバーのインストールについては、各装置に付属の資料を参照してください。

ご使用のサーバーにオプションの RAID アダプターが取り付け済みで、ハード・ディスクを取り付けまたは取り外した場合、ディスク・アレイを再構成するための情報については、RAID アダプターに付属の資料を参照してください。

サーバーには、少なくとも 1 つのマイクロプロセッサーが付いています。複数のマイクロプロセッサーを取り付けると、このサーバーは対称多重処理 (SMP) サーバーとして機能します。 SMP をサポートするには、オペレーティング・システムのアップグレードが必要になる場合があります。 詳しくは、 114 ページの『標準的なオペレーティング・システムのインストール』およびオペレーティング・システムの資料を参照してください。

内蔵の Gigabit Ethernet コントローラーの構成については、 131 ページの『Gigabit Ethernet コントローラーの構成』を参照してください。

第 3 章 構成情報と説明

この章では、ファームウェアの更新方法と構成ユーティリティーの使用法について説明します。

ファームウェアの更新

システム・ファームウェアを更新するには、この情報を使用します。

注: 1 次とバックアップの両方の IMM ファームウェアをバージョン 1.59、1A0032K から最新の IMM ファームウェア・バージョンにアップグレードする必要があります。IMM ファームウェアの更新後、IPMI コマンドを使用して、次の照会を実行する必要があります。

```
Get device ID  (ipmitool raw 6 1)
```

IMM ファームウェア・ダウンロードの最後の 2 バイトの情報については、ダウンロード・パッケージにある IMM コード変更履歴を参照してください。IPMI コマンドからのリターン結果が `0x2A 0x41` を示す場合、IMM リセットを実行し、IPMI コマンドを使用して、最後の 2 バイトを再びチェックする必要があります。

重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

Update*Xpress* システム・パックまたは Update*Xpress* CD イメージとしてパッケージされているコード更新をインストールできます。 Update*Xpress* システム・パックには、ご使用のサーバー用のオンライン・ファームウェア更新とデバイス・ドライバー更新の統合テスト済みバンドルが収録されています。 Update*Xpress* システム・パック・インストーラーを使用して、Update*Xpress* システム・パックおよび個々のファームウェアおよびデバイス・ドライバー更新を獲得し、適用してください。Update*Xpress* システム・パック・インストーラーの追加情報およびダウンロードについては、ToolsCenter for System x and BladeCenter (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-CENTER) にアクセスし、「**UpdateXpress System Pack Installer**」をクリックします。

更新をクリックすると、その更新で修正された問題のリストが含まれている情報ページが表示されます。このリストにお客様の特定の問題がないか調べてください。ただし、お客様の問題がリストされていなくても、更新をインストールすると問題が解決される場合があります。

リストされた重要な更新の中に、リリースの日付が Update*Xpress* システム・パックあるいは Update*Xpress* イメージのリリース日以降のものがあれば、必ず別にインストールしてください。

システム・ボードには、サーバー・ファームウェア用のバックアップ・コピー領域があります。サーバー・ファームウェアの 1 次コピーが破損または損傷した場合

© Copyright IBM Corp. 2013

は、サーバー・ファームウェアのバックアップ・コピーを使用できます。バックアップ・コピー領域用のサーバー・ファームウェアを更新する必要がある場合は、以下のステップを実行してください。

1. http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-XPRESS#uxspinstall にアクセスします。
2. 「**Publications (資料)**」をクリックして、最新の「*IBM UpdateXpress System Pack Installer (UXSPI) User's Guide*」をダウンロードします。
3. 「*Updating a local machine from a local directory (ローカル・ディレクトリーからローカル・マシンを更新)*」セクションの手順に従います。
4. 「**Update Options (オプションの更新)**」パネルで更新オプションを選択するようプロンプトが出されたら、「**Target the secondary firmware bank (2 次ファームウェア・バンクをターゲットにする)**」オプションを選択します。
5. ガイドに指定されている残りのステップを完了します。

注: また、統合管理モジュール II を使用して、システム・ボードでサーバー・ファームウェアを更新することもできます。統合管理モジュール II の方式を使用するのは、「**UpdateXpress**」 の更新が失敗したときだけお勧めできます。詳しくは、「*Integrated Management Module II User's Guide*」(http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=migr-5086346) を参照してください。

サーバーのファームウェアは、定期的に更新されており、IBM の Web サイトからダウンロードすることができます。UEFI ファームウェア、重要プロダクト・データ (VPD) コード、デバイス・ドライバー、および統合管理モジュール (IMM) ファームウェアなどのファームウェアの最新レベルを確認するには、http://www.ibm.com/support/fixcentral にアクセスしてください。

注: Trusted Platform Module (TPM) の特性が新しいファームウェアによって変更される場合があるため、ファームウェアを更新する前に、必ず TPM に保管されているすべてのデータのバックアップを取ってください。 手順については、ご使用の暗号化ソフトウェアの資料を参照してください。

サーバーの最新のファームウェアをダウンロードし、ダウンロード・ファイルに含まれている説明を使用してファームウェアをインストールします。

サーバー内の装置を交換した場合、その装置のメモリーに保管されているファームウェアを更新するか、ディスケットまたは CD イメージから既存のファームウェアを復元することが必要な場合があります。

以下のリストは、ファームウェアが格納されている場所を示しています。

- UEFI ファームウェアは、システム・ボード上の ROM に格納されます。
- IMM ファームウェアは、システム・ボード上の ROM に保管されています。
- イーサネット・ファームウェアは、イーサネット・コントローラーの ROM に格納されます。
- ServeRAID ファームウェアは、ServeRAID アダプターの ROM に格納されます。
- SAS/SATA ファームウェアは、システム・ボードの SAS/SATA コントローラーの ROM に格納されます。

UEFI と互換性のあるデバイスの構成

UEFI と互換性のあるデバイスを構成するには、この情報を使用してください。

このタスクについて

UEFI と互換性のある拡張カードは、Setup ユーティリティーを使って構成することができます。 UEFI と互換性のある拡張カードを構成するには、次のステップを実行してください。

注: UEFI と互換性のあるデバイスを構成する前に、サーバーのファームウェアのアップデートを推奨します。 サーバーのファームウェアのアップデート方法については、 109 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。

1. Setup ユーティリティーを実行します (115 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照)。
2. アダプターのタイプにより、「**System Settings**」 → 「**Network**」または「**Storage**」を選択します。

   注: サーバーにインストールされた UEFI 2.0 (および旧バージョン) に準拠するアダプターとドライバーは、「**System Settings**」 → 「**Adapters and UEFI drivers**」を選択します。
3. 「**Please refresh this page first**」を選択し、Enter キーを押します。
4. 構成するデバイス・ドライバーを選択し、Enter キーを押します。
5. 設定の変更が完了したら、Esc を押してプログラムを終了します。変更した設定を保存するには、「**Save**」を選択します。

サーバーの構成

ご使用のサーバーには、次の構成プログラムが付属しています。

ご使用のサーバーには、次の構成プログラムが付属しています。

- **Setup ユーティリティー**

  UEFI Setup ユーティリティー・プログラムは、基本入出力システム・ファームウェアの一部です。 デバイスの始動順序を変更するには、日時の設定、およびパスワードの設定を行います。このプログラムの使用については、 115 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照してください。
- **Boot Manager プログラム**

  Boot Manager プログラムは、サーバー・ファームウェアの一部です。 このプログラムを使用して、Setup ユーティリティーでセットされる始動シーケンスをオーバーライドし、始動シーケンスの先頭になるように装置を一時的に割り当てます。 このプログラムの使用法については、 124 ページの『Boot Manager プログラムの使用』を参照してください。
- **IBM *ServerGuide Setup and Installation* CD**

  ServerGuide プログラムは、サーバー用に設計されたソフトウェア・セットアップ・ツールおよびインストール・ツールを備えています。 RAID 機能付きオンボード SAS/SATA コントローラーなどの基本のハードウェア機能を構成し、オペ

レーティング・システムを簡単にインストールするには、サーバーの取り付け時にこの CD を使用してください。 この CD の使用については、 113 ページの『ServerGuide Setup and Installation CD の使用』を参照してください。

- **Integrated Management Module**

  統合管理モジュール II (IMM2) は、構成、ファームウェアおよびセンサー・データ・レコード/技術員により交換される部品 (SDR/FRU) データの更新、およびネットワークのリモート管理のために使用します。 IMM の使用については、 125 ページの『統合管理モジュール II の使用』および「*Integrated Management Module User's Guide*」(http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=migr-5086346) を参照してください。

- **VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー**

  VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー・ソフトウェア付きのオプションの USB フラッシュ・デバイスを購入することができます。 ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが 1 つのホスト・システム上で同時に稼働できるようにする仮想化ソフトウェアです。 USB 組み込みハイパーバイザーのフラッシュ・デバイスは、システム・ボードの USB コネクターに取り付けられています。 組み込みハイパーバイザーの使用法についての詳細は、 127 ページの『組み込みハイパーバイザーの使用』を参照してください。

- **リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能**

  リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能は、統合管理モジュール II (IMM2) に組み込まれた機能です。 リモート・プレゼンス機能は、以下の機能を備えています。

  – システムの状態に関係なく、75 Hz で最大 1600 x 1200 のグラフィックス解像度のビデオをリモート側で表示できます。
  – リモート・クライアントからキーボードとマウスを使用して、リモート側でサーバーにアクセスできます。
  – リモート・クライアント上の CD または DVD ドライブ、ディスケット・ドライブ、および USB フラッシュ・ドライブをマッピングし、また、ISO イメージ・ファイルおよびディスケット・イメージ・ファイルを仮想ドライブとしてマッピングして、サーバーで使用できるようにします。
  – ディスケット・イメージを IMM メモリーにアップロードし、これを仮想ドライブとしてサーバーにマッピングします。

  IMM がオペレーティング・システムのハング状態を検出した場合、IMM がサーバーを再始動する前に、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能はビデオの表示内容をキャプチャーします。 システム管理者がブルー・スクリーン・キャプチャー機能を使用すると、停止状態の原因の判別に役立ちます。

- **イーサネット・コントローラー構成**

  イーサネット・コントローラーの構成については、 131 ページの『Gigabit Ethernet コントローラーの構成』を参照してください。

- **RAID アレイの構成**

  RAID アレイの構成については、 132 ページの『RAID アレイの構成』を参照してください。

- **IBM Advanced Settings ユーティリティー (ASU) プログラム**

  このプログラムは、UEFI 設定および IMM 設定を変更するための Setup ユーティリティーの代替手段として使用します。 ASU プログラムをオンラインまたはアウト・オブ・バンドで使用すると、Setup ユーティリティーにアクセスするためにサーバーを再始動する必要なしに、コマンド・ラインから UEFI 設定を変更することができます。 このプログラムの使用法については、136 ページの『IBM Advanced Settings ユーティリティー・プログラム』を参照してください。

ServerGuide Setup and Installation CD の使用

以下の情報は、ServerGuide Setup and Installation CD の使用についての概要として使用することができます。

ServerGuide Setup and Installation CD には、サーバー用に設計されたソフトウェア・セットアップ・ツールおよびインストール・ツールが入っています。 ServerGuide プログラムは、サーバーのモデルとインストール済みのオプション・ハードウェア・デバイスを検出し、セットアップ時にその情報を使用してハードウェアを構成します。 ServerGuide は、更新済みデバイス・ドライバーを提供し、場合によっては自動的にインストールすることによりオペレーティング・システムのインストールを単純化します。

ServerGuide Setup and Installation CD のイメージを http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-GUIDE から無料でダウンロードすることができます。

ServerGuide Setup and Installation CD の他に、オペレーティング・システムをインストールするためのオペレーティング・システム CD が必要です。

ServerGuide の機能

ここでは ServerGuide の機能の概要を説明します。

フィーチャーおよび機能は、 ServerGuide プログラムのバージョンによって少し異なることがあります。 ご使用のバージョンについて詳しく知るためには、*ServerGuide Setup and Installation* CD を開始し、オンラインの概説を表示します。 すべての機能がすべてのサーバー・モデルでサポートされているとは限りません。

ServerGuide プログラムは、以下のタスクを実行します。

- システム日付および時刻を設定します。
- RAID アダプターまたはコントローラーを検出し、SAS/SATA RAID 構成プログラムを実行します。
- ServeRAID アダプターのマイクロコード (ファームウェア) レベルを検査し、それ以降のレベルが CD から入手可能かどうかを判別する
- 取り付けられたハードウェアのオプションを検出し、ほとんどのアダプターおよびデバイスのための更新済みデバイス・ドライバーを提供します。
- サポートされる Windows オペレーティング・システム用にディスク不要のインストールを提供します。
- ご使用のハードウェアおよびオペレーティング・システムのインストールに関するヒントにリンクする、オンラインの README ファイルが含まれます。

セットアップおよび構成の概要

ServerGuide のセットアップおよび構成については、この情報を使用します。

ServerGuide Setup and Installation CD を使用する場合、セットアップ・ディスケットは必要ありません。 この CD を使用して、サポートされている IBM サーバー・モデルを構成できます。 セットアップ・プログラムは、ご使用のサーバー・モデルをセットアップするのに必要なタスクのリストを提供します。 ServeRAID アダプターまたは RAID 機能付き SAS/SATA コントローラーを使用するサーバーでは、SAS/SATA RAID 構成プログラムを実行して、論理ドライブを作成することができます。

注: ServerGuide プログラムのバージョンにより特長と機能が若干異なる場合があります。

標準的なオペレーティング・システムのインストール

このセクションでは、ServerGuide の標準的なオペレーティング・システムのインストールについて詳しく説明します。

ServerGuide プログラムは、オペレーティング・システムをインストールするために要する時間を削減することができます。 このプログラムは、ご使用のハードウェアおよびインストールする予定のオペレーティング・システムに必要なデバイス・ドライバーを提供します。 このセクションでは、ServerGuide を使用した標準的なオペレーティング・システムのインストールについて説明します。

注: ServerGuide プログラムのバージョンにより特長と機能が若干異なる場合があります。

1. セットアップ処理が完了するとオペレーティング・システムのインストール・プログラムが開始します。 (インストールを完了するために、ご使用のオペレーティング・システム CD が必要になります。)
2. ServerGuide プログラムは、サーバー・モデル、サービス・プロセッサー、ハード・ディスク、コントローラー、およびネットワーク・アダプターに関する情報を保管します。 その上で、プログラムはより新しいデバイス・ドライバーがないかどうか CD をチェックします。 この情報は保管された上で、オペレーティング・システムのインストール・プログラムに渡されます。
3. ServerGuide プログラムは、ご使用のオペレーティング・システムの選択および取り付けられたハード・ディスクに基づいて、オペレーティング・システムの区画オプションを提供します。
4. ServerGuide プログラムは、ご使用のオペレーティング・システムの CD を挿入して、サーバーを再始動するように指示してきます。 この時点で、オペレーティング・システム用のインストール・プログラムが制御を引き継ぎ、インストールを完了させます。

ServerGuide を使用しないオペレーティング・システムのインストール

この情報を使用して、ServerGuide を使用しないでサーバーにオペレーティング・システムをインストールすることができます。

このタスクについて

サーバーのハードウェアを既に構成しており、オペレーティング・システムのインストールに ServerGuide プログラムを使用しない場合、http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/overview からこのサーバー用のオペレーティング・システムのインストール手順をダウンロードすることができます。

Setup ユーティリティーの使用

これらの手順を使用して、Setup ユーティリティーを開始することができます。

以下の作業を実行するには、Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) Setup ユーティリティー・プログラムを使用します。

- 構成情報の表示
- 装置と入出力ポートの割り当ての表示と変更
- 日付と時刻の設定
- パスワードの設定と変更
- サーバーの始動特性および始動装置の順序の設定
- 拡張ハードウェア機構の設定と変更
- 電源管理機能の設定の表示、指定、および変更
- エラー・ログの表示とクリア
- 構成競合の解決

Setup ユーティリティーの開始

Setup ユーティリティーを開始するには、この情報を使用します。

このタスクについて

Setup ユーティリティーを開始するには、以下の手順で行います。

手順

1. サーバーの電源をオンにします。

   注: サーバーが AC 電源に接続されてから約 1 分から 3 分すると、電源制御ボタンがアクティブになります。

2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。 管理者パスワードが設定されている場合、すべての Setup ユーティリティー・メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力しなければなりません。管理者パスワードを入力しないと、Setup ユーティリティーの限られたメニューしか使用できません。
3. 表示または変更する設定を選択します。

Setup ユーティリティーのメニュー選択項目

サーバーの構成データおよび設定を表示または構成するには、Setup ユーティリティー・メインメニューを使用します。

UEFI の Setup ユーティリティーのメインメニューには、以下の選択項目があります。 IBM System x Server Firmware (サーバー・ファームウェア) のバージョンによっては、メニュー選択項目の一部がここに記載の内容と少し異なる場合があります。

- **System Information**

  この選択項目を選択して、ご使用のサーバーに関する情報を表示します。 Setup ユーティリティーの他の選択項目を通じて変更を行うと、「System Information」にそれらの変更の一部が反映されます。「System Information」の設定値を直接変更することはできません。 この選択項目は、Setup ユーティリティーの完全メニューにのみあります。

  – **System Summary**

    マイクロプロセッサーの ID、速度、およびキャッシュ・サイズ、サーバーのマシン・タイプおよびモデル、シリアル番号、システム UUID、インストール済みのメモリー容量などの構成情報を表示するには、この項目を選択します。 Setup ユーティリティーの他のオプションを通じて構成変更を行うと、「System Summary」に変更が反映されます。「System Summary」の設定値を直接変更することはできません。

  – **Product Data**

    ファームウェアの改訂レベルまたは発行日、統合管理モジュールおよび診断コード、およびバージョンと日付を表示するには、この項目を選択します。

  この選択項目は、Setup ユーティリティーの完全メニューにのみ表示されます。

- **System Settings**

  サーバー・コンポーネントの設定を表示または変更するには、この項目を選択します。

  – **Adapters and UEFI Drivers**

    UEFI 1.10 および UEFI 2.0 に準拠する、サーバーに取り付け済みのアダプターおよびデバイス・ドライバーに関する情報を表示するには、この項目を選択します。

  – **Processors**

    プロセッサーの設定を表示または変更するには、この項目を選択します。

  – **Memory**

    メモリーの設定を表示または変更する場合、この項目を選択します。 メモリー・ミラーリングを構成するには、「**System Settings**」→「**Memory**」→「**Memory Mode**」→「**Mirroring**」の順に選択します。

  – **Devices and I/O Ports**

装置および入出力 (I/O) ポートの割り当てを表示または変更するには、この項目を選択します。 シリアル・ポートの構成、リモート・コンソール・リダイレクトの構成、内蔵イーサネット・コントローラー、SAS/SATA アダプター、および PCI スロットの有効化または無効化を行うことができます。装置を使用不可に設定した場合、その装置を構成することはできず、オペレーティング・システムはその装置を検出できません (これは、装置を切断するのと同等です)。

– **Power**

  電力消費量、プロセッサー、およびパフォーマンス状態を制御するための電源キャッピングを表示または変更するには、この項目を選択します。

  - **Active Energy Manager**

    電源キャッピングを使用可能または使用不可にする場合に、この項目を選択します。 電源キャッピングを使用可能にすると、Active Energy Manager プログラムによって、サーバーが消費する最大電力が制限されます。

    注: この項目が使用可能になるのは、「**System Settings**」→「**Processors**」→「**Processor Performance States**」が有効になっている場合のみです。

  - **Power/Performance Bias**

    マイクロプロセッサーの電源管理の制御方法を決める場合に、この項目を選択します。 設定を制御するには、「Platform Controlled」(システム) または「OS Controlled」(オペレーティング・システム) のいずれかを選択できます。 すべてのオペレーティング・システムがこの機能をサポートしているわけではありません。

  - **Platform Controlled Type**

    パフォーマンスと電力使用量のバランスの取り方を決める場合に、この項目を選択します。 「Maximum Performance」を選択すると、電源管理機能は無効になり、最も強力なターボの使用が可能になります。 「Minimal Power」を選択すると、電源管理機能を最大限に活用して電力使用量を最小に抑え、ターボを無効にすることができます。

    注: この項目が使用可能になるのは、「**System Settings**」→「**Power**」→「**Power/Performance Bias**」→「**Platform Controlled**」が有効になっている場合のみです。

  - **Workload Configuration**

    入出力処理能力と平衡ワークロードのバランスの取り方を決める場合に、この項目を選択します。 「I/O sensitive」を選択すると、拡張カードの使用時の入出力処理能力が高くなります。 「Balanced」を選択すると、マイクロプロセッサー・コアがアイドルになっている間に十分な周波数をワークロードに利用できます。

– **Operating Modes**

  オペレーティング・プロファイルの表示または変更するには、この項目を選択します (パフォーマンス (performance) および電力使用率 (power utilization))。

この選択項目は、事前設定された動作モードを指定して、省電力、効率性、およびパフォーマンスが最大になるようにサーバーを構成します。

- **Choose Operating Mode**

  ユーザーの好みに基づいて動作モードを選択します。 電力の節約とパフォーマンスは、システムで稼働中のハードウェアとソフトウェアにも大きく依存します。 現在のモードを選択すると、低レベル設定は変更不可能になり、ぼかし表示されます。

- **Memory Speed**

  使用するメモリー速度を選択します。 「Maximum」パフォーマンス・モードを選択すると、パフォーマンスが最大になります。 「Balanced」モードでは、パフォーマンスと電力のバランスがよくなります。 「Minimal」パワー・モードを選択すると、最大限に節電することができます。

- **Memory Power Management**

  メモリーの電源管理を有効または無効にする場合に、この項目を選択します。 「Disabled」を選択すると、パフォーマンスは最大になりますが電力の節約は最小になります。 「Automatic」を選択すると、ほとんどの応用に適した電源管理になります。

- **Proc Performance States**

  プロセッサー・パフォーマンス状態を有効または無効にする場合に、この項目を選択します。 プロセッサー・パフォーマンス状態を有効 (Intel Speedstep テクノロジー) にすると、使用されるマイクロプロセッサーが減少するにつれて速度と電圧を落とし、電力を節約します。

  注: 一部のオペレーティング・システムでは、この機能を利用するためには適正な電源プロファイルを選択する必要があります。

- **C1 Enhance Mode**

  C1E (C1 Enhanced) 状態を有効または無効にする場合に、この項目を選択します。 C1E (C1 Enhanced) 状態を有効にすると、アイドルになっている CPU コアを停止して電力を節約できます。

  注: この機能を利用するためには、C1E 状況をサポートするオペレーティング・システムをインストールする必要があります。 この設定を変更した場合、次回のシステム・リブート後に有効になります。

- **QPI Link Frequency**

  目的のマイクロプロセッサー QPI リンク周波数を決める場合に、この項目を選択します。 「Maximum」パフォーマンス・モードを選択すると、パフォーマンスが最大になります。 「Balanced」モードでは、パフォーマンスと電力のバランスがよくなります。 「Minimal」パワーでは、最大限に節電することができます。

- **Turbo Mode**

  ターボ・モードを有効または無効にする場合に、この項目を選択します。 ターボ・モードを有効にすると、すべてのマイクロプロセッサー・コアが必

ずしも十分に活用されていない場合に、マイクロプロセッサー全体のパフォーマンスが向上する可能性があります。 マイクロプロセッサー・コアは、ターボ・モードになっている短時間の間は定格周波数を超えて作動することができます。

- **CPU C-States**

  ACPI C2 プロセッサー・パワー状態を有効または無効にする場合に、この項目を選択します。 これは、次回のシステム・リブート後に有効になります。

- **Package ACPI CState Limit**

  C 状態のレベルを決める場合に、この項目を選択します。 C 状態の限度を高くすると、マイクロプロセッサーのアイドル時の電力消費が少なくなります。 レガシー・オペレーティング・システムに問題がある場合は、ACPI Cstate 限度を C2 に設定します。

- **Power/Performance Bias**

  マイクロプロセッサーの電源管理の制御方法を決める場合に、この項目を選択します。 設定を制御するには、「Platform Controlled」(システム) または「OS Controlled」(オペレーティング・システム) のいずれかを選択できます。 すべてのオペレーティング・システムがこの機能をサポートしているわけではありません。

- **Platform Controlled Type**

  パフォーマンスと電力使用量のバランスの取り方を決める場合に、この項目を選択します。 「Maximum Performance」を選択すると、電源管理機能は無効になり、最も強力なターボの使用が可能になります。 「Minimal Power」を選択すると、電源管理機能を最大限に活用して電力使用量を最小に抑え、ターボを無効にすることができます。

– **Legacy Support**

  レガシー・サポートを表示または設定するには、この項目を選択します。

  - **Force Legacy Video on Boot**

    この選択項目は、オペレーティング・システムが UEFI ビデオ出力規格をサポートしない場合、INT ビデオ・サポートを強制するために選択します。

  - **Rehook INT 19h**

    装置に対してブート・プロセスの制御を使用可能または使用不可にするには、この項目を選択します。 デフォルトは「**Disable**」です。

  - **Legacy Thunk Support**

    この選択項目は、UEFI と UEFI に未対応の PCI 大容量ストレージ・デバイスとのデータのやりとりを使用可能または使用不可にする場合に選択します。

  - **Infinite Boot Retry**

    レガシー・ブート順序の無限再試行を無効にする場合に、この項目を選択します。

- **BBS Boot**

  BBS 方法のレガシー・ブートを有効または無効にする場合に、この項目を選択します。

– **System Security**

  この選択項目は、Trusted Platform Module (TPM) サポートを表示または構成する場合に選択します。

– **Integrated Management Module**

  統合管理モジュールの設定を表示または変更するには、この項目を選択します。

  - **Power Restore Policy**

    POST ウォッチドッグ・タイマーを表示または使用可能にするには、この項目を選択します。

  - **Commands on USB Interface Preference**

    この選択項目は、IMM の Ethernet over USB インターフェースを使用可能または使用不可にする場合に選択します。

  - **Network Configuration**

    この選択項目は、以下のことを行う場合に選択します。システム管理ネットワークのインターフェース・ポート、IMM MAC アドレス、現行 IMM IP アドレス、およびホスト名の表示。静的 IMM IP アドレス、サブネット・マスク、およびゲートウェイ・アドレスの定義。静的 IP アドレスを使用するか DHCP で IMM IP アドレスを割り当てるかの指定。ネットワーク変更の保存。IMM のリセット。

  - **Reset IMM to Defaults**

    IMM デフォルト設定の表示またはリセットを行うには、この項目を選択します。

  - **Reset IMM**

    IMM 設定をリセットする場合に、この項目を選択します。

– **Recovery**

  リカバリー設定を構成するには、このオプションを選択します。

– **Storage**

  ストレージ・デバイス設定をすべて参照するには、このオプションを選択します。

– **Network**

  この選択項目は、iSCSI、PXE、およびネットワーク・デバイスなどのネットワーク・デバイスのオプションを表示または構成する場合に選択します。 UEFI 2.1 以降に準拠するオプション・ネットワーク・デバイス用に追加の構成選択項目がある場合があります。

– **Driver Health**

対応するドライバーによって報告される、システムのコントローラーの状況を表示するには、このオプションを選択します。

- **Date and Time**

  この選択項目を選択して、サーバーの日時を 24 時間形式 (*時*:*分*:*秒*) で設定します。

  この選択項目は、Setup ユーティリティーの完全メニューにのみ表示されます。

- **Start Options**

  この選択項目は、始動シーケンス、キーボード NumLock 状態、PXE ブート・オプション、および PCI デバイス・ブート優先順位を含む、始動オプションの表示または変更を行う場合に選択します。 始動オプションでの変更は、サーバーの始動時に有効になります。

  始動順序によって、サーバーがブート・レコードを検出するために装置を調べる順序を指定します。 サーバーは、検出した最初のブート・レコードから始動します。 ご使用のサーバーが Wake on LAN ハードウェアおよびソフトウェアを使用し、オペレーティング・システムが Wake on LAN 機能をサポートしている場合、Wake on LAN 機能の始動シーケンスを指定できます。 例えば、CD-RW/DVD ドライブにディスクが入っているかどうかをチェックしてから、ハード・ディスクをチェックし、その後、ネットワーク・アダプターをチェックする始動シーケンスを定義できます。

  この選択項目は、Setup ユーティリティーの完全メニューにのみあります。

- **Boot Manager**

  この選択項目は、デバイスのブート優先順位の表示、追加、削除、または変更、ファイルからのブート、一回限りのブートの選択、またはブート順序のデフォルト設定へのリセットを行う場合に選択します。

- **System Event Logs**

  この選択項目は、POST イベント・ログおよびシステム・イベント・ログを表示できるシステム・イベント・マネージャーに入る場合に選択します。 エラー・ログのページ間を移動するには、矢印キーを使用します。

  POST イベント・ログには、POST 中に生成された最新の 3 つのエラー・コードおよびメッセージが含まれています。

  システム・イベント・ログには、POST およびシステム管理割り込み (SMI) のイベントと、統合管理モジュール (IMM) に組み込まれたベースボード管理コントローラーが生成したすべてのイベントが入っています。

  重要: サーバーの前面のシステム・エラー LED が点灯しているが、その他にはエラー表示が何もない場合は、システム・イベント・ログを消去してください。また、エラーの修復または修正が完了したら、システム・イベント・ログをクリアしてサーバー前面にあるシステム・エラー LED をオフにしてください。

  – **POST Event Viewer**

この選択項目は、POST イベント・ビューアーに入って、POST イベント・ログを表示する場合に選択します。

– **System Event Log**

この選択項目は、システム・イベント・ログを表示する場合に選択します。

– **Clear System Event Log**

この選択項目は、システム・イベント・ログを消去する場合に選択します。

- **User Security**

この選択項目は、パスワードを設定、変更、または削除する場合に選択します。詳しくは、 123 ページの『パスワード』を参照してください。

この選択項目は、Setup utility の完全メニューおよび限定メニューに表示されます。

– **Power-on Password**

この選択項目を選択し、始動パスワードの設定または変更を行います。 詳しくは、 123 ページの『始動パスワード』を参照してください。

– **Administrator Password**

この選択項目を選択し、管理者パスワードの設定または変更を行います。 管理者パスワードは、システム管理者が使用するためのものであり、Setup ユーティリティーの完全メニューへのアクセスを制限します。 管理者パスワードを設定している場合、パスワード・プロンプトが出されたときに管理者パスワードを入力したときにのみ、Setup ユーティリティーの完全メニューを使用できます。詳しくは、 124 ページの『管理者パスワード』を参照してください。

- **Save Settings**

設定に加えた変更を保存するには、この項目を選択します。

- **Restore Settings**

この選択項目は、設定で行った変更を取り消し、直前の設定をリストアする場合に選択します。

- **Load Default Settings**

設定に加えた変更を取り消し、工場出荷時設定に復元するには、この項目を選択します。

- **Exit Setup**

Setup ユーティリティーを終了するには、この項目を選択します。 設定に加えた変更を保存していない場合は、変更を保存するか、または保存しないで終了するかを尋ねられます。

パスワード

「**User Security**」メニュー選択項目から、始動パスワードおよび管理者パスワードを設定、変更、削除できます。

「**User Security**」選択項目は、Setup ユーティリティーの完全メニューにのみ表示されます。

始動パスワードのみを設定している場合、システム始動を完了するため、および Setup ユーティリティーの完全メニューにアクセスするために、始動パスワードを入力する必要があります。

管理者パスワードは、システム管理者が使用するためのものであり、Setup ユーティリティーの完全メニューへのアクセスを制限します。 管理者パスワードのみを設定した場合は、システムの始動時にパスワードを入力する必要はありませんが、Setup ユーティリティーのメニューにアクセスする際に、管理者パスワードを入力する必要があります。

ユーザー用に始動パスワードを設定し、システム管理者用に管理者パスワードを設定している場合は、いずれかのパスワードを入力することによりシステムの始動を完了できます。システム管理者は、管理者パスワードを入力すると、Setup ユーティリティーの完全メニューにアクセスできます。システム管理者は、始動パスワードを設定、変更、および削除するためのユーザー権限を与えることができます。 始動パスワードを入力したユーザーは、Setup ユーティリティーの限定メニューにのみアクセスできます。ユーザーは、システム管理者から権限が与えられている場合、始動パスワードの設定、変更、および削除を行うことができます。

始動パスワード:

始動パスワードが設定されている場合、サーバーの電源をオンにした後、始動パスワードを入力するまではシステムの始動は完了しません。パスワードには、6 から 20 個の印刷可能な ASCII 文字の任意の組み合わせを使用できます。

始動パスワードを設定している場合、「Unattended Start」モードを使用可能にすることができます。このモードでは、キーボードとマウスはロックされた状態のままですが、オペレーティング・システムを始動できます。 始動パスワードを入力することにより、キーボードとマウスのロックを解除できます。

始動パスワードを忘れた場合は、次のいずれかの方法でサーバーへのアクセスを回復できます。

- 管理者パスワードが設定されている場合、パスワード・プロンプトで管理者パスワードを入力します。 Setup ユーティリティーを開始して、始動パスワードをリセットします。
- サーバーからバッテリーをいったん取り外した後、取り付け直します。バッテリーを取り外す手順については、 278 ページの『システム・バッテリーの取り外し』を参照してください。
- クリア CMOS ジャンパーを使用して CMOS データを消去してください (詳しくは 35 ページの『システム・ボードのスイッチとジャンパー』を参照)。

重要: スイッチの設定を変更したりジャンパーを動かしたりする場合は、その前にサーバーの電源をオフにして、電源コードと外部ケーブルをすべて外してください。 vii ページの『安全について』 を参照してください。 本書に表示されていないシステム・ボード上のスイッチ・ブロックまたはジャンパー・ブロックでは、設定の変更またはジャンパーの移動を行わないでください。

CMOS データを消去しても管理者パスワードには影響しません。

管理者パスワード:

管理者パスワードを設定している場合、Setup ユーティリティーの完全メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力する必要があります。パスワードには、6 から 20 個の印刷可能な ASCII 文字の任意の組み合わせを使用できます。

重要: 管理者パスワードを設定し、そのパスワードを忘れてしまった場合は、パスワードを変更、オーバーライド、または除去する方法はありません。 システム・ボードを交換する必要があります。

Boot Manager プログラムの使用

Boot Manager には、この情報を使用します。

このタスクについて

ブート・マネージャー・プログラムは標準装備されたメニュー方式の構成ユーティリティー・プログラムであり、Setup ユーティリティーの設定を変更することなく、一時的に最初の始動装置を再定義するために使用できます。

Boot Manager プログラムを使用するには、次のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの電源をオフにします。
2. サーバーを再始動します。
3. 「<F12> Select Boot Device」というプロンプトが表示されたら、F12 を押します。ブート可能 USB 大容量ストレージ・デバイスが取り付けられている場合は、サブメニュー項目 (「**USB Key/Disk**」) が表示されます。
4. 上矢印キーおよび下矢印キーを使用して「**Boot Selection Menu**」から項目を選択し、**Enter** を押します。

タスクの結果

次にサーバーが始動するときは、Setup ユーティリティーに設定された始動シーケンスに戻ります。

バックアップ・サーバー・ファームウェアの開始

バックアップ・サーバー・ファームウェアを開始するには、この情報を使用します。

このタスクについて

システム・ボードには、サーバー・ファームウェア用のバックアップ・コピー領域があります。 これはサーバー・ファームウェアの 2 次コピーであり、サーバー・ファームウェアの更新プロセス時にのみ更新されるものです。サーバー・ファームウェアの 1 次コピーが損傷した場合、このバックアップ・コピーを使用してください。

サーバーを強制的にバックアップ・コピーから開始するには、サーバーをオフにし、次に、UEFI Boot_backup ジャンパーをバックアップ位置 (ピン 2 および 3) に入れます。

1 次コピーが復元されるまで、サーバー・ファームウェアのバックアップ・コピーを使用します。 1 次コピーが復元されたら、サーバーをオフにします。次に、UEFI Boot_backup ジャンパーを 1 次位置 (ピン 1 および 2) に戻します。

Update*Xpress* System Pack Installer

Update*Xpress* System Pack Installer は、ご使用のサーバーでサポートされ、インストールされているデバイス・ドライバーおよびファームウェアを検出し、使用可能なアップデートをインストールします。

Update*Xpress* システム・パック・インストーラーの追加情報およびダウンロードについては、ToolsCenter for System x and BladeCenter (http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-XPRESS#uxspinstall) にアクセスし、「**UpdateXpress System Pack Installer**」をクリックします。

統合管理モジュール II の使用

統合管理モジュール II (IMM2) は、以前にベースボード管理コントローラーのハードウェアで提供されていた機能の第 2 世代です。 これは、サービス・プロセッサー機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能を単一のチップにチップにまとめています。

IMM は、以下の基本的なシステム管理機能をサポートします。

- Active Energy Manager。
- アラート (インバンドおよびアウト・オブ・バンドのアラート、PET トラップ - IPMI スタイル、SNMP、E メール)。
- Auto Boot Failure Recovery (ABR)。
- 2 個のマイクロプロセッサー構成で 1 個のマイクロプロセッサーが内部エラーをシグナル通知した場合の障害時の自動マイクロプロセッサー使用不可および再始動。 1 個のマイクロプロセッサーが障害を起こした場合、サーバーは障害のあるマイクロプロセッサーを使用不可にし、もう 1 個のマイクロプロセッサーを使用して再始動します。

- 仮想メディア・キー。これにより、リモート・プレゼンス・サポート (リモート・ビデオ、リモート・キーボード/マウス、およびリモート・ストレージ) が可能になります。
- ブート・シーケンス操作。
- コマンド・ライン・インターフェース。
- 構成の保存と復元。
- DIMM エラー・アシスタンス。 Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) により POST 中に検出された障害のある DIMM が使用不可になり、IMM により関連システム・エラー LED と障害のある DIMM のエラー LED が点灯します。
- 温度、電圧、ファン障害、パワー・サプライ障害、およびパワー・バックプレーン障害用のファン速度制御を備えた環境モニター。
- Intelligent Platform Management Interface (IPMI) Specification V2.0 および Intelligent Platform Management Bus (IPMB) サポート。
- 無効システム構成 (CNFG) LED サポート。
- ファン、パワー・サプライ、マイクロプロセッサー、ハード・ディスクで発生したエラーとシステム・エラーを報告する Light Path 診断 LED インディケーター。
- ローカル・ファームウェア・コード・フラッシュ更新
- マスク不可能割り込み (NMI) の検出とレポート作成。
- オペレーティング・システム障害のブルー・スクリーン・キャプチャー機能。
- PCI 構成データ。
- PECI 3 サポート。
- 電源/リセット制御 (電源投入、ハードおよびソフト・シャットダウン、ハードおよびソフト・リセット、スケジュール電源制御)。
- パワー・サプライ入力電力の照会。
- ROM ベースの IMM ファームウェア・フラッシュ・アップデート。
- Serial over LAN (SOL)。
- Telnet または SSH を介したシリアル・ポート・リダイレクト。
- SMI 処理
- システム・イベント・ログ (SEL) - ユーザーが読み取り可能なイベント・ログ

IMM は、OSA SMBridge 管理ユーティリティー・プログラムを使用して、以下のリモート・サーバー管理機能も提供します。

- **コマンド・ライン・インターフェース (IPMI シェル)**

  コマンド行インターフェースにより、IPMI 2.0 プロトコルを介してサーバー管理機能に直接アクセスが可能になります。 コマンド行インターフェースを使用すると、サーバーの電源の制御、システム情報の表示、およびサーバー識別のためコマンドを発行できます。 1 つ以上のコマンドをテキスト・ファイルとして保管したり、ファイルをスクリプトとして実行することもできます。

- **Serial over LAN**

リモート・ロケーションからサーバーを管理できる Serial over LAN (SOL) 接続を確立します。 リモート側からの UEFI 設定値の表示と変更、サーバーの再始動、サーバーの識別、およびその他の管理機能を実行できます。 すべての標準 Telnet クライアント・アプリケーションは、SOL 接続へのアクセスが可能です。

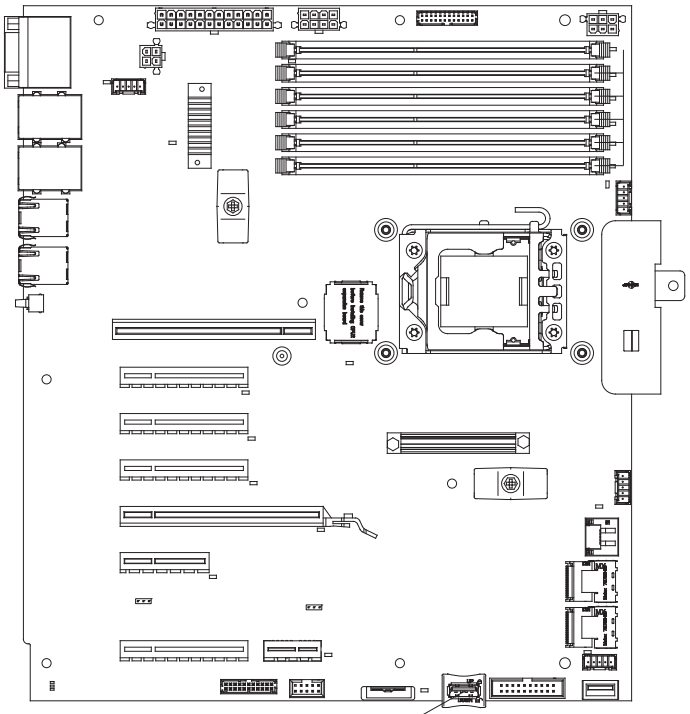
IMM についての詳細は、「*Integrated Management Module User's Guide*」(http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=migr-5086346) を参照してください。

組み込みハイパーバイザーの使用

VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー・ソフトウェアは、オプションの組み込みハイパーバイザー付き IBM USB フラッシュ・デバイスで使用可能です。

このタスクについて

USB フラッシュ・デバイスは、システム・ボード上の PCI-e スロット 1 の近くの USB コネクターに取り付けることができます。 ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが 1 つのホスト・システム上で同時に稼働できるようにする仮想化ソフトウェアです。 USB フラッシュ・デバイスは、ハイパーバイザー機能をアクティブにするために必要です。



組み込みハイパーバイザー機能の使用を開始するには、Setup ユーティリティーの始動シーケンスに USB フラッシュ・デバイスを追加する必要があります。

USB フラッシュ・デバイスを始動シーケンスに追加するには、以下の手順を実行してください。

手順

1. サーバーの電源を入れます。

   注: サーバーが AC 電源に接続されてから約 1 分から 3 分すると、電源制御ボタンがアクティブになります。
2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。
3. Setup ユーティリティーのメインメニューから「**Boot Manager**」を選択します。
4. 「**Add Boot Option**」を選択し、次に「**USB Storage**」を選択します。 Enter キーを押してから、Esc を選択します。
5. 「**Change Boot Order**」を選択し、次に「**Commit Changes**」を選択して、Enter キーを押します。
6. 「**Save Settings**」を選択し、次に「**Exit Setup**」を選択します。

タスクの結果

組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス・イメージが破損した場合、システムに付属の *VMware Recovery* CD を使用してフラッシュ・デバイス・イメージを回復できます。 フラッシュ・デバイス・イメージを回復するには、以下のステップを実行します。

1. サーバーの電源を入れます。

   注: サーバーが AC 電源に接続されてから約 1 分から 3 分すると、電源制御ボタンがアクティブになります。
2. VMware Recovery CD を CD または DVD ドライブに挿入します。
3. 画面の指示に従います。

追加情報と手順については、「*VMware ESXi Server 31 Embedded Setup Guide*」(http://pubs.vmware.com/vsphere-50/topic/com.vmware.ICbase/PDF/vsphere-esxi-vcenter-server-50-installation-setup-guide.pdf) を参照してください。

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能は、統合管理モジュール II (IMM2) に組み込まれた機能です。

このタスクについて

リモート・プレゼンス機能は、以下の機能を備えています。

- システムの状態に関係なく、75 Hz で最大 1280 x 1024 のグラフィックス解像度のビデオをリモート側で表示できます。
- リモート・クライアントからキーボードとマウスを使用して、リモート側でサーバーにアクセスできます。
- リモート・クライアント上の CD または DVD ドライブ、ディスケット・ドライブ、および USB フラッシュ・ドライブをマッピングし、また、ISO イメージ・ファイルおよびディスケット・イメージ・ファイルを仮想ドライブとしてマッピングして、サーバーで使用できるようにします。

- ディスケット・イメージを IMM メモリーにアップロードし、これを仮想ドライブとしてサーバーにマッピングします。

IMM がオペレーティング・システムのハング状態を検出した場合、IMM がサーバーを再始動する前に、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能はビデオの表示内容をキャプチャーします。 システム管理者は、ハング状態の原因を判別するためにブルー・スクリーン・キャプチャーを使用することができます。

IBM ToolsCenter または IBM Director を使用したアクティベーション・キーのアクティブ化とインストールの自動化の手順など、Features on Demand (FoD) について詳しくは、「*IBM Features on Demand User's Guide*」(/http://www.ibm.com/systems/x/fod/ の『Help』セクションの下) を参照してください。

注: この機能をアクティブにするには、サーバーの再始動が必要になることがあります。

IMM 用の IP アドレスの取得

IMM 用の IP アドレスを取得するには、この情報を使用します。

このタスクについて

Web インターフェースにアクセスしてリモート・プレゼンス機能を使用するには、IMM の IP アドレスが必要です。 この IMM IP アドレスは、Setup ユーティリティーを使用して取得できます。 サーバーには、IMM 用のデフォルト IP アドレス 192.168.70.125 があります。IP アドレスを特定するには、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの電源をオンにします。

   注: サーバーが AC 電源に接続されてから約 1 分から 3 分すると、電源制御ボタンがアクティブになります。
2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。 (このプロンプトは、数秒間しか画面に表示されません。素早く F1 を押してください。) 始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定してある場合、Setup ユーティリティーの完全メニューにアクセスするには管理者パスワードを入力する必要があります。
3. Setup ユーティリティーのメインメニューから「**System Settings**」を選択します。
4. 次の画面で「**Integrated Management Module II**」を選択します。
5. 次の画面で「**Network Configuration**」を選択します。
6. IP アドレスを特定し、それを書き留めます。
7. Setup ユーティリティーを終了します。

Web インターフェースへのログオン

以下の情報を使用して、Web インターフェースにログオンします。

このタスクについて

IMM Web インターフェースにログオンするには、次の手順を実行してください。

手順

1. サーバーに接続しているコンピューター上で Web ブラウザーを開き、「**アドレス**」あるいは「**URL**」フィールドに、接続する IMM の IP アドレスまたはホスト名を入力します。

   注: インストール後初めて IMM にログオンする場合、IMM のデフォルトは DHCP になっています。DHCP ホストが利用不能の場合、IMM は静的 IP アドレス 192.168.70.125 を割り当てます。 MAC アドレス・タグは IMM のデフォルトのホスト名を提供するため、サーバーを始動する必要はありません。

2. 「Login」ページで、ユーザー名とパスワードを入力します。 IMM を初めて使用する場合、ユーザー名とパスワードはシステム管理者から入手できます。 ログインの試行はイベント・ログにすべて記録されます。

   注: IMM の初期設定では、ユーザー名は USERID、パスワードは PASSW0RD になっています (passw0rd の 0 は文字の O ではなくゼロです)。 読み取り/書き込み権限が付与されています。 このデフォルトのパスワードは、初回ログオン時に変更する必要があります。

3. ウェルカム・ページで、表示されているフィールドにタイムアウト値 (分数) を入力します。 タイムアウト値に入力した分数の間だけブラウザーが活動状態にないと、IMM によって Web インターフェースからログオフされます。
4. 「**Continue**」をクリックして、セッションを開始します。 「System Health」ページにシステム状況のクイック・ビューが表示されます。

リモート・プレゼンス機能の使用可能化

以下の情報を使用して、リモート・プレゼンス機能を使用可能にします。

このタスクについて

リモート・プレゼンス機能を使用可能にするには、次のステップを実行してください。

手順

1. 統合管理モジュール拡張アップグレードをインストールします。
2. サーバーの電源をオンにします。

   注: サーバーが AC 電源に接続されてから約 1 分から 3 分後に、パワーオン LED がゆっくりと点滅し、その後に電源制御ボタンがアクティブになります。

次のタスク

システム・ボードを交換した後、すべての Features on Demand 機能を再アクティブ化します。機能のアクティベーションの自動化およびアクティベーション・キーのインストールの手順については、「*IBM Features on Demand User's Guide*」に説明

があります。この資料をダウンロードするには、/http://www.ibm.com/systems/x/fod/ にアクセスしてログインし、「Help (ヘルプ)」をクリックしてください。

Intel Gigabit Ethernet ユーティリティー・プログラムの使用可能化

Intel Gigabit Ethernet ユーティリティー・プログラムを使用可能にするには、この情報を使用します。

Intel Gigabit Ethernet ユーティリティー・プログラムは、サーバー・ファームウェアの一部です。 このプログラムを使用して、ネットワークを始動可能デバイスとして構成し、ネットワーク始動オプションを始動シーケンスのどこに位置付けるかをカスタマイズすることができます。 Intel Gigabit Ethernet ユーティリティー・プログラムの使用可能および使用不可の設定は、Setup ユーティリティーから行います。

Gigabit Ethernet コントローラーの構成

Gigabit Ethernet コントローラーを構成するには、この情報を使用します。

イーサネット・コントローラーはシステム・ボードに組み込まれています。このコントローラーは、10 Mbps、100 Mbps、または 1 Gbps ネットワークへの接続インターフェースと、ネットワーク上でデータの送受信を同時に行うことができる全二重 (FDX) 機能を提供します。サーバーのイーサネット・ポートがオートネゴシエーションをサポートしている場合は、コントローラーは、ネットワークのデータ転送速度 (10BASE-T、100BASE-TX、または 1000BASE-T) と二重モード (全二重または半二重) を検出し、自動的にその速度とモードで稼働します。

デフォルトでは、サーバーではイーサネット 1 およびイーサネット 2 が使用可能になっています。イーサネット 3 およびイーサネット 4 は、Features on Demand (FoD) により使用可能にすることができます。 この機能をアクティブにするには、サーバーの再始動が必要になることがあるのに注意してください。 一方、専用モード (イーサネット 2) から共有モード (イーサネット 1) に切り替え、イーサネット 3 およびイーサネット 4 を Features on Demand (FoD) 経由でアクティブにする、あるいは逆の順序で行う時には、サーバーへの電源ケーブルまたはケーブル類を最初に抜いてその後で差し込み戻す (power cycle) ことを忘れないでください。IBM ToolsCenter または IBM Director を使用したアクティベーション・キーのアクティブ化とインストールの自動化の手順など、Features on Demand (FoD) について詳しくは、「IBM System x Features on Demand User's Guide」(/http://www.ibm.com/systems/x/fod/ の『Help』セクションの下) を参照してください。

ジャンパーを設定したり、コントローラーを構成する必要はありません。ただし、デバイス・ドライバーをインストールして、オペレーティング・システムがコントローラーをアドレスできるようにする必要があります。 デバイス・ドライバーとイーサネット・コントローラーの構成に関する情報について、また、コントローラーの構成に関する更新情報を参照するには、http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/overviewを参照してください。

Features on Demand Ethernet ソフトウェアの使用可能化

Features on Demand Ethernet ソフトウェアを使用可能にするには、この情報を使用します。

このタスクについて

Features on Demand Ethernet ソフトウェア・キーのアクティブ化に関する詳細情報と方法については、「IBM Features on Demand User's Guide」を参照してください。この資料をダウンロードするには、/http://www.ibm.com/systems/x/fod/ にアクセスしてログインし、「Help (ヘルプ)」をクリックしてください。

Features on Demand RAID ソフトウェアの使用可能化

RAID レベル 5 と 50 または 6 と 60 (Features on Demand キーに応じて) のサポートを受けるためにアクティブにすることができる Features on Demand RAID ソフトウェア・アップグレード・キーが、統合管理モジュールに組み込まれています。

このタスクについて

Features on Demand RAID ソフトウェア・キーのアクティブ化に関する詳細情報と方法については、「IBM Features on Demand User's Guide」を参照してください。この資料をダウンロードするには、/http://www.ibm.com/systems/x/fod/ にアクセスしてログインし、「Help (ヘルプ)」をクリックしてください。

RAID アレイの構成

RAID アレイを構成するには、Setup ユーティリティーを使用します。

このタスクについて

RAID アレイを構成および管理するには、Configuration ユーティリティー・プログラムを使用します。 このプログラムは、必ず本書の説明に従って使用してください。

次の表に、さまざまなサーバー構成と、RAID アレイの構成および管理に使用できるアプリケーションをリストします。

表 16. RAID アレイの構成および管理用のサーバー構成とアプリケーション

サーバー構成	RAID アレイ構成 (オペレーティング・システムのインストール前)	RAID アレイ管理 (オペレーティング・システムのインストール後)
ServeRAID-H1110 アダプター	LSI ユーティリティー (Setup ユーティリティー、Ctrl+C を押します)、ServerGuide、ヒューマン・インターフェース・インフラストラクチャー (HII)	MegaRAID Storage Manager (MSM)、ストレージ管理用 SAS2IRCU (コマンド・ライン) ユーティリティー

表 16. RAID アレイの構成および管理用のサーバー構成とアプリケーション (続き)

サーバー構成	RAID アレイ構成 (オペレーティング・システムのインストール前)	RAID アレイ管理 (オペレーティング・システムのインストール後)
ServeRAID-M1115 アダプター	MegaRAID BIOS Configuration ユーティリティー (Ctrl+H を押して開始する)、プリブート CLI (Ctrl+P を押して開始する)、ServerGuide、HII	MegaRAID Storage Manager (MSM)、MegaCLI (コマンド・ライン・インターフェース)、および IBM Director
ServeRAID-M5110, ServeRAID-M5120 アダプター	MegaRAID BIOS Configuration ユーティリティー (Ctrl+H を押して開始する)、プリブート CLI (Ctrl+P を押して開始する)、ServerGuide、HII	MegaRAID Storage Manager (MSM)、MegaCLI、および IBM Director
ServeRAID-C105	HII	MegaRAID Storage Manager (MSM)、MegaCLI

注:

1. ServeRAID M コントローラー用の「Problem Determination and Service Guide (問題判別の手引き)」について詳しくは、http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=MIGR-5085607を参照してください。
2. 「Configuration and Options Guide (COG)(構成とオプションのガイド)」についての詳細は、http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SCOD-3ZVQ5W&brandind=5000019を参照してください。
3. ハード・ディスクのソフトウェア RAID アレイの作成方法について詳しくは、「ServeRAID C105」の資料 (http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=MIGR-5089068) を参照してください。

LSI Configuration ユーティリティー・プログラムの開始

LSI Configuration ユーティリティー・プログラムを開始するには、以下の手順を使用してください。

LSI Configuration ユーティリティー・プログラムを開始するには、次のステップを完了してください。

1. サーバーの電源を入れ、サーバーがキーボード、ビデオ、マウスのオーナーであることを確認してください。
2. プロンプト・メッセージが表示されたら、以下のいずれかを実行します。
   a. **ServeRAID-H1110** の場合、Ctrl+C を押す。
   b. **ServeRAID-M5110**、**ServeRAID-M5120**、または **ServeRAID-M1115** の場合、Ctrl+H を押す。

設定の変更が完了したら、Esc を押してプログラムを終了します。変更した設定を保存するには、「**Save**」を選択します。

Human Interface Infrastructure (HII) 構成アプリケーションの開始

Human Interface Infrastructure (HII) 構成ユーティリティー・プログラムを開始するには、以下の手順を使用してください。

Human Interface Infrastructure (HII) 構成ユーティリティー・プログラムを開始するには、次のステップを完了してください。

1. サーバーの電源を入れます。

   注: サーバーが AC 電源に接続されてから約 1 分から 3 分後に、パワーオン LED がゆっくりと点滅し、その後に電源制御ボタンがアクティブになります。
2. プロンプト「<F1 Setup>」が表示されたら、F1 を押します。 管理者パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力するようにプロンプトが出されます。
3. 「**System Settings**」で「**Storage**」を選択します。

設定の変更が完了したら、Esc を押してプログラムを終了します。変更した設定を保存するには、「**Save**」を選択します。

ハード・ディスク RAID (ServeRAID-C105 のみ) の作成

以下の手順は、ハード・ディスクの RAID (ServeRAID-C105 のみ) を作成するために使用されます。

注:

1. PCIe スロットに RAID アダプターがある場合、ServeRAID-C105 は動作しません。
2. 構成のために、ServeRAID-C105 は HII のみを使用し、レガシー構成ユーティリティーはありません。

ハード・ディスク RAID (ServeRAID-C105 のみ) を作成するには、次のステップを実行してください。

1. サーバーの電源を入れます。

   注: サーバーが AC 電源に接続されてから約 1 分から 3 分後に、パワーオン LED がゆっくりと点滅し、その後に電源制御ボタンがアクティブになります。
2. プロンプト「<F1 Setup>」が表示されたら、F1 を押します。 管理者パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力するようにプロンプトが出されます。
3. 「**System Settings**」で「**Storage**」を選択します。
4. 「**Storage**」の下で「**ServeRAID C105**」を選択します。
5. 「**Configuration Options**」の下で、「**Virtual Drive Management**」 → 「**Create Configuration**」を選択します。
6. 作成したいアレイのタイプを選択します。
7. 「**Select Drives**」を選択し、スペース・キーを使用してアレイ用のドライブをすべて選択します。
8. アレイを作成するには、「**Apply Changes**」を選択します
9. プロンプト「Success」が表示された後、「**OK**」を選択して続行します。

10. システムが次の画面に自動スキップした後、「**Save Configuration**」を選択します。
11. 「Creating Virtual Drives will cause the data lost on the associated Drives to be permanently deleted.」プロンプトが出された場合、スペース・キーを使って「**Yes**」を選択し続行します。
12. 「**OK**」を選択して続行します。
13. 仮想ディスクを初期化するには、「**ServeRAID C105**」 → 「**Virtual Drive Management**」 → 「**Select Virtual Drive Operations**」を選択します。
14. 「**Virtual Drive Operation**」の下で、「**Select Operation**」を選択します。初期化する初期化のタイプを選択します。
15. 「**Start Operation**」を選択します。
16. 「**Yes**」を選択して確認します。
17. 「**OK**」を選択して続行します。
18. プロンプト「Success」が表示された後、「**OK**」を選択します。

注:

1. ハード・ディスクのソフトウェア RAID アレイの作成方法について詳しくは、「ServeRAID C105」の資料 (http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=MIGR-5089068) を参照してください。
2. 一部の特定モデルでは、初期時点で 4 台のハード・ディスクが標準搭載されている場合があります。 Features on Demand (FoD) を使用して 8 台のハード・ディスクに構成を拡張できる場合があります。 この機能をアクティブにするには、サーバーの再始動が必要になることがあるのに注意してください。 IBM ToolsCenter または IBM Systems Director を使用したアクティベーション・キーのアクティブ化とインストールの自動化の手順など、Features on Demand (FoD) について詳しくは、「IBM Features on Demand User's Guide」(/http://www.ibm.com/systems/x/fod/ の『Help』セクションの下) を参照してください。
3. ソフトウェア RAID は、VMware 5 および VMware 4.1 ではサポートされていません。
4. ソフトウェア RAID は、レガシー構成ではサポートされていません。
5. ソフトウェア RAID へレガシー OS をインストールするために、「**SCU Controller**」を「ROM 実行順序」オプションの最初のデバイスに設定してください。

IBM Advanced Settings ユーティリティー・プログラム

IBM Advanced Settings ユーティリティー (ASU) プログラムは、UEFI 設定の変更を行うための、Setup ユーティリティーの代替となるプログラムです。

IBM Advanced Settings ユーティリティー (ASU) プログラムは、UEFI 設定を変更するための Setup ユーティリティーの代替手段です。 ASU プログラムをオンラインまたはアウト・オブ・バンドで使用すると、Setup ユーティリティーにアクセスするためにシステムを再始動する必要なしに、コマンド・ラインから UEFI 設定を変更することができます。

ASU プログラムを使用して、オプションのリモート・プレゼンス機能またはその他の IMM 設定を構成することもできます。 リモート・プレゼンス機能は、システム管理の拡張機能を提供します。

また、ASU プログラムを使用すると、コマンド・ライン・インターフェースから IMM LAN over USB インターフェースを構成することもできます。

セットアップ・コマンドを発行するには、コマンド・ライン・インターフェースを使用します。任意の設定をファイルとして保存し、そのファイルをスクリプトとして実行できます。 ASU プログラムは、バッチ処理モードを使用したスクリプト環境をサポートします。

ASU プログラムの詳しい説明とダウンロードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-ASU にアクセスしてください。

IBM Systems Director

IBM Systems Director は、物理システムと仮想システムを管理する方法を簡素化するプラットフォーム管理の基盤となり、IBM および IBM 以外の x86 プラットフォームで複数のオペレーティング・システムと仮想化テクノロジーをサポートします。

IBM Systems Director は、管理対象システムの表示、これらのシステム間の関連性の判別、システムの状況の識別、技術リソースとビジネス・ニーズとの関連付けを行うために、1 つのユーザー・インターフェースを使用した一貫性のあるビューを提供します。 IBM Systems Director に組み込まれた一連の共通タスクには、基本管理に必要な主要機能が多数あり、ビジネスにすぐに役立つ価値をもたらします。 共通タスクには以下のものがあります。

- 検出
- インベントリー
- 構成
- システム・ヘルス
- モニター
- 更新
- イベント通知
- 管理対象システムの自動化

IBM Systems Director の Web インターフェースとコマンド・ライン・インターフェースは、以下の一般的なタスクと機能の実行に重点を置いた一貫性のあるインターフェースです。

- ネットワーク上のシステムを詳しいインベントリーと他のネットワーク・リソースとの関連を用いて検出、ナビゲート、および視覚化します。
- システムで発生した問題とその問題の発生元を分離する方法をユーザーに通知します。
- システムの更新が必要なときにユーザーに通知し、定期的に更新を配布してインストールします。
- システムのリアルタイム・データを分析し、新たに発生した問題を管理者に通知する重要なしきい値を設定します。
- 単一システムの設定を構成し、この設定を複数のシステムに適用できる構成プランを作成します。
- インストール済みのプラグインを更新して、新しい機能や特性を基本機能に追加します。
- 仮想リソースのライフ・サイクルを管理します。

IBM Systems Director について詳しくは、 IBM Systems Director Information Center (http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/director/v6r1x/index.jsp?topic=/director_6.1/fqm0_main.html) および Systems Management Web ページ (http://www.ibm.com/systems/management) を参照してください。このサイトには、IBM Systems Management と IBM Systems Director の概要が掲載されています。

汎用固有 ID (UUID) の更新

システム・ボードを交換した場合、汎用固有 ID (UUID) を更新する必要があります。 Advanced Settings ユーティリティーを使用して、UEFI ベースのサーバーの UUID を更新します。

ASU は、複数のオペレーティング・システムをサポートするオンライン・ツールです。 ご使用のオペレーティング・システム用のバージョンをダウンロードしてください。 ASU は、IBM Web サイトからダウンロードできます。 ASU をダウンロードし、UUID を更新するには、以下のステップを実行してください。

注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。実際の手順は、本書の説明とは少々異なる場合があります。

1. Advanced Settings ユーティリティー (ASU) をダウンロードします。
   a. http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/overview にアクセスします。
   b. パネル上部にある「**Downloads**」タブをクリックします。
   c. 「**ToolsCenter**」の下で、「**View ToolsCenter downloads**」を選択します。
   d. 「**Advanced Settings Utility (ASU)**」を選択します。
   e. スクロールダウンし、リンクをクリックして、ご使用のオペレーティング・システム用の ASU バージョンをダウンロードします。
2. ASU は、統合管理モジュール (IMM) で UUID を設定します。 次のいずれかの方法を選択して統合管理モジュール (IMM) にアクセスし、UUID を設定します。

- ターゲット・システムからオンラインでアクセス (LAN またはキーボード・コンソール・スタイル (KCS) のアクセス)
- ターゲット・システムへのリモート・アクセス (LAN ベース)
- ASU を含んでいるブート可能メディア (ブート可能メディアに応じて、LAN または KCS)

  注: IBM はブート可能メディアを作成するための方式を提供しています。 Tools Center Web サイトから Bootable Media Creator (BoMC) アプリケーションを使用して、ブート可能メディアを作成できます。 また、Windows および Linux ベースのツールキットもブート可能メディアを作成するために使用できます。 これらのツールキットは、Windows Professional Edition または Master Control Program (MCP) ベースのブート可能メディア (これに ASU アプリケーションが組み込まれる) を作成するための代替方式を提供します。

3. ASU パッケージ (これには、他の必要なファイルも含まれている) をサーバーにコピーし、解凍します。 ASU と必要なファイルを必ず同じディレクトリーに解凍してください。 アプリケーション実行可能ファイル (asu または asu64) の他に、以下のファイルが必要です。
   - Windows ベースのオペレーティング・システムの場合:
     - ibm_rndis_server_os.inf
     - device.cat
   - Linux ベースのオペレーティング・システムの場合:
     - cdc_interface.sh
4. ASU をインストールした後で、以下のコマンド構文を使用して UUID を設定します。

   ```
   asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value> [access_method]
   ```

   ここで、

   <uuid_value>
   ユーザーが割り当てる最大 16 バイトの 16 進値。

   [access_method]
   以下の方式からユーザーが使用することを選択したアクセス方式。

   - オンライン認証 LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

     ```
     [host <imm_internal_ip>] [user <imm_user_id>][password <imm_password>]
     ```

     ここで、

     imm_internal_ip
     IMM 内部 LAN/USB IP アドレス。 デフォルト値は 169.254.95.118 です。

     imm_user_id
     IMM account (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は USERID です。

     imm_password
     IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は PASSW0RD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

注: いずれのパラメーターも指定しない場合、ASU はデフォルト値を使用します。 デフォルト値が使用され、ASU がオンライン認証 LAN アクセス方式を使用して IMM にアクセスできない場合、ASU は自動的に非認証 KCS アクセス方式を使用します。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:
```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SYsInfoUUID <uuid_value> --user <user_id>
--password <password>
```

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:
```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value>
```

- オンライン KCS アクセス (非認証およびユーザー制限付き)

  このアクセス方式を使用する場合は、*access_method* の値を指定する必要はありません。

  例:
  ```
  asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value>
  ```

  KCS アクセス方式は、IPMI/KCS インターフェースを使用します。 この方式では、IPMI ドライバーがインストールされている必要があります。 一部のオペレーティング・システムには、IPMI ドライバーがデフォルトでインストールされます。 ASU は対応するマッピング・レイヤーを提供します。 詳細については、「*Advanced Settings Utility Users Guide*」を参照してください。 「ASU Users Guide」には IBM Web サイトからアクセスできます。

  注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。実際の手順は、本書の説明とは少々異なる場合があります。

  a. http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/overview にアクセスします。
  b. パネル上部にある「**Downloads**」タブをクリックします。
  c. 「**ToolsCenter**」の下で、「**View ToolsCenter downloads**」を選択します。
  d. 「**Advanced Settings Utility (ASU)**」を選択します。
  e. スクロールダウンし、リンクをクリックして、ご使用のオペレーティング・システム用の ASU バージョンをダウンロードします。「**Online Help**」のところまでスクロールダウンし、「*Advanced Settings Utility Users Guide*」をダウンロードします。

- リモート LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

  注: リモート LAN アクセス方式を使用し、クライアントから LAN を使用して IMM にアクセスする場合、「*host*」および「*imm_external_ip*」アドレスは必須パラメーターです。

  ```
  host <imm_external_ip> [user <imm_user_id>][password <imm_password>]
  ```

  ここで、

imm_external_ip
外部 IMM LAN IP アドレス。 デフォルト値はありません。 このパラメーターは必須です。

imm_user_id
IMM account (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は USERID です。

imm_password
IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は PASSW0RD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:
```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SYsInfoUUID <uuid_value> --host <imm_ip>
--user <user_id> --password <password>
```

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:
```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value> --host <imm_ip>
```

- ブート可能メディア:

  Tools Center Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-CENTER) から入手可能なアプリケーションを使用して、ブート可能メディアを作成することもできます。「**IBM Tools Center**」ページをスクロールダウンして該当するツールを見つけてください。

5. サーバーを再始動します。

DMI/SMBIOS データの更新

DMI/SMBIOS データを更新するには、この情報を使用します。

システム・ボードを交換した場合、Desktop Management Interface (DMI) を更新する必要があります。 Advanced Settings ユーティリティー (ASU) を使用して、UEFI ベースのサーバーの DMI を更新します。 ASU は、複数のオペレーティング・システムをサポートするオンライン・ツールです。 ご使用のオペレーティング・システム用のバージョンをダウンロードしてください。 IBM Web サイトから ASU をダウンロードすることができます。ASU をダウンロードし、DMI を更新するには、以下のステップを実行してください。

注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。 実際の手順は、本書の説明とは少々異なる場合があります。

1. Advanced Settings ユーティリティー (ASU) をダウンロードします。
   a. http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/overview にアクセスします。
   b. パネル上部にある「**Downloads**」タブをクリックします。
   c. 「**ToolsCenter**」の下で、「**View ToolsCenter downloads**」を選択します。
   d. 「**Advanced Settings Utility (ASU)**」を選択します。
   e. スクロールダウンし、リンクをクリックして、ご使用のオペレーティング・システム用の ASU バージョンをダウンロードします。

2. ASU は、統合管理モジュール (IMM) で DMI を設定します。 次のいずれかの方法を選択して統合管理モジュール (IMM) にアクセスし、DMI を設定します。
   - ターゲット・システムからオンラインでアクセス (LAN またはキーボード・コンソール・スタイル (KCS) のアクセス)
   - ターゲット・システムへのリモート・アクセス (LAN ベース)
   - ASU を含んでいるブート可能メディア (ブート可能メディアに応じて、LAN または KCS)

     注: IBM はブート可能メディアを作成するための方式を提供しています。 Tools Center Web サイトから Bootable Media Creator (BoMC) アプリケーションを使用して、ブート可能メディアを作成できます。 また、Windows および Linux ベースのツールキットもブート可能メディアを作成するために使用できます。 これらのツールキットは、Windows Professional Edition または Master Control Program (MCP) ベースのブート可能メディア (これに ASU アプリケーションが組み込まれる) を作成するための代替方式を提供します。
3. ASU パッケージ (これには、他の必要なファイルも含まれている) をサーバーにコピーし、解凍します。 ASU と必要なファイルを必ず同じディレクトリーに解凍してください。 アプリケーション実行可能ファイル (asu または asu64) の他に、以下のファイルが必要です。
   - Windows ベースのオペレーティング・システムの場合:
     - ibm_rndis_server_os.inf
     - device.cat
   - Linux ベースのオペレーティング・システムの場合:
     - cdc_interface.sh
4. ASU をインストールした後で、以下のコマンドを入力して DMI を設定してください。

   ```
   asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> [access_method]
   asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> [access_method]
   asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag> [access_method]
   ```

   ここで、

   <m/t_model>
   サーバーのマシン・タイプおよび型式番号。 `mtm xxxxyyy` と入力してください。ここで、*xxxx* はマシン・タイプ、*yyy* はサーバーの型式番号です。

   <s/n> サーバーのシリアル番号。 `sn zzzzzzz` と入力します。ここで、*zzzzzzz* はシリアル番号です。

   <asset_method>
   サーバーの資産タグ番号。 `asset aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa` と入力します。ここで、*aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa* は資産タグ番号です。

   [access_method]
   以下の方式からユーザーが選択したアクセス方式。
   - オンライン認証 LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

[host <imm_internal_ip>] [user <imm_user_id>][password <imm_password>]

ここで、

imm_internal_ip
IMM 内部 LAN/USB IP アドレス。 デフォルト値は 169.254.95.118 です。

imm_user_id
IMM アカウント (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は USERID です。

imm_password
IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は PASSW0RD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

注: いずれのパラメーターも指定しない場合、ASU はデフォルト値を使用します。 デフォルト値が使用され、ASU がオンライン認証 LAN アクセス方式を使用して IMM にアクセスできない場合、ASU は自動的に以下の非認証 KCS アクセス方式を使用します。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:
```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SYsInfoProdName <m/t_model>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SYsInfoSerialNum <s/n> --user <imm_user_id>
--password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SYsEncloseAssetTag <asset_tag>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
```

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:
```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag>
```

- オンライン KCS アクセス (非認証およびユーザー制限付き)

  このアクセス方式を使用する場合は、*access_method* の値を指定する必要はありません。

  KCS アクセス方式は IPMI/KCS インターフェースを使用します。 この方式では、IPMI ドライバーがインストールされている必要があります。一部のオペレーティング・システムには、IPMI ドライバーがデフォルトでインストールされます。 ASU は対応するマッピング・レイヤーを提供します。 ASU は、IBM Web サイトからダウンロードできます。「*Advanced Settings Utility Users Guide*」をダウンロードするには、以下の手順を実行します。

  注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。実際の手順は、本書の説明とは少し異なる場合があります。

  a. http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/overview にアクセスします。

b. パネル上部にある「**Downloads**」タブをクリックします。

c. 「**ToolsCenter**」の下で、「**View ToolsCenter downloads**」を選択します。

d. 「**Advanced Settings Utility (ASU)**」を選択します。

e. スクロールダウンし、リンクをクリックして、ご使用のオペレーティング・システム用の ASU バージョンをダウンロードします。「**Online Help**」のところまでスクロールダウンし、「*Advanced Settings Utility Users Guide*」をダウンロードします。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SYsInfoProdName <m/t_model>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SYsInfoSerialNum <s/n>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SYsEncloseAssetTag <asset_tag>
```

- リモート LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

注: リモート LAN アクセス方式を使用し、クライアントから LAN を使用して IMM にアクセスする場合、「*host*」および「*imm_external_ip*」アドレスは必須パラメーターです。

```
host <imm_external_ip> [user <imm_user_id>][password <imm_password>]
```

ここで、

imm_external_ip
外部 IMM LAN IP アドレス。 デフォルト値はありません。 このパラメーターは必須です。

imm_user_id
IMM アカウント (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は USERID です。

imm_password
IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。 デフォルト値は PASSW0RD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SYsInfoProdName <m/t_model> --host <imm_ip>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SYsInfoSerialNum <s/n> --host <imm_ip>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SYsEncloseAssetTag <asset_tag>
--host <imm_ip> --user <imm_user_id> --password <imm_password>
```

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> --host <imm_ip>
```

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> --host <imm_ip>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag>
--host <imm_ip>
```

- ブート可能メディア:

  ToolsCenter Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-CENTER) から入手可能なアプリケーションを使用してブート可能メディアを作成することもできます。「**IBM ToolsCenter**」ページをスクロールダウンして該当するツールを見つけてください。

5. サーバーを再始動します。

第 4 章 Troubleshooting

This chapter describes the diagnostic tools and troubleshooting information that are available to help you solve problems that might occur in the server.

If you cannot diagnose and correct a problem by using the information in this chapter, see 『ここから開始します』 and 837 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』 for more information.

ここから開始します

多くの問題は、本書およびワールド・ワイド・ウェブ (WWW) にあるトラブルシューティング手順に従うことで、外部の支援を得ずに解決することができます。

本書には、お客様が実行できる診断テスト、トラブルシューティング手順、およびエラー・メッセージとエラー・コードの説明が記載されています。ご使用のオペレーティング・システムおよびソフトウェアに付属の資料にも、トラブルシューティング情報が含まれています。

問題の診断

IBM または認定保証サービス提供者に連絡する前に、以下の手順を、ここに示されている順序で実行して、サーバーに関する問題を診断してください。

手順

1. **問題が発生する前の状態にサーバーを戻します。** 問題が発生する前に変更したハードウェア、ソフトウェア、あるいはファームウェアがある場合は、可能であればそれらの変更を元に戻します。 これを行う対象には、以下の項目があります。
   - ハードウェア・コンポーネント
   - デバイス・ドライバーおよびファームウェア
   - システム・ソフトウェア
   - UEFI ファームウェア
   - システム入力電力またはネットワーク接続
2. **Light Path 診断 LED およびイベント・ログを確認します。** このサーバーは、ハードウェアおよびソフトウェアの問題診断が容易に行えるように設計されています。
   - **Light Path 診断 LED** Light Path 診断 LED の使用については、 18 ページの『サーバーのコントロール、LED、および電源』を参照してください。
   - **イベント・ログ:** 通知イベントおよび診断については、 156 ページの『イベント・ログ』を参照してください。
   - **ソフトウェアまたはオペレーティング・システムのエラー・コード:** 特定のエラー・コードに関する情報は、ソフトウェアまたはオペレーティング・システムの資料を参照してください。 資料については、製造メーカーの Web サイトをご覧ください。

© Copyright IBM Corp. 2013

3. **IBM Dynamic System Analysis (DSA) を実行して、システム・データを収集します。** ハードウェア、ファームウェア、ソフトウェア、およびオペレーティング・システムについての情報を収集するには、Dynamic System Analysis (DSA) を実行します。 IBM または認定保証サービス提供者に連絡する際に、この情報を提供してください。 DSA の実行方法については、「*Dynamic System Analysis Installation and User's Guide*」を参照してください。

   最新バージョンの DSA コードおよび「*Dynamic System Analysis Installation and User's Guide*」をダウンロードするには、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-DSA にアクセスしてください。

4. **コードの更新を確認して、適用します。** 多くの問題に対応するフィックスまたは回避策が、更新済みの UEFI ファームウェア、デバイス・ファームウェア、またはデバイス・ドライバーで使用可能である場合があります。 ・サーバー用に使用可能な更新のリストを表示するには、http://www.ibm.com/support/fixcentral にアクセスしてください。

   重要: 誤ったファームウェアまたはデバイス・ドライバー更新をインストールすると、サーバーの誤動作の原因となることがあります。ファームウェアまたはデバイス・ドライバーの更新をインストールする前に、ダウンロードした更新に付属のすべての README および変更履歴ファイルをお読みください。これらのファイルには、更新に関する重要な情報および更新のインストール手順が記載されています。この手順には、以前のファームウェアまたはデバイス・ドライバーのバージョンから最新のバージョンに更新するための特殊な手順も含まれます。

   重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

   a. **UpdateXpress システム更新をインストールします。** UpdateXpress System Pack または UpdateXpress CD イメージとしてパッケージされているコード更新をインストールできます。 UpdateXpress システム・パックには、サーバー用のオンライン・ファームウェア更新とデバイス・ドライバー更新の統合テスト済みバンドルが収録されています。さらに、IBM ToolsCenter Bootable Media Creator を使用して、ファームウェア更新の適用およびプリブート診断の実行に適切なブート可能メディアを作成することができます。
      UpdateXpress System Pack について詳しくは、 および 109 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。Bootable Media Creator について詳しくは、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-BOMCを参照してください。

      リストされた重要な更新の中に、リリースの日付が UpdateXpress System Pack または UpdateXpress イメージのリリース日以降のものがある場合は、必ず個別にインストールしてください (ステップ 4b を参照)。

   b. **手動のシステム更新をインストールします。**

      1) **既存のコード・レベルを判別します。**

         DSA で、「**Firmware/VPD**」をクリックしてシステム・ファームウェア・レベルを表示するか、「**Software**」をクリックしてオペレーティング・システム・レベルを表示します。

2) **最新レベルではないコードの更新をダウンロードして、インストールします。**

・サーバー用に使用可能な更新のリストを表示するには、http://www.ibm.com/support/fixcentral にアクセスしてください。

更新をクリックすると、情報ページが表示され、その更新で修正された問題のリストが記載されています。 このリストにお客様の特定の問題がないか調べてください。ただし、お客様の問題がリストされていなくても、更新をインストールすると問題が解決される場合があります。

5. **構成の誤りを確認して、訂正します。** サーバーが誤って構成されている場合、それを使用可能にするとシステム機能に障害が起きることがあります。サーバーの構成を誤って変更した場合、使用可能であったシステム機能が作動を停止することがあります。

   a. **インストール済みのすべてのハードウェアおよびソフトウェアがサポートされていることを確認します。** http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us を参照して、サーバーがインストール済みのオペレーティング・システム、オプション装置、およびソフトウェア・レベルをサポートしていることを確認してください。 サポートされていないハードウェアまたはソフトウェア・コンポーネントがある場合、それをアンインストールして、それが問題の原因ではないかどうかを判別します。 IBM または認定保証サービス提供者に連絡して支援を求める前に、サポートされていないハードウェアを取り外す必要があります。

   b. **サーバー、オペレーティング・システム、およびソフトウェアのインストールおよび構成が正しく行われていることを確認します。** 多くの構成問題は、電源ケーブルや信号ケーブルの緩み、あるいはしっかり取り付けられていないアダプターに原因があります。 サーバーの電源をオフにし、ケーブルを接続し直し、アダプターを取り付け直して、サーバーの電源をオンに戻すことで、問題を解決できる場合があります。 チェックアウト手順の実行については、149 ページの『チェックアウト手順について』を参照してください。サーバーの構成については、111 ページの『サーバーの構成』を参照してください。

6. **コントローラーおよび管理ソフトウェアの資料を参照します。** 問題が特定の機能に関連している場合 (例えば、RAID ハード・ディスクが RAID アレイにオフラインとしてマークされる場合) には、関連のコントローラーと管理または制御ソフトウェアの資料を参照して、コントローラーが正しく構成されていることを確認してください。

   RAID アダプターおよびネットワーク・アダプターなど、さまざまなデバイスの問題判別に関する情報を入手できます。

   オペレーティング・システムまたは IBM ソフトウェアやデバイスに関する問題については、http://www.ibm.com/supportportal にアクセスしてください。

7. **トラブルシューティング手順および RETAIN のヒントを確認します。** トラブルシューティング手順および RETAIN のヒントには、既知の問題および推奨される解決策が文書化されています。 トラブルシューティング手順および RETAIN のヒントを検索するには、http://www.ibm.com/supportportal にアクセスしてください。

8. **トラブルシューティング表を使用します。** 識別可能な現象が発生している問題の解決方法を見つけるには、165 ページの『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

   単一の問題が複数の現象の原因になっていることがあります。 最も顕著な現象のトラブルシューティング手順に従ってください。 その手順で問題を診断できない場合は、可能であれば、別の現象に関する手順を使用してください。

   問題が解決しない場合は、IBM または認定保証サービス提供者に連絡して、追加の問題判別および場合によってはハードウェアの交換について支援を求めてください。オンライン・サービス要求を開くには、http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request にアクセスしてください。エラー・コードおよび収集されたデータに関する情報を提供できるように準備してください。

文書化されていない問題

診断手順を完了しても問題が残る場合、その問題はこれまでに IBM によって確認されていない可能性があります。すべてのコードが最新レベルであり、すべてのハードウェアおよびソフトウェアの構成が有効であり、どの Light Path 診断 LED およびログ項目もハードウェア・コンポーネントの障害を示していないことを確認した後で、IBM または認定保証サービス提供者に連絡して支援を得てください。

オンライン・サービス要求を開くには、http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_requestにアクセスしてください。エラー・コード、収集されたデータ、および使用した問題判別手順についての情報を提供できるように準備してください。

Service Bulletin

IBM では、IBM System x3300 M4 サーバーで発生する可能性がある問題を解決するためにお客様が利用できる最新のヒントと技法によって、サポートの Web サイトを常時更新しています。

IBM IBM System x3300 M4 サーバーで使用可能な Service Bulletin を見つけるには、http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/overview にアクセスして Type 7382、および retain で検索してください。

チェックアウト手順

チェックアウト手順は、サーバーの問題を診断するために行う必要がある一連の作業です。

チェックアウト手順について

ハードウェアの問題を診断するためのチェックアウト手順を行う前に、以下の情報をよくお読みください。

- vii ページの『安全について』で始まる『安全について』をお読みください。
- IBM Dynamic System Analysis (DSA) は、サーバーの主要コンポーネント (システム・ボード、イーサネット・コントローラー、キーボード、マウス (ポインティング・デバイス)、シリアル・ポート、およびハード・ディスクなど) の基本テスト方式を提供します。 これらのプログラムを使用して、一部の外部装置をテストすることもできます。 問題の原因がハードウェアにあるか、ソフトウェアにあるかが不確実な場合は、診断プログラムを使用して、ハードウェアが正しく作動しているかどうかを確認することができます。
- DSA を実行すると、1 つの問題で複数のエラー・メッセージが出されることがあります。その場合は、最初のエラー・メッセージの原因を解決してください。通常、次回に DSA を実行するときは、他のエラー・メッセージは出なくなります。

  例外: 複数のエラー・コードあるいは複数の Light Path 診断 LED が 1 つのマイクロプロセッサー・エラーを示す場合、エラーはマイクロプロセッサー内またはマイクロプロセッサー・ソケット内にある可能性があります。 マイクロプロセッサー問題の診断については、 174 ページの『マイクロプロセッサー問題』を参照してください。
- 診断プログラムを実行する前に、障害のあるサーバーが共用ハード・ディスク・クラスター (外部ストレージ・デバイスを共用する複数のシステム) の一部であるかどうかを判別する必要があります。クラスターの一部である場合は、記憶装置 (つまり、記憶装置内のハード・ディスク) または記憶装置に接続されているストレージ・アダプターをテストするプログラムを除いて、すべての診断プログラムを実行できます。 以下の場合は、障害のあるサーバーがクラスターの一部である可能性があります。
  - ユーザーが、障害のあるサーバーがクラスター (外部ストレージ・デバイスを共用する複数のサーバー) の一部であると確認した場合。
  - 1 つ以上の外部記憶装置が障害を起こしているサーバーに接続されており、接続されている記憶装置の少なくとも 1 つは別のサーバーまたは未確認装置にも接続されている場合。
  - 1 つ以上のサーバーが、障害を起こしているサーバーの近くに配置されている場合。

  重要: サーバーが共用ハード・ディスク・クラスターの一部である場合は、一度に 1 つだけテストを実行してください。 「クイック」テストや「通常」テストなど、一組になっているテストを実行しないでください。これを行うと、一連のハード・ディスク診断テストが使用可能にされることがあります。
- サーバーが停止され、POST エラー・コードが表示される場合は 687 ページの『付録 B. UEFI/POST 診断コード』を参照してください。サーバーが停止される

が、エラー・メッセージが表示されない場合は、 165 ページの『現象別トラブルシューティング』および 189 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

- パワー・サプライの問題については、 186 ページの『電源の問題の解決』および 24 ページの『パワー・サプライ LED』を参照してください。
- 偶発的な問題が生じる場合は、イベント・ログをチェックしてください。これについては、 156 ページの『イベント・ログ』および 713 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を参照してください。

チェックアウト手順の実行

チェックアウト手順の実行するには、この情報を使用します。

このタスクについて

チェックアウト手順を実行するには、次のステップを実行してください。

手順

1. サーバーはクラスターの一部ですか。
   - **いいえ:** ステップ 2 に進みます。
   - **はい:** クラスターに関連した、障害のあるすべてのサーバーをシャットダウンします。 ステップ 2 に進みます。
2. 次のステップを実行します。
   a. パワー・サプライ LED を検査します (24 ページの『パワー・サプライ LED』を参照)。
   b. サーバーおよび接続されているすべての外部デバイスの電源をオフにします。
   c. すべての内部デバイスおよび外部デバイスの互換性について、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/usで確認します。
   d. ケーブルおよび電源コードをすべてチェックします。
   e. すべてのディスプレイ制御装置を中間位置に設定します。
   f. すべての外部デバイスの電源を入れます。
   g. サーバーの電源を入れます。 サーバーが始動しない場合は、 165 ページの『現象別トラブルシューティング』を参照してください。
   h. オペレーター情報パネル上のシステム・エラー LED を確認します。それが点滅している場合は、Light Path 診断 LED をチェックします (18 ページの『サーバーのコントロール、LED、および電源』を参照)。
   i. 以下の結果が生じているかどうかを確認します。
      - POST の正常終了 (詳しくは、 160 ページの『POST』を参照)
      - 始動の正常終了 (オペレーティング・システム・デスクトップの読み取り可能な表示によって示されます)
3. 判読可能なイメージがモニター画面に表示されていますか。

- **いいえ:** 165 ページの『現象別トラブルシューティング』で障害の徴候を見つけ出します。必要があれ、 189 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。
- **はい:** DSA を実行します (163 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。
  - DSA がエラーを報告する場合は、 713 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』 の指示に従ってください。
  - DSA がエラーを報告しなくても、なお問題があると思われる場合は、 189 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

診断ツール

次のツールは、ハードウェア関連の問題の診断と解決に役立ちます。

- **イベント・ログ**

  イベント・ログには、サブシステム IMM2、POST、DSA、およびサーバー・ベースボード管理コントローラーのエラーの検出時に生成されるエラー・コードとメッセージがリストされます。 詳しくは、 156 ページの『イベント・ログ』を参照してください。

- **統合管理モジュール (IMM)**

  統合管理モジュール (IMM) では、サービス・プロセッサー機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能とブルー・スクリーン・キャプチャー機能が 1 つのチップに組み合わせられています。 IMM は、高度なサービス・プロセッサーの制御、モニター、およびアラート機能を提供します。 環境条件がしきい値を超えたり、システム・コンポーネントに障害が起きたりすると、IMM は、問題の診断に役立つよう LED を点灯して、IMM イベント・ログにエラーを記録し、ユーザーに問題のアラートを出します。 オプションで、IMM はリモート・サーバー管理機能のための仮想プレゼンス機能も提供します。 IMM は、以下の業界標準インターフェースを通してリモート・サーバー管理を行います。

  – Intelligent Platform Management Protocol (IPMI) バージョン 2.0
  – Simple Network Management Protocol (SNMP) バージョン 3
  – Common Information Model (CIM)
  – Web ブラウザー

  統合管理モジュール (IMM) についての詳細は、 125 ページの『統合管理モジュール II の使用』、 345 ページの『付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ』、および「*Integrated Management Module User's Guide*」(http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=migr-5086346) を参照してください。

- **IBM Dynamic System Analysis**

  問題を診断するために、DSA Portable および DSA Preboot の 2 つのエディションの IBM Dynamic System Analysis (DSA) が使用可能です。

  – DSA Portable

DSA Portable は、サーバーの問題を診断するときに役立つシステム情報を収集して分析します。 DSA Portable は、サーバーのオペレーティング・システム上で稼働し、サーバーに関する以下の情報を収集します。

- ドライブ・ヘルス情報
- ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサーのイベント・ログ
- 取り付け済みハードウェア (PCI および USB 情報を含む)
- インストールされているアプリケーションおよびホット・フィックス
- カーネル・モジュール
- Light Path 診断の状況
- マイクロプロセッサー、I/O ハブ、および UEFI エラー・ログ
- ネットワーク・インターフェースおよび設定
- RAID コントローラー構成
- サービス・プロセッサー (統合管理モジュール) の状況および構成
- システム構成
- 重要プロダクト・データ、ファームウェア、および UEFI 構成

DSA Portable は DSA ログを作成します。これはシステム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、統合管理モジュール (IMM) シャーシ・イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、およびオペレーティング・システム・イベント・ログを時系列でまとめたものです。 この DSA ログをファイルとして IBM サービスに送信する (サービスに必要な場合) か、テキスト・ファイルまたは HTML ファイルとして情報を表示することができます。

注: 最新の構成データを使用していることを確認するために、使用可能な最新バージョンの DSA を使用してください。 DSA の資料およびダウンロード情報については、http://www.ibm.com/systems/managementを参照してください。

追加情報については、 161 ページの『IBM Dynamic System Analysis』および 713 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を参照してください。

– DSA Preboot

DSA Preboot 診断プログラムは、サーバーの内蔵 USB メモリーに格納されます。 DSA Preboot は、サーバーの問題を診断する際に役立つシステム情報を収集して分析し、サーバーにおける主要コンポーネントの診断テストの豊富なセットを提供します。DSA Preboot は、サーバーに関する以下の情報を収集します。

- ドライブ・ヘルス情報
- ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサーのイベント・ログ
- 取り付け済みハードウェア (PCI および USB 情報を含む)
- Light Path 診断の状況
- マイクロプロセッサー、I/O ハブ、および UEFI エラー・ログ
- ネットワーク・インターフェースおよび設定
- RAID コントローラー構成
- サービス・プロセッサー (統合管理モジュール) の状況および構成

- システム構成
- 重要プロダクト・データ、ファームウェア、および UEFI 構成

DSA Preboot は、以下のシステム・コンポーネント (取り付け済みの場合) の診断も提供します。

1. ネットワーク・アダプター
2. IMM I2C バス
3. Light Path 診断パネル
4. メモリー・モジュール
5. マイクロプロセッサー
6. 光ディスク装置 (CD または DVD)
7. SAS または SATA ドライブ
8. テープ・ドライブ (SCSI)

DSA Preboot プログラムをサーバーで実行する場合の詳細については、 163 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照してください。

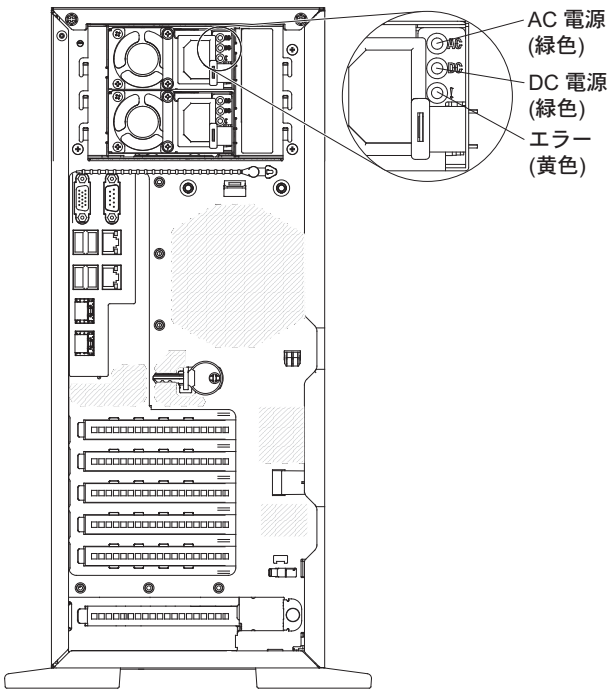
- **現象別トラブルシューティング**

  これらの表には、問題の現象と、問題を訂正するための処置がリストされています。 詳しくは、 165 ページの『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

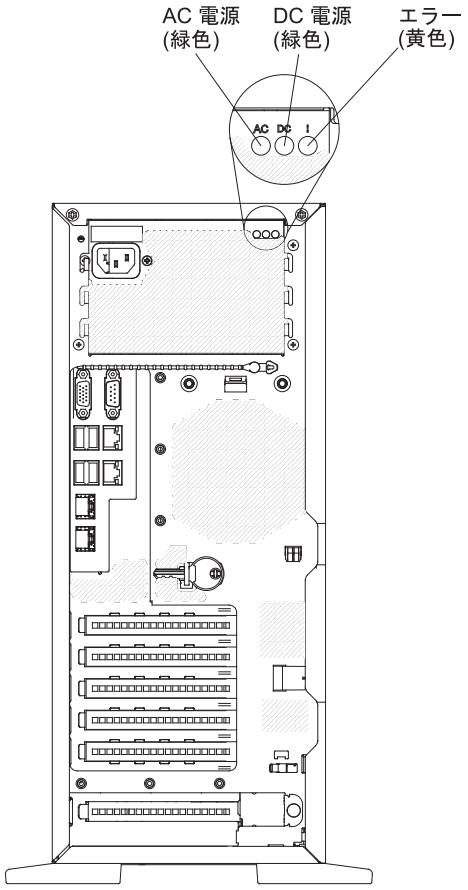
パワー・サプライ LED

このセクションでは、サーバー上のパワー・サプライ LED を示しています。

次の図は、サーバー背面にあるパワー・サプライ LED (冗長パワー・サプライ) の位置を示しています。



次の図は、サーバー背面にあるパワー・サプライ LED (固定パワー・サプライ) の位置を示しています。



パワー・サプライの DC LED が点灯するために必要な最小構成は、以下のとおりです。
- パワー・サプライ
- 電源コード

注: パワー・サプライ上の DC LED が点灯するには、サーバーの電源を入れる必要があります。

サーバーを始動するために必要な最小構成は、以下のとおりです。
- マイクロプロセッサー・ソケット 1 内に 1 個のマイクロプロセッサー
- システム・ボード上に 1 個の 2 GB DIMM (マイクロプロセッサーあたり)
- パワー・サプライ 1 つ
- 電源コード
- 2 つの冷却ファン (ファン 2 および背面ファン)

次の表では、パワー・サプライの LED とオペレーター情報パネル上のパワーオン LED の各種の組み合わせが示す問題と、検出された問題を修正するための推奨処置について説明します。

パワー・サプライ LED			説明	処置	注
AC	DC	Error (!)			
オン	オン	オフ	正常に作動		
オフ	オフ	オフ	サーバーに AC 電源が接続されていない、または AC 給電部に問題がある。	1. サーバーへの AC 電源をチェックします。 2. 電源コードが正常に機能している電源に接続されていることを確認します。 3. サーバーを再始動します。 エラーが修正されない場合は、パワー・サプライ LED を確認します。 4. パワー・サプライを交換します。	AC 電源を接続していないときは、これが正常な状態です。
オフ	オフ	オン	障害のあるパワー・サプライ	パワー・サプライを交換します。	
オフ	オン	オフ	障害のあるパワー・サプライ	パワー・サプライを交換します。	
オフ	オン	オン	障害のあるパワー・サプライ	パワー・サプライを交換します。	
オン	オフ	オフ	パワー・サプライが完全に差し込まれていない、システム・ボードに障害がある、またはパワー・サプライに障害がある	1. パワー・サプライを取り付け直します。 2. IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。 ユーティリティーの詳しい説明とダウンロードについては、http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html にアクセスしてください。 3. ホット・スワップ・パワー・サプライ・システムの場合、178 ページの『電源問題』および 186 ページの『電源の問題の解決』にリストされているアクションに従います。	パワー・サプライが完全に差し込まれていないことを示す典型的な例です。
オン	オフ	オン	障害のあるパワー・サプライ	パワー・サプライを交換します。	
オン	オン	オン	障害のあるパワー・サプライ	パワー・サプライを交換します。	

イベント・ログ

エラー・コードおよびメッセージは、POST イベント・ログ、システム・イベント・ログ、統合管理モジュール (IMM2) イベント・ログ、および DSA イベント・ログに表示されます。

- **POST イベント・ログ:** このログには、POST 中に生成された最新の 3 つのエラー・コードとメッセージが入っています。 POST イベント・ログの内容は、Setup ユーティリティーから表示できます (115 ページの『Setup ユーティリティーの開始』を参照)。 POST エラー・コードについて詳しくは、687 ページの『付録 B. UEFI/POST 診断コード』を参照してください。
- **システム・イベント・ログ:** このログには、POST およびシステム管理割り込み (SMI) のイベントと、統合管理モジュール (IMM) に組み込まれたベースボード管理コントローラーが生成したすべてのイベントが入っています。 システム・イベント・ログの内容は、Setup ユーティリティーおよび Dynamic System Analysis (DSA) プログラムから (IPMI イベント・ログとして) 表示することができます。

  システム・イベント・ログにはサイズの制限があります。 ログがフルになっても、新しい項目が既存の項目を上書きしません。したがって、Setup ユーティリティーを使用して、定期的にシステム・イベント・ログを消去する必要があります。 エラーのトラブルシューティング中に最新のイベントを分析できるようにするには、システム・イベント・ログを保管してからクリアする必要がある場合があります。 システム・イベント・ログについて詳しくは、345 ページの『付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ』を参照してください。

  メッセージは画面の左側にリストされ、選択されたメッセージの詳細が画面の右側に表示されます。 1 つの項目から次の項目に移動するには、上矢印キー (↑) および下矢印キー (↓) を使用します。

  一部の IMM センサーは、それぞれの設定値に達するとログされる表明イベントを発生させる場合があります。 設定値の状態が存続しない場合は、対応する表明解除イベントがログされます。ただし、すべてのイベントが表明型のイベントであるわけではありません。
- **統合管理モジュール II (IMM2) イベント・ログ:** このログにはすべての IMM、POST、およびシステム管理割り込み (SMI) イベントからフィルタリングされたサブセットが入っています。IMM Web インターフェースから IMM イベント・ログを表示することができます。 詳しくは、130 ページの『Web インターフェースへのログオン』を参照してください。 IMM イベント・ログは、Dynamic System Analysis (DSA) プログラムから (ASM イベント・ログとして) 表示することもできます。 IMM エラー・メッセージについて詳しくは、345 ページの『付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ』を参照してください。
- **DSA イベント・ログ:** このログは、Dynamic System Analysis (DSA) プログラムによって生成されるもので、システム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、IMM シャーシ・イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、およびオペレーティング・システム・イベント・ログを時系列でまとめたものです。 DSA イベント・ログは DSA プログラムから表示できます (157 ページの『サーバーを再始動することなく、イベント・ログを表示する』を参照)。 DSA および

DSA メッセージについて詳しくは、 713 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』および 161 ページの『IBM Dynamic System Analysis』を参照してください。

ログの表示、またはログの消去についての詳細は、『セットアップ・ユーティリティーを使用してイベント・ログを表示する』、『サーバーを再始動することなく、イベント・ログを表示する』、および 160 ページの『エラー・ログの消去』を参照してください。

セットアップ・ユーティリティーを使用してイベント・ログを表示する

Setup ユーティリティーからイベント・ログを表示するには、この情報を使用します。

このタスクについて

POST イベント・ログまたはシステム・イベント・ログを表示するには、次のステップを実行します。

手順

1. サーバーの電源をオンにします。
2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。 始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定した場合、イベント・ログを表示するには管理者パスワードを入力する必要があります。
3. 「**System Event Logs**」を選択し、以下のステップのうちの 1 つを実行します。
   - POST イベント・ログを表示するには、「**POST Event Viewer**」を選択します。
   - システム・イベント・ログを表示するには、「**System Event Log**」を選択します。

サーバーを再始動することなく、イベント・ログを表示する

サーバーを再始動することなく、イベント・ログを表示するには、この情報を使用します。

このタスクについて

サーバーがハングしていない状態で IMM がネットワークに接続されているときは、サーバーを再始動しないで 1 つ以上のイベント・ログを表示するいくつかの方式があります。

Dynamic System Analysis (DSA) の Portable エディションをすでにインストールしてある場合は、それを使用してシステム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、または IMM イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、オペレーティング・システム・イベント・ログ、またはマージされた DSA ログを表示することができます。 また、DSA Preboot を使用してこれらのログを表示することもできますが、DSA Preboot を使用するにはサーバーを再始動する必要があります。サーバーの出荷時には、内蔵 USB メモリー内に DSA Preboot が格納されています。 DSA Portable をインストールする場合、あるいは DSA Preboot の CD イメージの新バージョンの有無を確認し、ダウンロードする場合は、http://www.ibm.com/

support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-DSA にアクセスしてください。

タスクの結果

IPMItool がサーバーにインストール済みの場合は、これを使用してシステム・イベント・ログを表示できます。 最新バージョンの Linux オペレーティング・システムには、現行バージョンの IPMItool が付属しています。 IPMI の概要については、http://www.ibm.com/developerworks/linux/blueprints/ にアクセスして「**Using Intelligent Platform Management Interface (IPMI) on IBM Linux platforms**」をクリックします。

統合管理モジュール II (IMM2) Web インターフェースにある「**Event Log**」リンクから、IMM イベント・ログを表示できます。詳しくは、 130 ページの『Web インターフェースへのログオン』を参照してください。

次の表は、サーバーの状態に応じてイベント・ログを表示するために使用できる方法を説明しています。 最初の 3 つの状態に対しては、通常サーバーの再始動は必要ありません。

表 17. イベント・ログを表示する方法

状態	処置
サーバーは停止しておらず、(オペレーティング・システムが制御するネットワーク・ポートを使用して) ネットワーク・ポートに接続されている。	以下の方法のいずれかを使用します。 • DSA Portable を実行して診断イベント・ログを表示する (IPMI ドライバーが必要) か、または IBM サービスおよびサポートに (FTP またはローカル・コピーを使用して) 送信可能な出力ファイルを作成します。 • IPMItool を使用して、システム・イベント・ログを表示します (IPMI ドライバーが必要)。 • IMM に対して Web ブラウザー・インターフェースを使用して、システム・イベント・ログをローカル側で表示します (RNDIS USB LAN ドライバーが必要)。

表 17. イベント・ログを表示する方法 (続き)

状態	処置
サーバーは停止しておらず、(オペレーティング・システムが制御するネットワーク・ポートを使用して) ネットワーク・ポートに接続されていない。	以下の方法のいずれかを使用します。 • Portable DSA を実行して診断イベント・ログを表示する (IPMI ドライバーが必要) か、または IBM サービスおよびサポートに (ローカル・コピーを使用して) 送信可能な出力ファイルを作成します。 • IPMItool を使用して、システム・イベント・ログを表示します (IPMI ドライバーが必要)。 • IMM に対して Web ブラウザー・インターフェースを使用して、システム・イベント・ログをローカル側で表示します (RNDIS USB LAN ドライバーが必要)。詳しくは、 129 ページの『IMM 用の IP アドレスの取得』および 130 ページの『Web インターフェースへのログオン』を参照してください。
統合管理モジュール II (IMM2) はネットワークに接続されており、AC 電源が供給されている。サーバーは、ハング、非ハング、または電源オフの状態である可能性がある。	以下の方法のいずれかを使用します。 • IPMItool をネットワーク全体で IMM の外部 IP アドレスに使用して、システム・イベント・ログを表示します。 • IMM に対して Web ブラウザー・インターフェースを使用して、システム・イベント・ログを表示します。 Web ブラウザーで IMM の IP アドレスを入力し、「イベント・ログ」ページに進みます。 詳しくは、 129 ページの『IMM 用の IP アドレスの取得』および 130 ページの『Web インターフェースへのログオン』を参照してください。
サーバーは停止しており、IMM との間で通信を行うことができない。	サーバーを再始動し、F2 を押して DSA Preboot を開始して、診断イベント・ログを表示します (詳しくは、 163 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 代わりに、サーバーを再始動し、F1 を押して Setup ユーティリティーを開始して、POST イベント・ログまたはシステム・イベント・ログを表示することもできます。 詳しくは、 157 ページの『セットアップ・ユーティリティーを使用してイベント・ログを表示する』を参照してください。

エラー・ログの消去

エラー・ログを消去するには、この情報を使用します。

このタスクについて

イベント・ログを消去する場合は、以下のステップを実行してください。

注: サーバーが再始動されるたびごとに、POST イベント・ログが自動的に消去されます。

手順

1. サーバーの電源をオンにします。
2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。 始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定した場合、イベント・ログを表示するには管理者パスワードを入力する必要があります。
3. 以下のいずれかの手順を使用します。
   - IMM システム・イベント・ログを消去するには、「**System Event Logs**」**-->** 「**System Event Log**」を選択します。 「**Clear System Event Log**」を選択してから、Enter を 2 度押します。

POST

サーバーの電源をオンにすると、サーバーのコンポーネントとサーバー内の一部のオプション装置の動作を検査する一連のテストが実行されます。この一連のテストを「パワーオン・セルフテスト」、すなわち POST と呼びます。

注: このサーバーは、サーバー状況に関してビープ・コードを使用しません。

始動パスワードが設定されている場合、POST が実行されるようにするには、プロンプトに従ってパスワードを入力し、Enter キーを押す必要があります。

POST で問題が検出された場合は、エラー・メッセージが表示されます。詳しくは、687 ページの『付録 B. UEFI/POST 診断コード』を参照してください。

POST が問題を検出すると、エラー・メッセージが POST イベント・ログに送信されます。詳しくは、156 ページの『イベント・ログ』を参照してください。

IBM Dynamic System Analysis

IBM Dynamic System Analysis (DSA) は、サーバーの問題を診断するときに役立つシステム情報を収集して分析します。

DSA は、サーバーに関する次の情報を収集します。

- ドライブ・ヘルス情報
- ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサーのイベント・ログ
- ハードウェア・インベントリー情報 (PCI および USB 情報を含む)
- インストール済みのアプリケーションおよびホット・フィックス (DSA Portable のみで使用可能)
- カーネル・モジュール (DSA Portable のみで使用可能)
- Light Path 診断の状況
- ネットワーク・インターフェースおよび設定
- パフォーマンス・データおよび実行中のプロセスに関する詳細
- RAID およびコントローラー構成
- サービス・プロセッサー (統合管理モジュール) の状況および構成
- システム構成
- 重要プロダクト・データおよびファームウェアの情報

DSA が生成したメッセージの結果を受けて取るべきアクションについての、システム固有の情報については、164 ページの『診断テキスト・メッセージ』を参照してください。

DSA を使用して問題が検出できない場合は、189 ページの『未解決問題の解決』を参照してサーバーのテストに関する情報を見つけてください。

注:

1. マルチノード環境では、各サーバーは固有の DSA インターフェースを備えています。これらの固有の DSA インターフェースから、サーバー特定の情報 (イベント・ログなど) を表示することができます。
2. DSA プリブートは、プログラムを始動した際、応答しないように見える場合があります。 これは、プログラムをロードしているもので正常オペレーションです。

サーバーの DSA コードが最新バージョンであることを確認してください。 DSA コードおよび「*Dynamic System Analysis Installation and User's Guide*」を入手するには、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-DSA にアクセスしてください。

DSA のエディション

以下の 2 つのエディションの Dynamic System Analysis が使用可能です。

- **DSA Portable**

  DSA Portable エディションは、オペレーティング・システムの内部で実行されます。実行するためにサーバーを再始動する必要はありません。 このエディションは、Web からダウンロードする自己解凍型ファイルとしてパッケージされています。 このファイルは、実行すると一時フォルダーに自己解凍され、ハードウェアおよびオペレーティング・システムに関する情報の包括的な収集を実行します。実行後には、一時ファイルおよびフォルダーを自動的に削除し、データ収集および診断の結果をサーバーに残します。

  サーバーを始動できる場合は、DSA Portable を使用してください。

- **DSA Preboot**

  DSA Preboot は、オペレーティング・システムの外部で実行されます。実行するためにはサーバーを再始動する必要があります。 DSA Preboot はサーバー上でフラッシュ・メモリーとして提供されるか、IBM ToolsCenter Bootable Media Creator (BoMC) を使用して、CD、DVD、ISO、USB、または PXE などのブート可能メディアを作成することができます。 詳細については、BoMC の「*ユーザー・ガイド*」(http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-BOMC) を参照してください。他のエディションの DSA の機能に加えて、DSA Preboot には診断ルーチンが組み込まれているため、オペレーティング・システム環境の内部で実行するとサーバーが停止する場合があります (デバイスのリセットやネットワーク接続の喪失など)。 このエディションのグラフィカル・ユーザー・インターフェースを使用して、実行する診断を指定したり、診断とデータ収集の結果を表示することができます。

  DSA Preboot は、以下のシステム・コンポーネント (取り付けられている場合) に対する診断を行います。

  – Broadcom ネットワーク・アダプター
  – 光ディスク装置 (CD または DVD)
  – テープ・ドライブ (SCSI、SAS、または SATA)
  – メモリー
  – マイクロプロセッサー
  – チェックポイント・パネル
  – I2C バス
  – SAS ドライブおよび SATA ドライブ

  サーバーを再始動できない場合、または包括的な診断が必要な場合は、DSA Preboot を使用してください。

  IBM System x3300 M4 サーバーには、内蔵 USB フラッシュ・メモリー上に DSA Preboot 診断コードが付属しています。 診断パーティションが損傷を受け DSA Preboot 診断プログラムが開始できない場合、内蔵 USB フラッシュ・デバイス上の診断コードをリセットおよび更新するためにユーティリティーが使用可

能です。ユーティリティーの詳しい説明とダウンロードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-DSAに進んでください。

DSA Preboot 診断プログラムの実行

DSA Preboot 診断プログラムを実行するには、この情報を使用します。

このタスクについて

注: DSA メモリー・テストは、実行するのに最大 30 分かかります。 問題がメモリーの問題でない場合は、メモリー・テストをスキップしてください。

サーバーの内蔵フラッシュ・メモリーに格納されている DSA Preboot 診断プログラムを実行するには、次のステップを実行します。

手順

1. サーバーが稼働中の場合は、サーバーとそれに接続されているすべての装置の電源をオフにします。
2. すべての接続されている装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源を入れます。
3. プロンプト「<F2> Diagnostics」が表示されたら、F2 を押します。

   注: DSA プリブート診断プログラムは、プログラムを始動した際、異常なほど長時間応答しないように見える場合があります。 これは、プログラムをロードしているもので正常オペレーションです。
4. オプションとして、「**Quit to DSA**」を選択してスタンドアロン・メモリー診断プログラムを終了することができます。

   注: スタンドアロン・メモリー診断環境を終了した後、再びスタンドアロン・メモリー診断環境にアクセスするためにはサーバーを再始動する必要があります。
5. 「**gui**」を選択するとグラフィカル・ユーザー・インターフェースを表示することができます。または、「**cmd**」を選択して DSA インタラクティブ・メニューを表示することもできます。
6. 画面の指示に従って、実行する診断テストを選択してください。

タスクの結果

テストの途中でサーバーが停止し、続行できなくなった場合には、サーバーを再始動し、もう一度 DSA Preboot 診断プログラムの実行を試みてください。 問題が解決しない場合は、サーバーの停止時にテストされていたコンポーネントを交換してください。

診断テキスト・メッセージ

診断テキスト・メッセージは、テストの実行中に表示されます。

診断テキスト・メッセージには、以下の結果のいずれかが示されます。

Passed: テストはエラーなしに完了しました。

Failed: テストでエラーが検出されました。

Aborted: サーバー構成が原因で、テストが進行できませんでした。

テストの失敗に関する追加情報が、それぞれのテストの拡張診断結果から入手可能です。

テスト・ログの結果表示

テスト・ログ結果を表示するには、この情報を使用します。

テストの完了時に結果を確認するためにテスト・ログを表示するには、DSA グラフィカル・ユーザー・インターフェースを実行している場合は「Status」列で「**Success**」リンクをクリックし、DSA 対話式メニューを実行している場合は **:x** と入力して「Execute Tests」メニューを終了するか、またはグラフィカル・ユーザー・インターフェースの「**Diagnostic Event Log**」を選択します。 DSA Preboot コレクションを外付け USB デバイスに転送するには、DSA 対話式メニューで **copy** コマンドを入力します。

- DSA グラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) を実行している場合は、「Status」列で「**Success**」リンクをクリックします。
- DSA 対話式メニュー (CLI) を実行している場合は、**:x** と入力して「Execute Tests」メニューを終了してから、「**completed tests**」を選択して結果を表示します。

コール・ホーム (自動化サービス要求)

IBM は、データを自動的に収集して送信できるツール、またはエラーが検出された場合に IBM サポートをコールできるツールを提供しています。

IBM サービスによる問題の診断処理の迅速化にこれらのツールが役に立ちます。以下のセクションでは、コール・ホーム・ツールについて説明します。

Service Advisor

サーバーには、Service Advisor 機能が備わっています。この機能は、システムによる障害検出時に、システムに関するデータを収集し、そのデータを問題判別のために IBM サービスに送信します。

さらに、この機能には問題発生時、自動的に IBM サービスを呼び出すコール・ホーム機能も含まれています。 Service Advisor 機能は統合管理モジュール (IMM) に組み込まれています。 Service Advisor 機能は、使用する前にセットアップして構成する必要があります。 Service Advisor 機能のセットアップと構成方法について詳しくは、「*Integrated Management Module User's Guide*」(http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=migr-5086346) を参照してください。

IBM Electronic Service Agent

IBM エレクトロニック・サービス・エージェントは、システム・ハードウェア・エラーおよびハードウェアとソフトウェアのインベントリー情報のモニター、追跡、取り込みを行い、保守可能な問題を IBM サポートに直接報告します。

データを手動で収集するように選択することもできます。これは最小のシステム・リソースしか使用せず、IBM の Web サイトからダウンロードすることができます。IBM エレクトロニック・サービス・エージェントの詳細な情報またはダウンロードが必要な場合は、http://www.ibm.com/support/electronic/portal/ にアクセスしてください。

エラー・メッセージ

このセクションでは、問題の検出時に生成される UEFI/POST、IMM2、および DSA のエラー・コードとメッセージをリストします。

詳細については、687 ページの『付録 B. UEFI/POST 診断コード』、 345 ページの『付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ』、および 713 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を参照してください。

現象別トラブルシューティング

トラブルシューティング表を使用して、識別可能な症状がある問題の解決策を見つけます。

これらの表の中に該当の問題に対する解決策が見つからない場合、サーバーのテストについては 713 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を、サーバーの内蔵 USB メモリーに格納されている DSA Preboot プログラムの実行に関する追加情報は 163 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照してください。 問題の解決に役立つ追加情報については、 145 ページの『ここから開始します』を参照してください。

新しいソフトウェアまたは新しいオプション装置を追加した直後にサーバーが作動しなくなった場合は、トラブルシューティング表を使用する前に、次のステップを実行します。

1. オペレーター情報パネル上のシステム・エラー LED をチェックします。それが点灯している場合は、Light Path 診断 LED (18 ページの『サーバーのコントロール、LED、および電源』を参照) をチェックします。
2. 追加したばかりのソフトウェアまたは装置を取り除きます。
3. IBM Dynamic System Analysis (DSA) を実行して、サーバーが正常に稼働しているかどうかを判断します (DSA の使用法については、 713 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を参照)。
4. 新しいソフトウェアをインストールまたは新しい装置を取り付け直します。

CD/DVD ドライブの問題

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 195 ページの『第 5 章 Parts listing, IBM System x3300 M4 Type 7382』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
CD-ROM/DVD-ROM ドライブが認識されない。	1. 次の点を確認します。 • CD または DVD ドライブが接続されている (1 次または 2 次) SATA コネクターが、Setup ユーティリティーで使用可能にされている。 • ケーブルおよびジャンパーがすべて正しく取り付けられているか。 • CD または DVD ドライブ用の正しいデバイス・ドライバーがインストールされている。 2. CD または DVD ドライブの診断プログラムを実行します。 3. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. CD または DVD ドライブ b. CD または DVD ドライブ・ケーブル 4. ステップ 3 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再始動します。 5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。
CD または DVD が正しく作動しない。	1. CD または DVD をクリーニングします。 2. CD または DVD を新規 CD または DVD メディアと取り替えます。 3. CD または DVD ドライブ診断プログラムを実行します (713 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を参照)。 4. CD または DVD ドライブをリセットします (250 ページの『光学式 CD/DVD ドライブの取り外し』および 67 ページの『光学式 CD/DVD ドライブの取り付け』を参照)。 5. CD または DVD ドライブを交換します。
CD または DVD ドライブ・トレイが作動しない。	1. サーバーの電源がオンになっていることを確認します。 2. まっすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先をトレイ解放穴に差し込みます。 3. CD または DVD ドライブをリセットします (250 ページの『光学式 CD/DVD ドライブの取り外し』および 67 ページの『光学式 CD/DVD ドライブの取り付け』を参照)。 4. CD または DVD ドライブを交換します。

ハイパーバイザーの問題

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 195 ページの『第 5 章 Parts listing, IBM System x3300 M4 Type 7382』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスが予期したブート順序にリストされない、ブート・デバイスのリストに表示されない、または類似の問題が発生した。	1. オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスが、始動時にブート・マネージャーの「<F12> Select Boot Device」で選択されていることを確認します。 2. 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスがコネクターに正しく取り付けられていることを確認します (317 ページの『USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し』および 318 ページの『USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの交換』を参照)。 3. オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスに付属の資料を参照して、セットアップおよび構成情報を確認します。 4. 他のソフトウェアがサーバー上で動作することを確認します。

一般的な問題

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが構造部品、または FRU 部品のいずれであるかをチェックするには、 195 ページの『第 5 章 Parts listing, IBM System x3300 M4 Type 7382』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
カバー・ラッチが破損している、LED が機能しない、あるいはこれと類似の問題が発生した。	その部品が CRU の場合は交換します。その部品が FRU の場合は、トレーニングを受けたサービス技術員が部品を交換する必要があります (部品が消耗部品、構造部品、または FRU であるかどうかを判別するには、 225 ページの『サーバー・コンポーネントの取り外しと交換』を参照してください)。
画面はオンになっているが、サーバーが停止している。F1 を押しても Setup ユーティリティーを開始できない。	1. 詳しくは、 194 ページの『Nx 回ブート失敗』を参照してください。 2. 詳しくは、 191 ページの『サーバー・ファームウェアのリカバリー』を参照してください。
サーバーの稼働中にサーバー・カバーを取り外したため、サーバーがシャットオフしました。	サーバーのカバーを交換し、サーバーを再始動します。

ハード・ディスクの問題

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 195 ページの『第 5 章 Parts listing, IBM System x3300 M4 Type 7382』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
DSA ハード・ディスク診断テストで認識されないドライブがある。	DSA で示されたドライブを取り外し (243 ページの『3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し』または 247 ページの『3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外し』を参照)、もう一度ハード・ディスク診断テストを実行します (713 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を参照)。 残りのドライブが認識される場合は、取り外したドライブを新しいものと交換します。
ハード・ディスク診断テスト中にサーバーが応答しなくなる。	DSA で示されたドライブを取り外し (243 ページの『3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し』または 247 ページの『3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外し』を参照)、もう一度ハード・ディスク診断テストを実行します (713 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を参照)。 残りのドライブが認識される場合は、取り外したドライブを新しいものと交換します。
ハード・ディスクの障害が発生し、関連した黄色のハード・ディスク状況 LED が点灯している。	障害が起きたハード・ディスクを交換します。

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 195 ページの『第 5 章 Parts listing, IBM System x3300 M4 Type 7382』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
新たに取り付けたハード・ディスクが認識されない。	1. 関連した黄色のハード・ディスク状況 LED を確認します。 LED が点灯している場合、ドライブに障害があることを示します。 2. LED が点灯している場合、ベイからドライブを外し、45 秒間待ちます。その後ドライブ・アセンブリーがハード・ディスク・バックプレーンに接続していることを確認して、ドライブを再度取り付けます。 3. 関連する緑色のハード・ディスク活動 LED および黄色の状況 LED を確認します。 • 緑色の活動 LED が点滅していて、黄色の状況 LED が点灯していない場合、コントローラーがドライブを認識し、正常に作動していることを示します。 DSA ハード・ディスク・テストを実行して、ドライブが検出されているかどうかを判別してください。 • 緑色の活動 LED が点滅していて、黄色の状況 LED がゆっくり点滅している場合、コントローラーがドライブを認識し、再作成していることを示します。 • いずれの LED も点灯または点滅していない場合は、ハード・ディスク・バックプレーンを確認します (ステップ 168 ページの『ハード・ディスクの問題』 に進む)。 • 緑色の活動 LED が点滅していて、黄色の状況 LED が点灯している場合、ドライブを交換します。 LED の活動状況が変わらない場合、ステップ 168 ページの『ハード・ディスクの問題』 に進んでください。 LED の活動に変化がある場合は、ステップ 1 に戻ります。 4. ハード・ディスク・バックプレーンが正しく取り付けられていることを確認します。 正しく取り付けられている場合、バックプレーンを曲げたり、動かすことなく、ドライブ・アセンブリーをバックプレーンに正常に接続することができます。 5. バックプレーン電源ケーブルを取り付け直し、ステップ 1 から 3 までを繰り返します。 6. バックプレーン信号ケーブルを取り付け直し、ステップ 1 から 3 までを繰り返します。 7. バックプレーン信号ケーブルまたはバックプレーンに問題がある可能性があります。 a. 対象のバックプレーン信号ケーブルを交換します。 b. 影響を受けたバックプレーンを交換します。 8. SAS/SATA アダプターおよびハード・ディスクに対して DSA テストを実行します (163 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 • アダプターがテストにパスしたがドライブが認識されない場合は、バックプレーン信号ケーブルを交換してテストを再度実行します。 • バックプレーンを交換します。 • アダプターがテストに失敗する場合は、バックプレーン信号ケーブルをアダプターから切り離してから再度テストを実行します。 • アダプターがこのテストに失敗する場合は、アダプターを交換します。 9. 190 ページの『問題判別のヒント』を参照してください。
複数のハード・ディスクに障害が起こりました。	ハード・ディスク、SAS/SATA RAID アダプター、およびサーバーのデバイス・ドライバーとファームウェアが最新レベルになっていることを確認します。 **重要:** 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
複数のハード・ディスクがオフラインです。	1. ストレージ・サブシステム・ログを検討して、バックプレーンやケーブルなどの問題が、ストレージ・サブシステム内で起きていないか確認します。 2. 190 ページの『問題判別のヒント』を参照してください。

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 195 ページの『第 5 章 Parts listing, IBM System x3300 M4 Type 7382』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
交換したハード・ディスクが再ビルドされない。	1. ハード・ディスクがアダプターに認識されているか (緑色のハード・ディスク活動 LED が点滅しているか) 確認します。 2. SAS/SATA RAID アダプターの資料を検討して、正しい構成パラメーターおよび設定値か判別します。
緑色のハード・ディスク活動 LED が、関連するドライブの実際の状態を正確に表示しない。	1. ドライブの使用中に緑色のハード・ディスク活動 LED が点滅しない場合は、DSA ディスク・ドライブ・テストを実行します (163 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 2. 以下のいずれかの手順を使用します。 • ドライブがテストをパスする場合、バックプレーンを交換します。 • ドライブがテストを失敗する場合、ドライブを交換します。
黄色のハード・ディスク状況 LED が、関連するドライブの実際の状態を正確に表示しない。	1. 黄色のハード・ディスク LED と RAID アダプター・ソフトウェアがドライブに対して同じ状況を示さない場合は、次のステップを行います。 a. サーバーの電源をオフにします。 b. SAS/SATA アダプターを取り付け直します。 c. バックプレーンの信号ケーブルおよびバックプレーン電源ケーブルを取り付け直します。 d. ハード・ディスクを取り付け直します。 e. サーバーの電源を入れ、ハード・ディスク LED の活動を確認します。 2. 190 ページの『問題判別のヒント』を参照してください。

再現性の低い問題

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
時々起こる問題、または診断が困難な問題。	1. 次の点を確認します。 • すべてのケーブルとコードが、サーバーの背面および接続装置にしっかりと接続されている。 • サーバーの電源が入っているとき、ファン・グリルから空気が流れている。空気の流れがないときは、ファンが回っていません。 これにより、サーバーが過熱し、シャットダウンすることがあります。 2. イベント・ログを検査します (156 ページの『イベント・ログ』を参照)。 3. 189 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
サーバーが時々リセット (再始動) される。	1. POST 中にリセットが発生し、POST ウォッチドッグ・タイマーが使用可能になっている場合 (Setup ユーティリティーで「**System Settings**」**-->**「**Integrated Management Module**」**-->**「**POST Watchdog Timer**」の順にクリックして、POST ウォッチドッグの設定を確認します)、ウォッチドッグ・タイムアウト値 (**POST Watchdog Timer**) に十分な時間が設定されていることを確認します。POST 中にサーバーが引き続きリセットする場合は、 687 ページの『付録 B. UEFI/POST 診断コード』および 713 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を参照してください。 2. イベント・ログを検査します (156 ページの『イベント・ログ』を参照)。

キーボード、マウス、またはポインティング・デバイスの問題

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 195 ページの『第 5 章 Parts listing, IBM System x3300 M4 Type 7382』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
キーボードのすべてのキーまたは一部のキーが機能しない。	1. 次の点を確認します。 • キーボード・ケーブルがしっかりと接続されている。 • サーバーとモニターの電源がオンになっているか。 2. USB キーボードを使用している場合は、Setup ユーティリティーを実行してキーボードなし操作を有効にします。 3. USB キーボードを使用していてキーボードが USB ハブに接続されている場合は、キーボードをハブから切り離してサーバーに直接接続します。 4. キーボードを交換します。
マウスまたはポインティング・デバイスが機能しない。	1. 次の点を確認します。 • マウスまたは USB デバイスのケーブルがサーバーにしっかりと接続されているか。 • マウスまたは USB デバイスのドライバーが正しくインストールされているか。 • サーバーとモニターの電源がオンになっているか。 • マウス・オプションが Setup ユーティリティーで有効にされている。 2. USB マウスまたは USB デバイスを使用しており、それが USB ハブに接続されている場合、マウスまたは USB デバイスをハブから切り離し、直接サーバーに接続します。 3. マウスまたは USB デバイスを交換します。

メモリー問題

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 195 ページの『第 5 章 Parts listing, IBM System x3300 M4 Type 7382』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
表示されたシステム・メモリーの容量が、実際に取り付けたメモリーの容量より少ない。	**注:** メモリーを変更する場合は、セットアップ・ユーティリティーを使用してメモリー構成を更新する必要があります。 1. 次の点を確認します。 • オペレーター情報パネル、メモリー・トレイ、または MAX5 メモリー拡張モジュール上のどのエラー LED も点灯していない。 • メモリーのミラーリングが不一致の原因ではない。 • メモリー・モジュールが正しく取り付けられている (310 ページの『メモリー・モジュールの取り外し』および 52 ページの『メモリー・モジュールの取り付け』を参照)。 • 正しいタイプのメモリーが取り付けられている。 • メモリーを変更した場合、Setup ユーティリティーでメモリー構成を更新した。 • メモリーのすべてのバンクが使用可能になっている。 サーバーが問題を検出したときにメモリー・バンクを自動的に使用不可にしたか、メモリー・バンクが手動で使用不可にされた可能性があります。 2. 以下のようにして、POST イベント・ログをチェックします。 • DIMM がシステム管理割り込み (SMI) によって使用不可にされていた場合は、その DIMM を交換します。 • DIMM がユーザーまたは POST によって使用不可にされた場合は、Setup ユーティリティーを実行して、DIMM を使用可能にします。 3. メモリー診断を実行します (163 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 4. サーバーを最小メモリー構成にした場合にメモリー・ミスマッチがないことを確認します (DIMM の規則および装着順序については、 52 ページの『メモリー・モジュールの取り付け』を参照)。 5. DIMM を取り付け直します。 6. サーバーを再始動します。

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 195 ページの『第 5 章 Parts listing, IBM System x3300 M4 Type 7382』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
1 つのブランチ内の複数の DIMM 列で障害の発生が確認された。	1. 該当の DIMM を取り付け直してから、サーバーを再始動します。 2. 識別されたうちの最も低い番号の DIMM ペアを取り外し、良品であることが判明している同一の DIMM ペアと交換して、サーバーを再始動します。 解決するまで上記を繰り返します。 識別されたすべてのペアを交換した後も障害が続く場合は、ステップ 4 に進みます。 3. 取り外した DIMM を一度に 1 ペアずつ元のコネクターに戻し、各ペアごとにサーバーを再始動し、あるペアが障害を起こすまで繰り返します。障害を起こしたペアの各 DIMM を既知の正常な同一 DIMM と交換して、各 DIMM を取り付けた後、そのつどサーバーを再始動します。 障害のある DIMM を交換します。取り外したすべての DIMM がテストされるまで、ステップ 3 を繰り返します。 4. 確認された DIMM ペアのうち、最も数字の小さいものを交換し、サーバーを再始動します。 解決するまで上記を繰り返します。 • 1 つの DIMM で障害が発生する場合、ユーザーは、(同じマイクロプロセッサーの) チャネル間で DIMM の位置を逆にしてから、サーバーを再始動できます。問題が DIMM に関連したものである場合は、障害のある DIMM を交換します。 • (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のある DIMM を、マイクロプロセッサー 2 の DIMM コネクター (取り付けられている場合) に取り付け、問題がマイクロプロセッサーに関するものでないこと、あるいは DIMM コネクターに関するものでないことを確認します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

マイクロプロセッサー問題

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 195 ページの『第 5 章 Parts listing, IBM System x3300 M4 Type 7382』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
サーバーをオンにすると、サーバーが直接 POST イベント・ビューアーになる。	1. Light Path 診断 LED によって示されたエラーをすべて解決します (18 ページの『サーバーのコントロール、LED、および電源』を参照)。 2. サーバーがすべてのマイクロプロセッサーをサポートし、マイクロプロセッサーの速度、タイプ、およびキャッシュ・サイズが相互に一致していることを確認します。 マイクロプロセッサー情報を表示するには、Setup ユーティリティーを実行して「**System Information**」→「**System Summary**」→「**Processor**」を選択します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー 1 が正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー 2 を取り外して、サーバーを再始動します。 5. 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー b. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード

モニターおよびビデオの問題

一部の IBM モニターには、独自のセルフテスト機能が備わっています。 モニターに問題があると思われる場合は、そのモニターに付属の説明書を参照してモニターのテストおよび調整を行ってください。問題を診断できない場合は、保守サービスを依頼してください。

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 195 ページの『第 5 章 Parts listing, IBM System x3300 M4 Type 7382』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
モニターのテスト。	1. モニター・ケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。 2. サーバーで別のモニターを使用するか、または同じモニターを別のサーバーでテストしてみます。 3. 診断プログラムを実行します。モニターが診断プログラムの検査をパスした場合は、ビデオ・デバイス・ドライバーに問題があることが考えられます。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 195 ページの『第 5 章 Parts listing, IBM System x3300 M4 Type 7382』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
画面に何も表示されない。	1. サーバーが KVM スイッチに接続されている場合は、問題の原因を除去するために KVM スイッチをバイパスします。モニター・ケーブルをサーバーの背面にある正しいモニター・コネクターに直接接続してみます。 2. 次の点を確認します。 • サーバーの電源がオンになっている。サーバーに電源がきていない場合は、178 ページの『電源問題』を参照してください。 • モニターのケーブルが正しく接続されている。 • モニターの電源が入っていて、輝度とコントラストが正しく調節されているか。 3. モニターが正しいサーバーで制御されていることを確認します (該当する場合)。 4. 損傷したサーバー・ファームウェアがビデオに影響を及ぼしていないことを確認します。 109 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 5. システム・ボードのチェックポイント LED を監視し、コードが変化する場合は、ステップ 6 に進みます。 6. 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. モニター b. ビデオ・アダプター (取り付けられている場合) c. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード。 7. 189 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。
サーバーに電源を入れた時点ではモニターが作動するが、一部のアプリケーション・プログラムを開始すると画面がブランクになる。	1. 次の点を確認します。 • アプリケーション・プログラムが、モニターの能力を超える表示モードを設定していない。 • アプリケーションに必要なデバイス・ドライバーがインストールされている。 2. ビデオ診断を実行します (163 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 • サーバーがビデオ診断に合格した場合、ビデオは良好です。 189 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。 • (トレーニングを受けた技術員のみ) サーバーがビデオ診断に失敗する場合は、システム・ボードを交換します。

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 195 ページの『第 5 章 Parts listing, IBM System x3300 M4 Type 7382』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
モニターに画面ジッターがあるか、または画面イメージが波打つ、読めない、ローリングする、またはゆがむ。	1. モニターのセルフテストで、モニターが正しく作動していることが示された場合は、モニターの位置を検討してください。その他の装置 (変圧器、電気製品、蛍光灯、および他のモニターなど) の周囲の磁界が、画面のジッターや波打ち、判読不能、ローリング、あるいは画面のゆがみの原因となる可能性があります。これが発生した場合は、モニターの電源を切ります。 **重要:** 電源を入れたままカラー・モニターを移動すると、画面がモノクロになることがあります。 デバイスとモニターの間を 305 mm 以上離し、モニターをオンにします。 **注:** a. ディスケット・ドライブの読み取り/書き込みエラーを防ぐため、モニターと外付けディスケット・ドライブの間を 76 mm 以上にします。. b. IBM 以外のモニター・ケーブルを使用すると、予測できない問題が起こるおそれがあります。 2. モニター・ケーブルを取り付け直します。 3. ステップ 2 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再始動します。 a. モニター・ケーブル b. ビデオ・アダプター (取り付けられている場合) c. モニター d. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード。
画面に誤った文字が表示される。	1. 誤った言語が表示される場合は、サーバーのファームウェアを正しい言語の最新レベルに更新します (109 ページの『ファームウェアの更新』を参照)。 2. モニター・ケーブルを取り付け直します。 3. ステップ 2 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再始動します。 a. モニター・ケーブル b. ビデオ・アダプター (取り付けられている場合) c. モニター d. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード。

オプション装置の問題

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 195 ページの『第 5 章 Parts listing, IBM System x3300 M4 Type 7382』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
新たに取り付けた IBM オプション装置が作動しない。	1. 次の点を確認します。 • 装置がサーバー用に設計されている (http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/usを参照)。 • 装置に付属の取り付け手順に従い正しい取り付けがされている。 • 取り付けられている他の装置やケーブルの接続が緩んでいない。 • Setup ユーティリティーで構成情報を更新した。メモリーまたは他の装置を変更する場合は、必ず構成を更新する必要があります。 2. 取り付けたばかりの装置を取り付け直します。 3. 取り付けたばかりの装置を交換します。
前に動作していた IBM オプション装置が動作しなくなった。	1. 装置のケーブルがすべてしっかりと接続されていることを確認してください。 2. 装置にテスト手順が付属している場合は、その手順を使用して装置をテストします。 3. 障害が起こる装置が SCSI 装置の場合は、以下を確認してください。 • すべての外付け SCSI 装置のケーブルが正しく接続されている。 • 各 SCSI チェーンの最後の装置または SCSI ケーブルの終点が正しく終端されている。 • 外付け SCSI 装置の電源がオンになっている。外付け SCSI 装置は、サーバーの電源をオンにする前にオンにする必要があります。 4. 障害のある装置を取り付け直します。 5. 障害のある装置を交換します。

電源問題

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 195 ページの『第 5 章 Parts listing, IBM System x3300 M4 Type 7382』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
電源制御ボタンが作動せず、リセット・ボタンも作動しない (サーバーは始動しない)。 **注:** 電源制御ボタンは、サーバーが AC 電源に接続された後、約 1 分から 3 分経過するまで機能しません。	1. サーバーの電源制御ボタンが正しく機能していることを確認します。 a. サーバーの電源コードを取り外します。 b. 電源コードを再接続します。 c. オペレーター情報パネル・ケーブルを取り付け直してから、ステップ 3a と 3b を繰り返します。 • サーバーが始動する場合は、オペレーター情報パネルを取り付け直します。 それでも問題が解決しない場合は、オペレーター情報パネルを交換します。 2. 以下のようにして、リセット・ボタンが正しく機能していることを確認します。 a. サーバーの電源コードを取り外します。 b. 電源コードを再接続します。 c. オペレーター情報パネル・ケーブルを取り付け直してから、ステップ 3a と 3b を繰り返します。 • サーバーが始動する場合は、オペレーター情報パネルを交換します。 • サーバーが始動しない場合は、ステップ 5 に進みます。 3. 次の点を確認します。 • 電源コードがサーバーと、通電されている電源コンセントに正しく接続されている。 • 取り付けたメモリーのタイプが正しい。 • DIMM が完全に差し込まれている。 • パワー・サプライ上の LED が問題があることを示していない。 • マイクロプロセッサーが正しい順序で取り付けられている。 4. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. DIMM b. パワー・サプライ 5. ステップ 6 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再始動します。 6. オプション装置を取り付けた場合は、それを取り外してから、サーバーを再始動してください。 これでサーバーが始動する場合は、パワー・サプライがサポートできる数を超える装置が取り付けられていることが考えられます。 7. 24 ページの『パワー・サプライ LED』を参照してください。 8. 189 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。
サーバーが始動しない。	1. システム・ボード上の電源 LED をチェックしてください。 LED の位置については、 38 ページの『システム・ボードの LED』を参照してください。 2. パワー・サプライを取り付け直します。 3. パワー・サプライを交換します。
サーバーが始動しない。 (続き)	

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 195 ページの『第 5 章 Parts listing, IBM System x3300 M4 Type 7382』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
サーバーの電源がオフにならない。	1. ACPI オペレーティング・システムまたは非 ACPI オペレーティング・システムの使用の有無を調べます。 非 ACPI オペレーティング・システムを使用している場合は、以下のステップを実行してください。 a. Ctrl+Alt+Delete を押します。 b. 電源制御ボタンを 5 秒間押したままにして、サーバーの電源をオフにします。 c. サーバーを再始動します。 d. サーバーの POST が失敗し、電源制御ボタンが機能しない場合は、AC 電源コードを 20 秒間取り外しておき、AC 電源コードを再接続して、サーバーを再始動します。 2. それでも問題が続くか、ACPI 対応のオペレーティング・システムを使用している場合は、システム・ボードが原因の可能性があります。
サーバーが予期せずにシャットダウンし、オペレーター情報パネル上の LED が点灯していない。	189 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 195 ページの『第 5 章 Parts listing, IBM System x3300 M4 Type 7382』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
IMM2 イベント・ログに Pwr Rail 1 エラーが記録されている。	1. サーバーの電源コードを取り外します。 2. IMM2 イベント・ログに Pwr Rail 1 エラーが記録されている場合は、以下のコンポーネントを取り外します。 a. ホット・スワップ・パワー・サプライ・システムの場合 • ファン 3 • スロット 4 にあるオプションの PCI アダプター (存在する場合) • その他のオプションの PCI アダプター (存在する場合) b. 固定パワー・サプライ・システムの場合 • ファン 3 • スロット 4 にあるオプションの PCI アダプター (存在する場合) • その他のオプションの PCI アダプター (存在する場合) • ハード・ディスク • オプションの DVD またはテープ・ドライブ (存在する場合) 3. サーバーを再始動します。 IMM2 イベント・ログに Pwr Rail 1 エラーが再度記録された場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) 電源パドル・カードを交換します (94 ページの『電源パドル・カードの取り付け』を参照)。 4. コンポーネントを次に示す順序で一度に 1 つずつ再取り付けし、そのたびにサーバーを再始動します。IMM2 イベント・ログに Pwr Rail 1 エラーが再度記録された場合は、再取り付けしたばかりのコンポーネントに障害があります。その欠陥のあるコンポーネントを交換してください。 a. ホット・スワップ・パワー・サプライ・システムの場合 • その他のオプションの PCI アダプター (存在した場合) • スロット 4 にあるオプションの PCI アダプター (存在した場合) • ファン 3 b. 固定パワー・サプライ・システムの場合 • オプションの DVD またはテープ・ドライブ (存在した場合) • ハード・ディスク • その他のオプションの PCI アダプター (存在した場合) • スロット 4 にあるオプションの PCI アダプター (存在した場合) • ファン 3 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (342 ページの『システム・ボードの交換』を参照)。

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 195 ページの『第 5 章 Parts listing, IBM System x3300 M4 Type 7382』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
IMM2 イベント・ログに Pwr Rail 2 エラーが記録されている。	1. サーバーの電源コードを取り外します。 2. IMM2 イベント・ログに Pwr Rail 2 エラーが記録されている場合は、以下のコンポーネントを取り外します。 • ファン 1 • ファン 2 3. サーバーを再始動します。 IMM2 イベント・ログに Pwr Rail 2 エラーが再度記録された場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) 電源パドル・カードを交換します (94 ページの『電源パドル・カードの取り付け』を参照)。 4. サーバーを再始動します。 IMM2 イベント・ログに Pwr Rail 2 エラーが再度記録された場合は、マイクロプロセッサー 1 に障害があります。 • (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー 1 を交換します (87 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り付け』を参照)。 5. コンポーネントを再取り付けし、サーバーを再始動します。IMM2 イベント・ログに Pwr Rail 2 エラーが再度記録された場合は、再取り付けしたばかりのコンポーネントに障害があります。その欠陥のあるコンポーネントを交換してください。 • ファン 2 • ファン 1
IMM2 イベント・ログに Pwr Rail 3 エラーが記録されている。	1. サーバーの電源コードを取り外します。 2. (トレーニングを受けた技術員のみ) IMM2 イベント・ログに Pwr Rail 3 エラーが記録されている場合は、マイクロプロセッサー 2 を取り外します。 3. サーバーを再始動します。 IMM2 イベント・ログに Pwr Rail 3 エラーが再度記録された場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) 電源パドル・カードを交換します (94 ページの『電源パドル・カードの取り付け』を参照)。 4. コンポーネントを再取り付けし、サーバーを再始動します。IMM2 イベント・ログに Pwr Rail 3 エラーが再度記録された場合は、再取り付けしたばかりのコンポーネントに障害があります。その欠陥のあるコンポーネントを交換してください。 • (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー 2 を交換します (87 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り付け』を参照)。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (342 ページの『システム・ボードの交換』を参照)。

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 195 ページの『第 5 章 Parts listing, IBM System x3300 M4 Type 7382』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
IMM2 イベント・ログに Pwr Rail 4 エラーが記録されている。	1. サーバーの電源コードを取り外します。 2. IMM2 イベント・ログに Pwr Rail 4 エラーが記録されている場合は、以下のコンポーネントを取り外します。 • ファン 4 • DIMM 1 から 12 • (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー 2 (326 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』を参照)。 3. サーバーを再始動します。 IMM2 イベント・ログに Pwr Rail 4 エラーが再度記録された場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) 電源パドル・カードを交換します (94 ページの『電源パドル・カードの取り付け』を参照)。 4. コンポーネントを次に示す順序で一度に 1 つずつ再取り付けし、そのたびにサーバーを再始動します。IMM2 イベント・ログに Pwr Rail 4 エラーが再度記録された場合は、再取り付けしたばかりのコンポーネントに障害があります。その欠陥のあるコンポーネントを交換してください。 • (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー 2 を交換します (87 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り付け』を参照)。 • DIMM 1 から 12 • ファン 4 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (342 ページの『システム・ボードの交換』を参照)。

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 195 ページの『第 5 章 Parts listing, IBM System x3300 M4 Type 7382』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
IMM2 イベント・ログに Pwr Rail 5 エラーが記録されている。	1. サーバーの電源コードを取り外します。 2. IMM2 イベント・ログに Pwr Rail 5 エラーが記録されている場合は、ホット・スワップ・パワー・サプライ・システムに関しては以下のコンポーネントを取り外します。 • ハード・ディスク • ハード・ディスク・バックプレーン・アセンブリー • オプションの DVD またはテープ・ドライブ (存在する場合) 3. サーバーを再始動します。 IMM2 イベント・ログに Pwr Rail 5 エラーが再度記録された場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) 電源パドル・カードを交換します (94 ページの『電源パドル・カードの取り付け』を参照)。 4. コンポーネントを次に示す順序で一度に 1 つずつ再取り付けし、そのたびにサーバーを再始動します。IMM2 イベント・ログに Pwr Rail 5 エラーが再度記録された場合は、再取り付けしたばかりのコンポーネントに障害があります。ホット・スワップ・パワー・サプライ・システムの場合、その欠陥のあるコンポーネントを交換してください。 • オプションの DVD またはテープ・ドライブ (存在した場合) • ハード・ディスク・バックプレーン・アセンブリー • ハード・ディスク 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (342 ページの『システム・ボードの交換』を参照)。

シリアル装置の問題

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 195 ページの『第 5 章 Parts listing, IBM System x3300 M4 Type 7382』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
オペレーティング・システムによって識別されたシリアル・ポートの数が、取り付けられたシリアル・ポートの数より少ない。	1. 次の点を確認します。 • Setup ユーティリティーで各ポートに固有のアドレスが割り当てられており、どのシリアル・ポートも使用不可にされていない。 • シリアル・ポート・アダプター (装着されている場合) がしっかりと取り付けられている。 2. シリアル・ポート・アダプターを取り付け直します。 3. シリアル・ポート・アダプターを交換します。

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 195 ページの『第 5 章 Parts listing, IBM System x3300 M4 Type 7382』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
シリアル装置が作動しない。	1. 次の点を確認します。 • その装置がサーバーと互換性があるか。 • シリアル・ポートが使用可能で、固有のアドレスが割り当てられているか。 • 装置が正しいコネクターに接続されているか (106 ページの『ケーブルの接続』を参照)。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. 障害を起こしているシリアル装置 b. シリアル・ケーブル 3. ステップ 2 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再始動します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

ServerGuide の問題

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 195 ページの『第 5 章 Parts listing, IBM System x3300 M4 Type 7382』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
ServerGuide Setup and Installation CD が始動しない。	1. サーバーが ServerGuide プログラムをサポートし、始動可能 (ブート可能) な DVD ドライブが装備されていることを確認します。 2. 始動 (ブート) シーケンスの設定を変更した場合は、DVD ドライブが始動シーケンスの最初になっていることを確認します。 3. 複数の DVD ドライブが取り付けられている場合は、1 次ドライブとして設定してあるドライブが 1 つだけであることを確認してください。その 1 次ドライブから CD を始動してください。
MegaRAID Storage Manager プログラムが、取り付けられているドライブのすべてを表示しない、またはオペレーティング・システムがインストールできない。	1. ハード・ディスクが正しく接続されていることを確認します。 2. SAS/SATA ハード・ディスクのケーブルがしっかり接続されていることを確認してください。
オペレーティング・システムのインストール・プログラムがよくループする。	ハード・ディスク上により多くのスペースを解放してください。

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 195 ページの『第 5 章 Parts listing, IBM System x3300 M4 Type 7382』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
ServerGuide プログラムがオペレーティング・システムの CD を始動しない。	オペレーティング・システム CD が ServerGuide プログラムによってサポートされていることを確認してください。 サポートされているオペレーティング・システムのバージョンのリストについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=SERV-GUIDE にアクセスして、「IBM Service and Support Site」をクリックし、ご使用の ServerGuide のバージョンのリンクをクリックしてから、サポートされている Microsoft Windows オペレーティング・システムのリストまでスクロールダウンしてください。
オペレーティング・システムをインストールできない (オプションが選択不可能)。	サーバーがそのオペレーティング・システムをサポートしていることを確認します。オペレーティング・システムがサポートされている場合、論理ドライブ (SCSI RAID サーバー) が定義されていないか、ServerGuide System Partition が存在しません。 ServerGuide プログラムを実行して、セットアップが完了していることを確認します。

ソフトウェアの問題

- **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。**
- **コンポーネントが構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 195 ページの『第 5 章 Parts listing, IBM System x3300 M4 Type 7382』を参照してください。**
- **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**

現象	処置
ソフトウェアが原因と思われる問題	1. その問題の原因がソフトウェアであるかを判別するには、以下の点を確認します。 • サーバーが、ソフトウェアを使用するための必要最小限のメモリーを備えている。必要なメモリーを確認するには、ソフトウェアに付属の説明書を参照してください。アダプターまたはメモリーを取り付けた直後の場合は、サーバーでメモリー・アドレスの競合が生じている可能性があります。 • そのソフトウェアがサーバーに対応しているか。 • 他のソフトウェアがサーバー上で動作するか。 • このソフトウェアが他のサーバー上では作動する。 2. ソフトウェアの使用中にエラー・メッセージを受け取った場合は、そのソフトウェアに付属の説明書を参照して、メッセージの内容と問題の解決方法を調べてください。 3. ソフトウェア・ベンダーに連絡してください。

USB ポートの問題

• **問題が解決するまで、「処置」の欄の推奨処置を、リストされている順に実行してください。** • **コンポーネントが構造部品、または FRU 部品であるかどうかをチェックするには、 195 ページの『第 5 章 Parts listing, IBM System x3300 M4 Type 7382』を参照してください。** • **処置のステップの前に「(トレーニングを受けた技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けた技術員のみです。**	
現象	**処置**
USB 装置が動作しない。	1. 次の点を確認します。 • 正しい USB デバイス・ドライバーがインストールされている。 • オペレーティング・システムが USB 装置をサポートしている。 2. Setup ユーティリティーで USB 構成オプションが正しく設定されていることを確認します (詳しくは、 115 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照)。 3. USB ハブを使用している場合は、USB 装置をハブから切り離しサーバーに直接接続してみます。

ビデオの問題

174 ページの『モニターおよびビデオの問題』を参照してください。

電源の問題の解決

電源の問題を解決するには、この情報を使用します。

このタスクについて

電源の問題を解決する際に困難が伴う可能性があります。 例えば、短絡がいずれかの配電バスのどこかに存在している可能性があります。通常は、短絡により、過電流状態が原因で電源サブシステムがシャットダウンします。 電源問題を診断する場合は、以下の一般手順を使用します。

1. サーバーの電源をオフにして AC 電源コードを取り外します。
2. 電源サブシステムのケーブルが緩んでいないかを調べます。 また、短絡があるかどうか (例えば、回路ボード上に短絡の原因となる緩んだねじがあるかどうか) を調べます。
3. オペレーター情報パネルのチェック・ログ LED が点灯している場合は、以下のステップを実行します。
   - IMM2 イベント・ログを確認します。 Web インターフェースにアクセスするには、 130 ページの『Web インターフェースへのログオン』を参照してください。
   - 電源レール障害があることがログに示されている場合、電源パドル・カード上で障害のある電源レールの位置を見つけます。
   - すべての内部装置および外部装置に接続されているケーブルおよび電源コードを外します (209 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照)。 パワー・サプライのコードは接続したままにしておいてください。

- 障害の原因が判明するまで、障害のある電源コンポーネントに関連した各コンポーネントを一度に 1 つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再始動します。

表 18. Pwr Rail エラーに関連するコンポーネント

IMM2 イベント・ログの Pwr Rail エラー	**コンポーネント**
Pwr Rail 1 エラー	1. ホット・スワップ・パワー・サプライ・システムの場合、ファン 3、スロット 4 のオプション PCI アダプター、およびその他のオプション PCI アダプター。 2. 固定パワー・サプライ・システムの場合、ファン 3、スロット 4 のオプション PCI アダプター、その他のオプション PCI アダプター、ハード・ディスク、およびオプションの DVD またはテープ・ドライブ。
Pwr Rail 2 エラー	ファン 1、ファン 2、およびマイクロプロセッサー 1
Pwr Rail 3 エラー	マイクロプロセッサー 2
Pwr Rail 4 エラー	ファン 4、および DIMM 1 から 12
Pwr Rail 5 エラー	ホット・スワップ・パワー・サプライ・システムの場合、ハード・ディスク、ハード・ディスク・バックプレーン・アセンブリー、およびオプション DVD またはテープ・ドライブ。

- 識別したコンポーネントを交換します。

4. すべての電源コードを再接続し、サーバーの電源をオンにします。 サーバーが正常に始動した場合は、問題が特定されるまで、アダプターおよび装置を一度に 1 つずつ交換します。
5. サーバーの構成がサーバーの始動に必要な最小限の構成になるまで、アダプターを取り外し、すべての内部装置および外部装置へのケーブルおよび電源コードを外します (最小構成については、 18 ページの『サーバーのコントロール、LED、および電源』を参照してください)。
6. すべての AC 電源コードを再接続し、サーバーの電源をオンにします。 サーバーが正常に始動した場合は、問題が特定されるまで、アダプターおよび装置を一度に 1 つずつ取り付け直します。

タスクの結果

サーバーが最小構成でも始動しない場合は、 18 ページの『サーバーのコントロール、LED、および電源』を参照して、問題が特定されるまで、最小構成のコンポーネントを一度に 1 つずつ交換します。

イーサネット・コントローラーの問題の解決

イーサネット・コントローラーの問題を解決するには、この情報を使用します。

このタスクについて

イーサネット・コントローラーをテストするために使用する方法は、使用しているオペレーティング・システムによって異なります。イーサネット・コントローラーの情報については、オペレーティング・システムの資料を参照し、イーサネット・コントローラー・デバイス・ドライバーの README ファイルを参照してください。

以下の手順を試してみてください。

- サーバーに付属した正しいデバイス・ドライバーがインストール済みであること、およびそれらが最新レベルのものであることを確認してください。
- イーサネット・ケーブルが正しく取り付けられていることを確認します。
  - ケーブルは、すべての接続部がしっかり接続されていることが必要です。ケーブルが接続されているにもかかわらず、問題が解決しない場合は、別のケーブルで試してみてください。
  - イーサネット・コントローラーを 100 Mbps で動作するよう設定した場合は、カテゴリー 5 の配線を使用する必要があります。
  - 2 つのサーバーを (ハブを使用せずに) 直接接続する場合、または X ポートを備えるハブを使用していない場合は、クロスオーバー・ケーブルを使用してください。ハブが X ポートを備えているかどうか判別するには、ポートのラベルを調べてください。 ラベルに X が記載されている場合は、ハブは X ポートを備えています。
- ハブが自動ネゴシエーションをサポートしているかどうかを調べます。 サポートしていない場合は、内蔵イーサネット・コントローラーを、ハブの速度と二重モードに合わせて手動で構成してください。
- サーバーの背面パネルにあるイーサネット・コントローラー LED をチェックします。これらの LED は、コネクター、ケーブル、またはハブに問題があるかどうかを示します。
  - イーサネット・コントローラーがハブからリンク・パルスを受信すると、イーサネット・リンク状況 LED が点灯します。LED がオフの場合は、コネクターまたはケーブルに欠陥があるか、またはハブに問題がある可能性があります。
  - イーサネット・コントローラーがイーサネット・ネットワークを介してデータを送信または受信すると、イーサネット送信/受信活動 LED が点灯します。イーサネットの送信/受信活動がオフの場合は、ハブとネットワークが作動していること、および正しいデバイス・ドライバーがインストールされていることを確認してください。
- 問題を引き起こしているオペレーティング・システム固有の原因がないかどうかをチェックします。
- クライアントとサーバーのデバイス・ドライバーが同じプロトコルを使用していることを確認します。

ハードウェアが正常に機能しているように見えるのに、イーサネット・コントローラーがネットワークに接続できない場合は、ネットワーク管理者は、ほかにエラーの原因が考えられないかどうかを調べる必要があります。

未解決問題の解決

Dynamic System Analysis (DSA) で障害を診断できない場合、またはサーバーが機能しない場合は、このセクションの情報を使用して、未解決問題を解決してください。

このタスクについて

ソフトウェア問題が障害 (連続的または断続的) の原因であると思われる場合は、178 ページの『電源問題』を参照してください。

CMOS メモリー内のデータの破損またはサーバー・ファームウェアの破損が、未解決問題の原因となる場合があります。 CMOS データをリセットするには、CMOS ジャンパーを使用して CMOS メモリーを消去し、始動パスワードを変更します。35 ページの『システム・ボードのスイッチとジャンパー』を参照してください。 UEFI ファームウェアが破損していると思われる場合は、191 ページの『サーバー・ファームウェアのリカバリー』を参照してください。

パワー・サプライが正しく動作している場合は、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの電源をオフにします。
2. サーバーのケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. 障害を特定できるまで、以下の装置を一度に 1 つずつ、取り外すかまたは切り離します。そのたびに、サーバーの電源をオンにして再構成を行ってください。
   - 外付け装置
   - サージ抑制装置 (サーバー上)
   - プリンター、マウス、および IBM 以外の装置。
   - 各アダプター
   - ハード・ディスク
   - メモリー・モジュール。1 個のマイクロプロセッサーがサーバーに取り付けられている場合の必要最小構成は、スロット 1 に 2 GB DIMM です。
4. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

あるアダプターをサーバーから取り外すと問題が解消され、再び同じアダプターを取り付けると問題が再発する場合は、そのアダプターに原因があると考えられます。そのアダプターを別のアダプターと交換しても問題が再発する場合は、ライザー・カードに原因があると考えられます。

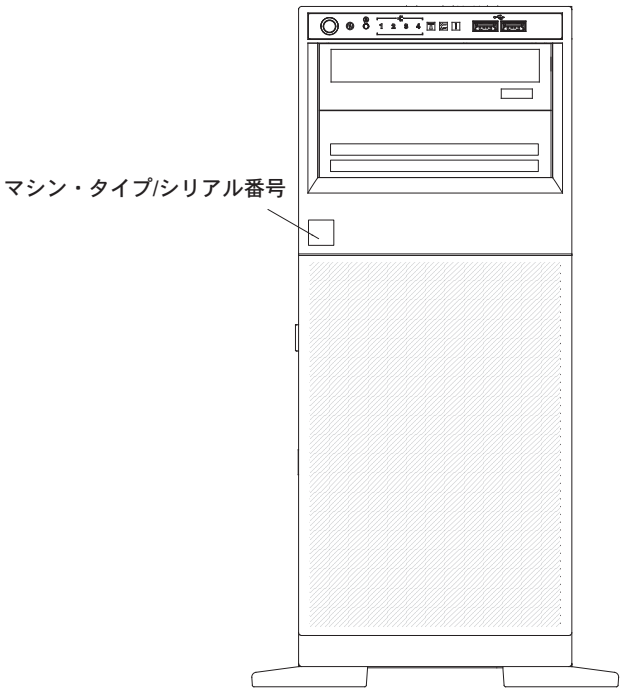
ネットワーキングの問題があると思われ、サーバーがすべてのシステム・テストにパスした場合は、サーバーの外部のネットワーク配線に問題がある可能性があります。

問題判別のヒント

ハードウェアとソフトウェアにはさまざまな組み合わせがあるため、以下の情報を利用して問題判別の補助としてください。可能ならば、IBM に支援を要求するときにこの情報を準備しておいてください。

モデル番号とシリアル番号は、次の図で示されるように、サーバー前面にある ID ラベル上で見付けることができます。

注: 本書の図は、お客様がご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。



- マシン・タイプおよびモデル
- マイクロプロセッサーまたはハード・ディスクのアップグレード
- 障害の現象
  - サーバーは Dynamic System Analysis の診断テストに失敗しましたか?
  - 何が起こりましたか? いつ? どこで?
  - 障害は単一のサーバーで起きましたか、それとも複数のサーバーで起きましたか?
  - その障害は再現可能か。
  - 現在の構成はこれまでに作動したことがありますか?
  - 構成が失敗する前に何か変更を行いましたか?
  - この障害が報告されるのは初めてですか?
- 診断プログラムのタイプおよびバージョン・レベル
- ハードウェア構成 (システム・サマリーの画面印刷)
- UEFI ファームウェア・レベル
- IMM ファームウェア・レベル

- オペレーティング・システム・ソフトウェア

問題によっては、作動するサーバーと作動しないサーバーの間で構成およびソフトウェア・セットアップを比較することで、解決できる場合があります。診断の目的でサーバーを相互に比較するときは、すべてのサーバーにおいて以下の要素が厳密に同じである場合に限り、サーバーが同じであると見なしてください。

- マシン・タイプおよびモデル
- UEFI ファームウェア・レベル
- IMM ファームウェア・レベル
- アダプターおよび接続機構、およびそれぞれの位置
- アドレス・ジャンパー、ターミネーター、およびケーブル配線
- ソフトウェアのバージョンとレベル
- 診断プログラムのタイプとバージョン・レベル
- Setup ユーティリティーの設定
- オペレーティング・システム制御ファイルのセットアップ

IBM に保守を依頼する方法については、837 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照してください。

サーバー・ファームウェアのリカバリー

サーバー・ファームウェアをリカバリーするには、この情報を使用します。

このタスクについて

重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

更新中の電源障害などによってサーバー・ファームウェアが損傷した場合は、次のいずれかの方法でサーバー・ファームウェアをリカバリーできます。

- **インバンド方式:** ブート・ブロック・ジャンパー (自動ブート・リカバリー) またはサーバーの Firmware Update Package Service Pack を使用して、サーバー・ファームウェアをリカバリーする。
- **アウト・オブ・バンド方式:** 最新のサーバー・ファームウェア更新パッケージを使用し、IMM Web Interface からファームウェアを更新する。

注: 以下のソースのいずれかからサーバー更新パッケージを入手できます。

- ワールド・ワイド・ウェブ (WWW) からサーバー・ファームウェアの更新をダウンロードする。
- IBM サービス技術員に連絡する。

ワールド・ワイド・ウェブ (WWW) からサーバー・ファームウェア更新パッケージをダウンロードするには、http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/overview にアクセスしてください。

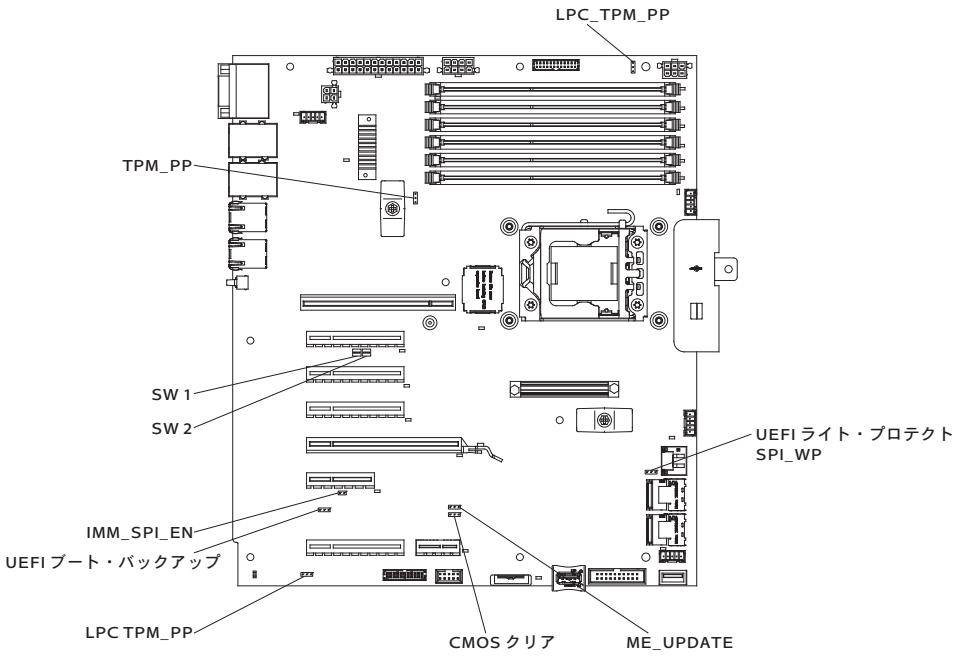
サーバーのフラッシュ・メモリーは、1 次バンクとバックアップ・バンクから構成されます。 IBM System x Server Firmware (サーバー・ファームウェア) のブート可能イメージを、バックアップ・バンクに維持しておく必要があります。 1 次バンク内のサーバー・ファームウェアが破損した場合、ブート・ブロック・ジャンパーでバックアップ・バンクを手動でブートできます。または、イメージが破損している場合には、 Automated Boot Recovery 機能を使用して自動的にバックアップ・バンクをブートできます。

インバンドの手動リカバリー方式

サーバー・ファームウェアをリカバリーし、サーバー操作を 1 次バンクに復元するには、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの電源をオフにして、すべての電源コードおよび外部ケーブルを外します。
2. サーバーのカバーを取り外します。詳しくは、 44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照してください。
3. システム・ボード上で UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー (J2) を見つけます。



4. ジャンパーをピン 1 と 2 からピン 2 と 3 に移動させ、UEFI リカバリー・モードを使用可能にします。
5. サーバーのカバーを取り付け直し、電源コードをすべて再接続します。
6. サーバーを再始動します。 パワーオン・セルフテスト (POST) が開始されます。
7. ダウンロードした IBM フラッシュ UEFI 更新パッケージによりサポートされるオペレーティング・システムにサーバーをブートします。
8. ファームウェア更新パッケージの README ファイルの指示に従ってファームウェアの更新を実行します。

9. ダウンロードしたファームウェア更新パッケージをディレクトリーにコピーします。
10. コマンド・ラインで、*filename*-s と入力します。*filename* は、ファームウェア更新パッケージとともにダウンロードした実行可能ファイルの名前です。
11. サーバーの電源をオフにして、すべての電源コードおよび外部ケーブルを外してから、サーバーのカバーを取り外します。
12. UEFI ブート・リカバリー・ジャンパーをプライマリー位置 (ピン 1 および 2) に戻してください。
13. サーバーのカバーを取り付け直し、電源ケーブルをすべて再接続します。
14. サーバーを再始動します。

タスクの結果

インバンドの自動ブート・リカバリー方式

1. ダウンロードしたファームウェア更新パッケージによりサポートされるオペレーティング・システムにサーバーをブートします。
2. ファームウェア更新パッケージの README ファイルの指示に従ってファームウェアの更新を実行します。
3. サーバーを再始動します。
4. ファームウェア・スプラッシュ画面で、1 次バンクにリストアするようにプロンプトが出されたら、F3 を押します。サーバーは 1 次バンクからブートします。

アウト・オブ・バンド方式: IMM2 の資料を参照してください。

UEFI 準拠ファームウェアについて詳しくは、http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/overview にアクセスしてください。

自動ブート・リカバリー (ABR)

自動ブート・リカバリー (ABR) にはこの情報を使用します。

このタスクについて

サーバーが始動するときに、統合管理モジュール II が 1 次バンクのサーバー・ファームウェアに問題を検出した場合、サーバーはバックアップ・ファームウェア・バンクに自動的に切り替わり、ユーザーに 1 次バンクのファームウェアを回復する機会を与えます。UEFI ファームウェアを回復する指示については、 191 ページの『サーバー・ファームウェアのリカバリー』を参照してください。1 次バンクのファームウェアを回復したら、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーを再始動します。
2. プロンプトの `press F3 to restore to primary` が表示されたら、プライマリー・バンクを回復するために F3 を押します。F3 を押すとサーバーが再始動します。

Nx 回ブート失敗

Nx 回ブート失敗にはこの情報を使用します。

装置の追加やアダプターのファームウェア更新などの構成変更、およびファームウェアまたはアプリケーションのコードの問題により、サーバーの POST (パワーオン・セルフテスト) が失敗することがあります。これが発生した場合、サーバーは以下のいずれかの方法で応答します。

- サーバーが自動的に再始動し、POST を再試行します。
- サーバーが停止し、サーバーが POST を再試行するために、ユーザーがサーバーを手動で再始動する必要があります。

指定された回数の連続試行 (自動でも手動でも) の後、Nx 回ブート失敗機能により、サーバーはデフォルトの UEFI 構成に復帰し、Setup ユーティリティーが開始され、ユーザーが構成に対し必要な修正を加えてサーバーを再始動できるようにします。サーバーがデフォルトの構成で POST を正常に完了できない場合、システム・ボードに問題がある可能性があります。

Nx 回ブート失敗機能をトリガーする連続再始動試行回数を指定するには、Setup ユーティリティーで、「**System Settings**」 > 「**Recovery**」 > 「**POST Attempts**」 > 「**POST Attempts Limit**」をクリックします。選択可能なオプションは、3、6、9、および 255 (Nx 回ブート失敗機能を使用不可にする) です。

第 5 章 Parts listing, IBM System x3300 M4 Type 7382

The parts listing of System x3300 M4 Type 7382.

The following replaceable components are available for the IBM System x3300 M4 Type 7382 server, except as specified otherwise in 『交換可能なサーバー・コンポーネント』. For an updated parts listing, go to http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/overview.

交換可能なサーバー・コンポーネント

System x3300 M4 Type 7382 の交換可能なサーバー・コンポーネント。

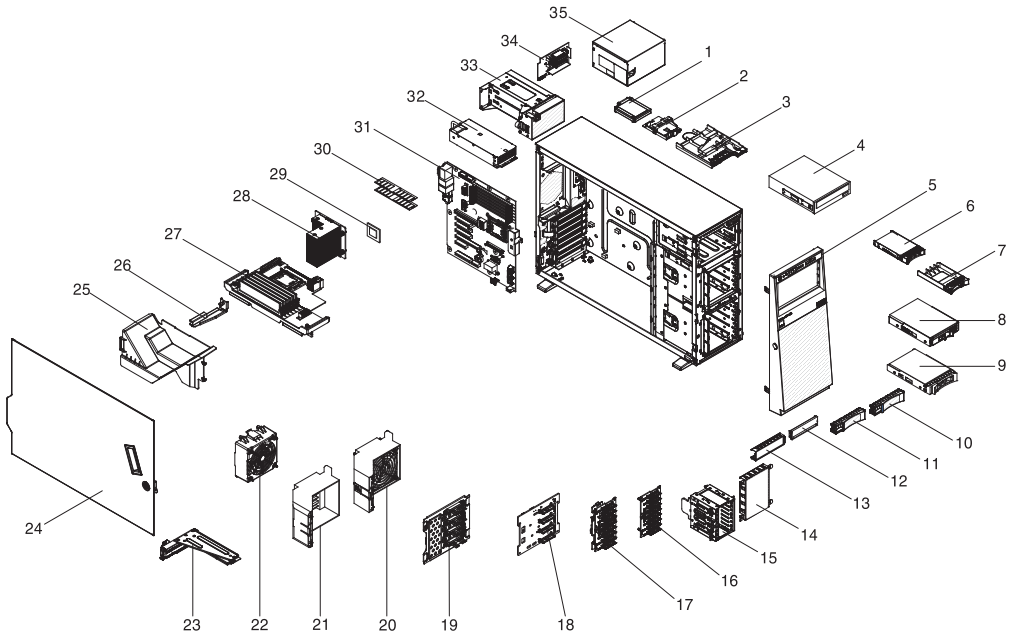
交換可能なコンポーネントは、構造部品および技術員により交換される部品 (FRU) から構成されています。

- **構造部品:** 構造部品 (シャーシ・アセンブリー、上部カバー、ベゼルなどのコンポーネント) の購入および交換はお客様の責任で行っていただきます。 お客様の要請により IBM が構造部品の入手または取り付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。
- **Tier 1 の、お客様による交換が可能な部品 (CRU):** IBM が Tier 1 と指定する CRU の交換はお客様ご自身の責任で行っていただきます。 お客様の要請により IBM が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。
- **Tier 2 の、お客様による交換が可能な部品 (CRU):** IBM が Tier 2 と指定する CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り付け作業を依頼することもできます。

保証の条件およびサービスと支援の利用については、サーバーに付属の「*保証情報*」資料を参照してください。 サービスと支援を受ける方法について詳しくは、 837 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照してください。

次の図は、サーバー内の主なコンポーネントを示しています。本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

© Copyright IBM Corp. 2013



下表にはサーバー・コンポーネントの部品番号が記載されています。

表 19. 部品リスト、Type 7382

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
1	バッテリー、RAID アダプター	81Y4491	
3	Operator information panel assembly	00D2826	
4	DVD-ROM、ハーフハイト SATA DVD-ROM	43W8466	
4	DVD-RW ドライブ、ハーフハイト SATA Multi-Burner	43W8467	
6	ハード・ディスク、900 GB	81Y9651	
6	ハード・ディスク、300 GB	81Y9671	
6	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、1 TB、7.2 K、 6 Gbps NL SAS SFF ハード・ディスク	81Y9691	
6	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、1 TB、7.2 K、 6 Gbps NL SATA SFF ハード・ディスク	81Y9731	
	ハード・ディスク、2.5 型 512 GB、SSD、6 Gbps、SATA SFF スリム・ハード・ディスク	49Y5845	
	ハード・ディスク、2.5 型 256 GB、SSD、6 Gbps SATA SFF スリム・ハード・ディスク	90Y8644	
	ハード・ディスク、2.5 型 128 GB、SSD、6 Gbps SATA SFF スリム・ハード・ディスク	90Y8649	
	ハード・ディスク、2.5 型 64 GB、SSD、6 Gbps、SATA SFF スリム・ハード・ディスク	49Y5840	
	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、600 GB、10 K、6 Gbps、SAS、SFF G2 ハード・ディスク	90Y8873	
	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、300 GB、10 K、6 Gbps、SAS、SFF G2 ハード・ディスク	90Y8878	
	ハード・ディスク、146 GB、15 K、6 Gbps、SAS Gen2	90Y8927	

表 19. 部品リスト、Type 7382 (続き)

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
	ハード・ディスク、500 GB、7.2 K、6 Gbps、SAS Gen2	90Y8954	
8	ハード・ディスク、3.5 型シンプル・スワップ、500 GB、 7.2 K、6 Gbps SATA ハード・ディスク	81Y9803	
	ハード・ディスク、3.5 型シンプル・スワップ、1 TB、7.2 K、6 Gbps SATA ハード・ディスク	81Y9807	
	ハード・ディスク、3.5 型シンプル・スワップ、2 TB、7.2 K、6 Gbps SATA ハード・ディスク	81Y9811	
	ハード・ディスク、3.5 型シンプル・スワップ、3 TB、7.2 K、6 Gbps SATA ハード・ディスク	81Y9815	
9	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、500 GB、7.2 K、6 Gbps SATA ハード・ディスク	81Y9787	
	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、2 TB、7.2 K、6 Gbps SATA ハード・ディスク	81Y9795	
	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、3 TB、7.2 K、6 Gbps SATA ハード・ディスク	81Y9799	
	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、1 TB、7.2 K、6 Gbps SAS ハード・ディスク	90Y8568	
	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、2 TB、7.2 K、6 Gbps SAS ハード・ディスク	90Y8573	
	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、300 GB、15 K、6 Gbps SAS ハード・ディスク	49Y6093	
	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、450 GB、15 K、6 Gbps SAS ハード・ディスク	49Y6098	
	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、600 GB、15 K、6 Gbps SAS ハード・ディスク	49Y6103	
	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、300 GB、15 K、6 Gbps SAS ハード・ディスク	41Y8484	
13, 14	キット、各種キット (EMC フィラー、HDD ケージ・フィラーなど)	00D2806	
16	バックプレーン、2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク CR2 バックプレーン	94Y7751	
17	2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの拡張機能	90Y5875	
17	バックプレーン、2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーン	94Y7551	
18	バックプレーン、3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーン	49Y4462	
19	バックプレート、3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート (ケーブルとブラケット)	00D2827	
20	ファン、予備ファン	00D2823	
22	ファン、背面ファン	00D2824	
23	カード、PCI-X 変換コネクター・ライザー・カード	90Y5961	

表 19. 部品リスト、Type 7382 (続き)

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
26	キット、マイクロプロセッサー 2 拡張ボード・ブラケット		00W2270
27	マイクロプロセッサー 2 拡張ボード		00W2269
28	ヒートシンク		00D9085
29	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-1410 4C 2.8GHz 10MB キャッシュ 1333MHz 80W マイクロプロセッサー		00D9038
	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2440 6C 2.4GHz 15MB キャッシュ 1333MHz 95W マイクロプロセッサー		90Y4739
	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2430 6C 2.2GHz 15MB キャッシュ 1333MHz 95W マイクロプロセッサー		90Y4740
	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2420 6C 1.9GHz 15MB キャッシュ 1333MHz 95W マイクロプロセッサー		90Y4742
	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2407 4C 2.2GHz 10MB キャッシュ 1066MHz 80W マイクロプロセッサー		90Y4743
	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2403 4C 1.8GHz 10MB キャッシュ 1066MHz 80W マイクロプロセッサー		90Y4744
	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2470 8C 2.3GHz 20MB キャッシュ 1600MHz 95W マイクロプロセッサー		90Y4736
	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2450 8C 2.1GHz 20MB キャッシュ 1600MHz 95W マイクロプロセッサー		90Y4738
	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-1403 2C 2.6GHz 5MB キャッシュ 1066MHz 80W マイクロプロセッサー		90Y4745
	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-1407 2C 2.8GHz 5MB キャッシュ 1066MHz 80W マイクロプロセッサー		90Y4746
	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2450L 8C 1.8GHz 20MB キャッシュ 1600MHz 70W マイクロプロセッサー		90Y4747
	マイクロプロセッサー、Intel Xeon E5-2430L 6C 2.0GHz 15MB キャッシュ 1333MHz 60W マイクロプロセッサー		90Y4748
30	DIMM、2GB 1Rx8 1.35V PC3L-10600 CL9 ECC DDR3 1333MHz LP RDIMM	49Y1423	
	DIMM、4GB 1Rx4 1.35V PC3L-10600 CL9 ECC DDR3 1333MHz LP RDIMM	49Y1424	
	DIMM、8GB 2Rx4 1.35V PC3L-10600 CL9 ECC DDR3 1333MHz LP RDIMM	49Y1415	
	DIMM、16GB 2Rx4 1.35V PC3L-8500 CL7 ECC DDR3 1066MHz LP RDIMM	49Y1418	
	DIMM、16GB 2RX4、1.5V PC3-12800 CL11 ECC DDR3 1600MHz LP RDIMM	00D4968	
	DIMM、2GB 1Rx8 1.35V PC3L-10600 CL9 ECC DDR3 1333MHz LP UDIMM	49Y1421	
	DIMM、4GB 2Rx8 1.35V PC3L-10600 CL9 ECC DDR3 1333MHz LP UDIMM	49Y1422	

表 19. 部品リスト、Type 7382 (続き)

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
	DIMM、4GB 2Rx8 1.35V PC3L-10600 CL9 ECC DDR3 1333MHz LP RDIMM	49Y1425	
	DIMM、4GB 1Rx4 1.5V PC3-12800 CL11 ECC DDR3 1600MHz LP RDIMM	49Y1561	
	DIMM、16GB 2Rx4 1.3B PC3L-10600 CL9 ECC DDR3 1333MHz LP RDIMM	49Y1565	
	DIMM、8GB (2Gb、2Rx4、1.5V) PC3-12800 DDR3-1600 LP RDIMM	90Y3111	
	DIMM、4GB (2Gb、2Rx8、1.5V) DDR3-1600 LP RDIMM	90Y3180	
31	システム・ボード		81Y7038
32	電源、550 ワットの予備パワー・サプライ装置	94Y8105	
32	電源、550 ワットの予備パワー・サプライ装置	00J6844	
	電源、750 ワットの予備パワー・サプライ装置	94Y8071	
	電源、750 ワットの高効率プラチナ AC パワー・サプライ	69Y5747	
	電源、750 ワットのパワー・サプライ	94Y8086	
	電源、460 ワットのパワー・サプライ	94Y8083	
34	DC-DC 電源パドル・カード		94Y8060
35	電源、460 ワットの固定パワー・サプライ装置	94Y8057	
	キット、第 1 の 2.5 型ホット・スワップ・キット	00D2817	
	キット、タワー/ラック変換キット	68Y7213	
	キット、4U ラック・キット	68Y7226	
	キット、熱伝導グリース・キット		41Y9292
	キット、アルコール・ワイプ		59P4739
	ケーブル、SATA ケーブル	00D9030	
	ケーブル、SAS 680R ケーブル	00D2814	
	ケーブル、SAS 700 mm ケーブル	00D2817	
	ケーブル、3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク用バックプレーン Y 信号ケーブル	00D2816	
	ケーブル、2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク用バックプレーン Y 信号ケーブル	00D2818	
	ケーブル、電源 SMBUS ケーブル	00D4254	
	ケーブル、電圧変換ケーブル	81Y7537	
	ケーブル、BP 電源 14 から 16 のケーブル	00W2348	
	アダプター、NVIDIA Quadro 600	43V5931	
	アダプター、NVIDIA Quadro 2000	43V5939	
	アダプター、ServeRAID H1110 SAS/SATA アダプター	81Y4494	
	アダプター、ServeRAID M5100 シリーズ 512 MB キャッシュ/RAID 5 アップグレード	81Y4485	
	アダプター、ServeRAID M5110	90Y4449	

表 19. 部品リスト、Type 7382 (続き)

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
	アダプター、ServeRAID M5120	81Y4479	
	アダプター、デュアル・ポート 10 GbE アダプター	81Y9993	
	アダプター、Broadcom NetXtreme I クワッド・ポート GbE アダプター	90Y9355	
	アダプター、Broadcom NetXtreme I デュアル・ポート GbE アダプター	90Y9373	
	アダプター、Emulex 10GbE 仮想ファブリック・アダプター III	95Y3766	
	アダプター、365 GB High IOPS MLC Mono アダプター	46C9079	
	アダプター、785 GB High IOPS MLC Mono アダプター	46C9082	
	アダプター、1.2 TB High IOPS MLC Mono アダプター	90Y4378	
	バッテリー、3V リチウム・システム・バッテリー	33F8354	
	バッテリー、M5100 SERIES バッテリー	81Y4491	
	コントローラー、ServeRAID M1115 SAS/SATA コントローラー	46C8928	
	マウス、USB	39Y9875	

構成部品

構造部品は、IBM の「保証の内容と制限」の対象外です。 構造部品は IBM 小売店で注文できます。

表 20. 構造部品、Type 7382

索引	説明	部品番号
2	RAID アダプター・バッテリー・ホルダー	94Y7609
5	ベゼル、タワー・ベゼル	00D2819
7	フィラー、2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・フィラー	44T2248
10	フィラー、3.5 型シンプル・スワップ ハード・ディスク・フィラー	69Y5368
11	フィラー、3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・フィラー	69Y5364
12	ベゼル、5.25 型ベゼル	26K7331
15	ケージ、2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ケージ	00D2828
21	フィラー、ファン	00J6690
24	カバー、システム左サイド・カバー	00D2822
	カバー、システム・トップ・カバー	00D2821
25	エアー・バッフル	00D2825
33	ケージ、予備電源ケージ	00D2829
	シャーシ、システム・シャーシ	00D2807
	ラベル GBM	00D2805

表 20. 構造部品、Type 7382 (続き)

索引	説明	部品番号
	フィラー、パワー・サプライ装置フィラー	94Y7610
	タワー/ラック変換キット	00D2820
	バッテリー・ホルダー	94Y7609
	ブラケット、PCI アダプター、3U	94Y7628

構造部品を注文するには、http://www.ibm.com にアクセスしてください。

注文の際にヘルプが必要な場合は、小売部品ページにリストされているフリーダイヤル番号に電話するか、最寄りの IBM 担当員にお問い合わせください。

電源コード

本製品を安全に使用するために、接地接続機構プラグ付き電源コードが提供されています。 感電事故を避けるため、常に正しく接地されたコンセントで電源コードおよびプラグを使用してください。

米国およびカナダで使用される本製品の電源コードは、Underwriter's Laboratories (UL) によってリストされており、Canadian Standards Association (CSA) の認証を受けています。

115 ボルト用の装置には、次の構成の、UL 登録、CSA 認定の電源コードをご使用ください。最小 18 AWG、Type SVT または SJT、3 線コード、最大長 4.5 m (15 フィート)、平行ブレード型、15 アンペア 125 ボルト定格の接地端子付きプラグ。

230 ボルトで動作するユニット (米国で使用) の場合、最小 18 AWG、タイプ SVT または SJT、3 芯コード、最大長 15 フィートおよびタンデム・ブレード、定格 15 アンペア、250 ボルトの接地タイプ接続プラグで構成される、UL リストと CSA 認定のコード・セットを使用します。

230 ボルト (米国以外における) 用の装置には、接地端子付きプラグを使用した電源コードをご使用ください。 これは、装置を使用する国の安全についての適切な承認を得たものでなければなりません。

特定の国または地域用の電源コードは、通常その国または地域でだけお求めいただけます。

電源コードの 部品番号	説明
39M5200	電源コード (4.3 m) 100 V: IEC320 C13 - NEMA 5-15P
39M5378	ジャンパー電源コード (4.3 m) 100-200 V/PDU: IEC320 C13 - IEC320 C14

電源コードの 部品番号	説明
39M5392	Afghanistan, Albania, Algeria, Andorra, Angola, Armenia, Austria, Azerbaijan, Belarus, Belgium, Benin, Bosnia and Herzegovina, Bulgaria, Burkina Faso, Burundi, Cambodia, Cameroon, Cape Verde, Central African Republic, Chad, Comoros, Congo (Democratic Republic of), Congo (Republic of), Cote D'Ivoire (Ivory Coast), Croatia (Republic of), Czech Republic, Dahomey, Djibouti, Egypt, Equatorial Guinea, Eritrea, Estonia, Ethiopia, Finland, France, French Guyana, French Polynesia, Germany, Greece, Guadeloupe, Guinea, Guinea Bissau, Hungary, Iceland, Indonesia, Iran, Kazakhstan, Kyrgyzstan, Laos (People's Democratic Republic of), Latvia, Lebanon, Lithuania, Luxembourg, Macedonia (former Yugoslav Republic of), Madagascar, Mali, Martinique, Mauritania, Mauritius, Mayotte, Moldova (Republic of), Monaco, Mongolia, Morocco, Mozambique, Netherlands, New Caledonia, Niger, Norway, Poland, Portugal, Reunion, Romania, Russian Federation, Rwanda, Sao Tome and Principe, Saudi Arabia, Senegal, Serbia, Slovakia, Slovenia (Republic of), Somalia, Spain, Suriname, Sweden, Syrian Arab Republic, Tajikistan, Tahiti, Togo, Tunisia, Turkey, Turkmenistan, Ukraine, Upper Volta, Uzbekistan, Vanuatu, Vietnam, Wallis and Futuna, Yugoslavia (Federal Republic of), Zaire
39M5130	Denmark
39M5144	Bangladesh, Lesotho, Macao, Maldives, Namibia, Nepal, Pakistan, Samoa, South Africa, Sri Lanka, Swaziland, Uganda
39M5151	Abu Dhabi, Bahrain, Botswana, Brunei Darussalam, Channel Islands, China (Hong Kong S.A.R.), Cyprus, Dominica, Gambia, Ghana, Grenada, Iraq, Ireland, Jordan, Kenya, Kuwait, Liberia, Malawi, Malaysia, Malta, Myanmar (Burma), Nigeria, Oman, Polynesia, Qatar, Saint Kitts and Nevis, Saint Lucia, Saint Vincent and the Grenadines, Seychelles, Sierra Leone, Singapore, Sudan, Tanzania (United Republic of), Trinidad and Tobago, United Arab Emirates (Dubai), United Kingdom, Yemen, Zambia, Zimbabwe
39M5158	Liechtenstein, Switzerland
39M5165	Chile, Italy, Libyan Arab Jamahiriya
39M5172	Israel
39M5095	220 - 240 V Antigua and Barbuda, Aruba, Bahamas, Barbados, Belize, Bermuda, Bolivia, Caicos Islands, Canada, Cayman Islands, Colombia, Costa Rica, Cuba, Dominican Republic, Ecuador, El Salvador, Guam, Guatemala, Haiti, Honduras, Jamaica, Mexico, Micronesia (Federal States of), Netherlands Antilles, Nicaragua, Panama, Peru, Philippines, Saudi Arabia, Thailand, Taiwan, United States of America, Venezuela

電源コードの 部品番号	説明
39M5076	110 - 120 V Antigua and Barbuda, Aruba, Bahamas, Barbados, Belize, Bermuda, Bolivia, Caicos Islands, Canada, Cayman Islands, Colombia, Costa Rica, Cuba, Dominican Republic, Ecuador, El Salvador, Guam, Guatemala, Haiti, Honduras, Jamaica, Mexico, Micronesia (Federal States of), Netherlands Antilles, Nicaragua, Panama, Peru, Philippines, Saudi Arabia, Thailand, Taiwan, United States of America, Venezuela
39M5219	Korea (Democratic People's Republic of), Korea (Republic of)
39M5199	日本
39M5226	India
39M5240	Brazil

第 6 章 コンポーネントの取り外しと交換

交換可能コンポーネントには 3 つのタイプがあります。

- **構造部品:** 構造部品 (シャーシ・アセンブリー、上部カバー、ベゼルなどのコンポーネント) の購入および交換はお客様の責任で行っていただきます。 お客様の要請により IBM が構造部品の入手または取り付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。
- **Tier 1 の、お客様による交換が可能な部品 (CRU):** IBM が Tier 1 と指定する CRU の交換はお客様ご自身の責任で行っていただきます。 お客様の要請により IBM が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。
- **Tier 2 の、お客様による交換が可能な部品 (CRU):** IBM が Tier 2 と指定する CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り付け作業を依頼することもできます。

コンポーネントが、構造部品であるか、Tier 1 CRU であるか、Tier 2 CRU であるかを判別するには、195 ページの『第 5 章 Parts listing, IBM System x3300 M4 Type 7382』を参照してください。

保証の条件に関する情報については、サーバーに付属の資料「*保証情報*」を参照してください。

サービスと支援を受ける方法について詳しくは、837 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照してください。

取り付けのガイドライン

System x3300 M4 Type 7382 を取り付けるには、この取り付けのガイドラインを使用します。

重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、システムは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。 こうした潜在的な問題が起きないよう、ホット・スワップ装置の取り外しや取り付けを行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップまたはその他の接地システムを使用してください。

オプション装置を取り付ける前に、以下の情報をお読みください。

- vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 43 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』のガイドラインをお読みください。 この情報は、安全に作業するのに役立ちます。
- 取り付けるデバイスがサポートされていることを確認します。サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/usを参照してください。

© Copyright IBM Corp. 2013

- 新規のサーバーを取り付ける場合は、この機会を利用して最新のファームウェア更新をダウンロードし、適用してください。 このステップを行うことにより、既知の問題が対処され、サーバーが最高レベルのパフォーマンスで機能できるようになります。 サーバーのファームウェア更新をダウンロードするには、http://www.ibm.com/support/fixcentralに進みます。

  重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

  ファームウェアの更新、管理、およびデプロイ用のツールに関する追加情報については、ToolsCenter for System x and BladeCenter (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=TOOL-CENTER) を参照してください。
- オプションのハードウェアを取り付ける場合は、取り付ける前にサーバーが正常に作動していることを確認してください。 サーバーを始動し、オペレーティング・システムがインストール済みのときはオペレーティング・システムが開始することを確認してください。あるいは、オペレーティング・システムがインストールされていない場合は、オペレーティング・システムはインストールされていないがサーバーは正常に作動していることを示すエラー・コード 19990305 が表示されることを確認してください。 サーバーが正常に作動しない場合、診断の実行方法については、 163 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照してください。
- 作業を行う区域の整理整とんを心掛けてください。 取り外したカバーやその他の部品は、安全な場所に置いてください。
- カバーを取り外した状態でサーバーを始動する必要が生じた場合は、サーバーの近くに誰もいないこと、および工具などがサーバー内部に残っていないことを確認してください。
- 自分 1 人では重すぎると思われる物体を持ち上げようとしないでください。 重い物体を持ち上げる必要がある場合は、以下の予防措置に従ってください。
  - 足元が安全で、滑るおそれがないことを確認します。
  - 足の間でオブジェクトの重量が同量になるよう分散します。
  - ゆっくりとした持ち上げる力を使用します。 重い物体を持ち上げるときは、決して身体を急に動かしたり、ひねったりしないでください。
  - 背筋を痛めないよう、脚の筋肉を使用して立ち上がるか、押し上げるようにして持ち上げます。
- サーバー、モニター、およびその他の装置用に、適切に接地されたコンセントの数量が十分にあることを確認してください。
- ディスク・ドライブを変更する場合は重要なデータはすべてバックアップします。
- 小型のマイナス・ドライバー、小型のプラス・ドライバー、および T8 トルクス・ドライバーを用意します。
- システム・ボードおよび内部コンポーネントのエラー LED を表示するには、サーバーを電源に接続しておく必要があります。
- ホット・スワップ・パワー・サプライ、ホット・スワップ・ファン、またはホット・プラグ USB デバイスを取り付けたり、交換するのに、サーバーの電源をオ

フにする必要はありません。 ただし、アダプター・ケーブルの取り外しや取り付けが必要なステップを実行する場合は、前もってサーバーの電源をオフにする必要があります。また、ライザー・カードの取り外しや取り付けが必要なステップを実行する場合は、前もってサーバーから給電部を切り離しておく必要があります。

- コンポーネント上の青色は、コンポーネントをサーバーから取り外したり、取り付けたり、あるいはラッチの開閉などを行う際につかむことができるタッチ・ポイントを示します。
- コンポーネントに付けられたオレンジ色またはコンポーネント上かその近くに付けられたオレンジ色のラベルは、そのコンポーネントをホット・スワップできることを示しています。つまり、サーバーとオペレーティング・システムがホット・スワップ機能をサポートしている場合は、サーバーの稼働中でも、そのコンポーネントの取り外しや取り付けを行うことができます。 (オレンジ色の表示がホット・スワップ・コンポーネントのタッチ・ポイントを示す場合もあります。) 各ホット・スワップ・コンポーネントの取り外しまたは取り付け前に実行する必要のある追加手順については、そのコンポーネントの取り外しまたは取り付けの説明を参照してください。
- サーバーに対する作業が終了したら、安全用のシールド、ガード、ラベル、および接地ワイヤーをすべて再取り付けします。
- サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/usを参照してください。

システムの信頼性に関するガイドライン

適切なシステム冷却を確保するための、システムの信頼性に関するガイドライン。

システムの適切な冷却と信頼性を確保するために、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- すべてのドライブ・ベイには、ドライブまたはフィラー・パネル、およびその中に電磁適合性 (EMC) シールドが取り付けられていること。
- サーバーに冗長電源が備わっている場合は、各パワー・サプライ・ベイにパワー・サプライが取り付けられていること。
- サーバー冷却システムが正しく機能するように、サーバーの回りに十分なスペースを確保してあること。 約 50 mm の空きスペースをサーバーの前面および背面の周囲に確保してください。 ファンの前に物を置かないでください。 適切な冷却と空気の流れを確保するために、サーバーのカバーを元通りに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。 サーバーのカバーを取り外して長時間 (30 分以上) サーバーを操作すると、サーバーのコンポーネントが損傷を受けることがあります。
- オプション・アダプターに付属の配線用手順に従っていること。
- 障害のあるファンを 48 時間以内に交換している。
- ホット・スワップ・ドライブは、取り外してから 2 分以内に元どおりに取り付けた。
- エアー・バッフルを取り付けないままサーバーを動作させないでください。エアー・バッフルを取り付けずにサーバーを動作させると、マイクロプロセッサーがオーバーヒートする原因となる場合があります。

注: エアー・バッフルは、マイクロプロセッサー 2 拡張ボード・オプションに付属しています。

- マイクロプロセッサーのソケット 2 にソケット・カバーまたはマイクロプロセッサーとヒートシンクが常にある。
- マイクロプロセッサー 2 拡張ボード・オプションを取り付けている場合は、エアー・バッフルおよびファン 2 を取り付けていること。

電源オンされているサーバー内部での作業

電源オンされているサーバー内部での作業のガイドライン

重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、サーバーは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。 こうした潜在的な問題を回避するために、電源がオンになっているサーバー内で作業するときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

このサーバーは、ホット・プラグ、ホット・アド、およびホット・スワップの部品をサポートし、サーバーの電源をオンにして、サーバー・カバーを取り外した状態で安全に作動するように設計されています。 電源が入っているサーバー内部の作業を行うときは、次のガイドラインに従ってください。

- 腕の部分がゆったりした衣服を着用しないでください。 サーバー内部の作業をする前に、長袖シャツのボタンを留めてください。サーバー内部の作業中はカフス・ボタンを着けないでください。
- ネクタイやスカーフがサーバー内部に垂れ下がらないようにしてください。
- ブレスレットや、ネックレス、指輪、腕時計などの宝石類は外してください。
- サーバーの上に身体を乗り出したときに、ペンや鉛筆などの落下する可能性があるものをシャツのポケットから取り出してください。
- 用紙クリップ、ヘア・ピン、ねじなどの金属製のものがサーバーの中へ落ちないようにしてください。

静電気に弱い装置の取り扱い

静電気に弱い装置を取り扱うには、この情報を使用します。

重要: 静電気によってサーバーやその他の電子部品が損傷するおそれがあります。静電気による損傷を防止するために、静電気の影響を受けやすい部品を取り付ける準備ができるまでは、静電気防止パッケージに入れておいてください。

静電気の放電による損傷のおそれを減らすために、次の注意事項を守ってください。

- 動きを制限する。 動くと、周囲に静電気が蓄積されることがあります。
- 静電防止対策の採用が推奨されます。 例えば、静電気放電用のリスト・ストラップがあればそれを着用してください。 電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。
- 部品は、縁または枠を持って慎重に取り扱ってください。
- はんだ付けの部分やピン、露出した回路には触れないでください。

- 部品は他人が手で触れたり、損傷したりする可能性のある場所に放置しないでください。
- 部品を帯電防止パッケージに入れたまま、サーバーの外側の塗装されていない金属面に 2 秒以上接触させてください。 これにより、パッケージとご自分の身体から静電気が排出されます。
- 部品をそのパッケージから取り出して、それを下に置かずに直接サーバーに取り付けてください。 部品を下に置く必要がある場合は、帯電防止防止パッケージに部品を入れてください。部品は、サーバーのカバーや金属面の上に置かないでください。
- 寒い天候のときは、部品の取り扱いには特に気を付けてください。暖房で室内の湿度が下がり、静電気が増えるためです。

装置またはコンポーネントの返却

装置またはコンポーネントの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用してください。

内部ケーブルのルーティングおよびコネクター

このセクションには、内部ケーブルのルーティングおよびコネクターに関する情報が記載されています。

このサーバーは SATA 接続装置、ホット・スワップ SATA 装置、ホット・スワップ SAS 装置、および DVD ドライブ装置をパワー・サプライおよびシステム・ボードに接続するのにケーブルを使用します。

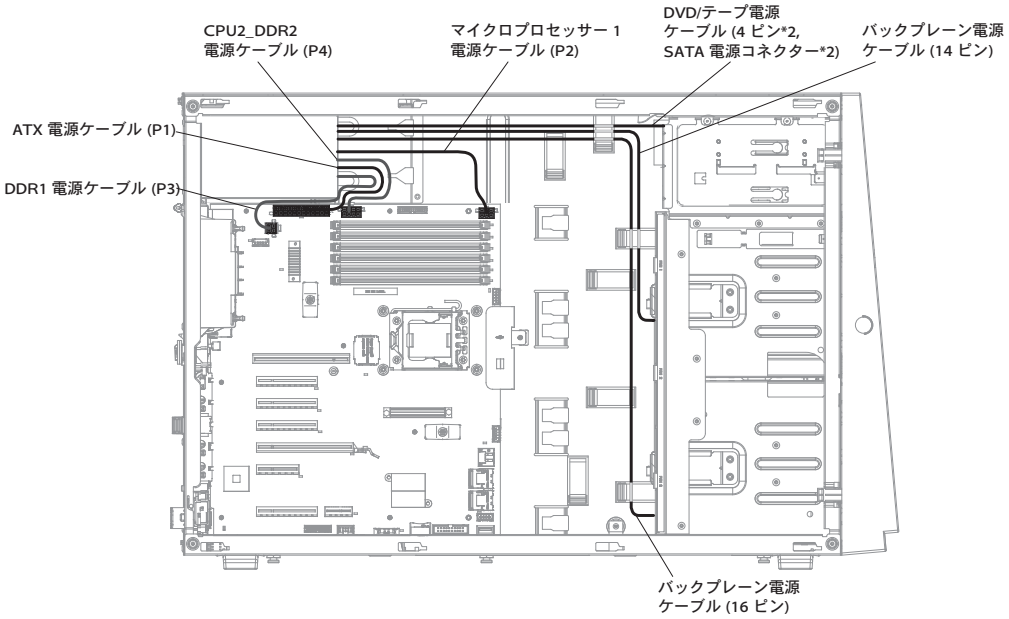
電源ケーブルおよび信号ケーブルを内部ドライブに接続する前に、以下の情報をお読みください。

- サーバーに事前取り付けされたドライブには、電源ケーブルと信号ケーブルが接続されてきます。 ドライブを交換する場合、どのケーブルがどのドライブに接続されているか覚えておきます。
- ケーブルを配線する場合は、ドライブ背面への空気の流れや、マイクロプロセッサーまたは DIMM の上を通る空気の流れを妨げないようにします。

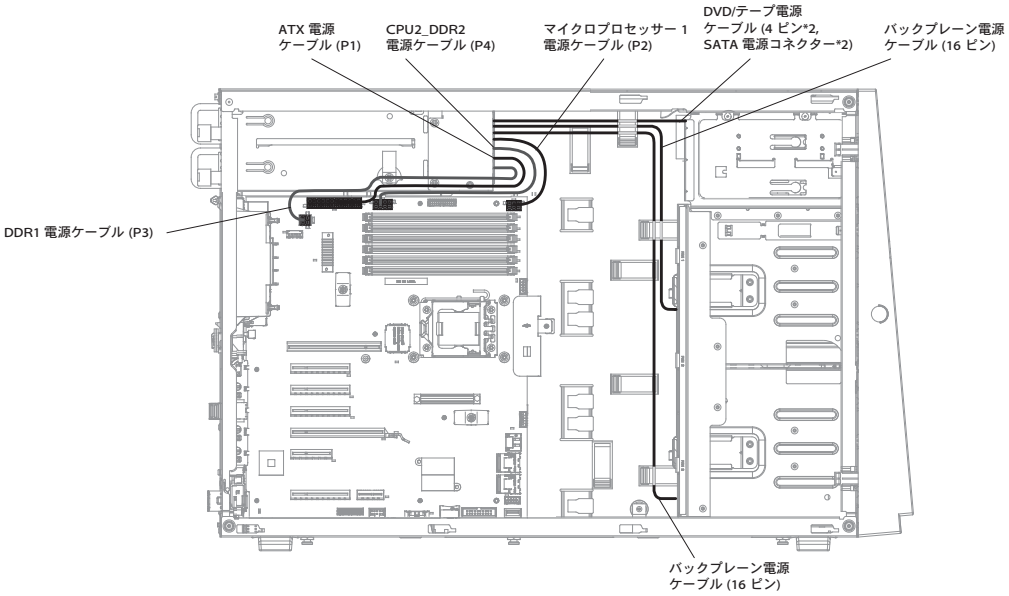
電源ケーブル接続

このセクションには、電源ケーブル接続に関する情報が記載されています。

次の図は、固定電源ケーブルのルーティングを示しています。



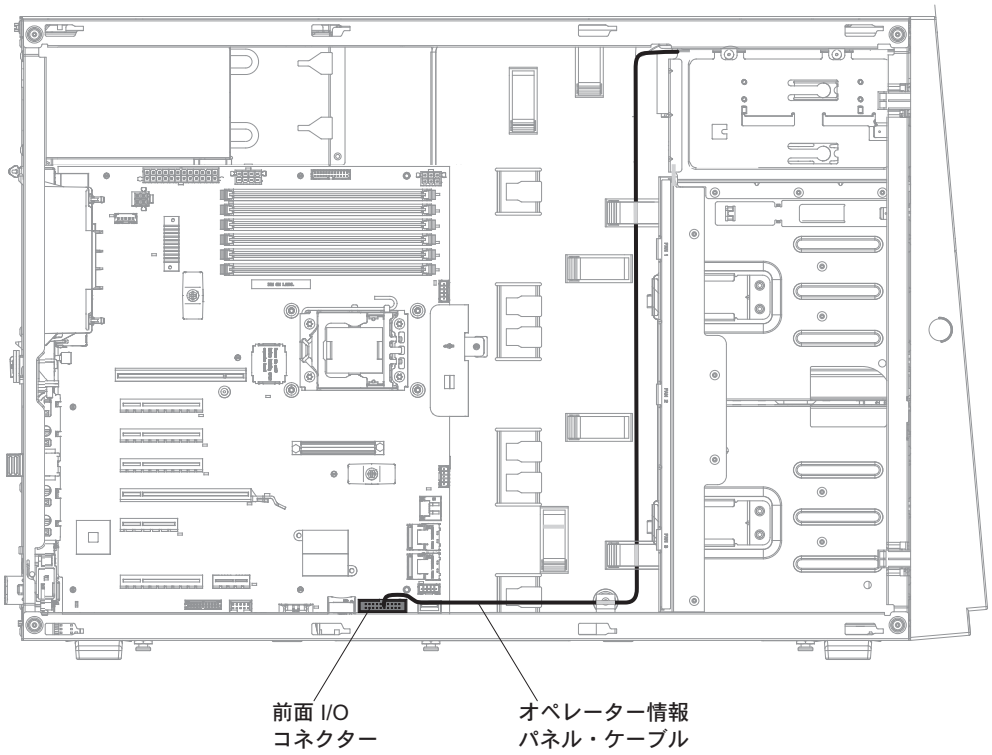
次の図は、ホット・スワップ電源ケーブルのルーティングを示しています。



オペレーター情報パネル・ケーブル接続

このセクションには、オペレーター情報パネル・ケーブル接続に関する情報が記載されています。

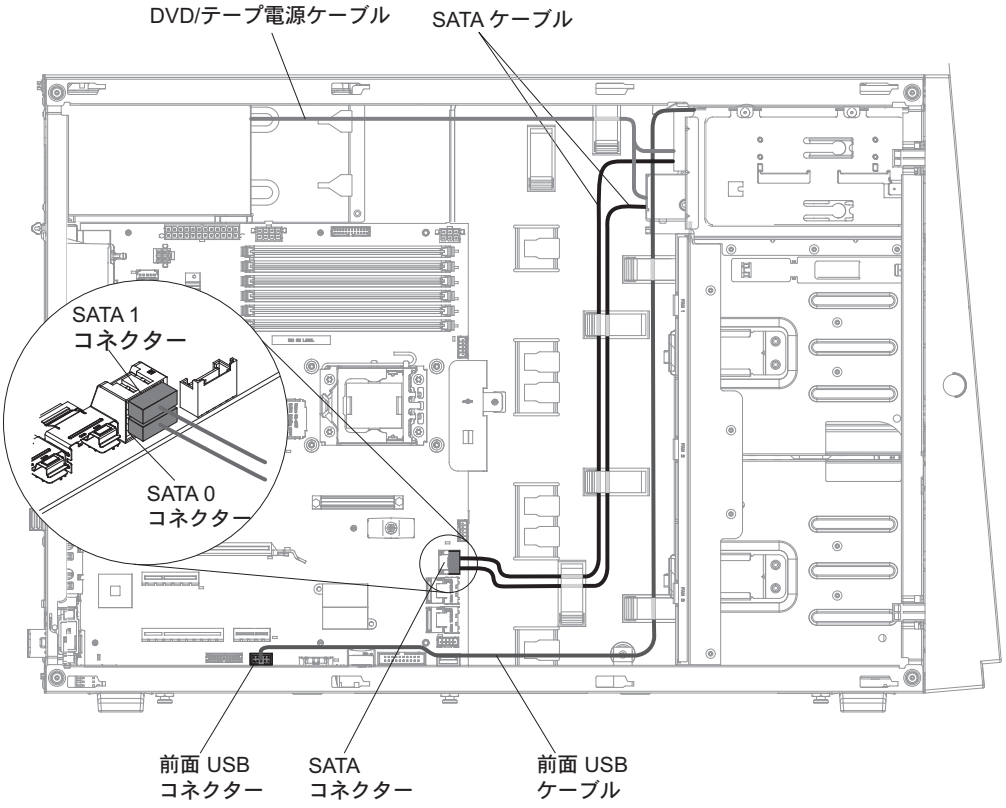
次の図は、オペレーター情報パネルからシステム・ボードまでの、内部ケーブル配線およびコネクターを示しています。



光学式 DVD およびテープ・ドライブ・ケーブル接続

このセクションには、光学式 DVD およびテープ・ドライブ・ケーブル接続に関する情報が記載されています。

このサーバーには USB テープ・ドライブまたは SATA テープ・ドライブのどちらかをインストールできます。 次の図は、USB テープ・ドライブに関する内部ケーブル・ルーティングおよびコネクターを示しています。 また、光学式ドライブ用の内部電源ケーブルも示しています。

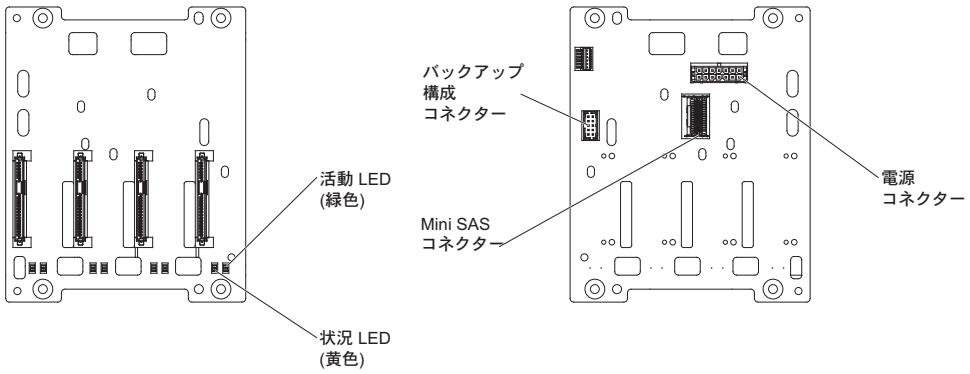


ハード・ディスク・ケーブル接続

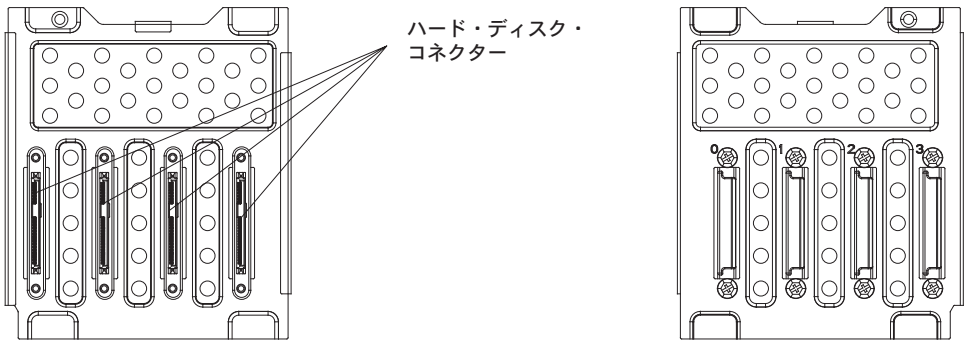
このセクションには、ハード・ディスク・ケーブル接続に関する情報が記載されています。

電源ケーブルおよび信号ケーブルを内部ドライブに接続する前に、以下の情報をお読みください。

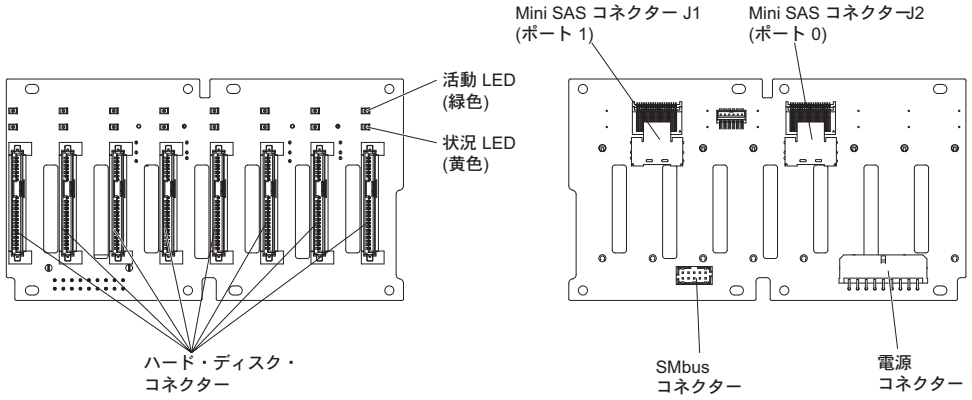
1. ホット・スワップ 3.5 型ハード・ディスク・バックプレーン上のコネクター:



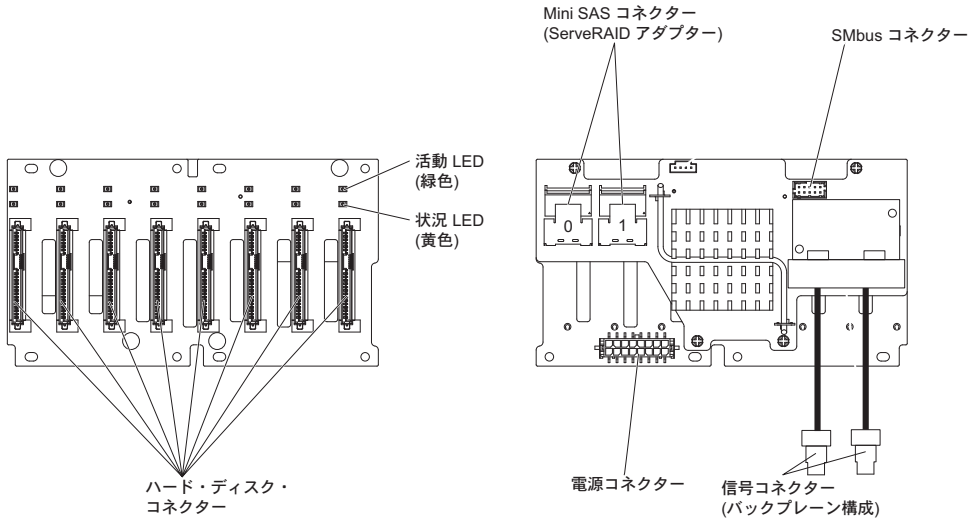
2. シンプル・スワップ 3.5 型ハード・ディスク・バックプレート上のコネクター:



3. 2.5 型ハード・ディスク・バックプレーン上のコネクター:



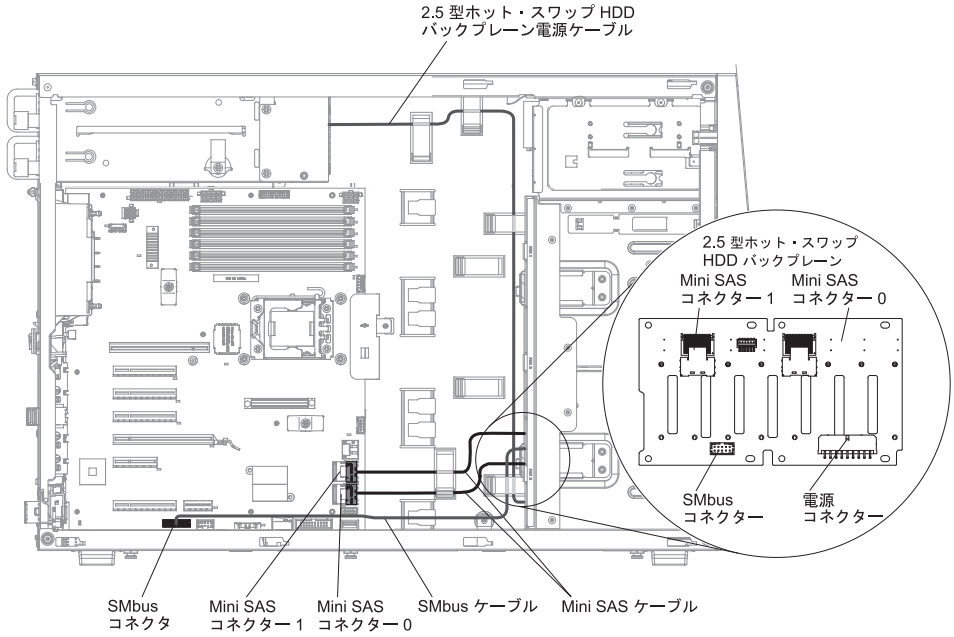
4. 2.5 型ハード・ディスク・バックプレーン (拡張装置付き) 上のコネクター:



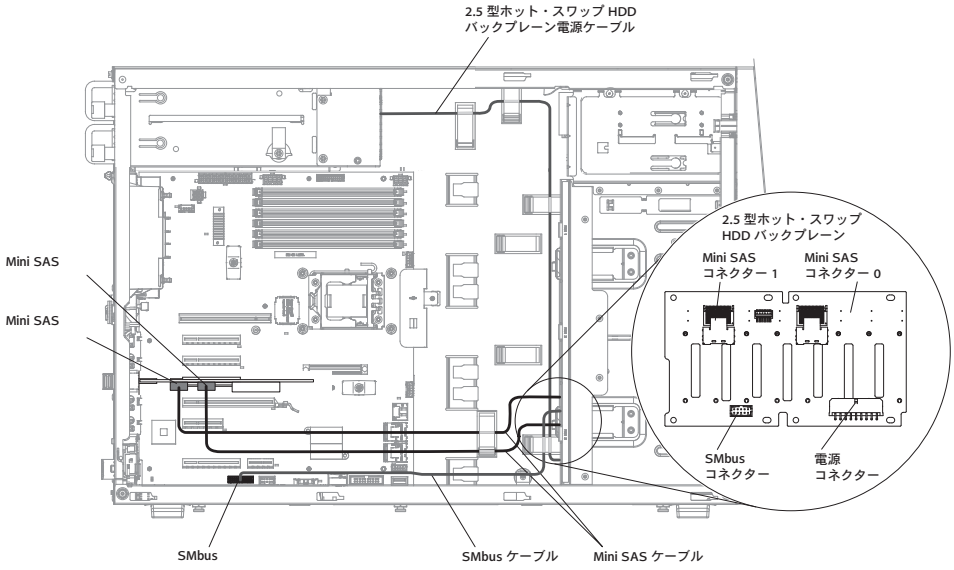
注: ServeRAID アダプターを使用してサーバーを RAID 操作用に構成する場合、ドライブの取り付け後にディスク・アレイを再構成する必要が生じる可能性があります。 RAID オペレーションの追加情報および ServeRAID アダプターの使用についての詳細な説明は、ServeRAID アダプターの資料を参照してください。

ケーブルをバックプレーンに接続する前に、以下の情報を確認してください。

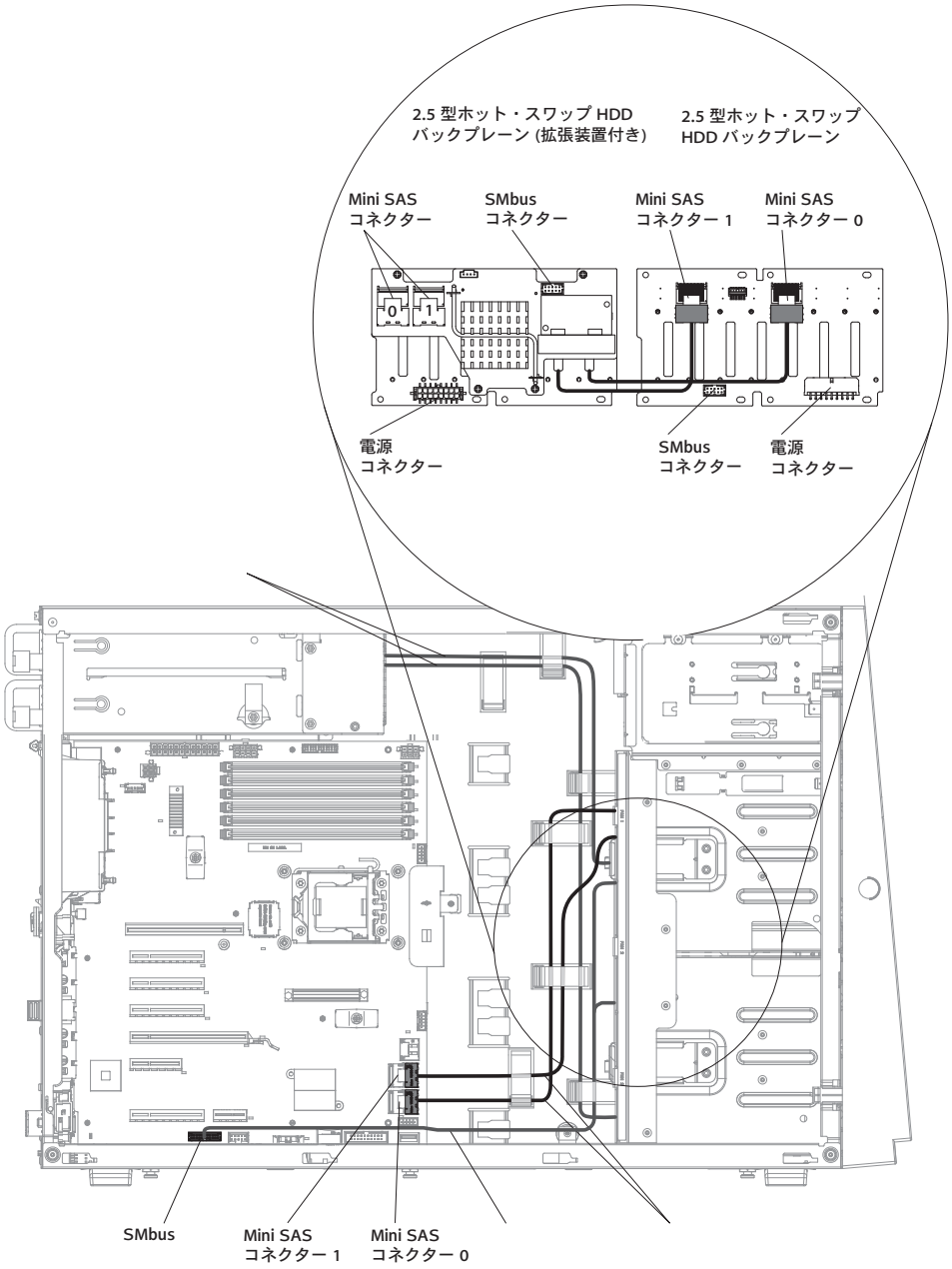
1. 8 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクと冗長パワー・サプライを搭載したサーバー・モデルの場合:



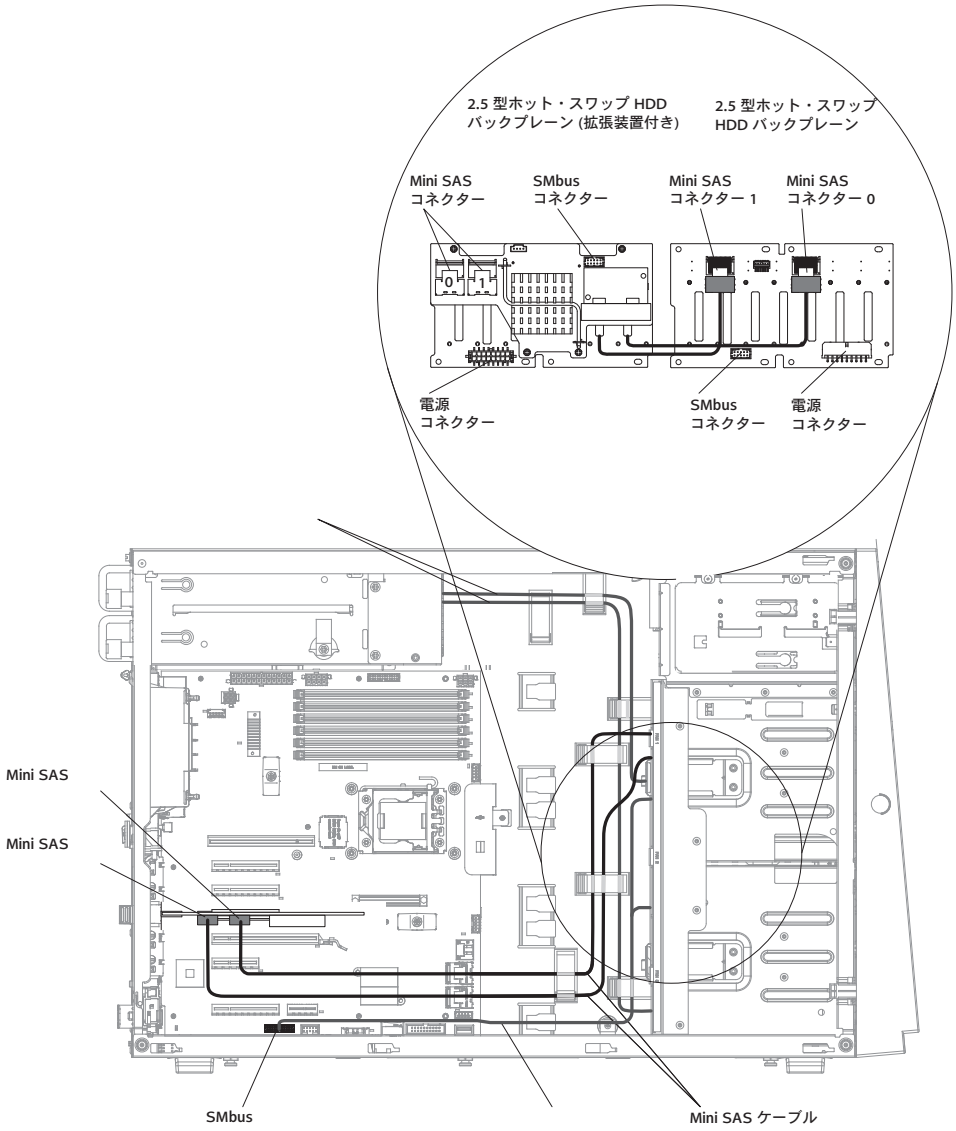
2. 8 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクと冗長パワー・サプライおよび ServeRAID アダプターを搭載したサーバー・モデルの場合:



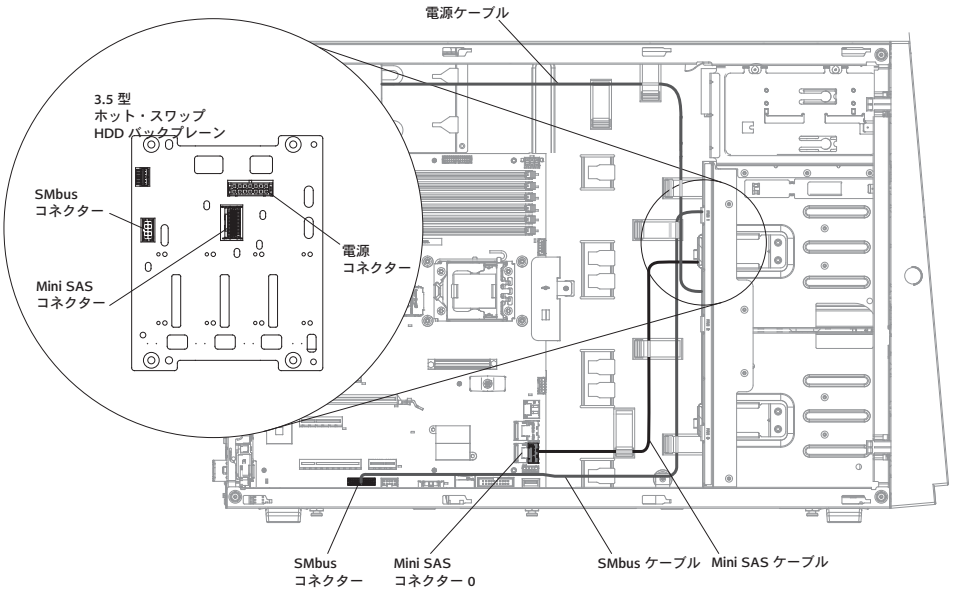
3. 16 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクと冗長パワー・サプライを搭載したサーバー・モデルの場合:



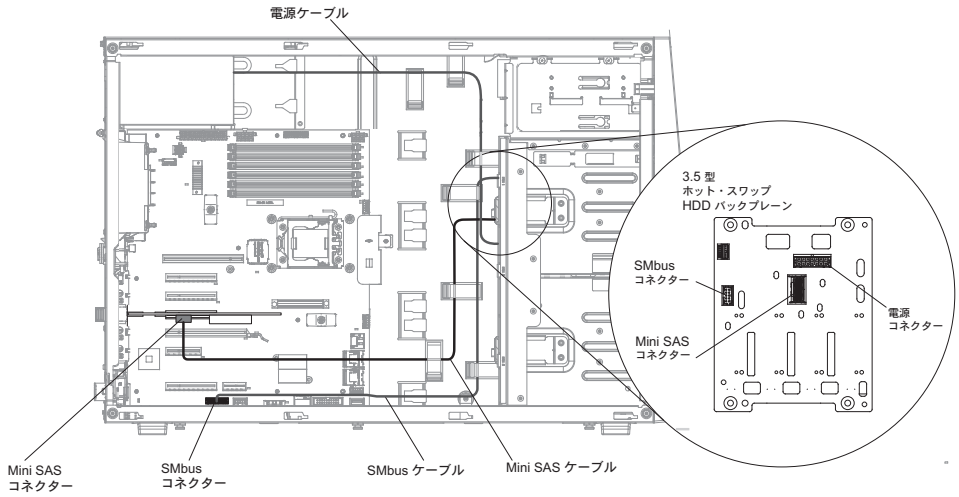
4. 16 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクと冗長パワー・サプライおよび ServeRAID アダプターを搭載したサーバー・モデルの場合:



5. 4 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクと固定パワー・サプライを搭載したサーバー・モデルの場合:

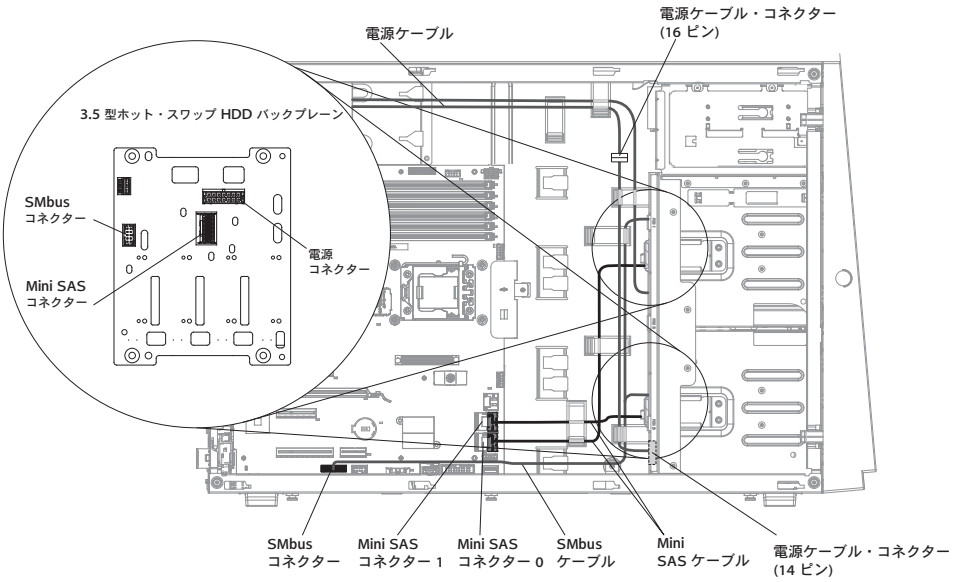


6. 4 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクと固定パワー・サプライおよび ServeRAID アダプターを搭載したサーバー・モデルの場合:



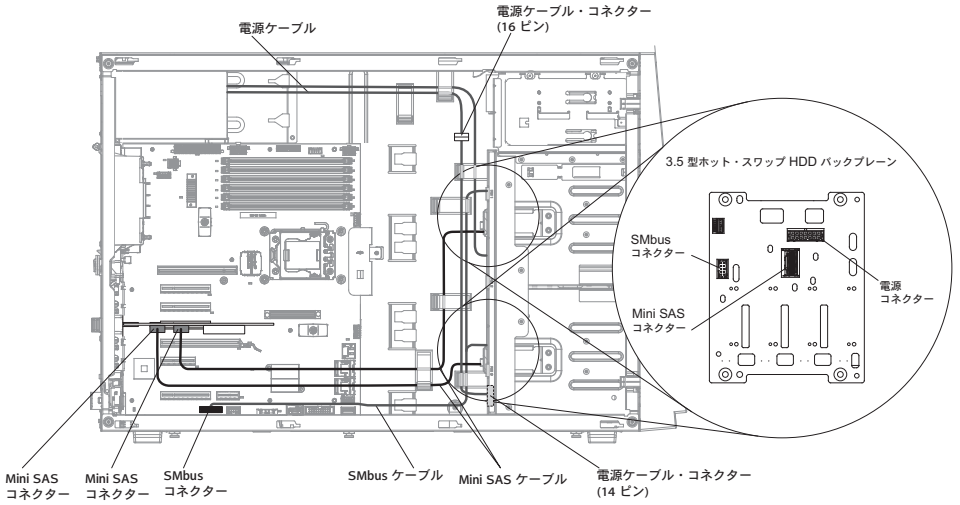
7. 8 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクと固定パワー・サプライを搭載したサーバー・モデルの場合:

   注: 固定パワー・サプライを搭載したこれらのサーバー・モデルには、1 本の 2*8 ピンから 2*7 ピンへの電源ケーブルを使用する必要があります。



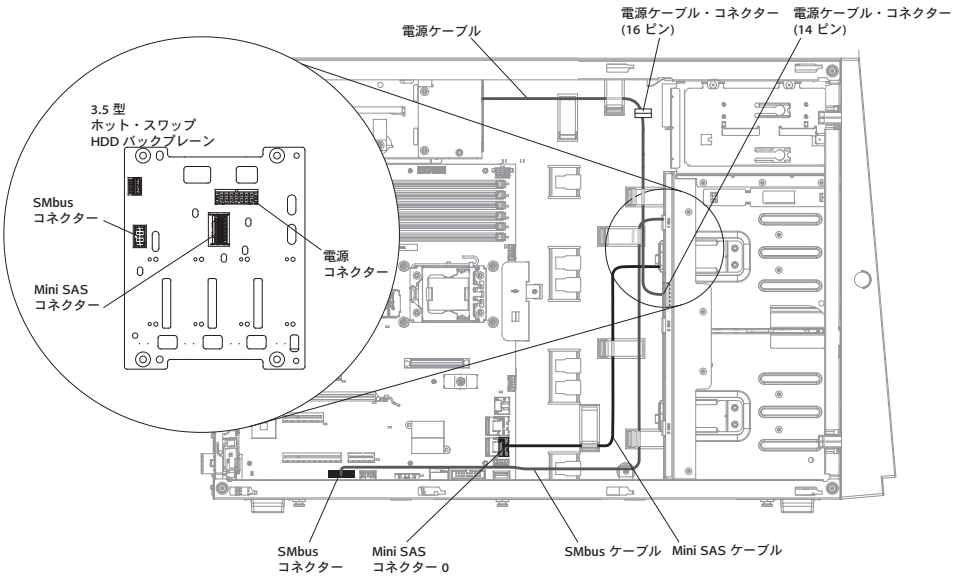
8. 8 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクと固定パワー・サプライおよび ServeRAID アダプターを搭載したサーバー・モデルの場合:

   注: 固定パワー・サプライを搭載したこれらのサーバー・モデルには、1 本の 2*8 ピンから 2*7 ピンへの電源ケーブルを使用する必要があります。



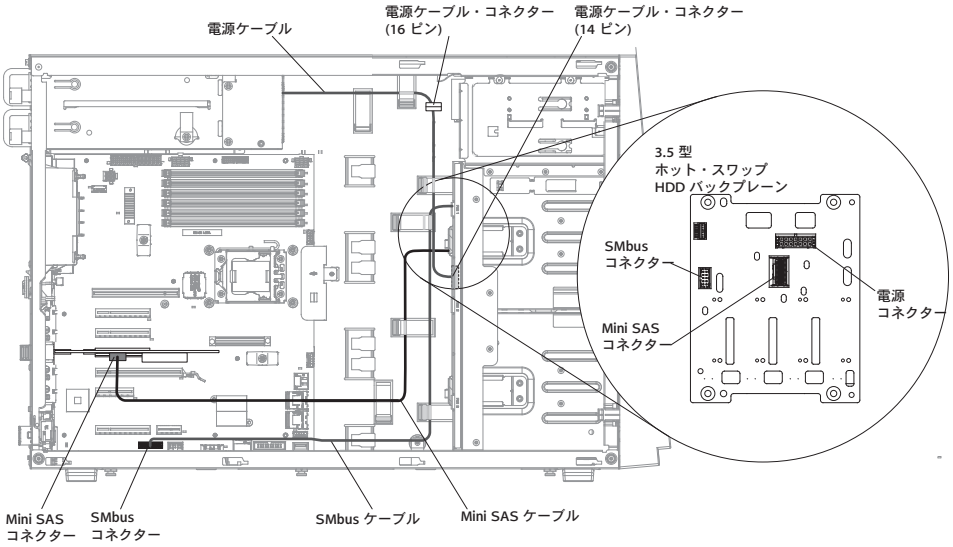
9. 4 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクと冗長パワー・サプライを搭載したサーバー・モデルの場合:

   注: 冗長パワー・サプライを搭載したこれらのサーバー・モデルには、1 本の 2*8 ピンから 2*7 ピンへの電源ケーブルを使用する必要があります。



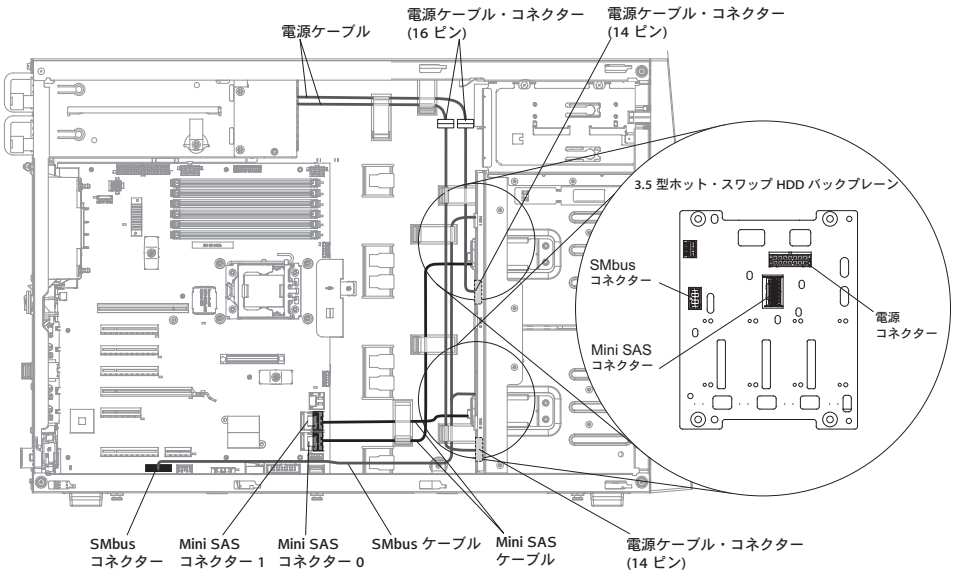
10. 4 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクと冗長パワー・サプライおよび ServeRAID アダプターを搭載したサーバー・モデルの場合:

    注: 冗長パワー・サプライを搭載したこれらのサーバー・モデルには、1 本の 2*8 ピンから 2*7 ピンへの電源ケーブルを使用する必要があります。



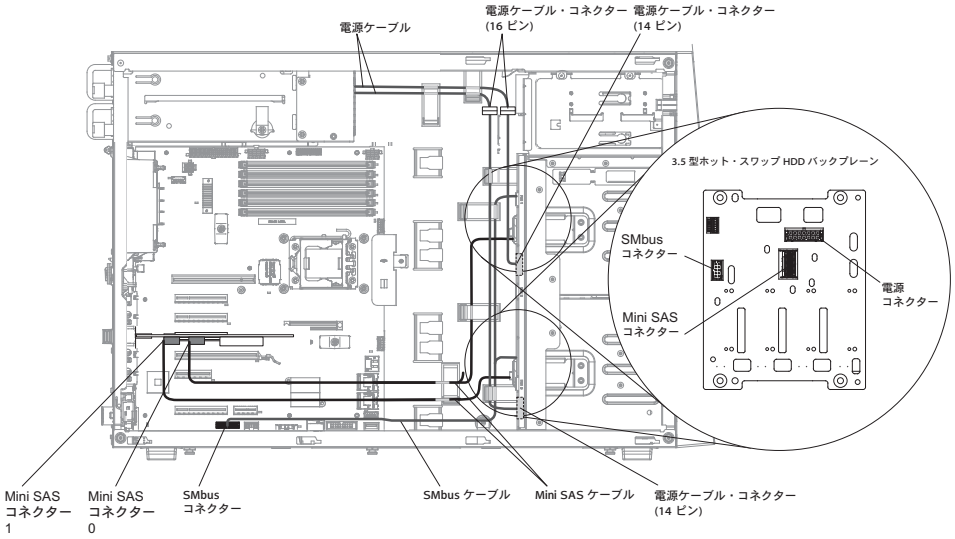
11. 8 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクと冗長パワー・サプライを搭載したサーバー・モデルの場合:

    注: 冗長パワー・サプライを搭載したこれらのサーバー・モデルには、2 本の 2*8 ピンから 2*7 ピンへの電源ケーブルを使用する必要があります。



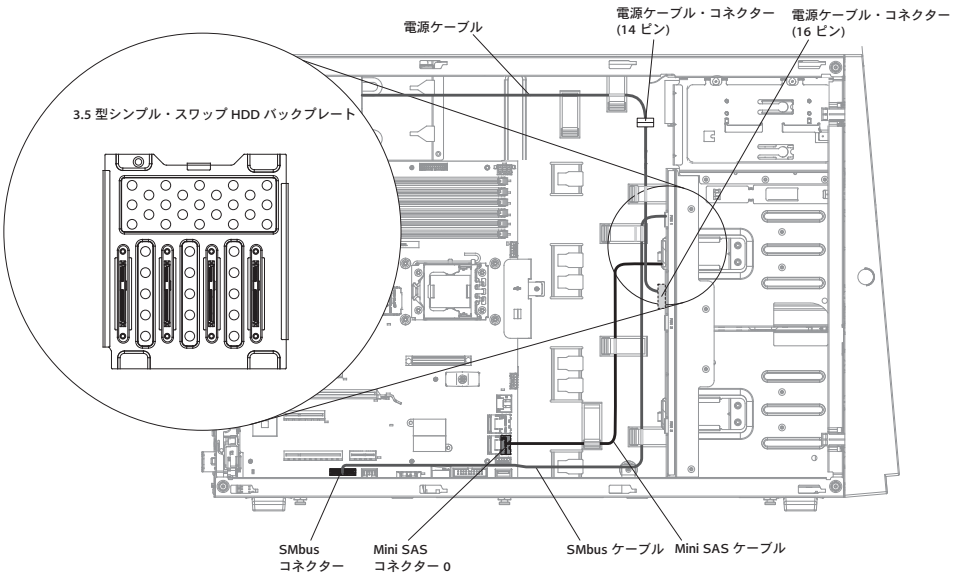
12. 8 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクと冗長パワー・サプライおよび ServeRAID アダプターを搭載したサーバー・モデルの場合:

    注: 冗長パワー・サプライを搭載したこれらのサーバー・モデルには、2 本の 2*8 ピンから 2*7 ピンへの電源ケーブルを使用する必要があります。



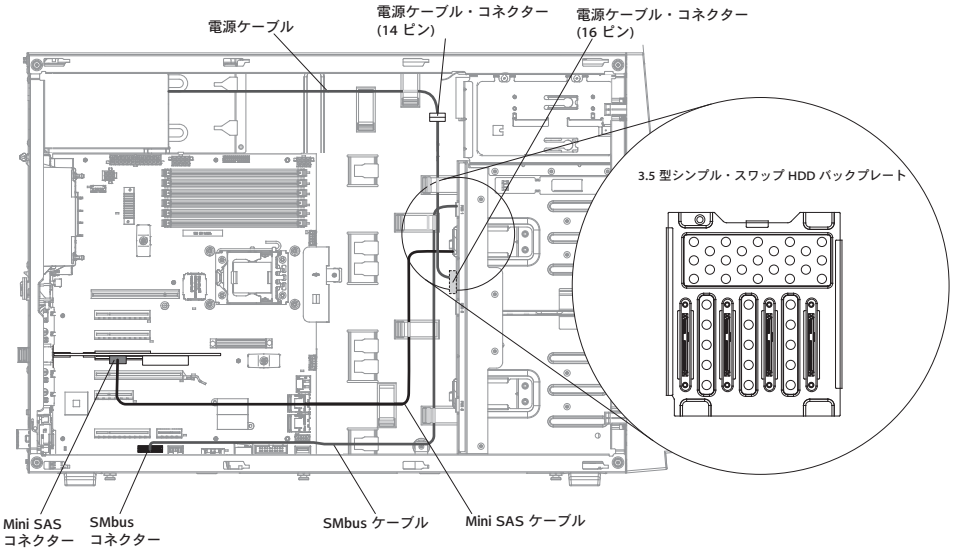
13. 4 個の 3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクと固定パワー・サプライを搭載したサーバー・モデルの場合:

    注: 固定パワー・サプライを搭載したこれらのサーバー・モデルには、1 本の 2*7 ピンから 2*8 ピンへの電源ケーブルを使用する必要があります。



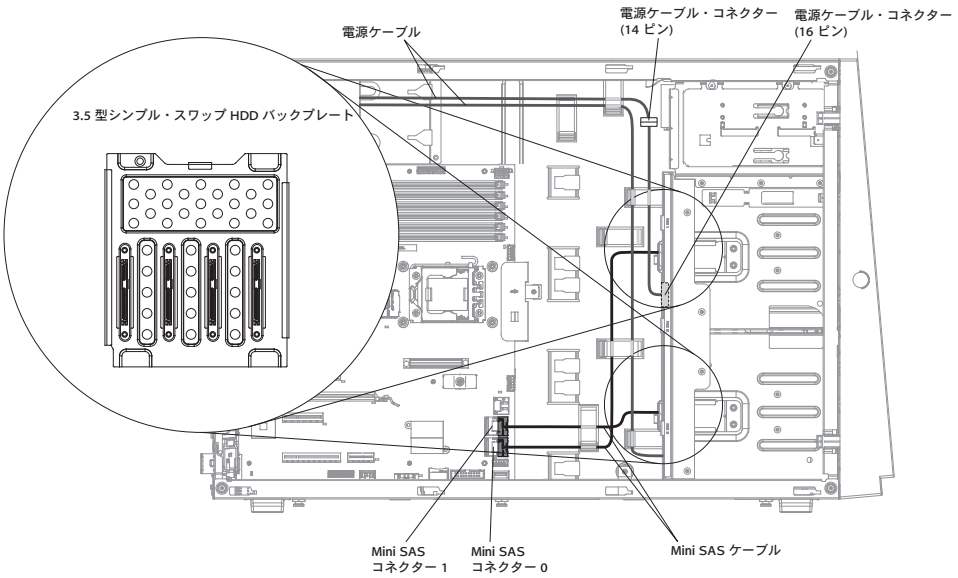
14. 4 個の 3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクと固定パワー・サプライおよび ServeRAID アダプターを搭載したサーバー・モデルの場合:

    注: 固定パワー・サプライを搭載したこれらのサーバー・モデルには、1 本の 2*7 ピンから 2*8 ピンへの電源ケーブルを使用する必要があります。



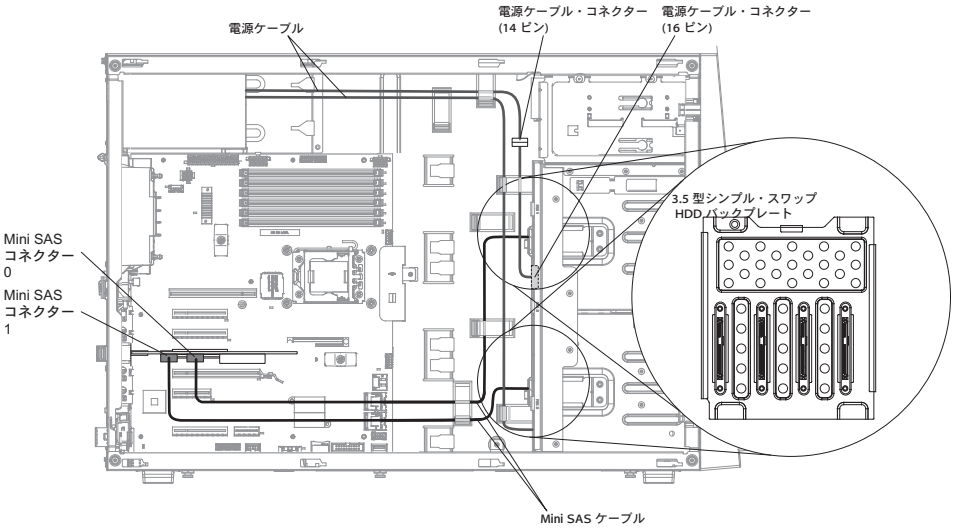
15. 8 個の 3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクと固定パワー・サプライを搭載したサーバー・モデルの場合:

    注: 固定パワー・サプライを搭載したこれらのサーバー・モデルには、1 本の 2*7 ピンから 2*8 ピンへの電源ケーブルを使用する必要があります。

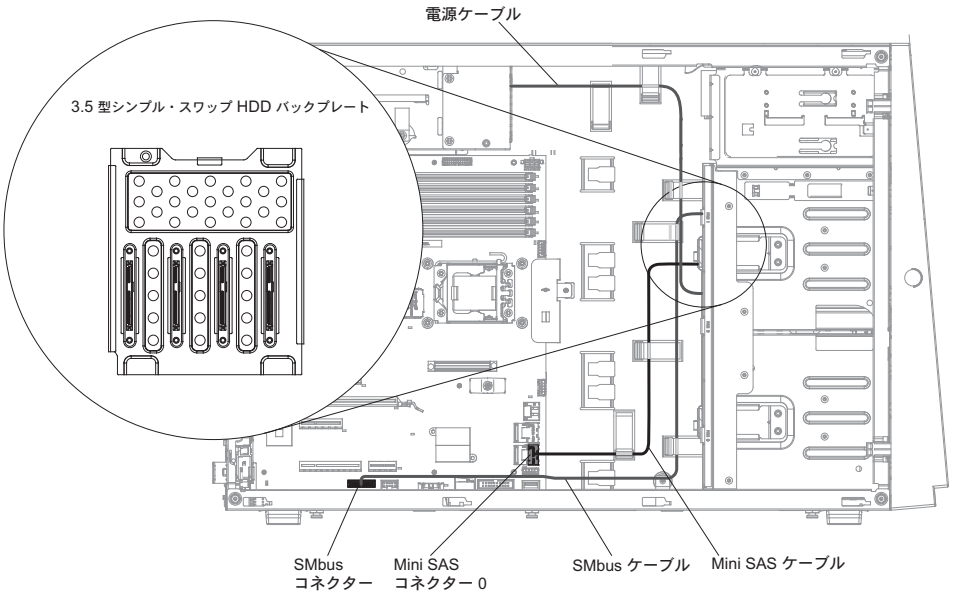


16. 8 個の 3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクと固定パワー・サプライおよび ServeRAID アダプターを搭載したサーバー・モデルの場合:

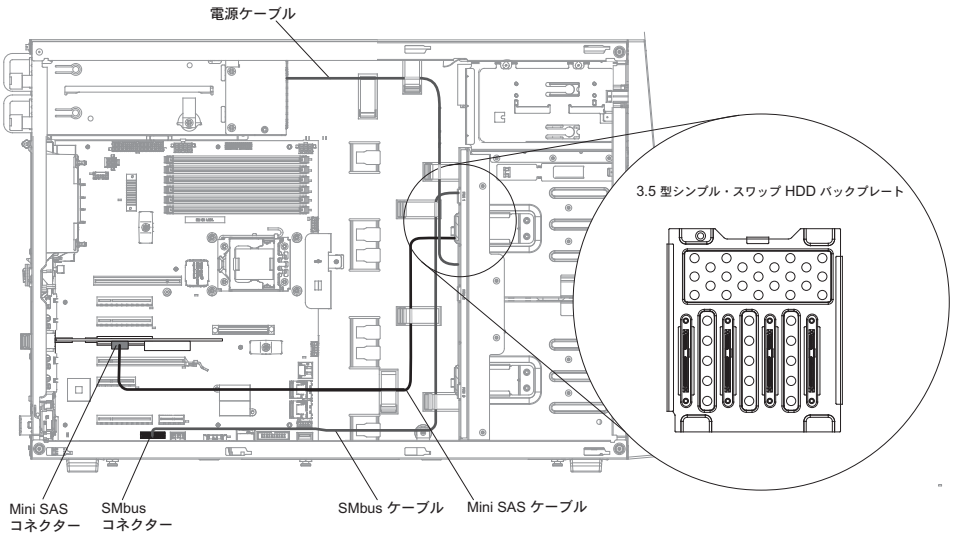
    注: 固定パワー・サプライを搭載したこれらのサーバー・モデルには、1 本の 2*7 ピンから 2*8 ピンへの電源ケーブルを使用する必要があります。



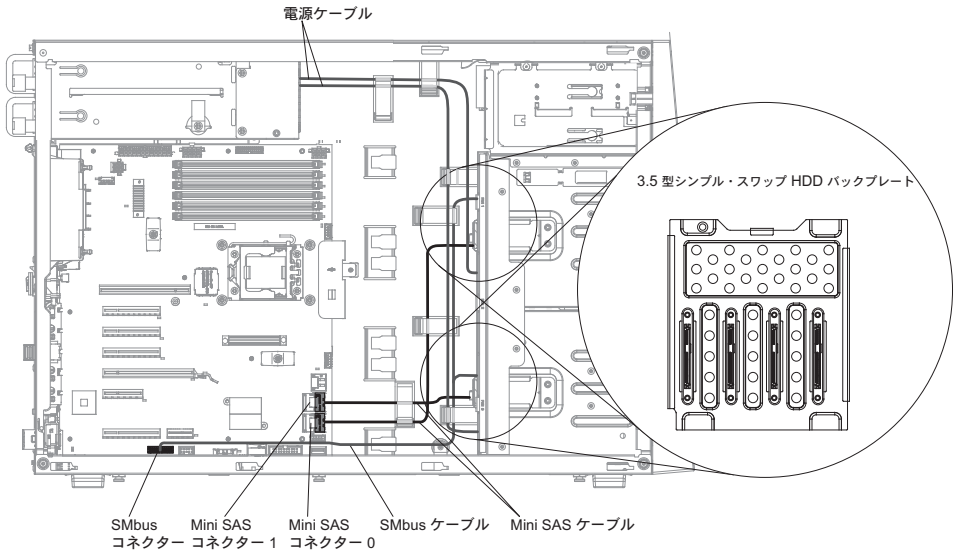
17. 4 個の 3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクと冗長パワー・サプライを搭載したサーバー・モデルの場合:



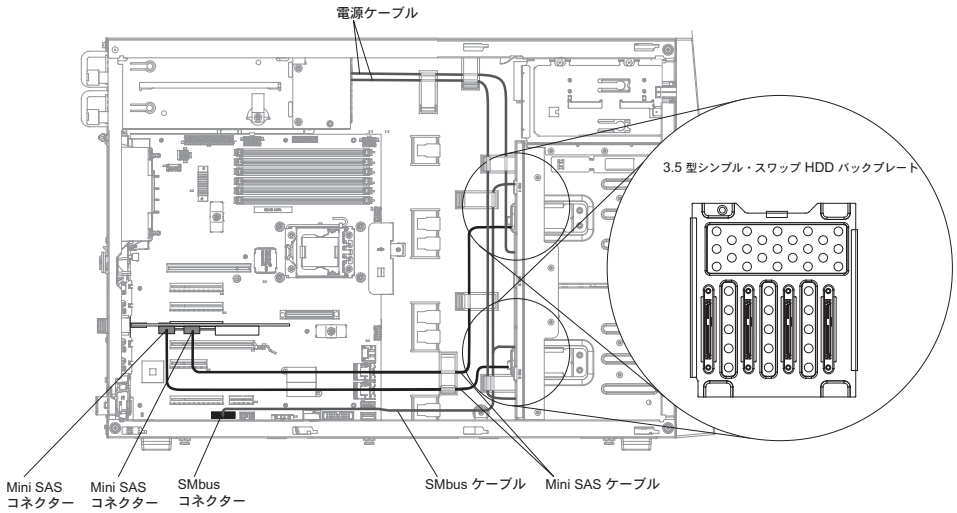
18. 4 個の 3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクと冗長パワー・サプライおよび ServeRAID アダプターを搭載したサーバー・モデルの場合:



19. 8 個の 3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクと冗長パワー・サプライを搭載したサーバー・モデルの場合:



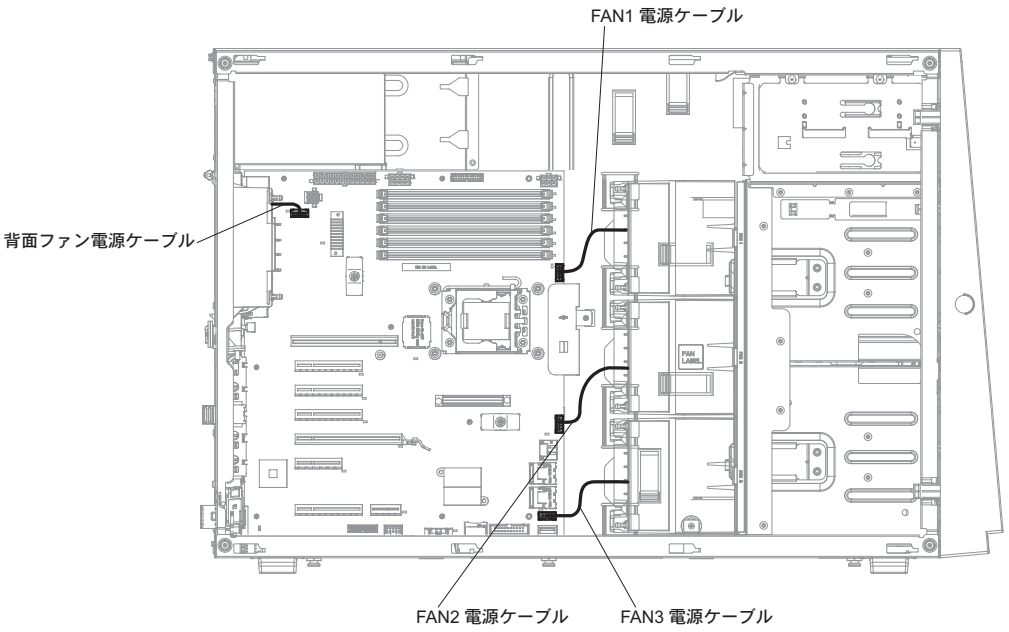
20. 8 個の 3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクと冗長パワー・サプライおよび ServeRAID アダプターを搭載したサーバー・モデルの場合:



ファン電源ケーブル接続

このセクションには、ファン電源ケーブル接続に関する情報が記載されています。

次の図は、ファン・アセンブリーからシステム・ボードへの内部ケーブルの配線とコネクターを示しています。



サーバー・コンポーネントの取り外しと交換

このセクションでは、サーバー内のサーバー・コンポーネントの取り外しと交換について説明します。

構成部品の取り外しと交換

このセクションでは、サーバー内の構造部品の取り外しおよび交換について説明します。

構成部品の交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により IBM が構成部品の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。

本書の説明図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

ベゼルの取り外し

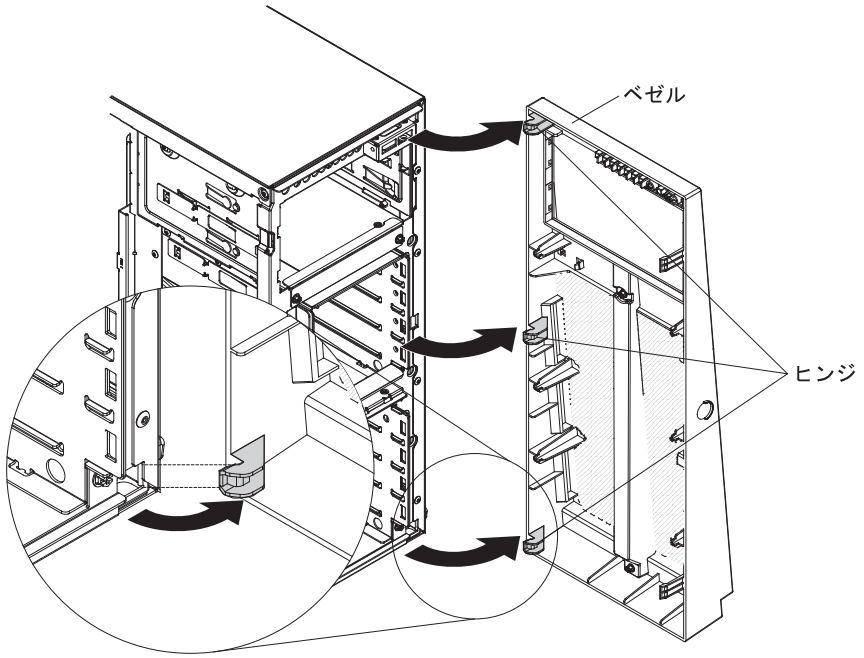
サーバーからベゼルを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

ベゼルを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. ベゼルを少し引き出してベゼルの右側にあるタブがシャーシから外れるようにし、脇に置いておきます。



4. 前面ベゼルの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

ベゼルの交換

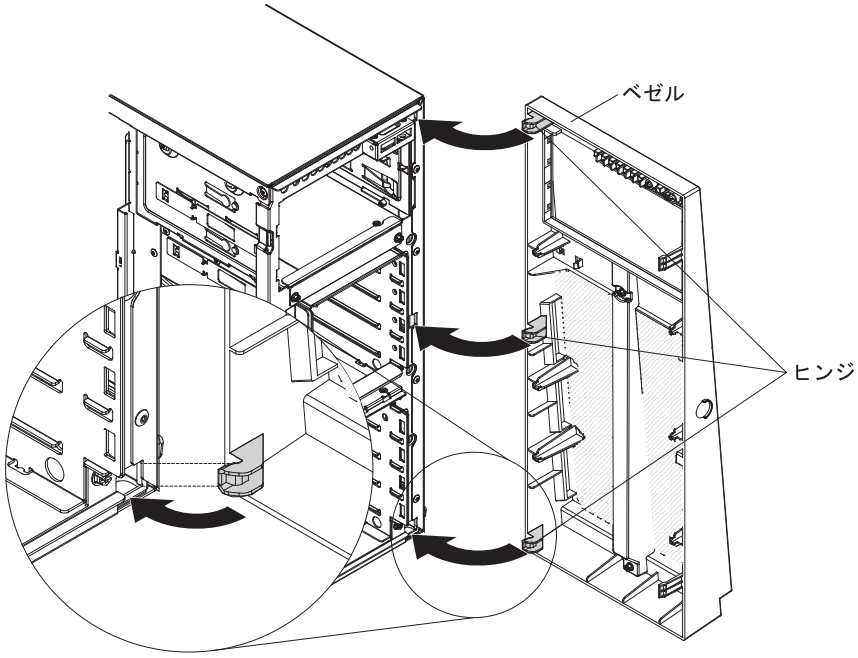
ベゼルを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

ベゼルを交換するには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. 既存のベゼルを取り外します (226 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
4. ベゼルが入っている帯電防止パッケージに触れてから、パッケージからベゼルを取り外します。
5. ベゼルの右側にあるタブを、シャーシにある穴に挿入します。
6. ベゼルを回転させて、ベゼルの端をシャーシの正しい位置に収めます。



7. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

左サイド・カバーの取り外し

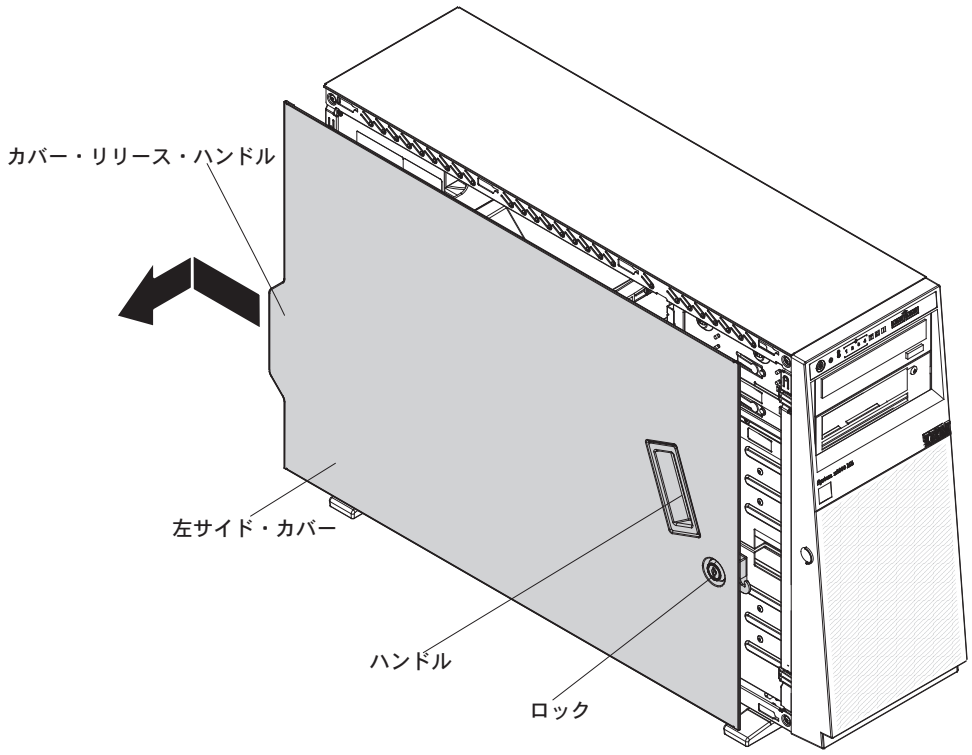
左サイド・カバーを取り外すには、この情報を使用します。

重要: オプションのハードウェアを取り付ける場合は、取り付ける前にサーバーが正常に作動していることを確認してください。 サーバーを始動し、オペレーティング・システムがインストール済みのときはオペレーティング・システムが開始することを確認してください。あるいは、オペレーティング・システムがインストールされていない場合は、オペレーティング・システムはインストールされていないがサーバーは正常に作動していることを示すエラー・コード 19990305 が表示されることを確認してください。サーバーが正常に機能しない場合は、診断情報について145 ページの『第 4 章 Troubleshooting』 を参照してください。

重要: 左サイド・カバーが取り外されると、サーバーの電源が自動的にオフになります。

左サイド・カバーを取り外すには、次のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. サーバーの側面を下にして、左サイド・カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
4. サーバーに付属するかぎを使って左サイド・カバーのロックを解除します。
5. 左サイド・カバーの背面の端を後方に引き出して、サーバーから左サイド・カバーを取り外します。



左サイド・カバーの交換

左サイド・カバーを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

サーバー・カバーを取り付けるには、次のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. 左サイド・カバーの端がシャーシ上の所定の位置に滑り込むまで、左サイド・カバーをサーバーの上でスライドさせます。

   重要: 左サイド・カバーを前方にスライドさせる前に、カバーのすべてのタブがシャーシとしっかりかみ合っていることを確認します。 すべてのタブがシャーシと正しくかみ合っていない場合、後でカバーを取り外すのが難しくなります。
4. サーバーに付属するかぎを使って左サイド・カバーをロックします。

安定させるための脚の交換

安定させるための脚を交換するには、この情報を使用します。

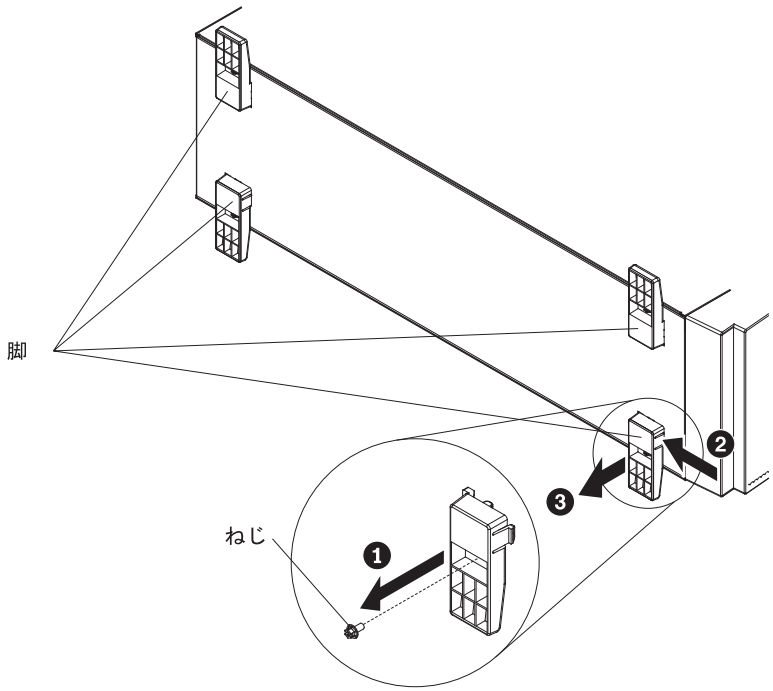
このタスクについて

サーバーを安定させるための脚を交換するには、以下のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. サーバーを平らな面に慎重に置き、取り外しを容易にするため、脚を平らな面の端から突き出させます。
5. 脚を定位置に保持しているクリップを押し込み、サーバーから脚を取り外します。場合によっては、クリップを押し込むときにドライバーが必要になります。



6. 脚を同じ場所に再び取り付けるには、脚のクリップを押してサーバーの定位置に収めます。

エアー・バッフルの取り外し

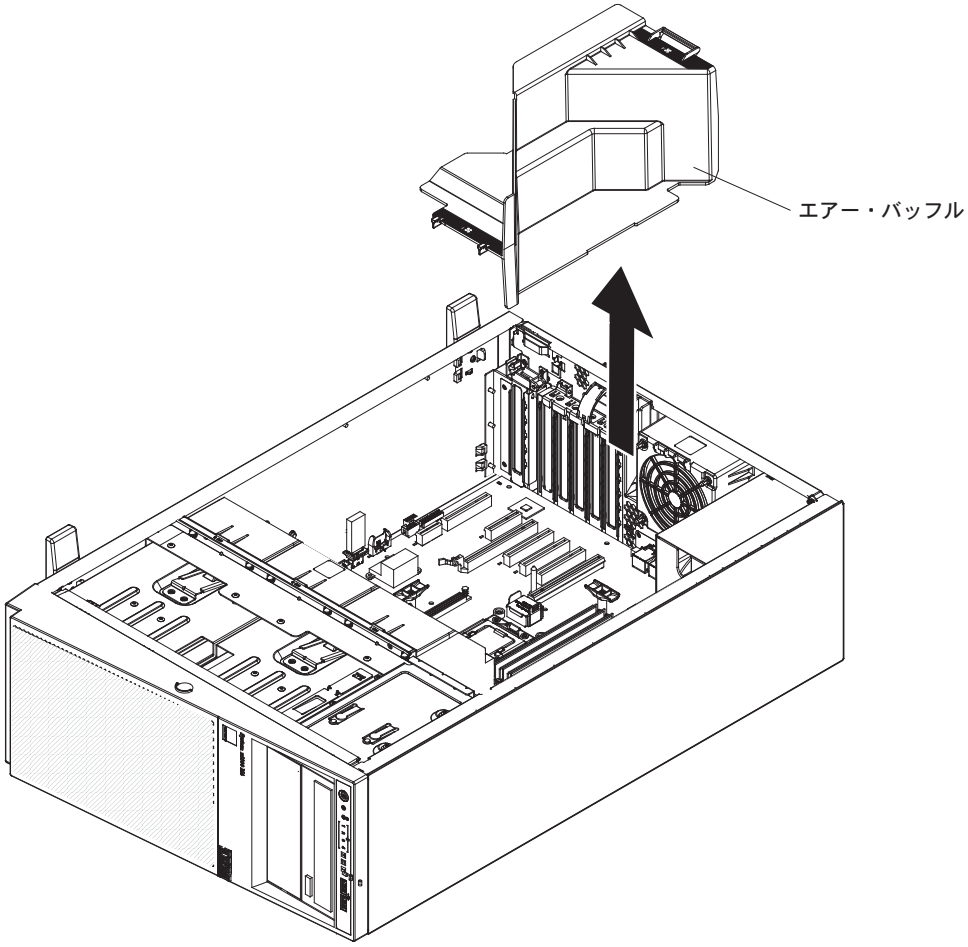
以下の情報を使用して、エアー・バッフルを取り外します。

エアー・バッフルを取り外すには、次のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. エアー・バッフルを持ち上げてサーバーから外し、横に置きます。

   重要: 冷却と通気を確保するため、サーバーの電源を入れる前にエアー・バッフルを元の位置に戻してください。エアー・バッフルを取り外したままサーバーを作動させると、サーバーのコンポーネントが損傷する可能性があります。



エアー・バッフルの交換

以下の情報を使用して、エアー・バッフルを交換します。

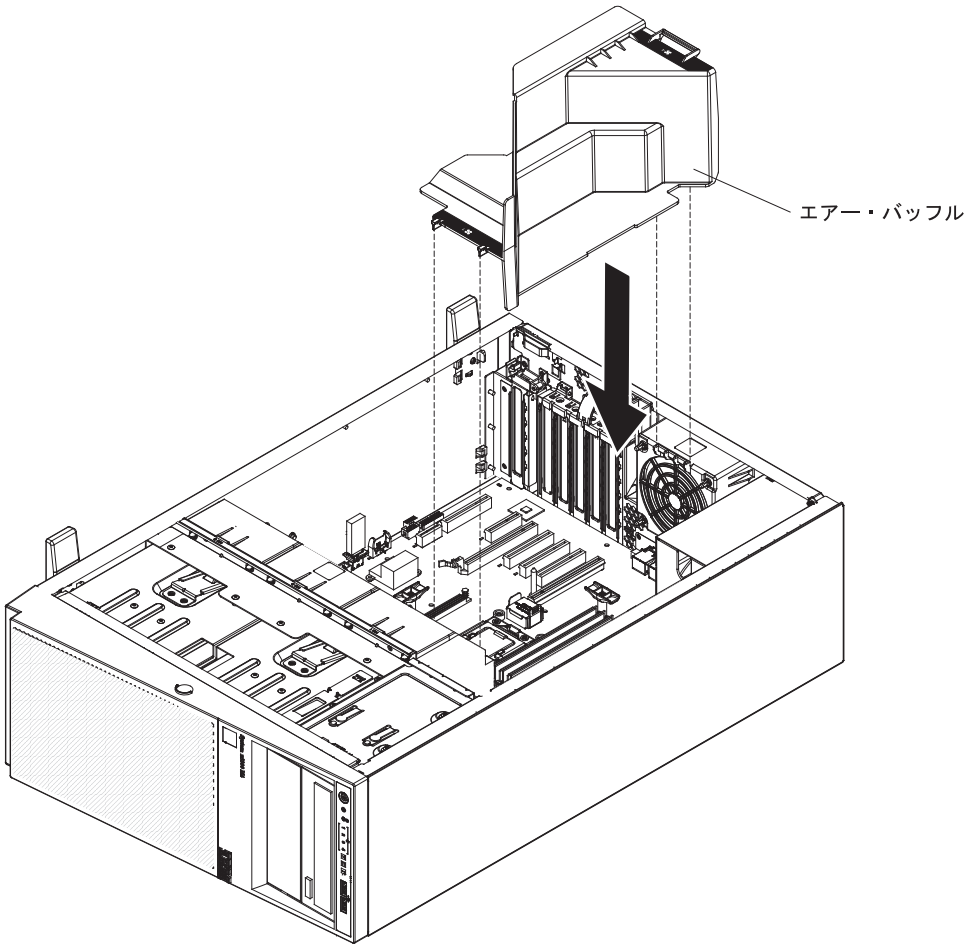
このタスクについて

注: 2 個目のマイクロプロセッサーを取り付ける場合は、そのマイクロプロセッサー・アップグレード・キットに付属のファン 2 とエアー・バッフルも取り付ける必要があります。

エアー・バッフルを元の位置に戻すには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. 左サイド・カバーを取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. 既存のエアー・バッフルを取り外します (46 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
5. エアー・バッフルが入っている帯電防止パッケージに触れてから、パッケージからエアー・バッフルを取り外します。
6. エアー・バッフルを上からサーバー内に押し入れて、タブを位置決め穴に入れます。



タスクの結果

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

RAID アダプター・リモート・バッテリー・ホルダーの取り外し

RAID アダプター・リモート・バッテリー・ホルダーを取り外すには、この情報を使用します。

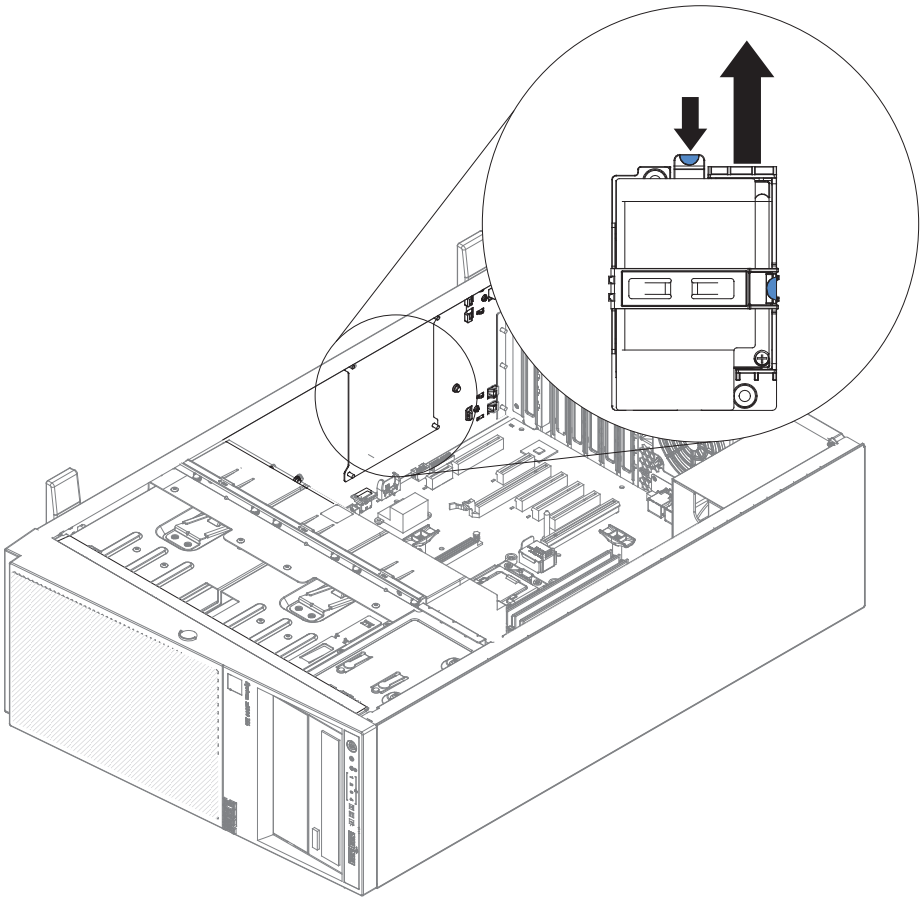
バッテリーが付属している RAID アダプターを取り付ける場合、バッテリーがオーバーヒートするのを防ぐために、バッテリーをサーバー内の別の場所に取り付ける必要がある場合があります。

RAID アダプター・リモート・バッテリーをサーバーに取り付けるには、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。

4. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. ケーブル接続方法およびジャンパーまたはスイッチ設定に関する情報については、アダプターに付属の資料を参照します。 (アダプターを取り付ける前にケーブルを配線した方が簡単な場合があります。)
6. リモートに取り付けられた RAID アダプター・バッテリーを取り外します (81 ページの『RAID アダプターのリモート・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールのサーバーへの取り付け』を参照)。
7. 青色のタッチ・ポイントを少し引き、バッテリー・ホルダーをガイド・ピンから取り外します。



8. RAID アダプター・バッテリー・ホルダーの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

RAID アダプター・リモート・バッテリー・ホルダーの交換

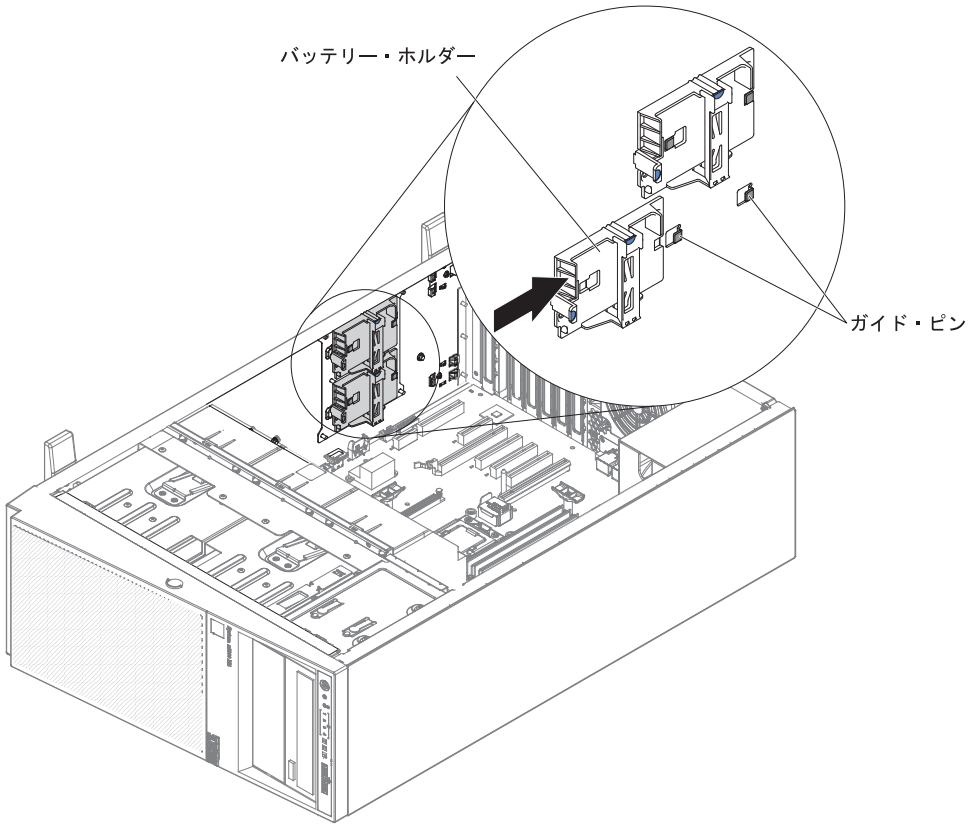
RAID アダプター・リモート・バッテリー・ホルダーを交換するには、この情報を使用します。

バッテリーが付属している RAID アダプターを取り付ける場合、バッテリーがオーバーヒートするのを防ぐために、バッテリーをサーバー内の別の場所に取り付ける必要がある場合があります。

RAID アダプター・リモート・バッテリーをサーバーに交換するには、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. 既存の RAID アダプター・リモート・バッテリー・ホルダーを取り外します (233 ページの『RAID アダプター・リモート・バッテリー・ホルダーの取り外し』を参照)。
6. エアー・バッフルが入っている帯電防止パッケージに触れてから、パッケージからエアー・バッフルを取り外します。
7. ケーブル接続方法およびジャンパーまたはスイッチ設定に関する情報については、アダプターに付属の資料を参照します。 (アダプターを取り付ける前にケーブルを配線した方が簡単な場合があります。)
8. バッテリー・ホルダーをガイド・ピンと位置合わせし、バッテリー・ホルダーを取り付けます。



9. バッテリー・ホルダーがしっかりと固定されていることを確認します。

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

Tier 1 CRU の取り外しと交換

IBM が Tier 1 と指定する CRU の交換は、お客様ご自身の責任で行っていただきます。お客様の要請により IBM が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

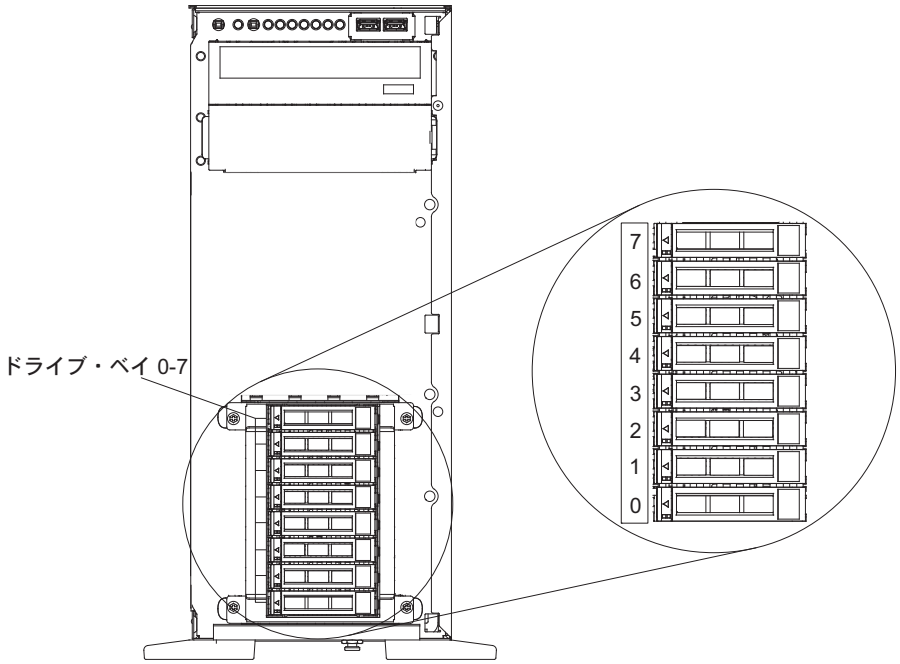
ドライブの取り付け

次の図は、サーバーとドライブ・ベイの位置を示しています。 ご使用のモデルによって、ハードウェアが少し異なる場合があります。

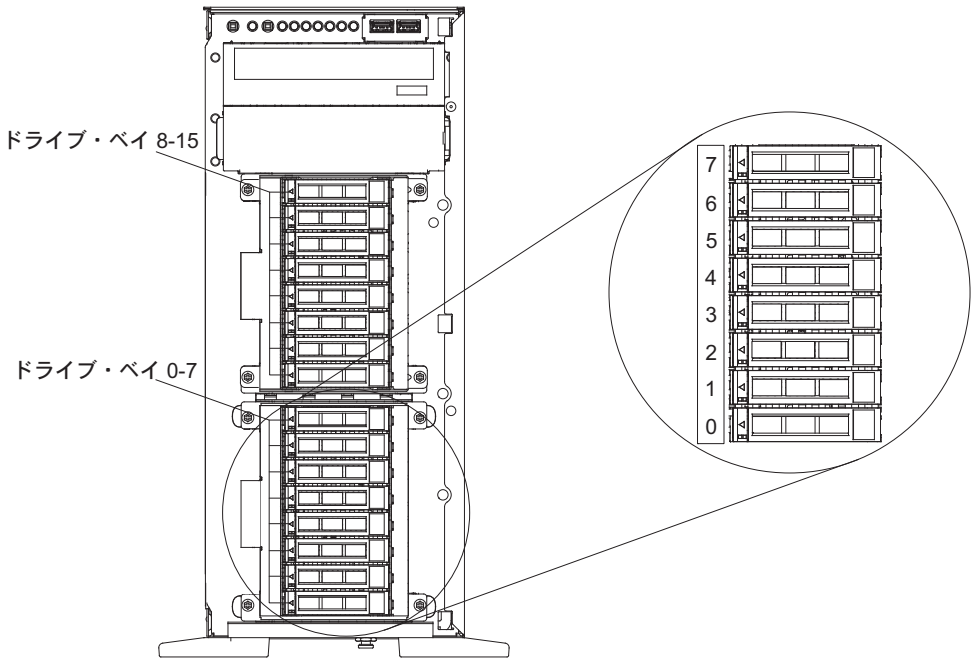
注: ServeRAID アダプターを使用してサーバーが RAID オペレーション用に構成されている場合は、ドライブの取り付け後にディスク・アレイの再構成が必要な場合があります。 RAID オペレーションの追加情報および ServeRAID アダプターの使用についての詳細な説明は、ServeRAID アダプターの資料を参照してください。

次の図には、2.5 型および 3.5 型ハード・ディスクのサーバー・モデルにおけるドライブ・ベイの位置を示しています。

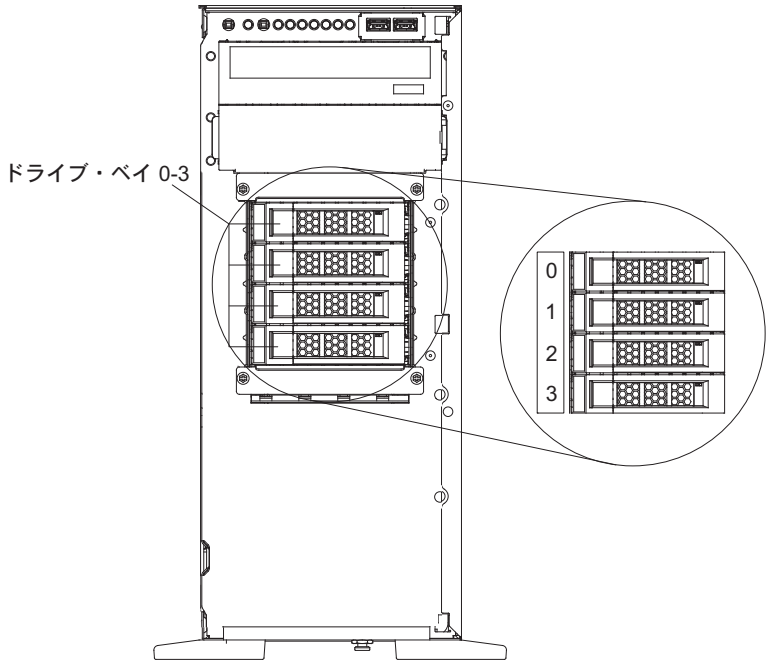
- 8 個の 2.5 型ハード・ディスクを搭載したサーバー



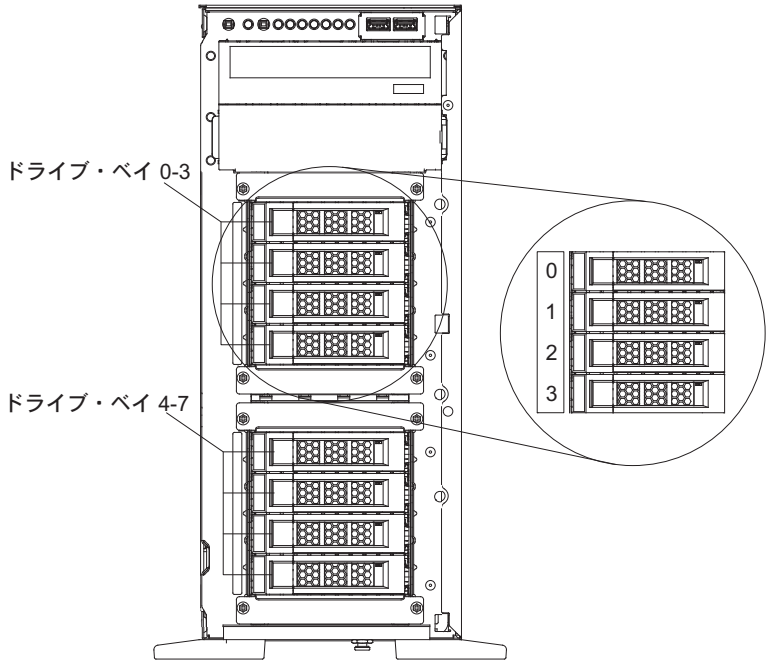
- 16 個の 2.5 型ハード・ディスクを搭載したサーバー



- 4 個の 3.5 型ハード・ディスクを搭載したサーバー



- 8 個の 3.5 型ハード・ディスクを搭載したサーバー



以下に、サーバーがサポートするドライブのタイプの説明と、ドライブを取り付けるときに考慮すべき事項を示します。取り付けるドライブをサーバーがサポートしていることを確認するには、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/usを参照してください。

- この章の説明のほかに、ドライブに付属の資料に記載されている説明に従ってください。
- ドライブに付属する資料で示されているすべてのケーブルおよびその他の装置があるか確認します。

- ドライブを取り付けるベイを選択します。
- このサーバーは、オプションで 1 台の UltraSlim SATA CD-RW/DVD-ROM 光学式ドライブをサポートします。
- サーバーは、最大 8 台の 2.5 型ホット・スワップ SAS/SATA ドライブ、4 台の 3.5 型ホット・スワップ SAS/SATA ドライブ、または 4 台の 3.5 型シンプル・スワップ SATA ドライブをサポートできます。
- ホット・スワップ SAS と SATA のハード・ディスクは、同じサーバーで混用できます。ただし、これらのドライブを同じアレイで混用することはできません。
- サーバーの電磁気干渉 (EMI) 保全性および冷却は、すべてのベイおよび PCI Express スロットをカバーするか、占拠することによって保護されます。 ドライブを取り付けるときは、後で装置を取り外す場合に備えて、ベイから外した EMC シールドとフィラー・パネルを保管しておきます。

2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し:

2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り外すには、この情報を使用します。

以下の注意書きでは、このサーバーがサポートしているハード・ディスクのタイプ、およびハード・ディスクを取り付けるときに考慮する必要があるその他の情報を記載しています。

- モデルにより、このサーバーは最大 8 台または 16 台の 2.5 型 SAS/SATA ホット・スワップ・ハード・ディスクをホット・スワップ・ベイに取り付けることができます。

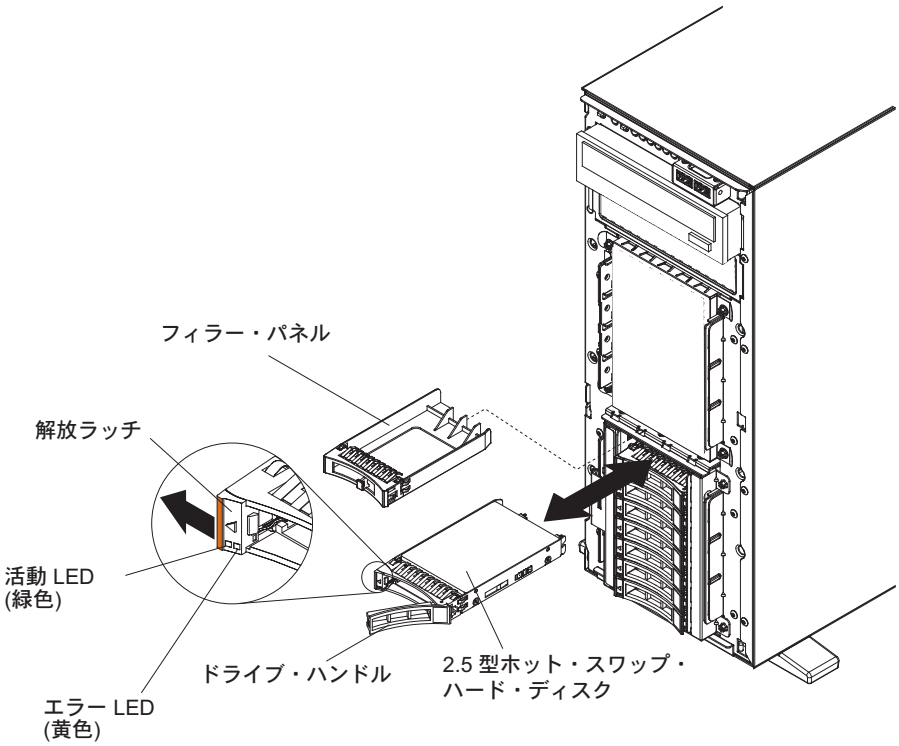
  注: 17 個以上の 2.5 型ハード・ディスクに対応するために ServeRAID アダプター M1015 を使用する場合、RAID 対応ドライブの最大数は 16 です。 その他のドライブはすべて、JBOD (このドライブは、RAID 構成を使用しないオペレーティング・システムに提供されます) のままです。
- サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/usを参照してください。
- ドライブとドライブ・ベイを検査して、損傷が発生した兆候がないか確認します。
- ドライブがドライブ・ベイに正しく取り付けられていることを確認します。
- ハード・ディスクの取り付けについては、ServeRAID アダプターの資料を参照してください。
- サーバー内のホット・スワップ・ドライブはすべて同一スループット速度でなければならず、異なる定格速度のドライブを使用している場合は、すべてのドライブが最低の速度で作動することがあります。
- ホット・スワップ・ドライブをホット・スワップ・ドライブ・ベイに取り付けるために、サーバーの電源をオフにする必要はありません。 ただし、ケーブルを取り付けたり取り外したりする手順を実行する場合、サーバーは必ず電源をオフにします。

2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り外すには、次の手順を実行してください。

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

   重要: サーバーの電源がオンになっている場合にサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電されると、サーバーが停止することがあり、それによってデータが失われる可能性があります。 こうした潜在的な問題を回避するために、電源がオンになっているサーバー内で作業するときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除します。

   注: ベゼルを開く、あるいは取り外すには、左サイド・カバーのロックを解除する必要があります。 左サイド・カバーをロックすると、カバーとベゼルの両方がロックされます。
3. ベゼルを開きます (226 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
4. フィラー・パネルが取り付けられている場合は取り外します。
5. ディスク・ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからディスク・ドライブを取り出します。
6. トレイ・ハンドルが開いていることを確認してから、ホット・スワップ・ベイから 2.5 型ハード・ディスクを取り外します。



7. ベゼルを閉じます。
8. 左サイド・カバーをロックします。

2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの交換:

2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを交換するには、この情報を使用します。

以下の注意書きでは、このサーバーがサポートしているハード・ディスクのタイプ、およびハード・ディスクを取り付けるときに考慮する必要があるその他の情報を記載しています。

- モデルにより、このサーバーは最大 8 台または 16 台の 2.5 型 SAS/SATA ホット・スワップ・ハード・ディスクをホット・スワップ・ベイに取り付けることができます。

  注: 17 個以上の 2.5 型ハード・ディスクに対応するために ServeRAID アダプター M1015 を使用する場合、RAID 対応ドライブの最大数は 16 です。 その他のドライブはすべて、JBOD (このドライブは、RAID 構成を使用しないオペレーティング・システムに提供されます) のままです。
- サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/usを参照してください。
- ドライブとドライブ・ベイを検査して、損傷が発生した兆候がないか確認します。
- ドライブがドライブ・ベイに正しく取り付けられていることを確認します。
- ハード・ディスクの取り付けについては、ServeRAID アダプターの資料を参照してください。
- サーバー内のホット・スワップ・ドライブはすべて同一スループット速度でなければならず、異なる定格速度のドライブを使用している場合は、すべてのドライブが最低の速度で作動することがあります。
- ホット・スワップ・ドライブをホット・スワップ・ドライブ・ベイに取り付けるために、サーバーの電源をオフにする必要はありません。 ただし、ケーブルを取り付けたり取り外したりする手順を実行する場合、サーバーは必ず電源をオフにします。

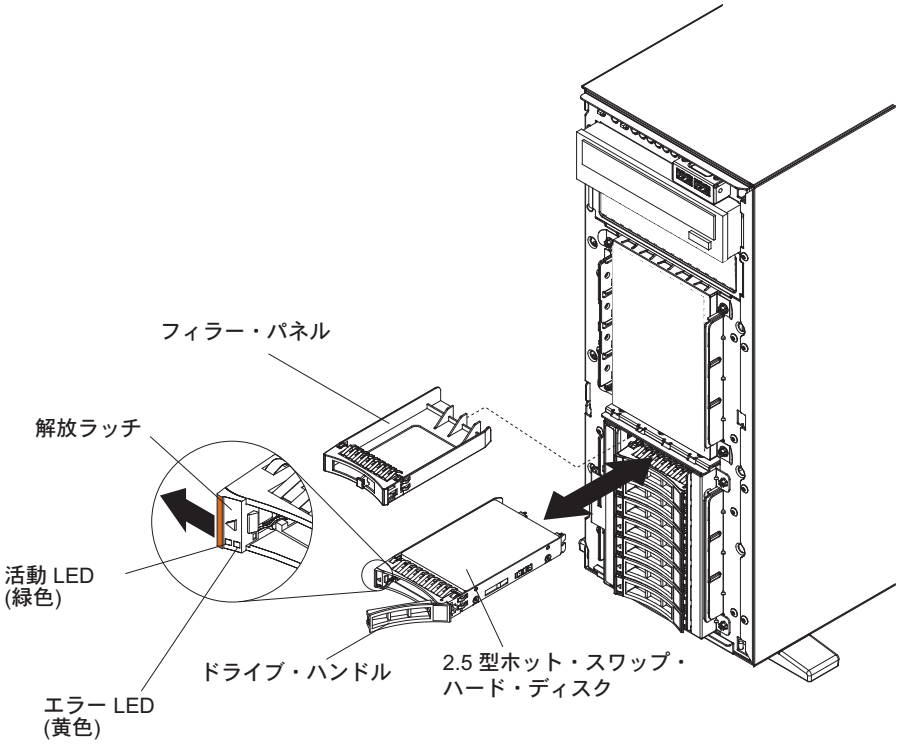
2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを交換するには、次の手順を実行してください。

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

   重要: サーバーの電源がオンになっている場合にサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電されると、サーバーが停止することがあり、それによってデータが失われる可能性があります。 こうした潜在的な問題を回避するために、電源がオンになっているサーバー内で作業するときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除します。

   注: ベゼルを開く、あるいは取り外すには、左サイド・カバーのロックを解除する必要があります。 左サイド・カバーをロックすると、カバーとベゼルの両方がロックされます。
3. ベゼルを開きます (226 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。

4. 既存の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り外します (239 ページの『2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し』を参照)。
5. 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクが入っている帯電防止パッケージに触れてから、パッケージから 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り出します。
6. トレイ・ハンドルが開いていることを確認してから、ハード・ディスクをホット・スワップ・ベイに取り付けます。
7. ドライブがホット・スワップ・ベイに固定され、リリース・ラッチがカチッと音がして定位置に収まるまで、ドライブ・ハンドルを回転させます。



注:

a. ハード・ディスクを取り付けたら、ディスク・ドライブの状況 LED をチェックして、ハード・ディスクが正常に動作していることを確認します。

   黄色のハード・ディスク状況 LED が連続して点灯している場合は、そのドライブに障害があり、交換する必要があります。 緑色のハード・ディスク活動 LED が点滅している場合、そのドライブはアクセス中です。

b. オプションの ServeRAID アダプターを使用してサーバーが RAID オペレーション用に構成されている場合は、ハード・ディスクの取り付け後にディスク・アレイの再構成が必要な場合があります。 RAID 操作に関する追加情報および ServeRAID マネージャーの使用に関する詳しい説明については、IBM ServeRAID *Support* CD に収録されている ServeRAID の資料を参照してください。

8. ベゼルを閉じます。
9. 左サイド・カバーをロックします。

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し:

3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り外すには、この情報を使用します。

3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り外す前に、次の情報をお読みください。

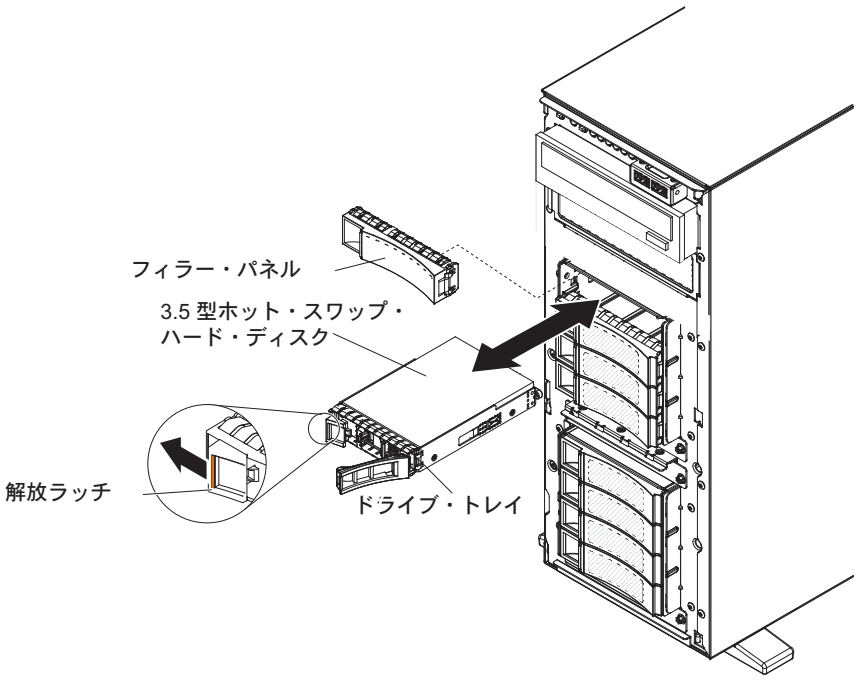
- ドライブ・トレイに損傷がないか検査します。
- システムの冷却を正常に保つため、各ドライブ・ベイにドライブまたはフィラー・パネルを取り付けない状態で、10 分間より長くサーバーを稼働させないでください。
- ホット・スワップ・ドライブをホット・スワップ・ドライブ・ベイに取り付けるのに、サーバーの電源をオフにする必要はありません。

3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り外すには、次のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

   重要: サーバーの電源がオンになっている場合にサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電されると、サーバーが停止することがあり、それによってデータが失われる可能性があります。 こうした潜在的な問題を回避するために、電源がオンになっているサーバー内で作業するときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します。

   注: ベゼルのオープンまたは取り外しには、左サイド・カバーのロックを解除する必要があります。 左サイド・カバーをロックすると、カバーとベゼルの両方がロックされます。
3. ベゼルを開きます (226 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
4. フィラー・パネルが取り付けられている場合は取り外します。
5. ドライブ・トレイにあるオレンジ色のリリース・ラッチを押して、サーバーのドライブ・ベイから 3.5 型ハード・ディスクを取り外します。



6. フィラー・パネルを空のドライブ・ベイに再度取り付けます。
7. ハード・ディスク状況インディケーターをチェックして、ハード・ディスクが正しく稼働していることを確認します。

   故障したハード・ディスクを交換した後、ディスクが回転すると緑色の活動 LED が点滅します。 およそ 1 分後に黄色の LED が消灯します。 新しいドライブが再構築を開始すると、黄色の LED はゆっくり点滅し、緑色の活動 LED は再構築プロセス中は点灯しています。 黄色の LED が点灯し続ける場合、詳しくは 145 ページの『第 4 章 Troubleshooting』を参照してください。

   注: ハード・ディスクを取り付けた後、ディスク・アレイを再構成する必要がある場合があります。 RAID アダプターについて詳しくは、IBM Web サイト (http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/overview) の RAID 資料を参照してください。

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの交換:

3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを交換するには、この情報を使用します。

3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを交換する前に、次の情報をお読みください。

- ドライブ・トレイに損傷がないか検査します。
- システムの冷却を正常に保つため、各ドライブ・ベイにドライブまたはフィラー・パネルを取り付けない状態で、10 分間より長くサーバーを稼働させないでください。
- ホット・スワップ・ドライブをホット・スワップ・ドライブ・ベイに取り付けるのに、サーバーの電源をオフにする必要はありません。

3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを交換するには、次のステップを実行してください。

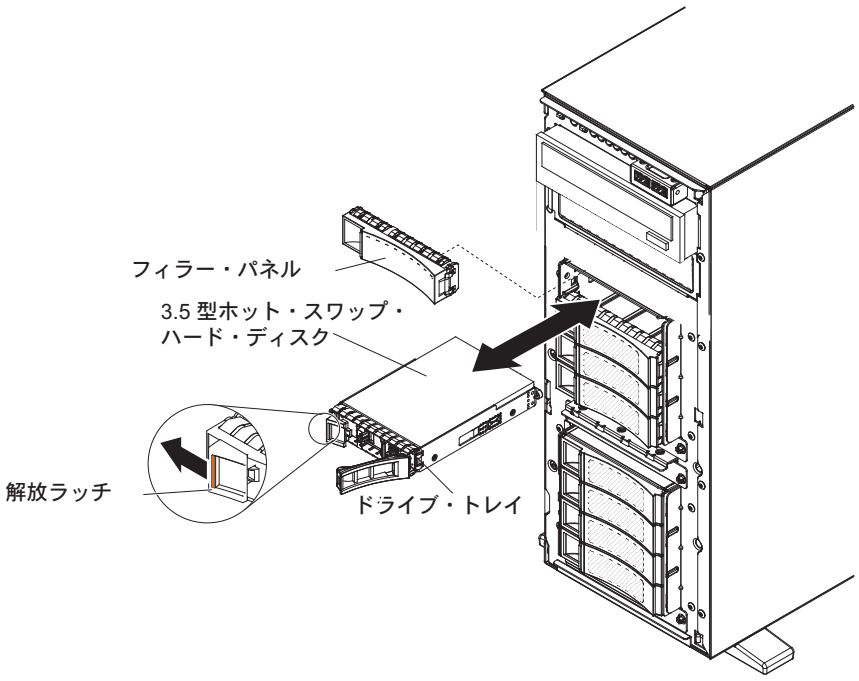
1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

   重要: サーバーの電源がオンになっている場合にサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電されると、サーバーが停止することがあり、それによってデータが失われる可能性があります。 こうした潜在的な問題を回避するために、電源がオンになっているサーバー内で作業するときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

2. 左サイド・カバーのロックを解除します。

   注: ベゼルを開く、あるいは取り外すには、左サイド・カバーのロックを解除する必要があります。 左サイド・カバーをロックすると、カバーとベゼルの両方がロックされます。

3. ベゼルを開きます (226 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
4. 既存の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り外します (243 ページの『3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し』を参照)。
5. 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクが入っている帯電防止パッケージに触れてから、パッケージから 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り出します。
6. トレイ・ハンドルが開いていることを確認してから、ハード・ディスクをホット・スワップ・ベイに取り付けます。
7. ドライブ・アセンブリーをベイ内のガイド・レールに位置合わせし、ドライブが所定の位置にパチンとなるまでドライブ・アセンブリーをドライブ・ベイに慎重にスライドさせます。



8. ドライブ・トレイ・ハンドルを閉じた位置まで回転させます。
9. ハード・ディスク状況インディケーターをチェックして、ハード・ディスクが正しく稼働していることを確認します。

   故障したハード・ディスクを交換した後、ディスクが回転すると緑色の活動 LED が点滅します。 およそ 1 分後に黄色の LED が消灯します。 新しいドライブが再構築を開始すると、黄色の LED はゆっくり点滅し、緑色の活動 LED は再構築プロセス中は点灯しています。 黄色の LED が点灯し続ける場合、詳しくは 145 ページの『第 4 章 Troubleshooting』を参照してください。

   注: ハード・ディスクを取り付けた後、ディスク・アレイを再構成する必要がある場合があります。 RAID アダプターについて詳しくは、IBM Web サイト (http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/overview) の RAID 資料を参照してください。
10. ベゼルを閉じます。
11. 左サイド・カバーをロックします。

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外し:

3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り外すには、この情報を使用します。

3.5 型シンプル・スワップ ハード・ディスクを取り外す前に、次の情報をお読みください。

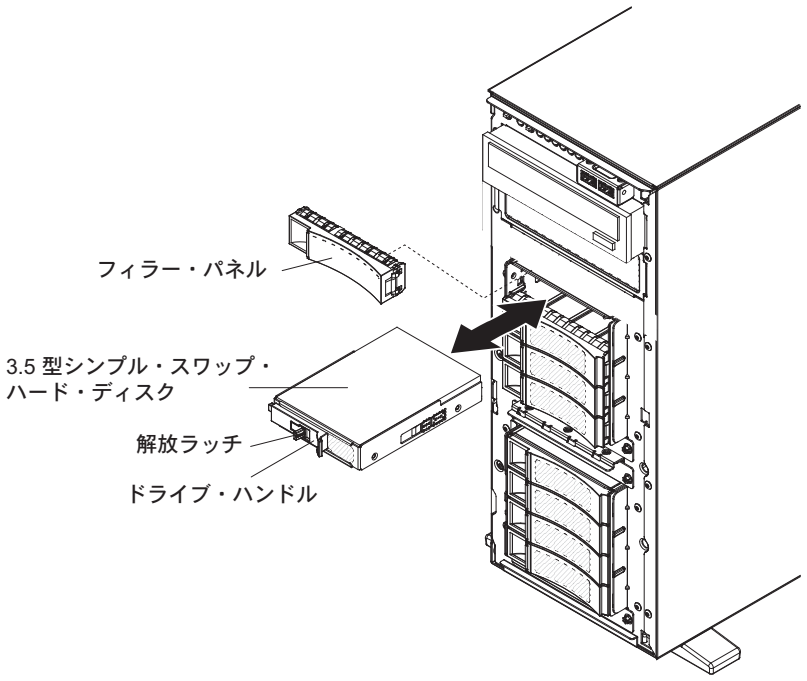
- ドライブ・トレイに損傷がないか検査します。
- システムの冷却を正常に保つため、各ドライブ・ベイにドライブまたはフィラー・パネルを取り付けない状態で、10 分間より長くサーバーを稼働させないでください。
- シンプル・スワップ・ドライブをシンプル・スワップ・ドライブ・ベイに取り付けるには、サーバーの電源をオフにする必要があります。

3.5 型シンプル・スワップ ハード・ディスクを取り外すには、次のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

   重要: サーバーの電源がオンになっている場合にサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電されると、サーバーが停止することがあり、それによってデータが失われる可能性があります。 こうした潜在的な問題を回避するために、電源がオンになっているサーバー内で作業するときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. 左サイド・カバーのロックを解除します。

   注: ベゼルを開く、あるいは取り外すには、左サイド・カバーのロックを解除する必要があります。 左サイド・カバーをロックすると、カバーとベゼルの両方がロックされます。
4. ベゼルを開きます (226 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
5. リリース・ラッチを開いた位置まで移動させ、ドライブ・ハンドルをつかんで、サーバーのドライブ・ベイから 3.5 型シンプル・スワップ・ドライブを引き出します。



6. フィラー・パネルを空のドライブ・ベイに取り付けます。

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクの交換:

3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクを交換するには、この情報を使用します。

3.5 型シンプル・スワップ ハード・ディスクを交換する前に、次の情報をお読みください。

- ドライブ・トレイに損傷がないか検査します。
- システムの冷却を正常に保つため、各ドライブ・ベイにドライブまたはフィラー・パネルを取り付けない状態で、10 分間より長くサーバーを稼働させないでください。
- シンプル・スワップ・ドライブをシンプル・スワップ・ドライブ・ベイに取り付けるには、サーバーの電源をオフにする必要があります。

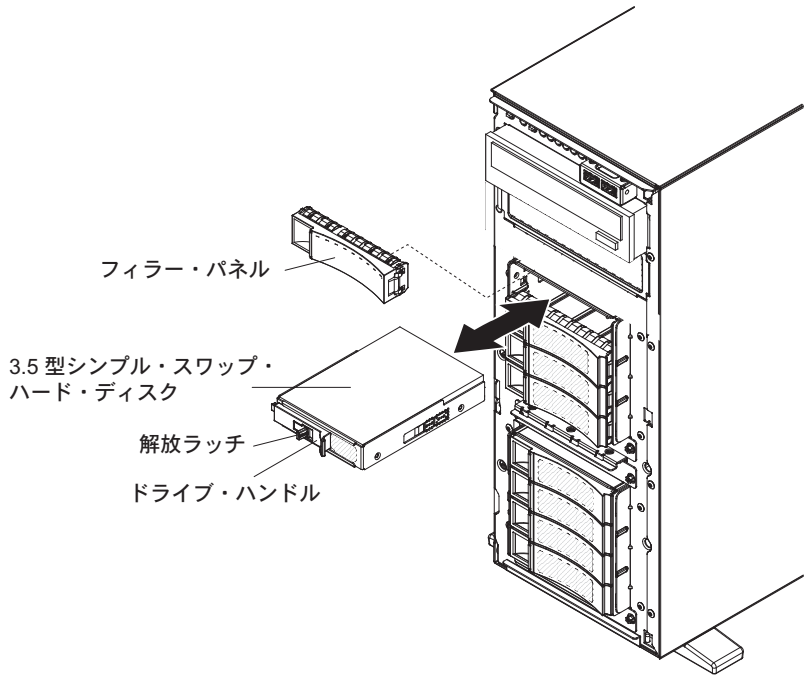
3.5 型シンプル・スワップ ハード・ディスクを交換するには、次のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

   重要: サーバーの電源がオンになっている場合にサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電されると、サーバーが停止することがあり、それによってデータが失われる可能性があります。 こうした潜在的な問題を回避するために、電源がオンになっているサーバー内で作業するときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。
2. 左サイド・カバーのロックを解除します。

注: ベゼルを開く、あるいは取り外すには、左サイド・カバーのロックを解除する必要があります。 左サイド・カバーをロックすると、カバーとベゼルの両方がロックされます。

3. ベゼルを開きます (226 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
4. 既存の 3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り外します (247 ページの『3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外し』を参照)。
5. ディスク・ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからディスク・ドライブを取り出します。
6. 黒色のドライブ・ハンドルをつかみ、青色のリリース・ラッチを右側にスライドさせ、ドライブ・アセンブリーの位置をベイのガイド・レールと合わせます。



7. ドライブがベイの中で止まるまで、慎重にベイの中に押し込みます。
8. ベゼルを閉じます。
9. 左サイド・カバーをロックします。

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

光学式 CD/DVD ドライブの取り外し:

光学式 CD/DVD ドライブを取り外すには、この情報を使用します。

オプションの CD/DVD ドライブを取り外すには、以下の手順を実行してください。

1. ドライブを交換する場合は、以下のことを確認してください。
   - 新しいドライブに付属の資料で指定されているすべてのケーブル、およびその他の装置があることを確認します。
   - 新しいドライブに付属の説明を調べて、ドライブにスイッチまたはジャンパーの設定が必要かどうかを確認します。
   - 古いドライブの側面に付いていた青色の光学式ドライブ・レールを取り外して、新しいドライブの取り付けに使用できるように用意します。

   注: レーザーを含むドライブを取り付ける場合は、以下の安全上の予防措置を守ってください。

   安全 3

   注意:
   レーザー製品 (CD-ROM、DVD ドライブ、光ファイバー装置、または送信機など) を取り付ける場合には、以下のことに注意してください。
   - **カバーを外さないこと。 カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。 この装置の内部には保守が可能な部品はありません。**
   - **本書に記述されていないコントロールや調整を使用したり、本書に記述されていない手順を実行すると、有害な光線を浴びることがあります。**

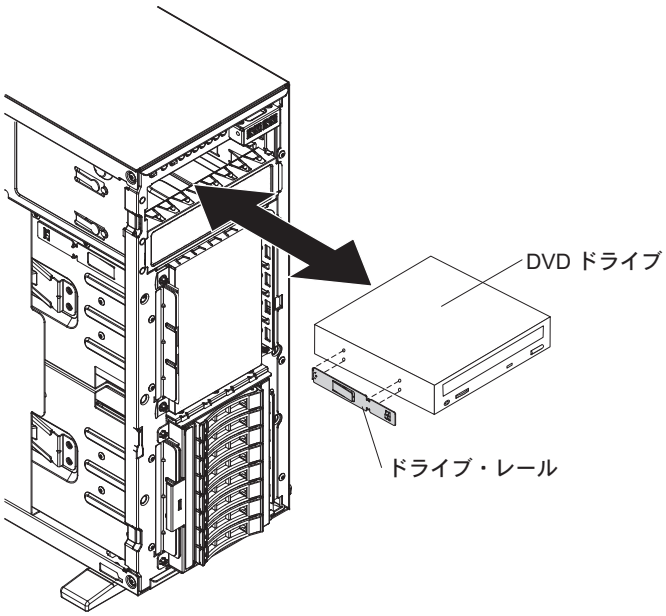
危険

一部のレーザー製品には、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードが組み込まれています。 次のことに注意してください。

カバーを開くとレーザー光線の照射があります。 光線を見つめたり、光学装置を用いて直接見たり、光線を直接浴びることは避けてください。

クラス 1 レーザー製品
Laser Klasse 1
Laser Klass 1
Luokan 1 Laserlaite
Appareil Â Laser de Classe 1

2. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
3. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
4. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. ベゼルを開きます (226 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
6. 電源ケーブルと信号ケーブルをドライブから、およびシステム・ボード上のコネクターから切り離します (209 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照)。
7. エアー・バッフルが取り付けられている場合は取り外します (46 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
8. ファン・アセンブリーを取り外します (47 ページの『ファン・アセンブリーの取り外し』を参照)。
9. DVD ドライブの側面にあるドライブ・レールを押しながら DVD ドライブの前面をつかんでサーバーから引き出します。



10. ドライブ・レールを DVD ドライブから取り外し、将来の使用に備えて適切な場所に保管します。

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

光学式 CD/DVD ドライブの交換:

光学式 CD/DVD ドライブを交換するには、この情報を使用します。

オプションの CD/DVD ドライブを交換するには、以下の手順を実行してください。

1. ドライブを取り付ける場合は、以下のことを確認してください。
   - 新しいドライブに付属の資料で指定されているすべてのケーブル、およびその他の装置があることを確認します。
   - 新しいドライブに付属の説明を調べて、ドライブにスイッチまたはジャンパーの設定が必要かどうかを確認します。
   - 古いドライブの側面に付いていた青色の光学式ドライブ・レールを取り外して、新しいドライブの取り付けに使用できるように用意します。

   注: レーザーを含むドライブを取り付ける場合は、以下の安全上の予防措置を守ってください。

   安全 3

注意:
レーザー製品 (CD-ROM、DVD ドライブ、光ファイバー装置、または送信機など) を取り付ける場合には、以下のことに注意してください。

- **カバーを外さないこと。 カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。 この装置の内部には保守が可能な部品はありません。**
- **本書に記述されていないコントロールや調整を使用したり、本書に記述されていない手順を実行すると、有害な光線を浴びることがあります。**

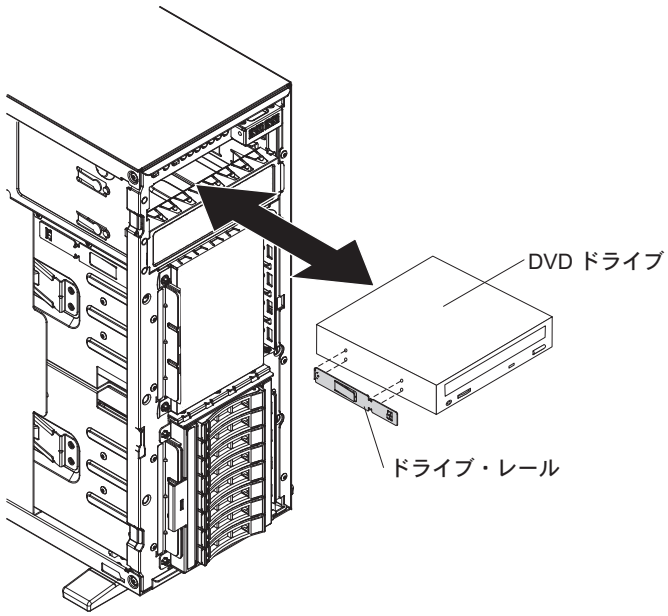
危険

一部のレーザー製品には、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードが組み込まれています。 次のことに注意してください。

カバーを開くとレーザー光線の照射があります。 光線を見つめたり、光学装置を用いて直接見たり、光線を直接浴びることは避けてください。

クラス 1 レーザー製品
Laser Klasse 1
Laser Klass 1
Luokan 1 Laserlaite
Appareil Á Laser de Classe 1

2. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
3. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
4. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. ベゼルを開きます (226 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
6. エアー・バッフルを取り外します (46 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
7. ファン・アセンブリーを取り外します (47 ページの『ファン・アセンブリーの取り外し』を参照)。
8. 既存の DVD ドライブを取り外します (250 ページの『光学式 CD/DVD ドライブの取り外し』を参照)。
9. DVD ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージから DVD ドライブを取り出します。
10. DVD ドライブにドライブ・レールを取り付けます。
11. ドライブ・レールを DVD ドライブの位置に合わせてから、DVD ドライブをドライブ・ベイに滑り込ませてレールを定位置に収めます。



12. 電源ケーブルと信号ケーブルをドライブおよびシステム・ボード上のコネクターに接続します (209 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照)。

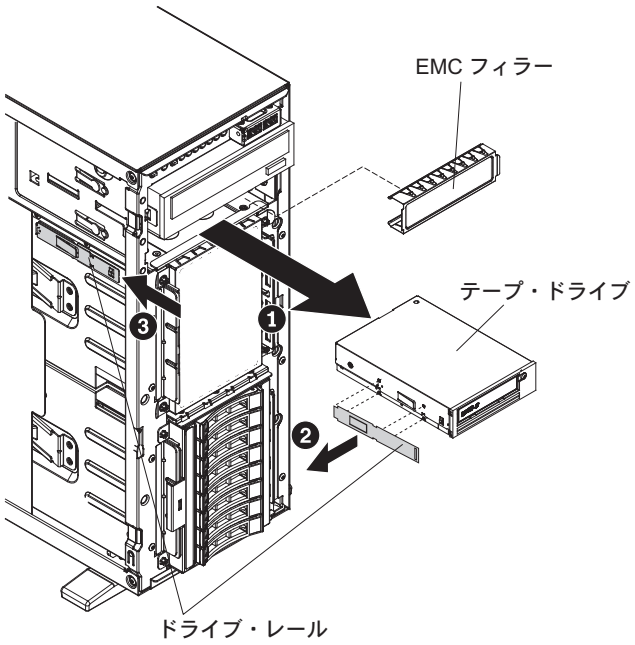
他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

オプションのテープ・ドライブの取り外し:

以下の情報を使用して、オプションのテープ・ドライブを取り外します。

オプションのフルハイトのテープ・ドライブを取り外すには、次のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. ベゼルを開きます (226 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
5. 電源ケーブルと信号ケーブルをドライブから、およびシステム・ボード上のコネクターから切り離します (209 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照)。
6. エアー・バッフルが取り付けられている場合は取り外します (46 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
7. ファン・アセンブリーを取り外します (47 ページの『ファン・アセンブリーの取り外し』を参照)。
8. テープ・ドライブの側面にあるドライブ・レールを押しながら、テープ・ドライブの前面をつかんでサーバーから引き出します。



9. EMC シールドをテープ・ドライブ・ベイに取り付けます。

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

オプションのテープ・ドライブの交換:

以下の情報を使用して、オプションのテープ・ドライブを交換します。

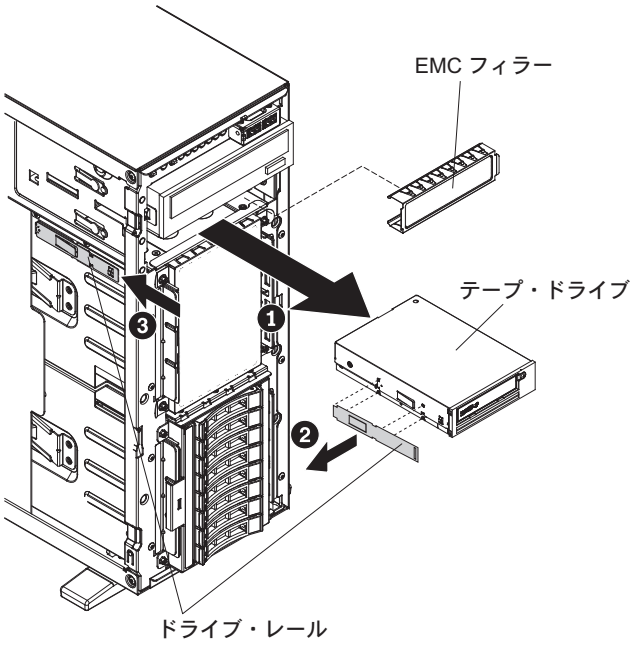
オプションのフルハイトのテープ・ドライブを交換するには、次のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. ベゼルを開きます (226 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
5. エアー・バッフルを取り外します (46 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
6. ファン・アセンブリーを取り外します (47 ページの『ファン・アセンブリーの取り外し』を参照)。
7. 既存のテープ・ドライブを取り外します (254 ページの『オプションのテープ・ドライブの取り外し』を参照)。
8. DVD ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージから DVD ドライブを取り出します。
9. ドライブの中央に最も近い穴を利用して、テープ・ドライブにドライブ・レールを取り付けます。

10. ジャンパーまたはスイッチがある場合は、ドライブに付属の説明に従って設定します。

    注: 新しいドライブを前面から入れて取り付けてから、ケーブルを接続する方が作業しやすい場合があります。

11. テープ・ドライブのレールをドライブ・ベイのガイドの位置に合わせてから、テープ・ドライブをドライブ・ベイの中に滑り込ませてレールを定位置に収めます。



12. 電源ケーブルと信号ケーブルをドライブおよびシステム・ボード上のコネクターに接続します (209 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照)。

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

SAS/SATA HDD オプションの交換

以下の情報を使用して、SAS/SATA HDD を交換します。

このタスクについて

注: SAS/SATA 8 Pac HDD オプションを交換するには、その前にサーバーの電源をオフにする必要があります。

追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットを取り外すには、以下のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。

3. ベゼルを取り外します (226 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
4. 左サイド・カバーを取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. ハード・ディスクとフィラー・パネルをサーバーから少し引き出して、ハード・ディスク・バックプレーンから取り外します 。
6. 2.5 型ホット・スワップ SAS/SATA ハード・ディスク・バックプレーンを取り外します (290 ページの『2.5 型ディスク・バックプレーンの交換』を参照)。

次のタスク

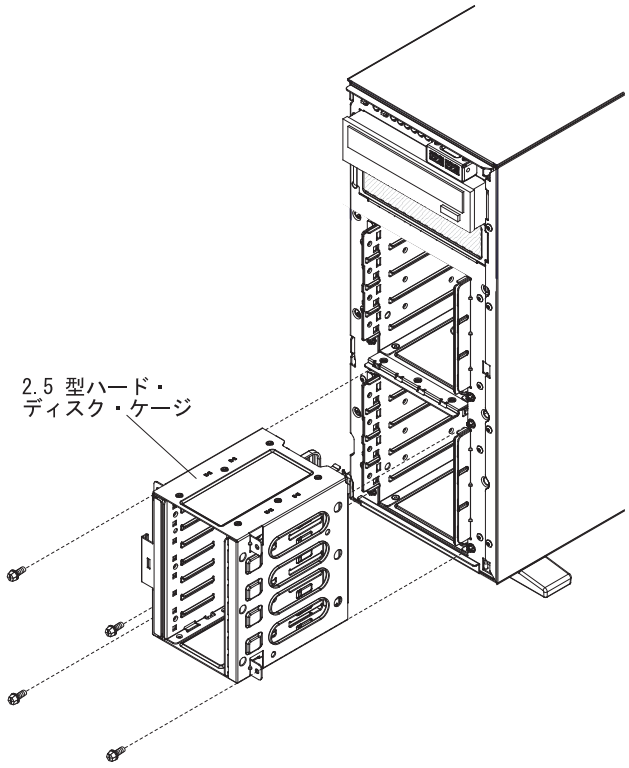
サーバーに IBM System x3300 M4 ホット・スワップ SAS/SATA 8 Pac HDD オプションを取り付けられます。サポート対象のオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/usを参照してください。追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットを注文する場合は、IBM 営業担当員または認定販売店にお問い合わせください。

追加 8 ハード・ディスク・ドライブ搭載キットを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. ベゼルを取り外します (226 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
4. 左サイド・カバーを取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. 必要に応じてフィラーを取り外します。
6. 必要に応じて 2.5 型ハード・ディスク・ケージを取り付けます。

   注: ハード・ディスク・ベイを 16 から 24 にアップグレードする際に、2.5 型ハード・ディスク・ケージが既に取り付けられている場合、 オプションに付属の新しい 2.5 型ハード・ディスク・ケージは、将来の使用に備えて安全な場所に保管してください。

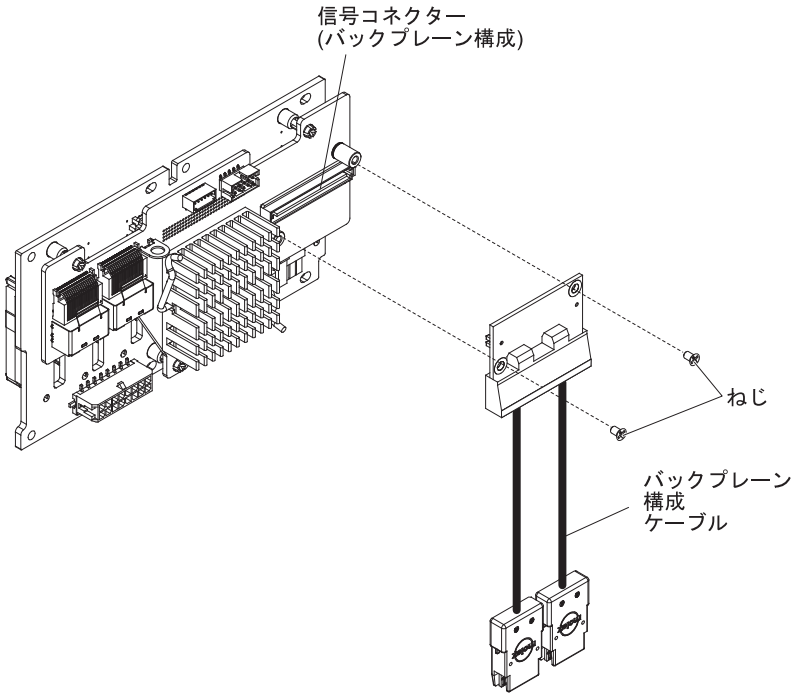
   a. 2.5 型ハード・ディスク・ケージをシャーシに位置合わせし、サーバーに取り付けます。



b. 4 つのねじを締めます。

7. 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンを取り付けます (290 ページの『2.5 型ディスク・バックプレーンの交換』を参照)。
8. オプションに付属の EMC シールドを取り付けます。
9. 2.5 型ハード・ディスクを取り付けます (62 ページの『2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け』を参照)。
10. オプションに付属のドライブ・ベイ・フィラー・パネルを空のドライブ・ベイに取り付けます。
11. バックプレーン構成ケーブル、電源ケーブル、信号ケーブル、および構成ケーブルを接続します (209 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照)。

注: バックプレーン構成ケーブルに 2 つのねじを取り付ける必要がある場合があります。



12. ベゼルを再び取り付けます (226 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
13. 左サイド・カバーを再び取り付けます (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
14. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
15. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

アダプターの取り外し

アダプターを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

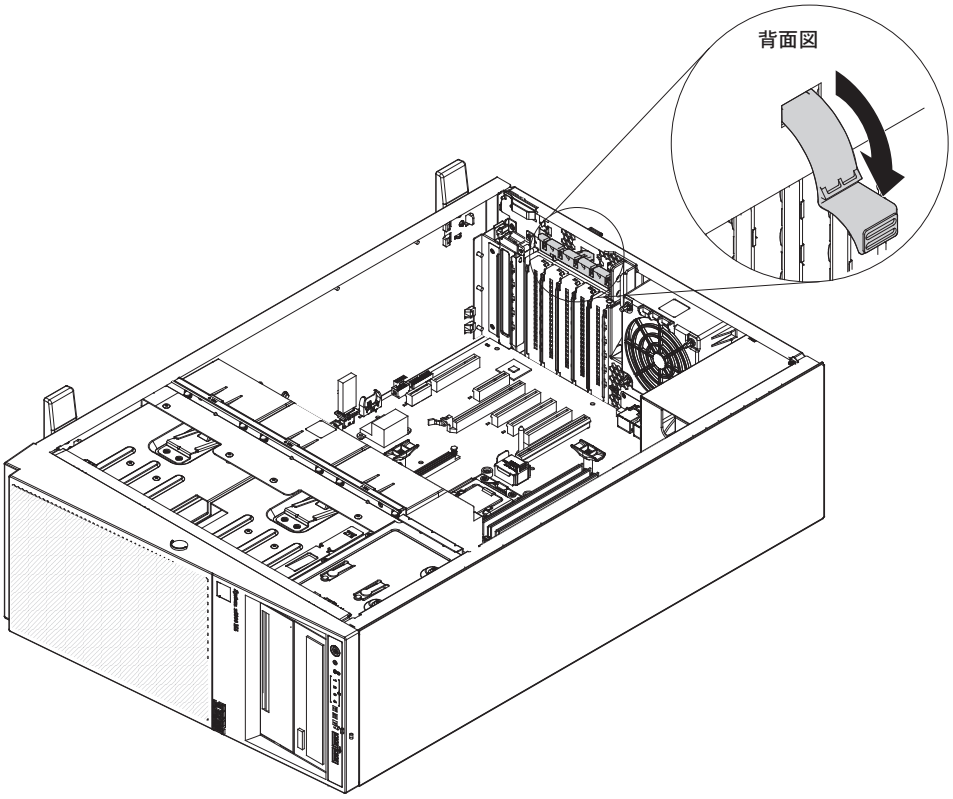
アダプターを取り外すには、次のステップを行います。

手順

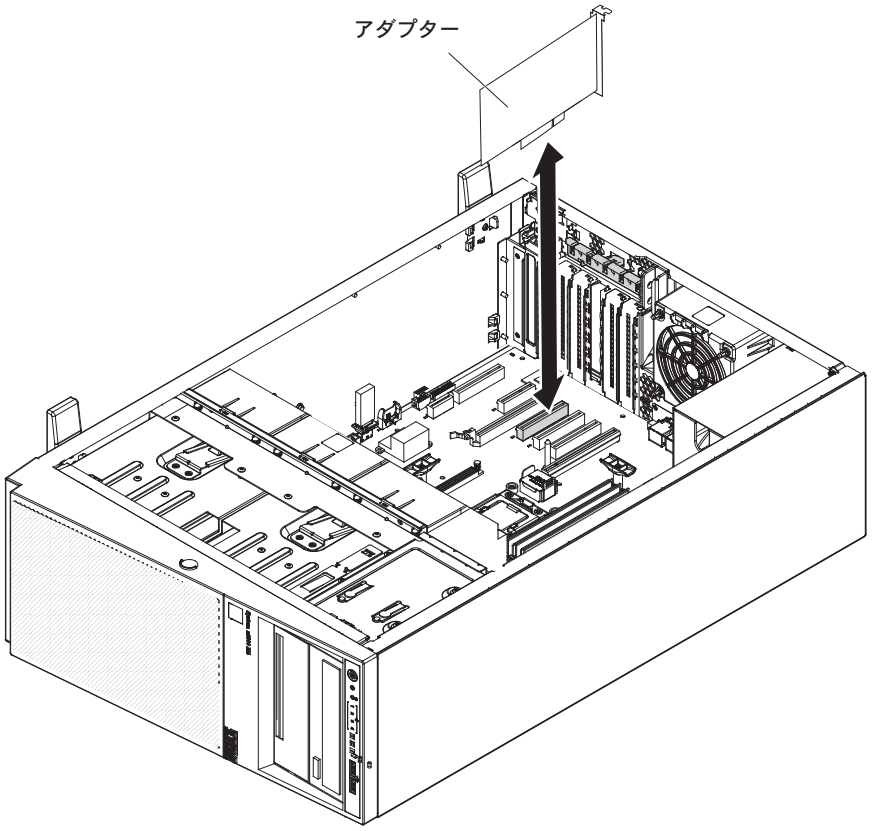
1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   注: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. エアー・バッフルを取り外します (46 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。

6. ファン・アセンブリーを取り外します (47 ページの『ファン・アセンブリーの取り外し』を参照)。
7. アダプターからケーブルをすべて取り外します。
8. サーバーの背面側からリリース・ラッチを押し下げて、アダプター保持ブラケットを開いた位置まで移動させます。

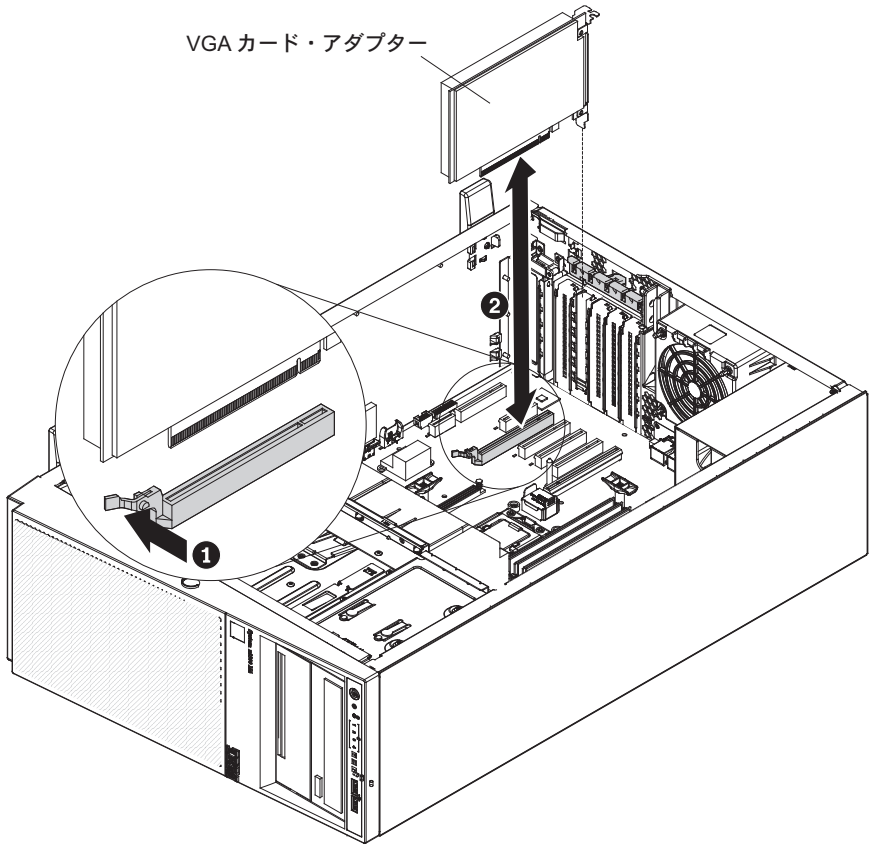


9. アダプターをアダプター・コネクターから引き出してから、アダプターをサーバーから持ち上げて取り外します。



注:

- オプションの ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールが取り付けられている場合は、取り外して将来の使用に備えて保管します (80 ページの『オプションの ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールの取り付け』を参照)。
- アダプターを PCI スロット 4 に取り付けている場合、もしくは PCI スロット 4 から取り外している場合、次の図のステップ 1 としてまずリリース・ラッチを押す必要があります。



10. PCI スロット・フィラーを取り付けます。
11. アダプター保持ブラケットを閉じる位置まで戻します。
12. アダプターの返却を求められた場合は、すべての梱包上の指示に従い、提供された配送用の梱包材を使用してください。

アダプターの交換

以下の情報を使用して、アダプターを交換します。

以下の注では、このサーバーがサポートしているアダプターのタイプ、およびアダプターを交換するときに考慮する必要があるその他の情報を説明しています。

- 取り付けるアダプターをサーバーがサポートしていることを確認するには、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/usを参照してください。
- このセクションの説明に追加して、アダプターに付属の資料に記載の説明にも従ってください。
- LCD モニターの最大デジタル・ビデオ・アダプター解像度を 1280 x 1024 (75 Hz) より上に設定しないでください。 これが、このサーバーに取り付けるすべてのアドオン・ビデオ・アダプターに対してサポートされる最高の解像度です。
- アダプター上のコンポーネントおよび端が金色のコネクターには触れないようにしてください。
- すべてのアドオン・ビデオ・アダプター上の高品位のビデオ・アウト・コネクターまたはステレオ・コネクターは、サポートされません。

- サーバーは、循環割り込み技術を使用して PCI アダプターを構成するため、PCI 割り込みの共用をサポートしない PCI アダプターを取り付けることができます。
- このサーバーでは、システム・ボード上で 2 つの PCI ライザー・スロットを提供します。 ライザー・カードは、最大 3 つの PCI Express Gen2 アダプター・スロットを備えています。 次の表に、ライザー・カード上およびシステム・ボード上の PCI-e スロット、各スロットが接続されるマイクロプロセッサー、および各スロットに取り付け可能なサポート対象のアダプターをリストしています。

表 21. PCI ライザー・スロットのサポートされる構成

PCI-X ライザー・カード・アセンブリー	PCI-e スロット番号	スロットが接続されるマイクロプロセッサー	構成 1	構成 2
1	1	マイクロプロセッサー 1	PCI-e Gen2 x16 (x16 メカニカル) フルハイト、ハーフサイズ・アダプター	PCI-e Gen2 x8 (x16 メカニカル) フルハイト、ハーフサイズ・アダプター
1	2	マイクロプロセッサー 1	N/A	PCI-e Gen2 x8 (x16 メカニカル) ロー・プロファイル・アダプター
2	3	マイクロプロセッサー 1	PCI-e Gen2 x4 ロー・プロファイル、内蔵 RAID アダプター	PCI-e Gen2 x4 ロー・プロファイル、内蔵 RAID アダプター
注: PCI-X ライザー・カード・アセンブリー 2 上の PCI-e スロット 3 は、オプションの内蔵 RAID アダプター用に予約されています。 どの内蔵 RAID アダプターも、PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 には取り付けないでください。				

- 次の表は、ネットワーク・アダプターに関するオプション部品番号および CRU 部品番号をリストしています。

表 22. ネットワーク・アダプター

ネットワーク・アダプター		
説明	**オプション部品番号**	**CRU 部品番号**
QLogic 4Gb PCIe FC シングル・ポート HBA	39R6525	39R6526
QLogic 4Gb PCIe FC デュアル・ポート HBA	39R6527	39R6528
NetXtreme II 1000 Express イーサネット・アダプター	39Y6066	39Y6070
Intel PRO/1000 PF サーバー・アダプター	42C1750	42C1752
NetXtreme II 1000 Express デュアル・ポート・イーサネット・アダプター	42C1780	49Y7947
QLogic 10Gb CNA	42C1800	42C1802
Brocade 10Gb デュアル・ポート CNA	42C1820	42C1822
Emulex 4 Gbps FC シングル・ポート PCIe HBA	42C2069	43W7510
Emulex 4Gbps FC デュアル・ポート PCIe HBA	42C2071	43W7512

表 22. ネットワーク・アダプター (続き)

ネットワーク・アダプター		
説明	**オプション部品番号**	**CRU 部品番号**
Emulex 8Gb FC シングル・ポート HBA	42D0485	42D0491
Emulex 8Gb FC デュアル・ポート HBA	42D0494	42D0500
QLogic 8Gb FC シングル・ポート HBA	42D0501	42D0507
QLogic 8Gb FC デュアル・ポート HBA	42D0510	42D0516
IBM 6Gb SAS HBA コントローラー	46M0907	68Y7354
Brocade 8Gb FC シングル・ポート HBA	46M6049	46M6061
Brocade 8Gb FC デュアル・ポート HBA	46M6050	46M6062
NetXtreme II 1000 Express クアッド・ポート・イーサネット・アダプター	49Y4220	49Y7949
Intel イーサネット・デュアル・ポート・サーバー・アダプター I340-T2	49Y4230	49Y4232
Intel イーサネット・クアッド・ポート・サーバー・アダプター I340-T4	49Y4240	49Y4242
Broadcom NetXtreme II デュアル・ポート 10GBaseT アダプター	49Y7910	49Y7912
Intel X520-DA2 デュアル・ポート 10GbE SFP アダプター	49Y7960	49Y7962
Brocade 4Gb FC シングル・ポート HBA	59Y1987	59Y1992
Brocade 4Gb FC デュアル・ポート HBA	59Y1993	59Y1998
Broadcom NetXtreme I クアッド・ポート GbE アダプター	90Y9352	90Y9355
Broadcom NetXtreme I デュアル・ポート GbE アダプター	90Y9370	90Y9373
Emulex 10 GbE 仮想ファブリック・アダプター III	95Y3762	9573766
Emulex 10 GbE 仮想ファブリック・アダプター III lite	95Y3768	95Y3766

- サーバーには、ユーザーのサーバー・モデルに応じて、基本的な RAID レベル 0 および 1 機能を提供するオンボード RAID コントローラーが装備されています。サーバーは、追加の RAID サポート用に購入可能な、以下のオプションの RAID アダプターをサポートします。 構成情報については、アダプターに付属の資料、または ServeRAID の資料 (http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/overview) を参照してください。

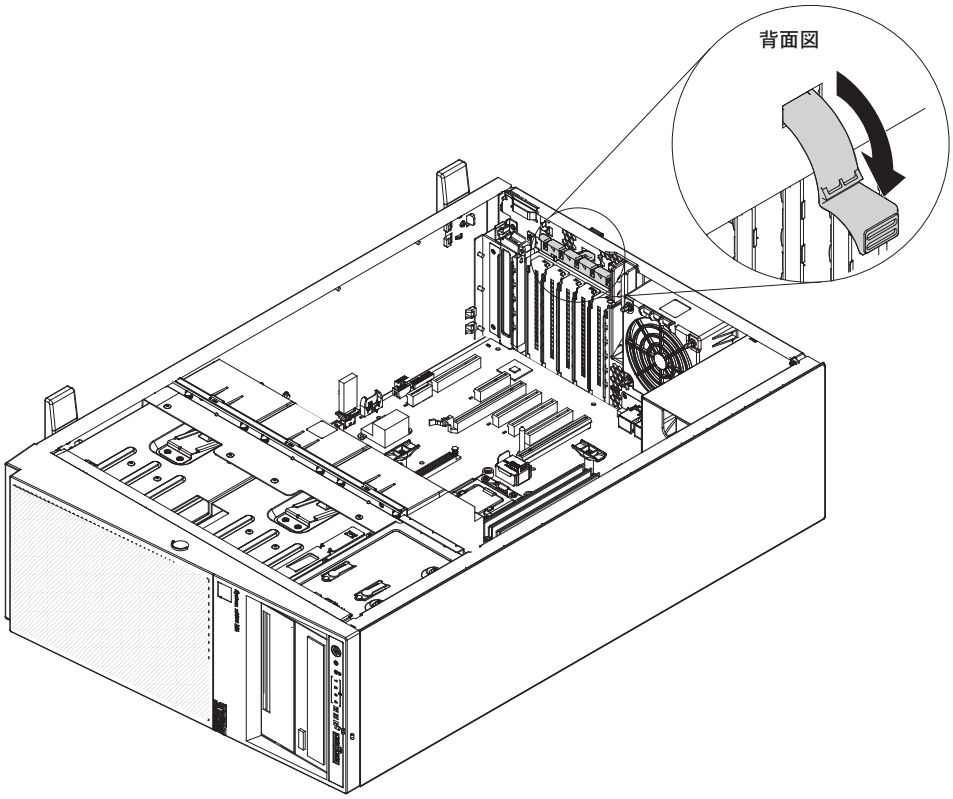
  重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

重要: サーバーの電源が入っているときに、サーバー内のコンポーネントへ静電気が放出されると、サーバーが停止して、結果的にデータが失われるおそれがあります。こうした問題が起きないよう、電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップまたはその他の接地システムを使用してください。

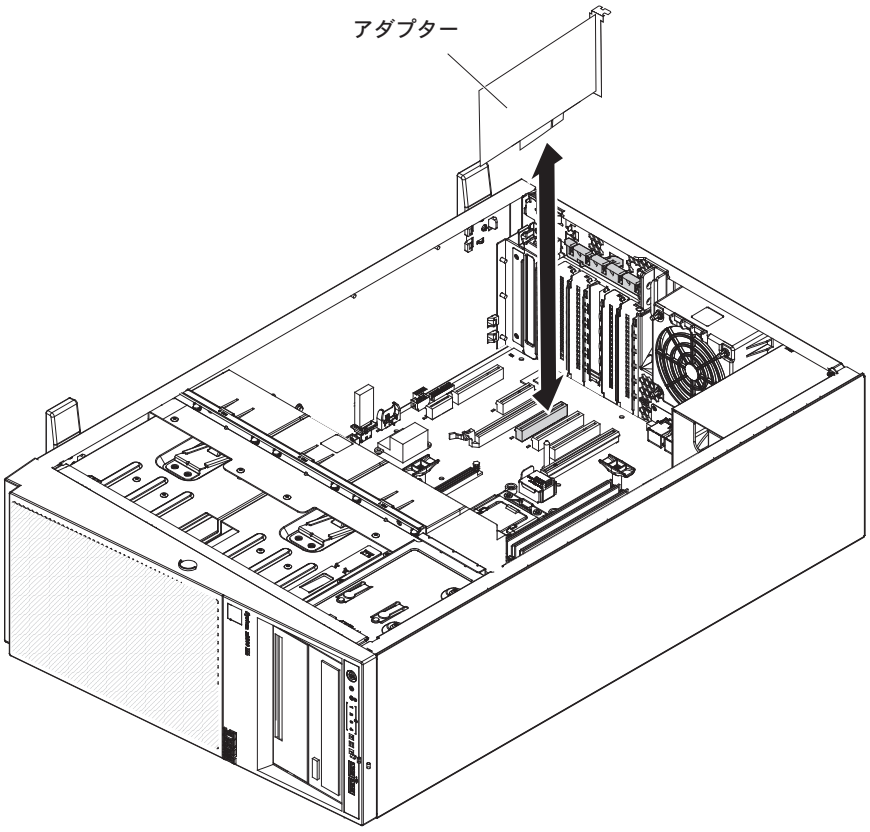
アダプターを取り付けるには、次のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. エアー・バッフルを取り外します (46 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
6. ファン・アセンブリーを取り外します (47 ページの『ファン・アセンブリーの取り外し』を参照)。
7. 既存のアダプターを取り外します (259 ページの『アダプターの取り外し』を参照)。
8. ケーブル接続方法およびジャンパーまたはスイッチ設定に関する情報については、アダプターに付属の資料を参照します。 (アダプターを取り付ける前にケーブルを配線した方が簡単な場合があります。)
9. アダプターが入っている帯電防止パッケージに触れてから、パッケージからアダプターを取り出します。
10. アダプターを取り付ける PCI スロットを決定します。
11. サーバーの背面側から、アダプター保持ブラケットのラッチを開いた位置まで押し下げます。

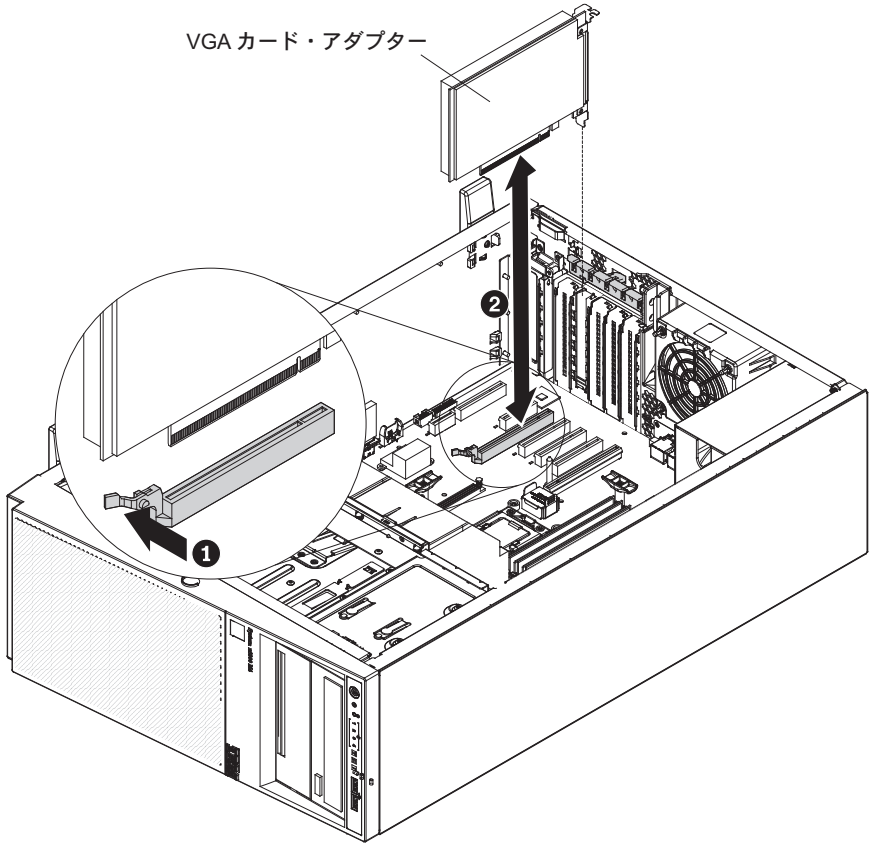


12. PCI スロット・フィラーが取り付けられている場合は取り外します。 フィラーは、将来の使用に備えて安全な場所に保管します。
13. アダプターをしっかりと拡張スロットに押し入れます。



重要:

- 挿入が不完全な場合、システム・ボードまたはアダプターを損傷する可能性があります。
- アダプターを PCI スロット 4 に取り付けている場合、もしくは PCI スロット 4 から取り外している場合、次の図のステップ 1 としてまずリリース・ラッチを押す必要があります。



14. アダプター保持ブラケットを閉じます。
15. アダプターに必要な構成タスクをすべて実行します。

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

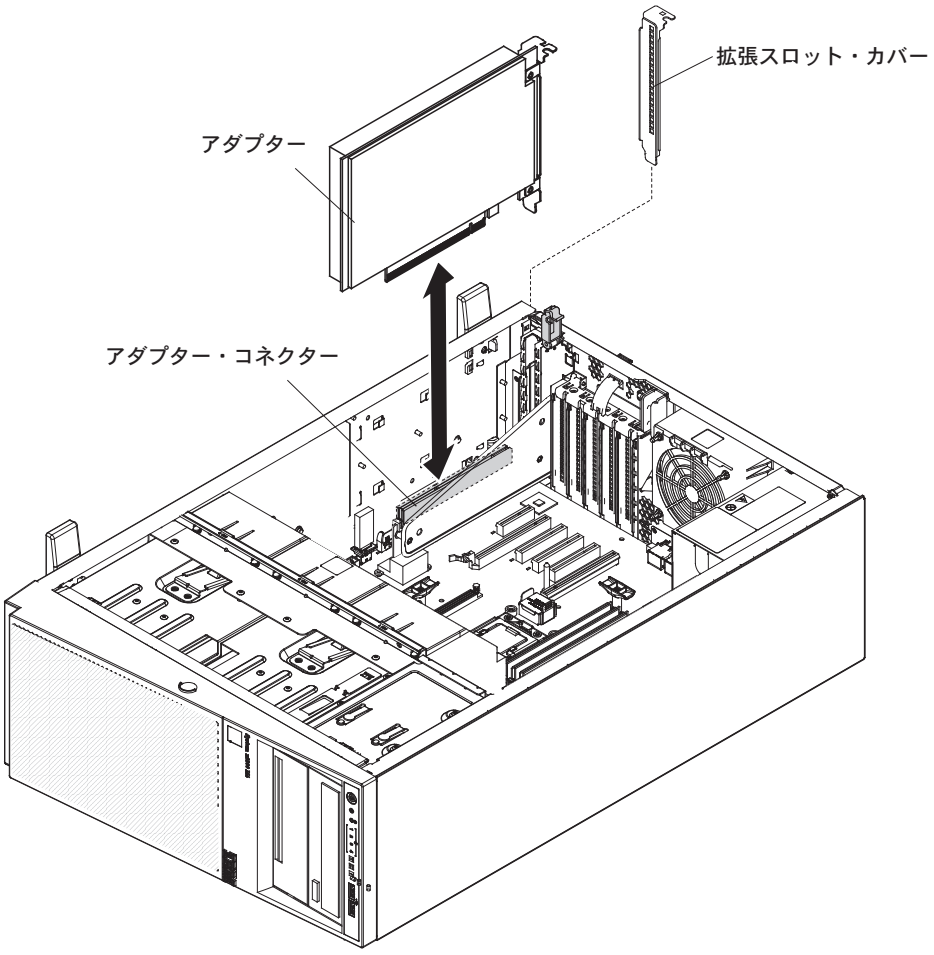
PCI-X ライザー・カード・アセンブリーのアダプターを交換するには、次のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。

5. エアー・バッフルを取り外します (46 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
6. ファン・アセンブリーを取り外します (47 ページの『ファン・アセンブリーの取り外し』を参照)。
7. 既存のアダプターを取り外します (259 ページの『アダプターの取り外し』を参照)。
8. ケーブル接続方法およびジャンパーまたはスイッチ設定に関する情報については、アダプターに付属の資料を参照します。 (アダプターを取り付ける前にケーブルを配線した方が簡単な場合があります。)
9. アダプターが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからアダプターを取り出します。
10. PCI スロット 1 を見つけます (ここに、アダプターを取り付けます)。
11. PCI-X ブラケット上のアダプター保持ブラケットを、開いた位置まで回転させます。

    注: PCI-X ブラケットに拡張スロット・カバーが取り付けられている場合は、取り外して将来の使用に備えて保管します。



12. PCI スロット・フィラーが取り付けられている場合は取り外します。 フィラーは、将来の使用に備えて安全な場所に保管します。
13. アダプターを拡張スロットにしっかりと挿入します。

重要: 挿入が不完全な場合、システム・ボードまたはアダプターを損傷する可能性があります。

14. アダプターに必要な構成タスクをすべて実行します。

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

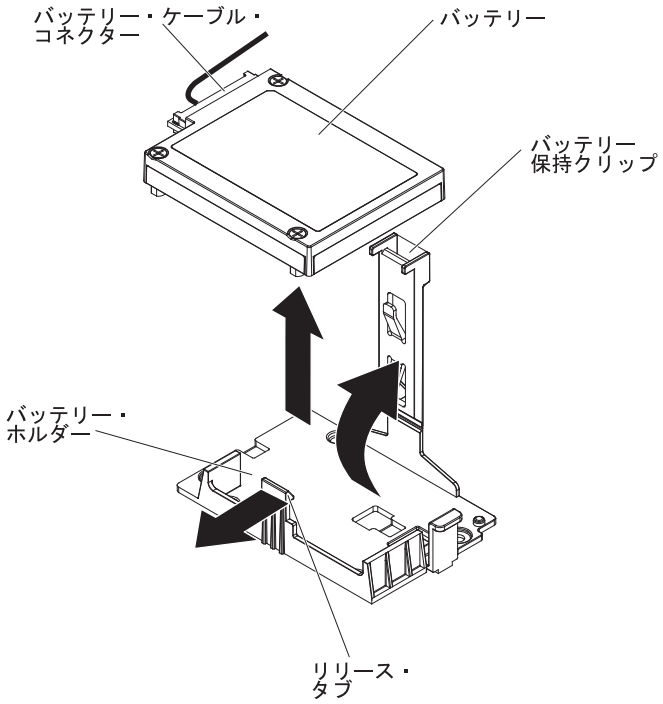
RAID アダプターのリモート・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールのサーバーからの取り外し

RAID アダプターのリモート・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールをサーバーから取り外すには、この情報を使用します。

オプションの ServeRAID アダプター・リモート・バッテリーを取り外すには、次のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。
3. すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
4. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
6. ケーブル接続方法およびジャンパーまたはスイッチ設定に関する情報については、アダプターに付属の資料を参照します。 (アダプターを取り付ける前にケーブルを配線した方が簡単な場合があります。)
7. リリース・タブを外側に引き、バッテリー保持クリップをロック解除します。



8. バッテリー上のバッテリー・ケーブル・コネクターから、バッテリー・ケーブルを外します。
9. バッテリーを持ち上げて、バッテリー・ホルダーから取り外します。

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

サーバー内での RAID アダプターのリモート・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの交換

サーバー内で RAID アダプターのリモート・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールを交換するには、この情報を使用します。

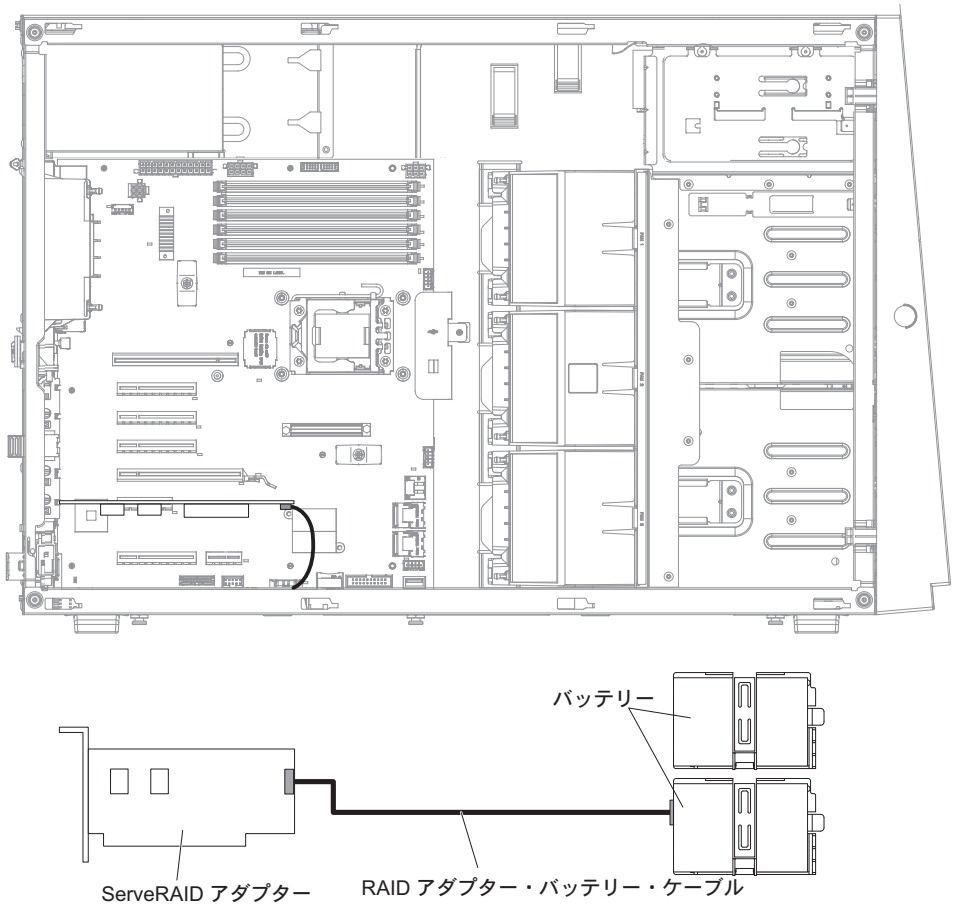
バッテリーが付属している RAID アダプターを交換する場合、バッテリーがオーバーヒートするのを防ぐために、バッテリーをサーバー内の別の場所に取り付ける必要がある場合があります。

RAID アダプター・リモート・バッテリーをサーバーに交換するには、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

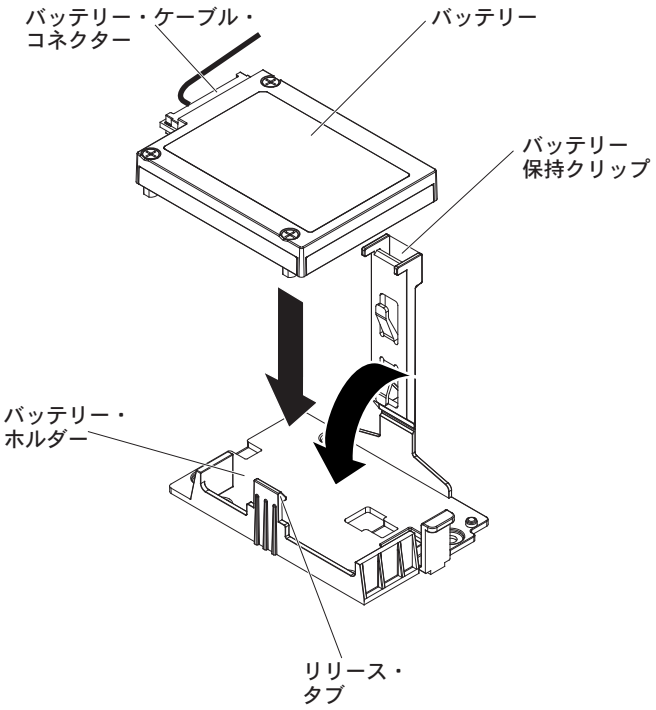
   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。

5. エアー・バッフルを取り外します (46 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
6. ファン・アセンブリーを取り外します (47 ページの『ファン・アセンブリーの取り外し』を参照)。
7. 既存の RAID アダプター・リモート・バッテリーを取り外します (269 ページの『RAID アダプターのリモート・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールのサーバーからの取り外し』を参照)。
8. ケーブル接続方法およびジャンパーまたはスイッチ設定に関する情報については、アダプターに付属の資料を参照します。 (アダプターを取り付ける前にケーブルを配線した方が簡単な場合があります。)
9. RAID アダプター・リモート・バッテリーが入っている帯電防止パッケージに触れてから、パッケージから RAID アダプター・リモート・バッテリーを取り出します。
10. ServeRAID アダプターをシステム・ボードに取り付けます (72 ページの『アダプターの取り付け』を参照)。
11. バッテリー・ケーブルの一方の端を RAID アダプターのバッテリー・コネクターに接続します。
12. 次の図に示されているように、リモート・バッテリー・ケーブルを配線します。



重要: ケーブルが挟まっていないこと、コネクターを覆っていないこと、システム・ボードのコンポーネントの障害になっていないことを確認してください。

13. 次のように、バッテリーを取り付けます。
    a. バッテリー・ケーブル・コネクターをバッテリー・ホルダー上のスロットに位置合わせします。 バッテリー・ホルダー内にバッテリーを取り付け、バッテリーがバッテリー・ホルダーにしっかりと固定されていることを確認します。



    注: リモート・バッテリーの位置は、取り付けるリモート・バッテリーのタイプによって異なります。
    b. バッテリー・ケーブルのもう一方の端を、バッテリーのバッテリー・ケーブル・コネクターに接続します。
    c. 保持クリップがカチッと音がして所定の位置に収まり、バッテリーが所定の位置にしっかりと保持されるまで、保持クリップを押し下げます。

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

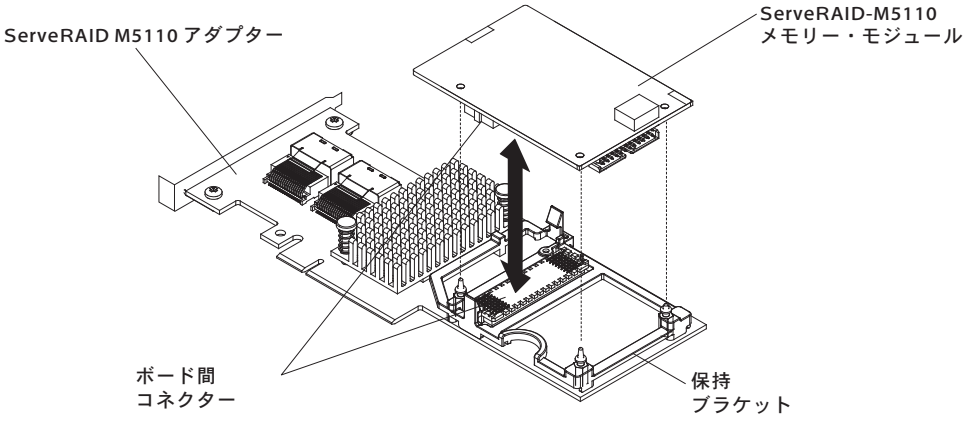
オプションの ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールの取り外し

ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールを取り外すには、この情報を使用します。

オプションの ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールを取り外すには、以下のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。
3. すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
4. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
6. ケーブル接続方法およびジャンパーまたはスイッチ設定に関する情報については、アダプターに付属の資料を参照します。 (アダプターを取り付ける前にケーブルを配線した方が簡単な場合があります。)
7. アダプターを取り外します (259 ページの『アダプターの取り外し』を参照)。
8. メモリー・モジュールをつかみ、持ち上げて ServeRAID アダプターのコネクターから取り外します。



他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。 そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

注: ServeRAID アダプターが取り外されている場合、ソフトウェア RAID はサポートされません。 本システムでは、ハードウェア RAID 構成からのソフトウェア RAID 機能のダウングレードをサポートしていません。

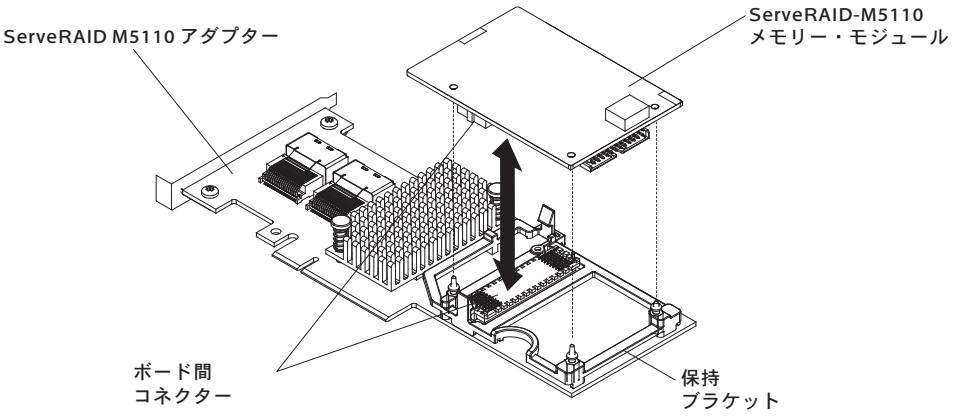
オプションの ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールの交換

ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールを交換するには、この情報を使用します。

オプションの ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールを交換するには、以下のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。
3. すべての外部ケーブルおよび電源コードを抜きます。
4. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
6. エアー・バッフルを取り外します (46 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
7. ファン・アセンブリーを取り外します (47 ページの『ファン・アセンブリーの取り外し』を参照)。
8. メモリー・モジュールを取り付ける ServeRAID アダプターを見つけます。 必要に応じて既存の ServeRAID アダプターを取り外します (273 ページの『オプションの ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールの取り外し』を参照)。
9. アダプターが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからアダプターを取り出します。
10. メモリー・モジュールを ServeRAID アダプターのコネクターと位置合わせし、しっかり固定されるまでコネクターに押し込みます。



11. ServeRAID アダプターを再取り付けします (72 ページの『アダプターの取り付け』を参照)。
12. 左サイド・カバーを閉じてロックします (105 ページの『左サイド・カバーの交換』を参照)。
13. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

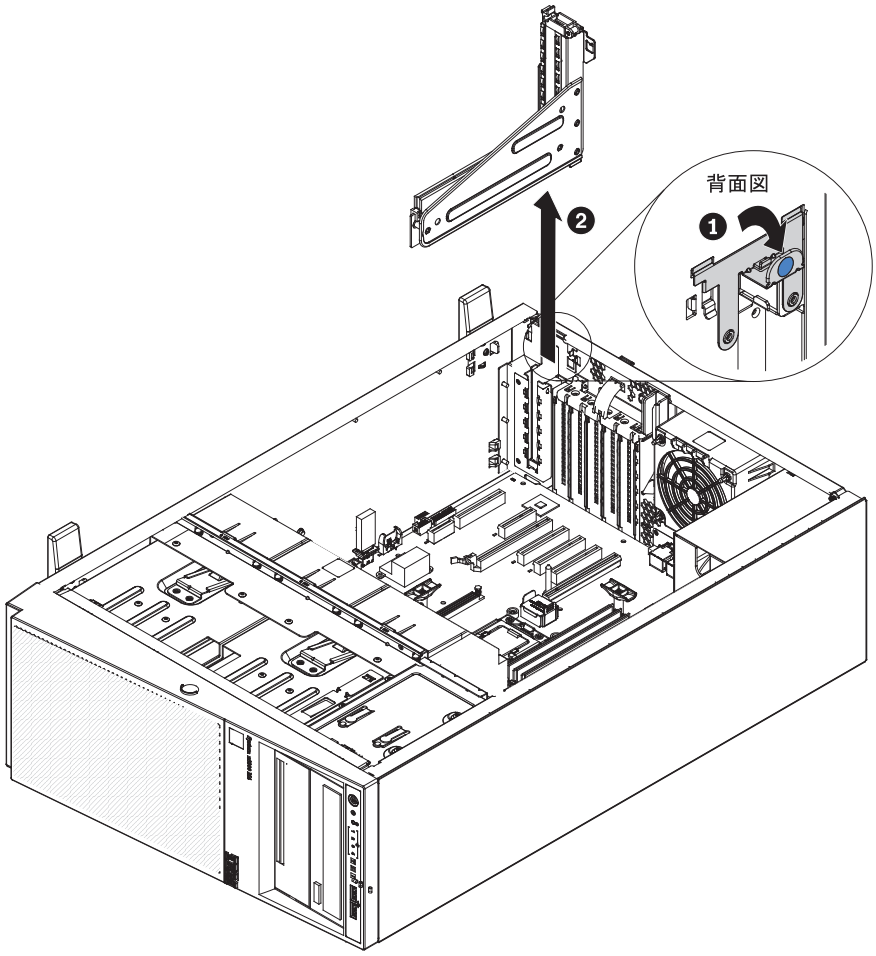
PCI-X ライザー・カード・アセンブリーの取り外し

PCI-X ライザー・カード・アセンブリーを取り外すには、この情報を使用します。

PCI-X ライザー・カード・アセンブリーを取り外すには、次のステップを行います。

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. すべての外部ケーブルおよび電源コードを抜きます。
4. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
6. PCI-X ライザー・カード・アセンブリーにアダプターが取り付けられている場合は、そのアダプターを取り外します (72 ページの『アダプターの取り付け』を参照)。
7. サーバー・シャーシ背面に PCI-X ライザー・カード・アセンブリーを固定しているリリース・ラッチを押します。



8. PCI-X ライザー・カード・アセンブリーを PCI スロット 1 から引き抜き、将来の使用に備えて保管します。
9. PCI-X ライザー・カード・アセンブリーの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

PCI-X ライザー・カード・アセンブリーの交換

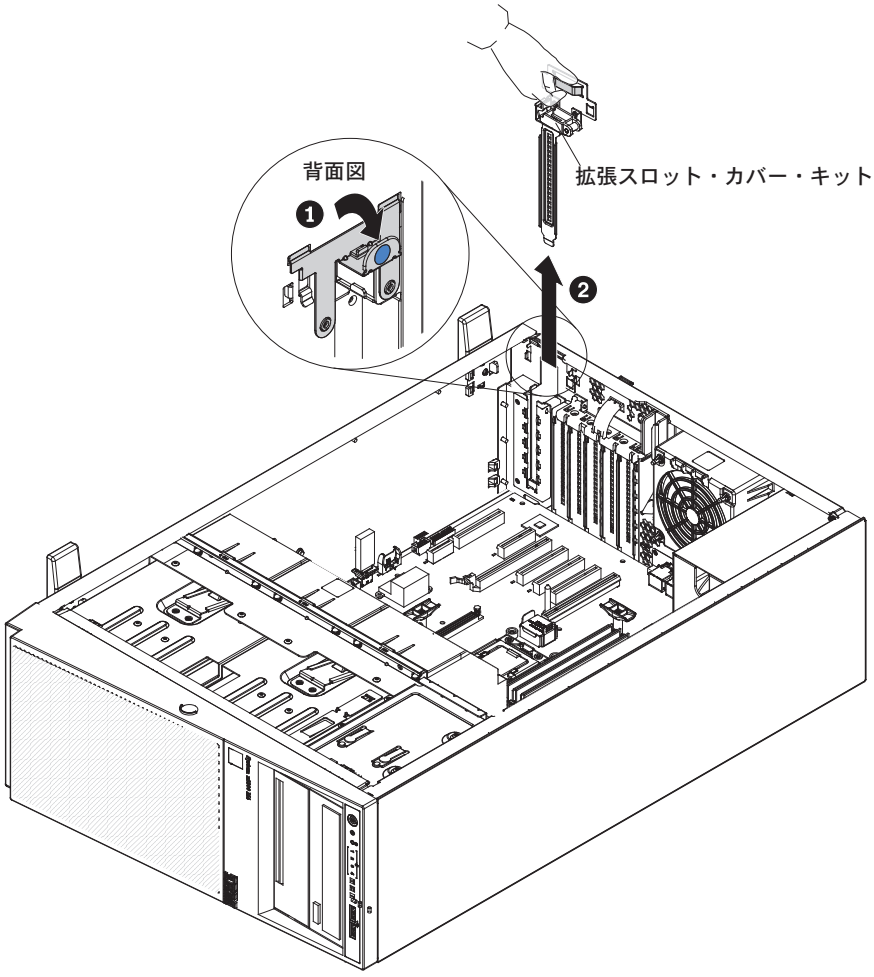
PCI-X ライザー・カード・アセンブリーを交換するには、この情報を使用します。

PCI-X ライザー・カード・アセンブリーを交換するには、次のステップを実行します。

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。

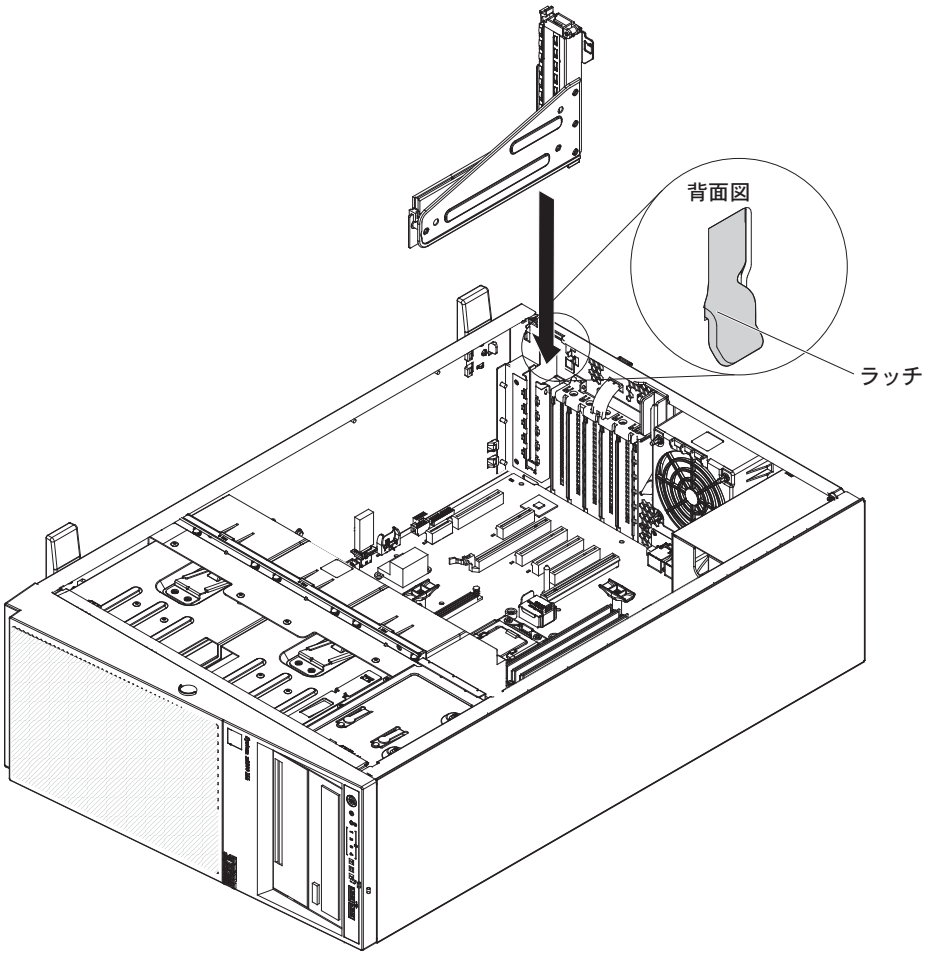
5. エアー・バッフルを取り外します (46 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
6. ファン・アセンブリーを取り外します (47 ページの『ファン・アセンブリーの取り外し』を参照)。
7. PCI-X ライザー・カード・アセンブリーが入っている帯電防止パッケージに触れてから、パッケージから PCI-X ライザー・カード・アセンブリーを取り出します。
8. PCI スロット 1 を見つけます (ここに、PCI-X ライザー・カード・アセンブリーを取り付けます)。必要であれば、既存の PCI-X ライザー・カード・アセンブリーを取り外します (275 ページの『PCI-X ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
9. 拡張スロット・カバー・キットのラッチを、サーバーの背面側から押します (次の図のステップ 1 を参照)。
10. PCI スロット 1 にある拡張スロット・カバー・キットを取り外し、将来の使用に備えて保管します。 (次の図のステップ 2 を参照)。



11. PCI-X ライザー・カード・アセンブリーをしっかりと PCI スロット 1 に押し込みます。

    重要: 挿入が不完全な場合、システム・ボードまたはアダプターを損傷する可能性があります。

12. PCI-X ライザー・カード・アセンブリーの背面にあるラッチがサーバー・シャーシ背面に固定されていることを確認します。



他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

システム・バッテリーの取り外し

システム・バッテリーを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

以下の注では、バッテリーの交換時に考慮すべき事項について説明します。

- IBM は安全性を考慮してこの製品を設計しました。起こりうる危険な事態を防止するために、リチウム・バッテリーの正しい取り扱いが必要です。 バッテリーを交換する場合、以下の説明を厳守する必要があります。

  注: 米国の場合、バッテリーの廃棄に関しては、1-800-IBM-4333 に電話してください。
- オリジナルのリチウム・バッテリーを、重金属バッテリーまたは重金属コンポーネントを含むバッテリーに交換する場合、以下の環境上の考慮事項に配慮する必要があります。重金属を含むバッテリーおよび蓄電池は、通常の家庭ごみと一緒

に廃棄しないでください。 製造者、流通業者、または販売代理人によって無料で回収され、再利用されるか、正しい方法で廃棄されます。

- 交換用バッテリーを注文するには、米国内では 1-800-IBM-SERV に、カナダでは 1-800-465-7999 または 1-800-465-6666 に電話してください。米国およびカナダ以外では、サポート・センターまたは指定のビジネス・パートナーにご連絡ください。

  注: バッテリーの交換後は、サーバーを再構成し、システム日付と時刻をリセットしなければなりません。

  安全 2

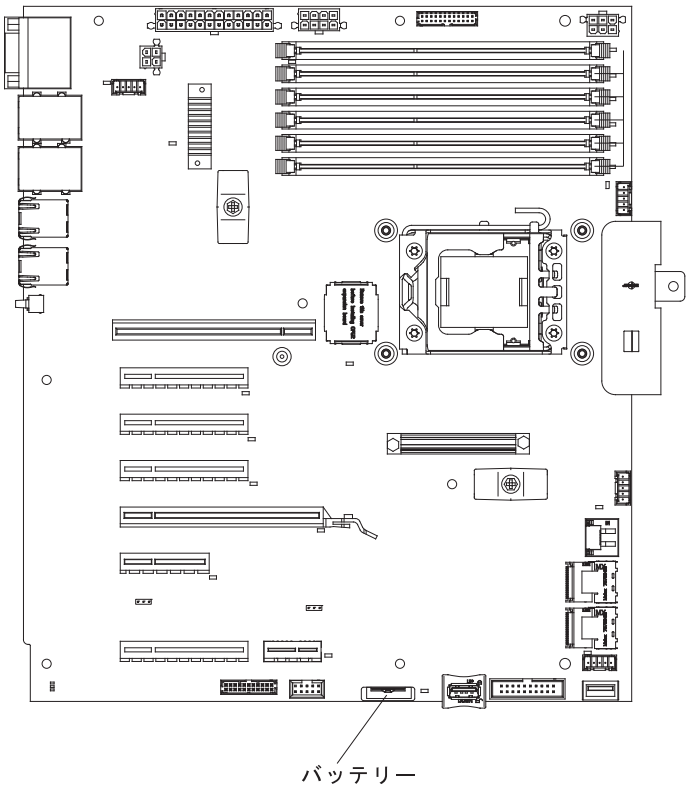
  注意:
  リチウム・バッテリーを交換する場合は、IBM 部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。 システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。 バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

  次のことはしないでください。

  - **水に投げ込む、あるいは浸す**
  - **100℃ (華氏 212 度) 以上に過熱**
  - **修理または分解**

  バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

システム・ボード・バッテリーを取り外すには、次のステップを行います。

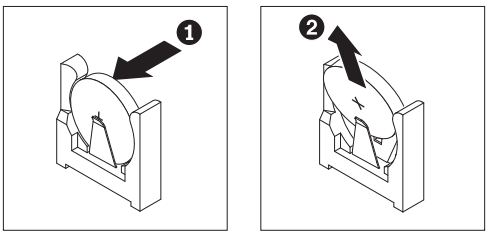


手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. すべての外部ケーブルおよび電源コードを抜きます。
4. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. 左サイド・カバーを取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
6. 次のように、システム・バッテリーを取り外します。
   a. バッテリー・ホルダーにゴム製のカバーが付いている場合は、指を使ってバッテリー・コネクターからバッテリー・カバーを持ち上げます。
   b. 指を 1 本使ってバッテリーをソケットから外れるように押して、横に傾けます。

      重要: 過度の力でバッテリーを傾けたり押したりしないでください。
   c. 親指と人差し指を使用してバッテリーをソケットから持ち上げます。



重要: 過度の力でバッテリーを持ち上げないでください。正しくバッテリーを取り外さないと、システム・ボード上のソケットが損傷する可能性があります。 ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

7. バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。 詳しくは、IBM *Documentation* CD の「*IBM Environmental Notices and User's Guide*」を参照してください。

システム・バッテリーの交換

システム・バッテリーを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

以下の注では、サーバー内でシステム・ボード・バッテリーを交換するときに考慮する必要のある事項について説明します。

- システム・ボード・バッテリーを交換するときは、同じ製造元の同じタイプのリチウム・バッテリーと交換する必要があります。
- 交換バッテリーを注文するには、米国内では 1-800-426-7378 に、カナダ内では 1-800-465-7999 または 1-800-465-6666 に電話してください。米国およびカナダ以外では、 IBM 営業担当員または認可販売店に電話してください。
- システム・ボード・バッテリーの交換後は、サーバーを再構成し、システム日付と時刻をリセットしなければなりません。
- 起こり得る危険を回避するために、以下の安全の注記をお読みになり、それに従ってください。

安全 2

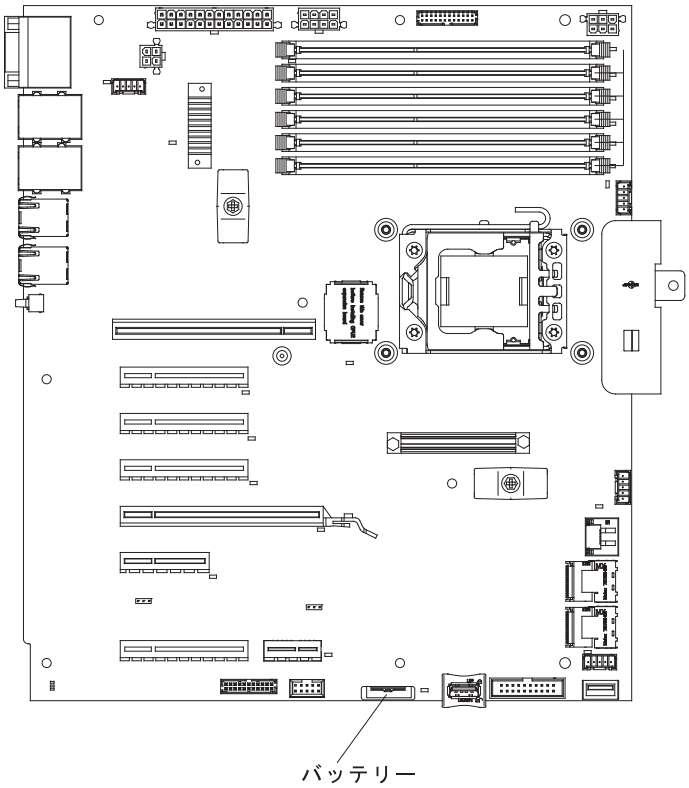
注意:
リチウム・バッテリーを交換する場合は、IBM 部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。 システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。 バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

次のことはしないでください。

- **水に投げ込む、あるいは浸す**
- **100℃ (華氏 212 度) 以上に過熱**
- **修理または分解**

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

システム・ボード・バッテリーを交換するには、次のステップを実行してください。



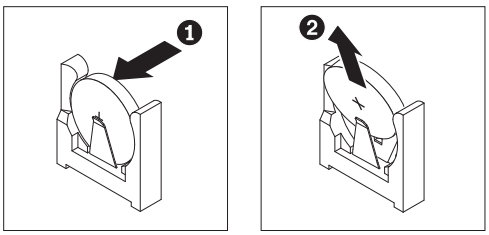
手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. すべての外部ケーブルおよび電源コードを抜きます。

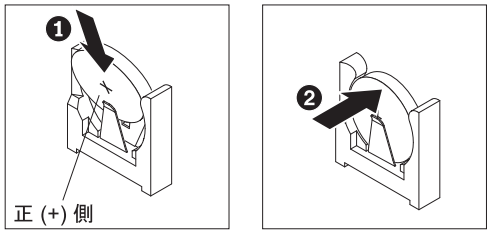
4. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. 左サイド・カバーを取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
6. エアー・バッフルを取り外します (46 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
7. ファン・アセンブリーを取り外します (47 ページの『ファン・アセンブリーの取り外し』を参照)。
8. 次のように、システム・バッテリーを取り外します。
   a. バッテリー・ホルダーにゴム製のカバーが付いている場合は、指を使ってバッテリー・コネクターからバッテリー・カバーを持ち上げます。
   b. 指を 1 本使ってバッテリーをソケットから外れるように押して、横に傾けます。

      重要: 過度の力でバッテリーを傾けたり押したりしないでください。
   c. 親指と人差し指を使用してバッテリーをソケットから持ち上げます。



   重要: 過度の力でバッテリーを持ち上げないでください。正しくバッテリーを取り外さないと、システム・ボード上のソケットが損傷する可能性があります。 ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。
9. 新しいバッテリーを次のように挿入します。
   a. 正 (+) 記号が向こう側になるようにバッテリーを置きます。
   b. バッテリーをソケットにはめ、カチッと音がするまで押して所定の位置に収めます。バッテリー・クリップがバッテリーをしっかり保持していることを確認します。



10. カバーを取り付けます (105 ページの『左サイド・カバーの交換』を参照)。
11. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。

    注: サーバーの電源コードを電源コンセントに接続した後、約 3 分間待たないと、電源制御ボタンがアクティブになりません。

12. Setup ユーティリティーを開始して、構成をリセットします。
    a. システムの日付と時刻を設定します。
    b. 始動パスワードを設定します。
    c. サーバーを再構成します。

    115 ページの『Setup ユーティリティーの開始』を参照してください。
13. バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。 詳しくは、IBM *Documentation* CD の「*IBM Environmental Notices and User's Guide*」を参照してください。

タスクの結果

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

前面 USB コネクターとオペレーター情報パネル・アセンブリーの取り外し

前面 USB コネクターとオペレーター情報パネル・アセンブリーを取り外すには、この情報を使用します。

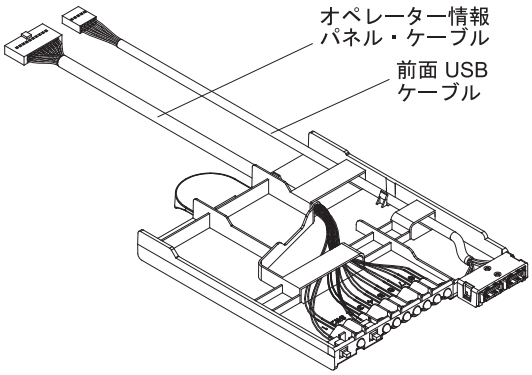
このタスクについて

前面 USB コネクターとオペレーター情報パネル・アセンブリーを取り外すには、次のステップを実行してください。

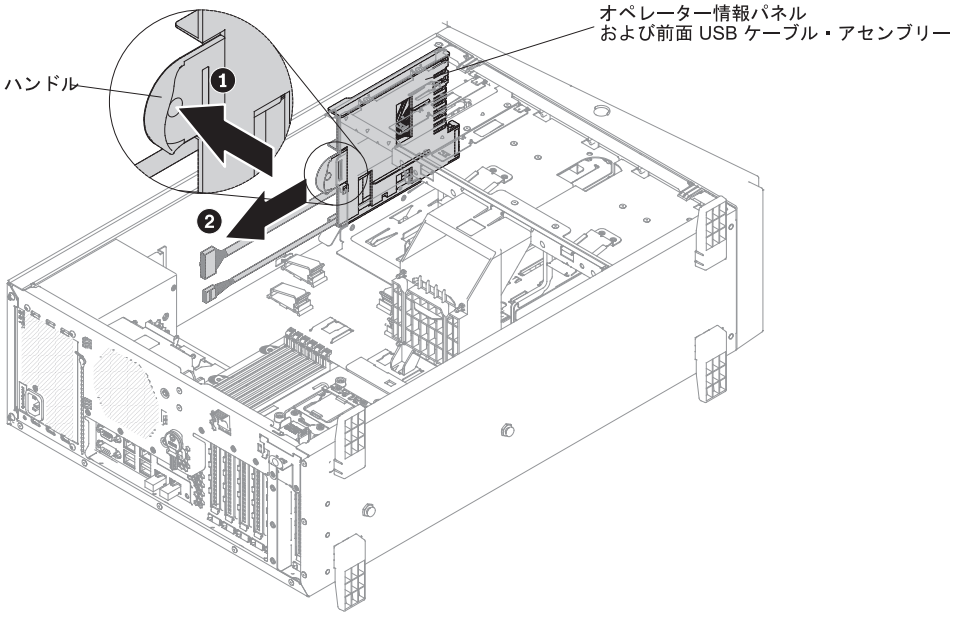
手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. すべての外部ケーブルおよび電源コードを抜きます。
4. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. 左サイド・カバーを取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
6. エアー・バッフルを取り外します (46 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
7. ファン・アセンブリーを取り外します (47 ページの『ファン・アセンブリーの取り外し』を参照)。
8. 以下の図に、USB コネクターとオペレーター情報パネル・アセンブリーを示します。



9. 図に示すように、ハンドルを押して、USB コネクターとオペレーター情報アセンブリーを手前に引いてサーバーから取り外します。



10. USB コネクターとオペレーター情報アセンブリーの返却を求められた場合は、すべての梱包上の指示に従い、配送用に提供された梱包材を使用してください。

前面 USB コネクターとオペレーター情報パネル・アセンブリーの交換

前面 USB コネクターとオペレーター情報パネル・アセンブリーを交換するには、この情報を使用します。

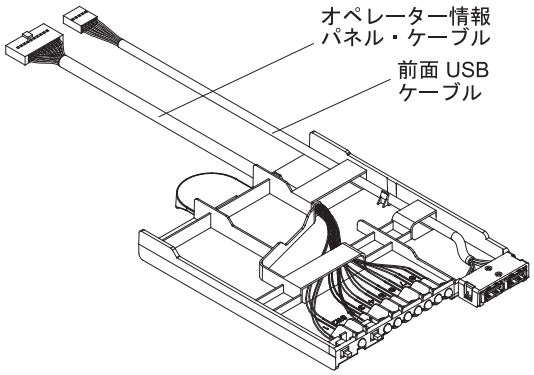
このタスクについて

前面 USB コネクターとオペレーター情報パネル・アセンブリーを交換するには、次のステップを実行してください。

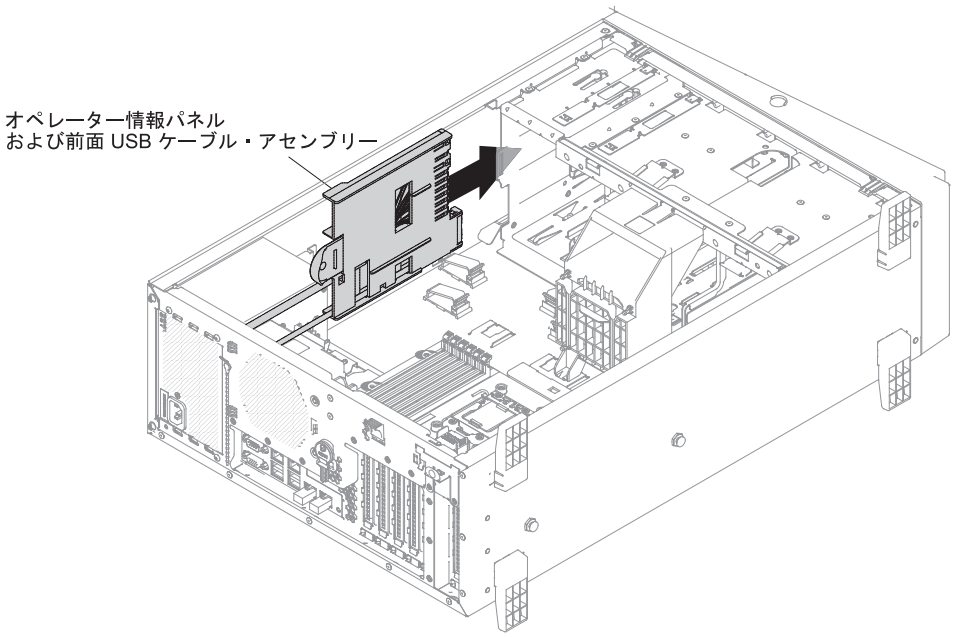
手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. すべての外部ケーブルおよび電源コードを抜きます。
4. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

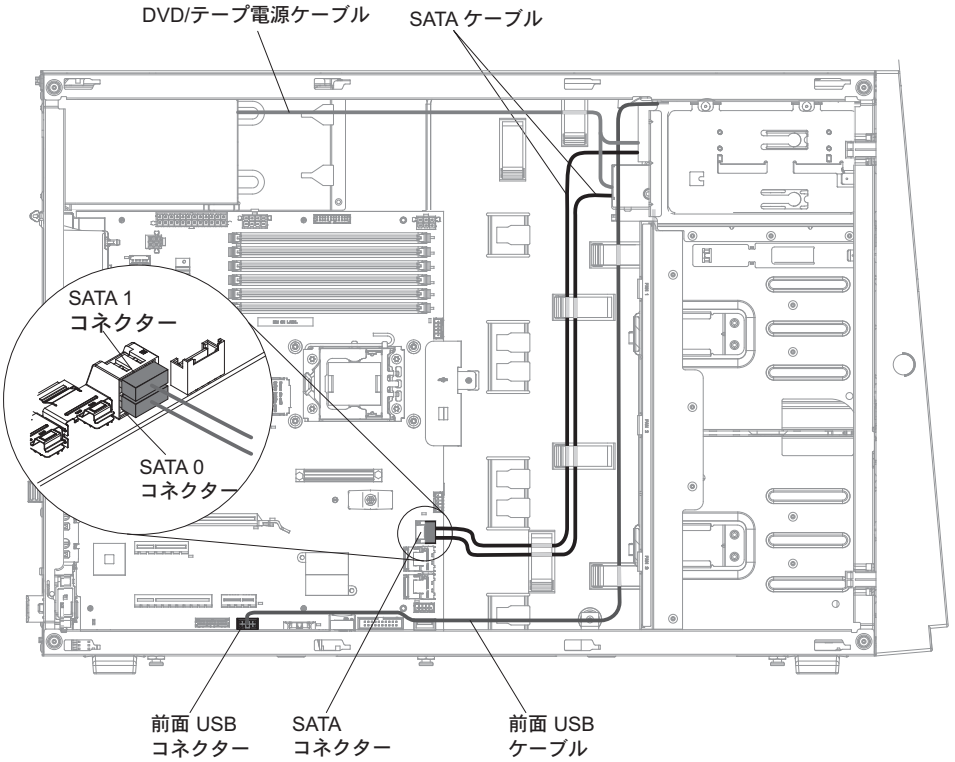
   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. 左サイド・カバーを取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
6. エアー・バッフルを取り外します (46 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
7. ファン・アセンブリーを取り外します (47 ページの『ファン・アセンブリーの取り外し』を参照)。
8. 以下の図に、USB コネクターとオペレーター情報パネル・アセンブリーを示します。



9. USB コネクターとオペレーター情報パネル・アセンブリーが存在する場合には、サーバーから取り外します。 284 ページの『前面 USB コネクターとオペレーター情報パネル・アセンブリーの取り外し』を参照してください。
10. 図に示すように、USB コネクターとオペレーター情報アセンブリーを適切な位置にスライドさせます。



11. USB ケーブルをシステム・ボード上の前面 USB コネクターに接続します。次の図に示すように USB ケーブルを配線します。



12. サーバーのケーブル・クリップで、ケーブルを固定します。

タスクの結果

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

2.5 型ディスク・バックプレーンの取り外し

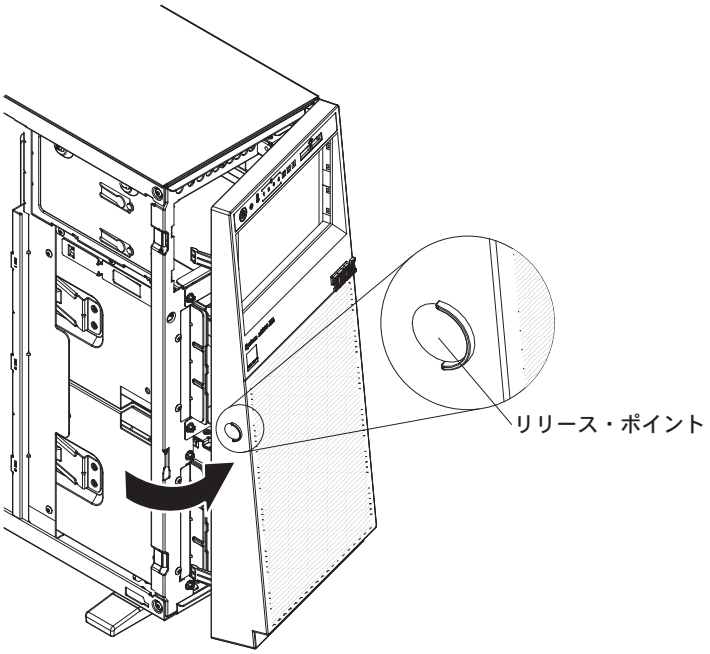
2.5 型ディスク・バックプレーンを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

2.5 型ディスク・バックプレーンを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

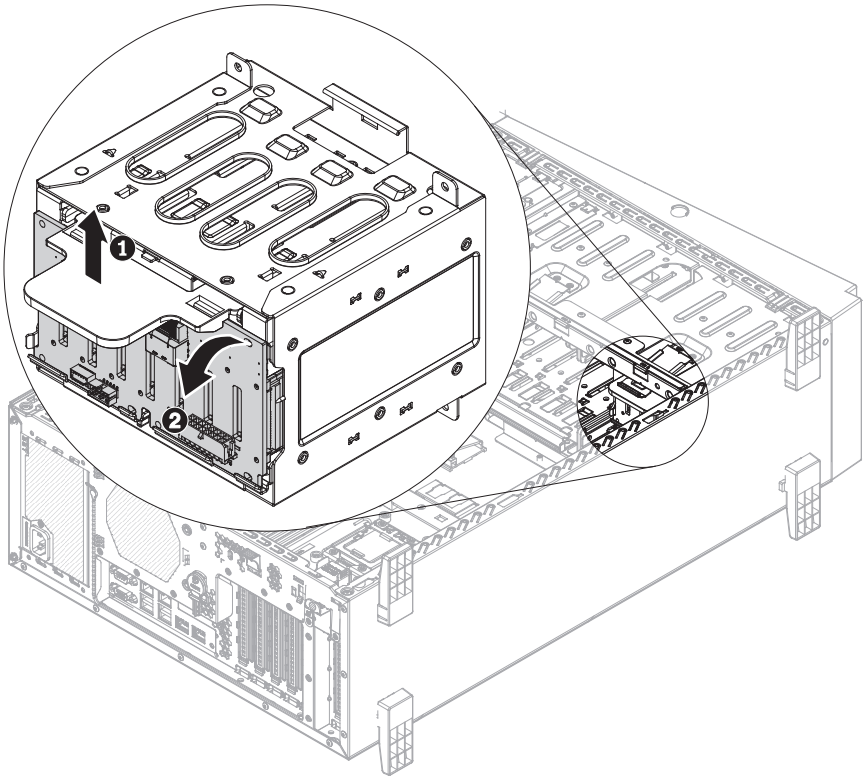
1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. すべての外部ケーブルおよび電源コードを抜きます。
4. ベゼルの左端にあるリリース・ポイントからベゼルを開き、ベゼルの左側をサーバーから離すように回転させます。

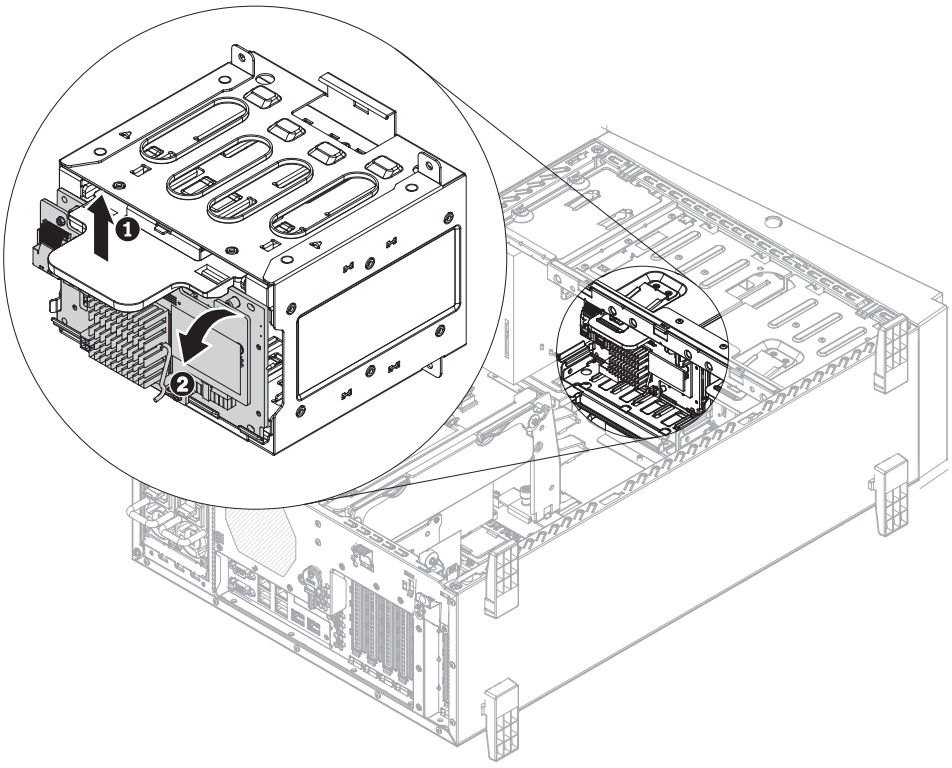


5. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
6. 左サイド・カバーを取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
7. 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り外します (62 ページの『2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け』を参照)。
8. エアー・バッフルを取り外します (46 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
9. ファン・アセンブリーを取り外します (47 ページの『ファン・アセンブリーの取り外し』を参照)。

10. 電源ケーブル、信号ケーブル、および構成ケーブルが 2.5 型ハード・ディスク・バックプレーンに接続されている箇所を確認してから、これらのケーブルを切り離します (209 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照)。
11. バックプレーンを定位置に保持している保持ラッチを持ち上げてから、バックプレーンの上端をつかんで、サーバーの背面に向かって回転させます。 バックプレーンがドライブ・ケージ保持タブから外れたら、サーバーから取り出します。





12. 残っているバックプレーンを取り外すために、ステップ 10 と 11 を繰り返します。
13. ドライブ・バックプレーンの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

2.5 型ディスク・バックプレーンの交換

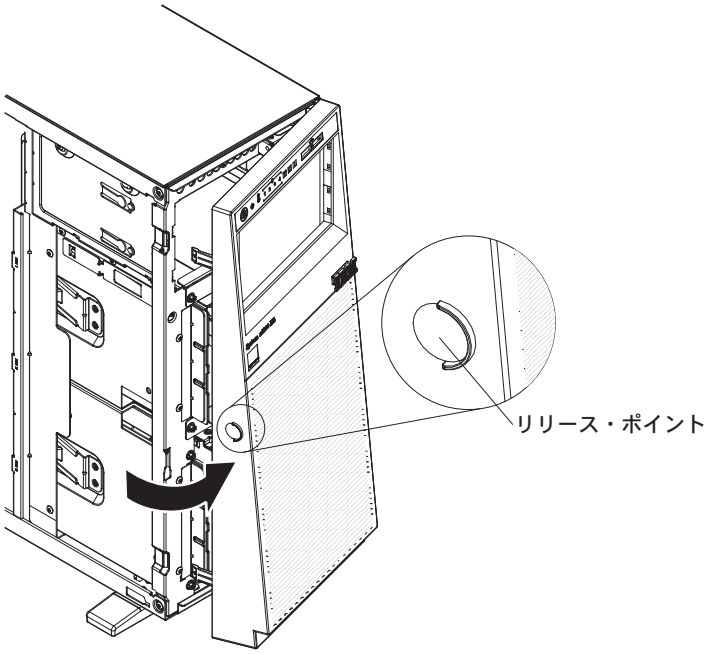
2.5 型ディスク・バックプレーンを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

2.5 型ディスク・バックプレーンを交換するには、次のステップを実行してください。

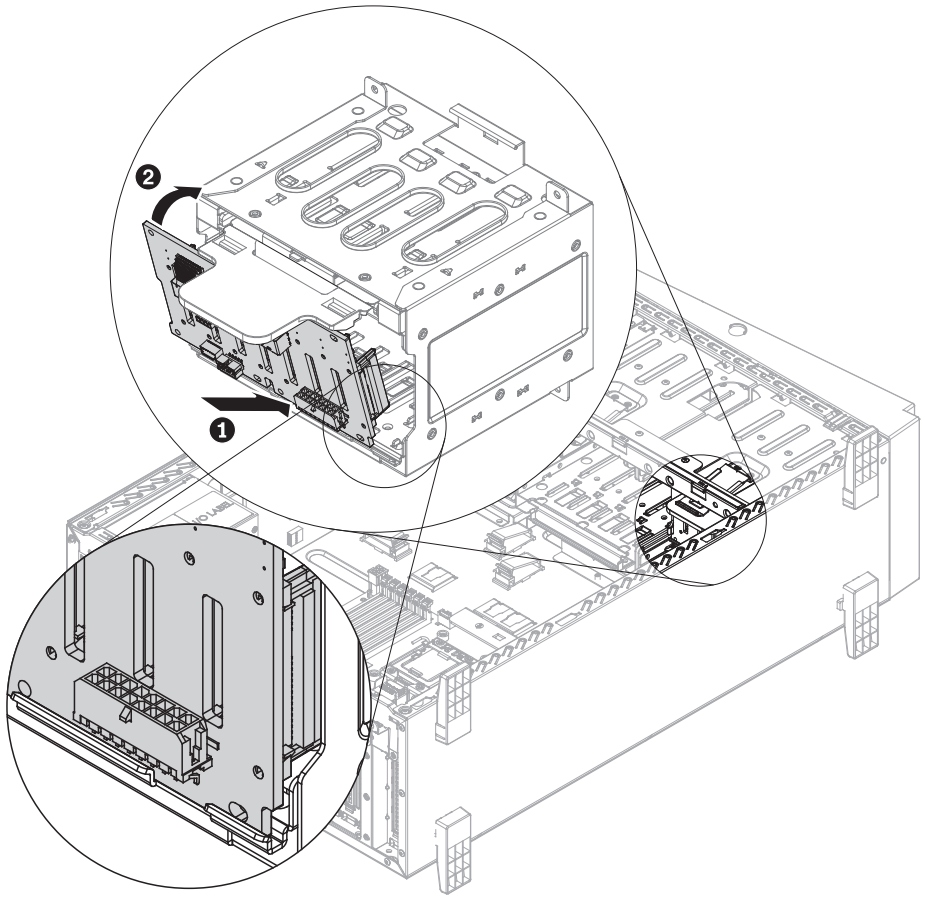
手順

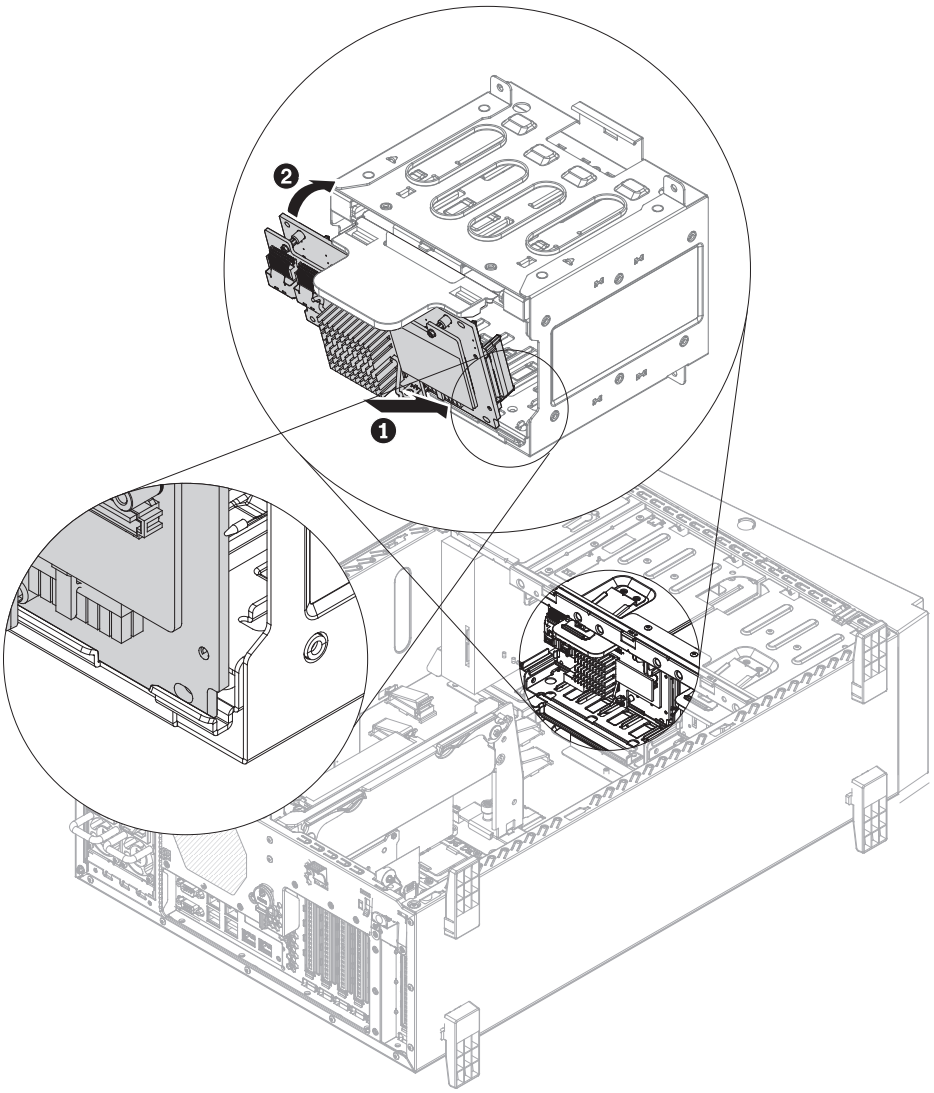
1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. すべての外部ケーブルおよび電源コードを抜きます。
4. ベゼルの左端にあるリリース・ポイントからベゼルを開き、ベゼルの左側をサーバーから離すように回転させます。



5. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
6. 左サイド・カバーを取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
7. エアー・バッフルを取り外します (46 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
8. ファン・アセンブリーを取り外します (47 ページの『ファン・アセンブリーの取り外し』を参照)。
9. 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り外します (62 ページの『2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け』を参照)。
10. 2.5 型ハード・ディスク・バックプレーンが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージから 2.5 型バックプレーンを取り出します。
11. 既存の 2.5 型ハード・ディスク・バックプレーンを取り外します (288 ページの『2.5 型ディスク・バックプレーンの取り外し』を参照)。
12. 2.5 型ハード・ディスク・バックプレーンをドライブ・ケージ保持タブに置いてから、バックプレーンの上部をロケーター・ピンに向かって回転させ、ラッチを定位置に収めます。





13. 電源ケーブル、信号ケーブル、および構成ケーブルを 2.5 型ハード・ディスク・バックプレーンに接続します (39 ページの『ハード・ディスク・バックプレーン・コネクター』および 209 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照)。
14. さらにバックプレーンを取り付ける場合には、上記のステップ 10 から 12 までを繰り返します。
15. 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り付けます (62 ページの『2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け』を参照)。
16. ベゼルを閉じます。
17. ファン・アセンブリーを取り付けます (102 ページの『ファン・アセンブリーの取り付け』を参照)。
18. エアー・バッフルを取り付けます (232 ページの『エアー・バッフルの交換』を参照)。
19. 左サイド・カバーを取り付け、ロックします (105 ページの『左サイド・カバーの交換』を参照)。

20. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。
21. ドライブ・バックプレーンの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

タスクの結果

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

3.5 型ディスク・バックプレーンの取り外し

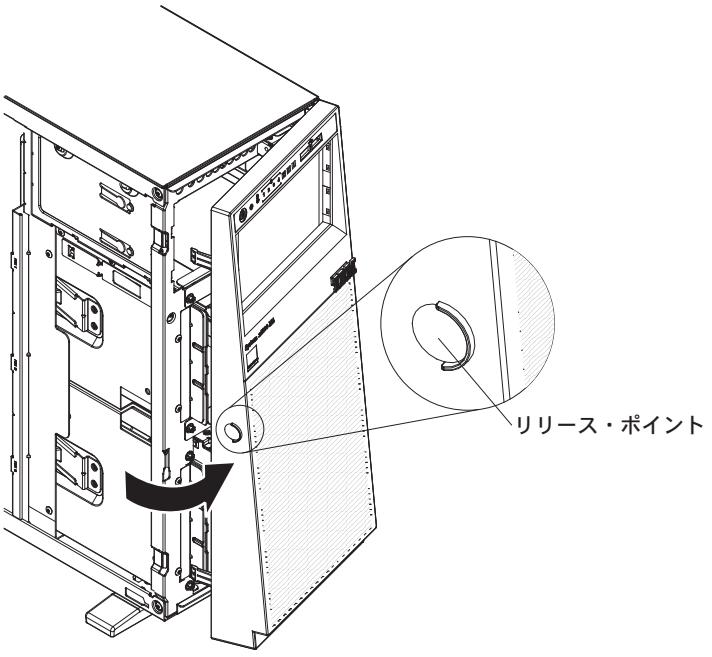
3.5 型ディスク・バックプレーンを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

3.5 型ディスク・バックプレーンを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

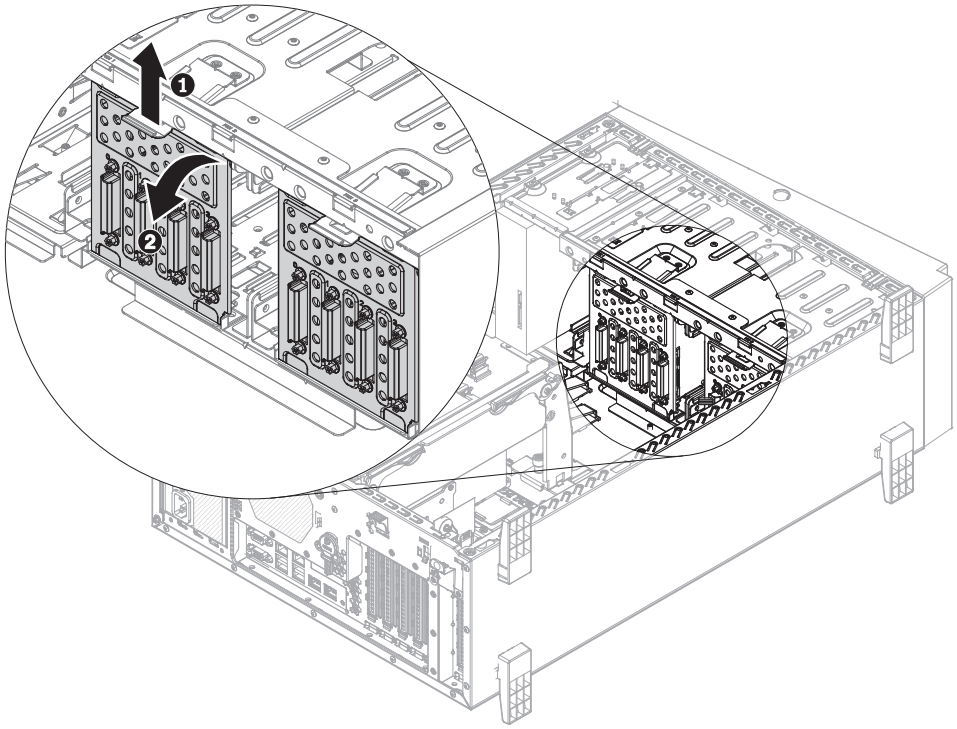
1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. すべての外部ケーブルおよび電源コードを抜きます。
4. ベゼルの左端にあるリリース・ポイントからベゼルを開き、ベゼルの左側をサーバーから離すように回転させます。

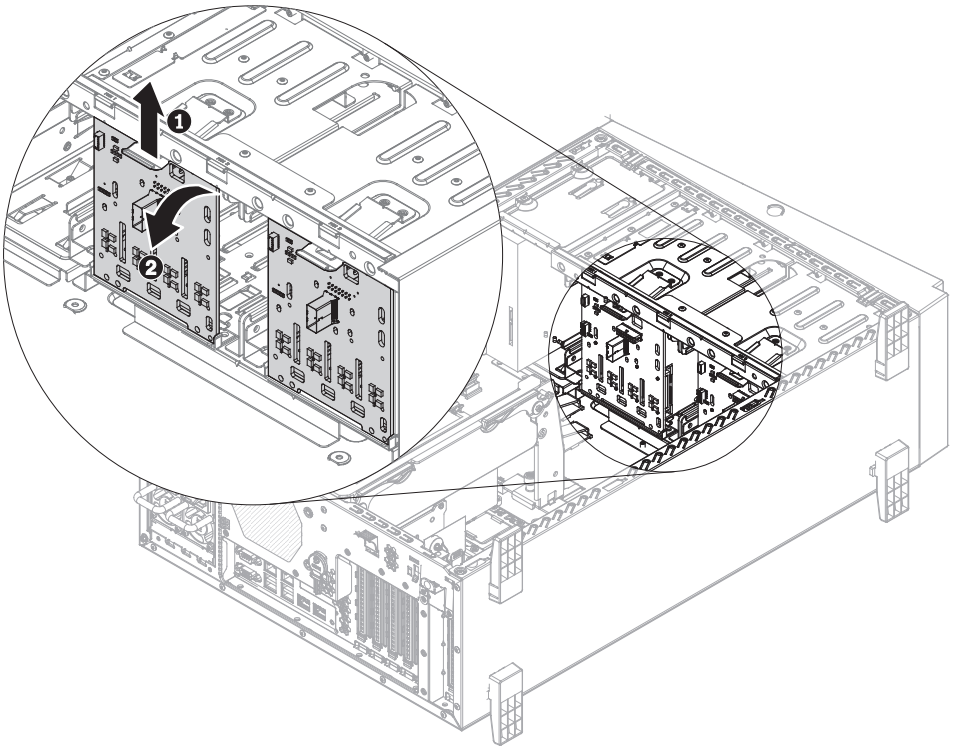


5. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。

6. 左サイド・カバーを取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
7. 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り外します (64 ページの『3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け』を参照)。
8. エアー・バッフルを取り外します (46 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
9. ファン・アセンブリーを取り外します (47 ページの『ファン・アセンブリーの取り外し』を参照)。
10. 電源ケーブル、信号ケーブル、および構成ケーブルが 3.5 型ハード・ディスク・バックプレーンに接続されている箇所を確認してから、これらのケーブルを切り離します (209 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照)。
11. バックプレーンを定位置に保持している保持ラッチを持ち上げてから、バックプレーンの上端をつかんで、サーバーの背面に向かって回転させます。 バックプレーンがドライブ・ケージ保持タブから外れたら、サーバーから取り出します。





12. 残っているバックプレーンを取り外すために、ステップ 10 と 11 を繰り返します。
13. ドライブ・バックプレーンの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

3.5 型ディスク・バックプレーンの交換

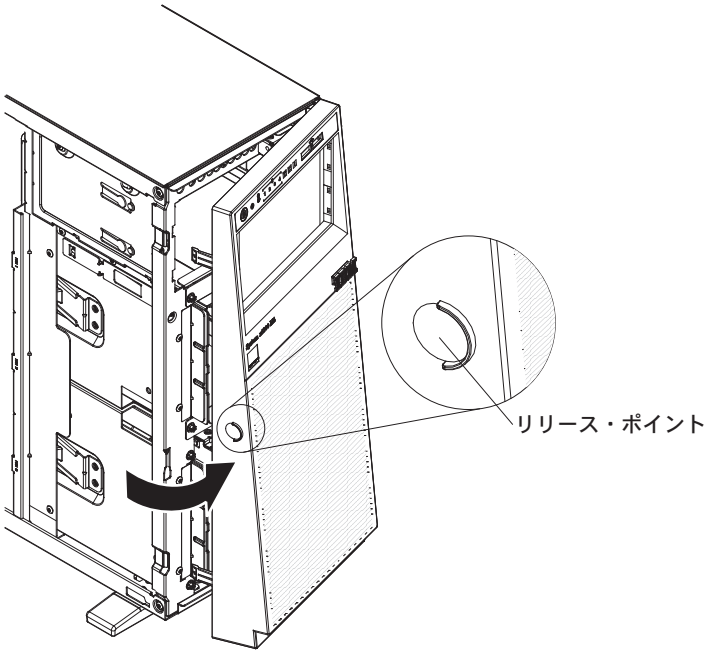
3.5 型ディスク・バックプレーンを交換するには、この情報を使用します。

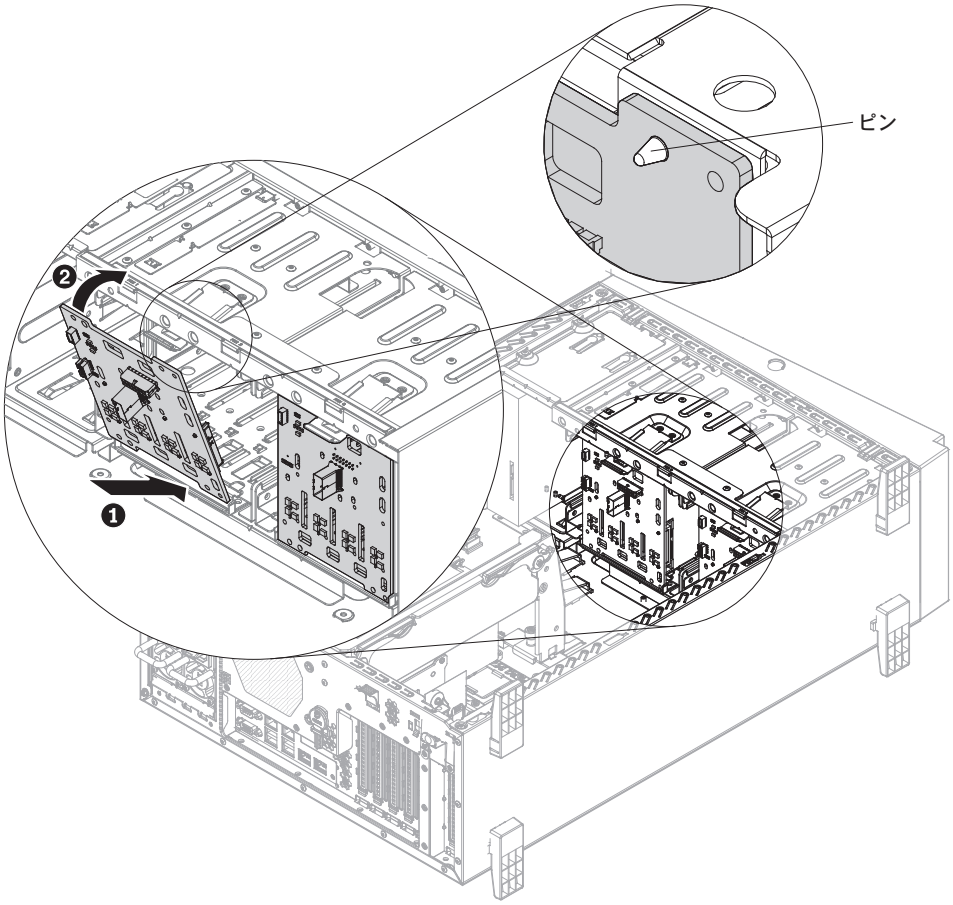
このタスクについて

3.5 型ディスク・バックプレーンを交換するには、次のステップを実行してください。

手順

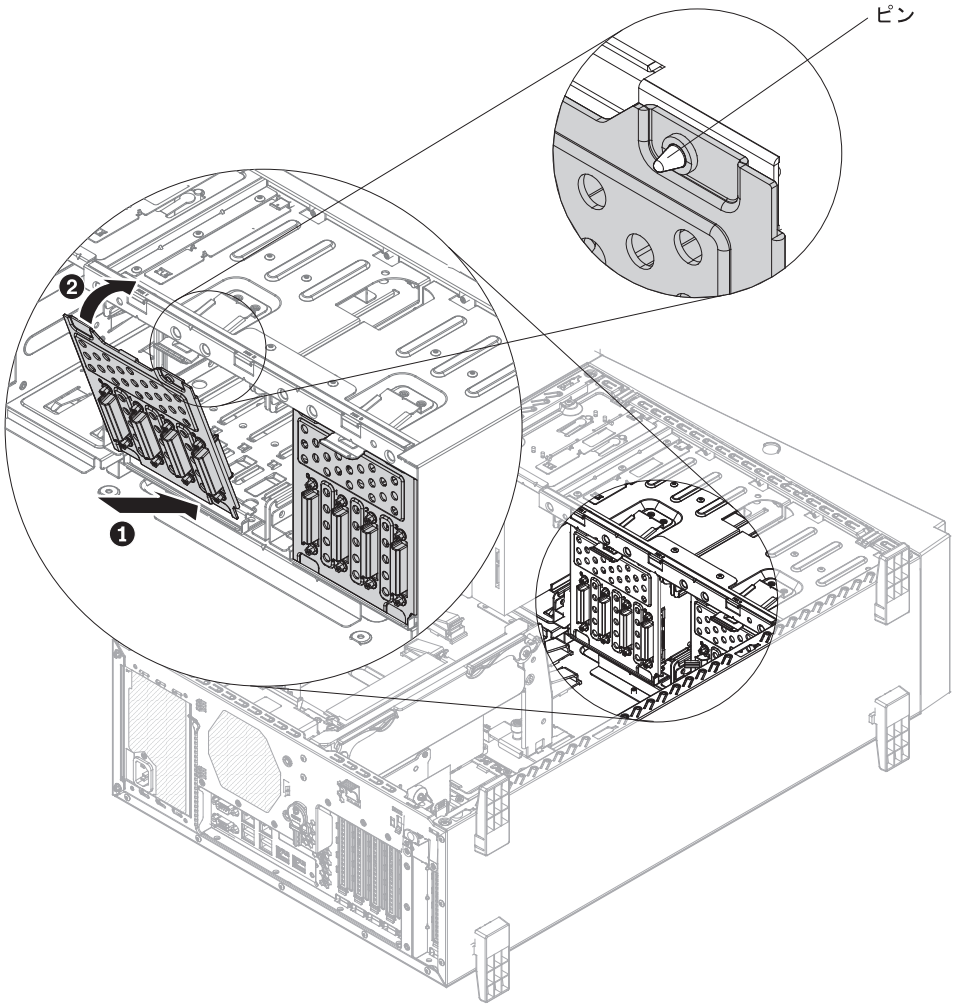
1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. すべての外部ケーブルおよび電源コードを抜きます。
4. ベゼルの左端にあるリリース・ポイントからベゼルを開き、ベゼルの左側をサーバーから離すように回転させます。





5. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。
   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。

6. 左サイド・カバーを取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
7. 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り外します (64 ページの『3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け』を参照)。
8. エアー・バッフルを取り外します (46 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
9. ファン・アセンブリーを取り外します (47 ページの『ファン・アセンブリーの取り外し』を参照)。
10. ハード・ディスク・バックプレーンが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからバックプレーンを取り出します。
11. 既存の 3.5 型ハード・ディスク・バックプレーンを取り外します (294 ページの『3.5 型ディスク・バックプレーンの取り外し』を参照)。
12. 3.5 型ハード・ディスク・バックプレーンをドライブ・ケージ保持タブに置いてから、保持ラッチを持ち上げて、バックプレーンを定位置に収めます。



13. 電源ケーブル、信号ケーブル、および構成ケーブルを 3.5 型ハード・ディスク・バックプレーンに接続します (39 ページの『ハード・ディスク・バックプレーン・コネクター』および 209 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照)。
14. さらにバックプレーンを取り付ける場合には、上記のステップ 10 から 12 までを繰り返します。
15. 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り付けます (64 ページの『3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け』を参照)。
16. ベゼルを閉じます。
17. ファン・アセンブリーを取り付けます (102 ページの『ファン・アセンブリーの取り付け』を参照)。
18. エアー・バッフルを取り付けます (232 ページの『エアー・バッフルの交換』を参照)。
19. 左サイド・カバーを取り付け、ロックします (105 ページの『左サイド・カバーの交換』を参照)。
20. 外部ケーブルと電源コードを再接続し、接続装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源をオンにします。
21. ドライブ・バックプレーンの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

タスクの結果

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

固定パワー・サプライの取り外し

固定パワー・サプライを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

固定パワー・サプライの取り外しまたは取り付けを行うときは、以下の予防措置を講じてください。

安全 8

注意:
パワー・サプライのカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。

このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。 これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。 これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

固定パワー・サプライを取り外すには、次のステップを実行してください。

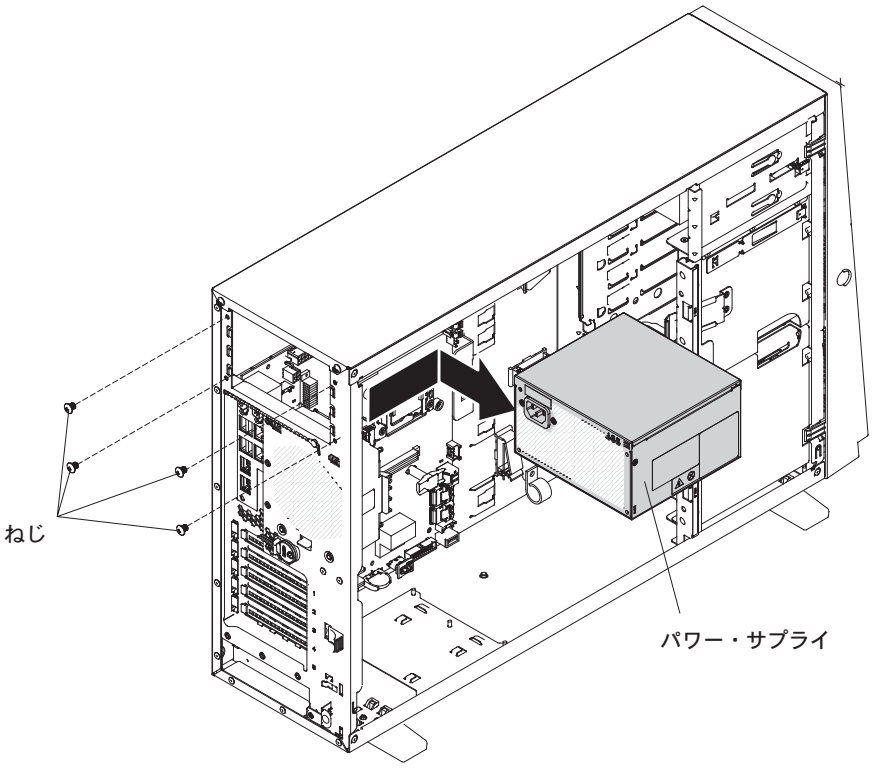
注:

- サーバーに固定パワー・サプライが 1 台取り付けられている場合は、パワー・サプライを取り外す前にサーバーの電源をオフにする必要があります。
- パワー・サプライの取り外しあるいは取り付けを行う前に、ファン・アセンブリーを取り付ける必要があります。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

   重要: サーバーの電源がオンになっている場合にサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電されると、サーバーが停止することがあり、それによってデータが失われる可能性があります。 こうした潜在的な問題を回避するために、電源がオンになっているサーバー内で作業するときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。
2. パワー・サプライが 1 つだけ取り付けられている場合は、サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを取り外します。
3. 図に示されているように、サーバーの背面側から 4 つのねじを緩め、サーバーから固定パワー・サプライを引き出します。



4. パワー・サプライに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

固定パワー・サプライの交換

以下の情報を使用して、固定パワー・サプライを交換します。

このタスクについて

以下に、サーバーがサポートするパワー・サプライのタイプ、およびパワー・サプライを交換する際に考慮すべき事項について示します。

- 取り付けるパワー・サプライをサーバーがサポートしていることを確認するには、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/usを参照してください。
- 異なるワット数のパワー・サプライと交換する前に、IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。 ユーティリティーの詳しい説明とダウンロードについては、http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html にアクセスしてください。
- 入力電圧は 100 - 127 V AC または 200 - 240 V AC の自動感知です。

安全 8

注意:
パワー・サプライのカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。

このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。 これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合は、サービス技術員に連絡してください。

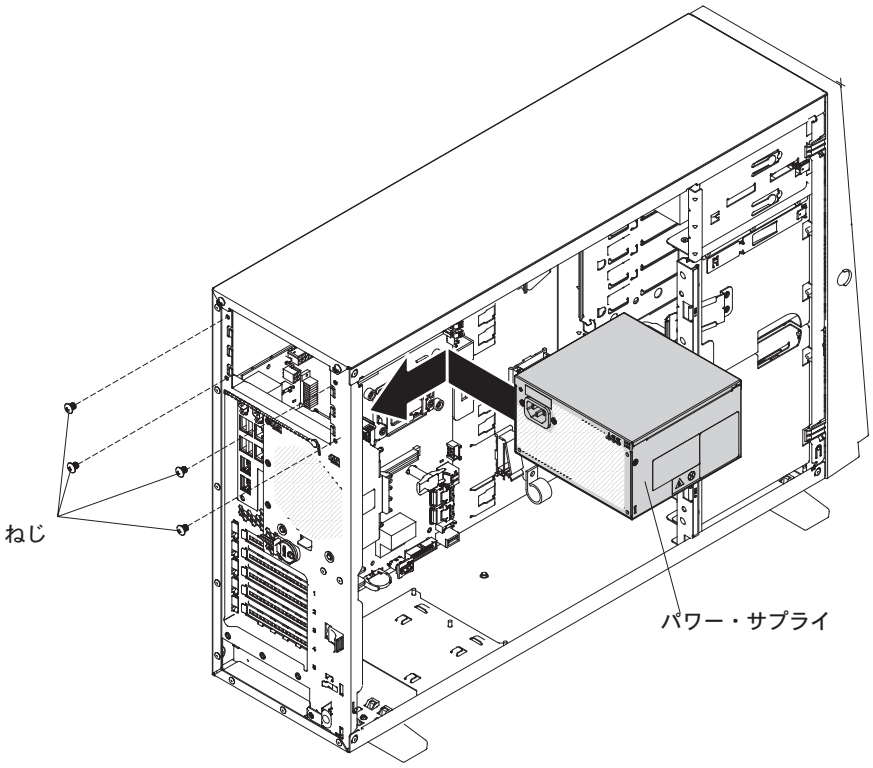
固定パワー・サプライを交換するには、次のステップを実行してください。

注: パワー・サプライの取り外しあるいは取り付けを行う前に、ファン・アセンブリーを取り付ける必要があります。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

   重要: サーバーの電源がオンになっている場合にサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電されると、サーバーが停止することがあり、それによってデータが失われる可能性があります。 こうした潜在的な問題を回避するために、電源がオンになっているサーバー内で作業するときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. ファン・アセンブリーを取り外します (47 ページの『ファン・アセンブリーの取り外し』を参照)。
5. エアー・バッフルを取り外します (46 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
6. 既存の固定パワー・サプライを取り外します (299 ページの『固定パワー・サプライの取り外し』を参照)。
7. 固定パワー・サプライが入っている帯電防止パッケージに触れてから、パッケージから固定パワー・サプライを取り出し、それを静電気防止板の上に置きます。
8. 以下の図に示すように、新しい固定パワー・サプライをサーバー内の定位置に正しく置き、4 つのねじをサーバーの背面側から締めます。



9. 電源コードをハンドルおよびケーブル・タイ (ある場合) に通して配線し、誤って抜けないようにします。
10. 新規パワー・サプライ用の電源コードの一方の端をパワー・サプライ後部のコネクターに接続した後、電源コードの他方の端を適切に接地された電源コンセントに接続します。

    注: サーバーの電源がオフになっている場合は、サーバーの電源コードを電源コンセントに接続した後、約 3 分間待たないと電源制御ボタンがアクティブになりません。
11. パワー・サプライの AC 電源 LED と DC 電源 LED が点灯して、AC パワー・サプライが正しく作動していることを示していることを確認してください。 これら 2 つの緑色の LED は、電源コード・コネクターの右にあります。
12. パワー・サプライを異なるワット数のパワー・サプライと交換する場合は、新しいパワー・サプライに付属の電力情報ラベルを、サーバー上の既存の電力情報ラベルの上に貼ってください。
13. 古い固定パワー・サプライの返却を求められた場合は、すべての梱包上の指示に従い、配送用に提供された梱包材を使用してください。

タスクの結果

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

ホット・スワップ・パワー・サプライの取り外し

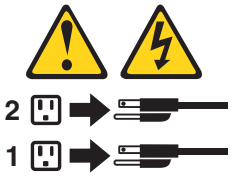
ホット・スワップ・パワー・サプライを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

ホット・スワップ・パワー・サプライの取り外しまたは取り付けを行う場合は、以下の予防措置を順守してください。

安全 5

注意:
装置の電源制御ボタンおよび電源機構の電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くには給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 8

注意:
パワー・サプライのカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。

このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。 これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

ホット・スワップ・パワー・サプライを取り外すには、次のステップを行います。

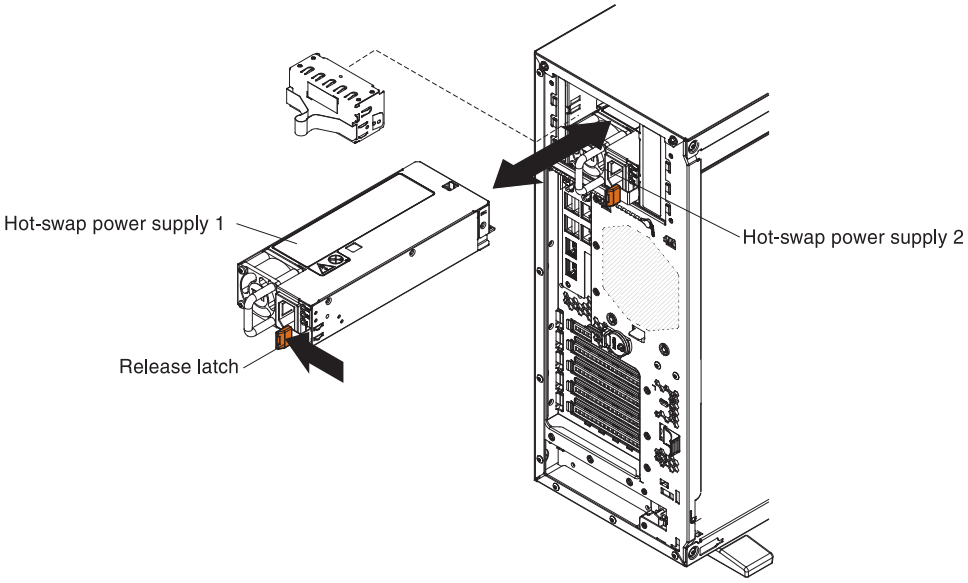
注:

- サーバーにホット・スワップ・パワー・サプライが 1 台しか取り付けられていない場合は、パワー・サプライを取り外す前にサーバーの電源をオフにする必要があります。
- パワー・サプライの取り外しあるいは取り付けを行う前に、ファン・アセンブリーを取り付ける必要があります。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

   重要: サーバーの電源がオンになっている場合にサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電されると、サーバーが停止することがあり、それによってデータが失われる可能性があります。 こうした潜在的な問題を回避するために、電源がオンになっているサーバー内で作業するときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。
2. パワー・サプライが 1 つだけ取り付けられている場合は、サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを取り外します。
3. ホット・スワップ・パワー・サプライ上のリリース・ラッチを押し、サーバーから引き抜きます。



4. パワー・サプライに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

ホット・スワップ・パワー・サプライの交換

以下の情報を使用して、ホット・スワップ・パワー・サプライを交換します。

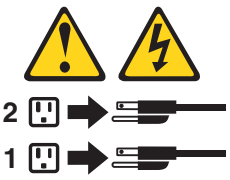
このタスクについて

以下に、サーバーがサポートするパワー・サプライのタイプ、およびパワー・サプライを交換する際に考慮すべき事項について示します。

- 取り付けるパワー・サプライをサーバーがサポートしていることを確認するには、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/usを参照してください。
- 追加のパワー・サプライの取り付け、あるいは異なるワット数のパワー・サプライとの交換をする前には、IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。ユーティリティーの詳しい説明とダウンロードについては、http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html にアクセスしてください。
- サーバーには、パワー・サプライ・ベイ 1 に接続する 1 個のホット・スワップ 12 V 出力パワー・サプライが付属しています。入力電圧は、100 - 127 V AC または 200 - 240 V AC の自動検知です。
- サーバーが適切に作動することを確実にするために、サーバー内のパワー・サプライは、電力定格 (ワット数) が同一でなければなりません。
- パワー・サプライ 1 がデフォルトであり、1 次パワー・サプライです。 パワー・サプライ 1 に障害が発生した場合は、即時に同じワット数のパワー・サプライと交換する必要があります。
- 冗長性を得るためにオプションのパワー・サプライを注文できます。
- これらのパワー・サプライは、並列操作向けの設計になっています。 パワー・サプライに障害が発生した場合、リダンダント・パワー・サプライがシステムに電力を供給し続けます。 このサーバーは、最大 2 個のパワー・サプライをサポートします。

安全 5

注意:
装置の電源制御ボタンおよび電源機構の電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くには給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 8

注意:
パワー・サプライのカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。

このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。 これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合は、サービス技術員に連絡してください。

ホット・スワップ・パワー・サプライを交換するには、次のステップを実行してください。

注: パワー・サプライの取り外しあるいは取り付けを行う前に、ファン・アセンブリーを取り付ける必要があります。

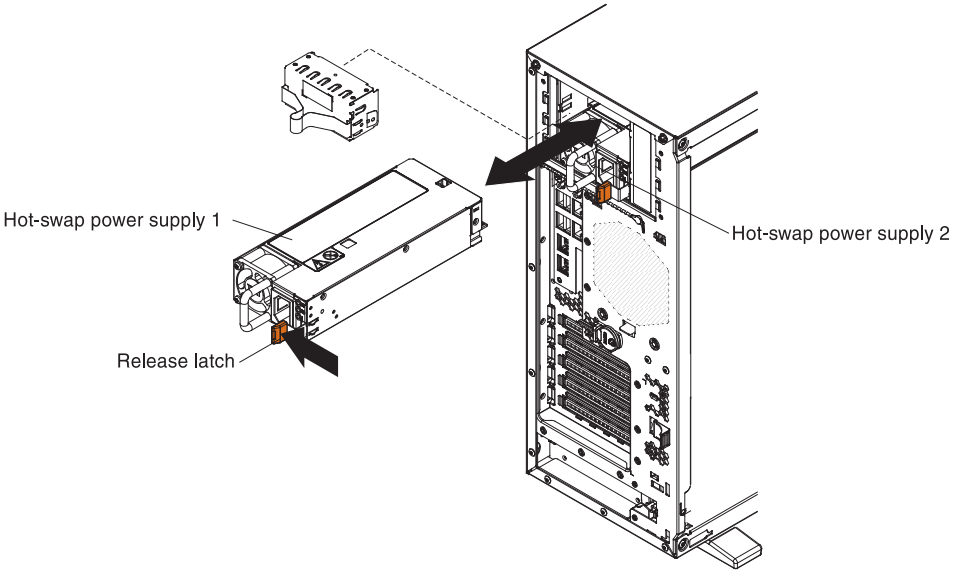
手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

   重要: サーバーの電源がオンになっている場合にサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電されると、サーバーが停止することがあり、それによってデータが失われる可能性があります。 こうした潜在的な問題を回避するために、電源がオンになっているサーバー内で作業するときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. すべての外部ケーブルおよび電源コードを抜きます。
4. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. 左サイド・カバーを取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
6. 既存のホット・スワップ・パワー・サプライを取り外します (304 ページの『ホット・スワップ・パワー・サプライの取り外し』を参照)。

7. サーバーの塗装されていない金属面に、ホット・スワップ・パワー・サプライが入っている帯電防止パッケージを触れさせてから、パワー・サプライをパッケージから取り出し、静電気防止板の上に置きます。
8. 新しいホット・スワップ・パワー・サプライを取り付け、所定の位置にロックされるまで押し込みます。

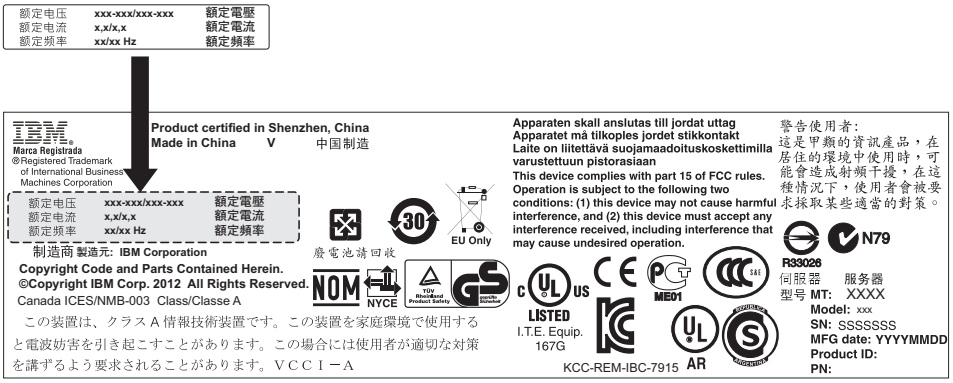


注:

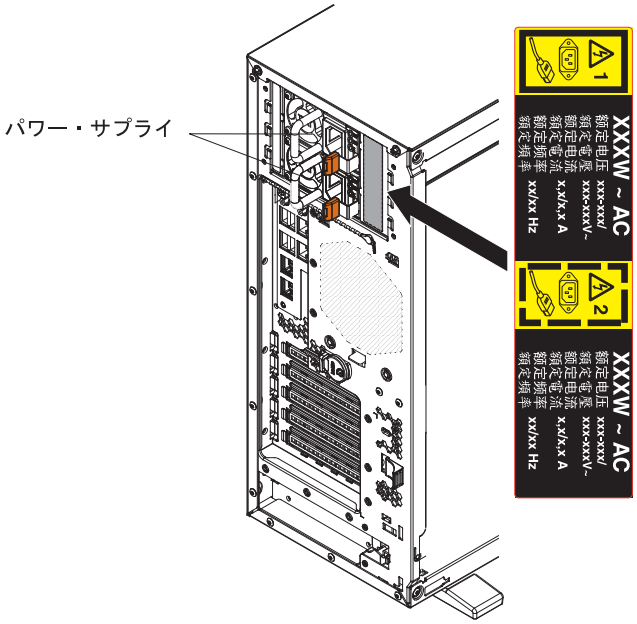
- サーバーにホット・スワップ・パワー・サプライが 1 台しか取り付けられていない場合は、空のパワー・サプライ・ベイにパワー・サプライ・フィラーを取り付ける必要があります。
- サーバー内で異なるワット数のパワー・サプライを混用しないでください。

9. 電源コードをハンドルおよびケーブル・タイ (ある場合) に通して配線し、誤って抜けないようにします。
10. 新規パワー・サプライ用の電源コードの一方の端をパワー・サプライ後部のコネクターに接続した後、電源コードの他方の端を適切に接地された電源コンセントに接続します。

    注: サーバーの電源がオフになっている場合は、サーバーの電源コードを電源コンセントに接続した後、約 3 分間待たないと電源制御ボタンがアクティブになりません。
11. パワー・サプライの AC 電源 LED と DC 電源 LED が点灯して、AC パワー・サプライが正しく作動していることを示していることを確認してください。 これら 2 つの緑色の LED は、電源コード・コネクターの右にあります。
12. パワー・サプライを異なるワット数のパワー・サプライと交換する場合は、新しいパワー・サプライに付属の電力情報ラベルを、サーバー上の既存の電力情報ラベルの上に貼ってください。 サーバーが適切に作動することを確実にするために、サーバー内のパワー・サプライは、電力定格 (ワット数) が同一でなければなりません。



13. サーバーにパワー・サプライを追加する場合、このオプションに付属の冗長電源情報ラベルをパワー・サプライの近くのサーバー・カバーに貼り付けてください。



14. ドライブ・バックプレーンの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

タスクの結果

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

メモリー・モジュールの取り外し

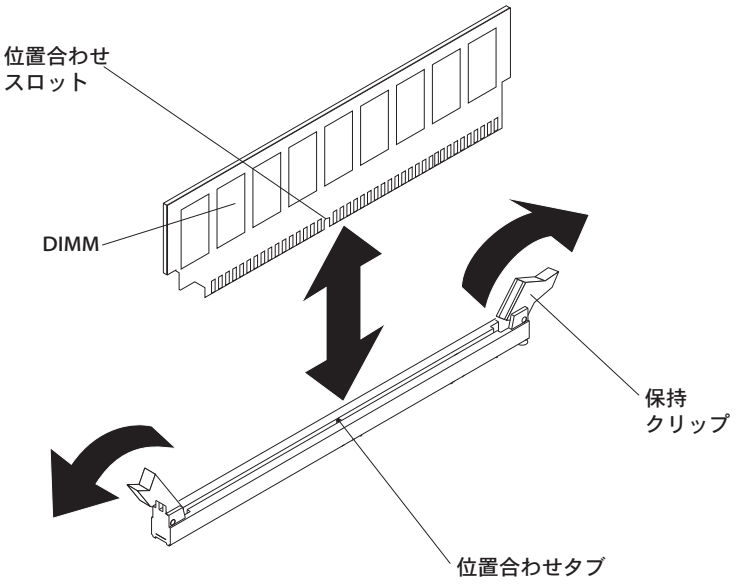
以下の情報を使用して、メモリー・モジュールを取り外します。

デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) を取り外すには、次のステップを行います。

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。
3. すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
4. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
5. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
6. ケーブル接続方法およびジャンパーまたはスイッチ設定に関する情報については、アダプターに付属の資料を参照します。 (アダプターを取り付ける前にケーブルを配線した方が簡単な場合があります。)
7. エアー・バッフルが取り付けられている場合は取り外します (46 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
8. システム・ボード上の DIMM コネクターを確認します (34 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。

   重要: DIMM 保持クリップが破損したり、DIMM コネクターが損傷するのを防ぐために、クリップの取り扱いは静かに行ってください。
9. DIMM コネクターの両サイドにある DIMM 保持クリップを DIMM コネクターの中央から外側の方向に押して、保持クリップを開いた位置へと移動します。



10. 指を使って DIMM を DIMM コネクターから持ち上げます。

11. DIMM の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

メモリー・モジュールの交換

以下の情報を使用して、メモリー・モジュールを交換します。

このタスクについて

ここには、サーバーがサポートするデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) のタイプの説明と、DIMM を取り付けるときに考慮すべき事項が記載されています (DIMM コネクターの位置については、34 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。

- 取り付ける DIMM をサーバーがサポートしていることを確認するには、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/usを参照してください。
- このサーバーは、業界標準の double-data-rate 3 (DDR3)、1066 MHz PC3-8500、1333 MHz PC3-10600、または 1600 MHz PC3-12800 (指定されたモデルの single-rank、dual-rank、または quad-rank)、エラー修正コード (ECC) 付き Registered または Unbuffered SDRAM (synchronous DRAM) デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) のみをサポートします。
  - DDR3 DIMM の仕様は、DIMM のラベルに次の形式で記載されています。

    *ggggg e*Rx*ff*-PC3v-*wwwwwm-aa-bb-ccd*

    それぞれの意味は次のとおりです。

    - *ggggg* は DIMM の合計容量です (例えば 1GB、2GB、または 4GB)。
    - *e*R はランク数

      1R = single-rank

      2R = dual-rank

      4R = quad-rank
    - x *ff* はデバイス編成またはビット幅です (x4、x8、x16 など)

      4 = x4 編成 (SDRAM 当たり 4 DQ ライン)

      8 = x8 編成

      16 = x16 編成
    - *wwwww* は、DIMM 帯域幅 (Mbps 単位) です。

      8500 = 8.53 GBps (DDR3-1066 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)

      10600 = 10.66 GBps (DDR3-1333 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)

      12800 = 12.80 GBps (DDR3-1600 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)

      14900 = 14.93 GBps (DDR3-1866 SDRAM、8 バイトの基本データ・バス)

      17000 = 17.06 GBps (DDR3-2133 SDRAM、8 バイトの基本データ・バス)
    - *m* は、DIMM のタイプです。

E = ECC 付きの unbuffered DIMM (UDIMM) (x72 ビット・モジュール・データ・バス)

R = Registered DIMM (RDIMM)

U = ECC なし Unbuffered DIMM (x64 ビットの基本データ・バス)

- *aa* は、DDR3 SDRAM CAS 待ち時間 (最大動作周波数のクロック単位) です。
- *bb* は、JEDEC SPD 改訂エンコードおよび追加レベルです。
- *cc* は、DIMM 設計の参照設計ファイルです。
- *d* は、DIMM 参照設計の改訂番号です。

注: DIMM のタイプを判別するには、DIMM のラベルをご覧ください。ラベルの情報は、xxxxx nRxxx PC3-xxxxx-xx-xx-xxx の形式になっています。 6 番目の数値の位置にある数表示は、DIMM が single-rank (n=1) または dual-rank (n=2) であることを示しています。

- registered DIMM および unbuffered DIMM を同一のサーバーに取り付けないでください。
- このサーバーは、1.35 ボルト (低電圧) および 1.5 ボルトの DIMM をサポートします。 1.35 ボルトと 1.5 ボルトの DIMM を同一サーバーに取り付けないでください。
- このサーバーは、システム・ボード上で最大 12 個の DIMM (single-rank、dual-rank、または quad-rank) をサポートします。 サーバー内で single-rank、dual-rank、または quad-rank の DIMM を混用する場合は、最初に quad-rank DIMM を取り付ける必要があります。 1 つの quad-rank DIMM を取り付ける場合は、 DIMM スロット 1 に取り付ける必要があります。
- サーバーで使用可能な DIMM オプションは、2 GB、4 GB、8 GB、16 GB、および 32 GB (使用可能な場合) です。

  注: 16 GB 1.5 ボルト/ 32 GB 1.35 ボルトを取り付ける場合、ファン構成に関する指示を記載した次の表を参照してください。

表 23. ファン構成に関する指示

ファン	条件
2 と背面ファン	すべてのシステムの標準
3	1. 2 番目のマイクロプロセッサーが取り付けられている場合、2 番目のマイクロプロセッサー・キット (P/N: 00D2581 から 00D2589) にファンが含まれています。または 2. システムに PCI-e アダプターが 3 つ以上取り付けられている場合、ファン (P/N: 00D2593) を別個使用できます。
1	オプションの予備ファン (P/N: 00D2593) **重要:** ファン 3 を取り付け、16 GB 1.5V / 32 GB 1.35V DIMM も取り付ける場合、ファン 1 も取り付ける必要があります。

- サーバー・システム・ボードは、最小 2 GB、最大 96 GB のシステム・メモリーをサポートします。

注: システム構成に応じて使用可能なメモリー量が減ります。 ある一定量のメモリーを、システム・リソース用に確保しておく必要があります。 取り付け済みメモリーの合計量と構成済みメモリーの量を表示するには、Setup ユーティリティーを実行してください。 詳細は、 111 ページの『サーバーの構成』を参照してください。

- サーバー・システム・ボードはマイクロプロセッサーごとに 3 つのメモリー・チャネルを提供し、各メモリー・チャネルは最大 2 つの DIMM をサポートします。 次の表に、各メモリー・チャネルの DIMM コネクターをリストします。

表 24. 各メモリー・チャネル上の DIMM コネクター

マイクロプロセッサー	**チャネル 0**	**チャネル 1**	**チャネル 2**
マイクロプロセッサー 1	DIMM コネクター 1 および 2	DIMM コネクター 3 および 4	DIMM コネクター 5 および 6
マイクロプロセッサー 2	DIMM コネクター 7 および 8	DIMM コネクター 9 および 10	DIMM コネクター 11 および 12

- 次の表に、各マイクロプロセッサーに関連付けられている DIMM コネクターを示します。

表 25. 各マイクロプロセッサーに関連付けられた DIMM コネクター

マイクロプロセッサー	**マイクロプロセッサーに関連付けられた DIMM コネクター**
マイクロプロセッサー 1	1 から 6
マイクロプロセッサー 2	7 から 12

- サーバーの最大動作速度は、サーバーに取り付けられた最も速度の遅い DIMM によって決まります。
- マイクロプロセッサーごとに最小 1 つの DIMM を取り付ける必要があります。例えば、サーバーに 2 つのマイクロプロセッサーが取り付けられている場合は最小 2 つの DIMM を取り付ける必要があります。 つまり、マイクロプロセッサー 1 に 1 つ、マイクロプロセッサー 2 に 1 つを取り付けます。
- このサーバーは最小 2 つの DIMM がスロット 1 に取り付けられて出荷されます。追加の DIMM を取り付ける場合は、システム・パフォーマンスを最適化するために、次の表の情報に示される順序で取り付けてください。
- このサーバーは、独立モード、スペア・チャネル・モード、およびミラーリング・モードをサポートします。
- **独立モード**: 独立モードを使用する場合、以下の表に示すように DIMM を取り付けてください。
  - 次の表に、サーバーに 1 個または 2 個のマイクロプロセッサーが取り付けられている場合の非ミラーリング・モードでの DIMM 取り付け順序をリストします。

表 26. DIMM 装着順序 (独立モード)

取り付け済みマイクロプロセッサーの数	**DIMM コネクター取り付け順序**
1	1, 3, 5, 2, 4, 6

表 26. DIMM 装着順序 (独立モード) (続き)

取り付け済みマイクロプロセッサーの数	DIMM コネクター取り付け順序
2	1, 7, 3, 9, 5, 11, 2, 8, 4, 10, 6, 12

- **スペア・チャネル・モード**: メモリー・ミラーリング機能を使用する際、以下の情報を考慮してください。
  - スペア・チャネル・モードでは、1 つのランクが同じチャネル上の他のランクのスペアになります。 スペア・ランクは予備として確保され、システム・メモリーとしては使用できません。 スペア・ランクのメモリー容量は、同じチャネル上のその他のすべてのランク (スペアリング・ソース・ランク) と同一か、それらより大きくなければなりません。 スペアリング後は、スペアリング・ソース・ランクは失われます。
  - DIMM は、3 つをセットにして取り付ける必要があります。 各セットの DIMM は、同じサイズとタイプのものでなければなりません。
  - 次の表に、サーバーに 1 個または 2 個のマイクロプロセッサーが取り付けられている場合のランク・スペアリング・モードでの DIMM 取り付け順序をリストします。

表 27. DIMM 装着順序 (ランク・スペアリング・モード)

取り付け済みマイクロプロセッサーの数	DIMM コネクター取り付け順序
1	1, 3, 5 2, 4, 6
2	1, 3, 5 7, 9, 11 2, 4, 6 8, 10, 12

- **メモリー・ミラーリング・モード**: メモリー・ミラーリング機能を使用する際、以下の情報を考慮してください。
  - メモリー・ミラーリング・モードは、2 ペアの DIMM 上に同時にデータを複製して保管します。 障害が発生すると、メモリー・コントローラーはプライマリー・ペアのメモリー DIMM からバックアップ・ペアの DIMM に切り替えます。 このミラーリングにより、メモリーの冗長性が得られますが、合計メモリー容量は 3 分の 1 に減ります。 チャネル 1 の DIMM コネクター 3、4、9、および 10 は、メモリー・ミラーリング・モードで使用されません。 Setup ユーティリティーを使ってメモリー・ミラーリングを使用可能にするには、「**System Settings**」→「**Memory**」の順に選択します。詳しくは、115 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照してください。
  - DIMM は必ずペアで取り付けなければなりません。 各ペアの DIMM は、同じサイズとタイプのものでなければなりません。
  - メモリー・ミラーリングが使用可能になっている場合、使用可能メモリーの最大量は、取り付けられているメモリーの 3 分の 1 に減ります。 例えば、96

GB のメモリーを取り付けた場合、メモリー・ミラーリングを使用する際に使用できるのは 32 GB のアドレス可能メモリーのみです。

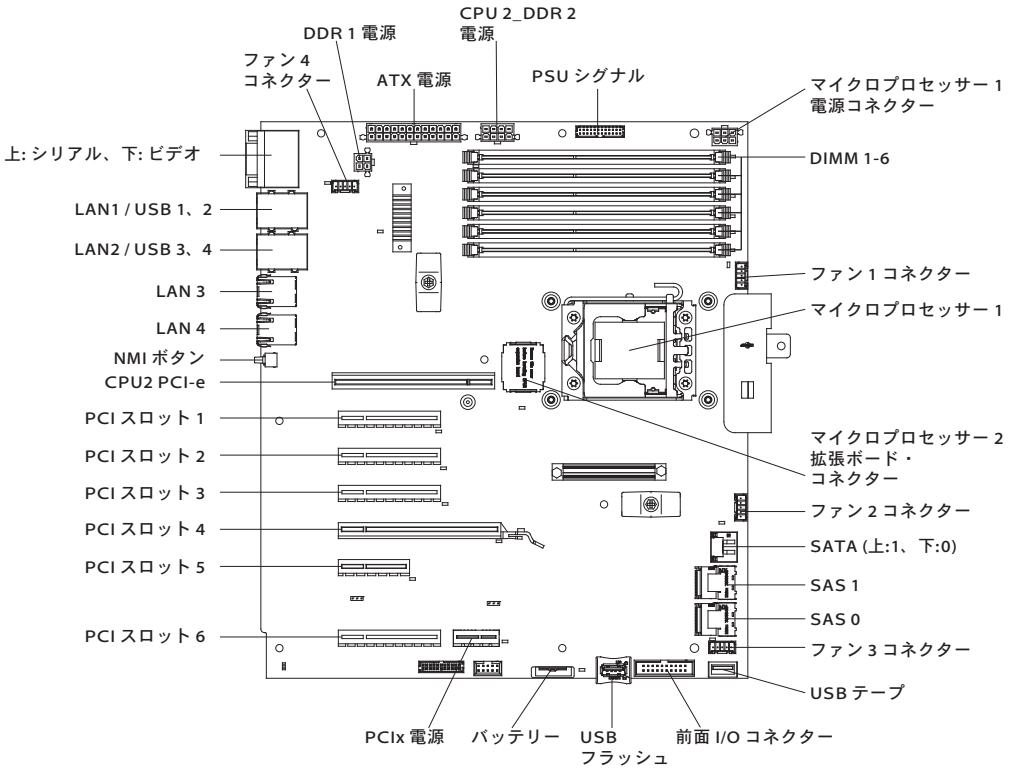
– 次の表に、サーバーに 1 個または 2 個のマイクロプロセッサーが取り付けられている場合のメモリー・ミラーリング・モードでの DIMM 取り付け順序をリストします。

表 28. DIMM 装着順序 (メモリー・ミラーリング・モード)

取り付け済みマイクロプロセッサーの数	DIMM コネクター取り付け順序
1	3, 5 4, 6
2	3, 5 9, 11 4, 6 10, 12

- DIMM を取り付けまたは取り外すと、サーバー構成情報が変更されます。 サーバーを再始動すると、システムにより、メモリー構成が変更されたことを示すメッセージが表示されます。

次の図は、システム・ボード上の DIMM コネクターの位置を示しています。



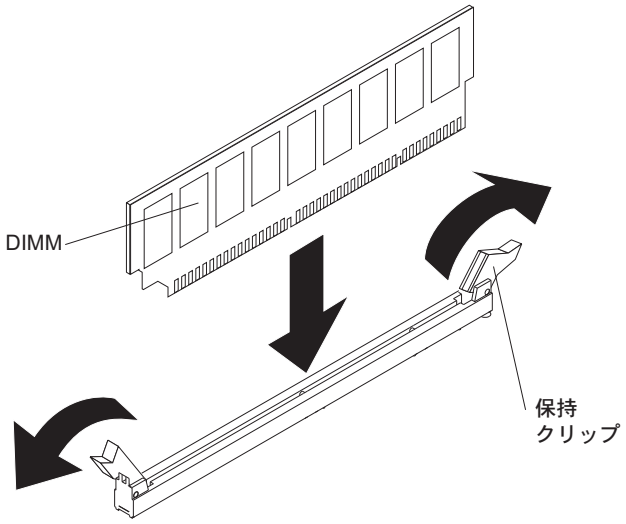
DIMM を取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』および 40 ページの『取り付けのガイドライン』に記載されている安全上の注意をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. DIMM コネクターのそれぞれの端にある保持クリップを開きます。

   重要: 保持クリップを破損したり、DIMM コネクターを損傷しないように、クリップは丁寧に開閉してください。



6. DIMM が入っている静電防止パッケージを、サーバーの外側の塗装されていない金属面に接触させます。 その上で、DIMM をパッケージから取り出します。
7. DIMM のキーがコネクターの位置に正しく合うように、DIMM の方向を合わせます。
8. DIMM の端を DIMM コネクターの端にあるスロットに合わせて、DIMM をコネクターに差し込みます (DIMM コネクターの位置については、 34 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。
9. DIMM の両端に同時に圧力を加えて、DIMM をコネクターにまっすぐ押し下げ、しっかり押し込みます。 DIMM がコネクター内に完全に収まると、保持クリップがロック位置にきちんとはまります。

   注: DIMM と保持クリップとの間にすき間がある場合、DIMM は正しく差し込まれていません。保持クリップを開いて DIMM を取り出し、再度、差し込んでください。

タスクの結果

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを取り外すには、この情報を使用します。

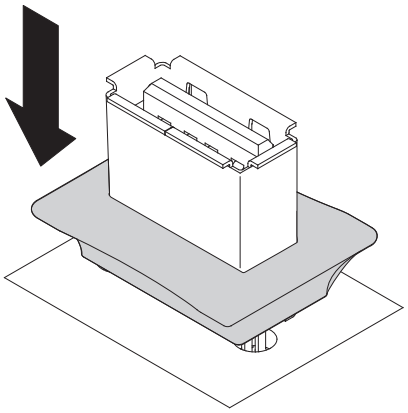
このタスクについて

ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを取り外す場合は、次のステップを行います。

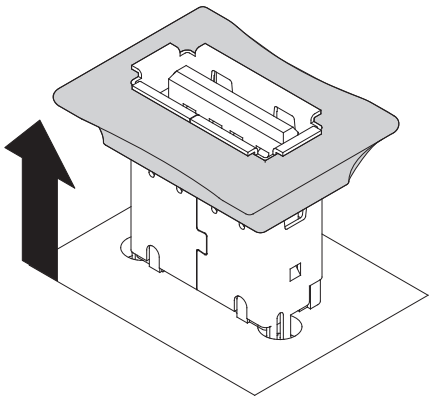
手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. エアー・バッフルを取り外します (46 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
6. 保持ラッチをシステム・ボード側に押し下げて解除します。



7. フラッシュ・デバイスをつかみ、コネクターから引き抜いて取り外します。
8. 保持ラッチをシステム・ボード側から引き離してロックされた位置に戻します。



9. フラッシュ・デバイスを返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従い、提供された配送用の梱包材をすべて使用してください。

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの交換

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを交換するには、この情報を使用します。

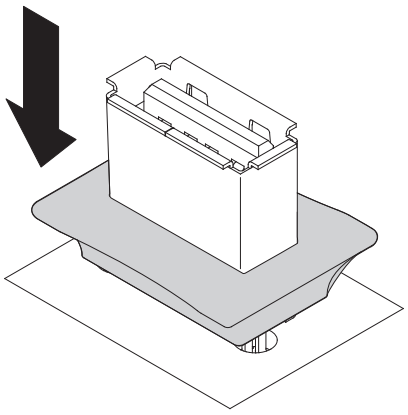
このタスクについて

ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを交換するには、次のステップを行います。

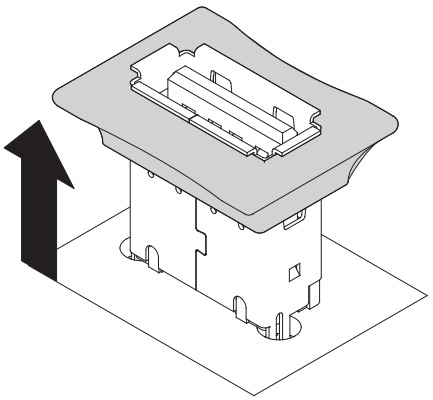
手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. 必要であれば、ファン・アセンブリーを取り外します (47 ページの『ファン・アセンブリーの取り外し』を参照)。
6. 必要であれば、エアー・バッフルを取り外します (46 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
7. USB ハイパーバイザー・コネクターから既存のフラッシュ・デバイスを取り外します (317 ページの『USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し』を参照)。
8. 保持ラッチをシステム・ボード側に押し下げて解除します。



9. フラッシュ装置をシステム・ボードの USB コネクターと位置合わせして、しっかり固定されるまで USB コネクターに押し込みます。
10. 保持ラッチをシステム・ボード側から引き離してロックされた位置に戻します。



11. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
12. 左サイド・カバーを再び取り付けます (105 ページの『左サイド・カバーの交換』を参照)。

タスクの結果

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

ファン・アセンブリーの取り外し

サーバーからファン・アセンブリーを取り外すには、この情報を使用します。

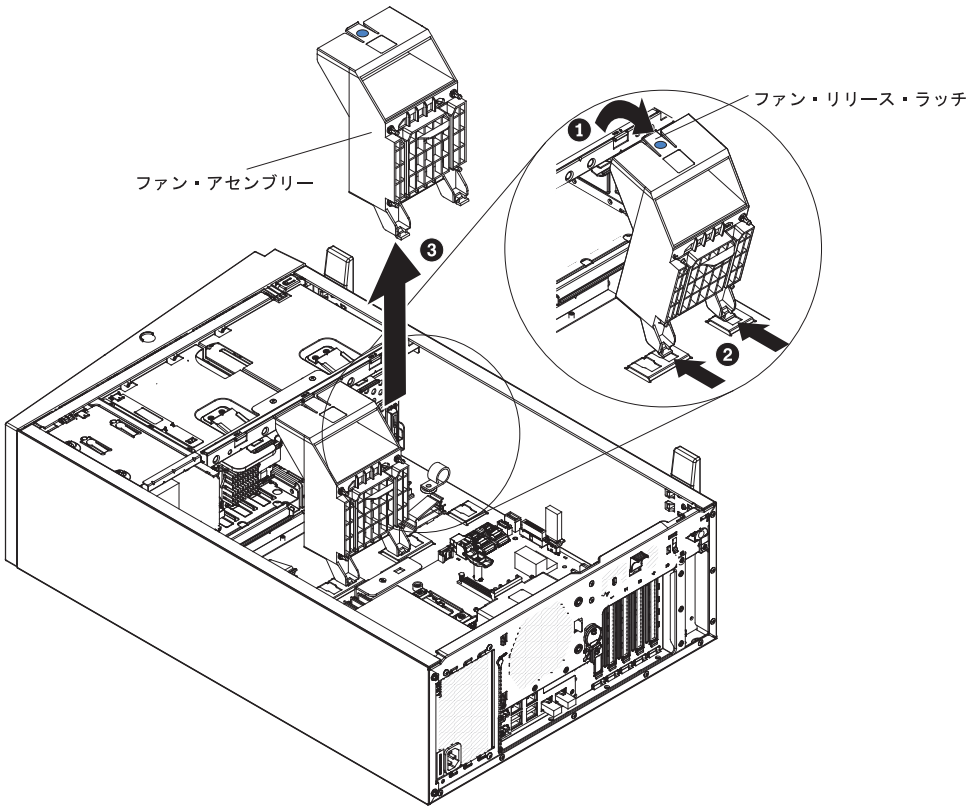
このタスクについて

ファン・アセンブリーを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. エアー・バッフルを取り外します (46 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
6. ファン電源ケーブルをシステム・ボードから抜きます。 (225 ページの『ファン電源ケーブル接続』を参照) 209 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』
7. ファン・リリース・ラッチを押して、ファン・アセンブリーを少し後方へ移します。 (以下の図のステップ 1 および 2 を参照)
8. ファンを持ち上げて、サーバーから取り外します (次の図のステップ 3 を参照)。



ファン・アセンブリーの交換

ファン・アセンブリーを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

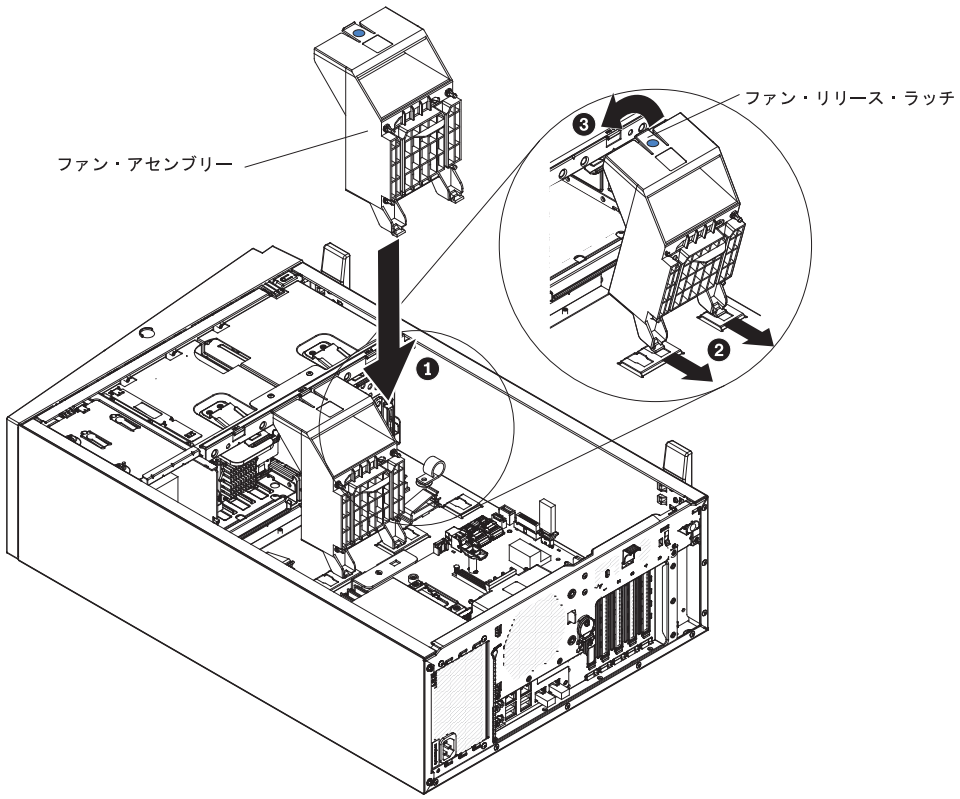
ファン・アセンブリーを交換するには、次の手順を実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. 必要であれば、ファン・アセンブリーを取り外します (47 ページの『ファン・アセンブリーの取り外し』を参照)。
6. 必要であれば、エアー・バッフルを取り外します (46 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。

7. 既存のファン・アセンブリーを取り外します (47 ページの『ファン・アセンブリーの取り外し』を参照)。
8. ファン・アセンブリーが入っている帯電防止パッケージに触れてから、パッケージからファン・アセンブリーを取り出します。
9. ファン・アセンブリーをサーバーの中に直接スライドさせます。 (次の図のステップ 1 を参照)
10. ファンのリリース・ラッチの位置を合わせ、ファン・アセンブリーが定位置にしっかり固定されていることを確認します。 (次の図のステップ 2 および 3 を参照)



11. ファンの電源ケーブルをシステム・ボードに接続します。 (209 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照)。
12. ドライブ・バックプレーンの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

タスクの結果

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

Tier 2 の CRU の取り外しと交換

Tier 2 CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り付けを依頼することもできます。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

電源パドル・カードの取り外し

電源パドル・カードを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

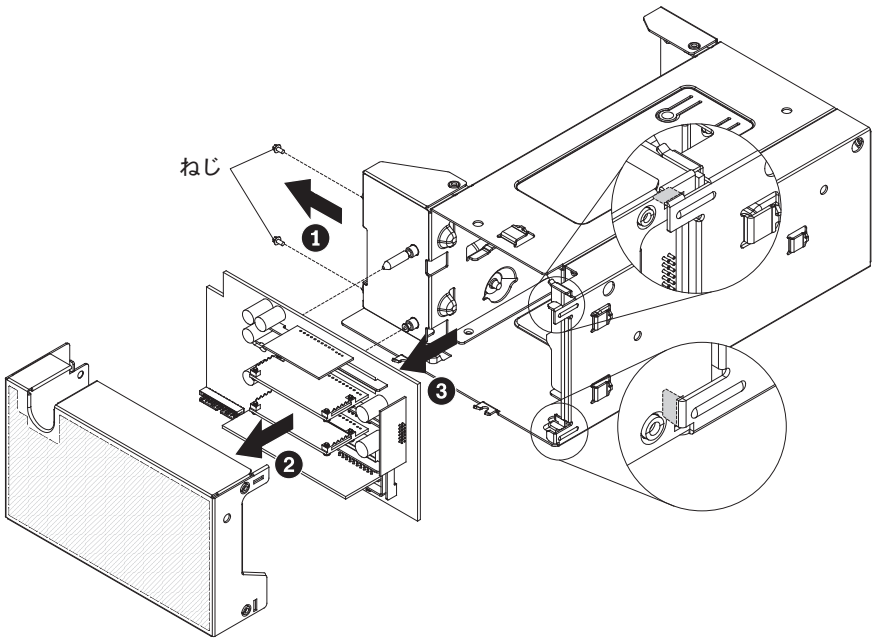
電源パドル・カードを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. エアー・バッフルを取り外します (46 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
6. ファン・アセンブリーを取り外します (47 ページの『ファン・アセンブリーの取り外し』を参照)。
7. 予備電源をサーバーから少し引き出して、電源パドル・カードから切り離します。
8. システム・ボード上のコネクターからすべての電源ケーブルを取り外します。電源ケーブルをケーブル・クリップから取り外します。
9. RAID アダプター・バッテリーがシャーシに取り付けられている場合は、電源ケーブルを ServeRAID アダプターから取り外します。
10. 以下の図のステップ 1 に示されているように、ホット・スワップ・パワー・サプライ・ケージのねじを緩めます。
11. 以下の図のステップ 2 に示されているように、予備パワー・サプライ・ケージ・カバーを取り外します。
12. 以下の図のステップ 3 に示されているように、電源パドル・カードを予備パワー・サプライから取り外します。

    重要: 図内のズームイン・エリアに示されているように、ケージ・カバーが予備パワー・サプライ・ケージのタブから取り外されていることを確認します。



13. 電源パドル・カードの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

電源パドル・カードの交換

電源パドル・カードを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

電源パドル・カードにより、予備電源のサポートが使用可能になります。 電源パドル・カード・アセンブリーを交換するには、次のステップを実行してください。

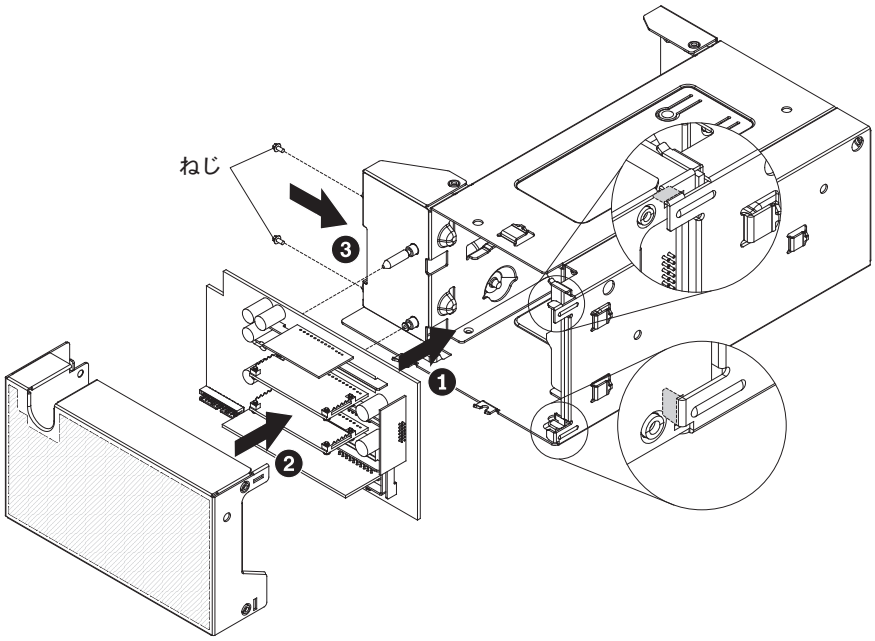
手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. エアー・バッフルを取り外します (46 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
6. ファン・アセンブリーを取り外します (47 ページの『ファン・アセンブリーの取り外し』を参照)。
7. 電源パドル・カードが既に取り付けられている場合は、それを取り外します。 (323 ページの『電源パドル・カードの取り外し』を参照)

8. 電源パドル・カードを予備パワー・サプライ・ケージのガイド・ピンに合わせてから、以下の図のステップ 1 に示されているように電源パドル・カードを予備パワー・サプライ・ケージに軽く取り付けます。
9. 以下の図のステップ 2 に示されているように、予備パワー・サプライ・ケージ・カバーを元の位置に戻します。

   重要: 図内のズームイン・エリアに示されているように、ケージ・カバーが予備パワー・サプライ・ケージのタブに固定されていることを確認します。
10. 以下の図のステップ 3 に示されているように、2 つのねじを締めます。



11. 電源パドル・カードに付属のホット・スワップ・パワー・サプライを取り付けます。 (96 ページの『ホット・スワップ・パワー・サプライの取り付け』を参照)。
12. 電源ケーブルをシステム・ボードのコネクターに再接続し、シャーシのケーブル・クリップで電源ケーブルを固定します。
13. RAID バッテリーから ServeRAID アダプターへ、電源ケーブルを再接続します (取り外していた場合)。
14. ファン・アセンブリーを再取り付けします (102 ページの『ファン・アセンブリーの取り付け』を参照)。
15. エアー・バッフルを再び取り付けます (232 ページの『エアー・バッフルの交換』を参照)。

タスクの結果

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。 そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し

マイクロプロセッサーおよびヒートシンクを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

重要:

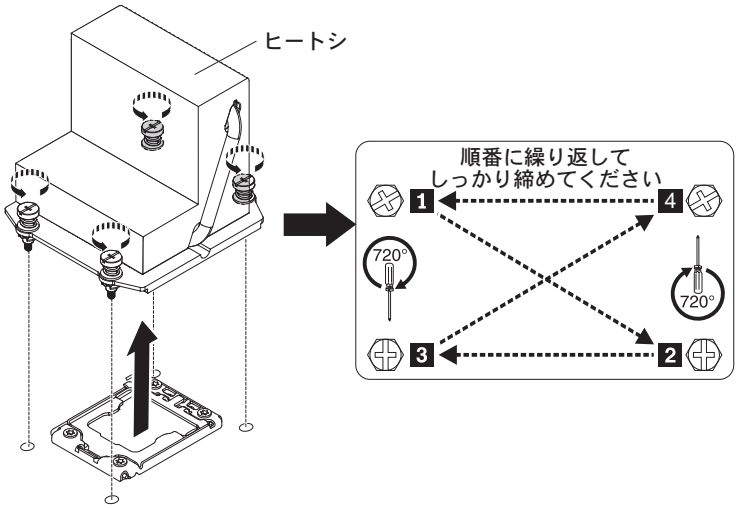
- ソケットのピンは壊れやすいので特に注意してください。 ピンが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になります。
- マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの熱伝導グリースが、何かと接触することのないようにしてください。
- マイクロプロセッサーからヒートシンクを取り外すと、熱伝導グリースの分散が均一でなくなるため、熱伝導グリースの交換が必要になります。
- マイクロプロセッサーの接点には触れないようにしてください。マイクロプロセッサーは、必ずエッジ部分を持つようにしてください。 マイクロプロセッサー接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。
- マイクロプロセッサーの取り外しおよび取り付けを行う際は、新しいマイクロプロセッサーに付属のマイクロプロセッサー取り付けツールを使用してください。マイクロプロセッサー・ツールを使用しないと、ソケットのピンが損傷するおそれがあります。ピンが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になります。

マイクロプロセッサーおよびヒートシンクを取り外すには、次のステップを行います。

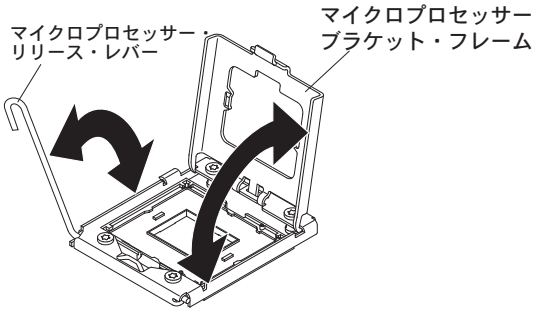
手順

1. vii ページの『安全について』 と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. 左サイド・カバーを取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
4. ヒートシンクとマイクロプロセッサーへのアクセスの邪魔になるすべてのケーブルを取り外します。
5. エアー・バッフルを取り外します (46 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
6. ラベルで示されている順番に従って、ドライバーを使用してヒートシンクのねじを緩めます。可能な場合は、各ねじを一度に 2 回転ずつ締めます。
7. ヒートシンクを慎重にマイクロプロセッサーから引き離します。 ヒートシンクを持ち上げてサーバーから取り出します。 ヒートシンクがマイクロプロセッサーに張り付いている場合は、ヒートシンクを少し前後にひねって引き離します。 ヒートシンクを取り外した後に清潔で平らな面にそれを置きます。

   注: マイクロプロセッサーからヒートシンクを取り外すと、熱伝導グリースの分散が均一でなくなるため、熱伝導グリースの交換が必要になります。

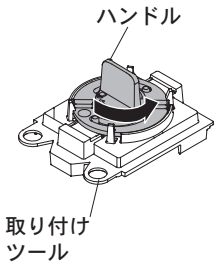


8. マイクロプロセッサー保持ラッチの端を押し下げて、このラッチを解放します。このとき、このラッチを側面の方に動かし、オープン (上側) 位置に解放します。
9. 上端にあるタブを持ち上げて、マイクロプロセッサー・ブラケット・フレームを開きます。 ブラケット・フレームを開いた位置のままにします。



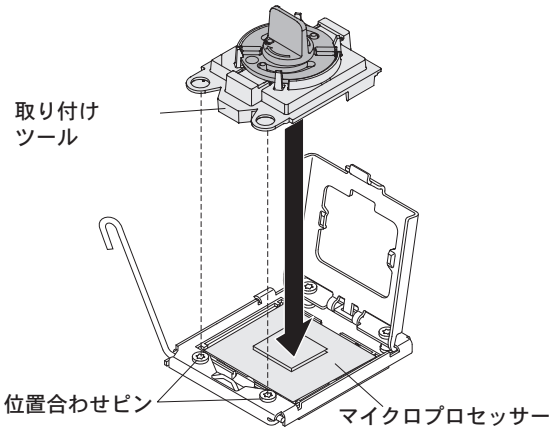
10. マイクロプロセッサー取り付けツールの穴とマイクロプロセッサー・ブラケット上のねじを位置合わせし、マイクロプロセッサー取り付けツールをマイクロプロセッサー上に下ろします **1**。次に、ハンドルを右回りに回転させ **2** ツールをマイクロプロセッサーに取り付けます。

    注: マイクロプロセッサー取り付けツールのハンドルを回転させると、マイクロプロセッサーを取り出したり、解放させたりすることができます。



11. 注意して、マイクロプロセッサーを真っすぐ上に持ち上げてソケットから取り出し、帯電防止面に置きます。 ハンドルを左回りに回転させて、マイクロプロセッサーを取り付けツールから取り外します。

重要: ソケットのピンに触らないでください。ピンは壊れやすいです。 ピンが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になります。



12. マイクロプロセッサーの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。 マイクロプロセッサー取り付けツールは返却しないでください。

マイクロプロセッサーとヒートシンクの交換

マイクロプロセッサーおよびヒートシンクを交換するには、この情報を使用します。

始める前に

重要: 静電気の影響を受けやすい部品を取り扱うときには、静電気による損傷を避けるための予防措置をとってください。 このようなデバイスの取り扱い方法の詳細は、 43 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』を参照してください。

注:

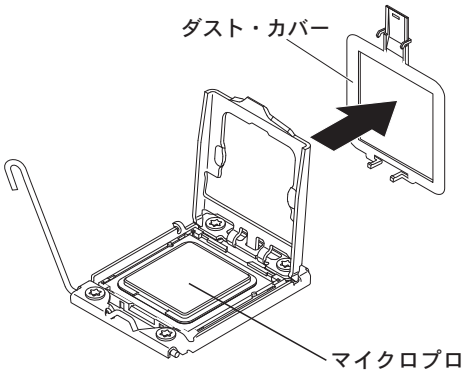
- サーバーに Intel Pentium 1400 シリーズのマイクロプロセッサーが 1 個搭載されている場合、2 つ目のマイクロプロセッサー・ソケットは使用されません。 このサーバーでは、Intel Pentium マイクロプロセッサーを 1 個のみサポートします。サーバーに Intel Xeon マイクロプロセッサーを 2 個取り付ける場合は、まず、サーバーに搭載されている Intel Pentium マイクロプロセッサーを取り外す必要があります。
- マイクロプロセッサーを取り付けるときに考慮すべき注意事項およびその他の情報については、 87 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り付け』を参照してください。
- ソケットのピンは壊れやすいので特に注意してください。 ピンが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になります。
- マイクロプロセッサーをサーバーから取り外す際は、新しいマイクロプロセッサーに付属のマイクロプロセッサー取り付けツールを使用してください。 マイクロプロセッサー・ツールを使用しないと、ソケットのピンが損傷するおそれがあります。 ピンが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になります。

このタスクについて

追加のマイクロプロセッサーおよびヒートシンクを交換するには、以下のステップを実行します。

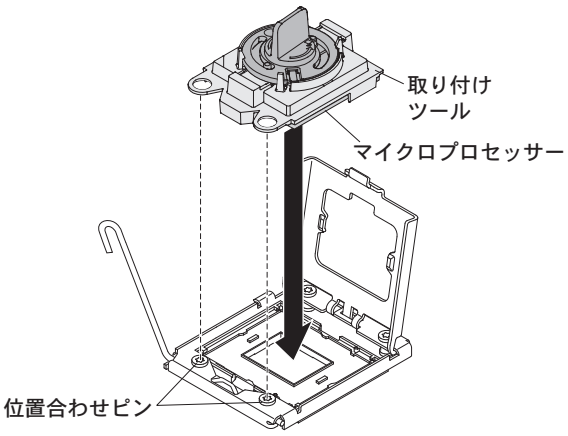
1. vii ページの『安全について』 と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. エアー・バッフルを取り外します (46 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
6. ファン・アセンブリーを取り外します (47 ページの『ファン・アセンブリーの取り外し』を参照)。
7. 既存の追加マイクロプロセッサーを取り外します (326 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』を参照)。
8. マイクロプロセッサー・ソケットからソケット・カバーを取り外します (取り付けられている場合)。

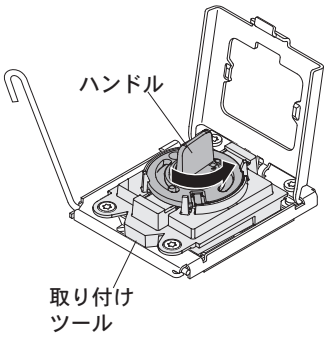


9. マイクロプロセッサーが取り付けツールに事前に取り付けられている場合、カバーの両サイドを解放して、取り付けツールからカバーを取り外します。その後、ステップ 5 に進んで続行します。
10. 以下のようにして、マイクロプロセッサーを取り付けます。
    a. マイクロプロセッサー取り付けツールの穴とマイクロプロセッサー・ブラケット上のねじを位置合わせし、マイクロプロセッサー取り付けツールをマイクロプロセッサー上に下ろします **1** 。次に、ハンドルを右回りに回転させ **2** ツールをマイクロプロセッサーに取り付けます。

注: マイクロプロセッサーがソケットに収まる方向は 1 つしかありません。



b. マイクロプロセッサー・ツールのハンドルを左回りに回転させ、マイクロプロセッサーをソケットに挿入します。



重要:

- マイクロプロセッサーをソケットに押し込まないでください。
- マイクロプロセッサー・ソケットの露出したピンに触らないでください。ソケットのピンは壊れやすいです。 ピンが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になります。
- マイクロプロセッサー保持器具を閉じる前に、ソケットの中でマイクロプロセッサーの向きと位置が正しいことを確認してください。
- ヒートシンク下部またはマイクロプロセッサー上部の熱伝導材に触れないでください。 熱伝導材に触れると、熱伝導材が汚れ、均等な分散が損なわれます。 マイクロプロセッサーまたはヒートシンクの熱伝導材が汚れた場合は、熱伝導グリースを交換する必要があります。

c. マイクロプロセッサー取り付けツールをマイクロプロセッサー・ソケットから取り外し、マイクロプロセッサー・ブラケット・フレームを閉じます。

d. マイクロプロセッサー・リリース・レバーを慎重に閉じた位置にして、マイクロプロセッサーをソケット内に固定します。

11. 以下のようにして、マイクロプロセッサーに付属のヒートシンクを取り付けます。

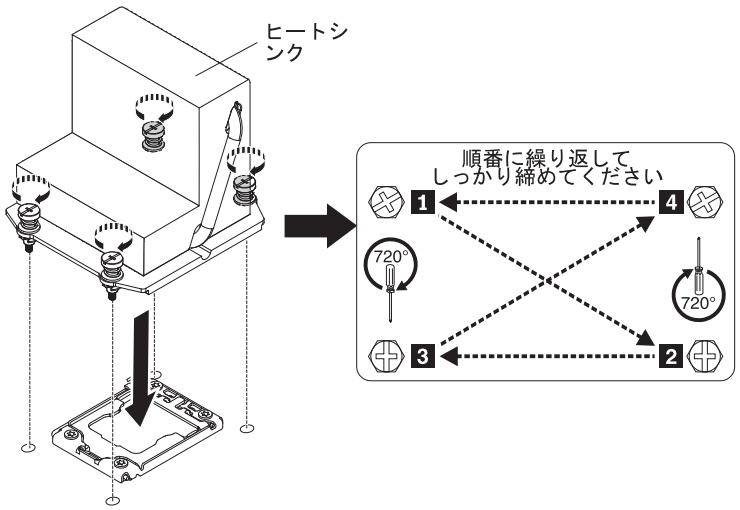
重要:

- プラスチック・カバーを取り外した後で、ヒートシンクを下に置かないでください。
- ヒートシンクの下部にある熱伝導材に触れないでください。熱伝導材に触れると、熱伝導材が汚染されます。 マイクロプロセッサーまたはヒートシンクの熱伝導材が汚染された場合は、サービス技術員に連絡してください。

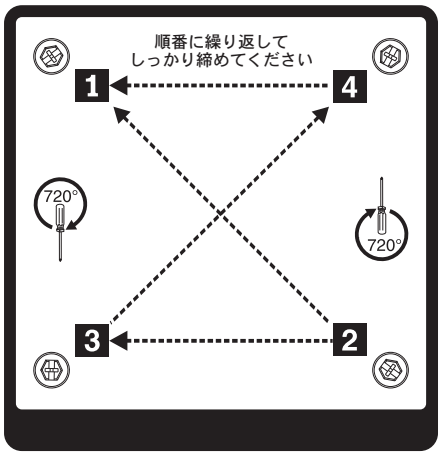
a. ヒートシンクの底に付いているプラスチック保護カバーを取り外します。

   重要: プラスチック・カバーを取り外した後で、ヒートシンク下部の熱伝導グリースに触れないでください。 熱伝導グリースに触れると、熱伝導グリースが汚染されます。 詳しくは、 90 ページの『熱伝導グリース』を参照してください。

b. ヒートシンクのねじをシステム・ボードのねじ穴と位置合わせし、熱伝導グリースの面を下にしてヒートシンクをマイクロプロセッサーの上に置きます。



c. 拘束ねじをしっかり押し込んで、ドライバーでこれらのねじを締めます。次の図は、ねじを締める順序を示しています。この図はヒートシンクの上部にも示されています。 「1」のラベルが付いたねじから始め、次に「2」、「3」、最後に「4」を締めます。 可能な場合は、各ねじを一度に 2 回転ずつ締めます。 ねじがきつく締まるまで繰り返します。 過度の力を加えて、ねじを締めすぎないでください。トルク・レンチを使用している場合は、8.5 ニュートン・メートル (Nm) から 13 Nm でねじを締めてください。



12. 2 つ目のマイクロプロセッサーを取り付けた場合は、2 つのファンをシステム・ボードのファン・コネクター 3 にそれぞれ取り付けます。(102 ページの『ファン・アセンブリーの取り付け』を参照)。
13. 取り外したメモリー・モジュールを再び取り付けます (52 ページの『メモリー・モジュールの取り付け』 を参照)。
14. エアー・バッフルを再び取り付けます (104 ページの『エアー・バッフルの取り付け』を参照)。
15. アダプターまたはシステム・ボードから取り外したケーブルをすべて再接続します。
16. 古いマイクロプロセッサーの返却を求めれた場合は、すべての梱包上の指示に従い、提供された配送用の梱包材を使用してください。

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

熱伝導グリース:

マイクロプロセッサー上から取り外したヒートシンクを再使用したり、グリース内にごみを発見したときは必ず、熱伝導グリースを交換する必要があります。以下の情報を使用して、マイクロプロセッサーおよびヒートシンク上の損傷した、あるいは汚染された熱伝導グリースを交換します。

このタスクについて

ヒートシンクを取り外したマイクロプロセッサーと同じマイクロプロセッサーにそのヒートシンクを取り付ける場合は、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- ヒートシンクとマイクロプロセッサー上の熱伝導グリースが汚れていないこと。
- ヒートシンクとマイクロプロセッサー上の既存の熱伝導グリースに熱伝導グリースを追加しないこと。

注:

- vii ページの『安全について』で始まる『安全について』をお読みください。
- 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

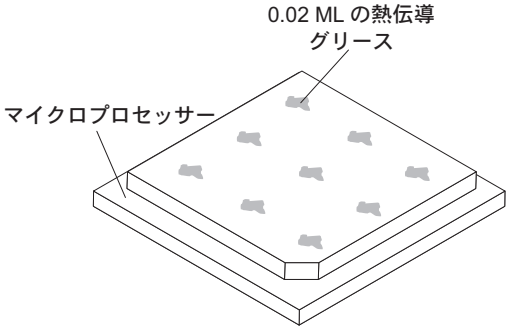
- 43 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』をお読みください。

マイクロプロセッサーとヒートシンク上の損傷または汚染した熱伝導グリースを交換するには、以下のステップを実行します。

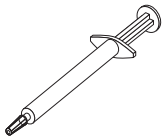
手順

1. ヒートシンクを清潔な作業面に置きます。
2. パッケージのクリーニング・パッドを取り出して、完全に広げます。
3. クリーニング・パッドで、ヒートシンクの底に付いた熱伝導グリースをふき取ります。

   注: 熱伝導グリースが完全に除去されたことを確認してください。
4. クリーニング・パッドのきれいな部分を使って、マイクロプロセッサーから熱伝導グリースを拭き取ります。熱伝導グリースがすべて除去された後で、クリーニング・パッドを廃棄してください。



5. 熱伝導グリースの注射器を使用して、マイクロプロセッサーの上部に、等間隔の 9 カ所に点状に 0.02 mL ずつグリースを配置します。最も外側のドットをマイクロプロセッサーの端から約 5 mm 内に置く必要があります。これは、グリースを均等に配置するためです。



   注: グリースを適切に塗ると、注射器には約半分のグリースが残ります。
6. ヒートシンクをマイクロプロセッサーに取り付けます (87 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り付け』を参照)。

マイクロプロセッサー 2 拡張ボードの取り外し

マイクロプロセッサー 2 拡張ボードを取り外すには、この情報を使用します。

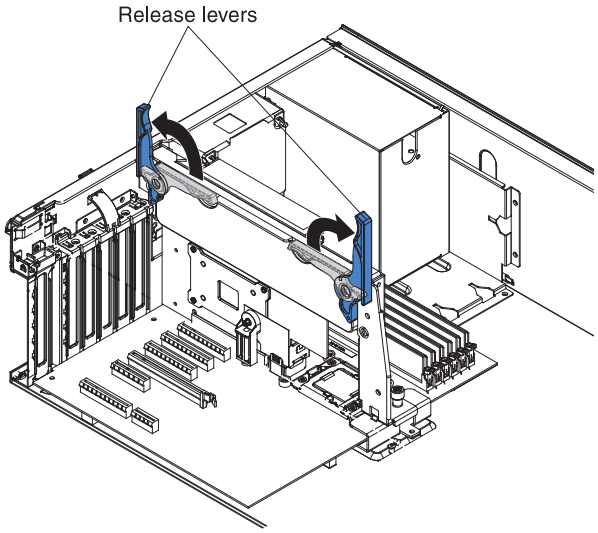
マイクロプロセッサー 2 拡張ボードを取り外すには、次のステップを実行してください。

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

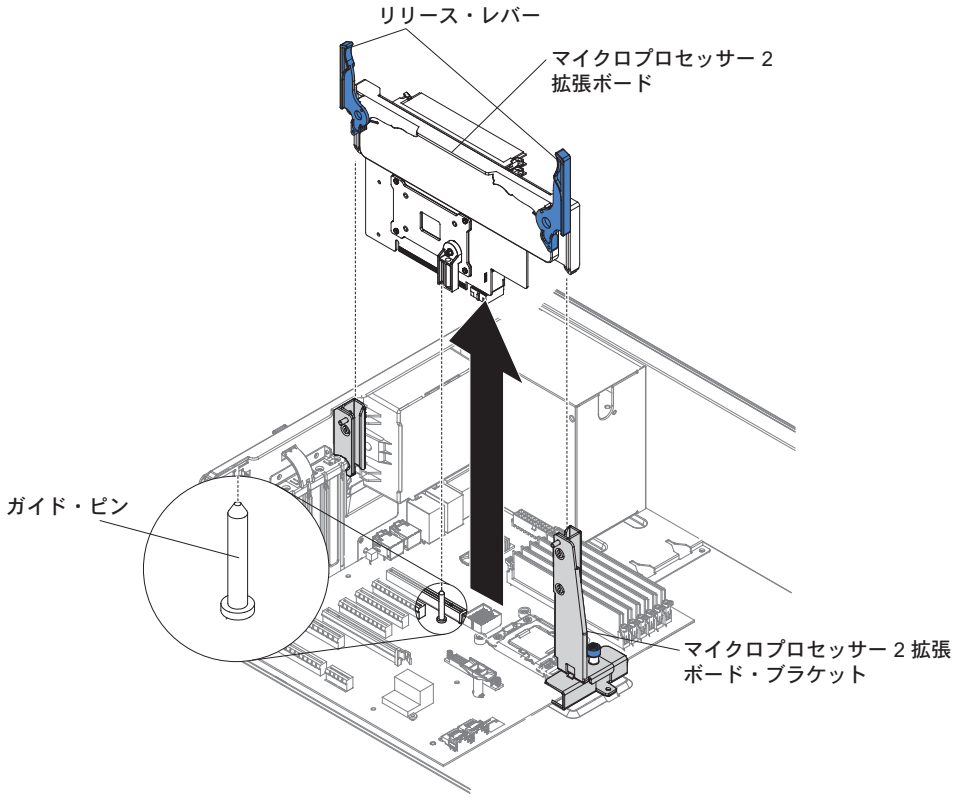
   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. エアー・バッフルを取り外します (46 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
6. ファン・アセンブリーを取り外します (47 ページの『ファン・アセンブリーの取り外し』を参照)。
7. 各ケーブルがマイクロプロセッサー 2 拡張ボードのどこに接続されているかをメモしてから、それらのケーブルを切り離します。

   重要: システム・ボードからすべてのケーブルを切り離す場合は、ケーブル・コネクター上のすべてのラッチ、リリース・タブ、またはロックを外します (詳しくは、 209 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクター』を参照)。 ケーブルを取り外す前にそれらを解除しないと、マイクロプロセッサー 2 拡張ボード上のケーブル・ソケットが損傷します。 マイクロプロセッサー 2 拡張ボード上のケーブル・ソケットは壊れやすい物です。 ケーブル・ソケットが損傷すると、マイクロプロセッサー 2 拡張ボードの交換が必要になる場合があります。
8. マイクロプロセッサー 2 拡張ボードに取り付けられている以下のコンポーネントをすべて取り外し、帯電防止された安全な場所に置きます。
   a. アダプター (259 ページの『アダプターの取り外し』を参照)。
   b. DIMMs (310 ページの『メモリー・モジュールの取り外し』を参照)
   c. マイクロプロセッサーおよびヒートシンク (326 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』を参照)

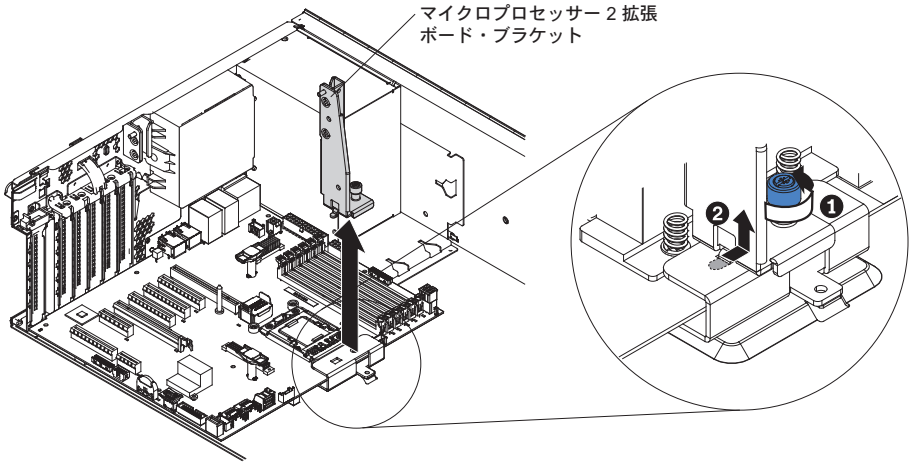
      重要: 新規のマイクロプロセッサー 2 拡張ボード上のマイクロプロセッサー・ソケットからソケット・カバーを取り外し、取り外したマイクロプロセッサー 2 拡張ボード上のマイクロプロセッサー・ソケットにそのソケット・カバーを取り付けます。
9. マイクロプロセッサー 2 拡張ボードのリリース・レバーが開いた位置にあることを確認します。



10. リリース・レバーとハンドルをつかみ、慎重にマイクロプロセッサー 2 拡張ボードを持ち上げてサーバーから取り外します。



11. マイクロプロセッサー 2 拡張ボードのサイド・ブラケットを取り外します。
    a. サイド・ブラケットのつまみねじを緩めます。
    b. システム・ボードの穴からサイド・ブラケットを外します。



12. マイクロプロセッサー 2 拡張ボードの返却を求められた場合は、すべての梱包上の指示に従い、配送用に提供された梱包材を使用してください。

    重要: マイクロプロセッサー 2 拡張ボードを返却する前に、マイクロプロセッサー 2 拡張ボード上のマイクロプロセッサー・ソケットのソケット・カバーが取り付けられていることを確認してください。

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

マイクロプロセッサー 2 拡張ボードの交換

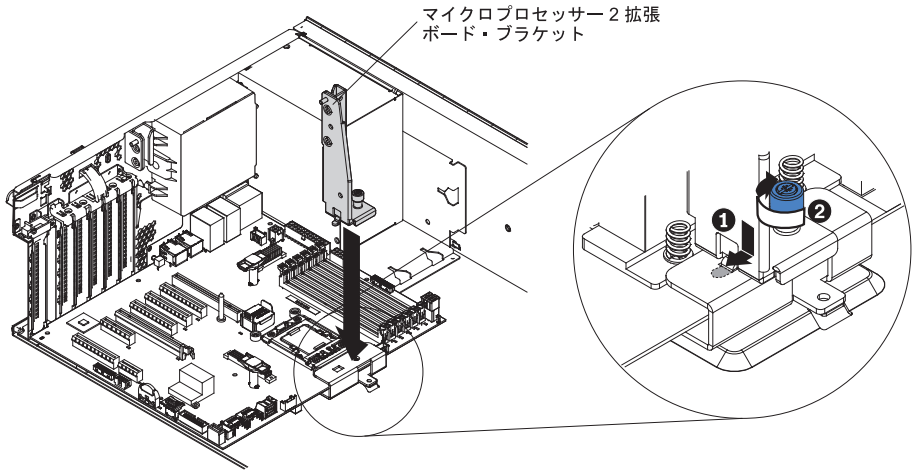
マイクロプロセッサー 2 拡張ボードを交換するには、この情報を使用します。

マイクロプロセッサー 2 拡張ボードを交換するには、次のステップを実行してください。

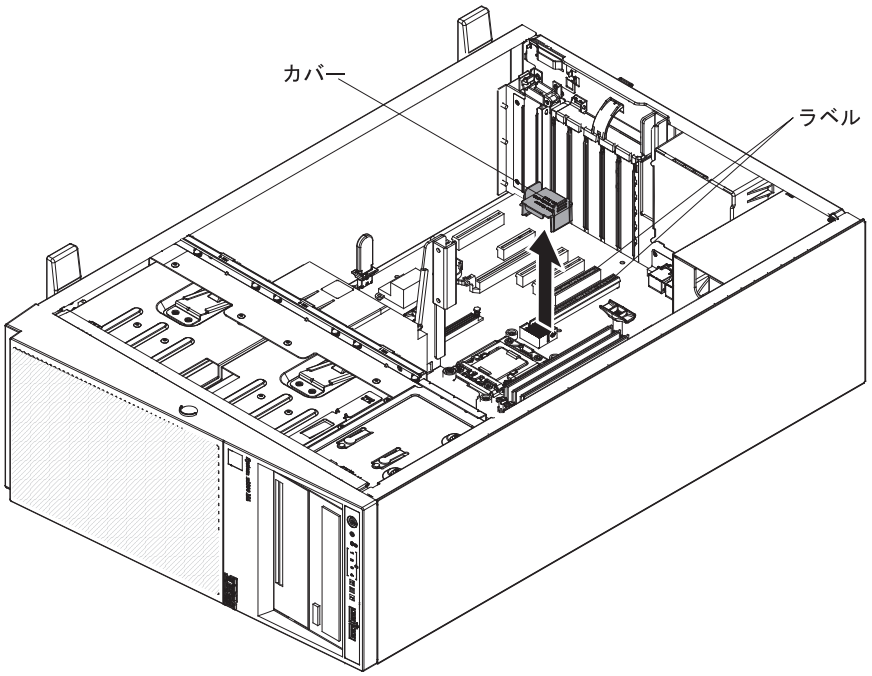
1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. エアー・バッフルを取り外します (46 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
6. ファン・アセンブリーを取り外します (47 ページの『ファン・アセンブリーの取り外し』を参照)。
7. 既存の追加マイクロプロセッサーを取り外します (334 ページの『マイクロプロセッサー 2 拡張ボードの取り外し』を参照)
8. マイクロプロセッサー 2 拡張ボードが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させた後、パッケージからマイクロプロセッサー 2 拡張ボードを取り出します。

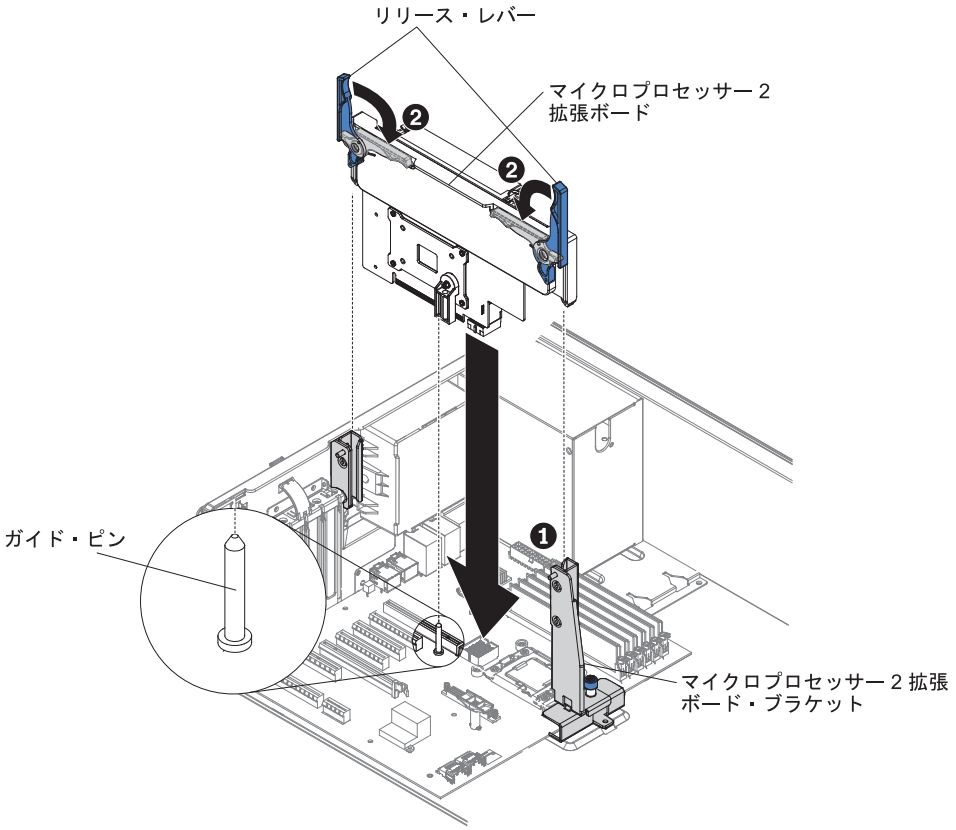
9. マイクロプロセッサー 2 拡張ボードのサイド・ブラケットを取り付けます。
   a. サイド・ブラケットをシャーシの穴と位置合わせし、サイド・ブラケットをシステム・ボードに取り付けます。

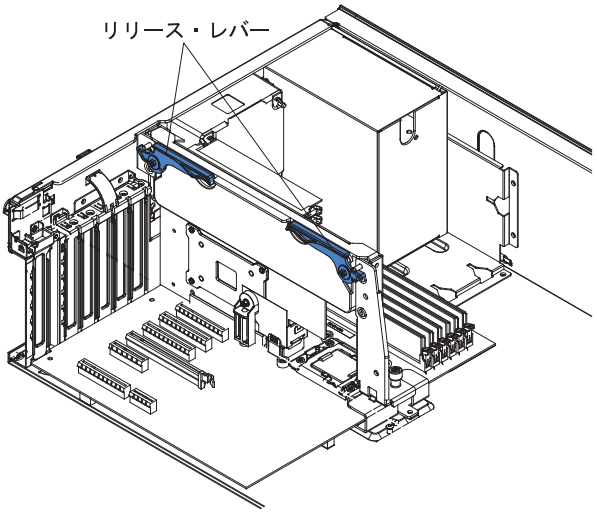


   b. サイド・ブラケットのつまみねじを締めます。
10. システム・ボード上の、マイクロプロセッサー 2 拡張ボード・コネクターのカバーと、CPU スロットおよび PCI スロット 1 のラベルを取り外します。



11. マイクロプロセッサー 2 拡張ボードのリリース・レバーが開いた位置にあることを確認します。
12. マイクロプロセッサー 2 拡張ボードの穴をシステム・ボード上のガイド・ピンと位置合わせします。 マイクロプロセッサー 2 拡張ボードをシステム・ボードに取り付けます。





13. マイクロプロセッサー 2 拡張ボードをシステム・ボードに垂直にしっかりと押し込みます。

注:

- サーバーの電源がオンになっている場合にサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電されると、サーバーが停止することがあり、それによってデータが失われる可能性があります。 こうした潜在的な問題を回避するために、電源がオンになっているサーバー内で作業するときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

- マイクロプロセッサー 2 拡張ボードの下にサーバー・ケーブルが引っ掛かっていないことを確認してください。

14. リリース・レバーを閉じた位置まで回転させ、マイクロプロセッサー 2 拡張ボードを所定の位置に固定します。

    注: マイクロプロセッサー 2 拡張ボードのコネクターを押し、確実にコネクターをシステム・ボードにしっかりと装着します。

15. マイクロプロセッサー 2 電源ケーブル (P4) を、システム・ボード上のそのコネクターに接続します (210 ページの『電源ケーブル接続』を参照)。

他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

システム・ボードの取り外し

システム・ボードを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

サーバーからシステム・ボードを取り外す前に、以下の手順を実行してデータ、ファームウェア、および構成データを保存してください。

- IMM IP アドレス、重要プロダクト・データ、およびサーバーのマシン・タイプ、型式番号、シリアル番号、固有 ID、資産タグなどのすべてのシステム構成情報を記録します。
- Advanced Settings ユーティリティー (ASU) を使用して、システム構成を外部メディアに保存します。
- システム・イベント・ログを外部メディアに保存します。

注:

1. システム・ボードを交換する場合は、最新のファームウェアを使用してサーバーを更新するか、またはお客様作成のディスケットまたは CD イメージに含まれている既存のファームウェアを復元してください。 最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーが手元にあることを確認してから、先に進んでください。
2. システム・ボードを交換する前に、有効化した Features on Demand (FoD) キーのバックアップを必ず取ってください。 新しいシステム・ボードを取り付けた後で、Features on Demand (FoD) キーを再び有効化する必要があります。 IBM ToolsCenter または IBM Systems Director を使用したアクティベーション・キーのアクティブ化とインストールの自動化の手順など、Features on Demand (FoD) について詳しくは、「*IBM Features on Demand User's Guide*」 (/http://www.ibm.com/systems/x/fod/ の『Help』セクションの下) を参照してください。

システム・ボードを取り外すには、以下のステップを実行します。

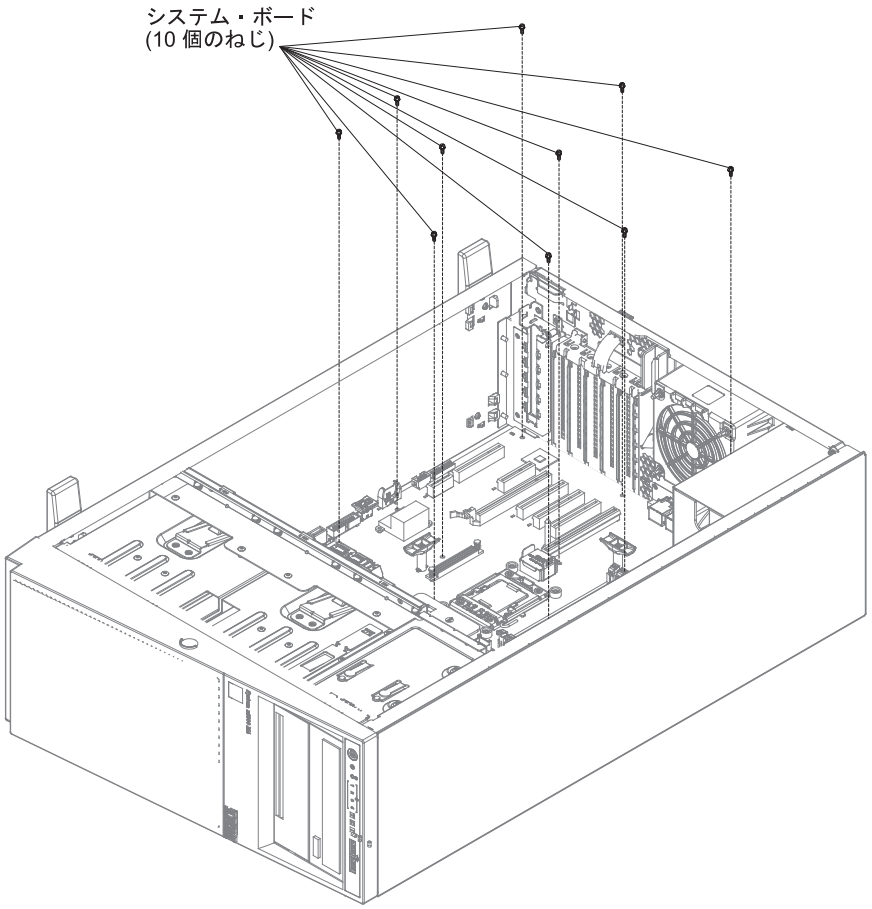
手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

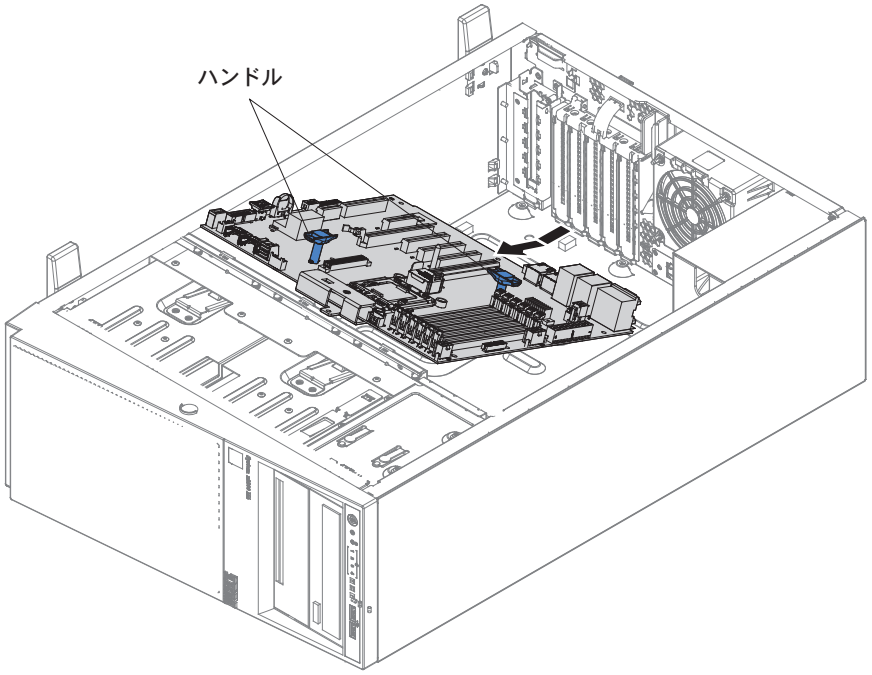
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。
4. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. エアー・バッフルを取り外します (46 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
6. すべてのファン・アセンブリーを取り外します (47 ページの『ファン・アセンブリーの取り外し』を参照)。
7. アダプターが付属している PCI ライザー・カード・アセンブリーを、すべて取り外します (275 ページの『PCI-X ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』および 259 ページの『アダプターの取り外し』を参照)。
8. システム・ボードに接続されたすべてのケーブルを取り外します。 ケーブルを切り離すときに各ケーブルのリストを作成してください。そうすれば、新しいシステム・ボードの取り付け時にこれをチェックリストとして使用できます。
9. システム・ボードから DIMM を取り外し、再取り付け用に静電防止板の上に置きます (310 ページの『メモリー・モジュールの取り外し』を参照)。

   注: DIMM を取り外すときは、各 DIMM の位置をメモしておき、後で同じコネクターに再取り付けできるようにします。
10. マイクロプロセッサー 2 拡張ボードを取り外します (334 ページの『マイクロプロセッサー 2 拡張ボードの取り外し』を参照)。
11. 既存のマイクロプロセッサーとヒートシンクを取り外します (326 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』を参照)。
12. 図示している 10 個のねじをシステム・ボードから取り外し、将来の使用に備えて安全な場所に保管します。



13. システム・ボードのハンドルをつかみます。そして、システム・ボードを注意深く手前に引きながら持ち上げてシャーシから取り外します。



14. マイクロプロセッサーとヒートシンクを新しいシステム・ボードに再び取り付けます (87 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り付け』を参照)。
15. システム・ボードの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

システム・ボードの交換

システム・ボードを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

サーバーからシステム・ボードを交換する前に、以下の手順を実行してデータ、ファームウェア、および構成データを保存してください。

- IMM IP アドレス、重要プロダクト・データ、およびサーバーのマシン・タイプ、型式番号、シリアル番号、固有 ID、資産タグなどのすべてのシステム構成情報を記録します。
- Advanced Settings ユーティリティー (ASU) を使用して、システム構成を外部メディアに保存します。
- システム・イベント・ログを外部メディアに保存します。

注:

1. システム・ボードを交換する場合は、最新のファームウェアを使用してサーバーを更新するか、またはお客様作成のディスケットまたは CD イメージに含まれている既存のファームウェアを復元してください。 最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーが手元にあることを確認してから、先に進んでください。
2. システム・ボードを交換する前に、有効化した Features on Demand (FoD) キーのバックアップを必ず取ってください。 新しいシステム・ボードを取り付けた後で、Features on Demand (FoD) キーを再び有効化する必要があります。 IBM ToolsCenter または IBM Systems Director を使用したアクティベーション・キーのアクティブ化とインストールの自動化の手順など、Features on Demand (FoD) について詳しくは、「*IBM Features on Demand User's Guide*」 (/http://www.ibm.com/systems/x/fod/ の『Help』セクションの下) を参照してください。

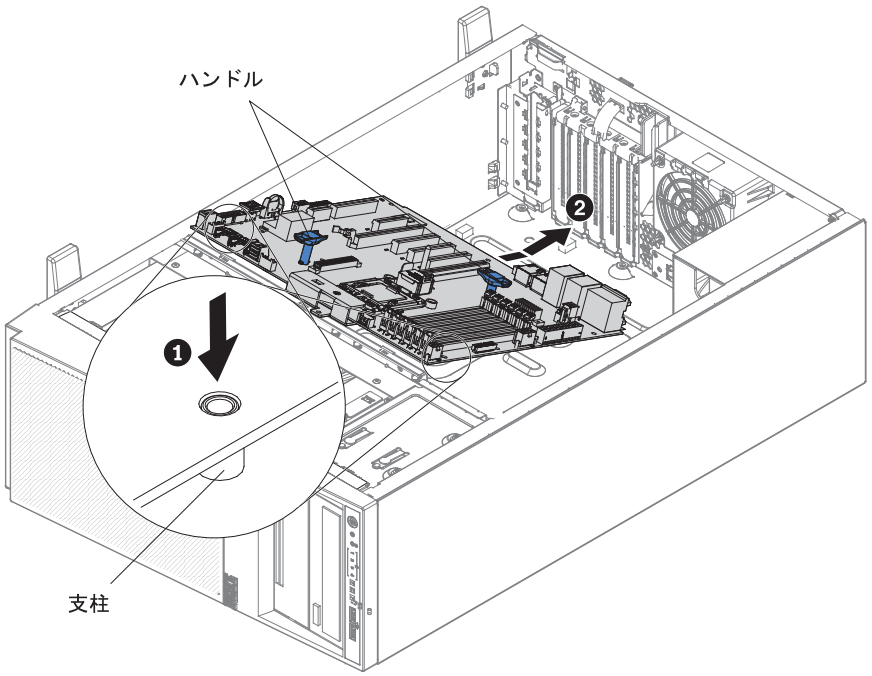
システム・ボードを交換するには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 40 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (28 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)、接続されたすべての周辺装置の電源をオフにします。 すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. サーバーの側面を下にして、カバーを上にしてサーバーを静かに置きます。

   重要: サーバーを強く倒さないようにしてください。

4. 左サイド・カバーのロックを解除し、取り外します (44 ページの『左サイド・カバーの取り外し』を参照)。
5. エアー・バッフルを取り外します (46 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
6. すべてのファン・アセンブリーを取り外します (47 ページの『ファン・アセンブリーの取り外し』を参照)。
7. 既存のシステム・ボードを取り外します (339 ページの『システム・ボードの取り外し』を参照)。
8. システム・ボードが入っている帯電防止パッケージに触れてから、パッケージからシステム・ボードを取り出します。
9. システム・ボードのハンドルをつかみ、注意してシステム・ボードを取り付けます。その際、図に示すように支柱との位置が合うようにします。



10. Setup ユーティリティーを始動して、構成をリセットします。
    a. システムの日付と時刻を設定します。
    b. 始動パスワードを設定します。
    c. サーバーを再構成します。

    115 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照してください。
11. 最新の RAID ファームウェアを使用してサーバーを更新するか、ディスケットまたは CD イメージに含まれている既存のファームウェアを復元します (109 ページの『ファームウェアの更新』を参照)。
12. UID を更新します (137 ページの『汎用固有 ID (UUID) の更新』を参照)。
13. DMI/SMBIOS を更新します (140 ページの『DMI/SMBIOS データの更新』を参照)。
14. システム・ボードの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

15. 他に取り付ける装置または取り外す装置がある場合は、この時点でそれを実行してください。そうでない場合は、 101 ページの『取り付けの完了』に進みます。

付録 A. 統合管理モジュール II (IMM2) エラー・メッセージ

ハードウェア・イベントがサーバー上の IMM によって検出されると、IMM はそのイベントをサーバー内のシステム・イベント・ログに記録します。

イベント・コードごとに、以下のフィールドが表示されます。

イベント ID
イベントあるいはイベントのクラスを一意的に識別する 16 進数の ID。本書では、イベント ID は 0x で始まり、後に 8 文字が続きます。

イベント記述
イベントについて表すログ・メッセージ・ストリング。システム・イベント・ログにイベント・ストリングが表示される場合、特定のコンポーネントなどの情報が表示されます。本書では、その追加情報は [arg1] あるいは [arg2] などの変数として表示されます。

説明 イベントが発生した原因を説明する追加情報。

重大度 状態の懸念レベルを示します。システム・イベント・ログでは、重大度は先頭文字に省略されています。以下の重大度が表示されることがあります。

通知: イベントは監査目的で記録されたもので、通常はユーザーの処置または正常に動作する状態の変更です。

警告: イベントはエラーほど深刻ではありませんが、可能であればエラーになる前に状態を修正することをお勧めします。また、追加のモニターまたは保守が必要な状態である場合もあります。

エラー:
イベントは、サービスあるいは期待された機能を悪化させる障害またはクリティカルな状態です。

アラート・カテゴリー
同類のイベントがカテゴリーごとに分類されます。アラート・カテゴリーは以下の形式になります。

重大度 - 装置

*重大度*は、以下の重大度レベルのいずれかです。

- **クリティカル:** サーバー内の主要コンポーネントが機能していません。
- **警告:** イベントがクリティカル・レベルに進行する可能性があります。
- **システム:** イベントは、システム・エラーあるいは構成変更の結果です。

*装置*は、イベント生成の原因となったサーバー内の特定の装置です。

保守可能
問題を修正するためにユーザー処置が必要かどうか。

CIM 情報
CIM メッセージ・レジストリーが使用するメッセージ ID の接頭部およびシーケンス番号。

© Copyright IBM Corp. 2013

SNMP トラップ ID
SNMP アラート管理情報ベース (MIB) にある SNMP トラップ ID。

自動連絡サービス
このフィールドを「**Yes**」に設定すると、Electronic Service Agent™ (ESA) が有効になり、イベント生成時には IBM サポートに自動的に通知されます。

IBM サポートからの連絡を待つ間に、そのイベントに対する推奨処置を実行することができます。

ユーザー応答
イベントを解決するために実行する必要がある処置です。

このセクションにリストされている手順を、問題が解決するまで順番に実行します。このフィールドに説明されている処置をすべて実行した後、まだ問題を解決できない場合には、IBM サポートにお問い合わせください。

注: このリストには、このマシン・タイプおよびモデルに適用されない可能性があるエラー・コードとメッセージも含まれます。

以下に、IMM2 エラー・メッセージおよび検出されたサーバーの問題を修正するための推奨アクションをリストします。IMM2 についての詳細は、「*Integrated Management Module II User's Guide*」(http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=migr-5086346) を参照してください。

40000001-00000000 Management Controller [arg1] Network Initialization Complete.

説明: このメッセージは、管理コントローラーのネットワークで初期化が完了した場合に使用されます。

4000000100000000 または 0x4000000100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0001

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000002-00000000 Certificate Authority [arg1] has detected a [arg2] Certificate Error.

説明: このメッセージは、SSL サーバー、SSL クライアント、または SSL トラステッド CA 証明書のエラーがある場合に使用されます。

4000000200000000 または 0x4000000200000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - SSL 認証

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0002

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: インポートしている証明書が正しく、適切に生成されていることを確認します。

40000003-00000000 Ethernet Data Rate modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポートのデータ転送速度を変更した場合に使用されます。

4000000300000000 または 0x4000000300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0003

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000004-00000000 Ethernet Duplex setting modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポートの二重設定を変更した場合に使用されます。

4000000400000000 または 0x4000000400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0004

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000005-00000000 Ethernet MTU setting modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポート MTU 設定を変更した場合に使用されます。

4000000500000000 または 0x4000000500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0005

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000006-00000000 Ethernet locally administered MAC address modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポート MAC アドレス設定を変更した場合に使用されます。

4000000600000000 または 0x4000000600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0006

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000007-00000000 Ethernet interface [arg1] by user [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・インターフェースを使用可能または使用不可にする場合に使用されます。

4000000700000000 または 0x4000000700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0007

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000008-00000000 Hostname set to [arg1] by user [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーのホスト名を変更する場合に使用されます。

4000000800000000 または 0x4000000800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0008

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000009-00000000 IP address of network interface modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーの IP アドレスを変更する場合に使用されます。

4000000900000000 または 0x4000000900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0009

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000a-00000000 IP subnet mask of network interface modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーの IP サブネット・マスクを変更する場合に使用されます。

4000000a00000000 または 0x4000000a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0010

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000b-00000000 IP address of default gateway modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーのデフォルトのゲートウェイ IP アドレスを変更する場合に使用されます。

4000000b00000000 または 0x4000000b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0011

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000c-00000000 OS Watchdog response [arg1] by [arg2] .

説明: このメッセージは、ユーザーによって OS ウォッチドッグが使用可能または使用不可にされた場合に使用されます。

4000000c00000000 または 0x4000000c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0012

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000d-00000000 DHCP[[arg1]] failure, no IP address assigned.

説明: このメッセージは、DHCP サーバーが管理コントローラーに IP アドレスを割り当てることができない場合に使用されます。

4000000d00000000 または 0x4000000d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0013

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。IMM ネットワーク・ケーブルが接続されていることを確認します。IMM に IP アドレスを割り当てることができる DHCP サーバーがネットワーク上に存在することを確認します。

4000000e-00000000 Remote Login Successful. Login ID: [arg1] from [arg2] at IP address [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーに正常にログインする場合に使用されます。

4000000e00000000 または 0x4000000e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0014

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000f-00000000 Attempting to [arg1] server [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーを使用してシステム上の電源機能を実行している場合に使用されます。

4000000f00000000 または 0x4000000f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0015

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000010-00000000 Security: Userid: [arg1] had [arg2] login failures from WEB client at IP address [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが Web ブラウザーから管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

4000001000000000 または 0x4000001000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0016

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認します。システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

40000011-00000000 Security: Login ID: [arg1] had [arg2] login failures from CLI at [arg3]..

説明: このメッセージは、ユーザーが Legacy CLI から管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

4000001100000000 または 0x4000001100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0017

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認します。システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

40000012-00000000 Remote access attempt failed. Invalid userid or password received. Userid is [arg1] from WEB browser at IP address [arg2].

説明: このメッセージは、リモート・ユーザーが Web ブラウザー・セッションからリモート制御セッションを確立できなかった場合に使用されます。

4000001200000000 または 0x4000001200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0018

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。

40000013-00000000 Remote access attempt failed. Invalid userid or password received. Userid is [arg1] from TELNET client at IP address [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーが Telnet セッションから管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

4000001300000000 または 0x4000001300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0019

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。

40000014-00000000 The [arg1] on system [arg2] cleared by user [arg3].

説明: このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログがユーザーによって消去された場合に使用されます。

4000001400000000 または 0x4000001400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0020

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000015-00000000 Management Controller [arg1] reset was initiated by user [arg2].

説明: このメッセージは、管理コントローラーのリセットがユーザーによって開始された場合に使用されます。

4000001500000000 または 0x4000001500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0021

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000016-00000000 ENET[[arg1]] DHCP-HSTN=[arg2], DN=[arg3], IP@=[arg4], SN=[arg5], GW@=[arg6], DNS1@=[arg7] .

説明: このメッセージは、管理コントローラーの IP アドレスと構成が DHCP サーバーによって割り当てられた場合に使用されます。

4000001600000000 または 0x4000001600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0022

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000017-00000000 ENET[[arg1]] IP-Cfg:HstName=[arg2], IP@=[arg3] ,NetMsk=[arg4], GW@=[arg5] .

説明: このメッセージは、管理コントローラーの IP アドレスと構成がユーザー・データを使用して静的に割り当てられた場合に使用されます。

4000001700000000 または 0x4000001700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0023

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000018-00000000 LAN: Ethernet[[arg1]] interface is no longer active.

説明: このメッセージは、管理コントローラーのイーサネット・インターフェースがアクティブでなくなった場合に使用されます。

4000001800000000 または 0x4000001800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0024

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000019-00000000 LAN: Ethernet[[arg1]] interface is now active.

説明: このメッセージは、管理コントローラーのイーサネット・インターフェースがアクティブになった場合に使用されます。

4000001900000000 または 0x4000001900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0025

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000001a-00000000 DHCP setting changed to [arg1] by user [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーが DHCP 設定を変更した場合に使用されます。

4000001a00000000 または 0x4000001a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0026

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000001b-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restored from a file by user [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元した場合に使用されます。

4000001b00000000 または 0x4000001b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0027

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000001c-00000000 Watchdog [arg1] Screen Capture Occurred .

説明: このメッセージは、オペレーティング・システム・エラーが発生し、画面がキャプチャーされた場合に使用されます。

4000001c00000000 または 0x4000001c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0028

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: オペレーティング・システム・エラーがない場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行します。ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。IMM Ethernet-over-USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。ウォッチドッグを使用不可にします。 オペレーティング・システム・エラーがある場合は、インストールされているオペレーティング・システムの整合性を検査します。

4000001d-00000000 Watchdog [arg1] Failed to Capture Screen.

説明: このメッセージは、オペレーティング・システム・エラーが発生し、画面キャプチャーが失敗した場合に使用されます。

4000001d00000000 または 0x4000001d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0029

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。IMM Ethernet over USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。ウォッチドッグを使用不可にします。インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。IMM ファームウェアを更新します。 重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

4000001e-00000000 Running the backup Management Controller [arg1] main application.

説明: このメッセージは、管理コントローラーがバックアップ・メイン・アプリケーションを実行する手段を用いた場合に使用されます。

4000001e00000000 または 0x4000001e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0030

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: IMM ファームウェアを更新します。 重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

4000001f-00000000 Please ensure that the Management Controller [arg1] is flashed with the correct firmware. The Management Controller is unable to match its firmware to the server.

説明: このメッセージは、管理コントローラーのファームウェア・バージョンがサーバーと一致しない場合に使用されます。

4000001f00000000 または 0x4000001f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0031

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: IMM ファームウェアを、サーバーがサポートするバージョンに更新します。 重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

40000020-00000000 Management Controller [arg1] Reset was caused by restoring default values.

説明: このメッセージは、ユーザーが構成をデフォルト値に復元したために管理コントローラーがリセットされた場合に使用されます。

4000002000000000 または 0x4000002000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0032

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000021-00000000 Management Controller [arg1] clock has been set from NTP server [arg2].

説明: このメッセージは、管理コントローラーのクロックが Network Time Protocol サーバーから設定された場合に使用されます。

4000002100000000 または 0x4000002100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0033

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000022-00000000 SSL data in the Management Controller [arg1] configuruation data is invalid. Clearing configuration data region and disabling SSL.

説明: このメッセージは、管理コントローラーが構成データで無効な SSL データを検出し、構成データ領域をクリアし、SSL を使用不可にしている場合に使用されます。

4000002200000000 または 0x4000002200000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0034

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。インポートしている証明書が正しいことを確認します。証明書のインポートを再試行します。

40000023-00000000 Flash of [arg1] from [arg2] succeeded for user [arg3] .

説明: このメッセージは、ユーザーがインターフェースおよび IP アドレスからファームウェア・コンポーネント (MC メインアプリケーション、MC ブート ROM、BIOS、診断、システム電源バックプレーン、リモート拡張ユニットの電源バックプレーン、内蔵システム管理プロセッサー、またはリモート拡張ユニットのプロセッサー) を正常にフラッシュした場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0035

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000024-00000000 Flash of [arg1] from [arg2] failed for user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが障害のためにインターフェースと IP アドレスからファームウェア・コンポーネントをフラッシュしなかった場合に使用されます。

4000002400000000 または 0x4000002400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0036

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000025-00000000 The [arg1] on system [arg2] is 75% full.

説明: このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログが 75% フルである場合に使用されます。

4000002500000000 または 0x4000002500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - イベント・ログ 75% フル

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0037

SNMP トラップ ID: 35

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000026-00000000 The [arg1] on system [arg2] is 100% full.

説明: このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログが 100% フルである場合に使用されます。

4000002600000000 または 0x4000002600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - イベント・ログ 75% フル

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0038

SNMP トラップ ID: 35

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以前のログ項目が失われないようにするには、ログをテキスト・ファイルとして保管し、ログをクリアします。

40000027-00000000 Platform Watchdog Timer expired for [arg1].

説明: このメッセージは、実装環境でプラットフォーム・ウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されたユース・ケースに表示されます。

4000002700000000 または 0x4000002700000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - OS タイムアウト

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0039

SNMP トラップ ID: 21

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。IMM Ethernet-over-USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。ウォッチドッグを使用不可にします。インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。

40000028-00000000 Management Controller Test Alert Generated by [arg1].

説明: このメッセージは、ユーザーがテスト・アラートを生成した場合に使用されます。

4000002800000000 または 0x4000002800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0040

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000029-00000000 Security: Userid: [arg1] had [arg2] login failures from an SSH client at IP address [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが SSH から管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

4000002900000000 または 0x4000002900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0041

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認します。システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

4000002a-00000000 [arg1] firmware mismatch internal to system [arg2]. Please attempt to flash the [arg3] firmware.

説明: このメッセージは、特定タイプのファームウェア・ミスマッチが検出されたユース・ケースに表示されます。

4000002a00000000 または 0x4000002a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0042

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: IMM ファームウェアを再消去して、最新のバージョンにします。

4000002b-00000000 Domain name set to [arg1].

説明: ユーザーによってドメイン・ネームが設定されました。

4000002b00000000 または 0x4000002b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0043

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000002c-00000000 Domain Source changed to [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーによってドメイン・ソースが変更されました。

4000002c00000000 または 0x4000002c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0044

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000002d-00000000 DDNS setting changed to [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーによって DDNS 設定が変更されました。

4000002d00000000 または 0x4000002d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0045

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000002e-00000000 DDNS registration successful. The domain name is [arg1].

説明: DDNS 登録および値

4000002e00000000 または 0x4000002e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0046

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000002f-00000000 IPv6 enabled by user [arg1] .

説明: ユーザーが IPv6 プロトコルを有効にしました。

4000002f00000000 または 0x4000002f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0047

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000030-00000000 IPv6 disabled by user [arg1] .

説明: ユーザーが IPv6 プロトコルを無効にしました。

4000003000000000 または 0x4000003000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0048

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000031-00000000 IPv6 static IP configuration enabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 静的アドレス割り当て方式を有効にしました。

4000003100000000 または 0x4000003100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0049

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000032-00000000 IPv6 DHCP enabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 DHCP 割り当て方式を有効にしました。

4000003200000000 または 0x4000003200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0050

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000033-00000000 IPv6 stateless auto-configuration enabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 ステートレス自動割り当て方式を有効にしました。

4000003300000000 または 0x4000003300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0051

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000034-00000000 IPv6 static IP configuration disabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 静的割り当て方式を無効にしました。

4000003400000000 または 0x4000003400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0052

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000035-00000000 IPv6 DHCP disabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 DHCP 割り当て方式を無効にしました。

4000003500000000 または 0x4000003500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0053

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000036-00000000 IPv6 stateless auto-configuration disabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 ステートレス自動割り当て方式を無効にしました。

4000003600000000 または 0x4000003600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0054

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000037-00000000 ENET[[arg1]] IPv6-LinkLocal:HstName=[arg2], IP@=[arg3], Pref=[arg4] .

説明: IPv6 リンク・ローカル・アドレスがアクティブです。

4000003700000000 または 0x4000003700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0055

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000038-00000000 ENET[[arg1]] IPv6-Static:HstName=[arg2], IP@=[arg3], Pref=[arg4], GW@=[arg5].

説明: IPv6 静的アドレスがアクティブです。

4000003800000000 または 0x4000003800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0056

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000039-00000000 ENET[[arg1]] DHCPv6-HSTN=[arg2], DN=[arg3], IP@=[arg4], Pref=[arg5].

説明: IPv6 DHCP 割り当てアドレスがアクティブです。

4000003900000000 または 0x4000003900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0057

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000003a-00000000 IPv6 static address of network interface modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが、管理コントローラーの IPv6 固定アドレスを変更しました。

4000003a00000000 または 0x4000003a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM およびand **ID:** 0058

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000003b-00000000 DHCPv6 failure, no IP address assigned.

説明: S DHCP6 サーバーが、管理コントローラーへの IP アドレスの割り当てに失敗しました。

4000003b00000000 または 0x4000003b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0059

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。IMM ネットワーク・ケーブルが接続されていることを確認します。IMM に IP アドレスを割り当てることができる DHCPv6 サーバーがネットワーク上に存在することを確認します。

4000003c-00000000 Platform Watchdog Timer expired for [arg1].

説明: 実装環境で OS ローダー・ウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されました。

4000003c00000000 または 0x4000003c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - ローダー・タイムアウト

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0060

SNMP トラップ ID: 26

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。IMM Ethernet over USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。ウォッチドッグを使用不可にします。インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。

4000003d-00000000 Telnet port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが Telnet ポート番号を変更しました。

4000003d00000000 または 0x4000003d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0061

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000003e-00000000 SSH port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが SSH ポート番号を変更しました。

4000003e00000000 または 0x4000003e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0062

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000003f-00000000 Web-HTTP port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが Web HTTP ポート番号を変更しました。

4000003f00000000 または 0x4000003f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0063

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000040-00000000 Web-HTTPS port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが Web HTTPS ポート番号を変更しました。

4000004000000000 または 0x4000004000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0064

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000041-00000000 CIM/XML HTTP port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが CIM HTTP ポート番号を変更しました。

4000004100000000 または 0x4000004100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0065

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000042-00000000 CIM/XML HTTPS port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが CIM HTTPS ポート番号を変更しました。

4000004200000000 または 0x4000004200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0066

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000043-00000000 SNMP Agent port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが SNMP エージェント・ポート番号を変更しました。

4000004300000000 または 0x4000004300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0067

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000044-00000000 SNMP Traps port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが SNMP トラップ・ポート番号を変更しました。

4000004400000000 または 0x4000004400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0068

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000045-00000000 Syslog port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが、Syslog 受信側のポート番号を変更しました。

4000004500000000 または 0x4000004500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0069

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000046-00000000 Remote Presence port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが、リモート・プレゼンスのポート番号を変更しました。

4000004600000000 または 0x4000004600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0070

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000047-00000000 LED [arg1] state changed to [arg2] by [arg3].

説明: ユーザーが LED の状態を変更しました。

4000004700000000 または 0x4000004700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0071

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000048-00000000 Inventory data changed for device [arg1], new device data hash=[arg2], new master data hash=[arg3] .

説明: 何らかの理由で物理インベントリーが変化しました。

4000004800000000 または 0x4000004800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0072

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000049-00000000 SNMP [arg1] enabled by user [arg2] .

説明: ユーザーが SNMPv1 または SNMPv3 あるいはトラップを有効にしました。

4000004900000000 または 0x4000004900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0073

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004a-00000000 SNMP [arg1] disabled by user [arg2] .

説明: ユーザーが SNMPv1 または SNMPv3 あるいはトラップを無効にしました。

4000004a00000000 または 0x4000004a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0074

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004b-00000000 SNMPv1 [arg1] set by user [arg2]: Name=[arg3], AccessType=[arg4], Address=[arg5], .

説明: ユーザーが、SNMP コミュニティー・ストリングを変更しました。

4000004b00000000 または 0x4000004b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0075

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004c-00000000 LDAP Server configuration set by user [arg1]: SelectionMethod=[arg2], DomainName=[arg3], Server1=[arg4], Server2=[arg5], Server3=[arg6], Server4=[arg7].

説明: ユーザーが、LDAP サーバー構成を変更しました。

4000004c00000000 または 0x4000004c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0076

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004d-00000000 LDAP set by user [arg1]: RootDN=[arg2], UIDSearchAttribute=[arg3], BindingMethod=[arg4], EnhancedRBS=[arg5], TargetName=[arg6], GroupFilter=[arg7], GroupAttribute=[arg8], LoginAttribute=[arg9].

説明: ユーザーが、LDAP の各種設定を構成しました。

4000004d00000000 または 0x4000004d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0077

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004e-00000000 Serial Redirection set by user [arg1]: Mode=[arg2], BaudRate=[arg3], StopBits=[arg4], Parity=[arg5], SessionTerminateSequence=[arg6].

説明: ユーザーが、シリアル・ポート・モードを構成しました。

4000004e00000000 または 0x4000004e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0078

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000004f-00000000 Date and Time set by user [arg1]: Date=[arg2], Time-[arg3], DST Auto-adjust=[arg4], Timezone=[arg5].

説明: ユーザーが日時設定を構成しました。

4000004f00000000 または 0x4000004f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0079

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000050-00000000 Server General Settings set by user [arg1]: Name=[arg2], Contact=[arg3], Location=[arg4], Room=[arg5], RackID=[arg6], Rack U-position=[arg7].

説明: ユーザーが、ロケーション設定を構成しました。

4000005000000000 または 0x4000005000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0080

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000051-00000000 Server Power Off Delay set to [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが、サーバーの電源オフ遅延を構成しました。

4000005100000000 または 0x4000005100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0081

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000052-00000000 Server [arg1] scheduled for [arg2] at [arg3] by user [arg4].

説明: ユーザーが、特定の時刻のサーバー電源アクションを構成しました。

4000005200000000 または 0x4000005200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0082

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000053-00000000 Server [arg1] scheduled for every [arg2] at [arg3] by user [arg4].

説明: ユーザーが、サーバー電源アクションの繰り返しを構成しました。

4000005300000000 または 0x4000005300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0083

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000054-00000000 Server [arg1] [arg2] cleared by user [arg3].

説明: ユーザーが、Server Power Action をクリアしました。

4000005400000000 または 0x4000005400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0084

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000055-00000000 Synchronize time setting by user [arg1]: Mode=[arg2], NTPServerHost=[arg3]:[arg4], NTPUpdateFrequency=[arg5].

説明: ユーザーが、日時の同期設定を構成しました。

4000005500000000 または 0x4000005500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0085

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000056-00000000 SMTP Server set by user [arg1] to [arg2]:[arg3].

説明: ユーザーが、SMTP サーバーを構成しました。

4000005600000000 または 0x4000005600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0086

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000057-00000000 Telnet [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが Telnet サービスを有効または無効にしました。

4000005700000000 または 0x4000005700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0087

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000058-00000000 DNS servers set by user [arg1]: UseAdditionalServers=[arg2], PreferredDNStype=[arg3], IPv4Server1=[arg4], IPv4Server2=[arg5], IPv4Server3=[arg6], IPv6Server1=[arg7], IPv6Server2=[arg8], IPv6Server3=[arg9].

説明: ユーザーが DNS サーバーを構成します。

4000005800000000 または 0x4000005800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0088

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000059-00000000 LAN over USB [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが、USB-LAN を構成しました。

4000005900000000 または 0x4000005900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0089

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005a-00000000 LAN over USB Port Forwarding set by user [arg1]: ExternalPort=[arg2], USB-LAN port=[arg3].

説明: ユーザーが、USB-LAN ポート転送を構成しました。

4000005a00000000 または 0x4000005a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0090

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005b-00000000 Secure Web services (HTTPS) [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが、セキュア Web サービスを使用可能または使用不可にしました。

4000005b00000000 または 0x4000005b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0091

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005c-00000000 Secure CIM/XML(HTTPS) [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーがセキュア CIM/XML サービスを有効または無効にしました。

4000005c00000000 または 0x4000005c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM または **ID:** 0092

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005d-00000000 Secure LDAP [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが、セキュア LDAP サービスを使用可能または使用不可にしました。

4000005d00000000 または 0x4000005d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0093

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005e-00000000 SSH [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが SSH サービスを有効または無効にしました。

4000005e00000000 または 0x4000005e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0094

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000005f-00000000 Server timeouts set by user [arg1]: EnableOSWatchdog=[arg2], OSWatchdogTimout=[arg3], EnableLoaderWatchdog=[arg4], LoaderTimeout=[arg5].

説明: ユーザーが、サーバー・タイムアウトを構成しました。

4000005f00000000 または 0x4000005f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0095

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000060-00000000 License key for [arg1] added by user [arg2].

説明: ユーザーがライセンス・キーをインストールします。

4000006000000000 または 0x4000006000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0096

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000061-00000000 License key for [arg1] removed by user [arg2].

説明: ユーザーがライセンス・キーを削除します。

4000006100000000 または 0x4000006100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0097

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000062-00000000 Global Login General Settings set by user [arg1]: AuthenticationMethod=[arg2], LockoutPeriod=[arg3], SessionTimeout=[arg4].

説明: ユーザーが、グローバル・ログインの一般設定を変更しました。

4000006200000000 または 0x4000006200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0098

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000063-00000000 Global Login Account Security set by user [arg1]: PasswordRequired=[arg2], PasswordExpirationPeriod=[arg3], MinimumPasswordReuseCycle=[arg4], MinimumPasswordLength=[arg5], MinimumPasswordChangeInterval=[arg6], MaxmumLoginFailures=[arg7], LockoutAfterMaxFailures=[arg8], MinimumDifferentCharacters=[arg9], DefaultIDExpired=[arg10], ChangePasswordFirstAccess=[arg11].

説明: ユーザーが、グローバル・ログインのアカウント・セキュリティー設定を「Legacy」に変更しました。

4000006300000000 または 0x4000006300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0099

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000064-00000000 User [arg1] created..

説明: ユーザー・アカウントが作成されました。

4000006400000000 または 0x4000006400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0100

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000065-00000000 User [arg1] removed...

説明: ユーザー・アカウントが削除されました。

4000006500000000 または 0x4000006500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0101

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000066-00000000 User [arg1] password modified..

説明: ユーザー・アカウントが変更されました。

4000006600000000 または 0x4000006600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0102

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000067-00000000 User [arg1] role set to [arg2].

説明: ユーザー・アカウントの役割が割り当てられました。

4000006700000000 または 0x4000006700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0103

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000068-00000000 User [arg1] custom privileges set: [arg2].

説明: ユーザー・アカウントの特権が割り当てられました。

4000006800000000 または 0x4000006800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0104

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000069-00000000 User [arg1] for SNMPv3 set: AuthenticationProtocol=[arg2], PrivacyProtocol=[arg3], AccessType=[arg4], HostforTraps=[arg5].

説明: ユーザー・アカウントの SNMPv3 設定が変更されました。

4000006900000000 または 0x4000006900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0105

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006a-00000000 SSH Client key added for user [arg1].

説明: ユーザーが、SSH クライアント・キーをローカルで定義しました。

4000006a00000000 または 0x4000006a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0106

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006b-00000000 SSH Client key imported for user [arg1] from [arg2].

説明: ユーザーが、SSH クライアント・キーをインポートしました。

4000006b00000000 または 0x4000006b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0107

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006c-00000000 SSH Client key removed from user [arg1].

説明: ユーザーが、SSH クライアント・キーを削除しました。

4000006c00000000 または 0x4000006c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0108

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006d-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration saved to a file by user [arg2].

説明: ユーザーが、管理コントローラー構成をファイルに保存しました。

4000006d00000000 または 0x4000006d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0109

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006e-00000000 Alert Configuration Global Event Notification set by user [arg1]: RetryLimit=[arg2], RetryInterval=[arg3], EntryInterval=[arg4].

説明: ユーザーが、グローバル・イベント通知設定を変更しました。

4000006e00000000 または 0x4000006e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0110

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000006f-00000000 Alert Recipient Number [arg1] updated: Name=[arg2], DeliveryMethod=[arg3], Address=[arg4], IncludeLog=[arg5], Enabled=[arg6], EnabledAlerts=[arg7], AllowedFilters=[arg8].

説明: ユーザーがアラート受信者を追加または更新しました。

4000006f00000000 または 0x4000006f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0111

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000070-00000000 SNMP Traps enabled by user [arg1]: EnabledAlerts=[arg2], AllowedFilters=[arg3] .

説明: ユーザーが SNMP トラップ構成を有効にしました。

4000007000000000 または 0x4000007000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0112

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000071-00000000 The power cap value changed from [arg1] watts to [arg2] watts by user [arg3].

説明: 電源キャップ値がユーザーによって変更されました。

4000007100000000 または 0x4000007100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0113

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000072-00000000 The minimum power cap value changed from [arg1] watts to [arg2] watts.

説明: 電源キャップの最小値が変更されました。

4000007200000000 または 0x4000007200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0114

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000073-00000000 The maximum power cap value changed from [arg1] watts to [arg2] watts.

説明: 電源キャップの最大値が変更されました。

4000007300000000 または 0x4000007300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0115

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000074-00000000 The soft minimum power cap value changed from [arg1] watts to [arg2] watts.

説明: ソフト最小電源キャップ値が変更されました。

4000007400000000 または 0x4000007400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0116

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000075-00000000 The measured power value exceeded the power cap value.

説明: 電力上限値を超えました。

4000007500000000 または 0x4000007500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0117

SNMP トラップ ID: 164

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000076-00000000 The new minimum power cap value exceeded the power cap value.

説明: 最小電源キャップが電源キャップを超えています。

4000007600000000 または 0x4000007600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0118

SNMP トラップ ID: 164

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000077-00000000 Power capping was activated by user [arg1].

説明: 電源キャッピングがユーザーによってアクティブになりました。

4000007700000000 または 0x4000007700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0119

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000078-00000000 Power capping was deactivated by user [arg1].

説明: 電源キャッピングがユーザーによって非アクティブになりました。

4000007800000000 または 0x4000007800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0120

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000079-00000000 Static Power Savings mode has been turned on by user [arg1].

説明: ユーザーによって、静的省電力モードがオンにされました。

4000007900000000 または 0x4000007900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0121

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007a-00000000 Static Power Savings mode has been turned off by user [arg1].

説明: ユーザーによって、静的省電力モードがオフにされました。

4000007a00000000 または 0x4000007a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0122

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007b-00000000 Dynamic Power Savings mode has been turned on by user [arg1].

説明: ユーザーによって、動的省電力モードがオンにされました。

4000007b00000000 または 0x4000007b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0123

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007c-00000000 Dynamic Power Savings mode has been turned off by user [arg1].

説明: ユーザーによって、動的省電力モードがオフにされました。

4000007c00000000 または 0x4000007c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0124

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007d-00000000 Power cap and external throttling occurred.

説明: 電源キャップ・スロットルおよび外部スロットルが生じました。

4000007d00000000 または 0x4000007d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0125

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007e-00000000 External throttling occurred .

説明: 外部スロットルが生じました。

4000007e00000000 または 0x4000007e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000007f-00000000 Power cap throttling occurred.

説明: 電源キャップ・スロットルが生じました。

4000007f00000000 または 0x4000007f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000080-00000000 Remote Control session started by user [arg1] in [arg2] mode.

説明: Remote Control セッションが開始されました。

4000008000000000 または 0x4000008000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0128

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000081-00000000 PXE boot requested by user [arg1].

説明: PXE ブートが要求されました。

4000008100000000 または 0x4000008100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0129

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000082-00000000 The measured power value has returned below the power cap value.

説明: 電力上限値を超えた状態から回復しました。

4000008200000000 または 0x4000008200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID: 164

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000083-00000000 The new minimum power cap value has returned below the power cap value.

説明: 最小電力上限が電力上限値を超えた状態から回復しました。

4000008300000000 または 0x4000008300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID: 164

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000084-00000000 IMM firmware mismatch between nodes [arg1] and [arg2]. Please attempt to flash the IMM firmware to the same level on all nodes.

説明: ノード間で IMM ファームウェアのミスマッチが検出されました。

4000008400000000 または 0x4000008400000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0132

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: すべてのノードの IMM ファームウェアを同一レベルにフラッシュするよう試行してください。

40000085-00000000 FPGA firmware mismatch between nodes [arg1] and [arg2]. Please attempt to flash the FPGA firmware to the same level on all nodes.

説明: ノード間で FPGA ファームウェアのミスマッチが検出されました。

4000008500000000 または 0x4000008500000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0133

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: すべてのノードの FPGA ファームウェアを同一レベルにフラッシュするよう試行してください。

40000086-00000000 Test Call Home Generated by user [arg1].

説明: ユーザーによって生成されたテスト・コール・ホームです。

4000008600000000 または 0x4000008600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0134

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000087-00000000 Manual Call Home by user [arg1]: [arg2].

説明: ユーザーによる手動コール・ホームです。

4000008700000000 または 0x4000008700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0135

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: IBM サポートが問題に対応します。

40000088-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restoration from a file by user [arg2] completed..

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元し、それが完了したユース・ケースに表示されます。

4000008800000000 または 0x4000008800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000089-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restoration from a file by user [arg2] failed to complete..

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元しようとして、復元の完了に失敗したユース・ケースに表示されます。

4000008900000000 または 0x4000008900000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの電源を切り、給電部から切り離します。 IMM をリセットするには、サーバーを AC 電源から切り離す必要があります。45 秒後にサーバーを給電部に再接続し、サーバーの電源をオンにします。操作を再試行してください。

4000008a-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restoration from a file by user [arg2] failed to start..

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元しようとして、復元の開始が失敗したユース・ケースに表示されます。

4000008a00000000 または 0x4000008a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの電源を切り、給電部から切り離します。 IMM をリセットするには、サーバーを AC 電源から切り離す必要があります。45 秒後にサーバーを給電部に再接続し、サーバーの電源をオンにします。操作を再試行してください。

4000008b-00000000 One or more of the Storage Management IP addresses has changed..

説明: このメッセージは、ストレージ管理用の IP アドレスが変更された場合に使用されます。

4000008b00000000 または 0x4000008b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

80010002-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower non-critical) has asserted. (CMOS Battery)

説明: このメッセージは、下限非クリティカル・センサーの下降が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800100020701xxxx または 0x800100020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0476

SNMP トラップ ID: 13

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: システム・バッテリーを交換します。

80010202-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (CMOS Battery)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800102020701xxxx または 0x800102020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0480

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが Planar 3.3V、Planar 5V または Planar 12V のいずれかの場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. システム・バッテリーを交換します。 2. 問題がまだ発生する場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80010204-1d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Fan 1 Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800102041d01xxxx または 0x800102041d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0480

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクターの近くで点灯している LED により示されています。 2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号)

80010204-1d02xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Fan 2 Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800102041d02xxxx または 0x800102041d02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0480

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクターの近くで点灯している LED により示されています。 2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号)

80010204-1d03xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Fan 3 Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800102041d03xxxx または 0x800102041d03xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0480

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクターの近くで点灯している LED により示されています。 2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号)

80010204-1d04xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Fan 4 Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800102041d04xxxx または 0x800102041d04xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0480

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクターの近くで点灯している LED により示されています。 2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号)

80010701-0c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (Ambient Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107010c01xxxx または 0x800107010c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 温度を下げてください。 2. サーバーの通気を検査します。 サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010701-1401xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (CPU1 VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107011401xxxx または 0x800107011401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 温度を下げてください。 2. サーバーの通気を検査します。 サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010701-1402xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (CPU2 VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107011402xxxx または 0x800107011402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 温度を下げてください。 2. サーバーの通気を検査します。 サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010701-1403xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (DIMM ABC VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107011403xxxx または 0x800107011403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 温度を下げてください。 2. サーバーの通気を検査します。 サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010701-1404xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (DIMM DEF VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107011404xxxx または 0x800107011404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 温度を下げてください。 2. サーバーの通気を検査します。 サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010701-2d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (PCH Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107012d01xxxx または 0x800107012d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 温度を下げてください。 2. サーバーの通気を検査します。 サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-0c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (Ambient Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109010c01xxxx または 0x800109010c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 周囲の温度を下げてください。 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。 3. サーバーの通気を検査します。 サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-1401xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (CPU1 VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109011401xxxx または 0x800109011401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 周囲の温度を下げてください。 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。 3. サーバーの通気を検査します。 サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-1402xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (CPU2 VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109011402xxxx または 0x800109011402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 周囲の温度を下げてください。 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。 3. サーバーの通気を検査します。 サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-1403xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (DIMM ABC VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109011403xxxx または 0x800109011403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 周囲の温度を下げてください。 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。 3. サーバーの通気を検査します。 サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-1404xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (DIMM DEF VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109011404xxxx または 0x800109011404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 周囲の温度を下げてください。 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。 3. サーバーの通気を検査します。 サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-2d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (PCH Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109012d01xxxx または 0x800109012d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 周囲の温度を下げてください。 2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。 3. サーバーの通気を検査します。 サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010902-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted.

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109020701xxxx または 0x800109020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0494

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが Planar 3.3V または Planar 5V の場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換してください。 指定されたセンサーが Planar 12V の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. パワー・サプライ n LED を確認します。 2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = パワー・サプライ番号)

80010b01-0c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (Ambient Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b010c01xxxx または 0x80010b010c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010b01-1401xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (CPU1 VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b011401xxxx または 0x80010b011401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010b01-1402xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (CPU2 VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b011402xxxx または 0x80010b011402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010b01-1403xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (DIMM ABC VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b011403xxxx または 0x80010b011403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010b01-1404xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (DIMM DEF VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b011404xxxx または 0x80010b011404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010b01-2d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (PCH Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b012d01xxxx または 0x80010b012d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80030006-2101xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted. (Sig Verify Fail)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出された場合に使用されます。

800300062101xxxx または 0x800300062101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0509

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

80030012-2301xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted. (OS RealTime Mod)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出された場合に使用されます。

800300122301xxxx または 0x800300122301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0509

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

80030108-1301xxxx Sensor [SensorElementName] has asserted. (PS Heavy Load)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出された場合に使用されます。

800301081301xxxx または 0x800301081301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0508

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライを、より高い定格電力のものに交換します。 2. 新規に追加したオプションあるいは使用していないオプション (ドライブやアダプターなど) を取り外し、合計電力使用量を削減してください。

8007010f-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state. (GPT Status)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8007010f2201xxxx または 0x8007010f2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0520

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. IBM サポート・サイトを参照し、この GPT エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。 2. UEFI 設定の「DISK GPT Recovery」を「Automatic」に設定します。 3. 破損したディスクを交換します。

8007010f-2582xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state. (I/O Resources)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8007010f2582xxxx または 0x8007010f2582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0520

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: PCI 入出力リソース・エラーを解決するために、次のステップを実行してください。 1. 「F1 Setup」->「System Settings」->「Device and I/O ports」->「PCI 64 bit Resource」に進み、使用可能化を選択します。

80070114-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state. (TPM Phy Pres Set)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800701142201xxxx または 0x800701142201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0520

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. TPM 物理プレゼンス・スイッチが「ON」位置にあることを必要とする管理用タスクを実行します。 2. 物理プレゼンス・スイッチを「OFF」位置に復元します。 3. システムをリブートします。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) エラーが解決しない場合は、プレーナーを交換します。

80070201-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702010301xxxx または 0x800702010301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。 3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

80070201-0302xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (CPU 2 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702010302xxxx または 0x800702010302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。 3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

80070202-0701xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (SysBrd Vol Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702020701xxxx または 0x800702020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログを確認します。 2. システム・ボード上のエラー LED を確認します。 3. 障害のある装置をすべて交換します。4. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80070202-1201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (CPU2 BRD Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702021201xxxx または 0x800702021201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログを確認します。 2. システム・ボード上のエラー LED を確認します。 3. 障害のある装置をすべて交換します。4. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80070204-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (PS 1 Fan Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702040a01xxxx または 0x800702040a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライ・ファンの通気を妨げるもの (ケーブルの束など) がないことを確認します。 2. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

80070204-0a02xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (PS 2 Fan Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702040a02xxxx または 0x800702040a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライ・ファンの通気を妨げるもの (ケーブルの束など) がないことを確認します。 2. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

80070208-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (PS 1 Therm Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702080a01xxxx or 0x800702080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライ・ファンの通気を妨げるもの (ケーブルの束など) がないことを確認します。 2. IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して、現行のシステム電力使用量が制限未満であることを確認します。詳細情報およびユーティリティーのダウンロードについては、http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html を参照してください。 3. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

80070208-0a02xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (PS 2 Therm Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702080a02xxxx または 0x800702080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライ・ファンの通気を妨げるもの (ケーブルの束など) がないことを確認します。 2. IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して、現行のシステム電力使用量が制限未満であることを確認します。詳細情報およびユーティリティーのダウンロードについては、http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html を参照してください。 3. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

8007020f-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (TXT ACM Module)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8007020f2201xxxx または 0x8007020f2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. TXT を使用可能化する必要がない場合は、Setup ユーティリティーから TXT を使用不可にします。 2. TXT を使用可能化する必要がある場合は、Setup ユーティリティーから TPM が使用可能でアクティブ化されていることを確認します。 3. 問題が解決しない場合は、サービス担当員にお問い合わせください。

8007020f-2582xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (I/O Resources)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8007020f2582xxxx or 0x8007020f2582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: PCI 入出力リソース・エラーを解決するために、次のステップを実行してください。 1. 「F1 Setup」->「System Settings」->「Device and I/O ports」->「PCI 64 bit Resource」に進み、使用可能化を選択します。

80070214-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (TPM Lock)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702142201xxxx または 0x800702142201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバー・ファームウェアを更新します (『サーバー・ファームウェアのリカバリー』を参照)。 2. 問題が続く場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの取り付け』を参照)。

80070219-0701xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (SysBrd Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

800702190701xxxx または 0x800702190701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. システム・ボード上のエラー LED を確認します。 2. システム・イベント・ログを確認します。 3. システム・ファームウェアのバージョンをチェックし、最新のバージョンに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. AC 電源コードのプラグを抜き、復元してから、ステップ 1 および 2 を再度実行します。 5. 問題がまだ発生する場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

8007021b-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (CPU 1 QPILinkErr)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8007021b0301xxxx または 0x8007021b0301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーのファームウェアの更新を確認します。 2. 取り付け済みのマイクロプロセッサーに互換性があることを確認します。 3. マイクロプロセッサー 2 拡張ボードが正しく取り付けられていることを確認します (『マイクロプロセッサー 2 拡張ボードの取り付け』を参照)。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー 2 を交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー 2 拡張ボードを交換します。

8007021b-0302xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (CPU 2 QPILinkErr)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に変化したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8007021b0302xxxx または 0x8007021b0302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーのファームウェアの更新を確認します。 2. 取り付け済みのマイクロプロセッサーに互換性があることを確認します。 3. マイクロプロセッサー 2 拡張ボードが正しく取り付けられていることを確認します (『マイクロプロセッサー 2 拡張ボードの取り付け』を参照)。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー 2 を交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー 2 拡張ボードを交換します。

80070301-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable from a less severe state. (CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800703010301xxxx または 0x800703010301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0524

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。 3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

80070301-0302xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable from a less severe state. (CPU 2 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800703010302xxxx or 0x800703010302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0524

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。 3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

80070603-0701xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable.

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800706030701xxxx or 0x800706030701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0530

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが Pwr Rail A Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. 詳しくは、『電源の問題』を参照してください。 2. サーバーの電源をオフにして、電源から切り離します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサーを交換します。 指定されたセンサーが Pwr Rail B Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. 詳しくは、『電源の問題』を参照してください。 2. サーバーの電源をオフにして、電源から切り離します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) ソケット 2 からマイクロプロセッサーを取り外します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサーをソケット 2 に再取り付けし、サーバーを再始動します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサーを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 指定されたセンサーが Pwr Rail C Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. 詳しくは、『電源の問題』を参照してください。 2. サーバーの電源をオフにして、電源から切り離します。 3. PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 のアダプター、PCI ライザー・カード・アセンブリー 1、ファン 1、およびコネクター 1 から 6 の DIMM を取り外します。4. 各装置を一度に 1 つずつ再取り付けし、そのたびにサーバーを始動して、障害のある装置を判別します。 5. 障害のある装置を交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 指定されたセンサーが Pwr Rail D Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. 詳しくは、『電源の問題』を参照してください。 2. サーバーの電源をオフにして、電源から切り離します。 3. デュアル・ポート・ネットワーク・アダプター、ファン 2、およびコネクター 7 から 12 の DIMM を取り外します。4. 各装置を一度に 1 つずつ再取り付けし、そのたびにサーバーを始動して、障害のある装置を判別します。 5. 障害のある装置を交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 指定されたセンサーが Pwr Rail E Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. 詳しくは、『電源の問題』を参照してください。 2. サーバーの電源をオフにして、電源から切り離します。 3. オプションの DVD ドライブ、ハード・ディスク、およびコネクター 13 から 18 の DIMM を取り外します。4. 各装置を一度に 1 つずつ再取り付けし、そのたびにサーバーを始動して、障害のある装置を判別します。 5. 障害のある装置を交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 指定されたセンサーが Pwr Rail F Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. 詳しくは、『電源の問題』を参照してください。 2. サーバーの電源をオフにして、電源から切り離します。 3. PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 のアダプター、PCI ライザー・カード・アセンブリー 1、ファン 4、およびコネクター 19 から 24 の DIMM を取り外します。4. 各装置を一度に 1 つずつ再取り付けし、そのたびにサーバーを始動して、障害のある装置を判別します。 5. 障害のある装置を交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 指定されたセンサーが Pwr Rail G Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. 詳しくは、『電源の問題』を参照してください。 2. サーバーの電源をオフにして、電源から切り離します。 3. オプションの PCI アダプター電源ケーブル、ファン 3、ハード・ディスク、およびハード・ディスク・バックプレーンを取り外します。 4. 各装置を一度に 1 つずつ再取り付けし、そのたびにサーバーを始動して、障害のある装置を判別します。 5. 障害のある装置を交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 指定されたセンサーが Pwr Rail H Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. 詳しくは、『電源の問題』を参照してください。 2. サーバーの電源をオフにして、電源から切り離します。 3. オプションの PCI アダプター電源ケーブル、PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 のアダプター、および PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 を取り外します。4. 各装置を一度に 1 つずつ再取り付けし、そのたびにサーバーを始動して、障害のある装置を判別します。 5. 障害のある装置を交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80070608-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable.

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800706080a01xxxx または 0x800706080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0530

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが PS n 12V OC Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。詳細情報およびユーティリティーのダウンロードについては、http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html を参照してください。 2. Light Path 診断 LED の OVER SPEC LED を確認し、IMM2 イベント・ログに Pwr Rail (A、B、C、D、E、F、G、および H) エラーが記録されているかを確認します。 指定されたセンサーが PS n 12V OV Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. パワー・サプライ n LED を確認します。 2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = パワー・サプライ番号) 指定されたセンサーが PS n 12V UV Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. パワー・サプライ n LED を確認します。 2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。 3. Light Path 診断 LED の OVER SPEC LED に対する処置に従います。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = パワー・サプライ番号) 指定されたセンサーが PS n 12Vaux Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. パワー・サプライ n LED を確認します。 2. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

80070608-0a02xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable.

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800706080a02xxxx または 0x800706080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0530

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが PS n 12V OC Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。詳細情報およびユーティリティーのダウンロードについては、http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html を参照してください。 2. Light Path 診断 LED の OVER SPEC LED を確認し、IMM2 イベント・ログに Pwr Rail (A、B、C、D、E、F、G、および H) エラーが記録されているかを確認します。 指定されたセンサーが PS n 12V OV Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. パワー・サプライ n LED を確認します。 2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = パワー・サプライ番号) 指定されたセンサーが PS n 12V UV Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. パワー・サプライ n LED を確認します。 2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。 3. Light Path 診断 LED の OVER SPEC LED に対する処置に従います。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = パワー・サプライ番号) 指定されたセンサーが PS n 12Vaux Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。 1. パワー・サプライ n LED を確認します。 2. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

80070614-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable. (TPM Phy Pres Set)

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800706142201xxxx or 0x800706142201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0530

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバー・ファームウェアを更新します (『サーバー・ファームウェアのリカバリー』を参照)。 2. 問題が続く場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの取り付け』を参照)。

8008010f-2101xxxx Device [LogicalDeviceElementName] has been added. (Phy Presence Jmp)

説明: このメッセージは、デバイスが挿入されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

8008010f2101xxxx or 0x8008010f2101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0536

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

80080128-2101xxxx Device [LogicalDeviceElementName] has been added. (Low Security Jmp)

説明: このメッセージは、デバイスが挿入されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800801282101xxxx または 0x800801282101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0536

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

800b0008-1301xxxx Redundancy [RedundancySetElementName] has been restored. (Power Unit)

説明: This message is for the use case when an implementation has detected Redundancy was Restored.

800b00081301xxxx または 0x800b00081301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 冗長パワー・サプライ

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT and **ID:** 0561

SNMP トラップ ID: 10

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

800b0108-1301xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has asserted. (Power Unit)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明された場合に使用されます。

800b01081301xxxx または 0x800b01081301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 冗長パワー・サプライ

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0802

SNMP トラップ ID: 9

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 両方のパワー・サプライの LED を確認します。 2. 『パワー・サプライ LED』の処置に従います。

800b010a-1e81xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has asserted. (Fan Zone 1)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明された場合に使用されます。

800b010a1e81xxxx または 0x800b010a1e81xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0802

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファン n のコネクターが損傷していないことを確認します。 2. システム・ボード上のファン n コネクターが損傷していないことを確認します。 3. ファンが正しく取り付けられていることを確認します。4. ファンを取り付け直します。 5. ファンを交換します。(n = ファン番号)

800b010c-2581xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has asserted. (Backup Memory)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明された場合に使用されます。

800b010c2581xxxx または 0x800b010c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0802

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログで DIMM の障害イベント (訂正不能または PFA) を確認し、障害を解決します。 2. Setup ユーティリティーでミラーリングを再度使用可能にします。

800b0309-1301xxxx Non-redundant:Sufficient Resources from Redundancy Degraded or Fully Redundant for [RedundancySetElementName] has asserted. (Power Resource)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「冗長性の機能低下」状態または「完全冗長」状態から「非冗長: 十分なリソース」状態に変化した場合に使用されます。

800b03091301xxxx または 0x800b03091301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 冗長パワー・サプライ

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0806

SNMP トラップ ID: 10

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. Non-redundant sufficient: システムはパワー・サプライの過電流状態を回避するためにスロットルされる場合がありますが、電源負荷は、残りのパワー・サプライによって処理されます。 2. パワー・サプライを、より高い定格電力のものに交換します。

800b030c-2581xxxx Non-redundant:Sufficient Resources from Redundancy Degraded or Fully Redundant for [RedundancySetElementName] has asserted. (Backup Memory)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「冗長性の機能低下」状態または「完全冗長」状態から「非冗長: 十分なリソース」状態に変化した場合に使用されます。

800b030c2581xxxx または 0x800b030c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0806

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログで DIMM の障害イベント (訂正不能または PFA) を確認し、障害を解決します。 2. Setup ユーティリティーでミラーリングを再度使用可能にします。

800b0509-1301xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has asserted. (Power Resource)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長: 不十分なリソース」状態に変化した場合に使用されます。

800b05091301xxxx または 0x800b05091301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 冗長パワー・サプライ

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0810

SNMP トラップ ID: 9

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 電源負荷は残っているパワー・サプライによって処理される場合があります。システムは、スロットルを行うことでパワー・サプライの過電流状態の回避を試行します。ただし、電力負荷が大きすぎる状態を回避できない場合、システム・シャットダウンが発生する可能性があります。 2. 新規に追加したオプションあるいは使用していないオプション (ドライブやアダプターなど) を取り外し、合計電力使用量を削減してください。 3. IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。詳細情報およびユーティリティーのダウンロードについては、http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html を参照してください。 4. パワー・サプライを、より高い定格電力のものに交換します。

800b050a-1e81xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has asserted. (Fan Zone 1)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長: 不十分なリソース」状態に変化した場合に使用されます。

800b050a1e81xxxx または 0x800b050a1e81xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0810

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファン n のコネクターが損傷していないことを確認します。 2. システム・ボード上のファン n コネクターが損傷していないことを確認します。 3. ファンが正しく取り付けられていることを確認します。4. ファンを取り付け直します。 5. ファンを交換します。(n = ファン番号)

800b050c-2581xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has asserted. (Backup Memory)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長: 不十分なリソース」状態に変化した場合に使用されます。

800b050c2581xxxx または 0x800b050c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0810

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログで DIMM の障害イベント (訂正不能または PFA) を確認し、障害を解決します。 2. Setup ユーティリティーでミラーリングを再度使用可能にします。

806f0007-0301xxxx [ProcessorElementName] has Failed with IERR. (CPU 1)

説明: このメッセージは、「プロセッサー障害 - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f00070301xxxx または 0x806f00070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0042

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. イーサネット、SCSI、および SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスにおいて、最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバーのレベルがインストールされていることを確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 2. ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』)。 3. DSA プログラムを実行します。4. アダプターを取り付け直します。 5. アダプターを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0007-0302xxxx [ProcessorElementName] has Failed with IERR. (CPU 2)

説明: このメッセージは、「プロセッサー障害 - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f00070302xxxx または 0x806f00070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0042

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. イーサネット、SCSI、および SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスにおいて、最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバーのレベルがインストールされていることを確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 2. ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』)。 3. DSA プログラムを実行します。4. アダプターを取り付け直します。 5. アダプターを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0008-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has been added to container [PhysicalPackageElementName]. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが追加されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f00080a01xxxx または 0x806f00080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0084

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0008-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has been added to container [PhysicalPackageElementName]. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが追加されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f00080a02xxxx または 0x806f00080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0084

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0009-1301xxxx [PowerSupplyElementName] has been turned off. (Host Power)

説明: このメッセージは、実装環境で使用不可にされた電源装置が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f00091301xxxx or 0x806f00091301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 電源オフ

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0106

SNMP トラップ ID: 23

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0400xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0400xxxx or 0x806f000d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0401xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0401xxxx または 0x806f000d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0402xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0402xxxx or 0x806f000d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0403xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0403xxxx または 0x806f000d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0404xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0404xxxx または 0x806f000d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0405xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0405xxxx または 0x806f000d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0406xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0406xxxx または 0x806f000d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0407xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0407xxxx または 0x806f000d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0408xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0408xxxx または 0x806f000d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0409xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0409xxxx または 0x806f000d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-040axxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d040axxxx または 0x806f000d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-040bxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d040bxxxx or 0x806f000d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-040cxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d040cxxxx または 0x806f000d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-040dxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d040dxxxx または 0x806f000d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-040exxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 14)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d040exxxx または 0x806f000d040exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-040fxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 15)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d040fxxxx または 0x806f000d040fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000f-220101xx The System [ComputerSystemElementName] has detected no memory in the system. (ABR Status)

説明: このメッセージは、実装環境で、メモリーをシステム内で検出済みであることが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f000f220101xx または 0x806f000f220101xx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0794

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーが、始動に必要な最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サプライ LED』を参照)。 2. バックアップ・ページからサーバー・ファームウェアをリカバリーします。a. サーバーを再始動します。 b. プロンプトが出されたら、F3 を押してファームウェアをリカバリーします。 3. 1 次ページのサーバー・ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 問題が発生しなくなるまで、各コンポーネントを一度に 1 つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再始動します。 5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-220102xx Subsystem [MemoryElementName] has insufficient memory for operation. (ABR Status)

説明: このメッセージは、操作に使用可能なメモリーが不十分であることを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f220102xx または 0x806f000f220102xx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0132

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーが始動するための最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サプライ LED』を参照)。 2. 1 次ページのサーバー・ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-220103xx The System [ComputerSystemElementName] encountered firmware error - unrecoverable boot device failure. (ABR Status)

説明: このメッセージは、リカバリー不能ブート・デバイス障害を示すシステム・ファームウェア・エラーが発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f220103xx または 0x806f000f220103xx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0770

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。 このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。 ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-220104xx The System [ComputerSystemElementName]has encountered a motherboard failure. (ABR Status)

説明: このメッセージは、致命的なマザーボード障害がシステムで発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f220104xx または 0x806f000f220104xx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0795

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。 このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。 ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-220107xx The System [ComputerSystemElementName] encountered firmware error - unrecoverable keyboard failure. (ABR Status)

説明: このメッセージは、リカバリー不能キーボード障害を示すシステム・ファームウェア・エラーが発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f220107xx または 0x806f000f220107xx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

806f000f-22010axx

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0764

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。 このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。 ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-22010axx The System [ComputerSystemElementName] encountered firmware error - no video device detected. (ABR Status)

説明: このメッセージは、ビデオ・デバイスが検出されないことを示すシステム・ファームウェア・エラーが発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f22010axx または 0x806f000f22010axx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0766

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。 このイベントの UEFI(POST) エラーは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。 ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-22010bxx Firmware BIOS (ROM) corruption was detected on system [ComputerSystemElementName] during POST. (ABR Status)

説明: システムで POST 中に、ファームウェア BIOS (ROM) 破損が検出されました。

806f000f22010bxx または 0x806f000f22010bxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0850

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーが始動するための最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サプライ LED』を参照)。 2. バックアップ・ページからサーバー・ファームウェアをリカバリーします。a. サーバーを再始動します。 b. プロンプトが出されたら、F3 を押してファームウェアをリカバリーします。 3. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 問題が発生しなくなるまで、各コンポーネントを一度に 1 つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再始動します。 5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。 ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-22010cxx CPU voltage mismatch detected on [ProcessorElementName]. (ABR Status)

説明: このメッセージは、CPU 電圧がソケット電圧と一致していないことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f22010cxx または 0x806f000f22010cxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0050

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。 このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。 適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。 ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-2201ffff The System [ComputerSystemElementName] encountered a POST Error. (ABR Status)

説明: このメッセージは、実装環境で POST エラーが検出された場合に使用されます。

806f000f2201ffff または 0x806f000f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0184

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。 このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。 ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f0013-1701xxxx A diagnostic interrupt has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (NMI State)

説明: このメッセージは、実装環境でフロント・パネル NMI/診断割り込みが検出された場合に使用されます。

806f00131701xxxx または 0x806f00131701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0222

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: NMI ボタンを押していない場合は、以下のステップを実行してください。 1. NMI ボタンが押されていないことを確認します。 2. オペレーター情報パネルのケーブルを交換します。 3. オペレーター情報パネルを交換します。

806f0021-2201xxxx Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (No Op ROM Space)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

806f00212201xxxx または 0x806f00212201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 両方のアダプターを取り外します。 5. ライザー・カードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0021-2582xxxx Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (All PCI Error)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

806f00212582xxxx または 0x806f00212582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 両方のアダプターを取り外します。 5. ライザー・カードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。1 つの PCI エラー。

806f0021-3001xxxx Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (PCI 1)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

806f00213001xxxx または 0x806f00213001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 両方のアダプターを取り外します。 5. ライザー・カードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0021-3002xxxx Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (PCI 2)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

806f00213002xxxx または 0x806f00213002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 両方のアダプターを取り外します。 5. ライザー・カードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0021-3003xxxx Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (PCI 3)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

806f00213003xxxx または 0x806f00213003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 両方のアダプターを取り外します。 5. ライザー・カードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0021-3004xxxx Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (PCI 4)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

806f00213004xxxx または 0x806f00213004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 両方のアダプターを取り外します。 5. ライザー・カードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0021-3005xxxx Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (PCI 5)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

806f00213005xxxx または 0x806f00213005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 両方のアダプターを取り外します。 5. ライザー・カードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0021-3006xxxx Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (PCI 6)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出された場合に使用されます。

806f00213006xxxx または 0x806f00213006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 両方のアダプターを取り外します。 5. ライザー・カードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0023-2101xxxx Watchdog Timer expired for [WatchdogElementName]. (IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f00232101xxxx または 0x806f00232101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0368

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0028-2101xxxx Sensor [SensorElementName] is unavailable or degraded on management system [ComputerSystemElementName]. (TPM Cmd Failures)

説明: このメッセージは、センサーが使用不可または機能低下であることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f00282101xxxx または 0x806f00282101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0398

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーの電源をオフにし、電源コードを切り離します。電源コードを再接続し、サーバーを再始動します。 2. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0107-0301xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on [ProcessorElementName]. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01070301xxxx または 0x806f01070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0036

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していることを確認します。通気を行うための障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置に正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じていることを確認します。 2. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0107-0302xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on [ProcessorElementName]. (CPU 2)

説明: このメッセージは、プロセッサーの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01070302xxxx または 0x806f01070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0036

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していることを確認します。通気を行うための障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置に正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じていることを確認します。 2. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0108-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has Failed. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01080a01xxxx または 0x806f01080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0086

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライ n を取り付け直します。 2. パワーオン LED が点灯しておらず、パワー・サプライ・エラー LED が点灯している場合、パワー・サプライ n を交換します。 3. パワーオン LED とパワー・サプライ・エラー LED がどちらも点灯していない場合は、『電源問題』を参照して詳細を確認してください。(n = パワー・サプライ番号)

806f0108-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has Failed. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01080a02xxxx または 0x806f01080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0086

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライ n を取り付け直します。 2. パワーオン LED が点灯しておらず、パワー・サプライ・エラー LED が点灯している場合、パワー・サプライ n を交換します。 3. パワーオン LED とパワー・サプライ・エラー LED がどちらも点灯していない場合は、『電源問題』を参照して詳細を確認してください。(n = パワー・サプライ番号)

806f0109-1301xxxx [PowerSupplyElementName] has been Power Cycled. (Host Power)

説明: このメッセージは、実装環境で電源の再投入が行われた電源装置が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01091301xxxx または 0x806f01091301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0108

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f010c-2001xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2001xxxx または 0x806f010c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。 サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2002xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2002xxxx または 0x806f010c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。 サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、

再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2003xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2003xxxx または 0x806f010c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。 サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2004xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2004xxxx または 0x806f010c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。 サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2005xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2005xxxx または 0x806f010c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。 サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2006xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2006xxxx または 0x806f010c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。 サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2007xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2007xxxx または 0x806f010c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。 サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2008xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2008xxxx または 0x806f010c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。 サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2009xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2009xxxx または 0x806f010c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。 サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-200axxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c200axxxx または 0x806f010c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。 サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-200bxxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c200bxxxx または 0x806f010c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。 サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-200cxxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c200cxxxx または 0x806f010c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。 サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサーを交換します。

806f010c-2581xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2581xxxx または 0x806f010c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。 サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 1 つの DIMM。

806f010d-0400xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0400xxxx または 0x806f010d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0401xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0401xxxx または 0x806f010d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0402xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0402xxxx または 0x806f010d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0403xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0403xxxx または 0x806f010d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0404xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0404xxxx または 0x806f010d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0405xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0405xxxx または 0x806f010d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0406xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0406xxxx または 0x806f010d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0407xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0407xxxx または 0x806f010d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0408xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0408xxxx または 0x806f010d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0409xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0409xxxx または 0x806f010d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-040axxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d040axxxx または 0x806f010d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-040bxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d040bxxxx または 0x806f010d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-040cxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d040cxxxx または 0x806f010d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-040dxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d040dxxxx または 0x806f010d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-040exxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 14)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d040exxxx または 0x806f010d040exxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-040fxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 15)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d040fxxxx または 0x806f010d040fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010f-2201xxxx The System [ComputerSystemElementName] encountered a firmware hang. (Firmware Error)

説明: このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェアのハングが検出された場合に使用されます。

806f010f2201xxxx または 0x806f010f2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - ブート障害

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0186

SNMP トラップ ID: 25

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーが始動するための最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サプライ LED』を参照)。 2. 1 次ページのサーバー・ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0113-0301xxxx A bus timeout has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (CPU 1 PECI)

説明: このメッセージは、実装環境でバス・タイムアウトが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01130301xxxx または 0x806f01130301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0224

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. マイクロプロセッサーを取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0113-0302xxxx A bus timeout has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (CPU 2 PECI)

説明: このメッセージは、実装環境でバス・タイムアウトが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01130302xxxx または 0x806f01130302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0224

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. マイクロプロセッサーを取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0123-2101xxxx Reboot of system [ComputerSystemElementName] initiated by [WatchdogElementName]. (IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグによるリブートの発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01232101xxxx または 0x806f01232101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0370

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0207-0301xxxx [ProcessorElementName] has Failed with FRB1/BIST condition. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境で「プロセッサー障害 - FRB1/BIST 状態」が検出された場合に使用されます。

806f02070301xxxx または 0x806f02070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0044

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. イーサネット、SCSI、および SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスにおいて、最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバーのレベルがインストールされていることを確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 2. ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』)。 3. DSA プログラムを実行します。4. アダプターを取り付け直します。 5. アダプターを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0207-0302xxxx [ProcessorElementName] has Failed with FRB1/BIST condition. (CPU 2)

説明: このメッセージは、実装環境で「プロセッサー障害 - FRB1/BIST 状態」が検出された場合に使用されます。

806f02070302xxxx または 0x806f02070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0044

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. イーサネット、SCSI、および SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスにおいて、最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバーのレベルがインストールされていることを確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 2. ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』)。 3. DSA プログラムを実行します。4. アダプターを取り付け直します。 5. アダプターを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f020d-0400xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 0)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0400xxxx または 0x806f020d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。 (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0401xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 1)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0401xxxx または 0x806f020d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。 (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0402xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 2)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0402xxxx または 0x806f020d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。 (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0403xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 3)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0403xxxx or 0x806f020d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・

ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。 (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0404xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 4)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0404xxxx または 0x806f020d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。 (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0405xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 5)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0405xxxx または 0x806f020d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。 (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0406xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 6)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0406xxxx または 0x806f020d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。 (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0407xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 7)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0407xxxx または 0x806f020d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取

り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。 (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0408xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 8)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0408xxxx または 0x806f020d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。 (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-0409xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 9)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0409xxxx または 0x806f020d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。 (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-040axxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 10)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d040axxxx または 0x806f020d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。 (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-040bxxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 11)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d040bxxxx or 0x806f020d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。 (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-040cxxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 12)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d040cxxxx または 0x806f020d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。 (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-040dxxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 13)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d040dxxxx または 0x806f020d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。 (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-040exxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 14)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d040exxxx または 0x806f020d040exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。 (n = ハード・ディスク番号)

806f020d-040fxxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 15)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d040fxxxx または 0x806f020d040fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。 (n = ハード・ディスク番号)

806f0223-2101xxxx Powering off system [ComputerSystemElementName] initiated by [WatchdogElementName]. (IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグによる電源オフが発生したことが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f02232101xxxx または 0x806f02232101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0372

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0308-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has lost input. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライの入力が失われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f03080a01xxxx または 0x806f03080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0100

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 電源コードを再接続します。 2. パワー・サプライ n LED を確認します。 3. 詳細については、『パワー・サプライ LED』を参照してください。(n = パワー・サプライ番号)

806f0308-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has lost input. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライの入力が失われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f03080a02xxxx or 0x806f03080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0100

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 電源コードを再接続します。 2. パワー・サプライ n LED を確認します。 3. 詳細については、『パワー・サプライ LED』を参照してください。(n = パワー・サプライ番号)

806f030c-2001xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2001xxxx または 0x806f030c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2002xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2002xxxx または 0x806f030c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2003xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2003xxxx または 0x806f030c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2004xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2004xxxx または 0x806f030c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2005xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2005xxxx または 0x806f030c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2006xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2006xxxx または 0x806f030c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2007xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2007xxxx または 0x806f030c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2008xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2008xxxx または 0x806f030c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2009xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2009xxxx または 0x806f030c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-200axxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200axxxx または 0x806f030c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-200bxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200bxxxx または 0x806f030c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-200cxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200cxxxx または 0x806f030c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2581xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2581xxxx または 0x806f030c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサー・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。 1 つの DIMM。

806f0313-1701xxxx A software NMI has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (NMI State)

説明: このメッセージは、実装環境でソフトウェア NMI が検出された場合に使用されます。

806f03131701xxxx or 0x806f03131701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0228

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. デバイス・ドライバーをチェックします。 2. デバイス・ドライバーを再インストールします。 3. すべてのデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。4. ファームウェア (UEFI および IMM) を更新します。

806f0323-2101xxxx Power cycle of system [ComputerSystemElementName] initiated by watchdog [WatchdogElementName]. (IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、ウォッチドッグによる電源サイクルが行われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f03232101xxxx or 0x806f03232101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0374

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f040c-2001xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2001xxxx または 0x806f040c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2002xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2002xxxx または 0x806f040c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2003xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2003xxxx または 0x806f040c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2004xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2004xxxx または 0x806f040c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2005xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2005xxxx または 0x806f040c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2006xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2006xxxx または 0x806f040c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2007xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2007xxxx または 0x806f040c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2008xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2008xxxx または 0x806f040c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2009xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2009xxxx または 0x806f040c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200axxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200axxxx または 0x806f040c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200bxxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200bxxxx または 0x806f040c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200cxxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200cxxxx または 0x806f040c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2581xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2581xxxx または 0x806f040c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、 IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。 1 つの DIMM。

806f0413-2582xxxx A PCI PERR has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境で PCI PERR が検出された場合に使用されます。

806f04132582xxxx または 0x806f04132582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0232

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 両方のアダプターを取り外します。 5. PCIe アダプターを交換します。 6. ライザー・カードを交換します。

806f0507-0301xxxx [ProcessorElementName] has a Configuration Mismatch. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサー構成のミスマッチが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f05070301xxxx または 0x806f05070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0062

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. CPU LED を確認します。CPU LED の詳細については、『Light Path 診断』を参照してください。 2. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 3. 取り付けられたマイクロプロセッサー同士に互換性があることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を取り付け直します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0507-0302xxxx [ProcessorElementName] has a Configuration Mismatch. (CPU 2)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサー構成のミスマッチが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f05070302xxxx または 0x806f05070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0062

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. CPU LED を確認します。CPU LED の詳細については、『Light Path 診断』を参照してください。 2. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 3. 取り付けられたマイクロプロセッサー同士に互換性があることを確認します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を取り付け直します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f050c-2001xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2001xxxx または 0x806f050c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2002xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2002xxxx または 0x806f050c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを

交換します。

806f050c-2003xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2003xxxx または 0x806f050c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2004xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2004xxxx または 0x806f050c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2005xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2005xxxx または 0x806f050c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2006xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2006xxxx または 0x806f050c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5.

(トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2007xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2007xxxx または 0x806f050c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2008xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2008xxxx または 0x806f050c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2009xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2009xxxx または 0x806f050c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-200axxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200axxxx または 0x806f050c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5.

(トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-200bxxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200bxxxx または 0x806f050c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-200cxxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200cxxxx または 0x806f050c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。

806f050c-2581xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2581xxxx または 0x806f050c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサーにスワップします 。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサーを取り外し、マイクロプロセッサー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサーを交換します。 1 つの DIMM。

806f050d-0400xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0400xxxx または 0x806f050d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0401xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0401xxxx または 0x806f050d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0402xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0402xxxx または 0x806f050d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0403xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0403xxxx or 0x806f050d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0404xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0404xxxx または 0x806f050d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認し

ます。 5. RAID アダプターを交換します。6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0405xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0405xxxx または 0x806f050d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0406xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0406xxxx または 0x806f050d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0407xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0407xxxx または 0x806f050d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0408xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0408xxxx または 0x806f050d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェ

アとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0409xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0409xxxx または 0x806f050d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-040axxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d040axxxx または 0x806f050d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-040bxxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d040bxxxx または 0x806f050d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-040cxxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d040cxxxx または 0x806f050d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-040dxxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d040dxxxx または 0x806f050d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-040exxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 14)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d040exxxx または 0x806f050d040exxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-040fxxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 15)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d040fxxxx または 0x806f050d040fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。 5. RAID アダプターを交換します。6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f0513-2582xxxx A PCI SERR has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境で PCI SERR が検出された場合に使用されます。

806f05132582xxxx または 0x806f05132582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0234

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. アダプターがサポートされていることを確認します。 サポートするオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。 5. 両方のアダプターを取り外します。 6. PCIe アダプターを交換します。 7. ライザー・カードを交換します。

806f052b-2101xxxx Invalid or Unsupported firmware or software was detected on system [ComputerSystemElementName]. (IMM2 FW Failover)

説明: このメッセージは、無効/サポートされないファームウェア/ソフトウェア・バージョンが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f052b2101xxxx または 0x806f052b2101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0446

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーが始動するための最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サプライ LED』を参照)。 2. サーバーを再始動して、バックアップ・ページからサーバー・ファームウェアをリカバリーします。 3. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 問題が発生しなくなるまで、各コンポーネントを一度に 1 つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再始動します。 5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0607-0301xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has asserted. (CPU 1)

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明された場合に使用されます。

806f06070301xxxx または 0x806f06070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0816

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 取り付けられたマイクロプロセッサー同士に互換性があることを確認します (マイクロプロセッサーの要件については、『マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り付け』を参照)。 2. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) 互換性の無いマイクロプロセッサーを取り替えます。

806f0607-0302xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has asserted. (CPU 2)

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明された場合に使用されます。

806f06070302xxxx または 0x806f06070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0816

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 取り付けられたマイクロプロセッサー同士に互換性があることを確認します (マイクロプロセッサーの要件については、『マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り付け』を参照)。 2. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) 互換性の無いマイクロプロセッサーを取り替えます。

806f0608-1301xxxx [PowerSupplyElementName] has a Configuration Mismatch. (PS Configuration)

説明: このメッセージは、構成エラーが発生したパワー・サプライが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f06081301xxxx または 0x806f06081301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0104

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 取り付けられたパワー・サプライの定格 (ワット数) が同一であることを確認します。 2. 定格 (ワット数) が同一のパワー・サプライを再取り付けします。

806f060d-0400xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0400xxxx または 0x806f060d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0401xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0401xxxx または 0x806f060d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0402xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0402xxxx または 0x806f060d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0403xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0403xxxx または 0x806f060d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0404xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0404xxxx または 0x806f060d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0405xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0405xxxx または 0x806f060d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0406xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0406xxxx または 0x806f060d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0407xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0407xxxx または 0x806f060d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0408xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0408xxxx または 0x806f060d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0409xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0409xxxx または 0x806f060d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-040axxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d040axxxx または 0x806f060d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-040bxxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d040bxxxx または 0x806f060d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-040cxxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d040cxxxx または 0x806f060d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-040dxxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d040dxxxx または 0x806f060d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-040exxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 14)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d040exxxx または 0x806f060d040exxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-040fxxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 15)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d040fxxxx または 0x806f060d040fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアとハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。4. RAID アダプターを交換します。 5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f070c-2001xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが修正されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2001xxxx または 0x806f070c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2002xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが修正されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2002xxxx または 0x806f070c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2003xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが修正されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2003xxxx または 0x806f070c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2004xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが修正されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2004xxxx または 0x806f070c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2005xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが修正されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2005xxxx または 0x806f070c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2006xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが修正されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2006xxxx or 0x806f070c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2007xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが修正されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2007xxxx または 0x806f070c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2008xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが修正されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2008xxxx または 0x806f070c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2009xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが修正されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2009xxxx または 0x806f070c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-200axxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが修正されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c200axxxx または 0x806f070c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-200bxxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが修正されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c200bxxxx または 0x806f070c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-200cxxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが修正されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c200cxxxx または 0x806f070c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2581xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが修正されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2581xxxx または 0x806f070c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。 1 つの DIMM。

806f070d-0400xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0400xxxx または 0x806f070d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0401xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0401xxxx or 0x806f070d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0402xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0402xxxx または 0x806f070d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0403xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0403xxxx または 0x806f070d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0404xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0404xxxx or 0x806f070d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0405xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0405xxxx または 0x806f070d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0406xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0406xxxx または 0x806f070d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0407xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0407xxxx または 0x806f070d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0408xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0408xxxx または 0x806f070d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0409xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0409xxxx または 0x806f070d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-040axxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d040axxxx または 0x806f070d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-040bxxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d040bxxxx または 0x806f070d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-040cxxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d040cxxxx または 0x806f070d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-040dxxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d040dxxxx または 0x806f070d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-040exxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 14)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d040exxxx または 0x806f070d040exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-040fxxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 15)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d040fxxxx または 0x806f070d040fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f072b-2201xxxx A successful software or firmware change was detected on system [ComputerSystemElementName]. (Bkup Auto Update)

説明: このメッセージは、ソフトウェアまたはファームウェアの変更が正常に行われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f072b2201xxxx または 0x806f072b2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0450

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 ROM リカバリー :

806f0807-0301xxxx [ProcessorElementName] has been Disabled. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f08070301xxxx または 0x806f08070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0061

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0807-0302xxxx [ProcessorElementName] has been Disabled. (CPU 2)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f08070302xxxx または 0x806f08070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0061

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0807-2584xxxx [ProcessorElementName] has been Disabled. (All CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f08072584xxxx または 0x806f08072584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0061

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 いずれかの CPU。

806f0813-2581xxxx A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (DIMMs)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f08132581xxxx または 0x806f08132581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0240

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログを確認します。 2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサーをシステム・ボードから取り外します (『マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り外し』を参照)。 3. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 2 つのマイクロプロセッサーが一致していることを確認してください。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0813-2582xxxx A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f08132582xxxx または 0x806f08132582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0240

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログを確認します。 2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサーをシステム・ボードから取り外します (『マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り外し』を参照)。 3. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 2 つのマイクロプロセッサーが一致していることを確認してください。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0813-2584xxxx A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f08132584xxxx または 0x806f08132584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0240

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログを確認します。 2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサーをシステム・ボードから取り外します (『マイクロプロセッサーおよびヒートシンクの取り外し』を参照)。 3. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。 4. 2 つのマイクロプロセッサーが一致していることを確認してください。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0823-2101xxxx Watchdog Timer interrupt occurred for [WatchdogElementName]. (IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグ・タイマー割り込みの発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f08232101xxxx または 0x806f08232101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0376

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f090c-2001xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2001xxxx または 0x806f090c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n =

DIMM 番号)

806f090c-2002xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2002xxxx または 0x806f090c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2003xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2003xxxx または 0x806f090c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2004xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2004xxxx または 0x806f090c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2005xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2005xxxx または 0x806f090c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2006xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2006xxxx または 0x806f090c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2007xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2007xxxx または 0x806f090c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2008xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2008xxxx または 0x806f090c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-2009xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2009xxxx または 0x806f090c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-200axxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200axxxx または 0x806f090c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-200bxxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200bxxxx または 0x806f090c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f090c-200cxxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200cxxxx または 0x806f090c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0142

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a07-0301xxxx [ProcessorElementName] is operating in a Degraded State. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサーが機能低下状態で稼働していることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a070301xxxx または 0x806f0a070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0038

SNMP トラップ ID: 42

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります。 3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0a07-0302xxxx [ProcessorElementName] is operating in a Degraded State. (CPU 2)

説明: このメッセージは、プロセッサーが機能低下状態で稼働していることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a070302xxxx または 0x806f0a070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0038

SNMP トラップ ID: 42

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。 仕様の範囲内で稼働させる必要があります。 3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0a0c-2001xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境で検出されたメモリーの温度超過状態が検出された場合に使用されます。

806f0a0c2001xxxx または 0x806f0a0c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2002xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境で検出されたメモリーの温度超過状態が検出された場合に使用されます。

806f0a0c2002xxxx または 0x806f0a0c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2003xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境で検出されたメモリーの温度超過状態が検出された場合に使用されます。

806f0a0c2003xxxx または 0x806f0a0c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気

への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2004xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境で検出されたメモリーの温度超過状態が検出された場合に使用されます。

806f0a0c2004xxxx または 0x806f0a0c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2005xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境で検出されたメモリーの温度超過状態が検出された場合に使用されます。

806f0a0c2005xxxx または 0x806f0a0c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2006xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境で検出されたメモリーの温度超過状態が検出された場合に使用されます。

806f0a0c2006xxxx または 0x806f0a0c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2007xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境で検出されたメモリーの温度超過状態が検出された場合に使用されます。

806f0a0c2007xxxx または 0x806f0a0c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2008xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境で検出されたメモリーの温度超過状態が検出された場合に使用されます。

806f0a0c2008xxxx または 0x806f0a0c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-2009xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境で検出されたメモリーの温度超過状態が検出された場合に使用されます。

806f0a0c2009xxxx または 0x806f0a0c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-200axxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境で検出されたメモリーの温度超過状態が検出された場合に使用されます。

806f0a0c200axxxx または 0x806f0a0c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気

への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-200bxxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境で検出されたメモリーの温度超過状態が検出された場合に使用されます。

806f0a0c200bxxxx または 0x806f0a0c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a0c-200cxxxx An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境で検出されたメモリーの温度超過状態が検出された場合に使用されます。

806f0a0c200cxxxx または 0x806f0a0c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0146

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温が仕様内であることを確認します。 3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対する処置を実行します。4. DIMM n を交換します。 (n = DIMM 番号)

806f0a13-0301xxxx A Fatal Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (CPU 1 PECI)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの致命的エラーが検出された場合に使用されます。

806f0a130301xxxx または 0x806f0a130301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0244

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. マイクロプロセッサーを取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

806f0a13-0302xxxx A Fatal Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (CPU 2 PECI)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの致命的エラーが検出された場合に使用されます。

806f0a130302xxxx または 0x806f0a130302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0244

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. マイクロプロセッサーを取り付け直し、サーバーを再始動します。 2. マイクロプロセッサー n を交換します。 (n = マイクロプロセッサー番号)

81010002-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower non-critical) has deasserted. (CMOS Battery)

説明: このメッセージは、下限非クリティカル・センサーの下降が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810100020701xxxx または 0x810100020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0477

SNMP トラップ ID: 13

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010202-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (CMOS Battery)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810102020701xxxx または 0x810102020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0481

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 SysBrd 12V : SysBrd 3.3V : SysBrd 5V :

81010204-1d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Fan 1 Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810102041d01xxxx または 0x810102041d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0481

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010204-1d02xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Fan 2 Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810102041d02xxxx または 0x810102041d02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0481

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010204-1d03xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Fan 3 Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810102041d03xxxx または 0x810102041d03xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0481

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010204-1d04xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Fan 4 Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810102041d04xxxx または 0x810102041d04xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0481

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-0c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (Ambient Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107010c01xxxx または 0x810107010c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-1401xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (CPU1 VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107011401xxxx または 0x810107011401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-1402xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (CPU2 VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107011402xxxx または 0x810107011402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-1403xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (DIMM ABC VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107011403xxxx または 0x810107011403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-1404xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (DIMM DEF VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107011404xxxx または 0x810107011404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-2d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted. (PCH Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107012d01xxxx または 0x810107012d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-0c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (Ambient Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109010c01xxxx または 0x810109010c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1401xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (CPU1 VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

8101090114O1xxxx または 0x8101090114O1xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1402xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (CPU2 VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109011402xxxx または 0x810109011402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1403xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (DIMM ABC VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

8810109011403xxxx または 0x810109011403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1404xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (DIMM DEF VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109011404xxxx または 0x810109011404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-2d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (PCH Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109012d01xxxx または 0x810109012d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010902-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted. (SysBrd 12V)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109020701xxxx または 0x810109020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0495

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 SysBrd 3.3V : SysBrd 5V :

81010b01-0c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (Ambient Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b010c01xxxx または 0x81010b010c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1401xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (CPU1 VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b011401xxxx または 0x81010b011401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1402xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (CPU2 VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b011402xxxx または 0x81010b011402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1403xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (DIMM ABC VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b011403xxxx または 0x81010b011403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1404xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (DIMM DEF VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b011404xxxx または 0x81010b011404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-2d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (PCH Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b012d01xxxx または 0x81010b012d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81030006-2101xxxx Sensor [SensorElementName] has asserted. (Sig Verify Fail)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出された場合に使用されます。

810300062101xxxx または 0x810300062101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0508

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81030012-2301xxxx Sensor [SensorElementName] has asserted. (OS RealTime Mod)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出された場合に使用されます。

810300122301xxxx または 0x810300122301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0508

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81030108-1301xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted. (PS Heavy Load)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出された場合に使用されます。

810301081301xxxx または 0x810301081301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0509

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107010f-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition from normal to non-critical state. (GPT Status)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8107010f2201xxxx または 0x8107010f2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0521

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107010f-2582xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition from normal to non-critical state. (I/O Resources)

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8107010f2582xxxx または 0x8107010f2582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0521

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702010301xxxx または 0x810702010301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-0302xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (CPU 2 OverTemp)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702010302xxxx または 0x810702010302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070202-0701xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (SysBrd Vol Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702020701xxxx または 0x810702020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070202-1201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (CPU2 BRD Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702021201xxxx または 0x810702021201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070204-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (PS 1 Fan Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702040a01xxxx または 0x810702040a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070204-0a02xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (PS 2 Fan Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702040a02xxxx または 0x810702040a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070208-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (PS 1 Therm Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702080a01xxxx または 0x810702080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070208-0a02xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (PS 2 Therm Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702080a02xxxx または 0x810702080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107020f-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (TXT ACM Module)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

8107020f2201xxxx または 0x8107020f2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107020f-2582xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (I/O Resources)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

8107020f2582xxxx または 0x8107020f2582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070214-2201xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (TPM Lock)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702142201xxxx または 0x810702142201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070219-0701xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (SysBrd Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

810702190701xxxx または 0x810702190701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107021b-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (CPU 1 QPILinkErr)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

8107021b0301xxxx または 0x8107021b0301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107021b-0302xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (CPU 2 QPILinkErr)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に変化したことが検出された場合に使用されます。

8107021b0302xxxx または 0x8107021b0302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070301-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable from a less severe state. (CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に変化したことが表明解除されたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

810703010301xxxx または 0x810703010301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0525

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070301-0302xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable from a less severe state. (CPU 2 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に変化したことが表明解除されたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

810703010302xxxx または 0x810703010302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0525

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070603-0701xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable. (Pwr Rail 1 Fault)

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能状態に変化したことが表明解除されたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

810706030701xxxx または 0x810706030701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0531

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 Pwr Rail 2 Fault : Pwr Rail 3 Fault : Pwr Rail 4 Fault : Pwr Rail 5 Fault :

81070608-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable. (PS1 12V OC Fault)

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能状態に変化したことが表明解除されたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

810706080a01xxxx または 0x810706080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0531

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 PS1 12V OV Fault : PS1 12V UV Fault : PS1 12Vaux Fault :

81070608-0a02xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable. (PS2 12V OC Fault)

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能状態に変化したことが表明解除されたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

810706080a02xxxx または 0x810706080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0531

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 PS2 12V OV Fault : PS2 12V UV Fault : PS2 12Vaux Fault :

810b010a-1e81xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Fan Zone 1)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明解除された場合に使用されます。

810b010a1e81xxxx または 0x810b010a1e81xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0803

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b010c-2581xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Backup Memory)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明解除された場合に使用されます。

810b010c2581xxxx または 0x810b010c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0803

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b0309-1301xxxx Non-redundant:Sufficient Resources from Redundancy Degraded or Fully Redundant for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Power Resource)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長: 十分なリソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b03091301xxxx または 0x810b03091301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 冗長パワー・サプライ

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0807

SNMP トラップ ID: 10

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b030c-2581xxxx Non-redundant:Sufficient Resources from Redundancy Degraded or Fully Redundant for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Backup Memory)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長: 十分なリソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b030c2581xxxx または 0x810b030c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0807

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b0509-1301xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Power Resource)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長: 不十分なリソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b05091301xxxx または 0x810b05091301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 冗長パワー・サプライ

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0811

SNMP トラップ ID: 9

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b050a-1e81xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Fan Zone 1)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長: 不十分なリソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b050a1e81xxxx または 0x810b050a1e81xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0811

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b050c-2581xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Backup Memory)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長: 不十分なリソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b050c2581xxxx または 0x810b050c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0811

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0007-0301xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from IERR. (CPU 1)

説明: このメッセージは、「プロセッサーのリカバリー済み - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f00070301xxxx または 0x816f00070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0043

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0007-0302xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from IERR. (CPU 2)

説明: このメッセージは、「プロセッサーのリカバリー済み - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f00070302xxxx または 0x816f00070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0043

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0008-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has been removed from container [PhysicalPackageElementName]. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f00080a01xxxx または 0x816f00080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0085

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0008-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has been removed from container [PhysicalPackageElementName]. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f00080a02xxxx または 0x816f00080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0085

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0009-1301xxxx [PowerSupplyElementName] has been turned on. (Host Power)

説明: このメッセージは、使用可能にされた電源装置が実装環境で検出された場合に使用されます。

816f00091301xxxx または 0x816f00091301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 電源オン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0107

SNMP トラップ ID: 24

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f000d-0400xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0400xxxx or 0x816f000d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0401xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0401xxxx または 0x816f000d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0402xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0402xxxx または 0x816f000d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0403xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0403xxxx または 0x816f000d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0404xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0404xxxx または 0x816f000d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと

RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0405xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0405xxxx または 0x816f000d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0406xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0406xxxx または 0x816f000d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0407xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0407xxxx または 0x816f000d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0408xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0408xxxx または 0x816f000d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-0409xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0409xxxx または 0x816f000d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-040axxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d040axxxx または 0x816f000d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-040bxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d040bxxxx または 0x816f000d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-040cxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d040cxxxx または 0x816f000d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-040dxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d040dxxxx または 0x816f000d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-040exxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 14)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d040exxxx または 0x816f000d040exxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000d-040fxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit [PhysicalPackageElementName]. (Drive 15)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d040fxxxx または 0x816f000d040fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアと RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000f-2201ffff The System [ComputerSystemElementName] has detected a POST Error deassertion. (ABR Status)

説明: このメッセージは、実装環境で POST エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f000f2201ffff または 0x816f000f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0185

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

816f0013-1701xxxx System [ComputerSystemElementName] has recovered from a diagnostic interrupt. (NMI State)

説明: このメッセージは、実装環境でフロント・パネル NMI/診断割り込みからのリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f00131701xxxx または 0x816f00131701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0223

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-2201xxxx Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (No Op ROM Space)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00212201xxxx または 0x816f00212201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-2582xxxx Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (All PCI Error)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00212582xxxx または 0x816f00212582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの PCI エラー。

816f0021-3001xxxx Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (PCI 1)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00213001xxxx または 0x816f00213001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-3002xxxx Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (PCI 2)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00213002xxxx または 0x816f00213002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-3003xxxx Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (PCI 3)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00213003xxxx または 0x816f00213003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-3004xxxx Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (PCI 4)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00213004xxxx または 0x816f00213004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-3005xxxx Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (PCI 5)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00213005xxxx または 0x816f00213005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-3006xxxx Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (PCI 6)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00213006xxxx または 0x816f00213006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0028-2101xxxx Sensor [SensorElementName] has returned to normal on management system [ComputerSystemElementName]. (TPM Cmd Failures)

説明: このメッセージは、センサーが機能低下/使用不可/障害から戻ったことが実装環境で検出された場合に表示されます。

816f00282101xxxx または 0x816f00282101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0399

SNMP トラップ ID: 60

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0107-0301xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on [ProcessorElementName]. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01070301xxxx または 0x816f01070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0037

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0107-0302xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on [ProcessorElementName]. (CPU 2)

説明: このメッセージは、プロセッサーの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01070302xxxx または 0x816f01070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0037

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0108-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has returned to OK status. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが通常の作動状況に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01080a01xxxx または 0x816f01080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0087

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0108-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has returned to OK status. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが通常の作動状況に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01080a02xxxx または 0x816f01080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0087

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2001xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2001xxxx または 0x816f010c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2002xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2002xxxx または 0x816f010c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2003xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2003xxxx または 0x816f010c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2004xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2004xxxx または 0x816f010c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2005xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2005xxxx または 0x816f010c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2006xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2006xxxx または 0x816f010c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2007xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2007xxxx または 0x816f010c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2008xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2008xxxx または 0x816f010c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2009xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2009xxxx または 0x816f010c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200axxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c200axxxx または 0x816f010c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200bxxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c200bxxxx または 0x816f010c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200cxxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c200cxxxx または 0x816f010c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2581xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2581xxxx または 0x816f010c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの DIMM。

816f010d-0400xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0400xxxx または 0x816f010d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0401xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0401xxxx または 0x816f010d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0402xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0402xxxx または 0x816f010d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0403xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0403xxxx または 0x816f010d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0404xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0404xxxx または 0x816f010d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0405xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0405xxxx または 0x816f010d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0406xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0406xxxx または 0x816f010d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0407xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0407xxxx または 0x816f010d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0408xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0408xxxx または 0x816f010d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0409xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d0409xxxx または 0x816f010d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-040axxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d040axxxx または 0x816f010d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-040bxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d040bxxxx または 0x816f010d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-040cxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d040cxxxx または 0x816f010d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-040dxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d040dxxxx または 0x816f010d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-040exxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 14)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d040exxxx または 0x816f010d040exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-040fxxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 15)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能になったことが検出された場合に使用されます。

816f010d040fxxxx または 0x816f010d040fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010f-2201xxxx The System [ComputerSystemElementName] has recovered from a firmware hang. (Firmware Error)

説明: このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェアがハングした状態からリカバリーされた場合に使用されます。

816f010f2201xxxx または 0x816f010f2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0187

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0113-0301xxxx System [ComputerSystemElementName] has recovered from a bus timeout. (CPU 1 PECI)

説明: このメッセージは、システムがバス・タイムアウトからリカバリーされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01130301xxxx または 0x816f01130301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0225

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します (『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』および『マイクロプロセッサーとヒートシンクの再取り付け』を参照)。 2. 問題が解決せず、同じエラーを示す別の CPU がない場合は、システム・ボードを交換します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの交換』を参照)。(n = マイクロプロセッサー番号)

816f0113-0302xxxx System [ComputerSystemElementName] has recovered from a bus timeout. (CPU 2 PECI)

説明: このメッセージは、システムがバス・タイムアウトからリカバリーされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01130302xxxx or 0x816f01130302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0225

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します (『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』および『マイクロプロセッサーとヒートシンクの再取り付け』を参照)。2. 問題が解決せず、同じエラーを示す別の CPU がない場合は、システム・ボードを交換します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの交換』を参照)。(n = マイクロプロセッサー番号)

816f0207-0301xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from FRB1/BIST condition. (CPU 1)

説明: このメッセージは、「プロセッサーのリカバリー済み - FRB1/BIST 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f02070301xxxx または 0x816f02070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0045

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0207-0302xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from FRB1/BIST condition. (CPU 2)

説明: このメッセージは、「プロセッサーのリカバリー済み - FRB1/BIST 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f02070302xxxx または 0x816f02070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0045

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0400xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0400xxxx または 0x816f020d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0401xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0401xxxx または 0x816f020d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0402xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0402xxxx または 0x816f020d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0403xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0403xxxx または 0x816f020d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0404xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0404xxxx または 0x816f020d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0405xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0405xxxx または 0x816f020d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0406xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0406xxxx または 0x816f020d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0407xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0407xxxx or 0x816f020d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0408xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0408xxxx または 0x816f020d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0409xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0409xxxx または 0x816f020d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-040axxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d040axxxx または 0x816f020d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-040bxxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d040bxxxx または 0x816f020d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-040cxxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d040cxxxx または 0x816f020d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-040dxxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d040dxxxx または 0x816f020d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-040exxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 14)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d040exxxx または 0x816f020d040exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-040fxxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 15)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d040fxxxx または 0x816f020d040fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0308-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has returned to a Normal Input State. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライの入力が正常に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f03080a01xxxx または 0x816f03080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0099

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0308-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has returned to a Normal Input State. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライの入力が正常に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f03080a02xxxx または 0x816f03080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0099

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2001xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2001xxxx または 0x816f030c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2002xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2002xxxx または 0x816f030c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2003xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2003xxxx または 0x816f030c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2004xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2004xxxx または 0x816f030c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2005xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2005xxxx または 0x816f030c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2006xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2006xxxx または 0x816f030c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2007xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2007xxxx または 0x816f030c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2008xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2008xxxx または 0x816f030c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2009xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2009xxxx または 0x816f030c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200axxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c200axxxx または 0x816f030c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200bxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c200bxxxx または 0x816f030c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200cxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c200cxxxx または 0x816f030c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2581xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2581xxxx または 0x816f030c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの DIMM。

816f0313-1701xxxx System [ComputerSystemElementName] has recovered from an NMI. (NMI State)

説明: このメッセージは、ソフトウェア NMI から回復したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f03131701xxxx または 0x816f03131701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0230

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2001xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2001xxxx または 0x816f040c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2002xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2002xxxx または 0x816f040c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2003xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2003xxxx または 0x816f040c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2004xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2004xxxx または 0x816f040c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2005xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2005xxxx または 0x816f040c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2006xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2006xxxx または 0x816f040c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2007xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2007xxxx または 0x816f040c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2008xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2008xxxx または 0x816f040c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2009xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2009xxxx または 0x816f040c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200axxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200axxxx または 0x816f040c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200bxxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200bxxxx または 0x816f040c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200cxxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200cxxxx または 0x816f040c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2581xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2581xxxx または 0x816f040c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの DIMM。

816f0413-2582xxxx A PCI PERR recovery has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境で PCI PERR がリカバリーされたことが検出された場合に使用されます。

816f04132582xxxx または 0x816f04132582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0233

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0507-0301xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from a Configuration Mismatch. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサー構成のミスマッチがリカバリーされた場合に使用されます。

816f05070301xxxx または 0x816f05070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0063

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0507-0302xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from a Configuration Mismatch. (CPU 2)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサー構成のミスマッチがリカバリーされた場合に使用されます。

816f05070302xxxx または 0x816f05070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0063

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2001xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2001xxxx または 0x816f050c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2002xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2002xxxx または 0x816f050c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2003xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2003xxxx または 0x816f050c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2004xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2004xxxx または 0x816f050c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2005xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2005xxxx または 0x816f050c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2006xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2006xxxx または 0x816f050c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2007xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2007xxxx または 0x816f050c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2008xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2008xxxx または 0x816f050c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2009xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2009xxxx または 0x816f050c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-200axxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c200axxxx または 0x816f050c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-200bxxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c200bxxxx または 0x816f050c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-200cxxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c200cxxxx または 0x816f050c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2581xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2581xxxx または 0x816f050c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの DIMM。

816f050d-0400xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0400xxxx または 0x816f050d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0401xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0401xxxx または 0x816f050d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0402xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0402xxxx または 0x816f050d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0403xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0403xxxx または 0x816f050d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0404xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0404xxxx または 0x816f050d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0405xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0405xxxx または 0x816f050d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0406xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0406xxxx または 0x816f050d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0407xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0407xxxx または 0x816f050d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0408xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0408xxxx または 0x816f050d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0409xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0409xxxx または 0x816f050d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-040axxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d040axxxx または 0x816f050d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-040bxxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d040bxxxx または 0x816f050d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-040cxxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d040cxxxx または 0x816f050d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-040dxxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d040dxxxx または 0x816f050d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-040exxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 14)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d040exxxx または 0x816f050d040exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-040fxxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 15)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d040fxxxx または 0x816f050d040fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0607-0301xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has deasserted. (CPU 1)

説明: このメッセージは、 SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明解除された場合に使用されます。

816f06070301xxxx または 0x816f06070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0817

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0607-0302xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has deasserted. (CPU 2)

説明: このメッセージは、 SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明解除された場合に使用されます。

816f06070302xxxx または 0x816f06070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0817

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0608-1301xxxx [PowerSupplyElementName] Configuration is OK. (PS Configuration)

説明: このメッセージは、パワー・サプライ構成が OK である場合に使用されます。

816f06081301xxxx または 0x816f06081301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0105

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0400xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0400xxxx または 0x816f060d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0401xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0401xxxx または 0x816f060d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0402xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0402xxxx または 0x816f060d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0403xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0403xxxx または 0x816f060d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0404xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0404xxxx または 0x816f060d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0405xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0405xxxx または 0x816f060d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0406xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0406xxxx または 0x816f060d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0407xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0407xxxx または 0x816f060d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0408xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0408xxxx または 0x816f060d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0409xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0409xxxx または 0x816f060d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-040axxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d040axxxx または 0x816f060d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-040bxxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d040bxxxx または 0x816f060d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-040cxxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d040cxxxx または 0x816f060d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-040dxxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d040dxxxx または 0x816f060d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-040exxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 14)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d040exxxx または 0x816f060d040exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-040fxxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 15)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d040fxxxx または 0x816f060d040fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2001xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2001xxxx または 0x816f070c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2002xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2002xxxx または 0x816f070c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2003xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2003xxxx または 0x816f070c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2004xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2004xxxx または 0x816f070c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2005xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2005xxxx または 0x816f070c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2006xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2006xxxx または 0x816f070c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2007xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2007xxxx または 0x816f070c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2008xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2008xxxx または 0x816f070c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2009xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2009xxxx または 0x816f070c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-200axxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c200axxxx または 0x816f070c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-200bxxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c200bxxxx または 0x816f070c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-200cxxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c200cxxxx または 0x816f070c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2581xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f816f070c2581xxxx または 0x816f070c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの DIMM。

816f070d-0400xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d0400xxxx または 0x816f070d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0401xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d0401xxxx または 0x816f070d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0402xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d0402xxxx または 0x816f070d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0403xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d0403xxxx または 0x816f070d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0404xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d0404xxxx または 0x816f070d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0405xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d0405xxxx または 0x816f070d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0406xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d0406xxxx または 0x816f070d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0407xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d0407xxxx または 0x816f070d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0408xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d0408xxxx または 0x816f070d0408xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0409xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d0409xxxx または 0x816f070d0409xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-040axxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d040axxxx または 0x816f070d040axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-040bxxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d040bxxxx または 0x816f070d040bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-040cxxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d040cxxxx または 0x816f070d040cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-040dxxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d040dxxxx または 0x816f070d040dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-040exxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 14)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d040exxxx または 0x816f070d040exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-040fxxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 15)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの最ビルドが完了したことが検出された場合に使用されます。

816f070d040fxxxx または 0x816f070d040fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0807-0301xxxx [ProcessorElementName] has been Enabled. (CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f08070301xxxx または 0x816f08070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0060

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0807-0302xxxx [ProcessorElementName] has been Enabled. (CPU 2)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f08070302xxxx または 0x816f08070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0060

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0807-2584xxxx [ProcessorElementName] has been Enabled. (All CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f08072584xxxx または 0x816f08072584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0060

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 いずれかの CPU。

816f0813-2581xxxx System [ComputerSystemElementName]has recovered from an Uncorrectable Bus Error. (DIMMs)

説明: このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f08132581xxxx または 0x816f08132581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0241

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0813-2582xxxx System [ComputerSystemElementName]has recovered from an Uncorrectable Bus Error. (PCIs)

説明: このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f08132582xxxx または 0x816f08132582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0241

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0813-2584xxxx System [ComputerSystemElementName]has recovered from an Uncorrectable Bus Error. (CPUs)

説明: このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f08132584xxxx または 0x816f08132584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0241

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2001xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2001xxxx または 0x816f090c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2002xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2002xxxx または 0x816f090c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2003xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2003xxxx または 0x816f090c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2004xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2004xxxx または 0x816f090c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2005xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2005xxxx または 0x816f090c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2006xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2006xxxx または 0x816f090c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2007xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2007xxxx または 0x816f090c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2008xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2008xxxx または 0x816f090c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2009xxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2009xxxx または 0x816f090c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-200axxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c200axxxx または 0x816f090c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-200bxxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c200bxxxx または 0x816f090c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-200cxxxx [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c200cxxxx または 0x816f090c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0143

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a07-0301xxxx The Processor [ProcessorElementName] is no longer operating in a Degraded State. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサーがもはや機能低下状態で稼働していないことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a070301xxxx または 0x816f0a070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0039

SNMP トラップ ID: 42

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a07-0302xxxx The Processor [ProcessorElementName] is no longer operating in a Degraded State. (CPU 2)

説明: このメッセージは、プロセッサーがもはや機能低下状態で稼働していないことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a070302xxxx または 0x816f0a070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0039

SNMP トラップ ID: 42

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2001xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2001xxxx または 0x816f0a0c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2002xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2002xxxx または 0x816f0a0c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2003xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2003xxxx または 0x816f0a0c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2004xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2004xxxx または 0x816f0a0c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2005xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2005xxxx または 0x816f0a0c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2006xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2006xxxx または 0x816f0a0c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2007xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2007xxxx または 0x816f0a0c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2008xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2008xxxx または 0x816f0a0c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2009xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2009xxxx または 0x816f0a0c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-200axxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c200axxxx または 0x816f0a0c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-200bxxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c200bxxxx または 0x816f0a0c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-200cxxxx An Over-Temperature Condition has been removed on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c200cxxxx または 0x816f0a0c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0147

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a13-0301xxxx System [ComputerSystemElementName] has recovered from a Fatal Bus Error. (CPU 1 PECI)

説明: このメッセージは、システムがバスの致命的エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f0a130301xxxx または 0x816f0a130301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0245

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します (『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』および『マイクロプロセッサーとヒートシンクの再取り付け』を参照)。 2. 問題が解決せず、同じエラーを示す別の CPU がない場合は、システム・ボードを交換します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの交換』を参照)。(n = マイクロプロセッサー番号)

816f0a13-0302xxxx System [ComputerSystemElementName] has recovered from a Fatal Bus Error. (CPU 2 PECI)

説明: このメッセージは、システムがバスの致命的エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f0a130302xxxx または 0x816f0a130302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および **ID:** 0245

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します (『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』および『マイクロプロセッサーとヒートシンクの再取り付け』を参照)。 2. 問題が解決せず、同じエラーを示す別の CPU がない場合は、システム・ボードを交換します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの交換』を参照)。(n = マイクロプロセッサー番号)

付録 B. UEFI/POST 診断コード

UEFI/POST 診断エラー・コードは、サーバーの始動時またはサーバーの実行中に生成されることがあります。UEFI/POST コードは、サーバー内の IMM イベント・ログに記録されます。

イベント・コードごとに、以下のフィールドが表示されます。

イベント ID
イベントを一意的に識別する ID。

イベント記述
イベントについて表すログ・メッセージ・ストリング。

説明 イベントが発生した原因を説明する追加情報。

重大度 状態の懸念レベルを示します。重大度は、イベント・ログでは先頭文字に省略されています。以下の重大度が表示されます。

表 29. イベントの重大度レベル

重大度	説明
通知	通知メッセージは監査目的で記録されたもので、通常は正常に動作するユーザー処置あるいは状態の変更です。
警告	警告はエラーほど深刻ではないですが、可能であればエラーになる前に状態を修正することをお勧めします。また警告は、さらにモニターおよび保守を続ける必要がある状態である場合もあります。
エラー	エラーは一般的に、サービスあるいは期待された機能を悪化させる障害またはクリティカルな状態を表します。

ユーザー応答
イベントを解決するためにとるべき処置。

手順を、問題が解決するまで順番に実行します。このフィールドに説明されている処置をすべて実行した後、まだ問題を解決できない場合には、IBM サポートにお問い合わせください。

以下に、UEFI/POST エラー・コードおよび検出された問題を修正するための推奨アクションをリストします。

© Copyright IBM Corp. 2013

I.11002 **[I.11002] A processor mismatch has been detected between one or more processors in the system.**

説明: 1 つ以上のプロセッサーの不一致が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. このメッセージと一緒に、他のプロセッサー構成の問題を示すメッセージが発行される場合があります。 最初に、それらのメッセージを解決してください。
2. 問題が解決しない場合は、取り付けられているプロセッサーが一致していること (オプション部品番号が一致しているなど) を確認します。
3. 本製品のサービス情報に従って、プロセッサーが正しいソケットに取り付けられていることを確認します。正しく取り付けられていない場合は、問題を修正してください。
4. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 一致していないプロセッサーを交換します。 プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが破損している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18005 **[I.18005] A discrepancy has been detected in the number of cores reported by one or more processor packages within the system.**

説明: プロセッサーのコア数が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. これが新しく取り付けたオプションである場合は、本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。 プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが破損している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18006 **[I.18006] A mismatch between the maximum allowed QPI link speed has been detected for one or more processor packages.**

説明: プロセッサーの QPI 速度が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. これが新しく取り付けたオプションである場合は、一致するプロセッサー CPU が、本製品のサービス情報に従って正しいプロセッサー CPU ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる RETAIN のヒント、Service Bulletin、またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。 プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが破損している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18007 **[I.18007] A power segment mismatch has been detected for one or more processor packages.**

説明: プロセッサーの電源セグメントが一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 取り付けられているプロセッサーの消費電力が同一ではありません。
2. すべてのプロセッサーの消費電力 (65、95、または 130 ワットなど) が一致していることを確認します。
3. 消費電力が一致している場合は、IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。 プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが破損している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18008 **[I.18008] Currently, there is no additional information for this event.**

説明: プロセッサーの内部 DDR3 周波数が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致する DIMM が正しい装着順序で取り付けられていることを確認します。検出された構成の問題をすべて修正します。
2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 関連するプロセッサーを交換します。 プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが破損している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.18009 **[I.18009] A core speed mismatch has been detected for one or more processor packages.**

説明: プロセッサーのコア速度が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致の問題をすべて修正します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。 プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが破損している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.1800A **[I.1800A] A mismatch has been detected between the speed at which a QPI link has trained between two or more processor packages.**

説明: プロセッサーのバス速度が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. プロセッサーが、このシステムの Server Proven デバイスにリストされている有効なオプションであることを確認します。 有効なオプションではない場合、そのプロセッサーを取り外し、Server Proven にリストされたプロセッサーを取り付けます。
2. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
3. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。 プロセッサー・ソケットを調べて、ソケットが破損している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.1800B **[I.1800B] A cache size mismatch has been detected for one or more processor packages.**

説明: プロセッサーの 1 つ以上のキャッシュ・レベルでサイズが一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.1800C **[I.1800C] A cache type mismatch has been detected for one or more processor packages.**

説明: プロセッサーの 1 つ以上のキャッシュ・レベルでタイプが一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.1800D **[I.1800D] A cache associativity mismatch has been detected for one or more processor packages.**

説明: プロセッサーの 1 つ以上のキャッシュ・レベルで結合順序が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.1800E **[I.1800E] A processor model mismatch has been detected for one or more processor packages.**

説明: プロセッサーの型式番号が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.1800F **[I.1800F] A processor family mismatch has been detected for one or more processor packages.**

説明: プロセッサーのファミリーが一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.18010 **[I.18010] A processor stepping mismatch has been detected for one or more processor packages.**

説明: 同一モデルのプロセッサーのステッピング ID が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサーが正しいプロセッサー・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.2018002 **[I.2018002] The device found at Bus % Device % Function % could not be configured due to resource constraints. The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.**

説明: OUT_OF_RESOURCES (PCI オプション ROM)

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. この PCIe デバイスや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin、UEFI、またはアダプター・ファームウェア更新がないかを確認します。注: アダプター・ファームウェアを更新するために、UEFI F1 セットアップ、ASU、またはアダプター製造元のユーティリティーを使用して、未使用のオプション ROM を使用不可にする必要がある場合があります。
3. カードを別のスロットに移動します。 スロットが使用可能ではない場合、あるいはエラーが再発生する場合は、アダプターを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) アダプターを別のスロットに移動させてエラーが再発生しなかった場合は、この問題がシステムの制限事項ではないことを確認し、システム・ボードを交換します。 また、これが最初の取り付けではなく、アダプターを交換しても問題が解決しない場合は、システム・ボードを交換します。

I.2018003 **[I.2018003] A bad option ROM checksum was detected for the device found at Bus % Device % Function %. The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.**

説明: ROM チェックサム・エラー

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. この PCIe デバイスや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。
2. アダプターを別のシステム・スロットに移動します (使用可能な場合)。
3. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin、UEFI、またはアダプタ

ー・ファームウェア更新がないかを確認します。 注: アダプター・ファームウェアをアップグレードするために、スロットを Gen1 に構成したり、特別なユーティリティー・ソフトウェアを使用する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 設定は、「F1 Setup」->「System Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、あるいは ASU ユーティリティーを使用して構成することができます。

4. アダプターを交換します。

I.3048005 [I.3048005] UEFI has booted from the backup flash bank.

説明: バックアップ UEFI イメージからブートしています。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 本製品のサービス情報で UEFI リカバリーのセクションを参照して、システムを 1 次バンクに戻します。

I.3808004 [I.3808004] The IMM System Event log (SEL) is full.

説明: IPMI システム・イベント・ログがフルです。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IMM Web インターフェースを使用して、イベント・ログを消去します。
2. IMM 通信が使用できない場合は、F1 Setup を使用して、「System Event Logs Menu」にアクセスし、「Clear IMM System Event Log」を選択してサーバーを再始動します。

I.3818001 **[I.3818001] The firmware image capsule signature for the currently booted flash bank is invalid.**

説明: 現行のバンク CRTM カプセル更新署名が無効です。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムをリブートします。 バックアップ UEFI イメージが起動します。1 次 UEFI イメージを再フラッシュします。
2. エラーが解決した場合は、追加のリカバリー・アクションは不要です。
3. エラーが続く場合、およびブートが失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.3818002 **[I.3818002] The firmware image capsule signature for the non-booted flash bank is invalid.**

説明: 対向バンク CRTM カプセル更新署名が無効です。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. バックアップ UEFI イメージを再フラッシュします。
2. エラーが解決した場合は、追加のリカバリー・アクションは不要です。
3. エラーが続く場合、およびブートが失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.3818003 **[I.3818003] The CRTM flash driver could not lock the secure flash region.**

説明: CRTM がセキュア・フラッシュ領域をロックできませんでした。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムが正常にブートしない場合は、システムの DC サイクルを実行します。
2. システムが F1 Setup にブートする場合は、UEFI イメージをフラッシュし、バンクを 1 次にリセットします (必要な場合)。 システムがエラーなしでブートする場合は、リカバリーが完了し、これ以上の処置は必要ありません。
3. システムがブートに失敗する場合、またはフラッシュ試行が失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.3868000 **[I.3868000] BOFM: System reset performed to reset adapters.**

説明: BOFM: アダプターをリセットするためにシステム・リセットが実行されました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. このイベントに対するユーザー応答は必要ありません。これは単なる通知メッセージです。

I.3868003 **[I.3868003] BOFM: Configuration to large for compatibility mode.**

説明: BOFM: 互換モードには構成が大規模すぎです。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. このイベントに対するユーザー応答は必要ありません。これは単なる通知メッセージです。

I.58015 **[I.58015] Memory spare copy initiated.**

説明: スペア・コピーが開始されました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. このイベントに対するユーザー応答は必要ありません。これは単なる通知メッセージです。

I.580A4 **[I.580A4] Memory population change detected.**

説明: DIMM 装着の変化が検出されました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システム・イベント・ログで訂正不能 DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

I.580A5 **[I.580A5] Mirror Fail-over complete. DIMM number % has failed over to to the mirrored copy.**

説明: DIMM ミラーリングのフェイルオーバーが検出されました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システム・イベント・ログで訂正不能 DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

I.580A6 **[I.580A6] Memory spare copy has completed successfully.**

説明: スペア・コピーが完了しました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システム・ログで関連する DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

S.1100B **[S.1100B] CATERR(IERR) has asserted on processor %.**

説明: プロセッサー CATERR(IERR) が表明されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。

S.1100C **[S.1100C] An uncorrectable error has been detected on processor %.**

説明: 訂正不能プロセッサー・エラーが検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. システムをリブートします。 問題が解決しない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。

S.2011001 [S.2011001] An Uncorrected PCIe Error has Occurred at Bus % Device % Function %. The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.

説明: PCI SERR が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. このノードや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、a. アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。 b. デバイス・ドライバーを再ロードします。 c. デバイスが認識されない場合は、スロットを Gen1 または Gen2 に再構成することが必要な場合があります。 Gen1/Gen2 設定は、「F1 Setup」->「System Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、あるいは ASU ユーティリティーを使用して構成することができます。
2. IBM サポート・サイトで、このエラーに適用できるデバイス・ドライバー、ファームウェア更新、サービス情報の改訂、あるいはその他の情報がないかを確認します。新規のデバイス・ドライバーおよび必要なすべてのファームウェア更新をロードします。
3. 問題が解決しない場合は、アダプター・カードを取り外します。 アダプターなしでシステムが正常にリブートする場合は、そのカードを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。

S.2018001 [S.2018001] An Uncorrected PCIe Error has Occurred at Bus % Device % Function %. The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.

説明: PCIe 訂正不能エラーが検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. このノードや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、a. アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。 b. デバイス・ドライバーを再ロードします。 c. デバイスが認識されない場合は、スロットを Gen1 または Gen2 に再構成することが必要な場合があります。 Gen1/Gen2 の設定は、「F1 Setup」->「System Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、または ASU ユーティリティーを使用して構成できます。
2. IBM サポート・サイトで、このエラーに適用できるデバイス・ドライバー、ファームウェア更新、サービス情報の改訂、あるいはその他の情報がないかを確認します。新規のデバイス・ドライバーおよび必要なすべてのファームウェア更新をロードします。
3. 問題が解決しない場合は、アダプター・カードを取り外します。 アダプターなしでシステムが正常にリブートする場合は、そのカードを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。

S.3020007 [S.3020007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再フラッシュします。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3028002 [S.3028002] Boot permission timeout detected.

説明: ブート許可のネゴシエーションがタイムアウトになりました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. CMM/IMM ログで通信エラーがないかを確認し、エラーを解決します。
2. システムを取り付け直します。
3. 問題が解決しない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。

S.3030007 [S.3030007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再フラッシュします。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3040007 [S.3040007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再フラッシュします。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3050007 [S.3050007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再フラッシュします。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3058004 [S.3058004] A Three Strike boot failure has occurred. The system has booted with default UEFI settings.

説明: POST 障害が発生しました。 システムはデフォルト設定でブートしました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. このイベントは、次回のブートで UEFI をデフォルト設定にリセットします。正常に行われると、ユーザーは強制的に F1 セットアップに入ります。 元の UEFI 設定はまだ存在しています。
2. ユーザーが意図的にリブートを開始したのではない場合、ログで推定原因を確認してください。
3. 最近行ったシステム変更 (設定やデバイスの追加) を元に戻します。最近行ったシステム変更がない場合は、すべてのオプションを取り外した後、CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去します。 システムがブートすることを確認します。次に、オプションを 1 回に 1 つずつ再取り付けして、問題を見付けます。
4. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
5. UEFI ファームウェアを再フラッシュします。
6. CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去し、CMOS バッテリーを再取り付けします。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3060007 [S.3060007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再フラッシュします。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3070007 [S.3070007] A firmware fault has been detected in the UEFI image.

説明: 内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再フラッシュします。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3108007 [S.3108007] The default system settings have been restored.

説明: システム構成がデフォルトに復元されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。

S.3818004 [S.3818004] The CRTM flash driver could not successfully flash the staging area. A failure occurred.

説明: CRTM 更新が失敗しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムのブートを続行します。システムがリセットされない場合、手動でシステムをリセットします。
2. その後のブートでエラーが報告されない場合は、追加のリカバリー処置は不要です。
3. エラーが解決されない場合は、システムのブートおよび UEFI イメージの再フラッシュを続行します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3818007 **[S.3818007] The firmware image capsules for both flash banks could not be verified.**

説明: CRTM イメージ・カプセルを検査できませんでした。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムが正常にブートしない場合は、システムの DC サイクルを実行します。
2. システムが F1 Setup にブートする場合は、UEFI イメージをフラッシュし、バンクを 1 次にリセットします (必要な場合)。 システムがエラーなしでブートする場合は、リカバリーは完了し、これ以上の処置は必要ありません。
3. システムがブートに失敗する場合、またはフラッシュ試行が失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.51003 **[S.51003] An uncorrectable memory error was detected in DIMM slot % on rank %.**

説明: [S.51003] An uncorrectable memory error was detected on processor % channel %. The failing DIMM within the channel could not be determined.

[S.51003] An uncorrectable memory error has been detected during POST.-->致命的なメモリー・エラーが発生しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. このノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャネル上の DIMM コネクターにコネクターに異物が入っていないことを確認してください。 これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。 (注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている可能性があります。)
2. DIMM コネクター上に問題が見つからず、この問題が解決しない場合は、Light Path あるいはイベント・ログ・エントリー (またはその両方) で示された DIMM を交換します。
3. 同じ DIMM コネクターで問題が再び発生する場合は、同じメモリー・チャネル上の他の DIMM を交換します。
4. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が再発生した場合は、コネクターに損傷がないかを検査します。 損傷が見つかった場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のプロセッサーを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.51006 **[S.51006] A memory mismatch has been detected. Please verify that the memory configuration is valid.**

説明: 1 つ以上の DIMM の不一致が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 訂正不能メモリー・エラーあるいはメモリー・テストの失敗に続いて発生した可能性があります。ログを確認し、最初にそのイベントの保守を行います。他のエラーあるいは処置によって使用不可になっている DIMM が、このイベントの原因となっている可能性があります。
2. 本製品のサービス情報に従って、DIMM が正しい装着順序で取り付けられていることを確認します。
3. メモリー・ミラーリングおよびスペアリングを使用不可にします。この処置によって不一致がなくなった場合は、IBM サポート・サイトで、この問題に関連する情報がないかを確認します。
4. UEFI ファームウェアを再フラッシュします。
5. DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。

S.51009 **[S.51009] No system memory has been detected.**

説明: メモリーが検出されませんでした。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 1 つ以上の DIMM がサーバーに取り付けられていることを確認します。
2. ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクターのエラー LED が点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) を使用して、すべての DIMM コネクターが使用可能になっていることを確認します。
3. 本製品のサービス情報に従って、正しい装着順序を確認してすべての DIMM を再取り付けします。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.58008 **[S.58008] A DIMM has failed the POST memory test.**

説明: DIMM がメモリー・テストに失敗しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムの AC サイクルを実行して、対象の DIMM コネクターを再度使用可能にするか、あるいは F1 Setup を使用して、手動で対象の DIMM コネクターを再度使用可能にします。
2. このノードの取り付け、保守、移動、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物が入っていないことを確認します。 いずれかの状態が見つかった場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている可能性があります。)
3. 問題が解決しない場合は、Light Path あるいはイベント・ログ・エントリー (またはその両方) で示された DIMM を交換します。
4. 同じ DIMM コネクターで問題が再発生した場合は、同じメモリー・チャネル上の他の DIMM を、チャネル間で (別のメモリー・チャネルまたはプロセッサーに) 一度に 1 つずつスワップします。 (スペアリング/ペアリング・モードでの装着要件については、本製品のサービス情報または「インストール・ガイド」を参照してください)。別のメモリー・チャネルに移動した DIMM に問題が付随する場合は、その DIMM を交換します。
5. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 元の DIMM コネクターで問題が続く場合は、DIMM コネクターに異物がないかを再検査し、見つかった場合は除去します。 コネクターが損傷している場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のプロセッサーを取り外し、プロセッサー・ソケット・ピンに損傷したピンや誤って位置合わせされたピンがないかを検査します。 損傷が見つかった場合、あるいはこれがアップグレード・プロセッサーである場合は、システム・ボードを交換します。 複数のプロセッサーがある場合は、それらのプロセッサーをスワップし、対象のプロセッサーを別のプロセッサー・ソケットに移動して再試行します。 問題が対象のプロセッサーに付随する場合 (あるいは、プロセッサーが 1 つしかない場合) は、対象のプロセッサーを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.68005 **[S.68005] An error has been detected by the the IIO core logic on Bus %. The Global Fatal Error Status register contains %. The Global Non-Fatal Error Status register contains %. Please check error logs for the presence of additional downstream device error data.**

説明: クリティカル IOH-PCI エラー

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. ログで関連する PCIe デバイスの個別のエラーを確認し、そのエラーを保守します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できるシステムまたはアダプターに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.680B8 **[S.680B8] Internal QPI Link Failure Detected.**

説明: 内部 QPI リンク障害が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. プロセッサー・ソケットに異物や損傷がないかを検査します。 異物が見つかった場合は、除去します。
3. エラーが再発生する場合、あるいはソケットの損傷が見つかった場合は、システム・ボードを交換します (トレーニングを受けたサービス技術員のみ)。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。

S.680B9 **[S.680B9] External QPI Link Failure Detected.**

説明: 外部 QPI リンク障害が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. プロセッサー・ソケットに異物や損傷がないかを検査します。 異物が見つかった場合は、除去します。
3. エラーが再発生する場合、あるいはソケットの損傷が見つかった場合は、システム・ボードを交換します (トレーニングを受けたサービス技術員のみ)。

W.11004 **[W.11004] A processor within the system has failed the BIST.**

説明: プロセッサー自己診断テストの失敗が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. プロセッサーまたはファームウェアを更新したばかりの場合は、IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 複数のプロセッサーがある場合は、それらのプロセッサーをスワップし、対象のプロセッサーを別のプロセッサー・ソケットに移動して再試行します。 問題が対象のプロセッサーに付随する場合、あるいは、これが単一プロセッサーのシステムである場合は、対象のプロセッサーを交換します。 プロセッサーを取り外すたびに、プロセッサー・ソケットを検査し、損傷したピンや誤って位置合わせされたピンが見つかった場合は、システム・ボードを交換します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3048006 **[W.3048006] UEFI has booted from the backup flash bank due to an Automatic Boot Recovery (ABR) event.**

説明: 自動ブート・リカバリーにより、バックアップ UEFI イメージからブートしています。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. 1 次 UEFI イメージを再フラッシュします。 本製品のサービス情報の UEFI リカバリーのセクションを参照してください。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.305000A **[W.305000A] An invalid date and time have been detected.**

説明: RTC 日時が誤っています。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IMM/シャーシ・イベント・ログを確認します。このイベントは、0068002 エラーの直前にあります。このイベントまたはその他のバッテリー関連エラーをすべて保守します。
2. F1 Setup を使用して日時を再設定します。システム・リセットの後に問題が再発生する場合は、CMOS バッテリーを交換します。
3. 問題が解決しない場合は、IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3058009 [W.3058009] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Missing Configuraiton. F1 から設定を変更する必要があります。

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 構成が欠落しています。 F1 から設定を変更する必要があります。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 「System Settings」>「Settings」>「Driver Health Status List」に進み、構成が必要な状況を報告しているドライバー/コントローラーを見つけます。
2. 「System Settings」からドライバー・メニューを検索し、設定を適切に変更します。
3. 設定を保存してシステムを再始動します。

W.305800A [W.305800A] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Reports 'Failed' Status Controller.

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「障害」状態のコントローラーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、または現在の UEFI イメージを再フラッシュします。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.305800B [W.305800B] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Reports 'Reboot' Required Controller.

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「リブート」が必要なコントローラーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. アクションは不要です - POST の最後にシステムがリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、または現在の UEFI イメージを再フラッシュします。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.305800C [W.305800C] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Reports 'System Shutdown' Required Controller.

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「システム・シャットダウン」が必要なコントローラーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、または現在の UEFI イメージを再フラッシュします。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.305800D [W.305800D] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Disconnect Controller Failed. リブートが必要です。

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: コントローラーの切断に失敗しました。「リブート」が必要です。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムをリブートし、コントローラーを再接続します。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、または現在の UEFI イメージを再フラッシュします。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.305800E [W.305800E] DRIVER HEALTH PROTOCOL: Reports Invalid Health Status Driver.

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 無効なヘルス状況のドライバーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、または現在の UEFI イメージを再フラッシュします。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3808000 [W.3808000] An IMM communication failure has occurred.

説明: IMM 通信に失敗しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. CMM から IMM をリセットします。
2. CMM を使用して、ノードから AUX 電源を取り外します。 これにより、ノード全体がリブートします。
3. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
4. UEFI ファームウェアを再フラッシュします。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3808002 [W.3808002] An error occurred while saving UEFI settings to the IMM.

説明: IMM へのシステム構成の更新でエラーが発生しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. F1 Setup、「Verify Settings」、「Save Settings」を使用して設定をリカバリーします。
2. CMM から IMM をリセットします。
3. CMM を使用して、ノードから AUX 電源を取り外します。 これにより、ノード全体がリブートします。
4. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
5. IMM ファームウェアを再フラッシュします。
6. CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去し、CMOS バッテリーを再取り付けします。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3808003 .[W.3808003] Unable to retrieve the system configuration from the IMM.

説明: IMM からのシステム構成の取得でエラーが発生しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. F1 Setup、「Verify Settings」、「Save Settings」を使用して設定をリカバリーします。
2. CMM から IMM をリセットします。
3. CMM を使用して、ノードから AUX 電源を取り外します。 これにより、ノード全体がリブートします。
4. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
5. IMM ファームウェアを再フラッシュします。
6. CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去し、CMOS バッテリーを再取り付けします。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3818005 [W.3818005] The CRTM flash driver could not successfully flash the staging area. The update was aborted

説明: CRTM 更新が異常終了しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムのブートを続行します。システムがリセットされない場合、手動でシステムをリセットします。
2. その後のブートでエラーが報告されない場合は、追加のリカバリー処置は不要です。
3. イベントが解決されない場合は、システムのブートおよび UEFI イメージの再フラッシュを続行します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3868001 [W.3868001] BOFM: Reset loop avoided - Multiple resets not allowed.

説明: BOFM: リセットのループが回避されました - 複数回のリセットは許可されていません。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. すべてのファームウェア (アダプター・ファームウェアを含む) を最新レベルに更新します。
2. 問題が解決しない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。

W.3868002 [W.3868002] BOFM: Error communicating with the IMM - BOFM may not be deployed correctly.

説明: BOFM: IMM との通信でエラーが発生しました - BOFM が正常にデプロイされない可能性があります。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. すべてのファームウェア (アダプター・ファームウェアを含む) を最新レベルに更新します。
2. 問題が解決しない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。

W.3938002 [W.3938002] A boot configuration error has been detected.

説明: ブート構成エラー。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. F1 Setup->「Save Settings」
2. OOB 構成の更新を再試行します。

W.50001 **[W.50001] A DIMM has been disabled due to an error detected during POST.**

説明: DIMM が使用不可です。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. メモリー障害によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのイベントに対する手順に従います。
2. ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクターのエラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) を使用して DIMM を再度使用可能にします。
3. 問題が解決しない場合は、管理コンソールからノードの電源サイクルを実行します。
4. IMM をデフォルト設定にリセットします。
5. UEFI をデフォルト設定にリセットします。
6. IMM および UEFI ファームウェアを再フラッシュします。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.58001 **[W.58001] The PFA Threshold limit (correctable error logging limit) has been exceeded on DIMM number % at address %. MC5 Status contains % and MC5 Misc contains %.**

説明: DIMM PFA しきい値を超えました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. このノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャネル上の DIMM コネクターにコネクターに異物が入っていないことを確認してください。 これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている可能性があります。)
2. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。 リリース・ノートには、その更新で対応している既知の問題がリストされています。
3. 上記のステップで問題が解決されない場合は、次に保守を行う機会に対象の DIMM (Light Path や障害ログ・エントリーで示されたもの) を交換します。
4. 同じ DIMM コネクターで PFA が再発生した場合は、同じメモリー・チャネル上の他の DIMM を、別のメモリー・チャネルまたはプロセッサーに一度に 1 つずつスワップします。 (スペアリング/ペアリング・モードでの装着要件については、本製品のサービス情報または「インストール・ガイド」を参照してください)。PFA が別のメモリー・チャネルの DIMM コネクターに移動した DIMM に付随する場合は、その移動した DIMM を交換します。
5. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin がないかを確認します。 (IBM サポートの Service Bulletin へのリンク)
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が継続的に再発生する場合は、DIMM コネクターに異物がないかを検査し、見つかった場合は除去します。 コネクターが損傷している場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のプロセッサーを取り外し、プロセッサー・ソケット・ピンに損傷したピンや誤って位置合わせされたピンがないかを検査します。 損傷が見つかった場合、あるいはプロセッサーがアップグレード部品である場合は、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のプロセッサーを交換します。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.58007 **[W.58007] Invalid memory configuration (Unsupported DIMM Population) detected. Please verify memory configuration is valid.**

説明: サポートされていない DIMM 装着です。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 訂正不能メモリー・エラーあるいはメモリー・テストの失敗に続いて発生した可能性があります。ログを確認し、最初にそのイベントの保守を行います。他のエラーあるいは処置によって使用不可になっている DIMM が、このイベントの原因となっている可能性があります。
2. 本製品のサービス情報のガイドラインに従って DIMM コネクターが装着されていることを確認します。

W.580A1 **[W.580A1] Invalid memory configuration for Mirror Mode. Please correct memory configuration.**

説明: ミラーリング・モードでサポートされていない DIMM 装着です。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. DIMM コネクターのエラー LED が点灯している場合は、その障害を解決します。
2. 本製品のサービス情報に従って、DIMM コネクターがミラーリング・モードとして正しく装着されていることを確認します。

W.580A2 **[W.580A2] Invalid memory configuration for Sparing Mode. Please correct memory configuration.**

説明: スペアリング・モードでサポートされていない DIMM 装着です。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 本製品のサービス情報に従って、DIMM コネクターがスペアリング・モードとして正しく装着されていることを確認します。

W.68002 [W.68002] A CMOS battery error has been detected

説明: CMOS バッテリー障害

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムの取り付け、移動、または保守が最近行われた場合、バッテリーが正しく取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. CMOS バッテリーを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

付録 C. DSA 診断テスト結果

DSA 診断テストを実行後、この情報を使用して、検出された問題を解決してください。

DSA Broadcom ネットワーク・テスト結果

Broadcom ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

405-000-000 BRCM:TestControlRegisters Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-001-000 BRCM:TestMIIRegisters Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-002-000 BRCM:TestEEPROM Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

© Copyright IBM Corp. 2013

405-003-000 BRCM:TestInternalMemory Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-004-000 BRCM:TestInterrupt Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-005-000 BRCM:TestLoopbackMAC Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-006-000 BRCM:TestLoopbackPhysical Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-007-000 BRCM:TestLEDs Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-800-000 BRCM:TestControlRegisters Test Aborted

説明: 制御レジスター・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-801-000 BRCM:TestMIIRegisters Test Aborted

説明: MII レジスター・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-802-000 BRCM:TestEEPROM Test Aborted

説明: EEPROM テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-803-000 BRCM:TestInternalMemory Test Aborted

説明: 内部メモリー・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-804-000 BRCM:TestInterrupt Test Aborted

説明: 割り込みテストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-805-000 BRCM:TestLoopbackMAC Test Aborted

説明: MAC 層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-806-000 BRCM:TestLoopbackPhysical Test Aborted

説明: 物理層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-807-000 BRCM:TestLEDs Test Aborted

説明: 状況 LED の確認は取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

405-900-000 BRCM:TestControlRegisters Test Failed

説明: 内部 MAC レジスターのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-901-000 BRCM:TestMIIRegisters Test Failed

説明: 内部 PHY レジスターのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-902-000 BRCM:TestEEPROM Test Failed

説明: 不揮発性 RAM のテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-903-000 BRCM:TestInternalMemory Test Failed

説明: 内部メモリーのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-904-000 BRCM:TestInterrupt Test Failed

説明: 割り込みのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-905-000 BRCM:TestLoopbackMAC Test Failed

説明: BRCM:TestLoopbackMAC テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-906-000 BRCM:TestLoopbackPhysical Test Failed

説明: 物理層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

405-907-000 BRCM:TestLEDs Test Failed

説明: 状況 LED の動作を確認中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA Brocade テスト結果

Brocade テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

218-000-000 Brocade:MemoryTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-001-000 Brocade:ExternalLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-002-000 Brocade:SerdesLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-003-000 Brocade:PCILoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-004-000 Brocade:ExternalEthLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-005-000 Brocade:SerdesEthLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-006-000 Brocade:InternalLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-800-000 Brocade:MemoryTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-801-000 Brocade:ExternalLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-802-000 Brocade:SerdesLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-803-000 Brocade:PCILoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-804-000 Brocade:ExternalEthLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-805-000 Brocade:SerdesEthLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-806-000 Brocade:InternalLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

218-900-000 Brocade:MemoryTest Failed

説明: アダプター・メモリーのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-901-000 Brocade:ExternalLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-902-000 Brocade:SerdesLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-903-000 Brocade:PCILoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-904-000 Brocade:ExternalEthLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. SFP/ケーブルを調べるか、取り付け直します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-905-000 Brocade:SerdesEthLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

218-906-000 Brocade:InternalLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

DSA チェックポイント・パネル・テスト結果

チェックポイント・パネル・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

180-000-000 Check-point Panel Test Passed

説明: チェックポイント・パネル・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

180-801-000 Check-point Panel Test Aborted

説明: チェックポイント・パネル・テストが異常終了しました。BMC は、オペレーター情報パネルのケーブルが接続されていることを確認できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. オペレーター情報パネルのケーブルの両端を調べ、取り付け直します。
2. ベースボード管理コントローラー (BMC) が作動していることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

180-901-000 Check-point Panel Test Failed

説明: チェックポイント・パネル・テストが失敗しました。オペレーターから、表示が正しくないという報告がありました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. オペレーター情報パネルのケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに損傷がないか確認します。
2. 損傷がある場合は、情報パネルのケーブルを取り替えます。
3. テストを再実行してください。
4. オペレーター情報パネル・アセンブリーを取り替えます。
5. テストを再実行してください。

6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA CPU ストレス・テスト結果

CPU ストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

089-000-000 CPU Stress Test Passed

説明: CPU ストレス・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

089-801-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。内部プログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムの電源をオフにして、再始動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。このコンポーネント用の最新レベルのファームウェアは、IBM サポート Web サイトでこのシステム・タイプを参照して検索できます。
5. テストを再実行してください。
6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

089-802-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。システム・リソース使用不可エラー。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムの電源をオフにして、再始動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
5. テストを再実行してください。
6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

089-803-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。少なくとも 1 GB は必要です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

089-804-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。ユーザーが Ctrl-C を押しました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

089-901-000 CPU Stress Test Failed

説明: CPU ストレス・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
5. テストを再実行してください。
6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA Emulex アダプター・テスト結果

Emulex アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

516-000-000 ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-001-000 ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-002-000 ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-800-000 ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest Aborted

説明: MAC 層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-801-000 ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest Aborted

説明: 物理層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-802-000 ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test Aborted

説明: 状況 LED の確認は取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

516-900-000 ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest Failed

説明: MAC 層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

516-901-000 ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest Failed

説明: 物理層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

516-902-000 ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test Failed

説明: 状況 LED の動作を確認中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA EXA ポート ping テスト結果

EXA ポート ping テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

401-000-000 EXA Port Ping Test Passed

説明: EXA ポート ping テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

401-801-000 EXA Port Ping Test Aborted

説明: EXA ポート ping テストが異常終了しました。装置基底アドレスを取得できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティー・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

401-802-000 EXA Port Ping Test Aborted

説明: EXA ポート ping テストが異常終了しました。ポートの接続が正しくない可能性があります。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティー・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

401-901-001 EXA Port Ping Test Failed

説明: EXA ポート ping テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティー・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. スケーラビリティー・ケーブルの接続が緩んでいないか調べます。
4. 指定されたポート (複数の場合もあり) のスケーラビリティー・ケーブル (複数の場合もあり) を取り付け直します。
5. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

DSA ハード・ディスク・テスト結果

ハード・ディスク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

217-000-000 HDD Test Passed

説明: HDD ストレス・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

217-800-000 HDD Test Aborted

説明: HDD テストが異常終了しました。テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ハード・ディスクが自己診断テストおよび自己診断テスト・ロギングをサポートしていることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

217-900-000 HDD Test Failed

説明: HDD テストが失敗しました。ハード・ディスク自己診断テストで障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

DSA Intel ネットワーク・テスト結果

Intel ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

406-000-000 IANet:Registers Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-001-000 IANet:EEPROM Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-002-000 IANet:FIFO Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-003-000 IANet:Interrupts Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-004-000 IANet:Loopback Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-800-000 IANet:Registers Test Aborted

説明: レジスター・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-801-000 IANet:EEPROM Test Aborted

説明: EEPROM テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-802-000 IANet:FIFO Test Aborted

説明: FIFO テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-803-000 IANet:Interrupts Test Aborted

説明: 割り込みテストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-804-000 IANet:Loopback Test Aborted

説明: ループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

406-900-000 IANet:Registers Test Failed

説明: レジスター・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

406-901-000 IANet:EEPROM Test Failed

説明: EEPROM テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

406-902-000 IANet:FIFO Test Failed

説明: FIFO テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

406-903-000 IANet:Interrupts Test Failed

説明: 割り込みテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. DSA Diagnostic Log の PCI Hardware セクションで割り込みの割り当てを調べます。イーサネット装置が割り込みを共用している場合は、可能であれば、F1 を使用して割り込みの割り当てを変更し、固有の割り込みをその装置に割り当てます。
4. テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

406-904-000 IANet:Loopback Test Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. イーサネット・ケーブルに損傷がないか調べ、ケーブルのタイプと接続が正しいことを確認します。
2. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA LSI ハード・ディスク・テスト結果

LSI ハード・ディスク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

407-000-000 LSIESG:DiskDefaultDiagnostic Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

407-800-000 LSIESG:DiskDefaultDiagnostic Test Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

407-900-000 LSIESG:DiskDefaultDiagnostic Test Failed

説明: ハード・ディスク自己診断テストで障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが最新レベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

DSA Mellanox アダプター・テスト結果

Mellanox アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

408-000-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort Test Passed

説明: ポート・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

408-001-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort Test Passed

説明: ポート・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

408-800-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort Test Aborted

説明: ポート・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

408-801-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort Test Aborted

説明: ポート・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

408-900-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort Test Failed

説明: ポート・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. テスト中のポートの物理リンクがアクティブ状態であることを確認します。
2. 上記条件が満たされているのにテストが失敗し続ける場合は、ポートのアダプターに障害がある可能性があります。
3. アダプターを取り替えて、テストの繰り返しを試みます。

408-901-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort Test Failed

説明: ポート・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. テスト中のポートの物理リンクがアクティブ状態であり、サブネット・マネージャーがポートの接続先であるファブリック上で実行していることを確認します。
2. 上記条件が満たされているのにテストが失敗し続ける場合は、ポートのアダプターに障害がある可能性があります。
3. アダプターを取り替えて、テストの繰り返しを試みます。

DSA メモリー分離テスト結果

メモリー分離テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

201-000-000 Standalone Memory Test Passed

説明: すべての CPU のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-000-001 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 1 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-000-002 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 2 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-000-003 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 3 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-000-004 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 4 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-811-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-811-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-811-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-811-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-812-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-812-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-812-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-812-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-813-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-813-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-813-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-813-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-814-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-814-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-814-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-814-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-815-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-815-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-815-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-815-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-816-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-816-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-816-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-816-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-818-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-818-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-818-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-818-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-819-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-819-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-819-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-819-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-820-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-820-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-820-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-820-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-821-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-821-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-821-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-821-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-822-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-822-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-822-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-822-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-824-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-824-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-824-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-824-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-826-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-826-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-826-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-826-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-827-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-827-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-827-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-827-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-844-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-844-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-844-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-844-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-845-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-845-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-845-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-845-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-859-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-859-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-859-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-859-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-860-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-860-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-860-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-860-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-861-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-861-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-861-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-861-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-862-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-862-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-862-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-862-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-863-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-863-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-863-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-863-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-864-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-864-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-864-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-864-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-865-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-865-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-865-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-865-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-866-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-866-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-866-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-866-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-867-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファーが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-867-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファーが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-867-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファーが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-867-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファーが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-868-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファーが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-868-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファーが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-868-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファーが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-868-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファーが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-869-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-869-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-869-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-869-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-870-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-870-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-870-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-870-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-871-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-871-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-871-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-871-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-877-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-877-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-877-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-877-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-878-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-878-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-878-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-878-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-885-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサーでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-885-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサーでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-885-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサーでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-885-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサーでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-886-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-886-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-886-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-886-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

201-899-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-899-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-899-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-899-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

201-901-000 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティー・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

201-901-001 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティー・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

201-901-002 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティー・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

201-901-003 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティー・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA メモリー・ストレス・テスト結果

メモリー・ストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

202-000-000 MemStr Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

202-801-000 MemStr Test Aborted

説明: 内部プログラム・エラー

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムの電源をオフにして、再始動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再始動します。
5. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。
6. メモリー診断を実行して、特定の障害のある DIMM を識別します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

202-802-000 MemStr Test Aborted

説明: テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。少なくとも 1 GB は必要です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

202-803-000 MemStr Test Aborted

説明: ユーザーが Ctrl-C を押しました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

202-901-000 MemStr Test Failed

説明: テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。
4. メモリー・カードおよび DIMM を取り付け直します。
5. システムを電源に再接続して、システムの電源をオンにします。
6. テストを再実行してください。
7. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
8. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

202-902-000 MemStr Test Failed

説明: テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. DSA Diagnostic Event Log の「Resource Utilization」セクションの「Available System Memory」を調べて、すべてのメモリーが使用可能であることを確認します。
2. 必要に応じて、システム・ブート中に F1 を押して Configuration/Setup ユーティリティー・プログラムにアクセスし、すべてのメモリーを使用可能にします。
3. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
4. テストを再実行してください。
5. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA Nvidia GPU テスト結果

Nvidia GPU テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

409-000-000 NVIDIA User Diagnostic Test Passed

説明: NVIDIA ユーザー診断テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-003-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth Test Passed

説明: Nvidia GPU 帯域幅テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-004-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query Test Passed

説明: Nvidia GPU 照会テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-005-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix Test Passed

説明: Nvidia GPU マトリックス・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-006-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial Test Passed

説明: Nvidia GPU Binomial テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-800-000 NVIDIA User Diagnostic Test Aborted

説明: NVIDIA ユーザー診断テストは取り消されました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-803-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth Test Aborted

説明: Nvidia GPU 帯域幅テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-804-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query Test Aborted

説明: Nvidia GPU 照会テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-805-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix Test Aborted

説明: Nvidia GPU マトリックス・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-806-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial Test Aborted

説明: Nvidia GPU Binomial テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

409-900-000 NVIDIA User Diagnostic Test Failed

説明: NVIDIA ユーザー診断テストが失敗しました。

重大度: イベント

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクターがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

409-903-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth Test Failed

説明: Nvidia GPU 帯域幅テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクターがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

409-904-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query Test Failed

説明: Nvidia GPU 照会テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクターがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

409-905-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix Test Failed

説明: Nvidia GPU マトリックス・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクターがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。

409-905-000

4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

409-906-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial Test Failed

説明: Nvidia GPU Binomial テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクターがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

DSA 光学式ドライブ・テスト結果

光学式ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

215-000-000 Optical Drive Test Passed

説明: 光学式ドライブ・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

215-801-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。ドライバーと通信できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
2. テストを再実行してください。
3. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
4. テストを再実行してください。
5. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
6. テストを再実行してください。

215-802-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。読み取りエラーが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

215-803-000 Optical Drive Test Failed

説明: 光学式ドライブ・テストが失敗しました。ディスクがオペレーティング・システムによって使用中である可能性があります。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システム・アクティビティーが停止するのを待ちます。
2. テストを再実行します。
3. システムの電源をオフにして、再始動してください。
4. テストを再実行してください。

215-804-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。メディア・トレイが開いています。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. メディア・トレイを閉じ、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行してください。
2. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
3. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
4. テストを再実行してください。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

215-901-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。ドライブ・メディアが検出されません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

215-902-000 Optical Drive Test Failed

説明: 光学式ドライブ・テストが失敗しました。読み取りの不一致。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

215-903-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。装置にアクセスできませんでした。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
5. テストを再実行してください。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA システム管理テスト結果

システム管理テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

166-000-001 IMM I2C Test Passed

説明: IMM I2C テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

166-801-001 IMM I2C Test Aborted

説明: IMM が誤った応答長を返しました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-802-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 不明な理由によりテストが完了できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-803-001 IMM I2C Test Aborted

説明: ノードは使用中です。後で試行してください。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-804-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 無効なコマンド。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-805-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 指定された LUN に無効なコマンドです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-806-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドの処理中にタイムアウトになりました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-807-001 IMM I2C Test Aborted

説明: スペース不足。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-808-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 予約が取り消されたか、または予約 ID が無効です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-809-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求データが切り捨てられました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-810-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求データの長さが無効です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-811-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求データ・フィールド長の限度を超えています。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-812-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 範囲外のパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-813-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求されたデータ・バイト数を返すことができません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-814-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求されたセンサー、データ、またはレコードは存在しません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-815-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求のデータ・フィールドが無効です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-816-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 指定されたセンサーまたはレコードのタイプに許可されていないコマンドです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-817-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-818-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 重複した要求は実行できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-819-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。SDR リポジトリーは更新モードです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-820-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。装置はファームウェア更新モードです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-821-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。BMC の初期化が進行中です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-822-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 宛先が使用不可です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-823-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドを実行できません。特権レベルが不十分です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-824-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドを実行できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

166-901-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM が Private バス (BUS 0) での障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

166-903-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM が LED バス (BUS 2) での障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

166-907-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM が Temperature Sensor バス (BUS 6) での障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

DSA テープ・ドライブ・テスト結果

テープ・ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

264-000-000 Tape Test Passed

説明: テープ・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

264-901-000 Tape Test Failed

説明: テープ・アラート・ログでエラーが検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。
3. エラー・ログをクリアします。
4. テストを再実行してください。
5. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
6. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-902-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。メディアが検出されません。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-903-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。メディアが検出されません。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-904-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。ドライブ・ハードウェア・エラー。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. テープ・ドライブ・ケーブルの接続が緩んでいたり、外れたりしていないか、またケーブルに損傷がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
2. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
3. テストを再実行してください。
4. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
5. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-905-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。ソフトウェア・エラー。要求が無効です。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再始動します。
2. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
3. テストを再実行してください。
4. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再始動します。
5. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
6. テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-906-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。認識されないエラー。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
5. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
6. テストを再実行してください。
7. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。
8. テストを再実行してください。
9. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

264-907-000 Tape Test Failed

説明: ブロック・アドレスのどこかでエラーが検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。

264-908-000 Tape Test Failed

説明: テープ容量を取得中にエラーが検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. メディアが存在していることを確認します。
2. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。

付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手

ヘルプ、サービス、技術サポート、または IBM 製品に関する詳しい情報が必要な場合は、IBM がさまざまな形で提供しているサポートをご利用いただけます。

この情報を使用して、IBM および IBM 製品に関する追加情報の入手、ご使用の IBM システムまたはオプションのデバイスで問題が発生した場合の対処方法の判別、およびサービスが必要になった場合の連絡先の判別を行います。

依頼する前に

連絡する前に、以下の手順を実行して、必ずお客様自身で問題の解決を試みてください。

IBM に IBM 製品の保証サービスを依頼する必要がある場合、お客様が依頼する前に準備されていると、IBM サービス技術員はより効率的にお客様を支援できます。

- ケーブルがすべて接続されていることを確認します。
- 電源スイッチをチェックして、システムおよびすべてのオプション製品の電源がオンになっていることを確認します。
- ご使用の IBM 製品用に更新されたソフトウェア、ファームウェア、およびオペレーティング・システム・デバイス・ドライバーがないか確認してください。IBM の保証条件では、製品に関わるすべてのソフトウェアおよびファームウェアの保守および更新は、IBM 製品の所有者であるお客様の責任で行っていただくと定めています (ただし、追加の保守契約で保証される場合を除きます)。 ソフトウェアを更新することで、お客様の問題に文書化された解決方法が示される場合、IBM サービス技術員は、お客様によるソフトウェアおよびファームウェアの更新を要求する場合があります。
- ご使用の環境で新しいハードウェアを取り付けたり、新しいソフトウェアをインストールした場合、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us でそのハードウェアおよびソフトウェアがご使用の IBM 製品によってサポートされていることを確認してください。
- http://www.ibm.com/supportportal にアクセスして、問題の解決に役立つ情報があるか確認してください。
- IBM サービスに提供する次の情報を収集してください。IBM サポートは、このデータを使用してお客様の問題に対する解決方法を迅速に提供し、また、お客様の契約に基づく適切なレベルのサービスを保証できるようになります。
  - ハードウェアおよびソフトウェアの保守契約番号 (該当する場合)
  - マシン・タイプ番号 (IBM の 4 桁のマシン識別番号)
  - 型式番号
  - シリアル番号
  - 現行のシステム UEFI およびファームウェアのレベル
  - エラー・メッセージやログなど、その他関連情報

© Copyright IBM Corp. 2013

- http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request にアクセスして、Electronic Service Request を送信してください。Electronic Service Request を送信すると、IBM サポートが迅速に、そして効果的に関連情報を使用できるようになることで、お客様の問題の解決策を判別するプロセスが開始されます。 IBM サービス技術員は、お客様が Electronic Service Request を完了および送信するとすぐに、解決策の作業を開始します。

多くの問題は、IBM 製品に付属のオンライン・ヘルプおよび説明資料に記載のトラブルシューティング手順を実行することで、お客様自身で解決することができます。 IBM システムに付属の資料には、お客様が実行できる診断テストについても記載しています。 大部分のシステム、オペレーティング・システムおよびプログラムには、トラブルシューティング手順やエラー・メッセージおよびエラー・コードに関する説明書が付属しています。 ソフトウェアの問題だと考えられる場合は、オペレーティング・システムまたはプログラムの資料を参照してください。

資料の使用

IBM システム、およびプリインストール・ソフトウェア、あるいはオプション製品に関する情報は、製品に付属の資料に記載されています。 資料には、印刷された説明書、オンライン資料、README ファイル、およびヘルプ・ファイルがあります。

診断プログラムの使用方法については、システム資料にあるトラブルシューティングに関する情報を参照してください。トラブルシューティング情報または診断プログラムを使用した結果、デバイス・ドライバーの追加や更新、あるいは他のソフトウェアが必要になることがあります。 IBM は WWW に、最新の技術情報を入手したり、デバイス・ドライバーおよび更新をダウンロードできるページを設けています。 これらのページにアクセスするには、http://www.ibm.com/supportportalに進んでください。

ヘルプおよび情報を WWW から入手する

IBM 製品およびサポートに関する最新情報は、WWW から入手可能です。

WWW 上の http://www.ibm.com/supportportal では、IBM システム、オプション装置、サービス、およびサポートについての最新情報が提供されています。IBM System x 情報は、http://www-06.ibm.com/systems/jp/x/ にあります。 IBM BladeCenter 情報は、http://www-06.ibm.com/systems/jp/bladecenter/ にあります。 IBM IntelliStation 情報は、http://www-06.ibm.com/systems/jp/x/intellistation/list.shtml にあります。

IBM への DSA データの送信方法

IBM Enhanced Customer Data Repository を使用して、IBM に診断データを送信します。

診断データを IBM に送信する前に、http://www.ibm.com/de/support/ecurep/terms.html の利用条件をお読みください。

以下のいずれかの方法を使用して、診断データを IBM に送信することができます。

- **標準アップロード:**http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html
- **システムのシリアル番号を使用した標準アップロード:**http://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw
- **セキュア・アップロード:**http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html#secure
- **システムのシリアル番号を使用したセキュア・アップロード:** https://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw

個別設定したサポート Web ページの作成

目的の IBM 製品を特定して、個別設定したサポート Web ページを作成することができます。

個別設定したサポート Web ページを作成するには、http://www.ibm.com/support/mynotifications にアクセスします。この個別設定されたページから、新しい技術文書に関する E メール通知を毎週購読したり、情報およびダウンロードを検索したり、さまざまな管理サービスにアクセスしたりすることができます。

ソフトウェアのサービスとサポート

IBM サポート・ラインを使用すると、ご使用の IBM 製品の使用法、構成、およびソフトウェアの問題について、電話によるサポートを有料で受けることができます。

サポート・ラインおよび各種の IBM サービスについて詳しくは、http://www.ibm.com/services をご覧になるか、あるいは http://www.ibm.com/planetwide でサポート電話番号をご覧ください。 米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

ハードウェアのサービスとサポート

ハードウェアの保守は、IBM サービスか IBM 販売店を通じて受けることができます。

IBM により許可された保証サービスを提供する販売店を見つけるには、http://www.ibm.com/partnerworld/jp/ にアクセスしてから、ページの右サイドで「**パートナーを探す**」をクリックしてください。IBM サポートの電話番号については、http://www.ibm.com/planetwide を参照してください。米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

米国およびカナダでは、ハードウェア・サービスおよびサポートは、1 日 24 時間、週 7 日ご利用いただけます。 英国では、これらのサービスは、月曜から金曜までの午前 9 時から午後 6 時までご利用いただけます。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものであり、本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。 本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。 これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。 ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態で提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。 本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。 IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

© Copyright IBM Corp. 2013

商標

IBM、IBM ロゴおよび ibm.com は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。

現時点での IBM の商標リストについては、http://www.ibm.com/legal/us/en/copytrade.shtml をご覧ください。

Adobe および PostScript は、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Cell Broadband Engine は、Sony Computer Entertainment, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

Intel、Intel Xeon、Itanium、および Pentium は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft、Windows、および Windows NT は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

重要事項

プロセッサーの速度とは、マイクロプロセッサーの内蔵クロックの速度を意味しますが、他の要因もアプリケーション・パフォーマンスに影響します。

CD または DVD ドライブの速度には、変わる可能性のある読み取り速度を記載しています。 実際の速度は記載された速度と異なる場合があり、最大可能な速度よりも遅いことがあります。

主記憶装置、実記憶域と仮想記憶域、またはチャネル転送量を表す場合、KB は 1024 バイト、MB は 1,048,576 バイト、GB は 1,073,741,824 バイトを意味します。

ハード・ディスクの容量、または通信ボリュームを表すとき、MB は 1,000,000 バイトを意味し、GB は 1,000,000,000 バイトを意味します。ユーザーがアクセス可能な総容量は、オペレーティング環境によって異なる可能性があります。

内蔵ハード・ディスクの最大容量は、IBM から入手可能な現在サポートされている最大のドライブを標準ハード・ディスクの代わりに使用し、すべてのハード・ディスク・ベイに取り付けることを想定しています。

最大メモリーは標準メモリーをオプション・メモリー・モジュールと取り替える必要があることもあります。

各ソリッド・ステート・メモリー・セルには、そのセルが耐えられる固有の有限数の組み込みサイクルがあります。したがって、ソリッド・ステート・デバイスには、可能な書き込みサイクルの最大数が決められています。これを「書き込み合計バイト数 (total bytes written)」(TBW) と呼びます。この制限を超えたデバイスは、システム生成コマンドに応答できなくなる可能性があり、また書き込み不能になる可能性があります。IBM は、正式に公開された仕様に文書化されているプログラム/消去のサイクルの最大保証回数を超えたデバイスについては責任を負いません。

IBM は、ServerProven® に登録されている他社製品およびサービスに関して、商品性、および特定目的適合性に関する黙示的な保証も含め、一切の保証責任を負いません。 これらの製品は、第三者によってのみ提供および保証されます。

IBM は、他社製品に関して一切の保証責任を負いません。他社製品のサポートがある場合は、IBM ではなく第三者によって提供されます。

いくつかのソフトウェアは、その小売り版 (利用可能である場合) とは異なる場合があり、ユーザー・マニュアルまたはすべてのプログラム機能が含まれていない場合があります。

サーバーの廃棄・譲渡時のハード・ディスク上のデータ消去に関するご注意

これらのサーバーの中のハード・ディスクという記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。従ってそのサーバーを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。
ところがこのハード・ディスク内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。「データを消去する」という場合、一般に

- データを「ゴミ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ゴミ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトウェアで初期化 (フォーマット) する
- 付属のリカバリー・プログラムを使い、工場出荷状態に戻す

などの作業をすると思いますが、これらのことをしても、ハード・ディスク内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際にデータが消された状態ではありません。つまり、一見消去されたように見えますが、Windows® などの OS のもとで、それらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っているという状態にあるのです。

従いまして、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このサーバーのハード・ディスク内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

サーバーの廃棄・譲渡等を行う際に、ハード・ディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハード・ディスクに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。消去するためには、ハード・ディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊して読めなくする、または、専用ソフトウェアあるいはサービス (共に有償) をご利用になられることを推奨します。

なお、ハード・ディスク上のソフトウェア (オペレーティング・システム、アプリケーション・ソフトウェアなど) を削除することなくサーバーを譲渡すると、ソフトウェア・ライセンス使用許諾契約に抵触する場合があるため、十分な確認を行う必要があります。

データ消去支援サービスまたは機器リサイクル支援サービスについての詳細は、弊社営業担当員または「ダイヤル IBM」044-221-1522 へお問い合わせ下さい。

粒子汚染

注意: 浮遊微小粒子 (金属片や微粒子を含む) や反応性ガスは、単独で、あるいは湿気や気温など他の環境要因と組み合わされることで、本書に記載されている装置にリスクをもたらす可能性があります。

過度のレベルの微粒子や高濃度の有害ガスによって発生するリスクの中には、装置の誤動作や完全な機能停止の原因となり得る損傷も含まれます。 以下の仕様では、このような損傷を防止するために設定された微粒子とガスの制限について説明しています。 以下の制限を、絶対的な制限としてみなしたり、使用したりしてはなりません。微粒子や環境腐食物質、ガスの汚染物質移動が及ぼす影響の度合いは、温度や空気中の湿気など他の多くの要因によって左右されるからです。 本書で説明されている具体的な制限がない場合は、人体の健康と安全の保護を脅かすことのない微粒子とガスのレベルを維持するよう、実践していく必要があります。お客様の環境の微粒子あるいはガスのレベルが装置損傷の原因であると IBM が判断した場合、IBM は、装置または部品の修理あるいは交換の条件として、かかる環境汚染を改善する適切な是正措置の実施を求める場合があります。かかる是正措置は、お客様の責任で実施していただきます。

表 30. 微粒子およびガスの制限

汚染物質	制限
微粒子	• 室内の空気は、ASHRAE Standard 52.2 に従い、大気塵埃が 40% のスポット効率で継続してフィルタリングされなければならない (MERV 9 準拠) [1]。 • データ・センターに取り入れる空気は、MIL-STD-282 に準拠する HEPA フィルターを使用し、99.97% 以上の粒子捕集率効果のあるフィルタリングが実施されなければならない。 • 粒子汚染の潮解相対湿度は、60% を超えていなければならない [2]。 • 室内には、亜鉛ウィスカーのような導電性汚染があってはならない。
ガス	• 銅: ANSI/ISA 71.04-1985 準拠の Class G1 [3] • 銀: 腐食率は 30 日間で 300 Å 未満

[1] ASHRAE 52.2-2008 - *一般的な換気および空気清浄機器について、微粒子の大きさごとの除去効率をテストする方法。* Atlanta: American Society of Heating, Refrigerating and Air-Conditioning Engineers, Inc.

[2] 粒子汚染の潮解相対湿度とは、水分を吸収した塵埃が、十分に濡れてイオン導電性を持つようになる湿度のことです。

[3] ANSI/ISA-71.04-1985。 *プロセス計測およびシステム制御のための環境条件: 気中浮遊汚染物質。* Instrument Society of America, Research Triangle Park, North Carolina, U.S.A.

通信規制の注記

This product is not intended to be connected directly or indirectly by any means whatsoever to interfaces of public telecommunications networks.

本製品は、電気通信事業者の通信回線への直接、またはそれに準ずる方法での接続を目的とするものではありません。

電波障害自主規制特記事項

機器にモニターを接続する際は、指定されたモニター・ケーブル、およびモニターに付属の干渉抑止装置を使用してください。

Federal Communications Commission (FCC) statement

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

Properly shielded and grounded cables and connectors must be used in order to meet FCC emission limits. IBM is not responsible for any radio or television interference caused by using other than recommended cables and connectors or by unauthorized changes or modifications to this equipment. Unauthorized changes or modifications could void the user's authority to operate the equipment.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that might cause undesired operation.

Industry Canada Class A emission compliance statement

This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Avis de conformité à la réglementation d'Industrie Canada

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Australia and New Zealand Class A statement

Attention: This is a Class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

European Union EMC Directive conformance statement

This product is in conformity with the protection requirements of EU Council Directive 2004/108/EC on the approximation of the laws of the Member States relating to electromagnetic compatibility. IBM cannot accept responsibility for any failure to satisfy the protection requirements resulting from a nonrecommended modification of the product, including the fitting of non-IBM option cards.

Attention: This is an EN 55022 Class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

Responsible manufacturer:

International Business Machines Corp.
New Orchard Road
Armonk, New York 10504
914-499-1900

European Community contact:

IBM Deutschland GmbH
Technical Regulations, Department M372
IBM-Allee 1, 71139 Ehningen, Germany
Telephone: +49 7032 15 2941
Email: lugi@de.ibm.com

Germany Class A statement

Deutschsprachiger EU Hinweis: Hinweis für Geräte der Klasse A EU-Richtlinie zur Elektromagnetischen Verträglichkeit

Dieses Produkt entspricht den Schutzanforderungen der EU-Richtlinie 2004/108/EG zur Angleichung der Rechtsvorschriften über die elektromagnetische Verträglichkeit in den EU-Mitgliedsstaaten und hält die Grenzwerte der EN 55022 Klasse A ein.

Um dieses sicherzustellen, sind die Geräte wie in den Handbüchern beschrieben zu installieren und zu betreiben. Des Weiteren dürfen auch nur von der IBM empfohlene Kabel angeschlossen werden. IBM übernimmt keine Verantwortung für die Einhaltung der Schutzanforderungen, wenn das Produkt ohne Zustimmung der IBM verändert bzw. wenn Erweiterungskomponenten von Fremdherstellern ohne Empfehlung der IBM gesteckt/eingebaut werden.

EN 55022 Klasse A Geräte müssen mit folgendem Warnhinweis versehen werden: 『Warnung: Dieses ist eine Einrichtung der Klasse A. Diese Einrichtung kann im Wohnbereich Funk-Störungen verursachen; in diesem Fall kann vom Betreiber verlangt werden, angemessene Maßnahmen zu ergreifen und dafür aufzukommen.』

Deutschland: Einhaltung des Gesetzes über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten

Dieses Produkt entspricht dem "Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten (EMVG)". Dies ist die Umsetzung der EU-Richtlinie 2004/108/EG in der Bundesrepublik Deutschland.

Zulassungsbescheinigung laut dem Deutschen Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten (EMVG) (bzw. der EMC EG Richtlinie 2004/108/EG) für Geräte der Klasse A

Dieses Gerät ist berechtigt, in Übereinstimmung mit dem Deutschen EMVG das EG-Konformitätszeichen - CE - zu führen.

Verantwortlich für die Einhaltung der EMV Vorschriften ist der Hersteller:

International Business Machines Corp.
New Orchard Road
Armonk, New York 10504
914-499-1900

Der verantwortliche Ansprechpartner des Herstellers in der EU ist:

IBM Deutschland GmbH
Technical Regulations, Abteilung M372
IBM-Allee 1, 71139 Ehningen, Germany
Telephone: +49 7032 15 2941
Email: lugi@de.ibm.com

Generelle Informationen:

Das Gerät erfüllt die Schutzanforderungen nach EN 55024 und EN 55022 Klasse A.

VCCI クラス A 情報技術装置

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

電子情報技術産業協会 (JEITA) 表示

高調波ガイドライン準用品

電子情報技術産業協会 (JEITA) 承認済み (変更付き) 高調波指針 (1 相当たりの入力電流が 20 A を超える機器)

Korea Communications Commission (KCC) statement

이 기기는 업무용(A급)으로 전자파적합기기로서 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기 바라며, 가정외의 지역에서 사용하는 것을 목적으로 합니다.

This is electromagnetic wave compatibility equipment for business (Type A). Sellers and users need to pay attention to it. This is for any areas other than home.

Russia Electromagnetic Interference (EMI) Class A statement

ВНИМАНИЕ! Настоящее изделие относится к классу А.
В жилых помещениях оно может создавать радиопомехи, для снижения которых необходимы дополнительные меры

People's Republic of China Class A electronic emission statement

声　　明

此为 A 级产品。在生活环境中，
该产品可能会造成无线电干扰。
在这种情况下，可能需要用户对其
干扰采取切实可行的措施。

Taiwan Class A compliance statement

警告使用者:
這是甲類的資訊產品，在
居住的環境中使用時，可
能會造成射頻干擾，在這
種情況下，使用者會被要
求採取某些適當的對策。

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

[ア行]

アダプター
  取り外し 259
アダプター、交換 262
アダプターの取り付け 72
安全上の注記 vii, ix
安全について vii
安定化させるための脚
  交換 230
イーサネット 10, 13
  コネクター 23
  コントローラー
    トラブルシューティング 188
  リンク状況 LED 24
イーサネット活動
  LED 20, 21, 24
イーサネット・コネクター 23, 24
イーサネット・サポート 10, 12
イベント・ログ 156
  サーバーを再始動せずに表示 157
  Setup ユーティリティーを使用して表示 157
イベント・ログ、システム 156
イベント・ログ、表示の方式 157
イベント・ログ、DSA 156
イベント・ログ、IMM 156
イベント・ログ、POST 156
イベント・ログ、Web インターフェースから表示 156
インフォメーション・センター 838
エアー・バッフル
  交換 104, 232
  取り外し 46, 231
エラー
  パワー・サプライ LED 24, 153
  フォーマット、診断コード 164
エラー現象
  一般 167
  オプション装置 177
  キーボード 171
  偶発的 170
  シリアル・ポート 183
  ソフトウェア 185
  電源 178
エラー現象 (続き)
  ハード・ディスク 168
  ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス 167
  マイクロプロセッサー 174
  マウス 171
  メモリー 172
  モニター 174
  CD ドライブ、DVD ドライブ 166
  ServerGuide 184
  USB デバイス 171
  USB ポート 186
エラー・コードとメッセージ
  メッセージ、診断 161
  IMM2 345
エラー・メッセージ 165
エラー・ログ
  消去 160
  表示 157
お客様による交換が可能な部品 (CRU)、サーバー 195
汚染、 微粒子およびガス 7
汚染、微粒子およびガス 8, 844
オプション
  取り付け 31
オプション装置の問題 177
オペレーター情報パネル 19
  コントロールおよび LED 20
  LED 21
オペレーター情報パネルのケーブル接続 211
オペレーティング・システム・イベント・ログ 10
音響放出ノイズ 9
温度 7
オンライン資料 1, 5, 6

[カ行]

開始
  バックアップ・ファームウェア 125
  Setup ユーティリティー 115
ガイドライン
  オプションの取り付け 40, 205
  システムの信頼性 42, 207
外部、システム・ボード・コネクター 35
概要 1
拡張
  ベイ 7
ガス汚染 7, 8, 844
カスタム・サポート Web ページ 839
カバー
  取り外し 44, 228
カバー、サーバー
  取り付け 105, 229
可用性、サーバー 15
環境 7
管理、システム 10
管理者
  パスワード 124
管理者パスワード 122
完了
  オプションの取り付け 101
関連資料 5
危険の注記 6
技術員により交換される部品 (FRU)、サーバー 195
機能 7
  ServerGuide 113
機能、リモート・プレゼンスおよびブルー・スクリーン 10, 111
キャッシュ 7
組み込みハイパーバイザー
  使用法 127
グリース、熱伝導 90, 332
ケーブル
  接続 106
  内部ルーティング 209
現行ファームウェアの適用
  ベスト・プラクティスの使用 31
検索
  更新された資料 5, 6
コール・ホーム機能
  Service Advisor 165
コール・ホーム・ツール 164
交換
  アダプター 262
  安定させるための脚 230
  エアー・バッフル 232
  固定パワー・サプライ 301
  コンポーネント 205
  サーバー・コンポーネント 225
  システム・ボード 342
    考慮すべき注意事項 342
  前面 USB コネクター 286
  前面オペレーター情報パネル 286
  テープ・ドライブ 255
  電源パドル・カード 324
  バッテリー、システム 278, 281
  ヒートシンク 87, 328
  ファン・アセンブリー 321
  フラッシュ電源モジュール 270

© Copyright IBM Corp. 2013

交換 *(続き)*
ベゼル 227
ホット・スワップ・パワー・サプライ 306
マイクロプロセッサー 87, 328
マイクロプロセッサー 2 拡張ボード 336
メモリー DIMM 311
2.5 型バックプレーン 290
2.5 型ホット・スワップ・ ハード・ディスク 241
3.5 型シンプル・スワップ・ ハード・ディスク 248
3.5 型バックプレーン 296
3.5 型ホット・スワップ・ ハード・ディスク 245
DVD ドライブ 252
PCI-X ライザー・カード・アセンブリー 276
SAS/SATA HDD 256
ServeRAID アダプター・メモリー・モジュール 274
ServeRAID アダプター・リモート・バッテリー 270
Tier 2 CRU 323
USB ハイパーバイザー・ キー 318
更新
サーバー構成 107, 109
汎用固有 ID (UUID) 137
DMI/SMBIOS 140
構成
ケーブル・ルーティング 212
サーバーの更新 109
RAID アレイ 132
ServerGuide Setup and Installation CD 109
ServerGuide を使用した 114
Setup ユーティリティー 109
UEFI と互換性のあるデバイス 111
構成、サーバー
更新 107
構成部品 200
取り外しと交換 225
構造部品および Tier 1 CRU の交換 225
固定パワー・サプライ
交換 301
取り外し 299
コネクター
イーサネット 23, 24
シリアル 23
内部ケーブルのルーティング 209
ハード・ディスク・バックプレーン 39
背面 22
背面、サーバーの 22
パワー・サプライ 23
コネクター *(続き)*
ビデオ
背面 23
USB 20, 23, 24
コネクター、外部、システム・ボード 35
コネクター、内部、システム・ボード 34
個別設定したサポート Web ページの作成 839
コントローラー
イーサネット 131
コントロール、LED、および電源 18
コントロール・ボタンおよび LED
オペレーター情報パネル 20
前面図 19
コンポーネント
サーバー 33, 195
コンポーネントの返却 209

[サ行]

サーバー
構成 111
提供 10
電源機能 27
電源をオフにする 28
電源をオンにする 28
内部の作業、電源をオンにしたまま 43, 208
サーバー、バックアップ・ファームウェア
開始 125
サーバーが提供する機能 10
サーバー構成
更新 107
サーバー構成、更新 109
サーバーの交換可能部品 195
サーバーの交換用部品 195
サーバーの構成 109, 111
サーバーのコントロール、LED、および電源 18
サーバーのシャットダウン 28
サーバーの背面図 22
サーバー・コンポーネント 33, 195
サーバー・シャットダウン 28
サーバー・ファームウェアのリカバリー 191
サービスおよびサポート
依頼する前に 837
ソフトウェア 839
ハードウェア 840
再現性の低い問題 170
サイズ 7
作成
ソフトウェア RAID 134
サポート Web ページ、カスタム 839
サポートされるアダプター 72
支援、入手 837
事項、重要 842
システム
エラー LED (前面) 20, 21
情報 LED 20
ログ LED 21
ロケーター LED、前面 21
システム管理 10, 14
システム管理ツール
IBM Systems Director 17, 136
システムの信頼性に関するガイドライン 42, 207
システム・イベント・ログ 156, 157
システム・イベント・ログ、Assertion イベント 156
システム・イベント・ログ、Deassertion イベント 156
システム・パルス LED 27
システム・ボード
交換 342
始動パスワード・スイッチ 123
ジャンパー 35
取り外し 339
LED 38
システム・ボードの外部コネクター 35
システム・ボードのジャンパー
説明 35
システム・ボードの内部コネクター 34
次世代テクノロジー 10
湿度 7
質量 7
始動パスワード 122
自動ブート失敗リカバリー (ABR) 193
ジャンパー
システム・ボード上の 35
UEFI ブート・リカバリー 192
ジャンパー、システム・ボード上の 35
重要な注 6, 842
取得
IMM 用の IP アドレス 129
仕様 7
使用可能
リモート・プレゼンス機能 130
Features on Demand Ethernet 132
Features on Demand RAID 132
冗長
イーサネット接続 10, 13
冷却機構 10, 14
NIC 13
vNIC 10
冗長性サポート
パワー・サプライ 10, 14
商標 842
使用法 125
組み込みハイパーバイザー 127
リモート・プレゼンス機能 128
Boot Manager プログラム 124

使用法 *(続き)*
Setup ユーティリティー 115
シリアルおよびモデル番号
位置 190
シリアル・コネクター 23
シリアル・ポートの問題 183
資料
使用法 838
Documentation Browser 4
Documentation CD 4
資料、更新
検索 5, 6
診断
オンボード・プログラムの開始 162
ツール、概要 151
テキスト・メッセージ書式 164
テスト・ログ、表示 164
診断イベント・ログ 156
診断コードおよびメッセージ
POST/UEFI 687
診断プログラム
DSA Preboot 10
シンプル・スワップ・ファン
取り付け 50
信頼性、サーバー 15
スタンバイ・モード 27
スロット 7
寸法 7
静電気に弱い装置
取り扱い 43, 208
静電気の影響を受けやすい部品の取り扱い 43, 208
接続
ケーブル 106
前面 USB コネクター
交換 286
取り外し 284
前面オペレーター情報パネル
交換 286
取り外し 284
装置、静電気に弱い
取り扱い 43, 208
ソフトウェア RAID
作成 134
ソフトウェア、RAID
作成 134
ソフトウェアのサービスおよびサポートの電話番号 839
ソフトウェアの問題 185
ソリッド・ステート・ドライブ活動 LED 20

[タ行]

対称マルチプロセッシング 10, 13
チェックアウト手順 149
チェックアウト手順 *(続き)*
実行 150
チャネル、メモリー
マイクロプロセッサー
各 DIMM に関連付けられた 52
DIMM コネクター
各マイクロプロセッサーに関連付けられた 52
DIMM コネクターに関連付けられた 52
注 6
注意の注記 6
注記 6, 841
電磁波放出 845
FCC、Class A 845
ツール、コール・ホーム 164
ツール、診断 151
通信規制の注記 845
粒子汚染 7, 8, 844
データ収集 145
データの収集 145
テープ
ケーブル・ルーティング 211
テープ・ドライブ
交換 255
取り外し 254
取り付け 69
ディスプレイの問題 174
手順、チェックアウト 150
テスト・ログ、表示 164
デバイス
取り付け 31
デバイス・ドライバー、更新 18, 125
電源
ケーブル・ルーティング 210
仕様 9
電源制御ボタン 19, 20
要件 7
電源オンされているサーバー内部での作業 43, 208
電源オンの状態でのサーバー内部での作業 43, 208
電源機能
サーバー 27
電源コード 201
電源入力 7, 9
電源の問題 178, 186
電源パドル・カード
交換 324
取り外し 323
取り付け 94
電源をオフにする、サーバーの 28
内蔵ベースボード管理コントローラー 28
電源をオンにする、サーバーの 28
電子情報技術産業協会表示 848
電話番号 839, 840
統合管理モジュール
イベント・ログ 10
概要 10
統合管理モジュール II 125
エラー・メッセージ 345
使用法 125
独立モードでの DIMM 装着順序
サーバー 55, 313
ドライブ 7
取り外し 59, 236
取り付け 59, 236
ドライブ、DVD
取り付け 67, 252
ドライブの取り付け 59, 236
ドライブ・ベイ、内部 59, 236
取り外し
アダプター 259
エアー・バッフル 46, 231
カバー 44, 228
固定パワー・サプライ 299
コンポーネント 205
サーバー・コンポーネント 225
システム・ボード 339
前面 USB コネクター 284
前面オペレーター情報パネル 284
テープ・ドライブ 254
電源パドル・カード 323
ドライブ 59, 236
バッテリー、システム 278
ヒートシンク 326
左サイド・カバー 44, 228
ファン・アセンブリー 47, 48, 102, 320
フラッシュ電源モジュール 269
ベゼル 226
ホット・スワップ・パワー・サプライ 304
マイクロプロセッサー 326
マイクロプロセッサー 2 拡張ボード 334
メモリー・モジュール 310
2.5 型バックプレーン 288
2.5 型ホット・スワップ・ ハード・ディスク 239
3.5 型シンプル・スワップ・ ハード・ディスク 247
3.5 型バックプレーン 294
3.5 型ホット・スワップ・ ハード・ディスク 243
CD または DVD ドライブ 250
PCI-X ライザー・カード・アセンブリー 275
RAID アダプター・リモート・バッテリー 269

取り外し *(続き)*
ServeRAID アダプター・メモリー・モジュール 273
USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス 317
取り外しと交換
構成部品 225
サーバー・コンポーネント 225
Tier 1 CRU 236
取り付け 1
アダプター 72
エアー・バッフル 104
固定パワー・サプライ 92
サーバー・カバー 105, 229
シンプル・スワップ・ハード・ディスク 66
シンプル・スワップ・ファン 50
テープ・ドライブ 69
電源パドル・カード 94
ドライブ 59, 236
ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス 100
背面ファン 103
バッテリー、システム 281
ヒートシンク 87, 331
フラッシュ電源モジュール 81
ホット・スワップ・ハード・ディスク 62, 64
ホット・スワップ・パワー・サプライ 96
マイクロプロセッサー 2 拡張ボード 83
メモリー・モジュール 52
DVD ドライブ 67
PCI-X ライザー・カード・アセンブリー 70
ServeRAID アダプター・メモリー・モジュール 80
ServeRAID アダプター・リモート・バッテリー 81, 233, 235
取り付け、オプション 31
完了 101
取り付け、DIMM 52
取り付けのガイドライン 40, 205

[ナ行]

内蔵機能 7
内蔵ベースボード管理コントローラー 28
内部、システム・ボード・コネクター 34
内部ケーブルのルーティング 209
熱伝導グリース 90, 332

[ハ行]

ハードウェアのサービスおよびサポートの電話番号 840
ハード・ディスク
タイプ 62, 64, 66
取り付け 62, 64, 66
バックプレーンの配線 212
バックプレーン・コネクター 39
問題 168
ハード・ディスク活動 LED 20
ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス
取り付け 100
問題 167
背面図 22
サーバー 22
背面ファン
取り付け 103
パスワード 123
管理者 123
始動 123
パスワード、始動
システム・ボード上のスイッチ 123
バックアップ・ファームウェア
開始 125
バックプレーン
交換 290, 296
取り外し 288, 294
バックプレーン・コネクター 39
バッテリー、交換 281
バッテリー、システム
交換 278
取り付け 281
発熱量 7
発熱量 (消費電力) 8
パワーオン LED 19, 20, 27
パワー・サプライ 7
交換 306
冗長性サポート 10, 14
取り付け 92, 96
パワー・サプライ LED エラー 24, 153
パワー・サプライ、ホット・スワップ
取り外し 304
パワー・サプライ・エラー LED 24
ヒートシンク
交換 87, 328
取り外し 326
ビジネス・パートナーの手順 31, 32
左サイド・カバー
取り外し 44, 228
ビデオの問題 174
ビデオ・コネクター
背面 23
ビデオ・コントローラー、内蔵
仕様 7
表示
イベント・ログ、Setup ユーティリティーを使用して 157
表示、イベント・ログの
サーバーを再始動せずに 157
表明解除イベント、システム・イベント・ログ 156
ファームウェア、更新 109
ファームウェア、サーバー、回復 191
ファームウェア更新 1
ファームウェア更新、ベスト・プラクティス 31
ファームウェアの更新 109
ファン 10, 14
シンプル・スワップ 7
ファン電源
ケーブル・ルーティング 225
ファン・アセンブリー
交換 321
ファン・ケージ・アセンブリー
取り外し 47, 48, 102, 320
部品、構造 200
部品リスト、サーバー 195
部品リスト、System x3330 M4 196
フラッシュ電源モジュール
交換 270
取り外し 269
取り付け 81
ブルー・スクリーン機能 128
ブルー・スクリーン・キャプチャー機能 10, 111
概要 10, 111, 128
プレゼンス検出ボタン 20, 21
文書化されていない問題 148
ベイ 7
ベスト・プラクティス
現行ファームウェアおよびデバイス・ドライバー更新を適用するために使用 31
ベスト・プラクティスの使用
ファームウェアおよびデバイス・ドライバー更新を適用 31
ベゼル
交換 227
取り外し 45, 226
ベゼルの取り外し 45
ヘルプ
ソース 837
IBM への診断データの送信 839
WWW から 838
方式、イベント・ログの表示 157
放出ノイズ 7
保守容易性、サーバー 15
ボタン
NMI 22
ボタン、プレゼンス検出 20, 21

[マ行]

マイクロプロセッサー 10, 13
  および熱伝導グリース 90, 332
  交換 87, 328
  仕様 7
  取り外し 326
  問題 174
マイクロプロセッサー 2 拡張ボード
  交換 336
  取り外し 334
  取り付け 83
未解決問題 189
ミラーリング 10
メッセージ
  診断 161
メッセージ、診断
  POST/UEFI 687
メニュー選択項目
  Setup ユーティリティー 116
メモリー 7, 10
  交換 311
メモリーの取り付け順序
  独立モードの場合 52
メモリーの問題 172
メモリー・サポート 10, 13
メモリー・スペアリング 10
メモリー・ミラーリング・モード 56
  説明 56
メモリー・ミラーリング・モードでの DIMM 装着順序
  サーバー 56, 315
メモリー・モジュール
  取り外し 310
  取り付け 52
モデルおよび製造番号
  位置 190
モニターの問題 174
問題
  イーサネット・コントローラー 188
  オプション装置 177
  キーボード 171
  偶発的 170
  シリアル・ポート 183
  ソフトウェア 185
  電源 178, 186
  ハード・ディスク 168
  ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス 167
  ビデオ 174, 186
  マイクロプロセッサー 174
  マウス 171
  未解決 189
  メモリー 172
  モニター 174
  CD/DVD ドライブ 166
問題 *(続き)*
  IMM2 345
  USB ポート 186
問題判別表 165

[ヤ行]

ユーティリティー、Setup
  開始 115
  使用法 115
  メニュー選択項目 116
ユーティリティー・プログラム
  IBM Advanced Settings 136

[ラ行]

ランク・スペアリング
  説明 52, 314
ランク・スペアリング・モード 52, 314
ランク・スペアリング・モードでの DIMM 装着順序
  サーバー 56, 314
リセット・ボタン 20, 21
リモート・プレゼンス機能 111
  使用法 128
リモート・プレゼンス機能、使用可能化 130
冷却機構 10, 14
ローカル・エリア・ネットワーク (LAN) 10, 12
ログ、イベント 156
ログ、イベント、Web インターフェースから表示 156
ロケーター・ボタン
  LED、前面 20

[数字]

2.5 型バックプレーン
  取り外し 288
  取り付け 290
2.5 型ホット・スワップ・ ハード・ディスク
  交換 241
  取り外し 239
3.5 型シンプル・スワップ・ ハード・ディスク
  交換 248
  取り外し 247
3.5 型バックプレーン
  交換 296
  取り外し 294
3.5 型ホット・スワップ・ ハード・ディスク
  交換 245
3.5 型ホット・スワップ・ ハード・ディスク *(続き)*
  取り外し 243

A

ABR、自動ブート失敗リカバリー 193
AC 正常 LED 26, 155
AC 電源 LED 23
Active Energy Manager プラグイン 10
ASM イベント・ログ 10
Assertion イベント、システム・イベント・ログ 156
Australia Class A statement 846

B

Boot Manager プログラム
  使用法 124

C

Canada Class A electronic emission statement 846
CD ドライブ
  問題 166
CD または DVD ドライブ
  取り外し 250
CD-RW/DVD
  イジェクト・ボタン 20
China Class A electronic emission statement 849
Class A electronic emission notice 845
CRU、交換
  システム・バッテリー 278

D

DC 正常 LED 26, 155
DC 電源 LED 24
DIMM
  交換 311
  独立モードの取り付け順序 52
  取り付け 52
  取り付けの順序、非ミラーリング・モード 52
DIMM コネクター
  各メモリー・チャネル 52
DIMM 装着順序 55, 56, 313, 314, 315
DMI/SMBIOS データ、更新 140
DSA
  プログラム、概要 161
DSA Portable 151, 162
DSA Preboot 151, 162
DSA Preboot 診断プログラム 10

DSA イベント・ログ 156
DSA ログ 10
DSA、IBM へのデータの送信 839
DVD
ケーブル・ルーティング 211
DVD イジェクト・ボタン 19
DVD ドライブ
交換 252
取り付け 67
問題 166
DVD ドライブ 活動 LED 19
Dynamic System Analysis (DSA) Preboot 診断プログラム 10

E

electronic emission Class A notice 845
European Union EMC Directive conformance statement 846

F

FCC Class A notice 845
Features on Demand Ethernet、使用可能化 132
Features on Demand RAID、使用可能化 132

G

Germany Class A statement 847

H

Human Interface Infrastructure 構成ユーティリティー・プログラム 134

I

IBM Advanced Settings ユーティリティー・プログラム
概要 136
IBM Electronic Service Agent 165
IBM Systems Director 10
システム管理ツール 17, 136
IBM ビジネス・パートナー用の手順 31, 32
IBM への DSA データの送信 32
IBM への DSA データの送信方法 32
IBM への診断データの送信 839
IBM、次世代テクノロジー 10
IMM IP アドレス
取得 129
IMM イベント・ログ 156
IMM2 125
エラー・メッセージ 345
IMM2 ハートビート
LED 27
IP アドレス
取得、IMM 用 129
IPMI イベント・ログ 10
IPMItool 157

J

JEITA 表示 848

K

Korea Class A electronic emission statement 848

L

LED
イーサネット活動 20, 21, 24
イーサネット・リンク状況 24
オペレーター情報パネル 21
システム情報 20
システム・エラー 20, 21
システム・ボード 38
システム・ボード上の 38
システム・ログ 21
システム・ロケーター 21
始動 19, 20
ソリッド・ステート・ドライブ活動 20
ハード・ディスク活動 20
パワー・サプライ・エラー 24
ロケーター・ボタン 20
AC 電源 23
DC 電源 24
IMM2 ハートビート 27
RTMM ハートビート 27
LED エラー
パワー・サプライ 24, 153
LED およびコントロール
前面図 19
LED、システム・パルス 27
Light Path 診断 10
LSI Configuration ユーティリティー・プログラム 133

N

New Zealand Class A statement 846
NMI
ボタン 22
NMI ボタン 22
NOS インストール
ServerGuide で 114
ServerGuide を使用しない 115

P

parts listing 195
PCI 拡張
スロット 7
PCI ライザー
スロット 1 22
スロット 2 22
スロット 3 22
スロット 4 22
スロット 5 23
スロット 6 23
PCI ライザー・カード・アセンブリー
交換 276
取り付け 70
PCI-X ライザー・カード・アセンブリー
取り外し 275
People's Republic of China Class A electronic emission statement 849
POST
エラー・ログ 157
POST イベント・ログ 156
POST テスト 160
POST/UEFI
診断コード 687
Preboot、DSA 診断プログラム 10
problems
troubleshooting 145

R

RAID アダプター・リモート・バッテリー
取り外し 269
RAID アレイ
構成 132
RAS 機能、サーバー 15
RTMM ハートビート
LED 27
Russia Class A electronic emission statement 848

S

Safety Information 6
SAS 電源ケーブルのルーティング 212
SAS/SATA HDD
交換 256
ServeRAID アダプター・メモリー・モジュール
交換 274
取り外し 273

ServeRAID アダプター・メモリー・モジュール *(続き)*
取り付け 80
ServeRAID アダプター・リモート・バッテリー
交換 270
取り付け 81, 233, 235
ServeRAID サポート 10, 14
ServerGuide
機能 113
使用法 113
セットアップ 114
NOS インストール 114
Setup and Installation CD 109
ServerGuide CD 10, 11
Service Advisor 機能 165
Service Bulletin 148
Setup ユーティリティー 109
開始 115
使用法 115
メニュー選択項目 116
SMP 10, 13
Systems Director、IBM
システム管理ツール 17, 136

T

Taiwan Class A electronic emission statement 849
Tier 1 CRU
取り外しと交換 236
Tier 2 CRU、交換 323
troubleshooting 145

U

UEFI
ブート・リカバリー・ジャンパー 192
UEFI と互換性のあるデバイス
構成 111
United States FCC Class A notice 845
Universal Serial Bus (USB) の問題 186
UpdateXpress System Pack 18, 125
USB
コネクター 20, 23, 24
USB コネクター 19, 23
USB ハイパーバイザー・ キー
交換 318
USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス
取り外し 317

V

VCCI クラス A 情報技術装置 848

W

Wake on LAN 機能 28
Web サイト
UEFI フラッシュ・ディスケット 191

X

x3300
概要 1

部品番号: 00FK709

Printed in Japan

(1P) P/N: 00FK709

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21